



講義内容 2008

経営学部

講 義 内 容

『講 義 内 容 の 見 方』(2)
 参 考(4)

目次案内

経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科

I 全学共通科目
 1 宗教教育科目(14)
 2 教養教育科目(15)
 3 外国語科目(19)
 4 保健体育科目(26)
 II 専門教育科目(30)
 III 他学部履修科目(35)
 IV 「日本語」・「日本事情」科目(37)
 V 随 意 科 目(38)

経営学科フレックスB

I 全学共通科目
 1 宗教教育科目(39)
 2 教養教育科目(40)
 3 外国語科目(41)
 4 保健体育科目(43)
 II 専門教育科目(44)
 III 他学部履修科目(47)
 IV 随 意 科 目(48)

経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
		専門教育
		他学部履修科目
		「日本語」 「日本事情」 随意科目
経営学科フレックスB	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
		専門教育
		他学部履修科目
		随意科目

『講義内容』の見方

- 1、『講義内容』は、『履修要項』（別冊）、『授業時間表』（別冊）と合わせて利用してください。
- 2、『講義内容』は、経営学部で開講されている全ての科目が掲載されています。その中で、履修できる科目は、所属する学科で開講されている科目のみです。
(この冊子に掲載されている科目全てが履修できる科目ではありませんので、注意してください。)
- 3、履修できる科目は、所属学科の『授業時間表』（別冊）に掲載されている科目です。
『授業時間表』で履修コード（※）を確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 4、外国語科目の再履修クラスを履修する場合は、教務部①番窓口で『外国語再履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 5、他学部履修科目を履修する場合は、教務部①番窓口で『他学部履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 6、教職課程・資格講座に登録している場合は、教務部で『講義内容（教職課程・資格講座）』と『授業時間表（課程各講座授業時間表）』を受け取ってください。

※ 履修コードとは

履修コードとは、各授業に割り振られている6桁の番号です。4月の履修科目登録時（事前登録・履修届登録）にも使用します。同名科目・同担当者の科目が2つ以上ある場合、履修コードで判別することになります。履修コードの見間違いがないよう、十分注意してください。

～『講義内容』の利用手順～

①『履修要項』（別冊）を参照し、「授業科目の区分」や「履修できる科目」を調べる。

②『授業時間表』（別冊）を参照し、履修したい科目の履修コードを確認する。

（『授業時間表』の記載例）

曜日時限	科目名	担当者名	コード	備考	区分	教場名
月 1	仏教と人間	駒澤 太郎	111111	営1必		玉-111

↑
※履修コード

③『講義内容』の目次ページから、同様の履修コードを探し、ページを開く。

（『講義内容』目次ページの記載例）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	駒澤 太郎	111111	1

↑
※

④目次ページの履修コードと科目枠の履修コードが同じであることを確認して、授業内容を閲覧する。

（『講義内容』科目枠の記載例）

履修コード	111111 ←※
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>こまざわ たろう</small> 駒澤 太郎

～平成 19 年度以前入学生へ～

◎「経営学科フレックスA」に所属の学生

フレックスB時間帯（月～金 6・7 時限、土 3～7 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『講義内容』の経営学科フレックスBのページ（冊子の後半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

◎「経営学科フレックスB」に所属の学生

フレックスA時間帯（月～金 1～5 時限、土 1～4 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『講義内容』の経営学科フレックスAのページ（冊子の前半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

参 考

外 国 語 科 目

経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科

英 語 I A

〈英語 I Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 I B

〈英語 I Bの授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英語 I C (会話)

〈英語 I Cの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL® のスコア450点、TOEIC® のスコア500点程度。

英 語 II A

〈英語 II Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英語 II C (会話)

〈英語 II Cの授業内容と履修上の留意点〉

I Cのレベルを修得またはそれに相当する力を持っていることを前提とした英会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL® のスコア500点、TOEIC® のスコア700点程度。

英 語 Ⅲ A

〈英語ⅢAの授業内容と履修上の留意点〉

ⅡAを基礎として高度な英語の運用能力を身につける。(例：時事社会科学系のテキストを使用する。)

英 会 話 Ⅰ

〈英会話Ⅰの授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L I

〈英語LLⅠの授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器 (1号館3・4階PC教場) を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L II

〈英語 L L II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：L L I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準 1 級合格、TOEFL® のスコア 480 点、TOEIC® のスコア 700 点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L III

〈英語 L L III の授業内容と履修上の留意点〉

上級：L L II を修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が開き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検 1 級、TOEFL® のスコア 500 点以上、TOEIC® のスコア 900 点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

对外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキナ語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

外国語科目

経営学科フレックスB

英語 I A

〈英語 I Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基礎表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

英語 I B

〈英語 I Bの授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

英語 II A

〈英語 II Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

英語 II B

〈英語 II Bの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

英会話 I・II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度です。

英語 L L I・II

情報メディア機器 (1号館3・4階のPC教場) を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL® で450点、TOEIC® 500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

保健体育科目

経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1時限(経営)		2時限(経営)		3時限(市略)	
木曜 日	※秋田	サッカー	※竹田	体操・トランポリン	※江口	テニス
	竹田	体操・トランポリン	光永	トレーニング	光永	トレーニング
	山口	室内球技	秋田	サッカー	鈴木	ソフトボール
	鈴木	ソフトボール	山口	室内球技	竹田	体操・トランポリン
	江口	テニス	高橋	空手道	山口	室内球技
	下谷内	卓球	下谷内	卓球	高橋	空手道
					下谷内	卓球

※は、科目の主担当者

「健康・スポーツ実習(集中授業)」開講科目一覧

集中開講科目は、前期・後期の両方を受講する必要があります。

また、前期と後期で受講する科目が変わります。種目の選択を第1回目の授業で行いますので、必ず参加してください。

《日程》前期：7月13日(日)～17日(木) 後期：1月5日(月)～9日(金)

《時間》10:00～12:00・13:00～15:30

(於：玉川校舎)

前期		後期	
※山口	室内球技	鈴木	卓球
秋田	卓球	高橋	ソフトボール
大石	太極拳	光永	トレーニング&太極拳
牧野	バドミントン	村松	室内球技

※は、科目の主担当者

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日				
1 時限										
2 時限	渡	前期・基礎	大	前期・応用	田	前期・基礎	末	前期・応用	牧	前期・応用
		室内球技		ミニサッカー		フットサル		ダブルダッチ		バスケットボール
	辺	後期・基礎	石	後期・応用	中	後期・基礎	次	後期・応用	野	後期・応用
		室内球技		ミニサッカー		フットサル		ダブルダッチ		バスケットボール
3 時限	渡	前期・応用	大	前期・基礎	田	前期・基礎	村	前期・基礎	牧	前期・基礎
		室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓 球		バスケットボール
	辺	後期・応用	石	後期・基礎	中	後期・基礎	松	後期・基礎	野	後期・基礎
		室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓 球		バスケットボール
4 時限	渡	前期・応用				末	前期・応用			
		室内球技					室内球技			
	辺	後期・応用				次	後期・応用			
		室内球技					室内球技			

保健体育科目

経営学科フレックスB

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ミニサッカー					村 松	健康・スポーツ論*
	秋 田	バドミントン						
7 時 限	※秋田	バドミントン	三 幣	健康・スポーツ論*	※三幣	バドミントン		
	大 石	ミニサッカー			村 松	卓球		

※は、科目の主担当者 *時間表で教場を確認のこと。

I. 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	村松 哲文	204801	7
仏教と人間	吉村 誠	204901	7
仏教と人間	池上 光洋	205001	7
仏教と人間	池上 光洋	205121	7
仏教と人間	新井 一光	205101	8
仏教と人間	伊藤 隆壽	205111	8
仏教と人間〔再クラス〕	吉津 宜英	205701	9
仏教と人間〔再クラス〕	下室 覚道	205801	9
仏教と人間〔再クラス〕	大谷 哲夫	205901	10
仏教と人間〔再クラス〕	晴山 俊英	206001	10
自然と宗教	小川 順敬	206101	10
社会と宗教	矢野 秀武	206201	11
文化と宗教	佐藤 憲昭	206301	11
坐禅	佐藤 秀孝 ・池上 光洋	206401	12
坐禅	佐藤 秀孝 ・池上 光洋	206501	12

2. 教養教育科目

・平成19年度以前入学生で『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの教養教育科目のページを参照してください。

(1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
文学〔日本文学「日本のことば」〕	相澤 貴之	206701	15
文学〔日本文学「近代」〕	石割 透	207001	15
文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	田中 保	207301	15
歴史学〔日本中世史〕	今野 慶信	207801	16
芸術学〔日本美術〕	北野 良枝	208401	16
芸術学〔西洋美術〕	矢野 陽子	208501	17
芸術学〔音楽〕	浦本 裕子	208601	17
哲学〔西洋思想の源流〕	滝口 清栄	208701	18
哲学〔西洋思想の源流〕	河谷 淳	208901	18
論理学〔知の技法〕	伊古田 理	210001	19
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	210101	19
論理学〔知の技法〕	小島 優子	210201	20
科学史〔近代科学の成立と展開〕	高橋 秀裕	210501	20
倫理学〔人間観〕	古田 知章	210601	21
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	210701	21
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	211111	21
倫理学〔価値観〕	久保 陽一	210801	22
倫理学〔応用倫理学〕	滝沢 正之	210901	22
倫理学〔制度とモラル〕	滝口 清栄	211001	23
倫理学〔東洋倫理〕	末木 恭彦	211101	23
宗教学〔比較宗教文化〕	池上 良正	211201	24
宗教学〔聖と俗〕	田中 かの子	211301	24
宗教学〔世界観と儀礼〕	小川 順敬	211401	25
宗教学〔日本人の宗教〕	矢野 秀武	211501	25
宗教学〔生活と宗教〕	菅原 壽清	211511	26
宗教学〔民俗宗教の諸相〕	星野 靖二	211521	26
人文地理学〔風土と文化〕	山口 太郎	211601	27
人文地理学〔風土と文化〕	坪井 聖太郎	211701	27
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 慎吾	211801	28
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 修一	211901	28
フレッシュマンセミナー	萩原 義雄	357101	29
フレッシュマンセミナー	佐原 作美	357201	30
フレッシュマンセミナー	鈴木 裕子	357301	30
フレッシュマンセミナー	坂口 博規	357401	30
フレッシュマンセミナー	藺部 幹生	357501	31
フレッシュマンセミナー	石割 透	357601	31
フレッシュマンセミナー	小林 治	357701	32
フレッシュマンセミナー	松田 直行	357801	32
フレッシュマンセミナー	湯浅 陽子	357811	33
日本文化基礎	佐原 作美	357901	34
日本文化基礎	鈴木 裕子	358001	34
日本文化基礎	坂口 博規	358101	34
日本文化基礎	藺部 幹生	358201	35

日本文化基礎	石割 透	358301	35
日本文化基礎	小林 治	358401	36
日本文化基礎	松田 直行	358501	36
日本言語文化基礎	萩原 義雄	358901	37
日本言語文化基礎	湯浅 陽子	358911	38
日本文化研究IA	佐原 作美	169702	39
日本文化研究IA	坂口 博規	171101	39
日本文化研究IA	鈴木 裕子	171202	39
日本文化研究IA	蘭部 幹生	172001	40
日本文化研究IIA	佐原 作美	359001	40
日本文化研究IIA	鈴木 裕子	359101	41
日本文化研究IIA	坂口 博規	359201	41
日本文化研究IIA	蘭部 幹生	359301	42
日本文化研究IB	石割 透	170201	42
日本文化研究IB	小林 治	175501	43
日本文化研究IB	松田 直行	215711	43
日本文化研究IIB	石割 透	359701	44
日本文化研究IIB	小林 治	359801	44
日本文化研究IIB	松田 直行	359901	45
日本言語文化研究I	萩原 義雄	170901	46
日本言語文化研究I	湯浅 陽子	215721	47
日本言語文化研究II	萩原 義雄	360601	48
日本言語文化研究II	湯浅 陽子	360701	49
実務表現	萩原 義雄	360901	50
実務表現	湯浅 陽子	361001	51
日本文化テーマ研究A	佐原 作美	168902	52
日本文化テーマ研究A	鈴木 裕子	168911	52
日本文化テーマ研究B	佐原 作美	169002	52
日本文化テーマ研究B	鈴木 裕子	169011	53
日本文化テーマ研究C	坂口 博規	169102	53
日本文化テーマ研究C	蘭部 幹生	169111	53
日本文化テーマ研究D	坂口 博規	169202	54
日本文化テーマ研究D	蘭部 幹生	169211	54
日本文化テーマ研究E	石割 透	169302	54
日本文化テーマ研究E	小林 治	169311	55
日本文化テーマ研究F	石割 透	169402	55
日本文化テーマ研究F	小林 治	169411	56
日本文化テーマ研究G (夏季集中)	松田 直行	169502	56
日本文化テーマ研究H	松田 直行	169602	57

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	阿部 真大	215801	58
統計学〔社会現象の統計的分析〕	田中 正光	216401	58
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	216901	59
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	鈴木 一馨	217101	60
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218101	61
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218201	61
法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)	池田 実	218601	62
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	白鳥 浩	218701	62
社会科学論〔社会認識の思想〕	大石 雄爾	219401	63

教育学〔デス・エデュケーション〕	柳堀 素雅子	219501	63
教育心理〔大学生の心理〕	石橋 達也	219601	64

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	220401	65
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	市川 清士	221001	65
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	221901	66
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	221201	66
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 ・篠原 正雄 ・山縣 毅	222301	67
数学〔微積分学入門〕	小沢 誠	222401	68
数学〔線型代数学入門〕	小沢 誠	222501	69
数学〔現代数学入門〕	福田 賢一	222601	70
情報数学〔情報と論理〕	坂野井 和代	222701	70
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222801	71
化学〔衣食住の化学〕	牧岡 良和	223001	71
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223201	71
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223301	71
人類学〔人類の進化〕	篠田 謙一	226001	72
人類学〔人類の進化〕	篠田 謙一	226101	72
心理学〔人間関係を考える〕	加藤 博己	226801	72
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	226901	73
心理学〔心を科学する〕(夏季集中)	深堀 友覚	227301	73

(4) 総合分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
総合I〔仏教と社会〕	熊本 英人	228201	74
総合I〔仏教と芸術〕	村松 哲文	228301	74
総合II〔駒澤大学の歴史〕	熊本 史雄 ・大城 道則 ・小泉 雅弘 ・佐々木 真 ・杉山 清彦 ・廣瀬 良弘 ・皆川 義孝	228401	75
総合III〔人権と社会問題〕	ピアス、 D. M.	228701	76
総合III〔欧米の教育と日本の教育〕	岡崎 寿一郎	228801	77
総合III〔スペイン語圏の文化と社会〕	齋藤 明美	228901	77
総合IV〔現代アメリカ事情〕	林 明人	229001	78
総合IV〔新市民社会論〕	西村 祐子	229101	79
総合V〔イギリスの歴史と文化〕	石原 孝哉	229301	79
総合VI〔民族とは何か〕	大野 祐二	229601	80
総合VI〔イスラム〕	吉田 京子	229701	80
総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕	早川 紀代	229801	81
総合VII〔トラブルと法的解決〕	中濱 義章 ・井上 健一 ・北野 かほる	229901	82

	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤 多美夫 ・中田 英幸 ・向田 正巳 		
総合VII〔都市論〕	内海 麻利 <ul style="list-style-type: none"> ・饗庭 伸 ・早川 純貴 ・堀内 康史 ・村上 暁信 	230001	83
総合VIII	休講	—	

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA	ピアス、D. M.	239301	87
英語IA	丹治 弘昌	239401	88
英語IA	相馬 美明	239501	88
英語IA	前田 脩	239601	88
英語IA	三輪 久恵	239701	89
英語IA	田中 保	239801	89
英語IA	朝川 真紀	239901	89
英語IA	川崎 笑佳	240001	90
英語IA	菅原 典子	240011	90
英語IA	伊藤 美代子	240021	90
英語IA	佐藤 江里子	240031	90
英語IA	濱口 真木	240041	91
英語IA〔基礎英語特別クラス〕	白鳥 義博	240211	91
英語IB	澤田 真弓	246001	91
英語IB	澤田 真弓	246401	91
英語IB	澤田 真弓	246711	91
英語IB	佐藤 江里子	246101	92
英語IB	佐藤 江里子	246701	92
英語IB	佐藤 江里子	246731	92
英語IB	亀田 三重子	246201	92
英語IB	亀田 三重子	246601	92
英語IB	矢島 直子	246301	92
英語IB	尾形 重政	246501	92
英語IB	尾形 重政	246741	92
英語IB	濱口 真木	246721	93
英語IB〔基礎英語特別クラス〕	矢島 直子	246941	93
英語IC（会話）・英語IC（会話）〔再クラス〕	ハバード、W. D.	247101	93
英語IC（会話）・英語IC（会話）〔再クラス〕	ウェルズ、J. K.	247701	94
英語IIA	江田 幸子	253701	94
英語IIA	太田 美智子	253801	95
英語IIA	塚本 利男	254001	95
英語IIA	前田 脩	254101	95
英語IIA	高野 秀夫	254201	96
英語IIA	手島 敬子	254301	96
英語IIA	本間 俊一	254401	96
英語IIA	萩原 輝	254411	97
英語IIC（会話）・英語IIC（会話）〔再クラス〕	ウェルズ、J. K.	259301	97
英語IIC（会話）・英語IIC（会話）〔再クラス〕	セイジ、K	259401	98
英語IIC（会話）・英語IIC（会話）〔再クラス〕	セイジ、K	259701	98
英語IIC（会話）・英語IIC（会話）〔再クラス〕	セイジ、K	260201	98
英語IIC（会話）・英語IIC（会話）〔再クラス〕	ミックエリゴット、J. P.	259501	98
英語IIC（会話）・英語IIC（会話）〔再クラス〕	ミックエリゴット、J. P.	259901	98

英語II C (会話)・英語II C (会話)〔再クラス〕	ミックエリゴット、J. P.	260101	98
英語II C (会話)・英語II C (会話)〔再クラス〕	ロンゴ、T.	259801	98
英語II C (会話)・英語II C (会話)〔再クラス〕	ロンゴ、T.	260001	98
英語II C (会話)・英語II C (会話)〔再クラス〕	ソルク、P. N. F.	259811	99
英語III A・英語III A〔再クラス〕	小布施 圭佐三	262301	100
英語III A・英語III A〔再クラス〕	佐藤 孝一	262401	100
英語III A・英語III A〔再クラス〕	伊藤 美代子	262501	101
英語III A・英語III A〔再クラス〕	濱口 真木	262601	101
英語III A・英語III A〔再クラス〕	岩井 洋美	262701	101
英語III A・英語III A〔再クラス〕	吉江 正雄	262801	102
英語III A・英語III A〔再クラス〕	井伊 順彦	262901	102
英語III A・英語III A〔再クラス〕	小泉 和弘	263001	103
英語III A・英語III A〔再クラス〕	岡本 誠	263101	103
英語III A・英語III A〔再クラス〕	田中 保	263111	104
ドイツ語IA	松岡 晋	266201	104
ドイツ語IA	藪下 紘一	266301	104
ドイツ語IA	杉本 正俊	266401	105
ドイツ語IB	野島 利彰	267101	105
ドイツ語IB	藪下 紘一	267201	105
ドイツ語IB	杉本 正俊	267301	106
ドイツ語IC (会話)・ドイツ語IC (会話)〔再クラス〕	清水 修	268001	106
ドイツ語II A	松岡 晋	268101	106
ドイツ語II A	飯塚 公夫	268111	107
ドイツ語II C (会話)・ドイツ語II C (会話)〔再クラス〕	井村 行子	268601	107
ドイツ語III A・ドイツ語III A〔再クラス〕	井村 行子	268801	107
フランス語IA	佐藤 久美子	269101	107
フランス語IA	東 辰之介	269201	108
フランス語IA	出口 雅敏	269301	108
フランス語IB	桑田 禮彰	270101	108
フランス語IB	浜崎 設夫	270201	109
フランス語IB	谷川 かおる	270301	109
フランス語IC (会話)・フランス語IC (会話)〔再クラス〕	小玉 齊夫	271101	109
フランス語II A	東 辰之介	271201	110
フランス語II A	菅谷 暁	271211	110
フランス語II C (会話)・フランス語II C (会話)〔再クラス〕	大野 英士	271701	110
フランス語III A・フランス語III A〔再クラス〕	大野 英士	271901	111
中国語IA	根岸 政子	272201	111
中国語IB	下出 宣子	274601	111
中国語IA	小栗山 恵	272301	111
中国語IB	徳間 佳信	274701	111
中国語IA	工藤 早恵	272401	112
中国語IB	張 渭涛	274801	112
中国語IA	本間 由香利	272501	112
中国語IB	曹 泰和	274901	112
中国語IA	塩旗 伸一郎	272601	112
中国語IB	塩旗 伸一郎	275001	112
中国語IA	吉田 建一郎	272701	112
中国語IB	布施 直子	275101	112
中国語IA	小川 隆	272711	113
中国語IB	小川 隆	275111	113

中国語IIA	橋本 幸枝	277201	113
中国語IIA	岩崎 皇	277301	113
中国語IIA	児島 弘一郎	277401	113
中国語IIA	弘兼 加奈子	277501	113
中国語IIA	江林 英基	277511	113
中国語IIC (会話)・中国語IIC (会話)〔再クラス〕	宮本 厚子	278601	113
中国語IIC (会話)・中国語IIC (会話)〔再クラス〕	本間 由香利	278611	113
中国語IIIA・中国語IIIA〔再クラス〕	王 聡	279101	114
スペイン語IA	佐藤 佐知	279401	114
スペイン語IA	ルイズティノコ、 C.	279501	114
スペイン語IA	亀山 晃一	279601	115
スペイン語IA	上野 勝広	279611	115
スペイン語IB	佐藤 麻里乃	280701	116
スペイン語IB	米田 博美	280801	116
スペイン語IB	栗林 ゆき絵	280901	116
スペイン語IB	荻野 恵	280911	117
スペイン語IC (会話)・スペイン語IC (会話)〔再クラス〕	ルイズティノコ、 C.	282001	117
スペイン語IIA	真下 祐一	282101	117
スペイン語IIA	上野 勝広	282111	118
スペイン語IIC (会話)・スペイン語IIC (会話)〔再クラス〕	真下 祐一	282701	118
スペイン語IIIA・スペイン語IIIA〔再クラス〕	真下 祐一	283001	118
ロシア語IA	杉山 秀子	283301	119
ロシア語IB	廣田 英靖	283701	119
ロシア語IC (会話)・ロシア語IC (会話)〔再クラス〕	佐野 朝子	284101	119
ロシア語IIA	木村 英明	284201	120
ロシア語IIC (会話)・ロシア語IIC (会話)〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	284601	120
ロシア語IIIA・ロシア語IIIA〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	284801	120

《再履修クラス》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	樋渡 俊光	291501	121
英語IA〔再クラス〕	松堂 啓子	291601	121
英語IA〔再クラス〕	岩井 洋美	291701	121
英語IA〔再クラス〕	樋渡 俊光	291801	122
英語IA〔再クラス〕	岩原 康夫	291901	122
英語IA〔再クラス〕	塙 美智子	292001	122
英語IA〔再クラス〕	大淵 利春	292301	123
英語IA〔再クラス〕	大淵 利春	292601	123
英語IA〔再クラス〕	岡本 誠	292701	123
英語IA〔再クラス〕	熊沢 和明	297002	124
英語IB〔再クラス〕	狩野 晃一	293201	124
英語IB〔再クラス〕	行廣 泰三	293401	124
英語IB〔再クラス〕	佐藤 江里子	293601	124
英語IB〔再クラス〕	落合 和昭	293901	125
英語IB〔再クラス〕	塚本 利男	294001	126
英語IB〔再クラス〕	山岸 二郎	294101	126
英語IB〔再クラス〕	太田 由紀子	294201	126
英語IB〔再クラス〕	吉沢 栄治郎	294211	126
英語IC (会話)・英語IC (会話)〔再クラス〕	ハバード、W. D.	247101	127

英語IC (会話)・英語IC (会話)〔再クラス〕	ウェルズ、J. K.	247701	127
英語IIA〔再クラス〕	安齋 薫	294601	128
英語IIA〔再クラス〕	山口 晃	294801	128
英語IIA〔再クラス〕	三幣 友行	295001	128
英語IIA〔再クラス〕	芝田 興太郎	295101	129
英語IIA〔再クラス〕	前田 脩	295301	129
英語IIA〔再クラス〕	外池 一子	295401	129
英語IIA〔再クラス〕	古富 猛	295501	129
英語IIA〔再クラス〕	飯沼 好永	295601	130
英語IIC (会話)・英語IIC (会話)〔再クラス〕	ウェルズ、J. K.	259301	130
英語IIC (会話)・英語IIC (会話)〔再クラス〕	セイジ、K	259401	131
英語IIC (会話)・英語IIC (会話)〔再クラス〕	セイジ、K	259701	131
英語IIC (会話)・英語IIC (会話)〔再クラス〕	セイジ、K	260201	131
英語IIC (会話)・英語IIC (会話)〔再クラス〕	ミックエリゴット、J. P.	259501	131
英語IIC (会話)・英語IIC (会話)〔再クラス〕	ミックエリゴット、J. P.	259901	131
英語IIC (会話)・英語IIC (会話)〔再クラス〕	ミックエリゴット、J. P.	260101	131
英語IIC (会話)・英語IIC (会話)〔再クラス〕	ロンゴ、T.	259801	131
英語IIC (会話)・英語IIC (会話)〔再クラス〕	ロンゴ、T.	260001	131
英語IIC (会話)・英語IIC (会話)〔再クラス〕	ソルタ、P. N. F.	259811	132
英語IIIA・英語IIIA〔再クラス〕	小布施 圭佐三	262301	133
英語IIIA・英語IIIA〔再クラス〕	佐藤 孝一	262401	133
英語IIIA・英語IIIA〔再クラス〕	伊藤 美代子	262501	134
英語IIIA・英語IIIA〔再クラス〕	濱口 真木	262601	134
英語IIIA・英語IIIA〔再クラス〕	岩井 洋美	262701	134
英語IIIA・英語IIIA〔再クラス〕	吉江 正雄	262801	135
英語IIIA・英語IIIA〔再クラス〕	井伊 順彦	262901	135
英語IIIA・英語IIIA〔再クラス〕	小泉 和弘	263001	136
英語IIIA・英語IIIA〔再クラス〕	岡本 誠	263101	136
英語IIIA・英語IIIA〔再クラス〕	田中 保	263111	137
ドイツ語IA〔再クラス〕	本橋 右京	297101	138
ドイツ語IA〔再クラス〕	志真 斗美恵	297201	138
ドイツ語IA〔再クラス〕	岡本 時子	297401	138
ドイツ語IA〔再クラス〕	野島 利彰	298602	139
ドイツ語IB〔再クラス〕	飯塚 公夫	297501	139
ドイツ語IB〔再クラス〕	堀内 美江	297601	139
ドイツ語IB〔再クラス〕	本橋 右京	297801	139
ドイツ語IB〔再クラス〕	南 はるつ	297901	140
ドイツ語IC (会話)・ドイツ語IC (会話)〔再クラス〕	清水 修	268001	140
ドイツ語IIA〔再クラス〕	森 公成	298001	141
ドイツ語IIA〔再クラス〕	本橋 右京	298101	141
ドイツ語IIA〔再クラス〕	岡本 時子	298201	141
ドイツ語IIC (会話)・ドイツ語IIC (会話)〔再クラス〕	井村 行子	268601	142
ドイツ語IIIA・ドイツ語IIIA〔再クラス〕	井村 行子	268801	142
フランス語IA〔再クラス〕	芦原 眷	298801	143
フランス語IA〔再クラス〕	小玉 齊夫	298901	143
フランス語IA〔再クラス〕	菅原 猛	299001	143
フランス語IA〔再クラス〕	谷川 かおる	300202	143
フランス語IB〔再クラス〕	東 辰之介	299101	144

フランス語IB〔再クラス〕	今関 アン	299201	144
フランス語IB〔再クラス〕	伊藤 なお	299301	144
フランス語IB〔再クラス〕	谷川 かおる	299501	144
フランス語IC(会話)・フランス語IC(会話)〔再クラス〕	小玉 齊夫	271101	145
フランス語IIA〔再クラス〕	畑中 千晶	299601	146
フランス語IIA〔再クラス〕	沼倉 広子	299701	146
フランス語IIA〔再クラス〕	桑田 禮彰	299801	146
フランス語IIC(会話)・フランス語IIC(会話)〔再クラス〕	大野 英士	271701	147
フランス語IIIA・フランス語IIIA〔再クラス〕	大野 英士	271901	147
中国語IA〔再クラス〕	秋元 翼	300601	147
中国語IB〔再クラス〕	秋元 翼	300602	147
中国語IC(会話)〔再クラス〕	秋元 翼	300603	147
中国語IA〔再クラス〕	天野 節	301201	148
中国語IB〔再クラス〕	天野 節	301202	148
中国語IC(会話)〔再クラス〕	天野 節	301203	148
中国語IA〔再クラス〕	小川 隆	301301	148
中国語IB〔再クラス〕	小川 隆	301302	148
中国語IC(会話)〔再クラス〕	小川 隆	301303	148
中国語IA〔再クラス〕	布施 直子	301401	148
中国語IB〔再クラス〕	布施 直子	301402	148
中国語IC(会話)〔再クラス〕	布施 直子	301403	148
中国語IA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301501	148
中国語IB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301502	148
中国語IC(会話)〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301503	148
中国語IA〔再クラス〕	蘭 明	302302	148
中国語IB〔再クラス〕	蘭 明	302303	148
中国語IC(会話)〔再クラス〕	蘭 明	302304	148
中国語IIA〔再クラス〕	梅田 雅子	301601	149
中国語IIA〔再クラス〕	宮本 厚子	301801	149
中国語IIA〔再クラス〕	大久保 明男	301901	149
中国語IIC(会話)・中国語IIC(会話)〔再クラス〕	宮本 厚子	278601	150
中国語IIC(会話)・中国語IIC(会話)〔再クラス〕	本間 由香利	278611	150
中国語IIIA・中国語IIIA〔再クラス〕	王 聡	279101	150
スペイン語IA〔再クラス〕	大岩 功	302601	151
スペイン語IB〔再クラス〕	大岩 功	302602	151
スペイン語IA〔再クラス〕	齋藤 明美	302701	151
スペイン語IB〔再クラス〕	齋藤 明美	302702	151
スペイン語IA〔再クラス〕	亀山 晃一	302801	152
スペイン語IB〔再クラス〕	亀山 晃一	302802	152
スペイン語IA〔再クラス〕	萩野 恵	303001	152
スペイン語IB〔再クラス〕	萩野 恵	303002	152
スペイン語IA〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303402	152
スペイン語IB〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303403	152
スペイン語IC(会話)・スペイン語IC(会話)〔再クラス〕	ルイズティノコ、 C.	282001	153
スペイン語IIA〔再クラス〕	齋藤 明美	303101	153
スペイン語IIA〔再クラス〕	大岩 功	303201	153
スペイン語IIA〔再クラス〕	亀山 晃一	303301	154
スペイン語IIC(会話)・スペイン語IIC(会話)〔再クラス〕	真下 祐一	282701	155
スペイン語IIIA・スペイン語IIIA〔再クラス〕	真下 祐一	283001	155
ロシア語IA〔再クラス〕	廣田 英靖	303501	155

ロシア語IB〔再クラス〕	廣田 英靖	303502	155
ロシア語IA〔再クラス〕	佐野 朝子	303601	156
ロシア語IB〔再クラス〕	佐野 朝子	303602	156
ロシア語IA〔再クラス〕	木村 英明	303701	156
ロシア語IB〔再クラス〕	木村 英明	303702	156
ロシア語IA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303801	156
ロシア語IB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303802	156
ロシア語IC(会話)・ロシア語IC(会話)〔再クラス〕	佐野 朝子	284101	157
ロシア語IIA〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	303901	157
ロシア語IIA〔再クラス〕	大須賀 史和	304001	157
ロシア語IIA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304101	157
ロシア語IIC(会話)・ロシア語IIC(会話)〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	284601	158
ロシア語IIIA・ロシア語IIIA〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	284801	158

《選択科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英文講読	林 明人	284901	159
英文講読	矢島 直子	285001	159
英文講読	石原 孝哉	285101	159
時事英語研究	高野 秀夫	285701	160
時事英語研究	林 明人	285801	160
時事英語研究	岸本 茂和	285811	161
時事英語研究	落合 和昭	285901	162
時事英語研究	矢島 直子	285911	163
マルチ・メディア	落合 和昭	286501	164
マルチ・メディア	大庭 直樹	286601	165
マルチ・メディア	西村 祐子	286701	166
マルチ・メディア	大庭 直樹	286801	167
英会話I	ロビン、G. F.	264201	167
英会話I	ロビン、G. F.	264301	167
英会話I	ウェルズ、J. K.	264401	168
英会話I	ウェルズ、J. K.	264501	169
英会話I	ソルタ、P. N. F.	264601	170
英会話I	ソルタ、P. N. F.	264701	170
英会話I	レーン、C. M.	264801	171
英会話I	レーン、C. M.	264901	171
英会話I	ピアス、D. M.	265001	172
英会話I	ピアス、D. M.	265101	173
英会話I	レイン、R. V.	265201	174
英会話I	ロンゴ、T.	265301	175
英会話II	セイジ、K.	287401	176
英会話II	ロンゴ、T.	287501	177
英会話II	レイン、R. V.	287601	178
英会話III	ウェルズ、J. K.	287701	178
英会話III	ピアス、D. M.	287801	179
英語L LI	西村 祐子	265401	180
英語L LI	西村 祐子	265701	180
英語L LI	塙 美智子	265501	180
英語L LI	塙 美智子	265601	180
英語L LI	外池 一子	265801	181
英語L LI	外池 一子	265901	181

英語 L L I	甲斐 捷子	266001	181
英語 L L I	久保 ひさ子	266101	182
英語 L L II	セイジ、K	288501	182
英語 L L II	高橋 明子	288601	182
英語 L L II	甲斐 捷子	288701	183
英語 L L III	甲斐 捷子	289301	183
英語 L L III	白鳥 義博	289401	183
英語 L L III	久保 ひさ子	289501	183
現代を読むドイツ語	野島 利彰	286001	184
ドイツ語スキルアップ	松岡 晋	286901	184
ドイツ語コミュニケーションI	小林 ゲアリンデ	288001	184
ドイツ語コミュニケーションII	小林 ゲアリンデ	288801	185
ドイツ語IA (選)	松岡 晋	289601	185
ドイツ語IB (選)	井村 行子	290201	185
ドイツ語II (選)	井村 行子	290801	185
現代を読むフランス語	桑田 禮彰	286101	186
フランス語スキルアップ	小玉 齊夫	287001	186
フランス語コミュニケーションI	ラリア・三倉、M.	288101	186
フランス語コミュニケーションII	ラリア・三倉、M.	288901	187
フランス語IA (選)	出口 雅敏	289701	187
フランス語IA (選)	東 辰之介	289711	187
フランス語IB (選)	菅原 猛	290301	187
フランス語II (選)	桑田 禮彰	290901	188
現代を読む中国語	塩旗 伸一郎	286201	188
中国語スキルアップ	児島 弘一郎	287101	188
中国語コミュニケーションI	陳 洲挙	288201	189
中国語コミュニケーションII	小川 隆	289001	189
中国語IA (選)	吉田 建一郎	289801	189
中国語IA (選)	岩崎 皇	289811	189
中国語IB (選)	蘭 明	290401	189
中国語II (選)	三田村 圭子	291001	190
現代を読むスペイン語	齋藤 明美	286301	190
スペイン語スキルアップ	上野 勝広	287201	190
スペイン語コミュニケーションI	モラーレス ム ニョス、S	288301	191
スペイン語コミュニケーションII	モラーレス ム ニョス、S	289101	191
スペイン語IA (選)	亀山 晃一	289901	191
スペイン語IB (選)	齋藤 明美	290501	192
スペイン語II (選)	佐藤 麻里乃	291101	192
現代を読むロシア語	木村 英明	286401	192
ロシア語スキルアップ	クロチコフ、Y.	287301	193
ロシア語コミュニケーションI	安德 ニーナ	288401	193
ロシア語コミュニケーションII	安德 ニーナ	289201	193
ロシア語IA (選)	クロチコフ、Y.	290001	194
ロシア語IB (選)	木村 英明	290601	194
ロシア語II (選)	クロチコフ、Y.	291201	194
朝鮮語IA (選)	宋 美玲	290101	195
朝鮮語IB (選)	宋 美玲	290701	195
朝鮮語II (選)	宋 美玲	291211	195

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習（卓球）	下谷内 勝利	195401	199
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	195401	200
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	195401	201
健康・スポーツ実習（室内球技）	山口 良博	195401	201
健康・スポーツ実習（サッカー）	秋田 浩一	195401	202
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	竹田 幸夫	195401	203
健康・スポーツ実習（卓球）	下谷内 勝利	195501	199
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	195501	204
健康・スポーツ実習（室内球技）	山口 良博	195501	201
健康・スポーツ実習（サッカー）	秋田 浩一	195501	202
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	竹田 幸夫	195501	203
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	鈴木 淳平	195501	204
健康・スポーツ実習（卓球）	下谷内 勝利	195511	199
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	195511	200
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	195511	204
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	195511	201
健康・スポーツ実習（室内球技）	山口 良博	195511	201
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	竹田 幸夫	195511	203
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	鈴木 淳平	195511	204
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	195901	205
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196001	205
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196101	205
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196201	205
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	村松 誠	196301	206
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール）	高橋 俊介	196401	207
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（トレーニング&太極拳）	光永 吉輝	196401	208
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	山口 良博	196401	209
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）	秋田 浩一	196401	210
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	村松 誠	196401	211
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳）	大石 武士	196401	212
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン）	牧野 茂	196401	213
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）	鈴木 淳平	196401	214
健康・スポーツ実習（集中授業）（ソフトボール）	高橋 俊介	196402	207
健康・スポーツ実習（集中授業）（トレーニング&太極拳）	光永 吉輝	196402	208
健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）	山口 良博	196402	209
健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）	秋田 浩一	196402	210
健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）	村松 誠	196402	211
健康・スポーツ実習（集中授業）（太極拳）	大石 武士	196402	212
健康・スポーツ実習（集中授業）（バドミントン）	牧野 茂	196402	213
健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）	鈴木 淳平	196402	214
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196501	214
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196502	214
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196503	214
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196504	214
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196601	215
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196602	215
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196603	215

生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196604	215
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196701	215
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196702	215
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196703	215
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196704	215
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196801	216
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196802	216
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196803	216
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196804	216
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196901	216
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196902	216
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196903	216
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196904	216
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197001	217
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197002	217
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197003	217
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197004	217
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197101	217
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197102	217
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197103	217
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197104	217
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197201	218
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197202	218
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197203	218
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197204	218
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197301	218
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197302	218
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197303	218
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197304	218
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197401	219
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197402	219
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197403	219
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197404	219
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197501	219
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197502	219
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197503	219
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197504	219
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197601	220
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197602	220
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197603	220
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197604	220
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197701	220
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197702	220
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197703	220
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197704	220
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197801	221
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197802	221
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197803	221
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197804	221
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（ダブルダッチ）	末次 美樹	197901	221
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（ダブルダッチ）	末次 美樹	197902	221

生涯スポーツ実習III (前期・応用) (ダブルタッチ)	末次 美樹	197903	221
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (ダブルタッチ)	末次 美樹	197904	221
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (ダブルタッチ)	末次 美樹	198001	222
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (ダブルタッチ)	末次 美樹	198002	222
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (ダブルタッチ)	末次 美樹	198003	222
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (ダブルタッチ)	末次 美樹	198004	222
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (卓球)	村松 誠	198101	222
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (卓球)	村松 誠	198102	222
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (卓球)	村松 誠	198103	222
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (卓球)	村松 誠	198104	222
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (卓球)	村松 誠	198201	223
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (卓球)	村松 誠	198202	223
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (卓球)	村松 誠	198203	223
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (卓球)	村松 誠	198204	223
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198301	223
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198302	223
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198303	223
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198304	223
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198401	224
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198402	224
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198403	224
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198404	224
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198701	224
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198702	224
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198703	224
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198704	224
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198801	225
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198802	225
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198803	225
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198804	225
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198901	225
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198902	225
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198903	225
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198904	225
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199001	226
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199002	226
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199003	226
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199004	226
生涯スポーツ演習I (シーズン基礎) (ゴルフ)	光永 吉輝 ・三幣 晴三 ・田中 佳孝 ・佐藤 政之 ・館岡 儀秋 ・村松 誠 ・鈴木 淳平 ・下谷内 勝利	199301	227

生涯スポーツ演習I (シーズン応用) (ゴルフ)	光永 吉輝 ・三幣 晴三 ・田中 佳孝 ・佐藤 政之 ・舘岡 儀秋 ・村松 誠 ・鈴木 淳平 ・下谷内 勝利	199302	227
生涯スポーツ演習II (シーズン基礎) (スキー・スノーボード)	下谷内 勝利 ・江口 淳一 ・鈴木 淳平 ・竹田 幸夫 ・佐藤 政之 ・田中 佳孝 ・山口 良博 ・末次 美樹 ・秋田 浩一	199401	228
生涯スポーツ演習II (シーズン応用) (スキー・スノーボード)	下谷内 勝利 ・江口 淳一 ・鈴木 淳平 ・竹田 幸夫 ・佐藤 政之 ・田中 佳孝 ・山口 良博 ・末次 美樹 ・秋田 浩一	199402	228
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎) (テニス)	江口 淳一	199501	229
生涯スポーツ実習 (集中前期・応用) (テニス)	江口 淳一	199502	229
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎) (ゴルフ)	三幣 晴三	199701	230
生涯スポーツ実習 (集中後期・応用) (ゴルフ)	三幣 晴三	199702	230
健康・スポーツ論 1	高橋 俊介	200801	230
健康・スポーツ論 1	光永 吉輝	200901	231
健康・スポーツ論 2	大石 武士	201201	232
健康・スポーツ論 2	三幣 晴三	201401	233
健康・スポーツ論 2	村松 誠	201601	233
健康・スポーツ論 2	牧野 茂	201801	234
余暇学	秋田 浩一	202001	234
余暇学	三幣 晴三	202201	235

Ⅱ. 専門教育科目

・平成19年度以前入学生で、『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。(P.707)

科目名	担当者名	履修コード	ページ
経営学	藤原 篤志	135901	239
経営学	藤原 篤志	136001	239
経営学	石名坂 邦昭	136011	239
経済学概説	羽鳥 茂	134901	239
経済学概説	羽鳥 茂	135011	239
経済学概説	新井 泰弘	135001	240
簿記学	猿山 義広	135811	240
簿記学	高田 光明	135201	241
簿記学	小田 幹雄	135101	241
簿記学	小田 幹雄	135701	241
簿記学	水野 恵子	135401	242
簿記学	水野 恵子	135601	242
簿記学	水野 恵子	135801	242
簿記学	大野 満奈	135301	242
簿記学	矢島 正	135501	243
会計学	岸田 隆行	136101	243
会計学	岸田 隆行	136211	243
会計学	岩渕 昭子	136201	244
市場戦略概説	兼村 栄哲	136251	244
経営管理論	休講	139701	
経営組織論	日野 健太	140201	245
経済原論	明石 博行	136301	246
近代経済学	滝田 公一	136402	246
財務会計論	山田 純平	142201	247
外書講読(英書I)	中村 公一	144101	247
外書講読(英書I)	中野 香織	144201	248
現代企業論	中川 功一	139411	248
現代企業論	中川 功一	139421	248
経営学史	中川 淳平	139501	249
アメリカ経営学	宮城 徹	141201	250
ドイツ経営学	高橋 成夫	142701	251
経営労務論	鹿嶋 秀晃	140001	251
経営心理学	休講	140051	
生産管理論	休講	142601	
マーケティング論	兼村 栄哲	143201	252
流通システム論	青木 茂樹	143211	252
経営財務論	高田 光明	139901	253
国際経営論	臼井 哲也	142401	253
経営戦略論	中村 公一	143301	254
バンチャー企業論	許 伸江 崔 銀順	143401	254
経営史	前田 和利	139601	255
環境経営論	川村 雅彦	143501	255
日本経営史	大島 久幸	142101	256
商業史	山田 勝	142301	256

リスクマネジメント論	石名坂 邦昭	142351	257
保険経営論	恩蔵 三穂	140401	257
銀行経営論	服部 昌久	141501	258
商業経営論	石川 和男	140301	259
e-ビジネス	安岡 寛道	140851	260
製品開発論	宮下 雄治	143221	260
消費者行動論	菅野 佐織	143231	261
マーケティング・コミュニケーション論	中野 香織	143241	261
マーケティング・チャネル論	青木 茂樹	143251	262
グローバル・マーケティング論	臼井 哲也	143271	262
マーケティング史	石川 和男	143281	263
公益企業論	休講	140801	
経済政策	三好 向洋	119111	264
財政学	速水 昇	141601	264
金融論	渡部 訓	140601	265
国際経済論	永田 智則	141701	265
日本経済論	休講	141401	
証券市場論	勝田 佳裕	142001	266
計量経済学	呉 逸良	143701	266
イノベーション論	羽田 尚子	143601	267
ファイナンス理論	江頭 隆治	143711	267
ゲーム理論A	新井 泰弘	143721	268
ゲーム理論B	新井 泰弘	143731	268
日本経済史	渡辺 新	139301	269
上級簿記	矢島 正	140901	269
管理会計論	猿山 義広	140101	270
会計監査論	阿部 一人	141801	271
税務会計論	高木 克己	141901	272
経営分析論	片桐 伸夫	141301	272
国際会計論	山田 純平	142801	273
経営数学A	飯田 哲夫	136611	273
経営数学B	飯田 哲夫	136621	274
確率・統計入門A	小沢 利久	136631	274
確率・統計入門B	小沢 利久	136641	274
情報処理基礎A	依田 聖	137301	275
情報処理基礎A	宇谷 明秀	137631	275
情報処理基礎A	加藤 武信	137001	276
情報処理基礎A	河内谷 幸子	136701	276
情報処理基礎A	河内谷 幸子	137101	276
情報処理基礎A	岩淵 護	137501	276
情報処理基礎A	若山 大樹	137621	277
情報処理基礎A	小沢 利久	137601	277
情報処理基礎A	村上 友佳子	137201	278
情報処理基礎A	地引 昌弘	136801	279
情報処理基礎A	地引 昌弘	136901	279
情報処理基礎A	長 国強	137611	279
情報処理基礎A	桃塚 薫	137401	280
情報処理基礎B	依田 聖	138501	280
情報処理基礎B	宇谷 明秀	138631	281
情報処理基礎B	加藤 武信	138301	281
情報処理基礎B	河内谷 幸子	137901	282

情報処理基礎B	河内谷 幸子	138001	282
情報処理基礎B	岩淵 護	137801	282
情報処理基礎B	若山 大樹	138621	282
情報処理基礎B	小沢 利久	138601	283
情報処理基礎B	村上 友佳子	138401	283
情報処理基礎B	地引 昌弘	138101	284
情報処理基礎B	地引 昌弘	138201	284
情報処理基礎B	長 国強	138611	284
情報処理基礎B	桃塚 薫	137701	285
情報処理応用A	長 国強	138801	285
情報処理応用A	宇谷 明秀	138901	285
情報処理応用B	長 国強	139001	286
情報処理応用B	宇谷 明秀	139101	286
マーケティング・リサーチA	菅野 佐織	141131	287
マーケティング・リサーチB	菅野 佐織	141141	287
マーケティング・サイエンスA	若山 大樹	141151	288
マーケティング・サイエンスB	若山 大樹	141161	288
経営科学概論	飯田 哲夫	136501	288
マネジメント・サイエンスA	小沢 利久	141111	289
マネジメント・サイエンスB	小沢 利久	141121	289
経営情報システムA	高井 徹雄	141011	290
経営情報システムB	高井 徹雄	140121	290
情報セキュリティA	西村 和夫	142511	291
情報セキュリティB	西村 和夫	142521	291
システム論	宇谷 明秀	143001	291
統計原論	山内 慎二	139201	292
経営統計A	長 国強	140711	292
経営統計B	長 国強	140721	293
民法I（総則・物権法）	須賀 昭徳	127802	293
商法I（総則・会社法）	重田 麻紀子	138701	294
経済法	若林 亜理砂	119701	294
労働法	藤本 茂	098801	295
税法	奥村 正郎	143101	296
民法II（債権法）	上井 長久	143801	297
商法II（商行為、手形・小切手法）	中濱 義章	145001	297
外書講読（英書II）	前田 和利	144211	298
外書講読（独書）	松岡 晋	144301	298
外書講読（仏書）	桑田 禮彰	144401	298
外書講読（中国書）	佐藤 普美子	144501	299
外書講読（スペイン書）	上野 勝広	144601	299
外書講読（ロシア書）	杉山 秀子	144701	299
ビジネス英語	杉山 泰彦	144901	300
特殊講義I〔現代のビジネスモデル〕	猿山 義広	144801	300
特殊講義II〔現代の資本主義と証券市場〕	猿山 義広	101203	301
演習I	青木 茂樹	146811	302
演習I	阿部 一人	146901	302
演習I	飯田 哲夫	146201	303
演習I	石名坂 邦昭	146821	303
演習I	鹿嶋 秀晃	147001	303
演習I	片桐 伸夫	146301	304
演習I	兼村 栄哲	146701	304

演習I	菅野 佐織	146831	305
演習I	岸田 隆行	145801	305
演習I	高井 徹雄	146501	306
演習I	高木 克己	145101	306
演習I	滝田 公一	145401	307
演習I	中川 功一	146841	307
演習I	中川 淳平	147151	307
演習I	永田 智則	145901	308
演習I	中野 香織	146851	308
演習I	中村 公一	147101	309
演習I	西村 和夫	146801	309
演習I	羽鳥 茂	145501	310
演習I	羽田 尚子	147121	310
演習I	日野 健太	147111	310
演習I	藤原 篤志	146601	311
演習I	山田 純平	146101	311
演習I	山田 勝	147131	311
演習I	若山 大樹	146861	312
演習II	青木 茂樹	149911	312
演習II	明石 博行	149201	313
演習II	阿部 一人	147201	313
演習II	飯田 哲夫	148901	313
演習II	石名坂 邦昭	147901	314
演習II	小沢 利久	147301	314
演習II	鹿嶋 秀晃	147401	315
演習II	片桐 伸夫	148601	315
演習II	兼村 栄哲	149901	316
演習II	菅野 佐織	149931	316
演習II	岸田 隆行	150011	317
演習II	猿山 義広	149601	317
演習II	高井 徹雄	149921	318
演習II	高木 克己	148801	318
演習II	高田 光明	148301	319
演習II	滝田 公一	148501	319
演習II	中川 功一	149941	319
演習II	中川 淳平	149501	320
演習II	長 国強	149401	320
演習II	永田 智則	148001	320
演習II	中野 香織	149951	321
演習II	中村 公一	150001	321
演習II	西村 和夫	149101	322
演習II	羽鳥 茂	148701	322
演習II	羽田 尚子	149301	322
演習II	日野 健太	147701	323
演習II	藤原 篤志	149801	323
演習II	前田 和利	148101	323
演習II	宮城 徹	148401	324
演習II	山田 純平	147501	324
演習II	山田 勝	148201	324
演習II	若山 大樹	149961	325
演習III	明石 博行	150801	325

演習Ⅲ	阿部 一人	152501	325
演習Ⅲ	飯田 哲夫	151201	325
演習Ⅲ	石名坂 邦昭	151801	326
演習Ⅲ	小沢 利久	150901	326
演習Ⅲ	鹿嶋 秀晃	152301	326
演習Ⅲ	片桐 伸夫	151001	327
演習Ⅲ	兼村 栄哲	150301	327
演習Ⅲ	岸田 隆行	150601	327
演習Ⅲ	猿山 義広	152601	328
演習Ⅲ	高井 徹雄	152611	328
演習Ⅲ	高木 克己	152101	329
演習Ⅲ	高田 光明	150101	329
演習Ⅲ	滝田 公一	152001	330
演習Ⅲ	中川 淳平	150201	330
演習Ⅲ	長 国強	152401	330
演習Ⅲ	永田 智則	151301	331
演習Ⅲ	中村 公一	151401	331
演習Ⅲ	西村 和夫	152201	331
演習Ⅲ	羽鳥 茂	151901	332
演習Ⅲ	羽田 尚子	150501	332
演習Ⅲ	日野 健太	151601	332
演習Ⅲ	藤原 篤志	150401	333
演習Ⅲ	前田 和利	150701	333
演習Ⅲ	宮城 徹	151701	333
演習Ⅲ	山田 純平	151101	334
演習Ⅲ	山田 勝	151501	334

Ⅲ. 他学部履修科目

・授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの他学部履修科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
外国語禪書講読	マクレイ、J. R.	004101	337
インド仏教文化史	金沢 篤	003801	337
中国仏教文化史	永井 政之	003901	338
日本仏教文化史	袴谷 憲昭	004001	338
中国哲学史	前川 亨	007401	339
インド哲学史	金沢 篤	004401	339
日本哲学史	久保 陽一	007411	339
原始仏教	片山 一良	005301	340
外国語仏書講読	休講	007001	
仏教文献学	野沢 佳美	008901	340
上代文学研究I	中嶋 真也	014101	341
中古文学研究I	桜井 宏徳	014301	341
中世文学研究I	櫻井 陽子	014501	341
近世文学研究I	高木 元	014701	342
近代文学研究I	榎本 正樹	014901	342
演劇概論	森井 直子	016601	343
西洋思想史	河谷 淳	016701	343
比較文学	木村 朗子	017001	343
日本民俗学	谷口 貢	017101	344
イギリス文学特講I	石原 孝哉	025601	344
イギリス文学特講II	高野 正夫	025701	344
イギリス文学特講III	岡崎 寿一郎	025801	345
イギリス文学特講IV	川崎 明子	025901	346
イギリス文学特講V	富士川 義之	026001	347
イギリス文学特講VI	富士川 義之	026101	347
演劇特講（イギリス・アメリカ）	落合 和昭	026201	348
アメリカ文学特講I	東 雄一郎	026401	349
時事英語	杉山 泰彦	027901	349
文化地理学	小田 匡保	033101	350
人口地理学	山内 昌和	035101	350
現代地理学特論	平井 幸弘	041001	351
日本仏教史	松本 信道	046601	351
西洋文化史	西浦 麻美子	046911	351
日本史特講VII〔近代〕	熊本 史雄	048401	352
東洋史特講III〔近世史〕	杉山 清彦	049711	353
考古学特講III	設楽 博己	052911	353
哲学史	山口 祐弘	053201	353
マス・コミュニケーション論	休講	059601	
産業・職業社会学	山田 信行	059701	354
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063901	354
農業政策	溝手 芳計	093501	355
中国経済論	小杉 修二	094701	356
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	094801	357
EU統合論	工藤 芽衣	095001	357
現代西欧経済論	工藤 芽衣	095101	358
ロシア・東欧経済論	休講	095201	

貿易論	古沢 紘造	097601	358
経済法	若林 亜理砂	119701	359
国際政治学	小堀 訓男	126601	359
ヨーロッパ政治史	土井 美徳	126701	360
地方自治法	富井 幸雄	127501	360
比較政治学	三竹 直哉	128201	361
現代国家論	大塚 桂	133801	362
医療宗教学	吉津 宜英	164601	362
医療経済学	奥村 保規	164701	363
メディア・コミュニケーション概論	西岡 洋子	427501	363
情報メディア産業論I	福家 秀紀	432001	364
ネットワークコミュニケーション論	菅谷 実	432201	365
比較メディア制度論	西岡 洋子	432401	366
都市とメディア	高 媛	432501	366
グローバルアート政策論	川崎 賢一	432601	367
情報保護と社会	苗村 憲司	434301	368
映像コンテンツ論	手塚 義治	435001	368
メディアと知識論	齋藤 信男	437101	369

IV. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・帰国生)

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本語入門I a	歌代 礼子	230511	373
日本語入門I b	歌代 礼子	230521	373
日本語入門II a	歌代 礼子	230531	374
日本語入門II b	歌代 礼子	230541	374
日本語I a	佐野 典子	230611	374
日本語I b	佐野 典子	230621	375
日本語I a	多田羅 哲子	230631	375
日本語I b	多田羅 哲子	230641	375
日本語II a	佐野 典子	230711	375
日本語II b	佐野 典子	230811	375
日本語II a	多田羅 哲子	230721	376
日本語II b	多田羅 哲子	230821	376
日本語III a	多田羅 哲子	230911	376
日本語III b	多田羅 哲子	231011	376
日本語III a	湯村 礼子	230921	377
日本語III b	湯村 礼子	231021	377
日本語IV a	歌代 礼子	231111	377
日本語IV b	歌代 礼子	231211	378
日本語IV a	湯村 礼子	231121	378
日本語IV b	湯村 礼子	231221	378
日本語V a	石川 守	231311	379
日本語V b	石川 守	231411	379
日本語V a	多田羅 哲子	231321	379
日本語V b	多田羅 哲子	231421	379
日本語VI a	石川 守	231511	380
日本語VI b	石川 守	231611	380
日本語VI a	多田羅 哲子	231521	380
日本語VI b	多田羅 哲子	231621	380
日本事情I〔地理〕	須山 聡	231701	381
日本事情II〔自然〕	清水 善和	231801	381
日本事情III〔歴史〕	井上 桂子	231901	381
日本事情IV〔思想〕	佐藤 美奈子	232001	382
日本事情V〔社会〕	李 妍炎	232101	382
日本事情VI〔政治・法律〕	三竹 直哉	232201	383
日本事情VII〔文学〕	坂口 博規	232301	383
日本事情VIII〔文化・芸術〕	佐藤 美奈子	232401	384
日本事情IX〔経済〕	渡邊 恵一	232501	384
日本事情X〔経営〕	高井 徹雄	232601	385

V. 随 意 科 目

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英語（海外演習）	—	—	389
フランス語（海外演習）	—	—	389
中国語（海外演習）	—	—	389

I. 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間〔再クラス〕	池田 道浩	341601	397
仏教と人間〔再クラス〕	松本 史朗	341801	397
仏教と人間〔再クラス〕	四津谷 孝道	341901	398

2. 教養教育科目

・平成19年度以前入学生で『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの教養教育科目のページを参照してください。

(1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	342401	401
文学〔日本文学「古典」〕	池田 大輔	342501	401
文学〔日本文学「近代」〕	中西 亮太	342601	402
文学〔日本文学「古典」〕	伊藤 達氏	342701	402
歴史学〔日本近代史〕	林 彰	342801	403
歴史学〔中国史概観〕	小林 惣八	342901	403
歴史学〔アジア史概観〕	山口 洋	343001	403
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之	343101	404
哲学〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理	343201	404
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	343301	404
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	343401	405
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	343501	405
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知章	343601	406
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭彦	343701	406

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	阿部 真大	344201	407
社会学〔現代文化を考える〕	橋爪 敏	344301	407
文化人類学〔文化と人間〕	川上 新二	344401	407
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	344501	408
法学・憲法〔法と権利〕	鶏徳 啓登	344601	408
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	344701	409
政治学〔政治システムと政治参加〕	真下 英二	344801	409
政治学〔国際社会と日本〕	山村 恒雄	344901	410
社会科学論〔社会認識の思想〕	枝松 正行	345101	410
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	345201	411

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順一	345301	412
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	345401	413
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	345501	413
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	345601	414
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	346101	414
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	346201	414
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄	346301	414
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	346401	415
情報数学〔情報と論理〕	小沢 誠	346501	415

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	狩野 晃一	354601	419
英語IB〔再クラス〕	狩野 晃一	354602	419
英語IA〔再クラス〕	近藤 真彰	354701	419
英語IB〔再クラス〕	近藤 真彰	354702	419
英語IA〔再クラス〕	町田 成男	354901	420
英語IB〔再クラス〕	町田 成男	354902	420
英語IIA	前田 脩	349601	420
英語IIA	狩野 晃一	349701	421
英語IIA	西田 義和	349801	421
英語IIA	近藤 真彰	349901	421
英語IIB	落合 和昭	350701	422
英語IIB	佐藤 アヤ子	350801	423
英語IIB	狩野 晃一	350901	423
英語IIB	佐々木 隆	351001	424
英語IIA〔再クラス〕	川崎 浩太郎	355201	424
英語IIB〔再クラス〕	川崎 浩太郎	355202	424
英語IIA〔再クラス〕	岸本 茂和	355301	425
英語IIB〔再クラス〕	岸本 茂和	355302	425
英語IIA〔再クラス〕	笹倉 貞夫	355401	425
英語IIB〔再クラス〕	笹倉 貞夫	355402	425
英語IIA〔再クラス〕	本間 俊一	355501	425
英語IIB〔再クラス〕	本間 俊一	355502	425
ドイツ語IA	清水 修	351401	426
ドイツ語IB	篠原 敏昭	351601	426
ドイツ語IIA	清水 修	351801	426
ドイツ語IIB	篠原 敏昭	351901	427
ドイツ語IA〔再クラス〕	南 はるつ	355601	427
ドイツ語IB〔再クラス〕	南 はるつ	355602	427
ドイツ語IIA〔再クラス〕	本橋 右京	355701	427
ドイツ語IIB〔再クラス〕	本橋 右京	355702	427
フランス語IA	高橋 明美	352001	427
フランス語IB	木下 雄介	352201	428
フランス語IIA	高橋 明美	352401	428
フランス語IIB	木下 雄介	352501	428
フランス語IA〔再クラス〕	長谷川 光明	355801	429
フランス語IB〔再クラス〕	長谷川 光明	355802	429
フランス語IIA〔再クラス〕	長谷川 光明	355901	429
フランス語IIB〔再クラス〕	長谷川 光明	355902	429
中国語IA	塩旗 伸一郎	352601	429
中国語IB	王 聡	352801	429
中国語IIA	秋元 翼	353001	430
中国語IIB	王 聡	353111	430
中国語IA〔再クラス〕	大久保 明男	356001	430
中国語IB〔再クラス〕	大久保 明男	356002	430
中国語IA〔再クラス〕	曹 泰和	356101	431

中国語IB〔再クラス〕	曹 泰和	356102	431
中国語IIA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356201	431
中国語IIB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356202	431
スペイン語IA	大岩 功	353401	431
スペイン語IB	中山 直次	353601	432
スペイン語IIA	大岩 功	353701	432
スペイン語IIB	中山 直次	353801	432
スペイン語IA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356401	433
スペイン語IB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356402	433
スペイン語IIA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356501	433
スペイン語IIB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356502	433
ロシア語IA	廣田 英靖	353901	433
ロシア語IB	廣田 英靖	354001	434
ロシア語IIA	廣田 英靖	354101	434
ロシア語IIB	廣田 英靖	354201	434
ロシア語IA〔再クラス〕	杉山 秀子	356601	435
ロシア語IB〔再クラス〕	杉山 秀子	356602	435
ロシア語IIA〔再クラス〕	杉山 秀子	356701	435
ロシア語IIB〔再クラス〕	杉山 秀子	356702	435

《選択科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英会話I	ロビン、G. F.	351201	436
英会話II	ロビン、G. F.	354301	436
英語L L I	川崎 浩太郎	351301	436
英語L L II	林 明人	354401	437

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ論	村松 誠	341201	441
健康・スポーツ論	三幣 晴三	341301	441
健康・スポーツ実習(バドミントン)〔再クラス〕	秋田 浩一	340201	442
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)〔再クラス〕	大石 武士	340201	442
健康・スポーツ実習(バドミントン)〔再クラス〕	秋田 浩一	340301	442
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)〔再クラス〕	大石 武士	340301	442
健康・スポーツ実習(卓球)〔再クラス〕	村松 誠	340501	443
健康・スポーツ実習(バドミントン)〔再クラス〕	三幣 晴三	340501	444
生涯スポーツ実習(集中前期・基礎)	休講	—	/
生涯スポーツ実習(集中前期・応用)	休講	—	/
生涯スポーツ実習(集中後期・基礎)	休講	—	/
生涯スポーツ実習(集中後期・応用)	休講	—	/
生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎)(ゴルフ)	光永 吉輝 ・佐藤 政之 ・下谷内 勝利 ・鈴木 淳平 ・館岡 儀秋 ・田中 佳孝 ・村松 誠 ・三幣 晴三	199301	227
生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン応用)(ゴルフ)	光永 吉輝 ・佐藤 政之 ・下谷内 勝利 ・鈴木 淳平 ・館岡 儀秋 ・田中 佳孝 ・村松 誠 ・三幣 晴三	199302	227
生涯スポーツ演習Ⅱ(シーズン基礎)(スキー・スノーボード)	下谷内 勝利 ・江口 淳一 ・鈴木 淳平 ・竹田 幸夫 ・佐藤 政之 ・田中 佳孝 ・山口 良博 ・末次 美樹 ・秋田 浩一	199401	228
生涯スポーツ演習Ⅱ(シーズン応用)(スキー・スノーボード)	下谷内 勝利 ・江口 淳一 ・鈴木 淳平 ・竹田 幸夫 ・佐藤 政之 ・田中 佳孝 ・山口 良博 ・末次 美樹 ・秋田 浩一	199402	228

II. 専門教育科目

- ・平成19年度以前入学生で『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスB生の科目ですが、フレックスA時間帯に開講しています。フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
経営学	宮城 徹	328001	447
簿記学	小田 幹雄	328101	448
簿記学	大野 満奈	328301	448
経済学概説	三好 向洋	328501	449
会計学	岩渕 昭子	328601	449
経営数学A	飯田 哲夫	328711	449
経営数学B	飯田 哲夫	328721	450
情報処理基礎A	桃塚 薫	328801	450
情報処理基礎A	依田 聖	328901	451
情報処理基礎A	加藤 武信	329001	451
情報処理基礎B	桃塚 薫	329101	452
情報処理基礎B	加藤 武信	329201	452
情報処理基礎B	依田 聖	329301	453
経営学史	中川 淳平	330301	453
アメリカ経営学	休講	332701	
ドイツ経営学	高橋 成夫	333901	453
経営管理論	枝松 正行	330101	454
経営組織論	日野 健太	331301	454
経営労務論	鹿嶋 秀晃	331001	455
経営心理学	休講	331851	
生産管理論	藤原 篤志	333801	455
マーケティング論	休講	334401	
経営財務論	高田 光明	331101	456
国際経営論	休講	333401	
経営戦略論	中村 公一	330001	456
現代企業論	休講	330211	
ベンチャー企業論	許 伸江 崔 銀順	329601	457
公益企業論	休講	331401	
環境経営論	白鳥 和彦	329701	457
経営史	前田 和利	330601	458
日本経営史	大島 久幸	333001	458
商業史	山田 勝	331501	459
保険経営論	恩蔵 三穂	332601	459
銀行経営論	服部 昌久	331901	460
商業経営論	石川 和男	331601	461
上級簿記	矢島 正	333201	461
財務会計論	休講	332201	
管理会計論	休講	331201	
会計監査論	阿部 一人	331801	462
原価計算論	岸田 隆行	330701	463
税務会計論	高木 克己	332301	463

経営分析論	片桐 伸夫	332801	464
国際会計論	山田 純平	334001	464
経済原論	明石 博行	330501	465
近代経済学	滝田 公一	330901	465
経済政策	休講	334811	
財政学	速水 昇	333301	466
金融論	渡部 訓	333101	466
国際経済論	永田 智則	332101	467
日本経済論	羽鳥 茂	332901	467
証券市場論	勝田 佳裕	332401	468
計量経済学	呉 逸良	329901	468
イノベーション論	羽田 尚子	329801	469
ファイナンス理論	江頭 隆治	331011	469
日本経済史	渡辺 新	330801	470
経営科学概論	西村 和夫	330401	470
※ マネジメント・サイエンスA	小沢 利久	141111	471
※ マネジメント・サイエンスB	小沢 利久	141121	471
情報処理応用A	宇谷 明秀	329401	472
情報処理応用B	宇谷 明秀	329501	472
情報セキュリティA	西村 和夫	333611	472
情報セキュリティB	西村 和夫	333621	473
経営情報システムA	岩渕 匠	332511	473
経営情報システムB	岩渕 匠	332521	474
システム論	休講	334201	
統計原論	山内 愼二	333701	474
経営統計A	長 国強	332011	475
経営統計B	長 国強	332021	475
※ 流通システム論	青木 茂樹	143211	476
※ ゲーム理論A	新井 泰弘	143721	476
※ ゲーム理論B	新井 泰弘	143731	477
※ e-ビジネス	安岡 寛道	140851	477
※ グローバル・マーケティング論	臼井 哲也	143271	478
※ 消費者行動論	菅野 佐織	143231	478
※ 製品開発論	宮下 雄治	143221	479
※ マーケティング・コミュニケーション論	中野 香織	143241	479
※ マーケティング・サイエンスA	若山 大樹	141151	480
※ マーケティング・サイエンスB	若山 大樹	141161	480
※ マーケティング・チャネル論	青木 茂樹	143251	481
※ マーケティング・リサーチA	菅野 佐織	141131	481
※ マーケティング・リサーチB	菅野 佐織	141141	482
※ マーケティング史	石川 和男	143281	483
リスクマネジメント論	石名坂 邦昭	331551	484
民法	織田 晃子	307802	484
商法	井上 健一	308802	485
労働法	藤本 茂	325101	486
税法	奥村 正郎	334301	487
外書講読(英書)	日野 健太	334701	487
外書講読(英書)	速水 昇	334801	487
※ 外書講読(独書)	松岡 晋	144301	488
※ 外書講読(仏書)	桑田 禮彰	144401	488
※ 外書講読(中国書)	佐藤 普美子	144501	488

※ 外書講読（スペイン書）	上野 勝広	144601	489
※ 外書講読（ロシア書）	杉山 秀子	144701	489
ビジネス英語	杉山 泰彦	334501	489
※ 特殊講義I〔現代のビジネスモデル〕	猿山 義広	144801	490
※ 特殊講義II〔現代の資本主義と証券市場〕	猿山 義広	101203	490
演習I	阿部 一人	334901	491
演習I	岩渕 昭子	335501	491
演習I	大島 久幸	335601	491
演習I	奥村 正郎	335701	492
演習I	小沢 利久	335001	492
演習I	兼村 栄哲	335201	493
演習I	中川 淳平	335301	493
演習I	服部 昌久	335401	494
演習I	依田 聖	335101	494
演習II	大野 満奈	336501	494
演習II	小田 幹雄	336601	495
演習II	鹿嶋 秀晃	336301	495
演習II	片桐 伸夫	336001	496
演習II	加藤 武信	336701	496
演習II	猿山 義広	336101	497
演習II	園田 哲男	335901	497
演習II	滝田 公一	336201	497
演習II	渡辺 新	336401	498

Ⅲ. 他学部履修科目

・授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの他学部履修科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
商学総論	大吹 勝男	307501	501
商業政策	番場 博之	309301	502
アジア経済論	鄭 章淵	310001	503
中小企業論	休講	311311	
中小企業政策論	休講	311401	
人口論	休講	311701	
社会政策	休講	311801	
社会思想史 a	休講	312611	
社会思想史 b	休講	312621	
日本法制史	茂野 隆晴	324001	504
西洋法制史	休講	324101	
法思想史	高橋 洋城	324201	505
経済法	荒井 登志夫	325201	506
国際関係論	三船 恵美	325401	507
地方自治法	富井 幸雄	326001	507
国際紛争解決法	王 志安	326201	508
倒産処理法	鈴木 貴博	326801	508

IV. 随 意 科 目

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英語（海外演習）	—	—	389
フランス語（海外演習）	—	—	389
中国語（海外演習）	—	—	389

経 営 学 科

経営学科フレックスA

市 場 戦 略 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

履修コード	204801
科目名	仏教と人間
担当者名	村松 哲文

講義のねらい 東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点 仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法 定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書 適宜プリントを配布する。

参考書等 講義中に紹介する。

履修コード	204901
科目名	仏教と人間
担当者名	吉村 誠

講義のねらい 駒沢大学の建学の理念である「仏教」について理解を深めてもらうための講義です。仏教が現代に生きる私たちにとっていかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすのかということを学問的見地から考察してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール （前期）（1）仏教とは何か （2～7）ブッダとその教え （8～13）仏教の多様な展開
（後期）（1）東アジアの仏教 （2～7）インドから中国へ （8～13）中国から周辺諸国へ

履修上の留意点 授業は講義形式なので、ノートの準備が必要です。また、講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してありますので、欠席しないようにしてください。

成績評価の方法 出席状況と試験結果を総合して評価します。

教科書 最初の授業で指示します。

履修コード	205001・205121
科目名	仏教と人間
担当者名	池上 光洋

講義のねらい 現在の日本社会には「宗教」を毛嫌いする傾向が見られるが、安易な宗教批判や宗教否定は、実はそれ自体が“宗教的”であることが多い。

皆さんの学舎である本学は、曹洞宗系の私学であり、「建学の理念」も仏教思想を背景としたものである。講義を通して建学の精神を理解するとともに、仏教を学ぶことによって「正しくものを見る」ことを身につけていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、仏教を開いた釈尊と日本曹洞宗の祖・道元禪師の教え（＝教義仏教）を中心に学んでいきたい。

後期は、教義仏教をもととしながらも様々な展開し、現代の日本社会にも深いかかわりをもつ宗教事例（＝民俗仏教）について検討していきたい。

履修上の留意点 専用のノートを用意すること。

成績評価の方法 出席点（不定期に出席を取る）、小作文（不定期に数回）、前期レポート、後期試験を総合して評価する。

教科書 プリントを配布。

参考書等 講義中に随時紹介する。

その他 私語・携帯電話・メール等厳禁、ひどい場合は退室を要請する。講義開始後30分以降は、特別の事情が無い限り入室禁止。

履修コード	205101
科目名	仏教と人間
担当者名	新井 一光

講義のねらい	インド仏教の歴史と基本思想を概観し、仏典及び古典インド文献の読解を通して、古代インド社会と仏教の関係を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 仏教以前のインド及びインド仏教の歴史と基本思想を概観する。(a) イントロダクションー仏教学について、(b) 仏教以前のインド(ヴェーダ、ウパニシャッド)、(c) 釈尊の伝記、(d) 原始仏教の思想(縁起説、無我説等)、(e) 部派仏教と大乘仏教、(f) 大乘仏教の展開。 (後期) 仏典及び古典インド文献を現代語訳を用いて講読する。古代インドにおける大乘仏教と王権の関係をテーマとして、まずナーガールジュナ著『宝行王正論』第4章から読み始める。
履修上の留意点	授業は講義形式で進めるが、参加者に資料、テキストを読んでもらい質問を当てるので、積極的な取り組みが要求される。
成績評価の方法	出席状況及び平常点、しばしば行う小テストによって総合的に評価する予定である。
教科書	資料を配布する。後期には次のテキストを用いる。
参考書	瓜生津陰真訳『宝行王正論』『大乘仏典14 龍樹論集』中公文庫、2004年、296-313。 その他教場で指示する。

履修コード	205111
科目名	仏教と人間
担当者名	伊藤 隆壽

講義のねらい	本講座は、建学の理念に基づき、「仏教」や「禅」についての正しい知識を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1. 仏になる教え(1~3) 2. 中道(4~7) 3. 八正道(8~12) 4. 菩薩の道(13~17) 5. 成仏への道(18~20) 6. 念仏(21~22) 7. 唱題(23~24) 8. 禅(25~28) 9. 信仰と社会(29~30)
履修上の留意点	教科書は早めに購入し、前期中に各自通読すること。
成績評価の方法	評価は年度末の試験によるが、授業への出席状況も考慮するので欠席しないこと。
教科書	松本史朗著『仏教への道』(東京書籍)1, 400円
参考書	主要参考書は、袴谷憲昭『仏教入門』(大蔵出版)

履修コード	205701
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	よしず よしひで 吉津 宜英

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましょう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましょう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動（new spirituality movement）という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書
参考書等
その他

特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します
講義の中で随時参考図書を紹介します。
私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

履修コード	205801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	しもむら かづと 下室 覚道

講義のねらい

日本は仏教国といわれるが、どれほどの人が仏教について理解しているであろうか。本講義では、仏教の開祖である釈尊の生涯や基本的な教え、仏教各地への伝播状況などについて理解し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えていきたい。また、仏教と現代社会のさまざまな問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって、釈尊の生涯とその教えを見ていく。次に釈尊亡き後の仏教の展開をたどり、各地域への仏教の伝播状況、その特色などについて学んでいく。特に伝播過程における日本曹洞宗の開祖である道元禅師については細かく取り上げていきたい。また、仏教と現代社会の問題においては、臓器移植や人権の問題に関して随時紹介していきたい。

履修上の留意点

仏教の基本的な知識を習得し、生きる指針にして欲しい。
授業の出席状況、年度末試験により評価する。

成績評価の方法

教科書

松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）

参考書等

尚、プリントを随時配布する。

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

奈良康明『ブッダ 知れば知るほど』（実業之日本社）など

履修コード	205901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	おだに てつ夫 大谷 哲夫
講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点	<p>釈尊の生涯とその教え。インド・中国・日本における仏教とくに禅仏教の流れ。特に本学の建学の理念の母胎を形作った禅の考え方を曹洞禅を中心にして講義を進める。</p> <p>日本文化の基礎の一面を担った仏教を理解し、現代における日本人としての自分自身の存在を常に意識してもらいたい。</p>
成績評価の方法	出席状況とレポートを加味して評価する。
教科書	特になし。必要な資料は随時配布する。
参考書等	必要に応じて適宜指示する。

履修コード	206001
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	はらやま しゆん英 晴山 俊英

講義のねらい 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・
授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 ー四諦八正道から六波羅蜜までー
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 ー五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観ー
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 ー大乘仏教の特質と思想、大乘經典ー
- 第17回～第24回：中国仏教 ー伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立ー
- 第25回～最終回：日本仏教 ー伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代ー

履修上の留意点

上記、回数はいくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。
 仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。
 特になし。板書が中心となる。
 授業において必要があれば適宜指示する。
 試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

履修コード	206101
科目名	自然と宗教
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬

講義のねらい 人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

成績評価の方法

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日の評価・議論を概観、紹介する予定です。

教科書
参考書等

評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
 原則として教科書は用いません。
 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	206201
科目名	社会と宗教
担当者名	<small>やの ひでたけ</small> 矢野 秀武

講義のねらい 宗教は、心の次元の事柄であり、深い精神性に関わり、また言い尽くしがたい個々人の思いや人生と密接なつながりをもっている。しかし、それらの信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 前期はおもに、宗教集団の形成や変容の過程、カルト問題、現代文化における儀礼・祭礼や精霊信仰などをとりあげ、宗教社会学と宗教人類学に関わる基礎知識を学ぶ。後期は、戦争やテロリズムなどの社会的暴力、ナショナリズム、民主主義、法律、教育、福祉活動といったテーマと宗教の接点をとりあげ、宗教が私的な信仰心の側面だけでなく、社会一般の制度と関わる公的側面を持っている点について解説する。

成績評価の方法 レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

参考書等 授業時に随時紹介する。

履修コード	206301
科目名	文化と宗教
担当者名	<small>さとう のりあき</small> 佐藤 憲昭

講義のねらい 私たちは自分の好みに合わせて、例えば、服装の色を選択しているが、冠婚葬祭などにおいては当該社会に伝承され、社会で期待されている色彩の服装を身につけるのがふつうである。色彩の問題は服装ばかりではなく、多方面に及んでいる。しかも色彩の象徴的意味は、民族が異なると正反対の意味をもつなど、決して人類に普遍的なものではない。この講座では、内外の事例を紹介しながら、カラー・シンボリズムについて、その文化的背景に焦点を合せて考察し、「文化と宗教」の問題に接近してみたい。

講義の内容・授業スケジュール 次のテーマのもとに具体的に考察する。
1. 人類学の視点と方法 (1～3)、2. 文化の概念 (4～6)、3. 文化の特質と機能 (7～9)、4. 文化と社会構造 (10～12)、5. 文化人類学・民俗学における色彩の研究小史 (13～15)、6. 通過儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題 (16～18)、7. 仏教儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題 (19～24)、8. 王権のカラー・シンボリズム (25～26)、9. 宗教的職能者のカラー・シンボリズム (27～29)、10. 総括 (30)。

履修上の留意点 とくどき出席をとるので、欠席をする場合 (または出席をした場合) には、欠席届 (形式は任意) を提出することが望ましい。

成績評価の方法 学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、出席点とレポート点 (4年生のみ該当) を加算して最終評価を行う。4年生のみの提出レポートは、次の通りである。【課題】教科書を読み、その感想文を作成する。【字数】2000字。【提出先と時期】12月までの授業時に随時受けつける。【その他】ワープロ作成可。ただし、授業時以外は受理しない。4年生は必ず提出のこと。なお、追試験は実施する。

教科書参考書等 佐々木宏幹『神と仏と日本人――宗教人類学の構想――』(吉川弘文館)
授業中に随時紹介する。

履修コード	206401・206501
科目名	坐禅
担当者名	佐藤 秀孝・池上 光洋

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思ひ、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。事前登録科目ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

適宜、プリントにて配布します。

『坐禅一講本一』(更生社) 2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

履修コード	206701
科目名	文学〔日本文学「日本のことば」〕
担当者名	相澤 <small>あいざわ たかゆき</small> 貴之

講義のねらい 本講義は、日本のことばについて、ときに深く、ときに広く、考え、学ぶものである。講義は現代語の国語辞典をテーマとして進めていく。国語辞典に関する基本事項の確認から始め、それをふまえて、国語辞典を起点として社会や文化の諸相を捉えることで、現代日本語に対する感覚、及び日本文化に対する感覚を磨く。

講義の内容・授業スケジュール 現代語の国語辞典の基本的な使い方の確認、辞典の比較研究などを通して現代の日本語を考える。更には、現代日本語文法、方言、外国語などとの関連事項を盛り込み、講義を進めていく。講義の流れは次の通りである。

履修上の留意点 前期1～5) 辞典の基本、6～10) 辞典の比較、11～15) 現代日本語文法との関わり、後期1～5) 辞典の研究、6～10) 方言との関連、11～15) 外国語との関連

講義の中では、紙媒体の辞典を中心にさまざまな国語辞典を利用していくが、新たに辞典を購入する必要はない。各自既持っている辞典を利用すれば良い。電子辞書も可。ただし、常に辞典を引くという習慣を持って講義に臨むことを強く求める。

成績評価の方法 成績は、①前期3回、後期3回(通年で合計6回)課外レポート、②出席状況、③授業態度、の3項目により総合的に評価する。

教科書 授業時にプリントを配布する。
参考書等 授業中に指示する。

履修コード	207001
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	石割 <small>いしわり とおる</small> 透

講義のねらい 日本近代文学史のうえで、重要な位置を占め、多くの読者に愛され続けている芥川龍之介の文学を中心に検討する。その表現、短編小説の方法、などを探り、1910年代から20年代の時代状況も考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 1、芥川龍之介の短編を読む「老年」「ひよつとこ」など(3) 2、「羅生門」「鼻」「芋粥」などを「今昔物語集」の説話と対照して(5)、3、中期の作品「袈裟と盛遠」など(4) 4、「地獄変」「奉教人の死」(5)などの代表的な作品を読む。それに同時代の作家の作品を絡めて話したい。

履修上の留意点 前もって、その授業で扱う作品をできるだけ読んで授業にのぞむこと。図書館などに積極的に足を運ぶように。

成績評価の方法 年2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。

教科書 特に指示しないが、扱う作品は、文庫本で読める。「芥川龍之介全集1～6」(ちくま文庫)など。

参考書等 授業時に指示する。
その他 講義形式で進める。プリントなどは必要な際に、その都度準備する。

履修コード	207301
科目名	文学〔外国文学「アメリカ文学」〕
担当者名	田中 <small>たなか たちつ</small> 保

講義のねらい アメリカ文学の大潮を辿りながら、主要な作家とその代表作品を取り上げて、アメリカ文学を味わいながら、多角的にアメリカという国を考察してみる。

講義の内容・授業スケジュール [1] オリエンテーション(1)、アメリカ文学とは(2)、アメリカ植民地時代の文学(3～5)、南部ヴァージニアの文学(6～8)、北部ニューイングランドの文学(9～11)、アメリカ独立革命時代の文学(12～15) [2] ベンジャミン・フランクリン(1)、ナサニエル・ホーソーン(2～3)、ハリエット・ピーチャー・ストウ(4)、ハーマン・メルヴィル(5)、マーク・トウェイン(6)、F. S. フィッツジェラルド(7)、ウィリアム・フォークナー(8)アーネスト・ヘミングウェイ(9)、ジョン・スタインベック(11)、テネシー・ウィリアムズ(12)、トルーマン・カポーティ(13)、J・D・サリンジャー(14)、マーガレット・ミッチェル(15)

履修上の留意点 前期は講義形式で、足早にアメリカ文学を概観します。後期は主な作家の一覧表から興味ある作家をひとり選んでその作家の作品を選び、グループ編成をして、発表していただく。

成績評価の方法 ノート提出、レポート提出、発表、出席状況等で総合的に評価する。

教科書 特に使用しません。ときどきプリントを使用します。
参考書等 参考書等は授業の際に、適宜紹介します。

履修コード	207801
科目名	歴史学〔日本中世史〕
担当者名	今野 慶信 <small>こんの ましのぶ</small>

講義のねらい 歴史学は「史料」に基づいた科学である。なかでも日本中世史は、明治時代、日本と西欧封建制との比較研究から生まれてきた学問分野であり、日本中世封建制度の研究は長く学界を規定してきた。しかし今日、その発展形である唯物史観に基づいた「戦後歴史学」の見直しが叫ばれ、一方では網野善彦氏の研究などに代表される社会史が学界に旋風を巻き起こしてきた。近年の日本中世史研究は、こうした流れを受け、さまざまな資料、例えば系図や絵画などを駆使して、豊かな中世史像を生み出すことに成功している。本講義では、そうした日本中世史の最新の研究動向を紹介しつつ、受講生には歴史・文化や地域に知的好奇心を持ち、過去へのまなざしと現代社会への視点を養ってもらいたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール 講義で扱う時代範囲は、平安時代末期から江戸時代初期までであるが、時代の流れを追いつつも、各回毎にテーマを設定しつつ、今ホットなトピックも努めて紹介していくことにしたい。とりわけ、近年活況を呈している地域史研究の分野において、現在我々が暮らしている関東・東京地域史研究の成果を随時紹介していくことにしたい。

履修上の留意点 授業で配布する資料を貼り込むなど、ノート作りには工夫してもらいたい。

成績評価の方法 定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書 なし。随時コピーを配布する。

参考書等 随時紹介する。

履修コード	208401
科目名	芸術学〔日本美術〕
担当者名	北野 良枝 <small>きたの よしえ</small>

講義のねらい 室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容・授業スケジュール 前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) ～ (12) 狩野正信・元信 (13) ～ (15) 狩野永徳と桃山画壇

後期 江戸時代の絵画
 (16) 江戸時代の狩野派 (17) ～ (20) 琳派
 (21) ～ (22) 浮世絵 (23) 南蘋派
 (24) 文人画 (25) ～ (26) 秋田蘭画と司馬江漢
 (27) 円山四条派 (28) 伊藤若冲と曾我蕭白
 (29) ～ (30) 江戸から明治へ

履修上の留意点 授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等 画像を映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒沢大学図書館に所蔵されている。

- 『原色日本の美術』(小学館)
- 『日本美術全集』(学習研究社)
- 『日本美術絵画全集』(集英社)
- 『日本美術全集』(講談社)

履修コード	208501
科目名	芸術学〔西洋美術〕
担当者名	矢野 陽子

講義のねらい ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因にも関係しています。この講義では私たちが異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点 前期 16世紀および17世紀のフランス美術
 後期 18世紀のフランス美術
 作品の画像をスクリーンに映してそれを見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法 夏休みの課題レポートを提出し、学年末の試験を受けた学生を評価の対象とします。レポートや試験の形式などは授業中に説明します。

参考書等 高階秀爾『フランス絵画史』講談社学術文庫
 大野芳材『フランス近世の美術』財務省印刷局
 その他、授業中に適宜紹介します。

履修コード	208601
科目名	芸術学〔音楽〕
担当者名	浦本 裕子

講義のねらい 音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のもので聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。

そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール
 前期：諸民族の音楽・1-3概論 4-7ヨーロッパ 8-15アジア
 後期：西洋音楽史・1-2楽器 3-4中世・ルネサンス 5-7バロック 8-10古典派 11-13ロマン派 14-15近世

履修上の留意点
 ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
 ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法 前期：試験またはレポート
 後期：試験

教科書 柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）
参考書等 藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）
 久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）
 岡田暁生 『西洋音楽史』

履修コード	208701
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	<small>たきぐち きよえい</small> 滝口 清栄

講義のねらい 西洋思想は古代ギリシアで哲学的思索が始まってからすでに二千数百年の歴史をもっている。とかく現代では、目新しさを求める風潮が強くある。そしてさまざまな流行が私たちを囲んでおり、思想の世界もこの風潮を免れていない。しかし、この二千数百年の歴史は、けっして遺物の山なのではない。そうではなく、この歴史のなかでさまざまなテーマが多く思想家たちによって提出されて、さまざまな応答がなされてきた。それらは、今日のさまざまな思想的論点の底流を形作っていると言っても、言い過ぎではないだろう。

講義の内容・授業スケジュール 西洋思想の源流として、古代ギリシア・ローマの諸思想、そして中世の思想を取り上げる。講義にあたっては、それぞれの思想の検討だけでなく、その思想の背景にある歴史的な事情や当時の文化のあり方にも目配りをおこなう。講義スケジュールは次のようにする。

前期 ① 万物のはじめをもとめて（ソクラテス以前の哲学者たちの思索を検討する）、② ポリスの思想家たち（ソクラテス、プラトン、アリストテレスなど）

後期 ① ヘレニズム時代のコスモポリートたち（エピクロス、初期ストア派の思想家たち）、② 中世の思想（アウグスティヌス、トマス・アクィナスなど）、③ 近代の幕開け

履修上の留意点 講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法 中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。

教科書 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』、公論社、3200円

履修コード	208901
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	<small>かわたに あつし</small> 河谷 淳

講義のねらい この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。授業ではできるだけ具体的な事例を挙げることで「哲学する」ことを身近に感じてもらえるように努めたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期：Aギリシア哲学：哲学の始まり
序論(1,2)
ソクラテス以前の哲学(3～6)
ソクラテスの「無知の自覚」(7～9)
プラトンのイデア論(10～12)
アリストテレスの質料形相論(13,14)
ヘレニズム期の哲学(15)

後期：Bキリスト教哲学：信仰と合理性
アウグスティヌスの時間論(16)
神の存在証明（アンセルムス、トマス・アクィナス）(17,18)
普遍論争（唯名論と実在論）(19,20)

C近代哲学：認識論的転回
大陸合理論：デカルトにおける「私」(21～23)
イギリス経験論：ロック、バークリ、ヒューム(24～26)
カント哲学：コペルニクスの転回(27～)

成績評価の方法 前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）

履修コード	210001
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>

講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1)(2)「論理的」とはということか (3)主張文の基本構成 (4)～(6)問題設定のしかた (7)～(9)根拠づけの考えかた (10)～(13)結論のつけかた (14)～(16)論証の基本原則 (17)(18)文献を使って文章を書く(1)－その意義 (19)～(22)文献を使って文章を書く(2)－文献を読む (23)～(28)文献を使って文章を書く(3)－文章を書く (29)(30)文章作成の倫理
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート試験(1月定期試験時提出)によって判定。このほか、随時課する小レポート(内容要約、など：期日厳守)をプラス材料として考慮する。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由(なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか)」をとりあげる。 教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) 副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書等その他の他	そのつど指示する。 上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

履修コード	210101
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	鈴木聡 <small>すずき さとる</small>

講義のねらい	論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことがらである。
講義の内容・授業スケジュール	(1)プロローグ・(2)文論理における文の記号化・(3)文論理の言語・(4～7)文論理の意味論・(8～14)文論理の統語論・(15)中間試験・(16・17)第一階量化論理の基本概念・(18・19)第一階量化論理の言語など・(20・21)多重量化・(22～29)第一階量化論理の統語論・(30)期末試験。
履修上の留意点	欠席・遅刻は一切認めない。
成績評価の方法	成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。
教科書	配布プリント
その他の他	本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

履修コード	210201
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	<small>こじま ゆうこ</small> 小島 優子

講義のねらい 論理力は、自分の考えていることを他人に納得のゆくように筋道立てて説明するさいに、必要となる。そして論理的に文章を書くためには、論理学の構造を学ぶだけではなく、論理学の問題練習を行うことが必要である。そのために講義では毎回、問題演習を行う。いわゆる悪文と良文とはどこが異なるのか。わかりやすい文章、論理的につじつまの合う文章を書くために必要な事柄は何であるのか。講義では毎回、参考となる文章を取り上げて、論理的な文章を書き、論理的な構造を把握し身につけるためのトレーニングを行う。最終的には、論理的な力を身につけ、レポートや、論文を書くための力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス 論理学とは何か
- 2 さまざまな接続関係
- 3 接続の構造
- 4 議論の組み立て
- 5 論証の構造と評価
- 6 演繹と推測
- 7 価値評価
- 8 否定
- 9 条件構造
- 10 推論の技術
- 11 批判への視点
- 12 論文を書く

履修上の留意点

論理力を身につけるためには、論理力トレーニングが必要となるので、講義に出席することが大事である。このために出席を重視する。

成績評価の方法

一回の定期試験（中間試験）と、一回の年度末レポート、および平常点（授業時に適宜与える課題）で評価する。定期試験とレポート、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつと指示する。

履修コード	210501
科目名	科学史〔近代科学の成立と展開〕
担当者名	<small>たかはし しゅうゆう</small> 高橋 秀裕

講義のねらい 17世紀科学革命における経験主義の起源の一つとして、魔術的伝統が挙げられる。しかし魔術のような非合理的な伝統が合理主義の追求である近代科学に影響を及ぼしたとは考えられないと言った科学史家もいる。果たしてそう言えるのだろうか？この授業では、ルネサンス期において興隆をみた魔術的伝統とはどのようなものであったか、それが多様かつ複雑なものであったことを理解し、その中で、脱神秘化していく魔術と理論化される技術に焦点をあて、とくに「遠隔力」概念の形成において、科学が魔術と占星術から大いなる刺激を受けた、その事情を探る。

講義の内容・授業スケジュール

磁力の発見をめぐる話題から出発し、魔術と科学のはざまに焦点を当てながら、近代科学の形成過程に「魔術」が果たした役割を探る。とくに磁力と重力の発見過程を歴史的に追跡し、17世紀機械論哲学と力概念の発展について講義する。

履修上の留意点

いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法

出席・随時レポートによる平常点（40%）および定期試験（60%）の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に適宜紹介する。

その他の

講義形式、随時プリント配布

履修コード	210601
科目名	倫理学〔人間観〕
担当者名	ふるた ともあき 古田 知章

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答、そして、われわれ自身の生きる目標としての人間観が提示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義を行い、Iを前期、IIを後期で扱う予定）。

- I. 人間観の形成の歴史とその伝統
 1. 人間と倫理 一人間であるために一
 2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
 3. 中世キリスト教思想における人間観
 4. 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革一
- II. 新しい時代の人間観
 1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
 2. 自己の内面性と他者の問題
 3. 人格 一ロックを手がかりに一
 4. 人間存在と自由

成績評価の方法
教科書
参考書等

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
『原典による哲学の歴史』（公論社）
講義の際にその都度紹介する。

履修コード	210701・211111
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	くろさき つとむ 黒崎 剛

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」一「価値」や「義務」、「習慣」といった一の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理――講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」――人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法
教科書

レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。
教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

履修コード	210801
科目名	倫理学〔価値観〕
担当者名	久保 陽一 <small>いほ しょういち</small>

講義のねらい	今日、例えば、自然環境保護をめぐる、生物に対して「固有の価値」を認めるか、人間にとって有益な「道具的価値」のみを認めるかが、議論されている。倫理思想では常に何が善で何が悪か、何が「価値」あるものかが問題とされている。そこで本講義では古今東西の倫理思想における価値観をとりあげ、その流れを捉えることにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 仏教、儒教、老荘思想、古代ギリシア哲学、キリスト教 2 近代哲学（カント、経験論・功利主義、ヘーゲルなど）の価値観 3 現代の環境倫理学など
履修上の留意点	私語をつつしめ、よくノートを取ることを。講義内容の疑問点は率直に問うこと（随時、質問表を配る）。
成績評価の方法	出席の割合、中間と期末の試験、レポート
教科書	久保・河谷編「原典による哲学の歴史」（公論社）
参考書等	授業中に紹介する。

履修コード	210901
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>

講義のねらい	倫理学の一部門、応用倫理学について、その基本構成、重要な成果、さらには限界を探っていく。我々の人間的な生にとって、なにが善いことでなにが悪いことなのか、といった道徳的な価値判断は本質的な契機をなしている。しかし、社会が複雑化し科学技術が極度に発展した現代においては、そのような価値判断のよりどころが判明でないような場面が多々出現するようになっている。物事の根本に立ち戻って哲学的に思考することによって、そのような場面に一定の見通しを与えることを試みる。
講義の内容・授業スケジュール	[1回～5回] 倫理学とはなにか（倫理学の基本概念を紹介する。） [6回～10回] 応用倫理学とはなにか（応用倫理学の哲学的な位置づけなど。） [11回～15回] 生命倫理学の諸問題（中絶の問題、安楽死の問題、臓器移植の問題など。） [16回～20回] 環境倫理学の諸問題（地球温暖化の問題、希少動物保護の問題など。） [21回～25回] その他の諸問題（戦争における倫理、企業活動の倫理など。） （＊残りは予備日。また、あくまで目安である。）
履修上の留意点	講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。
成績評価の方法	学年末試験を行う。その他に、講義中に提出してもらった課題を評価の対象とする。具体的には中間レポート等を考えている。出席については受講者数をみてとるかどうかが決める。
教科書	講義中に適宜指定する。
参考書等	久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。 その他のものについては講義中に適宜指定する。

履修コード	211001
科目名	倫理学〔制度とモラル〕
担当者名	<small>たきぐち きよみ</small> 滝口 清栄

講義のねらい 人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的の制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的の制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返る。それは、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり思案のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、おおまかに、前期には、古代ギリシア、中世、近代初頭までの諸思想を、後期には、近世、近代のイギリス、フランス、ドイツの諸思想を検討する。

履修上の留意点 講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法 中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。
教科書 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

履修コード	211101
科目名	倫理学〔東洋倫理〕
担当者名	<small>すえまきやまひこ</small> 末木 恭彦

講義のねらい 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。主として西洋の哲学の一部門として発達した。それに相当する思索は東洋の伝統的思想の中に生まれていた。近代に至って、西洋の学問の影響下、東洋の伝統を生かそうとする試みが行れた。そのような東西のはざままで苦心して考えられた、東洋の倫理思想を紹介し、我々自身の倫理思想を獲得する一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール 今年は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎の倫理学を紹介する。和辻倫理学の中でも『人間の学としての倫理学』を取り挙げて、一年かけてじっくりと読みたい。

（1）ガイダンス（2）和辻哲郎について（3～8）第一章一節～四節について（9）第一章五節（10～17）第一章六節～十一節について（18～28）第二章について（29～30）まとめと質疑応答

履修上の留意点 ノートをしっかり取る。
成績評価の方法 各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。

教科書 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）（岩波全書版でも可）
参考書 和辻哲郎『倫理学』（一）～（四）（岩波文庫）
湯浅泰雄『和辻哲郎――近代日本哲学の運命』（ちくま学芸文庫）
坂部恵『和辻哲郎――異文化共生の形』（岩波現代文庫）
刈部直『光の領国 和辻哲郎』（創文社）

履修コード	211201
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	<small>いしかみ よしまさ</small> 池上 良正

講義のねらい 宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえで欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等** 積極的に「学ぶ」意欲をもって授業に臨むこと。
年度末に筆記試験を行なう。
特に指定しない。
『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーズ著作集』（せりか書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。ランジュ『ユダヤ教とはなににか』（青土社）。板垣雄三『イスラーム誤認』（岩波書店）。

履修コード	211301
科目名	宗教学〔聖と俗〕
担当者名	<small>たなか</small> 田中 かの子

講義のねらい ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール 前期（1～15）は、ほかならぬ自らの「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期（16～30）は、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」について、教科書を縦横に駆使しながら探究する。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他** 既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。
独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポートと学年末試験（追試なし）。
拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2007年、改版（第3刷発行）
講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

履修コード	211401
科目名	宗教学〔世界観と儀礼〕
担当者名	小川 ^{おがわ としゆき} 順敬

講義のねらい	人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。
講義の内容・授業スケジュール	この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。
成績評価の方法	まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと思います。
教科書 参考書等	評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
	原則として教科書は用いません。
	講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	211501
科目名	宗教学〔日本人の宗教〕
担当者名	矢野 ^{やの ひでたけ} 秀武

講義のねらい	宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対する異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教学人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	前半はおもに、日本の諸宗教の概説、冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教とその変化を中心に取り上げ、宗教学人類学・宗教社会学の視点から解説を加える。後半では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。
成績評価の方法	レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。
参考書等	授業時に随時紹介する。

履修コード	211511
科目名	宗教学〔生活と宗教〕
担当者名	菅原 壽清

講義のねらい	人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。
履修上の留意点	1. 宗教学・宗教人類学とは 2. 日本とアジア、その多様な姿 3. アジアの人々の生活と宗教 4. 日本の人々の生活と宗教 (隔年で、後期の授業内容を変えています。昨年度は、農耕儀礼と人生儀礼から、私たちに身近な生活と宗教を見てきました。今年度は、呪術と宗教、シャーマニズム、妖術などから、私たちの身近にある暮らしの中の宗教を捉えてみたいと思っています。勿論、宗教学の理論も押さえながら。)
成績評価の方法	講義では、調査で写した写真をプロジェクターなどを用いて映します。また、関連の写真をホームページでも公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。さらに、DVDを用いて、授業に関連した映像も写します。広く、アジアの人々の暮らしに関心のある方は是非どうぞ。 試験+ α + β (詳細は、講義の時説明)
教科書等	α = 座席点 (ABCで、積極的な授業参加を評価します) β = レポート点 (課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します) 特に、指定しません。
その他	『宗教学ハンドブック』(世界書院) 講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。 講義ノートをプリントして配布します。また、学内LANでも公開の予定です。 授業の方法―講義、ビデオ・DVD、プロジェクターによるスライドの映写など、ビジュアルな授業を展開したいと思っています。調査 Field Work に関心のある方 (社会・文化人類学、宗教人類学) 是非どうぞ。

履修コード	211521
科目名	宗教学〔民俗宗教の諸相〕
担当者名	星野 靖二

講義のねらい	本講座では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。それは現代に生きている私たちの生活にどのような形で「宗教」が関わっているのかということについて自分の問題として考えることでもあり、またそれを可能にする方法と材料を提供していきたいと思っています。
講義の内容・授業スケジュール	[01] はじめに。[02~06] 現代社会における宗教：今、どのような形で宗教が問題になっているのかについて検討します。[07~11] 宗教学の考え方について：宗教学の基本的な考え方について概説します。[12~15] 世界の宗教：様々な宗教とその実践についての基本的な知識を確認します。[16~21] 日本における宗教の歴史：現代までの日本の宗教とその実践についての歴史を概観します。[22~29] 私たちと宗教：現代日本における宗教、特に民俗宗教の位置付けについて、毎回一つのトピックを取り上げて考察します。[30] おわりに。
履修上の留意点	講義内容についてのコメントカードを適宜提出してもらいます。
成績評価の方法	レポート (70点) とコメントカード (30点) によって評価します。また発言や質問など、積極的な授業参加は加点の対象とします。
教科書等	特に使用しません。 棚次正和・山中弘編『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005 関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂、2004 島蘭進・福嶋信吉・葛西賢太・藤原聖子編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 末本文美士『日本宗教史』岩波書店、2006
その他	詳細については、初回講義時に説明します。

履修コード	211601
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	山口 太郎

講義のねらい 本講義では、都市、とりわけ東京を通じて、地理的想像力を磨くことを目的とする。今年度は都市の文化社会地理について、前期は総論を、後期はいくつかの場所を事例として紹介していく予定である。地理的想像力という教室で学習したことを、日常生活の中で振り返ることができれば理想的である。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- 1: イントロダクション
 - 2: 東京の自然史
 - 3-4: 東京の歴史社会地理
 - 5: 横浜の歴史社会地理
 - 6: 大阪の歴史社会地理
 - 7: 東京の社会地図
 - 8-10: 都市の観察法
 - 11: 都市計画
 - 12: 都市空間と権力
 - 13: 都市空間とジェンダー
- (後期)
- 1-5: 東京の文化地理 (渋谷, 秋葉原, 池袋, 大久保, 新宿, 代官山, 下北沢など)
 - 6-9: 戦前の郊外の文化地理 (東京圏, 阪神間)
 - 10-12: 戦後の郊外の文化社会地理 (ニュータウン, 団地再生, 世代論など)
 - 13: 予備日
 - 14: テスト

**履修上の留意点
成績評価の方法**

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。夏休み明けに提出していただくまち歩きレポートと、後期末に行う試験、小レポート等の課題とで総合的に評価する。

**教科書
参考書等
その他**

特定の教科書は用いない。プリントを配布する。
授業の中で紹介していく。
講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。また、町をぶらぶらしたり、いろいろなところへ出かけたりすることを積極的に行なってほしい。

履修コード	211701
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	坪井 壘太郎

講義のねらい 本講義では、「風土」や「文化」といった抽象的な概念を、受講者自身がより身近に実感できる都市や環境に関するテーマを中心に国内外の地域統計データ等を利用することにより、変化や分布を理解し、解釈する方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

事象把握のための理論的背景を踏まえ、それに基づくデータを用いた応用・作業と解釈を通じた講義を行う。

- (1) 各種統計データの取得方法、作図・作表の方法、主題地図の作成方法
- (2) 都市の構造と風土と文化
- (3) 住環境における風土と文化
- (4) 水利用における風土と文化
- (5) 空間情報社会における風土と文化

履修上の留意点

本講義では、受講生自らがデータの集計・作図等の作業を通して解釈し記述することで理解を深めることを目指すものであり、任意または指定のデータに関する簡易な分析を行うため、毎講義時に必ず電卓を持参すること。

成績評価の方法

前期(2回)と後期(2回)の課題レポートで総合的に評価する。

**教科書
参考書等**

特に指定しないが、講義内で適宜紹介をする
浮田典良編『ジオ・パル21—地理学便利帖—』(海青社) 2625円
菊池俊夫・若林芳樹・山根 拓・島津俊之『人間環境の地理学』(開成出版) 1860円

履修コード	211801
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 慎吾
講義のねらい	本講義は、身近な社会問題を取りあげ、地域的な差異の存在と、その要因について議論し、人文地理学の基礎的知識および社会問題への関心を深めることを目的とする。今年度は、昨今話題となっている大都市と地方との「格差」を中心テーマとし、地理学的な視点から、都市の形成過程、人口の移動について概説する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、まず既存の文献を紹介し、抽象的な概念である「空間」について、事例を紹介しながら概説する。つぎに、日常行動の発生について、通勤・通学行動を事例にその移動パターンや、それによって引き起こされる問題を取りあげる。 後期は、人生過程の中で生じる移動と、都市の形成・拡大について概観する。ここでは、大都市圏と地方での人口移動現象に着目し、なぜ大都市に人々が集まるのかをテーマとする予定である。詳細は初回授業時に説明する。
履修上の留意点	地理学の専門知識はかならずしも必要としないが、昨今の社会問題については普段から情報収集しておくことが望ましい。
成績評価の方法	学年末の試験によって評価する（追試験あり）。出欠は確認しないが、状況に応じて小レポートを課すこともある。
教科書 参考書等	とくに使用しない。高校などで使用した地図帳があると便利である。 荒井良雄・川口太郎・井上 孝2002、『日本人の人口移動—ライフコースと地域性—』古今書院。2,940円 ISBN : 9784772260091

履修コード	211901
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 修一
講義のねらい	日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。 (1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知
履修上の留意点	講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。
成績評価の方法	原則として学年末の試験結果から評価する。なお、追試験は実施しない。
教科書 参考書等	高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。 北川建次編、『現代都市地理学』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-3044-0 富田和暁・藤井 正編、『図説 大都市圏』、古今書院、2,730円、ISBN 4-7722-4027-6 ノックス、P. ・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳、『新版 都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0
その他	講義ではプリントを随時配布する。

履修コード	357101
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい 嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそう。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどのようなものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことば）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可とします。

成績評価の方法

レポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

**教科書
参考書等
その他の**

随時、講義の前後に報知します。

随時、講義の前後に報知します。

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	357201
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	佐原 作美

講義のねらい	広く文章を読んで理解し、思考力を高め、それを言語で適格に表現できる力を養うことは大切である。ここではその力を少しでも高めることを目的に進めていく。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、初めに日本の文字を学び、そのあと文章として代表的な古典の中から『古事記』の「国生み神話」や伝説、『万葉集』からは挽歌や生活苦を詠んだ歌、『風土記』からは「羽衣伝説」や『竹取物語』などを素材にそれらを進めていきたい。各作品とも3～4回の割で読んでいく予定。
履修上の留意点	古代文学を読むには先入観にとらわれないことが肝心。単純素朴な気持ちで味読することに心掛けてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物(作文)や定期試験(筆記またはレポート)を基本とし、出席状況を加えて評価する。
教科書	プリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じて授業の中で紹介する。

履修コード	357301
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい	一自己表現のためのレッスン—自分の考えをわかりやすく主張する力が不足していると思っている人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのために表現力を養う手助けをする。
講義の内容・授業スケジュール	いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にまとまりある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。教材は、新聞記事、評論、手紙、歌詞、特に、今日的な問題を提起しているものを用意するが、受講生のニーズに柔軟に応じたい。 プログラム：(1) ガイダンス、(2～3) アイス・ブレイク、プレゼンテーションその1、(4～6) 身近な材料を読む・要約する・書く、(7～8) ディスカッションの方法と実践、(9～11) 調べて書く、プレゼンテーションその2、(12～14) 実用的な文章を書く、(15) 総括。
履修上の留意点	授業では文章を次々と読み、課題を書き、報告することを要求する。完全な講義形式を希望する受講生には不向きなので、履修の際にその点を留意のこと。また、人数は少数が望ましく、希望者は最初の授業から出席すること。
成績評価の方法	毎回書いてもらう短いコメント、出席状況(遅刻・早退をしないことは大前提)、課題で60%、最後に提出してもらうレポートで40%。三分の一以上の欠席は不可。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	プリント教材。
参考書等	参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	357401
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	坂口 博規

講義のねらい	殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達(日本語表現)の大切さを自覚してほしいものです。
講義の内容・授業スケジュール	上記の目的に立って、テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます(1～3)。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について、自己表現の大切さを学んでほしい(4～10)。また日本語表現の特質なども考えてみたい(11～15)。
履修上の留意点	「日本語表現」の知的理解をしてほしい。また言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしい。
成績評価の方法	授業の最終日に提出のレポートの成績評価。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、総合的に評価します。
教科書	授業の折々にプリントを配布します。
参考書等	授業において紹介します。

履修コード	357501
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	蘭部 <small>そのべ</small> 幹生 <small>みきお</small>

講義のねらい	大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために、また将来社会に巣立って行くために、心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス。2～4 大学と大学生生活。5～8 キャリアデザインとライフスタイル。9～13 表現法とレポートの書き方。14 レポート提出。15 まとめ。 ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。
履修上の留意点	本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。
成績評価の方法	出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追・再試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。
教科書 参考書等	必要に応じてプリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	357601
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	石割 <small>いしわり</small> 透 <small>とほる</small>

講義のねらい	映画の魅力とその本質 この時間は、19世紀末期にフランスとアメリカではほぼ同時に誕生し、たちまち20世紀の世界で多くの人に親しまれる娯楽、芸術となった映画の本質、中でも日本映画の特色をを考えていこうとするものです。
講義の内容・授業スケジュール	1、ルミエール兄弟製作の映画(2) 2、メリエス製作のSF映画の元祖「月世界旅行」(2)、3 アメリカ映画の誕生(1)、4、西部劇の元祖「大列車強盗」(1)、5 チャンバラ映画について(1) 6、溝口監督「浪華悲歌」「祇園囃子」「山椒大夫」をみる(4)、7、小津監督「東京物語」「浮草」を見る(4)
履修上の留意点	最近の日本映画も、アニメのみならず、国際的には非常に高い評価を得ており、すぐれた面白い映画は少なくありません。最近の映画も積極的に、これを機会に見てほしく、映画の魅力に取り憑かれてほしいと思います。
成績評価の方法	1、作品ごとに簡単な感想文の提出と小津作品溝口作品から一つの作品を選んでレポートの提出。出席状況を重視し、成績評価に加味する。
教科書 参考書等 その他	授業時に指示する。 授業時に指示する。 講義形式で授業を進め、必要に応じてプリントなどを準備する。

履修コード	357701
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	小林 <small>こはやし おさむ</small> 治

講義のねらい 山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中において、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廃墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 上記した映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。(1~2)山田次・時代と人間を凝視する松竹出身映画監督の系譜、(3~5)戦後高度経済成長の概要・その光と影、(6~7)『家族』の分析、(8~9)『故郷』の分析、(10~11)『同胞』の分析、(12~13)『幸福の黄色いハンカチ』の分析、(14~15)『遙かなる山の呼び声』の分析

履修上の留意点 開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書 適宜プリントを配布する。
参考書等 授業時に指示する。

履修コード	357801
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	松田 <small>まつだ なおひと</small> 直行

講義のねらい 大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新入生を対象に、大学での学びの基本を身につけていただくことを目標とする。レポートの書き方や、図書館・パソコンの活用法など実務的な事項を確認しながら、教科書を使用して「教養とは何か」を考える。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、「共に学ぶ」ためのコミュニケーションを体験する機会も設けたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 変わる大学 (2) 教養とは何か (3) 論理的な思考と表現 (4) コミュニケーションについて (5) 図書館とパソコンの活用法 (6) レポートの書き方

履修上の留意点 大学生活を始めるにあたって、授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、2/3よりは多い出席を必須とし、遅刻は認めない(途中入室を許可しない)。図書館でのガイダンス、パソコン教場の使用など、通常の教場以外で授業を行う場合がある。教科書は、範囲を指定するので各自で事前に読んでおき、読んであるかどうかを確認するための小テストを毎週行う。また各章の要旨を提出するレポートなどを課し、その提出ができない場合は単位の取得ができない。授業時間以外にも予習・復習の時間をとり、毎週十分な準備をして授業に望む必要がある。

成績評価の方法 前期定期試験期間中にレポートを提出していただく。そのレポートが50%、出席点が25%、授業中の小テストやレポート課題の点数が25%として評価する。出席が2/3に満たない場合、授業中の小テストやレポート課題の提出が2/3に満たない場合は、単位を取得できない。

教科書 村上陽一郎『やりなおし教養講座』、NTT出版、1,680円。
その他 初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。なお後期科目の「日本文化基礎(松田)」はこの授業とは別の科目であり、両方を履修する必要はない(してもよい)。

履修コード	357811
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	湯浅 陽子

講義のねらい

大学で「学ぶ」ためには、聴く・読む・書く・調べる・整理する・まとめる・表現する・伝える・考える、という9つの力が必要です。これらの力を半期で段階的に身につけ、ワープロソフトで作成したレポートが提出できるようになることを、この授業のゴールとします。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション 「生徒」から「学生」へ・「何をどう学ぶのか」
- 第2回 「履修登録許可書」の発行・ノート・テイキング
- 第3回 リーディングの基本スキル
- 第4回 より深いリーディングのために
- 第5回 大学図書館における情報収集
- 第6回 インターネットによる情報収集
- 第7回 情報の整理
- 第8回 アカデミック・ライティングの基本スキル
- 第9回 効果的なアカデミック・ライティングのために
- 第10回 パソコンによるライティング・スキル
- 第11回 プレゼンテーションの基本スキル
- 第12回 わかりやすいプレゼンテーションのために
- 第13回 デスクトップ・プレゼンテーション

履修上の留意点

入学式後のオリエンテーション期間に行なわれる総合情報センターのオリエンテーション（説明会）に出席して、大学のPCネットワークのユーザIDを必ず取得してください。授業開始時にIDが無い人は履修登録許可者を決めるテストの受験ができないので、受講資格そのものがありません。

第1回目の授業日にタッチタイピングレベルテストを行い履修登録許可者を決定します。発表は翌日に当該教場のドアにその者の学生番号を掲載する方法で行います。履修登録を許可された学生は、第2回目の授業に欠席すると、その権利を放棄したことになりますので、必ず出席し、「履修登録許可書」を受理してください。

出席重視、授業開始時刻厳守の授業です。授業開始時刻を30分過ぎると教場のドアに鍵がかかり、入室できません。理由は何であろうと30分までの遅刻2回＝欠席1回とみなします。

なお、選に漏れた人は、他のフレッシュマン・セミナーが多数ありますので、そちらを受講してください。

成績評価の方法

成績評価を受けるには、10回以上の出席が必要です。その他、毎回授業開始時に計測するタッチタイピングテスト結果、および提出された課題の点数により評価します。

教科書

学習技術研究会編 『知へのステップ（改訂版）』 ころしお出版 ¥1,890 ISBN:978-4-87424-355-8 C1081

参考書等

その他の

適宜指示します。
パソコンで文字入力に困らぬよう、タッチタイピング（手元を見ないで入力する方法）をマスターしてください。総合情報センター自習室のPCには優れたタイピング練習ソフト（Type Quick）が入っています。第1回目の授業時にこのソフトの使い方を説明しますが、タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さが評価に直結しますので、時間を見つけて練習に励んでください。

なお、この授業の後期に配されている湯浅担当の YeStudy 対応科目「日本語文化基礎」（2単位）の履修登録は、希望する学生は全員履修登録できます。ただし、後期第1回目に行う「説明会」（パソコン上でのコース登録方法、課題の提出方法等、最も重要な説明）に必ず出席してください。これに参加しないと、せっかく教務部への履修登録が4月にしてあっても、実際には受講できなくなる可能性がありますので、忘れずに出席してください。

なお、後期開講科目の追加登録は9月にはありませんので、途中でやめる可能性があっても4月の履修登録をしておくことをお勧めします。その他湯浅担当のどの科目でも、何か問題が発生したら、すぐにメールでご連絡ください。[yuasa@komazawa-u.ac.jp]

履修コード	357901
科目名	日本文化基礎
担当者名	佐原 作美

講義のねらい	古代日本人の思想や精神生活の有り様を、奈良平安朝の古典文学の中に探っていくことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業ではその方法として、 (1) 呪的信仰 (5～6回) (2) 言霊信仰 (5～6回) (3) 漂着物信仰 (2～3回) の三つのテーマを設定し、『古事記』や『万葉集』や『風土記』あるいは『竹取物語』やいくつかの「説話集」などをもとに考察する。あわせそれらが現代人とどうかかわっているかも考えていきたい。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	古代文学や古代人の心性に迫るにはまず先入観を捨て、単純素朴な気持ちで接することが肝要。折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)を基本とし、出席状況を加えて評価する。プリントの配布をもって行う。必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	358001
科目名	日本文化基礎
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい	テーマ「家族」の文学史・描かれた古代の女と男―古代の文学作品を中心に取り上げ、それらに描かれた古代の人々の生活を見ていきたい。例えば、良妻／悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母／慈母とは何か、男女の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど、実際に古典作品の一節を読みながら考える(現代語訳は用意する)。
講義の内容・授業スケジュール	説話や日記文学、物語などに描かれている家族像を読みながら現代につながる人間の問題を探ってみたい。併せて古典文学のおもしろさが味わえるとよい。 プログラム：(1) ガイダンス、(2～4) 古代前期の家族、『万葉集』を中心に、(5～8) 8世紀の家族・『日本霊異記』を中心に、(9～11) 王朝貴族の家族・『蜻蛉日記』を中心に、(12～14) 『沙石集』『今昔物語集』などの説話に見る家族・家族像の変遷、(15) 総括。
履修上の留意点 成績評価の方法	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。 期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)40%、授業態度(出席状況と毎回のコメントの内容)60%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書 参考書等	プリント教材。 服藤早苗『平安朝の母と子 貴族と庶民の家族生活史』中公新書、小嶋菜温子『源氏物語の性と生誕』立教大学出版会、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』角川書店、その他、参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	358101
科目名	日本文化基礎
担当者名	坂口 博規

講義のねらい	日本文学は社会や風土と深く関わり合い、複雑多様で豊かな展開を示している。時代時代において様々な思想や生活意識の推移において美意識の変遷が見られる。その全ては現代に至るまで日本文化に重層的に継承されており、長い伝統を形成している。それら各時代の文学に表われた美的理念をたどり、日本的な美意識の流れを考える。
講義の内容・授業スケジュール	古代から近世までの、主として古典文学に現れた美的理念を概説する。古代の「まこと(明・浄・直)」(1～3)、平安期の「あはれ」「をかし」「はかなし」(4～7)、中世の「無常」「幽玄」「妖艶」(8～10)、近世の「粋・通・意気」「滑稽」(11～15)等々を取り上げ解説する。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	授業はプリント教材を用いて講義形式で行うので、出席に努めてほしい。 定期試験時のレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。 適宜プリントを配布する。 授業において適宜紹介する。

履修コード	358201
科目名	日本文化基礎
担当者名	蘭部 ^{そのべ} 幹生 ^{みきお}

講義のねらい	真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4～5 自己認識の文化。6～9 衣食住の文化。10～11 宗教文化・スポーツ文化・原宿文化・テレビゲームの可能性と文化的展望。12～13 文化史としての日本文学と伝承文芸。14 教場試験。15 まとめ。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、ノート・参考書等の持込可）。また、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書 参考書等	必要に応じてプリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	358301
科目名	日本文化基礎
担当者名	石割 ^{いしわり} 透 ^{とおる}

講義のねらい	ジャズ音楽の日本での受容について。ジャズは、大正時代にレコードの浸透、カフェ、ダンスホールの流行と共に移入され、特に戦後、猛烈なアメリカ文化の日本への進入と共に、日本で確固たる芸術として、文学者などにも影響を与えてきた。そうしたジャズの日本の受容のされ方を検討する。
講義の内容・授業スケジュール	1、大正時代までのレコード文化について（1）、2、大正から昭和にかけてのカフェ、ダンスホールの流行とジャズ（2） 3、二村定一のヒット曲「私の青空」など（2）、4、映画とジャズ、映画「マダムと女房」ミュージカル映画「鴛鴦歌合戦」など（3） 5、戦前のジャズソング（2） 6、戦後のジャズー昭和20年代（2）、7、「太陽の季節」などの文学作品、日活アクション映画とジャズ（3） 8、ジャズ喫茶の流行（2）、9、アート・プレイキイとジャズ・メッセンジャーズ来日公演の意義など（2）、10、ヌーベル・バーグの映画とジャズ（2）など。
履修上の留意点	ジャズの歴史的な展開を大体把握して、授業に臨んでいただきたいと思う。
成績評価の方法	出席を重視する。ジャズの受容についてのレポートを提出。それらを加味して評価する。
教科書 参考書等	特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。 マイク・モラスキイ「戦後日本のジャズ文化」（青土社）、倉田善弘「日本レコード文化史」（岩波書店）など。授業時に指示する。
その他	映画などは、ビデオなどで見ることを考えています。

履修コード	358401
科目名	日本文化基礎
担当者名	<small>こばやし おさむ</small> 小林 治

講義のねらい	宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばまわられてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と自省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。
講義の内容・授業スケジュール	上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『氷河鼠の毛皮』、『シグナルとシグナレス』、およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。(1～3) 宮澤賢治の軌跡(4～6)『シグナルとシグナレス』の分析と読解(7～9)『氷河鼠の毛皮』の分析と読解(10～11)『どんぐりと山猫』の分析と読解(12～13)『水仙月の四月』の分析と読解(14～15)『グスコブドリの伝記』の分析と読解
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書	宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』(ちくま文庫)
参考書等	その他、適宜プリントも配布する。 授業時に指示する。

履修コード	358501
科目名	日本文化基礎
担当者名	<small>まつだ なおゆき</small> 松田 直行

講義のねらい	講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした日本近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合による近現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 音の科学 (2) 基本の楽理 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダニズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ
履修上の留意点	新生入と2年次生を対象として、各自の興味・関心をもとに真剣に授業に取り組む学習姿勢を身につけること自体も目的としているので、基本的に毎回出席する姿勢が求められ、遅刻しての入室は禁じる。2/3以上の出席がなければ単位を取得できない。
成績評価の方法	音楽に関して、中学校の音楽の授業で学ぶ程度の基礎知識と楽譜の理解力を必要とする。定期試験期間中に筆記試験を行う。定期試験の点数を60%、出席状況と授業での提出物による評価を40%として採点する。
教科書	指定しない。授業でプリントを配布し、配布したプリントは定期試験に持ち込み可とする。
参考書等	佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書、¥725。

履修コード	358901
科目名	日本語文化基礎
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど)
- 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1(中国と日本)
- 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2(朝鮮半島と日本)
- 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3(モンゴルと日本)
- 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4(ベトナムと日本)
- 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5(タイと日本)
- 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6(インドネシアと日本)
- 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に)
- 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1(ギリシャ&トルコと日本)
- 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2(イタリアと日本)
- 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3(英国・米国・豪国と日本)
- 15の講義内容 期末課題リポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

リポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書
参考書等
その他の

随時、講義の前後にて報知します。

随時、講義の前後にて報知します。

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	358911
科目名	日本語文化基礎
担当者名	湯浅 陽子

講義のねらい

現代の情報化社会において、情報を十分に活用する能力（情報利活用能力）は、社会人としての必須能力です。本講座では、情報のインプットからアウトプットまでの流れ—「情報収集」「情報管理」「情報分析」「情報創造」「情報表現」—の5つの分野のうち、解決策を効果的に示す「情報表現」における様々な基礎的能力、すなわち、伝えたいことが伝わる国語力・文章力・図解力を身につけ、さらに情報を送受信する際に必要なモラルや知識を身につけることを目指します。

また、課題の入手から提出まで、全てパソコンで処理する中で、自然とPC操作能力が高まることも、ねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 授業の進め方： 「YeStudy」コース登録方法と課題の出し方の説明 【指定された大教場にて】
- 第2回 情報表現力とは 《確認小テスト》 【これ以降 e-learning】
- 第3回 文章表現力1-1（前半）「語彙をふやす：慣用句とことわざ」 《課題1-1、確認小テスト》
- 第4回 文章表現力1-2（後半）「語彙をふやす：敬語」 《課題1-1、確認小テスト》
- 第5回 Drill -1
- 第6回 文章表現力2 「文章を書く」 《課題 2-1&2-2、確認小テスト》
- 第7回 文章表現力3 「文章の構成」 《課題3、4-1&4-2、確認小テスト》
- 第8回 ビジネス文書 「社外文書と社内文書」 《課題 5-1&5-2、確認小テスト》
- 第9回 その他の文書 「ビジネスメール、小論文、エントリーシート」 《課題 5-3&5-4、6、7、確認小テスト》
- 第10回 Drill-2
- 第11回 ビジュアル表現力1 「色彩の基礎知識」 《課題 8-1&8-2、9-1&9-2、確認小テスト》
- 第12回 ビジュアル表現力2 「表、図解、グラフ」 《課題 10-1&10-2、11、確認小テスト》
- 第13回 Drill -3

履修上の留意点

この授業は E-education「YeStudy」を使用して行います。後期第1回目の授業で行う説明を受け、その後は全て自己管理の下に進めていく授業形態です。具体的には、例えば自宅のPCから駒澤大学総合情報センタートップページの「YeStudy」にアクセスしてこの科目に入り、最初に「教材」ファイルを読んだ上で課題をダウンロード後解答および保存し、それを期限内にアップロードして提出する、という流れになります。

各回に80点以上の取得が必要な「確認小テスト」と、全体の総まとめとして「Drill」が3つ用意されています。

2回目の授業からは、いつでも、どこからでも、設定されている授業時間割とは無関係に、課題や Drill を提出することによって、通常の授業に出席したのと同程度の評価を受けることができますが、提出物には全て提出期限が設けてあります。

自己管理できない人は、設定されている授業時間に指定教場に来て「対面授業」による指導を受けてください。対面授業では、PC操作が苦手な人向けに、個人指導型の授業を展開します。

受講するためには、教務部の履修登録の他に、大学のPCネットワークを使用するためのIDと「YeStudy」コース登録（後期第1回目の授業日～期間限定で登録）が必要です。また、授業に関する連絡は大学の Active Mail を通じて行いますので、頻繁にメールチェックが必要です。「メールを見なかったのでもできませんでした」は理由になりません。それも含めて情報利活用力の養成です。

成績評価の方法

課題、確認小テスト、Drill の総合得点により評価します。各提出物には、それぞれに締切日時があり、期限を過ぎるとアップロードできなくなります。いかなる理由があろうとも、提出されなかったものは評価対象になりません。提出期限厳守です。

教科書
参考書等

noa 出版 『伝える力がつければ変わる！情報表現力』 株式会社ワークアカデミー ¥1,766

課題を作成するには、パソコンに Word および PowerPoint が入っていることが必要です。ソフトの使い方が分からない場合は、毎週必要とする人に開講している「対面授業」に出席するか、書店に並んでいる操作説明書を参考にしてください。

その他

スポーツも芸ごとも「基本が大切」とは、よく言われることですが、PC操作も実はスポーツと似ていて基本が大事です。PC操作の基本とは、手元を見ないで打つ「タッチタイピング」です。文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心で、基本が出来ているか否かで、仕事の処理能力にかなりの差がつくものです。空き時間を利用して、総合情報センター自習室のコンピュータに入っているタッチタイピングソフト「Type Quick」で入力スキルアップを図ってください。

履修コード	169702
科目名	日本文化研究IA
担当者名	佐原 作美 <small>さきはら さくみ</small>

講義のねらい 約4500首もの和歌を収める『万葉集』の中から、特に異色の歌人山上憶良の作品を読みながらその人間像や思想を探究することを目的に授業をすすめたい。

講義の内容・授業スケジュール 憶良を理解するにはその全作品を精読することが第一であり、それに合わせその時代や社会などの背景も視野に入れる必要がある。授業では全77首の和歌のほか、漢詩などもふくめそれら全作品を年代順に読んでいく。とともに同時代の歌人との比較も試みながら進めたい。

履修上の留意点 古典文学は何度も繰り返し読むことが肝心。味読することに心掛けてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況をもって評価する。

教科書 土橋寛編『作者別万葉集』おうふう刊、定価2000円。

参考書等 必要に応じて授業の中で紹介する。

履修コード	171101
科目名	日本文化研究IA
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろ規</small>

講義のねらい 鎌倉時代に生きた二人の女性の人生を、それぞれの作品より考察する。一人は平安末期の平家全盛時代に、平清盛の娘建礼門院徳子の宮廷女房だった右京大夫という女性、もう一人は後深草上皇の宮廷に仕えた二条という女性である。それぞれの作品に語られた男性との恋愛交渉を通して、「契り」という女性の人生観を考えてもらう。即ち日本の古典文学に現れた「女性史」の一端を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール 最初に女性の手になる自照文学の流れを概観し（1・2）、次いで前期として右京大夫の個人歌集『建礼門院右京大夫集』より作品を抜粋したものでその人生を考察（3～13）、後期は二条の日記『とはすがたり』より作品を抜粋したものでその人生を考察する（14～27）。特に後者は鎌倉時代において日本各地を旅した稀有の女性であり、その旅の意味を考える（28～30）。

履修上の留意点 半期にそれぞれの作者の作品を紹介するので全体を読解することが出来ない。是非関心を以て作品全体を読み味わってほしい。

成績評価の方法 前・後期のそれぞれの授業最終日に、作者あるいは作品についてのレポートを提出してもらい、その総合の成績に出欠状況を加味して評価する。

教科書 授業時にプリントを配布する。

参考書等 授業時に適宜紹介する。

履修コード	171202
科目名	日本文化研究IA
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ゆうこ</small>

講義のねらい テーマ：歌物語を楽しむ
『伊勢物語』を中心に『大和物語』をも取り上げつつ、歌物語の本質について考える。併せて『伊勢物語絵巻』など視覚的の享受についても論じる。

講義の内容・授業スケジュール プログラム：（1）ガイダンス、（2～3）「一代記」の始まり・伊勢初段、（4～6）大和161段と伊勢3、76段、（7～11）伊勢5段、123段と大和157、158段、伊勢23段と大和149段（12～14）伊勢6・12段と大和155段、（15）前期総括、（16～19）伊勢24段と大和148段、伊勢60、62段、（20～21）伊勢63段と大和156段、（22～24）伊勢40段と大和64段、（25～27）伊勢65段、69段と源氏物語、（28～29）業平の終焉・伊勢124、125段と大和158段、（30）総括。

履修上の留意点 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。

成績評価の方法 期末毎に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40％、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60％。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 徳原茂実・青木賜鶴子編『王朝歌物語選』（和泉書院）、その他プリント教材。

参考書等 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	172001
科目名	日本文化研究IA
担当者名	<small>そのべ みさね</small> 蘭部 幹生

- 講義のねらい** 日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6～12 宇治拾遺物語の特徴と問題。13～23 編者論。24～28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。
- 履修上の留意点** 毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。
- 成績評価の方法** 毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
- 教科書** 中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫
- 参考書等** 『駒澤短大国文』26号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	359001
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	<small>さひら さくみ</small> 佐原 作美

- 講義のねらい** 古代日本の人々は、日常生活の中で何を願い、何を信じ、何を恐れ、何を笑ったか等々、その感情や思想などについて、わが国最大の説話集『今昔物語集』を中心に考察する。あわせ現代人のかかわりをも視野に入れ見ていくことが目的である。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は、人々の願望や信仰の視点からその「仏法部」を対象に、観音・地藏・阿弥陀など、現代人にもなじみ深い諸仏信仰を内容とするものを各3～4回の割で見えていく。後期は、一転して人々の日常生活の面から「世俗部」を対象に、芸道や死霊や笑いあるいは古伝承や奇怪な話など、巾広く取り上げ各2～3回の割で見えていく。怪しくもたくましく生きる人間模様が、科学文明と称する中に生きる現代人の目にどう映るかなども視野に入れて見ていきたい。
- 履修上の留意点** 説話は短く内容も単純であるだけに、それらが発するメッセージを見逃さないことが肝要であろう。
- 成績評価の方法** 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本とし、かつ出席状況を加えて評価する。
- 教科書** プリントの配布をもって行う。
- 参考書等** 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	359101
科目名	日本文化研究II A
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい	—和歌で読む『源氏物語』— 古典の物語では和歌は重要な役割を果たす。『源氏物語』の精選した場面を原文で読み、和歌の機能について理解を深めたい。古典和歌になじみのない人も現代語訳の『源氏物語』で和歌がどう扱われているかを確認しつつ物語のおもしろさを発見して欲しい。
講義の内容・授業スケジュール	プログラム：(1) ガイダンス、(2～8) 光源氏の青春の物語、(9～14) 和歌で読む紫の上の人生史、(15) 前期の総括、(16～18) 『源氏物語』の「主役」の和歌、「脇役」の和歌、(19～22) 薫と大君の物語、(23～27) 浮舟の歌を読む、(28～29) 『源氏物語』の和歌が後生に与えた影響、(30) 総括。 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。
履修上の留意点	授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。
成績評価の方法	期末毎に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書 参考書等	プリント教材。 参考書は、依万智『愛する源氏物語』（文藝春秋社）、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』（角川叢書・角川書店）その他、授業中に指示する。

履修コード	359201
科目名	日本文化研究II A
担当者名	坂口 博規

講義のねらい	古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等の歌謡を考える。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割（＝古代的意義）を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割（＝文学性）を担っているか等を考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	はじめ「ウタ」の発生について考察し（1～3）、次いで古代歌謡の種類（4～6）や形態（7・8）や表現様式・歌体（9～13）などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って採用されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違いは『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず『古事記』と『日本書紀』の成立について考察（14～17）、その上でヤマトタケル物語を読み解きたい（18～30）。
履修上の留意点	古代の文学・歴史書たる『古事記』『日本書紀』『風土記』は、その表現や内容上難解な点が多いので、是非注釈書などに目を通してほしい。本文読解を中心に行うことはしないので作品の理解は現代語訳でもよい。
成績評価の方法	定期試験時におけるレポートの評価による。出席状況も参考にする。
教科書 参考書等	授業時に適宜プリントを配布する。 授業時に適宜紹介する。

履修コード	359301
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	<small>のへ みきお</small> 蘭部 幹生

講義のねらい 『宇治拾遺物語』の編者が文章・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3～4 編者論。5～14 作中人物論。15～28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。

履修上の留意点 日本文化研究IAを履修済みであることが望ましい。できれば同一担当者の日本文化研究IAを単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。
また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法 毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験間中の試験は行わない。

教科書 中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

参考書等 『駒澤短大国文』25号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	170201
科目名	日本文化研究IB
担当者名	<small>いしわり とおる</small> 石割 透

講義のねらい 1910年から20年代にかけての日本の、主に短篇小说を読む。
主に大正時代の作家——芥川龍之介・志賀直哉・谷崎潤一郎・菊池寛・江戸川乱歩ら——の作品を読み、それぞれの作家の特質、作家の生きた時代の社会的、文化的状況を検討する。

講義の内容・授業スケジュール 1 志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「小僧の神様」、芥川龍之介「南京の基督」志賀直哉「焚火」（5）、2、谷崎潤一郎「春琴抄」「小さな王国」「帮間」（6）、3 菊池寛「入れ札」「身投げ救助業」「真珠夫人」（4）、江戸川乱歩「人間椅子」、「屋根裏の散歩者」（4）5 芥川龍之介「秋」「舞踏会」（2）など

履修上の留意点 授業に際して、各々の作品を前もって十分に読んでおくことが望ましい。各作品に絡めて言及する作品についても、すぐに図書館などで読んでほしい。いずれも短篇小说だから、すぐに読める筈である。

成績評価の方法 年度2、3回のレポート提出。更に出席状況を重視する。

教科書 特に指示しないが、扱う作品は、主要な文庫本などで比較的容易に読むことが可能である。例えば谷崎潤一郎「美食倶楽部」（ちくま文庫）、江戸川乱歩「江戸川乱歩傑作選」（新潮文庫）、芥川龍之介「芥川龍之介全集I～VI」（ちくま文庫）、谷崎潤一郎「痴人の愛」（新潮文庫）など。

参考書等 年表の会編『近代文学年表（双文社出版）』、他は授業時に指示する。

その他 講義を中心に進行する。授業に必要なコピーなどをその都度準備、配布する。

履修コード	175501
科目名	日本文化研究IB
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい	現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についてもネオレアリズモ、シュールレアリズムなどの視点から取り上げる。
講義の内容・授業スケジュール	代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。(1～3) 安部公房・作家活動の軌跡 (4～6) 安部公房の映画製作について (7～9) ネオレアリズモとの関わり (10～12) シュールレアリズムとの関わり (13～15) 映画「おとし穴」について (16～18) 映画「砂の女」について (19～21) 映画「他人の顔」について (22～24) SF的方法と小説「第四間水期」について (25～27) SFの歴史 (28～30) SF文学と映画の比較
履修上の留意点	授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。
教科書	安部公房『砂の女』(新潮文庫) 400円 安部公房『他人の顔』(新潮文庫) 450円 その他、適宜プリントを配布する。
参考書等	授業時に指示する。

履修コード	215711
科目名	日本文化研究IB
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい	近代以降の日本における演劇と芸能の諸相を、多様な視点から考察する。西洋近代劇の移入に始まる演劇史を中心としながら、浅草オペラや宝塚、ミュージカルなどの音楽劇、寄席の芸能や大道芸に至るまでを広い視野でとらえ、ジャンルの枠を超えた発想から近代日本におけるライブ・パフォーマンスの全体像を見つめる。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 芸能とは何か (2) 現代日本の芸能と演劇の実情 (3) 歌舞伎開化から新派へ (4) リアリズム演劇の理念 (5) 近代演劇の移入と新劇 (6) 帝劇と宝塚 (7) 浅草オペラとエノケン (8) 漫才と喜劇 (9) 大道芸と見世物 (10) 近代戯曲を読むーイブセン「人形の家」と岸田国士「紙風船」
履修上の留意点	できる限りの映像資料を使って芸能や演劇に触れてほしいと思っているが、それは単なる映像に過ぎないことも事実である。授業時間以外に自分で様々な芸能や演劇の場に足を運び、レポートとして報告する課題を出す。機会があれば希望者を募っての観劇会も企画したい。 2/3以上の出席がなければ単位は取得できない。遅刻の場合は出席とみなさないので注意すること。
成績評価の方法	出席点(授業での提出物の評価を含む)が30%、前期・後期のレポートがそれぞれ10%ずつ、学年末の定期試験期間中に行う筆記試験が50%とする。
教科書 その他	指定しない。授業でプリントを配布し、配布したプリントは定期試験に持ち込み可とする。 この授業で扱う内容からさらに専門性を深め、自分の興味にしたがって各自が研究し発表する演習形式に近い形態を取り入れた「日本文化研究IIB(松田)」を開講している。希望者はこちらのIIBを先に履修してから、翌年度以降にさらに興味があればIIBを履修していただきたい。

履修コード	359701
科目名	日本文化研究II B
担当者名	石割 透

講義のねらい

日本近代文学とく京都——そうだ、京都。学ぼう。

京都は平安時代から、政治、文化の中心としてあり、近代においても首都東京と対照的な、東京を批評する性格をもつ都市として文学の世界でも表象されてきた。現在でも多くの人たちが訪づれる国際的な都市でもある。日本の文化の本質とも深く関わる、こうしたく京都>という場所は、どのような空間に位置し、いかなる歴史、文化とかがわってきたか。この授業では、京都という都市の性格を概観し、それが特に日本近代文学でいかに表象されてきたかを検討しようとする授業です。

講義の内容・授業スケジュール

1、京都の歴史(2) 2、地理的条件(2) 3、生活習慣、行事など(2) 4、京都言葉の特徴(3)、5、家屋構造、路地など(2)、6 近代の京都、疎水工事、市内電車など(1)、7、川端康成「古都」の検討(3) 8、与謝野晶子「みだれ髪」、夏目漱石「虞美人草」(3)、9、東京下町趣味、長崎、祇園、吉井勇、長田幹彦、高浜虚子など(3) 10、近松秋江「黒髪」(3)、11 京都と映画、牧野省三、溝口健二など(1)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

各授業に先だち、各テキストを読んでおくことが望ましい。
年間に2、3回のレポートの提出。出席を重視して、成績評価に加味する。
特に指示しない。授業時にコピー、印刷物を配布する。
授業時に指示する。京都を表象したテキストに注目しておくように。
講義を中心として進行する。

履修コード	359801
科目名	日本文化研究II B
担当者名	小林 治

講義のねらい

戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で辿ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということをおぼろげにあらためて対象化して考える出発点としていきたい。

第二次大戦直後の戦後文学の出発期から第三の新人が出揃った昭和三十年代に至るまでの戦後日本文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たちどまって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する予定。(1~3) 戦後文学の特色について(4~6) 『近代文学』の役割(7~9) 野間宏の軌跡(10~12) 『暗い絵』の分析(13~15) 『顔の中の赤い月』の分析(16~18) 島尾敏雄の軌跡(19~21) 『出発は遂に訪れず』の分析(22~24) 『死の棘』の分析(25~27) 安部公房の軌跡(28~30) 小島信夫の軌跡

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きな迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法
教科書

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

参考書等

野間宏『暗い絵・顔の中の赤い月』(講談社文芸文庫)

島尾敏雄『出発は遂に訪れず』(新潮文庫)

その他、適宜プリントを配布する。

授業時に指示する。

履修コード	359901
科目名	日本文化研究II B
担当者名	^{まつだ} ^{なほゆき} 松田 直行

講義のねらい	昨年度の「日本文化研究IB（松田）」で概説した演劇・芸能の中から受講者の興味関心に応じたテーマを選び、受講者が分担して調査研究した内容を発表する演習形式に近い要素を取り入れながら、より深い理解を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	「日本文化研究IB（松田）」で触れた主なテーマとしては、（1）演劇におけるリアルとは何か（2）伝統芸能と現代演劇（3）浅草オペラとエノケン（4）宝塚とミュージカル（5）漫才と喜劇（6）大道芸と見世物、などがある。ほかに受講者の希望があれば、できる限り応じたい。
履修上の留意点	基本的には昨年度の「日本文化研究IB（松田）」の受講者を対象としているので、それを受講していない場合はまずIBから履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行い、履修に関する質問等を受けつけるので、必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験は行わない。授業での発表が50%、出席状況や授業への参加姿勢による評価が50%として判定する。
教科書	「演劇におけるリアルとは何か」を考えるためのテキストとして、平田オリザ「演劇入門」講談社現代新書1422、¥735を使用する。

履修コード	170901
科目名	日本語文化研究I
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい 音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する日本語資料の実態についてその保管現況を把握します。この資料をどう時代区分するのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化を研究する際、どのような重要性を有し、どのように研究発展させていくのかを各が認識していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 日本文化の未来と古代をつなぐ
- 02の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について
文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語学資料へ
- 03の講義内容 「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たるにのうた」
- 04の講義内容 『伊勢物語』第九段 「東下り」を読む
- 05の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 — 『吉備大臣入唐絵巻』— PDF版
- 06の講義内容 「落書」PDF版
- 07の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版
- 08の講義内容 文字の修得と習学 PDF版 「かな」について 貴族階級とことば教育 佛敎界とことば教育
- 09の講義内容 文字の運びと流れ PDF版 カタカナ文献資料について— 『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一二〇六年寫—
- 10の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版 — 『今昔物語集』(京都大学附属図書館蔵国宝、鈴鹿本)—
- 11の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版 — 鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ—
- 12の講義内容 連綿連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版 — 徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字—
夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)
- 13の講義内容 『作庭記』について PDF版
- 14の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる畳字踊り字「／＼」 PDF版
- 15の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版
- 16の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版
- 17の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版
- 18の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について PDF版
- 19の講義内容 『太平記』について PDF版
- 20の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化についてPDF版
- 21の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版
- 22の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版
- 23の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版
- 24の講義内容 『仮名手本忠臣蔵』PDF版
- 25の講義内容 町人文化とことば…十返舎一九編『東海道中膝栗毛』PDF版
- 26の講義内容 樋口一葉『たけくらべ』—雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿—
冬季課題の提出

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

紀田順一郎著『日本の書物』〔勉誠出版、3000円(税別)〕
インターネット公開型テキスト“国語史” [URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

- 参考書等 今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(笠間書院) 3,800円(税別) ISBN4-305-70307-6
- その他 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。
- 情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	215721
科目名	日本語文化研究I
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい Word と Excel の基本的な操作方法からその活用方法まで、操作実習と練習を繰り返しながら、文書作成スキルを身につけることを目的とします。授業内で完成しない課題は宿題として自習し、1週間以内に提出するという短期集中型で行う、効率の良い技能習得方法だけに、個々の地味な努力が求められますが、その分、大きな達成感を味わえることでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

前期:

- 第1回 オリエンテーション・履修登録許可者の選別テスト
- 第2回 「履修登録許可書」の発行・ Word を起動しましょう
- 第3回 タッチタイピングをマスターしましょう
- 第4回 文字を変換しましょう
- 第5回 文章を入力しましょう
- 第6回 文書を作成しましょう
- 第7回 文字を装飾しましょう
- 第8回 社外文書を作成しましょう
- 第9回 文書の表現を整えましょう
- 第10回 ページ設定を変更しましょう
- 第11回 表を作成しましょう
- 第12回 図形を描きましょう
- 第13回 Drill-1・タッチタイピングテスト①

後期:

- 第14回 タッチタイピングテスト②・ Excel を起動しましょう
- 第15回 文字や数値を入力しましょう
- 第16回 表を作成しましょう
- 第17回 ビジネスで使われる計算式・数式の入力・数式のコピー
- 第18回 相対参照と絶対参照・関数の利用
- 第19回 表を編集しましょう
- 第20回 印刷しましょう
- 第21回 グラフを作成しましょう
- 第22回 図形を描きましょう
- 第23回 Drill-2
- 第24回 Word & Excel 総復習
- 第25回 タッチタイピングテスト③
- 第26回 予備日

履修上の留意点 コンピュータを使用します。第1回目の授業時に KOMAnet ユーザIDを取得していない人は受講できません。

第1回目の授業で履修登録許可者を決定するためのタッチタイピングテストを行い、結果を翌日当該教場ドアに掲載します。履修を許可された学生は、第2回目の授業に出席して、「履修登録許可書」を受理してください。

なお、第2回目に履修登録許可者が欠席した場合は権利を放棄したものとみなします。(定員60名)

成績評価の方法

出席を重視します。細かな課題提出が多数あります。出席点、課題提出点、タッチタイピングテスト点、Drill の点数の総合点で評価します。

教科書

noa 出版 『繰り返して慣れる! Word & Excel2003』(但し2007バージョンになる可能性大) 株式会社ワークアカデミー ¥1,050

参考書等

適宜指示します。

その他

初心者対象の授業ですので、経験者はご遠慮ください。

履修コード	360601
科目名	日本語文化研究II
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい

日本語文化研究Iの日本語歴史で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されている。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いを検証していくこととする。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知願集』、『神風知願正義集』、『伊勢物語性清抄』など、『源氏物語』には『源氏物語抄』、『河海抄』など、『枕草子』には『春曙抄』、『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なき注釈書が存在している。これらの注釈書類を以て、日本語文化研究における国語資料としての位置づけについて探求することをめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
古典作品に於ける「古注釈」研究の領域とは
- 02の講義内容 『万葉集』の注釈書『万葉集略解』『万葉代匠記』
- 03の講義内容 『古事記』の注釈書『古事記伝』
- 04の講義内容 『日本書紀』の注釈書『日本書紀抄』
- 05の講義内容 文献資料の蒐集方法とその取り扱い
- 07の講義内容 字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその方法
- 08の講義内容 『伊勢物語』の注釈書『和語知願集』『神風知願正義集』『伊勢物語性清抄』
- 09の講義内容 『古今和歌集』の注釈書『古今集註』
- 10の講義内容 『枕草子』には『春曙抄』
- 11の講義内容 『源氏物語』の注釈書『源氏物語抄』『河海抄』
- 12の講義内容 文献素材の入手及びデータ入力作業
- 13の講義内容 『和漢朗詠集』の注釈書『和漢朗詠集註』『和漢朗詠集聞書』
- 14の講義内容 『平家物語』の注釈書『平家物語繪抄』
- 15の講義内容 『徒然草』の注釈書『徒然草寿命院抄』
- 16の講義内容 『太平記』の注釈書『太平記賢愚抄』『太平記音義』
- 17の講義内容 『庭訓往來』の注釈書『庭訓往來註』『庭訓往來抄』
- 18の講義内容 難字・異体字の処理及び修飾文字の利用(「今昔文字鏡」等)
- 19の講義内容 図画・図表の処理(データ加工)→機器スキャナーに依る取り込み
- 20の講義内容 注釈書類の引用文献その1 漢詩・漢籍資料
- 21の講義内容 注釈書類の引用文献その2 和歌資料
- 22の講義内容 注釈書類の引用文献その3 和文資料
- 23の講義内容 注釈書類の引用文献その4 記録類資料
- 24の講義内容 注釈書類の引用文献その5 字書・辞書類資料
- 25の講義内容 解説資料の整理記述(PPTの作成)
- 26の講義内容 資料公開とその注釈語の分析結果報告(PPTによる発表)

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

毎月注釈書取載のことは群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書その他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	360701
科目名	日本語文化研究II
担当者名	湯浅 陽子

講義のねらい あなたは自分の日本語による「表現力」に自信がありますか？近頃いろいろな場面で若者のコミュニケーション能力に不安があるという声を耳にします。コミュニケーション能力は、相手に効果的に働きかけることのできる「表現力」を身につけることで高めることができます。

本講義では、文章技法からプレゼンの実施までを体験しながら方法論を学び、総合的な表現力を身につける手助けをします。話すにしても書くにしても結局のところ正しく美しい日本語による表現力が求められます。「就職」を意識して、世の中の動きに即対応できる、日本語表現力を身につけることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション（履修登録許可者決定のためのテスト）
- 第2回 自分を磨こう
- 第3回 知っているようで知らない日本語
- 第4回 美しい日本の言葉
- 第5回 会話の達人になろう
- 第6回 社会人としての会話
- 第7回 電話を使いこなす
- 第8回 面接試験を研究する
- 第9回 小論文を克服しよう
- 第10回 就職作文か小論文か
- 第11回 出題形式別の小論文
- 第12回 小論文の実例から学ぶ
- 第13回 小論文タブー集
- 第14回 履歴書・エントリーシート
- 第15回 実用文に慣れよう（手紙・はがき）
- 第16回 ビジネス文書表現（社内文書）
- 第17回 ビジネス文書表現（社外文書）
- 第18回 ビジネスメールの表現
- 第19回 スピーチも覚えよう
- 第20回 プレゼンテーション（スライド作成）
- 第21回 プレゼンテーション（スライド作成）
- 第22回 プレゼンテーション（発表会）
- 第23回 プレゼンテーション（発表会）
- 第24回 予備日

履修上の留意点

頭の中にあることがすぐ文字化できる程度のタイピング力を要します。第1回目の授業でタッチタイピングのテストをして、上位の学生から順に履修登録許可を与えます。許可された学生は第2回目の授業に必ず出席し、「履修登録許可書」を受理してください。（定員60名）

なお、第2回目の授業に履修登録許可者が欠席した場合は、その権利を放棄したものとみなします。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験の合計点により算出します。

**教科書
参考書等
その他の**

田上貞一郎 『就職に役立つ 日本語表現法』 萌文書林 ￥1,680 ISBN4-89347-047-7

適宜指示します。

課題は Word を使って作成しますので、無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っている入力練習ソフト Type Quick でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。

履修コード	360901
科目名	実務表現
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
書く技術 原稿用紙縦書きの意味
- 02の講義内容 出版社はなぜ400字詰め原稿用紙を用いないのか？
- 03の講義内容 800字の文章は、こうして書く。
- 04の講義内容 原稿用紙7枚半(3000字)の文章の書き方
- 05の講義内容 漢和辞典を繙く
- 07の講義内容 国語辞典を繙く
- 08の講義内容 類語辞典を活用してみよう
- 09の講義内容 話題のエピソードを導入部で使おう
- 10の講義内容 人物はどのように描けるか
- 11の講義内容 自然景物をどう活写するか
- 12の講義内容 時代小説家は何に留意して作品を構築しているのか
- 13の講義内容 推理小説は、種明かしの部分をどこにおいているか
- 14の講義内容 「パロディ」な文章を書いてみよう
- 15の講義内容 絵本を書いてみよう
- 16の講義内容 漫画・アニメにみる「ことば表現」を使えるか
- 17の講義内容 手書き文字はどうすれば巧く書けるようになるのか？そのコツ！
- 18の講義内容 詩や短歌を用いてことば遊び(回文・逆さことば・しりとり等)を学ぼう
- 19の講義内容 かな文字だけの文章
- 20の講義内容 ローマ字だけの文章
- 21の講義内容 文法は、グラグラだ！どうすりゃいいの？
- 22の講義内容 文章の修辞法を知ろう
- 23の講義内容 音の響きと弾みから学ぶ「オノマトペ」の活用法
- 24の講義内容 生活に根ざした「方言」で書く文章
- 25の講義内容 「句読点」はどう用いてきたか
- 26の講義内容 言語生活からみた「新聞論評・コラム」
- 27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめざそう。(PPTの作成)

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めていきます。その仕上がりが度合いを許しに評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

**教 科 書
そ の 他**

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

情報機器及び文書編集ソフト「一太郎2007」を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	361001
科目名	実務表現
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい

情報検索、情報共有、文書作成、企画提案、プレゼンテーション、数値分析、デザイン、スケジュール管理…等々、実社会では、「情報を活かし、コミュニケーションする能力（ICT能力）＝情報活用力」が日々、求められています。パソコンなど情報機器の普及とともに、多くの仕事で情報を取り扱う機会が増え、「情報活用力の優れた人材＝仕事のできる人」という図式ができあがりつつあります。

講義の内容・授業スケジュール

この動きに対応できるよう、情報基礎教育や Office アプリケーション操作をひとつとおりマスターした学生にとっての「実社会で活躍する」スキル涵養のための授業です。

- 第1回 オリエンテーション（履修登録許可者決定のためのテスト）
- 第2回 「履修登録許可書」発行・文書表現1（良い文書・わかりやすい文章）
- 第3回 文書表現2（文書のレイアウト）
- 第4回 ビジネス文書作成1
- 第5回 ビジネス文書作成2（検定）
- 第6回 さまざまな機能の利用1*
- 第7回 さまざまな機能の利用2
- 第8回 さまざまな機能の利用3
- 第9回 さまざまな機能の利用4
- 第10回 ビジュアル表現1
- 第11回 ビジュアル表現2**
- 第12回 インターネットコミュニケーション（メール）
- 第13回 予備日
- 第14回 情報検索（インターネットを用いた情報検索）
- 第15回 情報運用（情報を正しく扱う・情報の安全性）
- 第16回 数値分析I-1（データの種類・データの加工・セル参照）
- 第17回 数値分析I-2（関数の利用*）
- 第18回 数値分析II-1（データのグラフ化**）
- 第19回 数値分析II-2（データの分析***）
- 第20回 データベース1
- 第21回 データベース2（シートの管理****）
- 第22回 ファイル・データ管理
- 第23回 予備日
- 第24回 予備日

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の授業時に履修登録許可者を決定するためにタッチタイピングテストを実施します。翌日当該教場のドアに決定者の学生番号を貼付してお知らせしますので、第2回目の授業時に「履修登録許可書」を受領してください。

なお、履修登録を許可された学生が第2回目の授業を欠席した場合は、権利を放棄したものとみなします。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験の合計点により算出します。

教科書

本田直也監修 noa 出版編集 『考える、伝える、分かちあう、情報活用力』 株式会社ワークアカデミー ISBN978-4-9902420-4-6

参考書等

noa 出版 『繰り返して慣れる！完全マスター Word2003/2007』 株式会社ワークアカデミー *pp.73～170、**pp.190～208 ￥1,235
noa 出版 『繰り返して慣れる！完全マスター Excel2003/2007』 株式会社ワークアカデミー *pp.58～79、**pp.132～159、***pp.160～171、****pp.172～189 ￥1,235

その他

課題は Word や Excel を使って作成しますので、無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っている入力練習ソフト Type Quick でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。

履修コード	168902
科目名	日本文化テーマ研究 A
担当者名	佐原 作美

講義のねらい 日本の神話や伝説をはじめとする伝承文学をもとに、古代日本人の心性や精神生活のありようを考察することを目的とする。あわせて現代人とのつながりについても見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 人々によく知られた「国生み神話」や「八俣の大蛇退治」などの『古事記』神話（4～5回）や、行路使者の歌をはじめ『万葉集』に見られる伝承歌（4～5回）、あるいは『竹取物語』に代表される「羽衣説話」（4～5回）、その他心ひかれる古伝承などを読みながら考察していきたい。

履修上の留意点 文学は味読することが大切。各自の感性を大切にし何度も繰り返し読んでほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）を基本とし、出席状況と合わせ評価する。

教科書 プリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じ授業時に紹介する。

履修コード	168911
科目名	日本文化テーマ研究 A
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい テーマ：日本古典文学と〈異界〉—神話・伝説を読む—古代の文学作品や歴史書、地誌などを取り上げて、古代の人々が〈異界〉をどのように考え、語っているかを解説する。また、実際に原文に触れて古典を読む楽しさを味わって欲しい。

講義の内容・授業スケジュール どのような人が〈異界〉から訪れ、あるいは〈異界〉への旅をしたか、『古事記』や『日本書紀』、『風土記』などの神話や『万葉集』に歌われている伝説を読み解きながら、古代の人々の死生観や人間観について考える。

履修上の留意点 プログラム：（1～2）ガイダンス・異郷訪問説話について、（3～5）黄泉国神話、（6～8）海幸と山幸、（9～11）浦島子の物語、（12～14）すぐそこにある〈異界〉、（15）総括。

成績評価の方法 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 プリント教材。

参考書等 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	169002
科目名	日本文化テーマ研究 B
担当者名	佐原 作美

講義のねらい 日本の古代文学の中で「夢」がどのように登場し、どのような役割を果し、どう位置づけられているかなど、「夢と古代文学」をテーマに考察する。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、『古事記』や『万葉集』や『風土記』のほか『日本霊異記』や『今昔物語集』などの説話集をも対象に、各作品とも約2～3回の割で見していきたい。

履修上の留意点 夢を素材とするだけに、内容は単純で典型的である。それだけにそれらが発するメッセージを受信できるよう味読することが大切である。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本に出席状況などを考慮して評価する。

教科書 プリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じて授業時に紹介する。

履修コード	169011
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい	テーマ：日本古典文学と〈空間〉—〈あづま・みちのく〉を中心に—主に古代から中世までの文学作品を取り上げて、平安京という都市空間を生きた古代の人々における〈あづま・みちのく〉の意味を考える。実際に原文に触れて古典を読む楽しさを味わって欲しい。
講義の内容・授業スケジュール	『万葉集』におさめられている東国関係の歌や『伊勢物語』、『更級日記』、『宇治拾遺物語』などの文学作品の一節を読みながら、どのように〈あづま・みちのく〉という地域が古代の人々（貴族階級）に把握されてきたかを読み取り、併せて作品に内在する問題について考える。 プログラム：(1) ガイダンス、(2～4) 古代前期における〈あづま・みちのく〉、(5～7) 王朝文学における〈あづま・みちのく〉、(8～11) 説話文学における〈あづま・みちのく〉、(12～14) 語り物における〈あづま・みちのく〉、(15) 総括。 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。
履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。
成績評価の方法	期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40％、授業態度（出席状況とコメントの内容）60％。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	プリント教材。
参考書等	参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	169102
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	坂口 博規

講義のねらい	日本文化の一つとして、昔話・民譚と称される伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという伝承であり、特に異類房譚を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説の例などである。半期科目なので羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説（1）、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、また「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話もA系統に属する伝承であり、これらについても考察する（7～13）。更にB・Cの系統についても言及したい（14・15）。
履修上の留意点	異類怪婚譚は室町時代物語草子（御伽草子）の中に多く登場し、その考察は「テーマ研究Ⅳ・日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下さい。なお本時の内容は、平成18年度「日本文化基礎」で行ったものであり、18年度「日本文化基礎」を履修した受講生も「日本文化テーマ研究D」を履修していただくとう幸いである。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらってレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。
教科書	授業において適宜プリント教材を配布する。
参考書等	授業において適宜紹介する。

履修コード	169111
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	藪部 幹生

講義のねらい	日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた（散佚）『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書で紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割を考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他の文献における記事。7～10 他の文献における受容。11～13 実態と散佚に関する推定。14 教場試験。15 まとめ。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めないので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169202
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろみ</small>

講義のねらい	室町時代物語草子（御伽草子）群には「異類怪婚物語（人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語）」が多く存在する。それらの作品を取り上げ考察すると共に、受講生にはそうした作品から希望する作品を各自選んでもらい、研究レポートを作成してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	室町時代物語草子のうち、江戸時代に23篇の作品が「御伽草子」と題して出版された。その中から異類怪婚物語を取り上げて解説する。まず古典文学における物語史を講じて室町時代物語草子の文学的意義を考察（1・2）、更に23篇の中より異類怪婚物語として『浦島太郎』（3～6）・『本幡狐』（7・8）・『蛤の草子』（9・10）を取り上げて読解する。最後に「御伽草子」23篇以外の『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう（11～15）。
履修上の留意点	「異類怪婚物語」については、「羽衣伝説」を中心に「テーマ研究III・日本文化テーマ研究C」で講義し、室町時代物語草子の作品例として『鶴の草子』を解説するので、後期開講のこちらも受講して下さいと幸いである。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらうレポートは原稿用紙10～20枚程度（400字詰）を考えている。その成績に、出席状況を加味して評価する。
教科書 参考書等	授業時にプリント教材を配布する。 授業時に、レポート作成のための文献等の紹介をする。

履修コード	169211
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	蘭部 幹生 <small>そのべ みきお</small>

講義のねらい	日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを顕かにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 歌徳説話の意味。2～5 典型的な歌徳説話について。6～7 歌徳説話の形成。8～9 歌徳説話の精神的背景。10～13 垂流の歌徳説話。14 教場試験。15 まとめ。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求め、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書 参考書等	プリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169302
科目名	日本文化テーマ研究E
担当者名	石割 透 <small>いしわり とおる</small>

講義のねらい	スポーツと文化・権力ー例えば<ボクシング>を例として。 スポーツは現在多くの人に、実際にプレーしたり、見ることを通して親しまれている。しかし、時代を超越して存在しているようなスポーツにも、権力や文化が深く介在し、時代状況と密接に関わっている。この授業では、スポーツが文学・映画・テレビ映像などによっていかに表象されてきたかを検討し、スポーツの時代における意味を考えて行きます。特に、ボクシングにこの時間では焦点を合わせて、その時代における意味を検討したいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	1 石原慎太郎「太陽の季節」（3）、2 三島由紀夫、大江健三郎と昭和三〇年代（2） 3 ボクシングの誕生と日本での歴史（2） 4 昭和三〇年代という時代、特に映画に表象されたボクシング（3） 5 政治の季節と暴力（3） 6 ちばてつや「あしたのジョー」について（3）
履修上の留意点	スポーツを愉しんだり、見たりする際にも、そのスポーツの歩んできた歴史を考えて臨んでほしいと、また、いろいろなスポーツの特徴、文化的な性格などについても、この機会に考えてほしいと思います。例えば、日米の野球の相違など。
成績評価の方法	スポーツが芸術作品にいかにか表象され、それがいかなる意味をもっているのか、などについて、レポートを提出すること。出席状況を重視して、成績評価に加味する。
教科書 参考書等 その他	特に指定しない。 授業時に指示する。 講義形式で授業を進行させる。プリントなど、必要に応じて配布する。

履修コード	169311
科目名	日本文化テーマ研究 E
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義のねらい	宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」(『注文の多い料理店』 広告文)へ与えられるべき「すぎとほつたほんたうのたべもの」(『注文の多い料理店』 序)であることを願って書かれていることに異を唱える者はないだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」(『注文の多い料理店』 広告文)「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『ゼロ弾きのゴーシュ』などの短編や、『ポラーノの広場』、『風の又三郎』など比較的長い生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にみていく予定。(1～3) 宮澤賢治の軌跡 (4～6) 『なめとこ山の熊』の分析と読解 (7～9) 『ゼロ弾きのゴーシュ』の分析と読解 (10～12) 『ポラーノの広場』の分析と読解 (13～15) 『風の又三郎』の分析と読解。
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法 教科書	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
参考書等	宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』(ちくま文庫) その他、適宜プリントも配布する。
	授業時に指示する。

履修コード	169402
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	いしわり とおる 石割 透

講義のねらい	日本近代美術に描かれてきた女性 絵画の世界では、江戸時代においては、女性は美人画の分野でもっぱら扱われてきたようであるが、近代の西洋画の流入に伴ない、さまざまな女性の姿が描かれるようになった。その意味を時代の流れに即して検討していく。特に上村松園の日本画を基軸として考えていく。
講義の内容・授業スケジュール	1 女性画家について、松園、モリゾー、カセットなど (2) 2 書物、手紙を読む女性 (2) 3 俯く女性、文学の挿絵をめぐる (2) 4、洋画の導入に伴う女性像の変容 (2)、5 近世の美人画について (3) 6 立美人画と座す女性 (2) など。
履修上の留意点	美術館の展示会に足を運んだり、美術の図録、書物などによって、主に明治期・大正期の絵画に注目しておくこと。
成績評価の方法 教科書	1、7枚程度のレポート提出による。更に出席状況を重視する。
参考書等	特に定めない。
その他	授業時に指示する。 講義形式で進める。プリントを必要に応じて配布する。

履修コード	169411
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい 異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十一年（1956年）、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風来坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマンイズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したすこぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既成の価値観をあざ笑うかの如きその突出したアンチヒューマンイズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には上記の深沢の作家としての特徴を、『楳山節考』、『笛吹川』『甲州子守歌』などの代表的作品の読解によって明らかにしていきたい。（1～3）深沢七郎の軌跡（4～7）小説『楳山節考』の分析と読解（8～11）『楳山節考』原作と映画（二度の映画化）の比較考察（12～15）小説『笛吹川』、『甲州子守唄』の分析と読解。

履修上の留意点 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きな迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書 深沢七郎『楳山節考』（新潮文庫）

参考書等 その他、適宜プリントも配布する。
授業時に指示する。

履修コード	169502
科目名	日本文化テーマ研究 G（夏季集中）
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい 「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素（表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など）を体験的に学ぶとともに、状況に応じて即座に、臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かすゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本のない即興でストーリーを生み出すことを目指す。コミュニケーション技術を学ぶとともに、本番で実力を発揮できる能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。

講義の内容・授業スケジュール （1）基本講義：ワークショップとは何か？ （2）講義：心と体はつながっている （3）実技：シアターゲーム （4）実技：インプロの練習 （5）実技：インプロのグループ発表 （6）まとめとレポート試験

履修上の留意点 集中授業なので4日間すべてに出席しなければ単位を取得できない。軽い運動をすることができる服装（靴はスニーカーなど）で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。

成績評価の方法 授業への参加状況による評価が60%、「インプロ」のグループ発表の結果が20%、最終日に教場で書いていただくレポート試験の結果が20%として算出する。

教科書 指定しない。

参考書等 絹川友梨『インプロゲーム－身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円。池上奈生美・秋山桃里『インプロであたかも「本番に強い人」になれる』、フォレスト出版、1,365円。

その他 授業日程：7月31日の3～5限、8月1日の2～5限、8月4日と5日のそれぞれ2～5限、合計4日間の15時限授業。予備日は8月6日の2～5限。台風による休講等で予備日に発表・レポート試験を行うことになる可能性もあるので注意すること。

履修コード	169602
科目名	日本文化テーマ研究H
担当者名	<small>まつだ なおゆき</small> 松田 直行

講義のねらい 講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言わしめるほど近代という時代と深くかかわってきた。映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考えながら、同時に映像作品によって語られた近代とはどのような時代なのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール (1) 映画とは何か (2) 映画の技術と歴史 (3) 映画の文法 (4) 映画の記号論 (5) 日本のモダニズム映画 (6) シナリオの構造

履修上の留意点 実際に映像作品を授業で見えていただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「マダムと女房」、「カルメン故郷に帰る」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。

成績評価の方法 出席状況と授業で適宜提出を求める小レポートによる評価が50%、定期試験期間中に行う筆記試験が50%として算出する。

教科書 ジェイムズ・モナコ『映画の教科書—どのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。各自あらかじめ購入して、初回の授業に持ってくる。定期試験は教科書持込可とする。

履修コード	215801
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	阿部 真大

講義のねらい 人の「心」を研究する学問を「心理学」と言う。しかし、人はひとりで生きているわけではない。人の隣には別の人がいる。人と人が合わさってできるものを「社会」と呼ぶ。その「社会」を研究する学問を「社会学」と言う。生活するなかで何か問題にぶちあたったとき、その原因を「心」に求める（「自分が悪いんだ」）のもいいけれど、たまには「社会」に求めてみる（「社会が悪いんだ」）のもいいかもしれない。それで気が楽になったり問題解決の道筋が見えたりすることがあるかもしれない。この講義のねらいは「社会学」を通じてみなさんの「生きる力」を養うことです。

講義の内容・授業スケジュール (1) イントロダクション 社会学とは何か? (2-6)「バイク便ライダー」を手がかりに興味と仕事について考える (7-11)「ユニットケア」を手がかりに高齢者福祉について考える (12-16)「合コン」を手がかりに恋愛と結婚について考える (16-19) 自分の身の回りの問題について考える (20) まとめ 再び社会学とは何か?

履修上の留意点 日頃から社会のなかにおける自分の位置を把握するよう心がけてください。新聞や雑誌、インターネットなどを見る習慣をつけておいてください。

成績評価の方法 学期末試験と授業内に提出を求める課題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書 阿部真大『搾取される若者たち バイク便ライダーは見た!』2006年刊(集英社) 672円
阿部真大『働きすぎる若者たち 「自分探し」の果てに』2007年刊(NHK出版) 735円
北村文・阿部真大『合コンの社会学』2007年刊(光文社) 735円

履修コード	216401
科目名	統計学〔社会現象の統計的分析〕
担当者名	田中 正光

講義のねらい 現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々な場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1~4) 総和記号の使い方、代表値の計算 (5~6) データの散布度の計算 (7~9) 度数分布 (10~11) 相関係数 (12~13) 回帰分析 (14~16) 確率 (17) 確率変数 (18~24) 離散型確率分布、連続型確率分布 (25~26) 標本と標本分布 (27~28) 統計的推定 (29~30) 統計的仮説検定

履修上の留意点 通常の講義では電卓(関数電卓が望ましい)を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法 前期末と後期末に中間試験を行い、この点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。

教科書 指定なし。

参考書等 稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』(共立出版) 2004年
室淳子・石村貞夫『Excel でやさしく学ぶ統計解析』(東京図書) 2004年
鳥居泰彦『はじめての統計学』(日本経済新聞社) 2003年
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』(東京大学出版会) 1997年
岸野洋久『社会現象の統計学』(朝倉書店) 1992年
森田優三『統計概論』(日本評論社) 1966年

その他 授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を収め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

履修コード	216901
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	<small>すぎい じゆんいち</small> 杉井 純一

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものととの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み(1)
 - 3. 文化人類学の歩み(2)
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
 - 6. 環境と人間(2) 牧畜民
 - 7. 環境と人間(3) 農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

その他

ビデオを見た感想を問うことがあります。

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円

山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円

佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社)2,200円

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

履修コード	217101
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	鈴木 一馨

講義のねらい 文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を採り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間への対応、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

前期：

第1部. 文化人類学と民族

I. 「文化」と「文化人類学」(1～3)、II. 「民族」とはなにか(4～6)

第2部. 民族とコスモロジー

I. 「コスモロジー」とはなにか(7～8)、II. 天とひとつのコスモロジー(9～10)、III. 世界の断絶と連続(11～15)

後期：

第3部. 風水のコスモロジー

I. 風水を構成する宇宙論(16～24)、II. 風水による現実空間の意味付け(25～26)、III. 風水と人間社会(27～30)

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとついていけない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

**教科書
参考書等**

プリントを使用する。

祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』(中公新書560、1990年)840円、ISBN:4121905601

国立歴史民俗博物館編『異界談義』(角川書店、2002年)1,470円、ISBN:4048837575

渡邊欣雄『風水思想と東アジア』(人文書院、1990年)1,995円、ISBN:4409410482

鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界一』(講談社選書メチエ244、2002年)1,575円、ISBN:4062582449

履修コード	218101
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	新田 浩司

講義のねらい 法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義では、法学及び国家の根本法である憲法について、現実には発生する様々な問題にも言及しながら理解を深め、我々が国民として住民として生活する上で必要な法的思考（リーガル・マインド）を養うことを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | | |
|-------|-------------|-------|---------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第14回目 | 国家の安全保障 |
| 第2回目 | 法学の基礎知識① | 第15回目 | 精神的自由権① |
| 第3回目 | 法学の基礎知識② | 第16回目 | 精神的自由権② |
| 第4回目 | 法学の基礎知識③ | 第17回目 | 経済的自由権 |
| 第5回目 | 法学の基礎知識④ | 第18回目 | 社会権 |
| 第6回目 | 法学の基礎知識⑤ | 第19回目 | 参政権 |
| 第7回目 | 法学の基礎知識⑥ | 第20回目 | 国務請求権 |
| 第8回目 | 憲法の基礎知識① | 第21回目 | 統治機構① |
| 第9回目 | 憲法の基礎知識② | 第22回目 | 統治機構② |
| 第10回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第23回目 | 統治機構③ |
| 第11回目 | 日本国憲法の基本原理① | 第24回目 | 統治機構④ |
| 第12回目 | 日本国憲法の基本原理② | 第25回目 | まとめ |
| 第13回目 | 象徴天皇 | | |

履修上の留意点 社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題も多く、この講義を履修して法的思考を養い、それらの問題を考える知識を身につけてもらいたい。

成績評価の方法 夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。

教科書 開講時に指示する。

参考書等 小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

履修コード	218201
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	新田 浩司

講義のねらい 法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義では、法学及び国家の根本法である憲法について、現実には発生する様々な問題にも言及しながら理解を深め、我々が国民として住民として生活する上で必要な法的思考（リーガル・マインド）を養うことを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | | |
|-------|-------------|-------|---------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第14回目 | 国家の安全保障 |
| 第2回目 | 法学の基礎知識① | 第15回目 | 精神的自由権① |
| 第3回目 | 法学の基礎知識② | 第16回目 | 精神的自由権② |
| 第4回目 | 法学の基礎知識③ | 第17回目 | 経済的自由権 |
| 第5回目 | 法学の基礎知識④ | 第18回目 | 社会権 |
| 第6回目 | 法学の基礎知識⑤ | 第19回目 | 参政権 |
| 第7回目 | 法学の基礎知識⑥ | 第20回目 | 国務請求権 |
| 第8回目 | 憲法の基礎知識① | 第21回目 | 統治機構① |
| 第9回目 | 憲法の基礎知識② | 第22回目 | 統治機構② |
| 第10回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第23回目 | 統治機構③ |
| 第11回目 | 日本国憲法の基本原理① | 第24回目 | 統治機構④ |
| 第12回目 | 日本国憲法の基本原理② | 第25回目 | まとめ |
| 第13回目 | 象徴天皇 | | |

履修上の留意点 社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題も多く、この講義を履修して法的思考を養い、それらの問題を考える知識を身につけてもらいたい。

成績評価の方法 夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。

教科書 開講時に指示する。

参考書等 小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

履修コード	218601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)
担当者名	池田 実 <small>いけだ みのる</small>

講義のねらい 家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。

政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2) (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念

(7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党

(11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政

(16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1)

(19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2)

(22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1)

(26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2)

(30) 憲法改正

成績評価の方法 出席および授業時間内に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書 野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院) 2,700円+税 ISBN978-4-7823-0424-2

その他 授業日程：7/31、8/1、8/4～7 1時限～5時限

履修コード	218701
科目名	政治学〔社会生活とデモクラシー〕
担当者名	白鳥 浩 <small>しろとり ひろし</small>

講義のねらい 「政治」とは何でしょうか。この講義においては、「政治」とは、「未来の選択である」とする視座に立ち、政治学の全体像を学んでもらいます。これは、しばしば「可能性のアート」とあるといわれるゆえんでもあります。そうした「未来の選択」、「可能性のアート」を扱う学問である「政治学」とは何か、どのように発展してきたのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。

I、序論 政治学の基礎概念(1～4)

II、古代の政治理論(5～8)

III、中世の政治理論(9～11)

IV、近代政治理論の形成(12～15)

V、近代批判の政治理論(16～18)

VI、現代の政治理論(19～22)

VII、国際政治の理論(23)

VIII、現代の政治過程理論(24～26)

IX、ワールド・ポリティカル・サイエンスの形成(27)

X、現代日本の政治分析(28～30)

履修上の留意点 関心を持って、講義に出席してください。

成績評価の方法 試験を中心とするが、総合的に判断する。

教科書 白鳥『都市対地方の政治学：日本政治の構造変動』(芦書房) 2004年

参考書 眞柄・井戸『比較政治学』(放送大学教育振興会) 2004年

藤原『西洋政治理論史』(早瀬田大学出版部) 1985年

授業内で適宜、指示します。

履修コード	219401
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	おおいし 雄爾 大石 雄爾

講義のねらい 私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく長期不況から抜け出していますが、経済格差と貧困の問題は深刻化しています。アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も安定的とはいえません。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているとき、他方、中東などの地域には戦闘の火だねが残っています。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 社会科学を始めるにあたって
- 2～3 思考する楽しみ
- 4～5 社会科学とは何か
- 6～12 社会の歴史的発展と社会思想
- 13～14 社会科学の生誕：ホップスとロック
- 15～17 資本主義経済の把握：スミスとリスト
- 18～20 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
- 21～24 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
- 25 現代社会の思想的諸潮流

履修上の留意点 なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。選抜方法については教務部掲示板でお知らせします。1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法 授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書参考書等

特に指定しない。
高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

履修コード	219501
科目名	教育学〔テス・エデュケーション〕
担当者名	やなぎはり すがこ 柳堀 素雅子

講義のねらい 「医療と倫理」の問題を中心に考えていく。近代医学の成立期からナチスの人体実験の時期を経過して、第二次世界大戦後のバイオエシックスの登場の時期と現代までの世界の状況と日本の状況を比較しながら分析していく。医学は何のためにあるのか、医学の使命とそれが墮落していく危険性はどこにあるのか、患者側の求めるものと生への無限の欲望などを探り出し、人類の現代と未来にとっての理想的な医学、医療のあり方はどのような方向へ向かうべきかを追求していく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1回～3回—医学と医師の倫理
- 4回～7回—近代医学の成立とナチスの人体実験に至るまで
- 8回～14回—第二次世界大戦後の医学の発展と医学倫理の破綻
- 15回～19回—バイオエシックスの誕生とその意味
- 20回～25回—現代の先端医療の個別的状況とバイオエシックスにおける各国の取り組み
- 26回～30回—バイオエシックスの将来的展望と日本の医療とバイオエシックスにおける問題点

履修上の留意点 講義の中だけで講義の内容についてじゅうぶんに理解することは不可能である。レポート課題も含めて、講義の内容について自分で調べて、理解の不十分な点を補うようにすることが必要である。講義の中で紹介した本は、講義の内容を理解するために必要となる本なので読みこなす努力をすること。

成績評価の方法 授業内に提出したレポート課題の内容を調べる。(テーマごとにレポート課題を要求する。提出されたレポートの内容には必ず点数をつけるので、講義内容を理解できていない場合には不可になる。)出席状況を調べる。前期4回以上、後期4回以上欠席した場合は不可にする。

教科書参考書等

使用しない。
クリスチアン・プロス、ゲッツ・アリ編 林功三訳『人間の価値』（風行社）2136円＋税
ISBN 4-938662-12-4 COO22

星野一正『医療の倫理』（岩波書店）780円＋税 ISBN 4-00-430201-3

履修コード	219601
科目名	教育心理〔大学生の心理〕
担当者名	石橋 達也

講義のねらい 本授業では今日の社会的状況における、大学生を中心とした青年期の心の在り方の特徴や問題点およびその課題について、教育心理学や教育臨床の立場を中心に探っていきます。前期の授業では、生涯発達の観点から青年期の位置づけやその発達課題について学び、現代社会における青年期の延長の様子やアイデンティティの問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴やその社会的な背景要因などについて検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール 主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。

- ・人の生涯と発達区分
- ・青年期とその発達課題
- ・アイデンティティとモラトリアム
- ・現代社会と青年期の延長
- ・青年期の心の問題とその要因
- ・大学生の学業と学生生活
- ・大学生の就職と将来設計
- ・大学生の人間関係と恋愛など。

履修上の留意点 履修する学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。
成績評価の方法 成績の評価は期末試験の得点を中心にして、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書 使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。
参考書等 授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。
その他 受講学生には「学ぶ意欲」をしっかりと持って、積極的に取り組むことを望みます。

履修コード	220401
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	なかむら としえ 中村 敏枝

講義のねらい	地球上の生き物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然のおきてに逆らい、自分の歴史をつくろうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。
講義の内容・授業スケジュール	(前期)生物の生活 (1)地球の歴史と生命の起源 ・最初の生命 ・地球の歴史 ・極限環境生物 (2)生命誕生 ・いまここにいる奇跡 ・受精と発生 (3)生命の維持 ・なぜ食べるか ・消化と吸収 ・排泄物のゆくえ ・植物の光合成 (4)生態系の物質循環とエネルギーの流れ ・陸と海をめぐるいのちの輪 (後期)化学物質の功罪 (1)ゴミ処理とダイオキシン汚染 ・ゴミ焼却とダイオキシン ・ゴミの減量 Reduce Reuse Recycle ・ゼロエミッションという考え方 (2)人工化学物質の功罪 ・内分泌かく乱化学物質 - 環境ホルモン (3)人工放射性核種 ・原発は温暖化を防ぐ救世主か ・JCO 臨界事故 (4)まとめ 自然とともに生きる
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社)2,700円 授業時間内に随時紹介します。 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	221001
科目名	地球科学〔自然景観の成り立ち〕
担当者名	いちかわ きよし 市川 清士

講義のねらい	地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようになつてきたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1)地球科学とはどんな学問か？ (2~5)地球の成り立ちと構造について (6~10)大陸の成り立ちや造山運動【プレートテクトニクス】 (11~15)地震および活断層について (16~19)氷期と間氷期【気候変動】 (20~24)地球温暖化と我々の生活 (25~30)南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについて
履修上の留意点	日頃から新聞・雑誌・TVなどで地球環境について目を光らせていてください。また、高校で使用した地図帳を用意すること(できれば最新のものが望ましい)。
成績評価の方法	授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。
教科書 参考書等 その他	『地球学入門—惑星地球と大気・海洋のシステム—』(東海大学出版会)2,940円 参考書はその都度紹介します。 一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオ・DVDによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

履修コード	221901
科目名	自然環境論〔生物の集団と環境〕
担当者名	坂巻 義章

講義のねらい	地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期 (1) ガイダンス (2) 地球 (3) 気圏と水圏 (4) 環境とは何か (5) 生物とは何か (6) 生物界の構成 (7) 地球生物の歴史と環境① (8) 地球生物の歴史と環境② (9) 地球生物の歴史と環境③ (10) 生物の進化 (11) 進化説 (12) 環境への適応① (13) 環境への適応② (14) 生物の分布 (15) 前期のまとめと試験 後期 (16) 食物連鎖 (17) エネルギー流 (18) 生態ピラミッド (19) 個体群 (20) 出生と死亡 (21) 競争と住み分け (22) 捕食 (23) 共生と寄生 (24) 土壌と分解者 (25) 物質循環 (26) 里山の生態系 (27) 人口問題と環境問題① (28) 環境問題② (29) 環境問題③ (30) まとめと試験
履修上の留意点	スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。
成績評価の方法	出席点と筆記試験(前、後期の最終回を予定)で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。
教科書	指定しない
参考書等	指定しない。必要な場合にプリントを配布する。
その他	講義形式の授業とする。

履修コード	221201
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅

講義のねらい	18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。
講義の内容・授業スケジュール	〔地球表層の環境〕 1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回) 2. 気候の決定要因 (3~7回) 3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回) 〔人間活動による環境変化〕 1. 公害問題の変遷 (9回) 2. 地球温暖化とその要因 (10~16回) 3. 大気汚染 (17回) 4. 酸性雨 (18回) 5. 光化学スモッグ (19回) 6. オゾン層の破壊 (20回) 7. 海洋汚染 (21, 22回) 8. 廃棄物問題 (23, 24回) 9. 資源とエネルギー (25~27回) 〔自然災害〕: 1. 気候変動 (28回) 2. 地震とその災害 (29回) 3. 火山とその災害 (30回)
成績評価の方法	成績は、定期試験とレポートにて評価します。
教科書	特になし。
参考書等	講義中に紹介します。
その他	講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	222301
科目名	自然誌〔現代の自然像〕
担当者名	<small>しみず よしかず</small> 清水 善和・ <small>しのほら まさお</small> 篠原 正雄・ <small>やまがた たけし</small> 山縣 毅

講義のねらい 本講義では自然科学部門の3人の教員（天文学、地質学、生物学）がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、宇宙の始まりから地球の形成、生命の起源、進化を経て人類の時代に至るまでの自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、それらを通じて総合的、統一的、現代的な自然観を養う。

講義の内容・授業スケジュール オリエンテーション（1回）；第1講 宇宙の進化と地球の起源（篠原正雄）（1）宇宙の構造と起源（2-4回）、（2）宇宙の進化と物質の進化（5-7回）、（3）太陽系の起源と進化（8-10回）；第2講 地球の進化（山縣毅）（1）大陸と海洋の形成（11-13回）、（2）大陸の漂流（14-16回）、（3）変動する地球（17,18回）、（4）地球と生命の共進化（19,20回）；第3講 生命の起源と進化（清水善和）（1）生命の起源（21-24回）、（2）生物の進化と進化論（25,26回）、（3）人類の進化（27回）、（4）生物多様性（28,29回）、（5）地球環境問題（30回）

履修上の留意点 本科目は1年を通して総合的な自然像を養うことを目的とするので、毎回の出席が困難な学生は履修を控えてほしい。教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法 各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、各教員の指示に従って必ずそのつど評価を受けること。

教科書 特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。

参考書等 各教員がそれぞれの講義の中で適宜紹介する。

履修コード	222401
科目名	数学〔微積分学入門〕
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

講義のねらい 数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に従って以下の項目を解説する。各節を4～6回かけて授業を行う。

第1章 1変数関数の微分積分

§1 1変数関数

- 1.1 1変数関数
- 1.2 今までに学んだ1変数関数
- 1.3 三角関数
- 1.4 逆三角関数
- 1.5 指数関数
- 1.6 対数関数

§2 1変数関数の微分

- 2.1 微分
- 2.2 微分公式
- 2.3 初等関数の導関数
- 2.4 n 次導関数
- 2.5 平均値の定理と不定形の極限
- 2.6 マクローリン展開
- 2.7 関数の増減とグラフの凹凸

§3 1変数関数の積分

- 3.1 不定積分
- 3.2 初等関数の不定積分
- 3.3 置換積分
- 3.4 部分積分
- 3.5 有理関数の積分
- 3.6 定積分
- 3.7 面積と回転体の体積

第2章 2変数関数の微分積分

§1 2変数関数

- 1.1 2変数関数
- 1.2 2変数関数の例
- §2 2変数関数の微分
- 2.1 偏導関数
- 2.2 高次偏導関数
- 2.3 全微分と接平面
- 2.4 合成関数の微分
- 2.5 2変数関数の極値

§3 2変数関数の積分

- 3.1 累次積分
- 3.2 重積分
- 3.3 極座標への変数変換
- 3.4 立体の体積

履修上の留意点 毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法 前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書 石村園子著『やさしく学べる微積分』共立出版
2,100円（税込）ISBN4-320-01633-5

参考書 適宜紹介する。

その他 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

履修コード	222501
科目名	数学〔線形代数学入門〕
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

講義のねらい 数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に従って以下の項目を解説する。各節を4～6回かけて授業を行う。

第1章 行列と行列式

§1 行列

- 1.1 行列の定義
- 1.2 行列の演算
- 1.3 正方行列と逆行列

§2 連立1次方程式

- 2.1 連立1次方程式
- 2.2 行基本変形
- 2.3 行列の階数
- 2.4 連立1次方程式の解
- 2.5 逆行列の求め方

§3 行列式

- 3.1 行列式の定義
- 3.2 行列式の性質
- 3.3 逆行列の存在条件
- 3.4 クラメールの公式

第2章 線形空間

§1 空間ベクトル

- 1.1 ベクトル
- 1.2 内積

§2 線形空間

- 2.1 線形空間の定義
- 2.2 n 項列ベクトル空間
- 2.3 線形独立と線形従属
- 2.4 部分空間
- 2.5 基底と次元
- 2.6 線形写像

§3 内積空間

- 3.1 内積空間
- 3.2 正規直交基底
- 3.3 固有値と固有ベクトル
- 3.4 行列の対角化
- 3.5 2次曲線の標準形

履修上の留意点 毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法 前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書 石村 園子著『やさしく学べる線形代数』（共立出版）
2,100円（税込）ISBN4-320-01660-2

参考書等 適宜紹介する。

その他 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

履修コード	222601
科目名	数学〔現代数学入門〕
担当者名	福田 賢一

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。特に、情報環境、情報機器への理解を深めるため、その数理側面を充実させる。時間に余裕があれば、経済・金融等に必要とされる数理的基礎にも触れる。
講義の内容・授業スケジュール	前期：4回 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、 3回 論理設計・論理回路、 1回 情報。通信機器の理解と理解と数理 2回 まとめと演習 ～前期最終、線型代数とその応用。 後期：3回 線型計画法、 3回 確率現象と社会現象、保険の数理 2回 微積分とその応用、交通・運輸の数理基礎 2回 まとめと演習 ～最終。社会・経済現象の数理トピックス
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要がある。
成績評価の方法	前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。
教科書	使用しない。教材、資料等は数時間に一回の割合で配布する。 内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。
参考書等その他	必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に明示する。 教材、資料等は数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

履修コード	222701
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい	情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れてもらう講義をめざしている。 1. ガイダンス（1回） 2. 記数法とコンピュータにおける情報の表現（5回） 3. 集合と論理（7回） 4. 順列・組み合わせ（2回） 5. 確率・統計（13回） 6. 数学のトピックス（2回）
履修上の留意点	予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。数学は積み重ねが大切な分野です、講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解くこと。レポートは講義に出席して、例題や課題を解いていないと解答することは難しい。
成績評価の方法	評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。また、講義時間中の発言も評価に含める。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等その他	野々山隆幸監修、石原光/小堀光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円 コンピュータ応用の講義と連携して受講すると、さらに理解が深まると思います。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	222801
科目名	物理学〔光と物質〕
担当者名	<small>しのはら まさお</small> 篠原 正雄

講義のねらい 「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール (1-8)「光は波である 1」(光線 影 鏡 屈折 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色) (9-15)「光は波である 2」(波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色) (16-25)「光は電磁波である」(電気と磁気 電場と磁場 電磁波 さまざまな電磁波) (26-30)「現代物理学と光」(原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波 光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光は宇宙を駆け巡る)

履修上の留意点 十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学・物理の予備知識はいらない。

成績評価の方法 期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。期末試験を含む数回のテストの合計で8割、ほぼ毎回の問題による平常点が2割となる基準点により評価する。S, Aについては教務部のガイドラインを参考にするので、基準点と成績とは一致しない。

教科書 藤城敏幸著『生活の中の物理』(東京教学社) 1,800円+税

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 理解を深めるためには毎回問題を考えてもらう。

履修コード	223001
科目名	化学〔衣食住の化学〕
担当者名	<small>まさおが よしかず</small> 牧岡 良和

講義のねらい 現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説していきます。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とします。講義では、はじめに、化学物質の生体・環境への作用を理解するために必要な化学の基礎について解説します。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定です。

講義の内容・授業スケジュール 前期 (1) 化学の導入-物質・分子・原子 (2) 元素の周期律表 (3-6) 化学結合とその種類 (7-13) 有機化学の基礎-製品との関連を含めて
後期 (14-15) 高分子 (16-17) アミノ酸・タンパク質 (18-20) 糖-食品の原材料表示を読む (21-22) 界面活性剤-界面とは? 何を活性化? (23-24) 化学物質のリスクの知り方 (25-26) だまされない化学

履修上の留意点 上記のようなスケジュールを基本としますが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストップックを取り上げるなど、柔軟に進めていきます。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進みますので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修して下さい。なお、授業中の私語・飲食・講義と無関係な用途での携帯電話の使用は禁止です。

成績評価の方法 出席点(55点満点)と筆記試験(45点満点)の合計で評価します。諸事情で講義を欠席する場合には、事前に連絡してください。

参考書等 プリントを配布します。Wikipedia 等のインターネット上のコンテンツも参考にしながら講義を行います(Wikipedia 等の記述の誤りについても解説します)。

履修コード	223201・223301
科目名	宇宙科学〔星と銀河〕
担当者名	<small>しのはら まさお</small> 篠原 正雄

講義のねらい 現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。宇宙が不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しく進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は恒星を取り上げる。(1) イントロダクション (2~4) 観測: 望遠鏡 スペクトル (5~7) 太陽: 構造, エネルギー源 (6~15) 恒星: 年周視差と距離, 分類, 連星と星の質量, 変光星, 星の進化
後期は銀河をとりあげる。(16~17) 銀河系の発見 (18~23) 銀河系: 星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質 (24~26) 銀河: 銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造 (27~30) 宇宙: 宇宙膨張, 暗黒エネルギー, ビッグ・バン

成績評価の方法 中間試験および学年末に行う筆記試験の平均点により評価する。S, Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書 使用しない。

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

履修コード	226001・226101
科目名	人類学〔人類の進化〕
担当者名	篠田 謙一 <small>しのだ けんいち</small>

講義のねらい 人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の進化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点 出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法 毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書 中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等 特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他 本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

履修コード	226801
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	加藤 博己 <small>かとう ひろみ</small>

講義のねらい この講義では、人間関係に重点を置きつつ、哲学から独立し、約130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 前期：オリエンテーション（講義の目標、形式、内容、評価方法、注意事項の確認等）、【記憶】1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由【学習・思考】1.レスポンド条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習【パーソナリティ】1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定、3.パーソナリティ検査、4.知能【動機づけ】1.動機づけの分類、2.葛藤、3.コンプレックス【情動】1.感情の生起、2.感情の測定後期：【発達】1.発達段階、2.発達要因、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法【感覚・知覚・認知】1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（アフォーダンス、ストループ）、対人認知（ハロー効果、ビッグマリオン効果）【社会】1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用（リーダーシップ論）【臨床】1.査定、2.心理療法【心理学論】1.心理学の語源、2.定義、3.心理学の基礎分野、4.心理学の研究法、5.心理学の歴史。

履修上の留意点 履修希望者は、初回授業のオリエンテーションに必ず出席し、講義の目標、形式、内容、評価方法等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法 前期授業の最終日（7月）に前期試験を、定期試験期間内に、定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫 2004年 『心理学 第2版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-7

参考書等 教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。

その他 主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な心理検査や実験を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークの実施や、授業内容についての積極的なコメントが毎回求められる。

履修コード	226901
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	鈴木 順一

講義のねらい 講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のパケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等その他

蓮見将敏・小山編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）
すべての「心理学」の授業で、心理学卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

履修コード	227301
科目名	心理学〔心を科学する〕（夏季集中）
担当者名	深堀 友寛

講義のねらい 身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的（心理的）な異質性が認められる。それらを含め、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしかならない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率（3分の2以上）による総合評価。

教科書

特に指定しない。授業内にプリントを配布する。

参考書等

重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年

中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限（土、日は除く）

履修コード	228201
科目名	総合I〔仏教と社会〕
担当者名	くまもと えいじん 熊本 英人

講義のねらい	日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。 社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	1 はじめに 2～5 仏教と戦争 6～13 仏教と差別 14～17 仏教と女性 18～21 仏教と家族 22～29 仏教と生命倫理 30 おわりに
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	出席を重視する。 適宜レポートを課す。年度末の筆記試験またはレポートと合わせて評価する。 適宜プリントで配布する。 末木文美士編『現代と仏教』(佼成出版社、2006年)2,625円 その他、講義の中で随時紹介する。

履修コード	228301
科目名	総合I〔仏教と芸術〕
担当者名	むらまつ てつみ 村松 哲文

講義のねらい	本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	〔前期〕 仏教美術の世界(1～2) インドの仏教美術(3～5) 西域の仏教美術(6～8) 初期の敦煌石窟(9～11) 後期の敦煌石窟(12～15) 〔後期〕 炳靈寺石窟(16～17) 麦積山石窟(18～20) 雲岡石窟(21～23) 龍門石窟(24～27) 朝鮮三国の仏教美術(28～30)
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	以上は予定で、講義の合間に特定の意匠(仏像の胸飾・宝冠・袈裟など)についても考察する。 博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。 出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。 プリントを配布する。 講義中に適宜参考書を紹介する。

履修コード	228401
科目名	総合II〔駒澤大学の歴史〕
担当者名	熊本 史雄・大城 道則・小泉 雅弘・佐々木 真・杉山 清彦・廣瀬 良弘・皆川 義孝

講義のねらい

本講義では、スライドや写真資料などを豊富に織り交ぜながら、駒澤大学の歴史につき概述します。

駒澤大学は、平成19年（2007）に「開学125周年」を迎えました。これは、駒澤大学の前身・曹洞宗大学林専門学本校が設置された、明治15年(1882)を起点としたものです。しかし、駒澤大学の起源は遠く戦国時代の終わり、文禄元年（1592）にまでさかのぼることができます。その年、曹洞禅の研究と漢学の振興を目的として、「学林」が開かれました。実に416年前の話になります。“日本一古い大学”と形容される所以です。最近では、駅伝や野球、サッカー、空手と、スポーツ部門でもその名を轟かせている駒澤大学ですが、こうした古くからの伝統と学風も、現在の駒澤大学に受け継がれている大事な要素です。

また後期には、「世界の大学との比較」というテーマでも後述します。時代や地域によって、それぞれに求められた「教養のあり方」の差異も学び取って欲しいと思います。

本講義を通じて、駒澤大学の歴史を学ぶとともに“駒澤スピリット”を感じ取り、受講生それぞれが“駒澤アイデンティティ”を形成してもらえるよう願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：1. 授業計画とガイダンス
 2. 道元と曹洞宗
 3. 永平寺と総持寺
 4. 吉祥寺旃檀林の誕生
 5. 学寮での厳しい修行
 6. 学寮から学校へ
 7. 明治政府の宗教・教育政策
 8. 曹洞宗大学の発足
 9. 日々窪から駒沢へ
 10. 大学令と「駒澤大学」の誕生
 11. 「大正教養主義」と駒大生
 12. 「郊外」の誕生と駒大 ～玉電の開通と世田谷の発展～
 13. 戦時下の駒大①
 14. 戦時下の駒大②
 15. 「禅文化歴史博物館」の見学
 後期：16. ビデオ鑑賞 ～『シリーズ映像の世紀 第11集 Japan』～
 17. 世界の大学との比較① ～古代エジプトの教育～
 18. 世界の大学との比較② ～ヨーロッパの大学 宗教機関から世俗機関へ～
 19. 世界の大学との比較③ ～中国における科挙制度～
 20. 世界の大学との比較④ ～中国の近代化構想と教育～
 21. 占領政策と新制大学の設立
 22. 文系総合大学への道とマンモス校化
 23. 東京オリンピックと駒大
 24. スポーツにみる駒大の躍進 ～駅伝・野球・サッカー～
 25. 国際交流における駒澤大学 ～留学・学術交流～
 26. 駒大建築物語
 27. 駒大の名物教授／駒大図書館所蔵の貴重書・稀覯本
 28. 学生生活今昔物語
 29. 駒澤大学のいまとこれから
 30. まとめ

履修上の留意点

4年間を過ごすことになる駒澤大学のことを、広く、深く知って下さい。駒澤大学に対する理解と愛着が深まることを願っています。

成績評価の方法
教科書
参考書等

学年末の期末試験（70%）と出席状況および授業への取り組み（30%）。
 とくに指定しない。
 適宜紹介する。

履修コード	228701
科目名	総合III〔人権と社会問題〕
担当者名	ピアス, D. M.

講義のねらい

PURPOSE: Essentially preparation for study abroad, this course provides an impression of what it is like to attend an academic course in a foreign country. Study is not of English but of something else in English. Concentration will be on topics such as human rights, war, feminism, etc. Topics in the history of sociological, economic and political thought may be used as lecture material. There will be intensive speaking practice every period on quotidian, controversial, and intellectual levels, with emphasis on learning how to communicate thought in spoken language.

講義の内容・
授業スケジュール

CLASS SCHEDULE: FIRST SEMESTER

- 1 Abortion
- 2 Currency Fluctuation
- 3 Organic Solidarity
- 4 Fetus
- 5 Racism
- 6 Market Prices
- 7 Class Formation
- 8 Say's Law
- 9 Suicide
- 10 Law of Accumulation
- 11 Law of Population
- 12 Self-Esteem
- 13 War
- 14 Law of Wages
- 15 Marginal Value
- 16 Consumer Anxiety

SECOND SEMESTER

- 1 Human Rights
- 2 Effective Demand
- 3 Business Cycle
- 4 Overproduction
- 5 Feminism
- 6 Capital Formation
- 7 Market Glut
- 8 Status Consumption
- 9 Economic Justice
- 10 Wage and Profit Rates
- 11 Population and Productivity
- 12 Division of Labor
- 13 Euthanasia
- 14 The Wage Fund
- 15 Unionization
- 16 Myth of Success

成績評価の方法

ATTENDANCE: The student may miss three classes per semester; the final grade will be one letter-grade less if absences are excessive.

EXAMINATIONS: Frequent unannounced small essay exams. Exams are not disciplinary, but didactic. All exam questions will be questions that have been treated in class.

教科書

TEXTBOOK: Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class.

履修コード	228801
科目名	総合III〔欧米の教育と日本の教育〕
担当者名	おかざき としひらみ 岡崎 寿一郎

- 講義のねらい** 日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約800校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・48校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論じます。
- 講義の内容・授業スケジュール** （1）入試の背後にある日本の社会構造（2）西欧の教育（3）（4）中世の大学（5）中国の教育（科挙）（6）日本の教育史（7）（8）西欧の教育史（9）（10）（11）（12）アメリカの教育（13）（14）（15）フランスの教育（16）（17）ドイツの教育（18）（19）イギリスの教育（20）（21）（22）（23）日本の戦前・戦後教育（エリート教育の問題）
- 成績評価の方法** 講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。
- 参考書等** 参考書・文献については適宜言及します。

履修コード	228901
科目名	総合III〔スペイン語圏の文化と社会〕
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美

- 講義のねらい** 今世紀に入り世界各地でポータル化、グローバル化が進んでいます。わが国でも異なる文化背景を持つ外国人が近年増加、相互理解に基づいた多文化共生社会の実現が叫ばれています。本講義ではスペイン語圏の文化と社会をテーマに、日本との相違点・共通点を考察させポータル社会を生き抜くために必要な理解力と寛容な心を養うことを目的とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** （1）オリエンテーション：スペインと私（異文化との出会い）（1）
（2）スペインの生活（衣食住、コミュニケーション、冠婚葬祭、年中行事など）（2-6）
（3）スペインの社会1（風土、歴史、若者像、信仰、政治・経済、地方自治など）（7-12）
（4）スペインの社会2（ジェンダー、移民、ロマ民族（ジプシー）など）（13-15）
（5）スペインの文化（音楽、芸術・伝統芸能、スポーツ、映画など）（16-19）
（6）ラテンアメリカ諸国の生活・文化・社会（20-24）
（7）日本に住むスペイン語圏の人々、スペイン語圏に住む日本人（25-27）
（8）日本から見たスペイン語圏の文化・社会、スペイン語圏から見た日本の文化・社会（28-30）
- 履修上の留意点** スペイン語の知識は全く必要ありませんので、スペイン語受講生以外の学生の参加も大歓迎します。
- 成績評価の方法** 出席状況、授業態度、前後期の定期試験（またはレポート）を総合的に評価します。
- 教科書** 随時資料を配布します。
- 参考書等** 野々山 真輝帆『スペインを知るための60章』明石書店など
各テーマについての参考文献等は随時推薦します。
- その他** 日ごろから国内、国外のインターネットや新聞などの情報媒体に親しみ、複眼的に物事を考える習慣をつけましょう。

履修コード	229001
科目名	総合Ⅳ〔現代アメリカ事情〕
担当者名	林 ^{はやし} 明 ^{あきと} 人

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

1	世界史の中のアメリカ (1)	16	Brady bill (1)
2	世界史の中のアメリカ (2)	17	Brady bill (2)
3	世界史の中のアメリカ (3)	18	Brady bill (3)
4	世界史の中のアメリカ (4)	19	official English law (1)
5	世界史の中のアメリカ (5)	20	official English law (2)
6	世界史の中のアメリカ (6)	21	official English law (3)
7	世界史の中のアメリカ小テスト	22	euthanasia (1)
8	abortion (1)	23	euthanasia (2)
9	abortion (2)	24	euthanasia (3)
10	abortion (3)	25	hate crime (1)
11	affirmative action (1)	26	hate crime (2)
12	affirmative action (2)	27	hate crime (3)
13	affirmative action (3)	28	multiculturalism (1)
14	political correctness	29	multiculturalism (2)
15	前期試験	30	後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法

遅刻 (交通機関の遅延を除く) 及び授業中の出入りは認めません。

①試験 (40%) ②レポート (30%) ③出席 (30%) で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書

プリントを配布します。

履修コード	229101
科目名	総合IV〔新市民社会論〕
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義のねらい 前期は市民社会と人権、NGO、NPO、まちづくり、コミュニティ開発、などをキータームとして日米の比較により、授業を行う。後期は日本とインドを比較しつつインドの市民セクターと人権、NGOの役割などを学ぶ。JICAと協力して草の根国際援助プロジェクトの実際について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：
1. 市民社会、NGO、NPOとはなにか。アメリカと日本の比較
 2. アメリカにおける市民セクターの進展
 3. 日本の非営利セクターの歴史と現状
 4. コミュニティ開発とNPOの役割：シアトルのまちづくり
 5. シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 6. アメリカにおけるマイノリティとNPO
 7. 日本のNPOとまちづくり：神戸市・横浜市、川崎市事例研究
 8. 被差別部落のまちづくり（1）
 9. 被差別部落のまちづくり（2）
 10. 被差別部落のまちづくり（3）
 11. 日本のマイノリティとNPO（1）
 12. 日本のマイノリティとNPO（2）
 13. 前期まとめと日本の市民セクターの現状、課題

- 後期：
1. インド社会の基礎知識
 2. クラスとカースト
 3. ジェンダー、宗教、マイノリティ集団
 4. インドの市民社会とNGO
 5. インド地縁組織とコミュニティ開発
 6. 被差別カーストとコミュニティ開発
 7. 行政とNPO、NGO
 8. 草の根自立支援と市民セクター：MSSRF研究
 9. 日本の海外支援と市民参加：JICAの役割
 10. プロジェクトマネジメント研究（1）
 11. プロジェクトマネジメント研究（2）
 12. グローバル化、人権と市民社会、自立支援と草の根組織
 13. まとめと課題

履修上の留意点 インターネットによる資料調査をおこなうので学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。コンピュータ教場なので人数制限あり。

成績評価の方法 出席（25%）、毎回の小レポート内容（30%）、前期、後期それぞれのレポート（45%）。試験はない。

教科書等その他 『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』（勁草（けいそう）書房）、その他。教場で指定（インターネットサイトなど）。外部講師を数回招聘する。

履修コード	229301
科目名	総合V〔イギリスの歴史と文化〕
担当者名	いしはら こうさい 石原 孝哉

講義のねらい イギリス史の流れのなかで、イギリス文化がいかに形成されてきたかを考察します。日本と同じ島国でありながら、イギリスは異民族支配と異文化の同化を繰り返しながら独自の文化を形成してきました。プリント教材を中心に、映像、動画、ホームページなどを利用しながら、独自の文化の源泉をたどります。

履修上の留意点 毎回プリントを配布するので欠席しないように。ホームページなどを参考にするのでコンピューターが使えると便利です。

成績評価の方法 レポート、期末試験により評価します。

履修コード	229601
科目名	総合VI〔民族とは何か〕
担当者名	大野 ^{おのの} 祐二 ^{ゆうじ}

講義のねらい	この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。 後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。
履修上の留意点	講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。
成績評価の方法 教科書 参考書等	前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。 詳細については授業中にプリントで伝える予定です。 原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房） 吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会） 李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

履修コード	229701
科目名	総合VI〔イスラム〕
担当者名	吉田 ^{よした} 京子 ^{きょうこ}

講義のねらい	本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、ユダヤ教、キリスト教との関係性を確認しつつ概論的講義を行い、イスラームの知識を通じセム系一神教の世界観理解を促すことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	①セム系一神教 ②預言者ムハンマド ③神のこゝば ③イスラームの世界観 ④イスラームの実践 ⑤イスラームの分派 ⑥イスラーム神秘主義 これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。
履修上の留意点	授業中の疑問点やコメントを毎回提出。
成績評価の方法	毎回提出のコメント用紙を出席確認に使用。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

履修コード	229801
科目名	総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕
担当者名	早川 <small>はやかわ のりこ</small> 紀代

講義のねらい 男性と女性、あるいは女性と男性との関係は、個人的にも、また社会的にも、この二〇年のあいだに大きく変化してきている。ちょうど学生の皆さんが誕生し、成長してきた時期である。どのように変り、これからどのように変わっていくのか、また変化しないものはなにかをとりあげて、一人ひとりの人間の在りかたを考える場にする。

講義の内容・授業スケジュール

前期 a ジェンダーってなんだ？
 私たちが当たり前と思っていること、たとえば女はやさしい、男はたくましいといった考えは本当なのか、どうかということにメスをいれたのが1990年代に日本にはいつてきたジェンダーという見方です。このジェンダーという理論がどのようにして誕生したかをとりあげ、女性学と男性学と人間学の間接関係を考える。

b 労働とジェンダー
 男女格差がもっとも明確にあらわれている被雇用者の労働をとりあげる。戦後の労務管理の歴史、経営者の労働政策、女性労働者の運動、雇用機会均等法の変遷、育児・介護休業法などをとりあげ、どのようにしたら誰でも、働きかつ家族生活を楽しむ、人間としてバランスのとれた生活を送ることができるか考える。

後期 c 家族とジェンダー
 私たちが無意識にすごしている家族は形も親子や夫婦の人間関係も家族ひとりひとりの生き方も大きく変化している。恋愛時代の男女、結婚後の夫と妻の関係はジェンダーが深く影響している。またいろいろな人間関係でつくられている家族のかたちもあらわれている。現代の日本社会では家族をめぐる現象は暗いことが多い。家族を共同生活ととらえて将来の家族のあり方を模索する。

d セクシュアリティ
 この20年間の変化のなかでもっとも深くて大きなものが、人間の性にかんする考え方です。買春、心と身体の性が同じでない人びと、同性愛、レイプ、親しい人びとの間の暴力などをとりあげて、性にかんする固定観念から脱出する道を考える。

履修上の留意点
 成績評価の方法

教員と学生、学生間のコミュニケーションを深めたいので、遅刻、お喋り、内職は厳禁
 前期試験にかわる夏休みの課題レポート 30%、後期試験 40%、講義内容やビデオ内容に関する意見、感想・出席 30%

教科書

使用しない。参考資料を配布する。

履修コード	229901
科目名	総合VII〔トラブルと法的解決〕
担当者名	中濱 義章・井上 健一・北野 かほる・佐藤 多美夫・中田 英幸・向田 正巳

講義のねらい	<p>日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。</p> <p>法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。</p> <p>第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。</p> <p>担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。</p> <p>中濱 義章 消費生活と法 井上 健一 現代社会と商法 北野 かほる トラブルが法の問題になるとき 佐藤 多美夫 犯罪とは何か 中田 英幸 信託と法 向田 正巳 契約と不法行為</p>
講義の内容・授業スケジュール	
履修上の留意点	<p>各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。</p> <p>私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。</p>
成績評価の方法	<p>各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。</p> <p>担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。</p> <p>追試験は、講義の形態上、行わない。</p>
教科書等	<p>特に指定しない。</p> <p>各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。</p> <p>六法は毎回忘れずに、持参すること。</p>

履修コード	230001
科目名	総合VII〔都市論〕
担当者名	内海 ^{うちうみ} 麻利 ^{まり} ・饗庭 ^{あいば} 伸 ^{しん} ・早川 ^{はやかわ} 純貴 ^{よしき} ・堀内 ^{ほりうち} 康史 ^{やすし} ・村上 ^{むらかみ} 暁信 ^{あきのぶ}

講義のねらい

都市は多様な可能性と問題が集積する場である。過密化と空洞化、国際化、環境問題、犯罪、失業、市街地整備や開発紛争など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返す社会の表象にほかならない。本講義では、都市の現状を政治学あるいは社会学や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々4回～6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

内海麻利ほか 総合VII『都市論』ガイダンス（4月）

内海 麻利「都市計画制度とその動向」（4月・5月）

都市計画制度には、土地利用や道路、公園等の都市施設整備、市街地開発事業など、都市を形成するための様々なルールや仕組みがある。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。

早川 純貴「まちづくりと住民参加」（5月・6月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

堀内 康史「都市とコミュニティ」（6月・7月）

都市を社会的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心にみていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバルゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。

村上 暁信「都市のランドスケープ」（9月・10月）

都市のランドスケープを読み解く基本的な視座について、概念・歴史・関連する諸制度などの観点から概説する。また、ヒートアイランド現象をはじめとする都市の環境問題解決に向けた都市ランドスケープ保全のあり方について考察する。

饗庭 伸「市街地整備とアーバンデザイン」（11月・12月）

都市のフィジカルな空間を改善するために市街地整備やアーバンデザインが行われる。首都圏を対象に、近年の都市空間の課題を概観したうえで、それぞれの課題に対する取り組み、方法を論じる。

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

履修上の留意点
成績評価の方法

3. 外 国 語 科 目

履修コード	239301
科目名	英語IA
担当者名	ピアス, D. M.

講義のねらい

COURSE CONTENT AND PURPOSE: Each class session will concentrate on diversified practice of speaking and listening. Improved English fluency should raise scores in standard English tests and lead to better employment.

講義の内容・授業スケジュール

METHOD OF INSTRUCTION: During most of the class period you will be talking to each other in groups. If it embarrasses you to speak English loudly, you should not take this class. The textbook will be used intensively, guiding you through every detail of English conversation. Practice in aural comprehension, grammar, reading and composition will advance through simultaneous self-testing. Each class meeting will comprise a contrastive sociological analysis of a typical social interaction.

CLASS SCHEDULE: FIRST SEMESTER

- 1 Self-introductions
- 2 Addressing People
- 3 Social Hierarchy
- 4 Professional Titles
- 5 Self assertion and Conformity
- 6 Identity in a Group
- 7 Motives of Gift Giving
- 8 Social Cohesion
- 9 Informal Communication
- 10 The Sense of Modesty
- 11 Styles of News Presentation
- 12 Coverage of Scandal
- 13 Personal Freedom
- 14 Group Harmony
- 15 The Consumer Society
- 16 Corporate Philanthropy

SECOND SEMESTER

- 1 Social Classes
- 2 The Idea of Success
- 3 Candor
- 4 Favoritism
- 5 Authority
- 6 Arrogance and Compassion
- 7 The Employment System
- 8 Company Loyalty
- 9 Political Prestige
- 10 Business Wealth
- 11 Family Loyalty
- 12 Democracy in Family Attitudes
- 13 Courtship
- 14 The Marriage Partner
- 15 Teenage Employment
- 16 Adolescent Development

成績評価の方法

TESTS AND GRADING: Exams are didactic, not disciplinary. Tests will be frequent and brief. They will not be announced beforehand, and there are no make-up tests. All of the test questions will be taken from the textbook, as practiced in class. Anything covered in class may appear in a quiz. Attendance: The student may miss three classes per semester, but the final grade may drop by one letter-grade if absences are excessive. Weddings, funerals, sickness, seminars, etc. do not form exemptions from the allowed number of absences.

Grading: Instead of final exams, final grades will be calculated from ordinary class performance.

教科書

TEXTBOOK: Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group. In the first class meeting a diagnostic test will determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class.

履修コード	239401
科目名	英語IA
担当者名	丹治 弘昌
講義のねらい	映画のシナリオと原作を読み比べながら、各場面での表現法を学習し、口語表現と書き言葉の違いなど、多角的なアプローチで英語を修得していく。
講義の内容・授業スケジュール	4月～6月 2本のDVD作品より、印象的な場面を取り出し、表現文法を学ぶ。 7月初め、表現のまとめおよび期末テスト 9月～11月 2本のDVD作品とその原作などを比較鑑賞して、英語表現への理解を深める。 12月初め、期末テスト
履修上の留意点	遅刻は原則として認めない。
成績評価の方法	日常の授業態度を重視する。テストは年2回、期末の授業の中でおこないます。
教科書	教場にて指定

履修コード	239501
科目名	英語IA
担当者名	相馬 美明
講義の内容・授業スケジュール	入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策にも対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めてゆく。
	前期 ・教科書 Lesson 1～6 ・リスニング Exercise 1～11 後期 ・教科書 Lesson 7～9、13・14 ・リスニング Exercise 12～20 ・プリント文法問題 P.1～8
成績評価の方法	出席については、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う定期試験、および授業で課すレポート、また授業態度などを総合的に評価する。
教科書	・ Hiroko Nishida "American Communication Patterns", William Gudykunst 金星堂 ・ Mitsho Sugawara "10-minute Listening(Introductory)" 桐原書店

履修コード	239601
科目名	英語IA
担当者名	前田 脩
講義のねらい	英語の文法を学び、言語の基本的違いを知り、英語表現により日本語とはべつの思考方法を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 授業の進め方の説明・ 英文による自己紹介・ (2～4) 1章～3章、リスニング、英文読解、英作文・ (5) テーマによる英文表現・ (6～8) 4章～6章・ (9) テーマによる英文表現・ (10～12) 7章～9章・ (13) 前期テスト (14～15) 新聞英語を使用・ (16～18) 10章～12章・ (19～21) 13章～15章・ (22) 俳句の英語表現・ (23～28) 16章～28章・ (29) 自由作文・ (30) 期末テスト 小テストを随時行います。
履修上の留意点	語学ですので予習は必須事項です。日常より英字新聞、雑誌に接したり、英語のテレビニュースなどをみてください。
成績評価の方法	小テスト：10% 前期テスト：20% 日常評価30% 後期テスト：40% の配分で評価します。
教科書	「事件でたどる20世紀」 南雲堂 1,800円、ISBN4-523-17314-1C0082

履修コード	239701
科目名	英語IA
担当者名	三輪 久恵

講義のねらい シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違い(異文化の視点)を分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なものの見方を、あわせて養うことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール テクストを読み進めると同時にハンドアウトも使用します。さまざまなシチュエーションに接し、また、さまざまな作者の英文を読みたいと思います。

履修上の留意点 予習をしていただくことが重要です。辞書は中辞典程度のものを必携です。電子辞書はあまり感心しないですけれどね。

成績評価の方法 日常の予習・発表等の積極的な授業参加を重視。15～20分程度の小テスト等の提出物が年間8回程度あります。定期試験は行なわない予定です。普段出席しない学生は必然的に単位も記録されない事となりますのでご注意ください。

教科書 Culture Riddles - America : Shaules 他著(南雲堂)1,400円+ tax.[前期]
The Spirit of New England : MIWA編著(旺史社)1,500円+ tax.[後期]

履修コード	239801
科目名	英語IA
担当者名	田中 保

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上をめざす。リスニング、発音、日常英会話表現等、総合的に力がつくようにする。

講義の内容・授業スケジュール [1] Greetings ~ Asking Questions(1 ~ 6), Requests ~ Appointments(7 ~ 14) ⑮ Examination [2] Apologies ~ Permissions(1 ~ 7), Invitations ~ Disagreement(8 ~ 14), ⑮ Examination

履修上の留意点 授業はテキストにそって進めるが、予習を前提とした発表形式によって行います。必ず単語の意味をしらべ、予習して授業に臨むこと。

成績評価の方法 授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、授業態度、出席状況等総合的に検討して評価します。

教科書 (1) 田中保他編著 Focus on Communication(1)-Through Sentences Pattern-
(『基本文型からコミュニケーションへ』朝日出版社 1,400円)
ISBN 978-4-255-15442-8
(2) 田中保他編著 Focus on Communication(2)-Through Pronunciation-
(『音の理解からコミュニケーションへ』朝日出版社 1,400円)
ISBN 978-4-255-15443-5

履修コード	239901
科目名	英語IA
担当者名	朝川 真紀

講義のねらい 文法・語法を再確認しながら、様々な種類の文を構築し、発信型のコミュニケーション能力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール 練習問題を解きながら基礎的な文法事項を確認し、前期は不定詞・動名詞・分詞・接続詞・時制・態・仮定法・動詞・助動詞、後期は形容詞・副詞・比較・名詞・冠詞・代名詞・関係詞・前置詞に即した英語表現を学んでいきます。またTOEIC形式のリスニング練習も行います。

履修上の留意点 毎回予習をして下さい。辞書を必ず持ってきて下さい。

成績評価の方法 出席状況(3分の2以上)、小テスト、平常点、前期後期試験によって総合的に評価します。

教科書 本多吉彦著『大学生のための基本英文法と TOEIC® テスト必修単語』金星堂 1900円 ISBN 978-4-7647-3856-0

履修コード	240001
科目名	英語IA
担当者名	川崎 笑佳

講義のねらい 入学時の英語能力を基盤として、文章による意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール (1)プリント(2~7) Description (8~11) Narrative (12~14) Interaction (15~16) TOEIC, TOEFLなどを教材にした授業 (17~18) Interaction (19~22) Opinion (23~28) Business (29~30) TOEIC, TOEFLなどを教材にした授業

履修上の留意点 毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。(電子辞書も可。)

成績評価の方法 3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。

教科書 Alan Jackson, *Writing Plus!* (金星堂) ¥1,950

履修コード	240011
科目名	英語IA
担当者名	菅原 典子

講義のねらい ヴィットとユーモアあふれる短編を題材に、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。3回の授業で2課進むことを目標にします。

履修上の留意点 授業は予習をしてくること。

成績評価の方法 前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、小テスト、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書 L.A.Hill, 安藤賢一 *Witty Tales-Readings and Exercises-* 成美堂 定価¥1680 (税込)
ISBN 4-7919-4032-6C1082

履修コード	240021
科目名	英語IA
担当者名	伊藤 美代子

講義のねらい Reading, Writing, Listening, Speaking の四つのスキルを総合的に伸ばすことを目的とする。できるだけすべての学生が毎回英語を口にし、すべてのエクササイズに参加することよう留意する。

講義の内容・授業スケジュール 原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点 予習が絶対条件である。半期に、4回以上欠席したのものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法 各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。

教科書 1. Yoshihiko Honda, Robert Hickling 著: “English Grip” (金星堂: ¥1,900)
2. 伊藤美代子(編著)「さらばジャパニーズイングリッシュ」(北樹出版: ¥1,500)

履修コード	240031
科目名	英語IA
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい 英語 (Writing/Speaking) の運用能力を身につける。テキストを中心に、演習形式で授業を進める。その他に、補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)小テスト、(2~6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8~12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14~18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20~24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26~30)文法のまとめと語彙力の強化

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。

成績評価の方法 定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書 『5分間ライティング』(南雲堂) ¥700+税
『ニュース&ビジネス・サプリメント』(南雲堂) ¥1365

履修コード	240041
科目名	英語IA
担当者名	濱口 真木

講義のねらい 入学時の英語を基礎に、読解力と表現力のさらなる向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール Four Countries, The Lake District, Stratford-upon-Avon, (1-6)
London through the Ages, Wessex, Winchester (7-12)
Oxbridge, The Cotswolds, Conterbury (13-18)
Liverpool, Torkshire, Edinburgh:The Athens of the North.(19-24)
Scotch Whisky, Dublin, Irish-Americans(25-30)

履修上の留意点 平常点重視。予習をしていくこと。

成績評価の方法 出席、発表などの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価とする。

教科書 *Cultural Walks in Britain* (成美堂) 1,800円 ISBN4-7919-0542-3

履修コード	240211
科目名	英語IA [基礎英語特別クラス]
担当者名	白鳥 義博

講義のねらい 中学英語の教材を使って、英語の基礎を徹底的に勉強します。「大学に入ってどうして中学英語なの？」と疑問に思う人もいるでしょう。しかし、音読や暗誦と書き取りを中心とした練習によって中学校で習う英語を完全にマスターすれば、単語・会話・読解・聞き取りすべての応用力が着実につくはずで。 (担当講師本人も、いまだに中学時代の教科書の音読を続けています。)

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス (2~10) 中学1年の英語 (11~14) 中学2年の英語 (15) 前期末試験、後期：(15~18) 中学2年の英語(続) (19~27) 中学3年の英語 (28・29) 総復習 (30) 後期末試験

成績評価の方法 平常点と出席状況、および定期試験の結果などから総合的に評価する。

教科書 未定。

履修コード	246001・246401・246711
科目名	英語IB
担当者名	澤田 真弓

講義のねらい 身近な問題を取り上げたエッセイを通じて基本的な英語表現を学び、リーディングやライティングなどの英語の運用能力を伸ばすことを目標とします。また、教科書に関連する映像 (DVD) や音楽など幅広く取り上げ、諸外国の文化や生活風習などの知識もあわせて学びます。

講義の内容・授業スケジュール 授業は演習形式で行います。発表担当者は英文を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また、小テストを年数回行う予定です。大まかな授業スケジュールは以下の通りです。
【前期】ガイダンス (1)、ENLIVENING THE PRESENT-現代を彩る- (2)~(15)
前期はジーンズ、パンツ、スカート、スーツ、制服、エプロン、水着などわたしたちの日常着や昨今流行となって久しいパフ・スリーブの歴史を見ていきます。これらの「洋服」が果たして西洋発祥のものばかりではないことに驚かされるでしょう。
【後期】ガイダンス (1)、ETHNIC DRESS (2)~(15)
後期はサリー、タータン、着物、アオザイなどの民族衣装や、貫頭布、腰布、ヴェールなど多くの国に共通して見られる衣服形式について見ていきます。日常着として浸透している民族衣装もあれば、もはや特別な日にのみ着る衣装となってしまったもの、さらには着方さえわからなくなってしまった民族衣装もあります。着物の運命はどうなるのでしょうか？

履修上の留意点 出席は毎回取ります。5月の連休明けに座席を決め、それを元に発表担当箇所を決める予定です。成績評価の方法も含め詳細は授業開始時に説明しますので、必ず出席してください。

成績評価の方法 発表、小テスト、出席状況を総合的に評価します。

教科書 大橋久利、Blake Baxter 共著 『The Culture of Clothes 世界の衣生活』(成美堂) 1600円 (税別) ISBN4-7919-1258-6

外国語

履修コード	246101・246701・246731
科目名	英語IB
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい 高度な構文の理解と Speed Reading の基礎を身につける。 テキスト中心に、演習形式で授業を進める。その他に、補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)Introduction、(2~4)サイダーハウス・ルール他、(5~8)17歳のカルテ他、(9~11)ザ・ビーチ他、(12~14)電話で抱きしめて他、(15~18)シンプル・プラン他、(19~20)マルコヴィッチの穴、(21~24)アンジェラの灰他、(25~27)恋におちたシェイクスピア他、(28~30)ショーシャンクの空に他

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。

成績評価の方法 定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書 『感動のスクリーン・イングリッシュ』(南雲堂) ¥1800+税

履修コード	246201・246601
科目名	英語IB
担当者名	亀田 三重子

講義のねらい 英語の reading と特に listning に重点を置いてビデオで学びます。今回は日本の幅広いニュースを学び、外国の方々に発信出来る事を目的とします。時々新聞や会話も取り入れ実用的な英語も身につける事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール 前期 - Unit1-6 "Hashi" of your Own, Things for Free, Baby Post, Phone "Book", Metabolic Syndrome, Citizen Judges.
後期 - Unit7-14 Eyes on Tokyo, World Heritage Site, Pollen Nation, Ninety-year-old Champion, Saving Caps Saves Lives, Branding Japan, Nation Tested, Japanese Doctor in Myanmar.

履修上の留意点 語学の授業ですので予習が必要です。辞書は必携の事。課題は必ず提出の事。

成績評価の方法 前期、後期の試験、小テスト、提出物を基本に評価します。又、授業への取り組み方、出席状況も考慮に入れます。

教科書 "What's on Japan 3" 山崎達朗、Stella M.Yamazaki (金星堂) ¥2200

履修コード	246301
科目名	英語IB
担当者名	矢島 直子

講義のねらい 英文を辞書を使って読めるようにすること。

講義の内容・授業スケジュール 文法と内容に関する説明をし、練習問題を解きます。
(1回目)ガイダンス(2-14) Unit 1, 2, 3, 5, 6, 7, 8 (15) 前期末試験 (16) 試験解説(17-29) Unit 9, 11, 14, 15, 16, 18, 19, 21 (30) 後期末試験

履修上の留意点 どんどん当てて読んでもらい、問題に答えてもらいますから、しっかり予習してくる。1回目の授業から出席してください。

成績評価の方法 平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に評価します。

教科書 Shawn M.Clankie, 他、『かけがえのない健康と環境』(成美堂) ¥1,900 (税別) ISBN978-4-7919-4624-2 (教科書は初回の授業まで買うのを待って下さい)。

履修コード	246501・246741
科目名	英語IB
担当者名	尾形 重政

講義のねらい 入学時の英語力を基に、より高度な構文の理解を目指します。さらに speed reading の基礎力向上も目指します。

講義の内容・授業スケジュール 1. アメリカ人 3. 出会いと別れ 5. チップ 7. 招待 9. アメリカ人の独自性 11. 良識 態度 13. 労働意識 15. 前期末試験 16. 若者 18. リーダー 20. リンカーン 22. スポーツ 24. 家庭 26. 教育 28. 英字新聞より 30. 後期末試験

履修上の留意点 予習して授業に臨むこと。英和辞典を持参すること。

成績評価の方法 授業出席率と、前期・後期の試験結果に積極的な授業参加を勘案して評価します。

教科書 『アメリカ人の生活と常識』 成美堂

履修コード	246721
科目名	英語ⅡB
担当者名	濱口 真木

講義のねらい 基本的な文法に留意し、英文を数多くこなすことによって英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール Patisseries' Glamorous Image Growing, Laughing Muscle Exercise, Passion for Restoring Old Houses (1 ~ 6), Reality Bites, Chocolate Diet, Mystery of the Canadian Spy Coin (7 ~ 12), Unregistered Nursing Facilities, Making Objects Invisible, Roller Coaster Crash (13 ~ 18), Chinese Sports Market, Fixation with French Luxury Brands, Largest Payout Ever (19 ~ 24), Eating Fish during Pregnancy, A Tailor-made Experience, Last Chance at Revival (25 ~30)

履修上の留意点 平常点重視なので、必ず予習をしてくること。

成績評価の方法 出席や発表などの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価とする。

教科書 *English in the Media 2008* (金星堂) ¥1800 ISBN 978-4-7647-3868-3

履修コード	246941
科目名	英語ⅡB〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	矢島 直子

講義のねらい 英語を、初級から大学1年の終わりまでの範囲で勉強します。

講義の内容・授業スケジュール 前回分の小テストをし(毎回)、その後、文法を説明し、問題を解いてもらいます。
(1回目) ガイダンス(2-14) 1-12章 (15) 前期末試験 (16) 試験解説(17-29) 13-24章 (30) 後期末試験

履修上の留意点 必ず予習してくる。1回目の授業から出席するようにしてください。

成績評価の方法 平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書 田本健一、「基本英語表現法」、(成美堂)、¥1,680、ISBN 4-7919-4907-2

履修コード	247101
科目名	英語ⅡC(会話) 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	ハバード, W. D.

講義の内容・授業スケジュール This is an introductory course for students who are not used to conversing in English. They are expected to get used to hearing English from native speakers and to acquire a basic ability to express themselves in day to day conversations. To achieve this goal, students will be given role-playing, short conversations between each other, and question and answer practice with the teacher and other students. Various tasks and assignments, both written and oral, will be given to test students' improvement. During class, students will be motivated to start conversations on their own.

成績評価の方法 Final grade will be based on attendance, class work, quizzes, and mid-term and final tests.
Class textbook will be made available during the first class period of the school year.

履修コード	247701
科目名	英語ⅠC(会話) 英語ⅠC(会話)[再クラス]
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい	WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!
講義の内容・授業スケジュール	First Semester: Pair work practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner(s). Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving(not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and will be performed in the classroom. Do not worry, it is fun!
履修上の留意点	Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.
成績評価の方法	Attendance: 50% Tests: 25%(one test each semester) Quizzes: 25%(usually part of assignments or announced quiz)
教科書	There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.
その他の	I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

履修コード	253701
科目名	英語ⅡA
担当者名	江田 ^{えだ} 幸子 ^{さちこ}

講義のねらい	英語の総合的能力(読む、聞く、表現する=書く、話す)を養成し、実際に使うことができるようにするのがねらいです。
講義の内容・授業スケジュール	始めに発音指導を行います。数パラグラフで書かれた短いパッセージ、またはエッセイを音読し、理解して、そこで用いられている構文や表現を用いて応用英語ライティングをします。
履修上の留意点	1. テキスト、辞書、筆記用具が毎回の授業で必要です。授業に集中できない人(携帯を見る、寝る、など)は教室から退去していただきます。
成績評価の方法	①前期・後期の最終授業で行う筆記試験、及び、授業中に適宜行う小テストの素点評価。 ②授業中の発表状況(予習が出来ており、努力のあとが見られる)、授業参加への積極性、学習意欲が優れている場合は、上記①が及第点60点を割っていても、及第の評価をします。 ③出席状況:欠席は一年間で4、5回以内が限度です。学生として、勉学に対する真摯さが見て取れるかどうか。現時点で英語力が素点の及第点に満たなくとも、出席を通して、向上しようとする意志が見られる場合は、②と同じ評価をします。
教科書	現時点では未定

履修コード	253801
科目名	英語IIA
担当者名	おわた みちこ 太田 美智子

講義のねらい コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。基本的に2時間かけて1章をすすめる。その間多くのフレーズを覚え日常使えるようにしましょう。

履修上の留意点 必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持とう。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法 平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書 *SmashayHit Listening* (マクミラン・ランゲージハウス) ISBN4-89585-430-2 C3082

履修コード	254001
科目名	英語IIA
担当者名	つかもと としお 塚本 利男

講義のねらい より高度な英語の運用能力を身につけます。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、社会問題や環境問題などについて自分の意見が書けるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール パラグラフの書き方として、「列挙」、「原因と結果」、「比較」など(2~14)、さらに「定義」、「意見」、「類推」など(16~25)の展開方法を学び、最後に、パラグラフから発展してエッセイの書き方を学ぶ。(26~29)前・後期のテストを実施する(15と30)。授業の総仕上げとして毎回授業の最後に小論文を書き提出してもらいます。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、毎回提出する小論文、前・後期の試験に基づく。

教科書 『大学生の英語ライティング—センテンスからパラグラフへ』
山村三郎・兼頭満里子他(株)金星堂
1, 950円+税 ISBN978-4-7647-3835-5

履修コード	254101
科目名	英語IIA
担当者名	まえだ おさむ 前田 脩

講義のねらい 英語の語順、文法を学び言語の基本的な違いを知り、英文表現を行うことで、日本語によるのは別の思考方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール (1) 授業の進め方の説明・英文による自己紹介・(2~6) 1章~4章・(7) テーマによる英文表現・(8~12) 5章~8章・(13) テーマによる英文表現・(14) テスト (15~19) 9章~12章・(20) 俳句の英文表現・(21~25) 13章~16章・(26) テーマによる英文表現(17~29) 17章~19章・(30) テスト

履修上の留意点 語学ですので、予習は必須事項です。日常より英字新聞、雑誌に接しててください。

成績評価の方法 小テスト:10% 前期テスト:20% 日常評価:30% 後期テスト:40% の配分で評価します。

教科書 「アイデンティティーと国際交流について考える」三修社 1,700円
ISBN 978-4-384-3385-5C1082

履修コード	254201
科目名	英語IIA
担当者名	高野 秀夫

講義のねらい 英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1) 各授業時間一つのニュースを Natural Speed の英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。また毎回、時事英語のプリントで読解力、英語表現能力の増強を図る。
(2) 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。(毎回1,2章進む)

履修上の留意点 (1) 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。
(2) 一日30分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみることに。

成績評価の方法 (1) レポート
(2) 中間・期末各1回テスト
(a) 英語ニュース
(b) 教科書の英作文
(c) 自由英作文
(3) 平常点

教科書 (1) Unique English Composition (Vol I・II)
(2) Broadcasting English 21 Approaches
(3) プリント

履修コード	254301
科目名	英語IIA
担当者名	手島 敬子

講義のねらい 日常生活において実際に活用できるより自然で正確な「ライティング」能力を習得することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 前期 第1回 ガイダンス(授業説明)
第2回～第14回 unit 1～unit 10
第15回 前期試験
後期 第16回～第29回 unit 11～unit 20
第30回 後期試験

履修上の留意点 原則として3分の2以上、授業に出席すること。年間7～8回の課題提出。辞書を必ず持参。

成績評価の方法 前期・後期試験、小テスト、課題を8割程度、授業への参加度、出席状況を2割程度で評価します。

教科書 村田和代 *English Composition Workbook, second Edition* マクミランランゲージハウス
1800円 4-7773-6069-5

履修コード	254401
科目名	英語IIA
担当者名	本間 俊一

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 BBC Documentary: Natural Remedies
「DVDで学ぶ BBCドキュメンタリー」(桐原書店) 2,200円 ISBN4-342-54820-8

履修コード	254411
科目名	英語IIA
担当者名	萩原 輝

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法</p> <p>教科書</p> <p>その他</p>	<p>I Aで養った英語力を土台として、自分の考えを英語で表現する力を養う。様々な文章を読みながら、それらに対する意見を、英語でスピーチしてもらう予定。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 イントロダクション</p> <p>第2～4回 The Samurai Spirit</p> <p>第5～7回 The Japanese with Dignity</p> <p>第8～10回 Young People's Limitless Potential</p> <p>第11～13回 Achieving the American Dream</p> <p>第14回 Is the United States a Paradise on Earth?</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回 前期の復習</p> <p>第2～4回 I have No Other Choice</p> <p>第5～7回 Angel Investors</p> <p>第8～10回 To Rise and Fall is common</p> <p>第11～13回 Who should be Responsible?</p> <p>第14回 Might is Right</p> <p>第15回 後期試験</p> <p>毎時間、和英辞典を持参すること</p> <p>授業での態度、出席数、レポート、前後期の試験等の総合したもので評価する。</p> <p>『アイデンティティーと国際交流について考える』小林純子著 三修社 ¥1700 ISBN978-4-384-33385-5C1082</p>
---	---

履修コード	259301
科目名	英語IIC (会話) 英語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	ウェルズ, J. K.

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法</p> <p>教科書</p> <p>その他</p>	<p>WELCOME TO ENGLISH CONERSATION II</p> <p>Learning to use English in an environment that will allow you to speak freely is an important step to improve your English language skills. I will offer you a chance to speak freely in arranged groups each class period.</p> <p>You will discuss a variety of topics that I provide and share your ideas with each other. You will never be sitting alone in this class and spoken English IS expected in all classes.</p> <p>First and Second end-of-the term exams will be given with emphasis on group discussion. Each group will meet with me and you will be evaluated on your group participation and ability to express yourself in English.</p> <p>Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.</p> <p>Attendance: 50%</p> <p>Tests: 25%(one test each semester)</p> <p>Quizzes: 25%(usually part of assignments or announced quiz)</p> <p>There is no textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders will NOT be allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.</p> <p>See you the first day of class and hope you will be interested in taking my class. I have been teaching Komazawa students for many years and it is always a joy to teach English conversation classes and see students improve their English ability.</p>
---	--

* I assume you have taken English Conversation I before this class. This is English Conversation II not English Conversation I.

履修コード	259401・259701・260201
科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]
担当者名	セイジ, K

講義のねらい	A second year course to improve your English skills, we will use the textbook plus other materials such as DVDs, internet articles, etcetera, in class. Your aim should be to try to improve your English through the class activities.
講義の内容・授業スケジュール	We will look at a variety of topics through the textbook, DVDs, internet articles, and other materials in class. So, you will be encouraged to draw upon these to participate actively in the lesson. Plus, you will be required to do some of your own research for the final presentation.
履修上の留意点	You should try to participate to the best of your ability in the various in class activities to improve.
成績評価の方法	QUIZZES: 1.Review of in class activities PERFORMANCE ASSESSMENT: 2.Interview 3.Role play 4.Presentation ATTENDANCE: 5.Attendance, attitude and participation.
教科書	Headway 3 - Intermediate - 3rd Ed. (blue), 019438750X
参考書等	Bring notepaper and some kind of electronic English dictionary to class.

履修コード	259501・259901・260101
科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]
担当者名	ミックエリゴット, J. P.

講義のねらい	This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation, and write in English at some length.
講義の内容・授業スケジュール	Students will submit a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, who are able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks. This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs and will ask each other questions and offer appropriate responses according to the theme in each chapter of the text. In addition, for each chapter there will be a dictation practice with hand-outs.
履修上の留意点	Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation. Students should bring a bilingual dictionary and folder.
成績評価の方法	GPA方式 再試験無し
教科書	Dale Fuller/Corey Fuller 著 "Face to Face" Macmillan Language House ¥1.890 ISBN:4-89585-223-7
参考書等	bilingual dictionary

履修コード	259801・260001
科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい	The students will work on improving their communicative and listening skills.
履修上の留意点	4 absences in one semester is poor attendance. Come to every class and your English will improve!
成績評価の方法	Regular attendance and participation is expected of each student.
教科書	The textbook will be assigned at the first class meeting.

履修コード	259811
科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]
担当者名	ソルタ, P. N. F.

講義のねらい

English Conversation IC was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice communicating in natural spoken English about topics of interest to them. This enables students to build up their speaking and listening skills, and to improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using natural spoken English.

講義の内容・授業スケジュール

The instructor will provide the students with their classroom materials. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

The structures / functions to be covered are: Introductions / Classroom Language, Likes and Dislikes / Adjectives, Locations / Telephone Language, There is ... There are ... / Quantities, Have ... , Want ... , Would like ... / Shopping, Uncountable nouns / At a Restaurant, Present Continuous for arrangements, Fashion/Clothing, Present Simple / Occupations, Adverbs of frequency/Routines, Transportation / Work & School, The Present Tenses / Frequency,

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation IC.

成績評価の方法

A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60 %), and a mark based on a student's attitude in class and class performance throughout the year (40 %). The end-of-year exam will contain listening and written exercises. In making a final evaluation, bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10 %) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Non textbook will be used in this course.

履修コード	262301
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	小布施 圭佐三

講義のねらい	この授業の目的は、英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めることにあります。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1.◇ガイダンス（授業を展開する上での） 2.TV no substitute for parenting 3.Keep the e-home fires burning 4.Technology amplifying established role 5.More fathers taking active role 6.Wives stuck caring for both sets of parents 7. ◇ Pretest 8.Teach English at the expense of Japanese? 9.Authorities must reverse decline in 3Rs 10.Steps needed to control violent schoolchildren 11.Ethics Classes teach preciousness of life 12. " 13.Encourage healthy eating habits 14.Companies struggling to train workers 15. ◇ Test 16.Job-hoppers making moves 17. " 18.Employees get 2nd chance 19. " 20.NEETs coaxed back into society 21.What follows "equal right?" 22. " 22.High time to act on high tides 23. ◇ Pretest 24.Families cope with Net addicts 25. " 26.Urgent measures needed to stem falling birthrate 27. " 28.Economy hits marriage hard 29. " 29.Japan must fight giant jellyfish invasion 30. ◇ Test
履修上の留意点 成績評価の方法	授業形態は演習形式で行います。予習をしてきてください。 出席点/授業の貢献度/レポート/小テスト/定期試験（前・後期）などを加味して総合評価します。
教科書	玉井久之/田代直也/P.M.ケリー：『日本の今を考える』（Contemporary Issues in Japanese Society）（英宝社）1,800円 ISBN978-4-269-19032-0 C1082

履修コード	262401
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	佐藤 孝一

講義のねらい	授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んできて下さい。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計りTOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人に発表をしますが、事前に割り振ります。
成績評価の方法	基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。
教科書	授業で指示。

履修コード	262501
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	伊藤 美代子

講義のねらい	IA、IIAからさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。英語を学ぶことから一歩進んで、英語で学ぶことも体験する。実際の経済ニュース記事を学ぶことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする
講義の内容・授業スケジュール	原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明や経済活動等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についての及びリスニングの訓練も行う。
履修上の留意点	予習が絶対条件である。半期に4回以上欠席したのものには、単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。
教科書	1. Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies『経済ニュースを読む(国内編)』(南雲堂) ¥1,600 2. 同上:『経済ニュースを読む(国際編)』(南雲堂) ¥1,500

履修コード	262601
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	濱口 真木

講義のねらい	英語の文法、構文の知識を強化し、読解力や表現力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	Douglas Mac Arthur, William Smith Clark, Matthew Calbraith Perry (1-6) Elvis Presley, Yukichi Fukuzawa, Hayao Miyazaki, (7-12) Momofuku Ando, Steve Jobs, Haruki Murakami (13-18) Soichiro Honda, The McDonald Brothers and Ray Kroc, Shigeru Yoshida (19-24) Hideo Nomo, Kyu Sakamoto, William Adams (25-30)
履修上の留意点	平常点重視。予習をしておくこと。
成績評価の方法	出席、発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価とする。
教科書	<i>Across the Pacific Ocean</i> (成美堂) 1800円、ISBN978-4-7919-4626-6

履修コード	262701
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	岩井 洋美

講義のねらい	実践的なビジネス英語(手紙、メール、依頼、報告、面接など)を題材に語彙、表現を学び、ライティング、スピーキングで活用できるようにします。
講義の内容・授業スケジュール	①～②ビジネス通信の基本③～⑥社交関係の英語⑦～⑨社内の英語⑩～⑪取引関係の英語⑫～⑬雇用関係の英語 毎回テキストを2課ずつ進みます。各単元の間に復習、スピーキングテストを行います。
履修上の留意点	出席と授業態度を最も重視します。遅刻欠席は合わせて8回までとし、それ以上は試験やテストを受けていても単位は取得できません。テキストがない場合は欠席扱いとします。
成績評価の方法	出席・授業態度25% 復習・スピーキングテスト25% 前・後期試験50%、60%以上で単位取得
教科書	豊田暁 ビジネス英語エッセンシャルズ 南雲堂 2100円

履修コード	262801
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	吉江 正雄 <small>よしえ まさお</small>

講義のねらい	英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	H.G.Wells の “A Short History of the World “ というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。
	前期
	1、2、3、4回 1章 The Beginning Cultivation
	5、6、7、8回 2章 The First American
	9、10、11、12回 3章 Sumeria, Early Egypt, and Writing
	13、14回 4章 Primitive Nomadic peoples
	15回 試験日
	後期
	16、17、18、19回 5章 The First Seagoing peoples
	20、21、22、23回 6章 Egypt, Babylon, and Assyria
	24、25、26回 7章 The Primitive Aryans
	27、28、29回 8章 The Last Babylonian Empire
	30回 試験日
履修上の留意点	予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。
成績評価の方法	前・後期試験の結果に、平常点(授業中での発表)を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格(単位取得の資格)を得ることになる。追試験は行わない。
教科書	H.G.Wells 著 “A Short History of the World “ (ウェールズの簡約世界史)
参考書等	(こびあん書房) 教室で販売する。 授業中に推薦する。

履修コード	262901
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	井伊 順彦 <small>いゐ のぶひこ</small>

講義のねらい	現代の社会や経済の問題を扱ったテキストを使い、思考力や教養を高めるとともに、英語を「聞く」力および「書く」力をのばす。
講義の内容・授業スケジュール	毎回かなりの時間が英文を聞くことに費やされる。また、英作文の機会を作ることと、ビデオを観て現代の諸状況について学ぶことにも配慮する。
履修上の留意点	毎回おそらく半数ほどの学生がなんらかのかたちで指名されて解答することになろう。積極的な姿勢が求められる。
成績評価の方法	数回の小テストの成績、質疑応答の出来、出席数などを柱とするが、詳細は教室で。
教科書	石井隆之ほか著『Global Transformation (グローバル時代のビジネス 現代の経済の課題と展望)』(成美堂)
参考書等	おりにふれて教室で指示する。

履修コード	263001
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	小泉 和弘 <small>こいずみ かずひろ</small>

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス
 (2～3) イギリス
 (4～5) ドイツ (1)
 (6～7) ドイツ (2)
 (8～9) フランス (1)
 (10～11) フランス (2)
 (12～13) イタリア
 (14) まとめ
 (15) 試験
 (16) ガイダンス
 (17～18) アメリカ (1)
 (19～20) アメリカ (2)
 (21～22) カナダ
 (23～24) ロシア
 (25～26) 中国
 (27～28) 日本
 (29) まとめ
 (30) 試験

成績評価の方法 試験50%、授業への取り組み方及び態度・出席率50%

教科書 小泉和弘著, Major Countries In The World, (世界の主要国), 鳳書房, 1,800円 ISBN4-902455-03-X C1082

履修コード	263101
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>

講義のねらい 現代的な明快な文に親しんでもらう。かつ、学生諸君の専攻分野の関係から時事的な、また社会的科学的な経済・経営方面のものを読んでいくことにする。この分野は時々刻々目まぐるしく変動するわけだが、なるべく時局的な問題をフォローしていく。読む材料は決して難解ではないので、この程度のものは読みこなせるようにしてほしい。その上で、内容について質問していくので、答えてほしい。単なる読解には終わらせない。

講義の内容・授業スケジュール

次のような話題を取り上げていくが、世界の経済の動きに常に密着していくので、適宜タイムリーなテーマも取り上げる予定である。

1. 最近円高が話題になっている。つまり、それはドル安が話題になっているということである。
Making Sense of a Weak Dollar
2. 原油高が話題になっている。
Petroleum: A Short History of Black Gold
3. 2007年度ノーベル経済学賞受賞者。
2007 Nobel in Economics: Designing Better Markets
4. サブプライムローンの問題点。
Helping Subprime Borrowers: Too Little? Too Much?
5. 目覚ましい中国の経済、しかしそれは本物か。
World Bank Finds China's Economy 40 Percent Smaller Than Thought
6. マクドナルドがスターバックスを狙う。
McDonald's Targets Starbucks
7. そのマクドナルドが急成長した背景。
The Man Who Made McDonald's Popular Around the World
8. 2008年の世界経済は鈍化するか。
World Economic Growth Expected to Slow in '08
9. 東芝とソニーの戦い再び。
For High Definition TVs, Blu-ray Gets a Big Supporter

履修上の留意点 必ず予習してくること。その前提でこちらは進めていく。辞書の携帯は必須。ケータイは必須に非ず。授業中は外へ出ない。被り物は取ってから教場へ入る。実力がつくように厳しくやるので、それがいやだったら最初から履修しないこと。

成績評価の方法 前期・後期の試験。出席・欠席・遅刻状況。授業への参加状況・発表状況。

教科書 特定のものを使用しない。担当者が用意する。

参考書等 教材をダウンロードしているURLを自分でも検索して、吟味してみることが望ましい。

外国語

履修コード	263111
科目名	英語III A 英語III A (再クラス)
担当者名	田中 保

講義のねらい 基礎的な英語 4 技能を的確に身につけると共に、さらにより高度な英語運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール [1] Orientation(1), Corporations: Economies larger than Countries ~ The Internet and Surfing for Dollars (2 ~ 6), Presentation (7), Organic Food vs. Non-organic Food ~ The Japanese Automobile Industry (8 ~ 14), Examination (15), [2] Orientation (1), Presentation (2), Deficit Spending in the U.S. ~ The Next Oil-Water Privatization (3 ~ 7), Banking-Money at a Discount ~ Cellphones in Africa: a Low-Cost Solution to Communication Challengers (8 ~ 14), Examination (15)

履修上の留意点 授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行います。必ず予習をして授業に臨むこと。年に4回程自由英作文の課題提出があります。

成績評価の方法 授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、出席状況等を総合的に検討して評価します。

教科書 Global Transformation 『グローバル時代のビジネス—現代の経済の課題と展望』成美堂、1890円 ISBN978-4-7919-4622-8

履修コード	266201
科目名	ドイツ語I A
担当者名	松岡 晋

講義のねらい ドイツ語の勉強のスタートとして初級文法を一年間で学ぶことが、この授業の目的です。ドイツ語の基礎としてどうしても知っておかなければならない事項のみが記載されたコンパクトな教科書を用いますので、まずそこに記された事柄を徹底的に覚えてください。

講義の内容・授業スケジュール (1~3) 独和辞典の紹介、文字と発音の基礎の説明 (4~5) 第1課[人称代名詞と動詞の現在人称変化] (6~8) 第2~3課[名詞の性と格] (9~10) 第4課[定冠詞類・不定冠詞類] (11~12) 第5課[語幹の変わる動詞] (13~14) 第6課[前置詞の格支配] (15~17) 第7課[分離動詞・非分離動詞・再帰動詞] (18~20) 第8課[話法の助動詞・未来時制] (21~22) 第9課[動詞の三基本形、過去時制] (23~24) 第10課[完了時制] (25~26) 第11課[形容詞について] (27~28) 第12課[関係文] (29~30) 付録1~2[受動態、接続法]

履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

成績評価の方法 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

教科書 新妻孝一・中出正郎『レッツ・トライ 12課プラス2』、同学社、2200円 ISBN 978-4-8102-0864-1

その他 実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

履修コード	266301
科目名	ドイツ語I A
担当者名	数下 紘一

講義のねらい ドイツ語の文法の基礎を30校時かけて覚えていく。特に1講目は何、二講目は何とは書かないが、使用テキストと教師を信じてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール テキストに添って動詞の現在人称変化(1)から始まって、接続法(2)用法まで、著者の意向により学習していく。

履修上の留意点 予習・復習を忘れないように。不明な点についてはどしどし質問する事。欠席が多くなるともう試験では合格点とはとれません。

成績評価の方法 7、12月に各50点満点の試験をする。それに平常点を加えて合否を決める。

教科書 飯島・浅岡：ドイツ文法 アウトライン：郁文堂、1700円+税。

履修コード	266401
科目名	ドイツ語IA
担当者名	杉本 正俊

講義のねらい ドイツ語 I A のこのクラスは本来「ドイツ語の文法」のクラスであるが、同じクラスのドイツ語 I B の授業担当者と同一人が担当するため、ふたつの授業を同じ教科書を用いて進める。このため、I A と I B のふたつの授業では、ドイツ語の発音、文法、練習などが、総合的に採り上げられる。一年間を通じて、ドイツ語運用能力を少しずつ高めて行く。

講義の内容・授業スケジュール 指定した教科書に従って授業を進めるが、難解な事項は繰返し説明し、学生の理解を助ける。

履修上の留意点 授業中は授業に注意を集中し、あてられた質問に対しては、自分なりの答えを用意すること。

成績評価の方法 年間のいずれかの時点で行なわれる不規則動詞の三基形のテスト、年度末のテストの評点は、成績評価の参考にする。しかし、日頃の授業にしっかり参加しているかどうかとも評価の対象とする。成績はひとつの基準には依らず、総合的に判断される。

教科書 「新・問いかけるドイツ語」
改訂版 初級表現練習読本
著者 大谷弘道 Ursula Otani
三修社 ¥2730 (本体 ¥2,600 + 税)

履修コード	267101
科目名	ドイツ語IB
担当者名	野島 利彰

講義のねらい ドイツ語の簡単な文章を読みながら、ドイツ語とその文化を学びます。

講義の内容・授業スケジュール 発音・動詞の変化など基本的な文法を繰り返しつつ、短文から始め、少しずつ長い文章に挑戦して行きます。

履修上の留意点 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前に必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 出席回数、小テスト、七月と一月の試験の成績および、授業中、質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。

教科書 未定ですが、音に慣れるためCD付き教科書を採用する予定です。

参考書等 辞書については教場で説明します。

その他 外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

履修コード	267201
科目名	ドイツ語IB
担当者名	数下 紘一

講義のねらい ドイツ語の発音、基本的な単語及び文を学習します。

講義の内容・授業スケジュール テキストに添って、文法には少々触れるが、短文の暗記と耳の訓練が重要です。

履修上の留意点 予習復習共に必要で、わからない所があればどしどし質問して下さい。CDできく話すを家で行って下さい。

成績評価の方法 7、12月の各50点満点の試験をしそれに平常点を加味して、合否を決定します。

教科書 三室：ドイツ語一ステップ バイ ステップ：同二社、2500+税。4-8102-0717-X

履修コード	267301
科目名	ドイツ語I B
担当者名	杉本 正俊

講義のねらい ドイツ語 I B のこのクラスは本来「ドイツ語の講読」を中心としたクラスだが、たまたま同じクラスのドイツ語 I A (文法クラス) と同一人が担当するため、ふたつの授業を同じ教科書を用いて進める。このため、I A と I B は授業内容を同じくし、ドイツ語の発音、文法、練習などが、総合的に取り上げられる。一年を通じて、ドイツ語運用能力を少しずつ高めて行く。

講義の内容・授業スケジュール 指定した教科書に従って授業を進めて行くが、学生の理解に従った進み方をするために、時には同じ事項を繰返し取り上げる。

履修上の留意点 授業中は授業に注意を集中し、あてられた質問に対しては、自分なりの答えを用意すること。

成績評価の方法 年間のいずれかの時点で行なわれる不規則動詞の三基本形のテスト、年度末のテストの評点は、成績評価の参考にする。しかし、日頃の授業にしっかり参加しているかどうか評価の対象とする。成績はひとつの基準には依らず、総合的に判断される。

教科書 「新・問いかけるドイツ語」
改訂版 初級表現練習読本
著者 大谷弘道 Ursula Otani
三修社 ¥2730 (本体 ¥2,600 + 税)

履修コード	268001
科目名	ドイツ語IC (会話) ドイツ語IC (会話) [再クラス]
担当者名	清水 修

講義のねらい 初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べるができるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール 授業はDVD付きの教科書を用いて行います。(DVDの再生装置は必須ではありません。) 映像と音声で、実際の場面に則してドイツ語でのコミュニケーションの練習をしていきます。

履修上の留意点 会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するようにしてください!

成績評価の方法 成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点 (定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々) によって行います。

教科書 荻野蔵平、Andrea Raab 著『ドイツってすてき! [DVD付き改訂版]』(朝日出版社) 2,600円

履修コード	268101
科目名	ドイツ語II A
担当者名	松岡 晋

講義のねらい これまでに学んだ初等文法の知識を駆使して、やや長めのドイツ語の文章を読む練習を行います。また、必要な限りで文法上の説明もいたします。

講義の内容・授業スケジュール (1~2) 第1課(「ドイツ人は家族の間でなんと呼び合うか?」、語順、形容詞) (3~4) 第2課(「マンションの掃除は当番制で!」、梓構造、慣用句) (5~7) 第3課(「ドイツ人は風呂が嫌い?」、接続法、前置詞) (8~10) 第4課(「開店法」、zu 不定詞、分詞構文) (11~13) 第5課(「シュワルツネッカー」、不定関係代名詞、冠飾句) (14~16) 第6課(「サッカー」、受動表現、関係副詞) (17~19) 第7課(「オクトーバーフェスト」、梓外配置、不定代名詞の名詞的用法) (20~23) 第8課(「大学授業料」、機能動詞) (24~26) 第9課(「ドイツ人の友達」、命令的表現) (27) 第10課(「ドイツの離婚」、話法の助動詞) (28) 第11課(「シュタイナー学校」、es の用法) (29~30) 第12課(「ドイツ留学」、相関的接続詞)

履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、独和辞典を持参して、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

成績評価の方法 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

教科書 橋本政義ほか『グレードアップドイツ語—初級から中級へ[新訂版]』、郁文堂、2400円
ISBN 978-4-261-01225-5

その他 教科書が予定より早く終わった場合には、他のドイツ語の文章をコピーで配布して講読いたします。

履修コード	268111
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	飯塚 公夫

講義のねらい 一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら文章を読むことで、文章が生きてくることを体験すること。

講義の内容・授業スケジュール おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習(コピー練習問題中心)②前期後半：練習問題と平行して、映画を見ながらテキストのその部分に相当する部分を抜粋して読んでいきます。③後期：映画を見ながらテキストのその部分に相当する部分を抜粋して読んでいきます。(映画は『チェックポイント・チャーリーの女』という2006年製作のTV映画です。テキストは Ines Veith:Die Frau vom Checkpoint Charlie。ドイツが東西に分かれていた時代に、東に残された娘たちに会おうとする母親の物語です。「Checkpoint Charlie」とは当時あった東西ベルリンの検問所の一つです。)

履修上の留意点 辞書を毎回持ってくること(完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい)。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法 前期後期各1回の筆記試験及び平常点(=発表点)。

教科書 Ines Veith:Die Frau am Checkpoint Charlie(ISBN:3-426-77832-7)。こちらでプリントを用意しますが、自分で入手したければ洋書店で注文してください。

履修コード	268601
科目名	ドイツ語IIC(会話) ドイツ語IIC(会話)[再クラス]
担当者名	井村 行子

講義のねらい 1年生で習得したドイツ語をもとに会話力をつける

講義の内容・授業スケジュール 1～15回 下記教科書の第1課から第7課までを各課2回程度で進める。文法的には格変化や現在人称変化の練習などが中心になる。16～30回 第8課から第14課まで。文法的には時制、態、法などの練習が中心になる

履修上の留意点 会話の練習は一人ではできない。必ず出席して、クラスメイトを利用し、利用されよう

成績評価の方法 学期末の試験および平常点を総合して評価する

教科書 在間進『話すぞドイツ語 V2』(朝日出版社、2007)、定価2,800円

履修コード	268801
科目名	ドイツ語IIIA ドイツ語IIIA[再クラス]
担当者名	井村 行子

講義のねらい 新聞が読める程度のドイツ語の習得をめざす

講義の内容・授業スケジュール 2007年の新聞を題材にした10課からなる教科書を各分野ごとに順に読んでいく。首尾よく終われば、実際の2008年の新聞記事に挑戦してみよう。一応、予定としては、1～15回 1-5課、16～30回 6-10課

履修上の留意点 まずは出席、次には予習

成績評価の方法 学期末の試験および平常点を総合して評価する

教科書 時事ドイツ語<'07年トピックス>(朝日出版社、2008)、定価1900円

履修コード	269101
科目名	フランス語IA
担当者名	佐藤 久美子

講義のねらい フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ(アルファベット)から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 発音練習、文法解説、例文の解釈、練習問題をおこなう。時々課題提出も求める。

履修上の留意点 出席を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのために予習(最低限新しい単語を調べておくこと)が不可欠。

成績評価の方法 授業への参加度を含む平常点40%、前・後期の試験の結果30%、課題の提出状況30%を目安として総合的に判断する。

教科書 清岡智比古著『ル・フランセ・クレール』(白水社)2,415円

参考書等 仏和辞典(初回の授業で紹介)を授業時に必ず持参すること。電子辞書ではなく、極力、紙の辞書を薦める。

その他 教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に大いに活用してほしい。

履修コード	269201
科目名	フランス語IA
担当者名	東 辰之介

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

フランス語初級文法の習得を目的とします。
(1) 受講上の諸注意/ Alphabet (2)～(3) 発音の基礎 (4)～(15) 文法の基礎 (名詞の性・数/冠詞/主語人称代名詞/動詞の直説法現在/形容詞など) (16)～(29) 文法の発展 (縮約/比較/疑問代名詞/補語人称代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)

履修上の留意点

授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法

学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三著『新版 ル・フランセ』(白水社) 1,750円+税 ISBN978-4-560-06052-0

参考書等

仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	269301
科目名	フランス語IA
担当者名	出口 雅敏

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語世界に入ってゆくための大切なプロセスです。この入り口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 受講上の諸注意/ Alphabet (2)～(4) 発音の基礎 (5)～(15) 文法の基礎 (名詞の性・数/冠詞/主語人称代名詞/疑問文・否定文/形容詞/縮約/疑問代名詞/比較/動詞の現在時制など) (16)～(29) 文法の発展 (命令文/目的語人称代名詞/代名動詞/中性代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点

「仏和辞典」を毎回持参して下さい。*但し、電子辞典やポケット版辞典は不可です。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点 (出席状況・小テストなど) によって評価します。

教科書

小野・村松『マ・グラメール』2008年刊(白水社) 2, 300円+税

履修コード	270101
科目名	フランス語IB
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
(1) 受講上の諸注意/ alphabet (2)～(4) 発音の基本 (5)～(15) 文法の基礎 (名詞の性・数/不定冠詞・定冠詞/形容詞/主語人称代名詞/動詞の直説法現在など) (16)～(29) 文法の発展 (部分冠詞/縮約/補語人称代名詞/関係代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語について (中級への橋渡し)

履修上の留意点

*毎回、発音練習・練習問題を行ないます。
発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

林田遼右著『パリ散歩』(朝日出版社) 2,730円 ISBN:4-255-35171-6

参考書等

そのつど授業で指示します。

履修コード	270201
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	はまさき せつお 浜崎 設夫

講義のねらい	・文法・読本の教科書によって、フランス語の基礎を学ぶ。フランスおよびヨーロッパに対する理解を深めるための説明をする。
講義の内容・授業スケジュール	・(1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2)～(4) 発音の基礎 (5)～(15) 文法の基礎 (名詞の性・数 / 不定冠詞・定冠詞 / 形容詞 / 主語人称代名詞 / 動詞の直説法現在など) (16)～(29) 文法の発展 (部分冠詞 / 縮約 / 補語人称代名詞 / 関係代名詞 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し) * 毎回、読み方の練習・練習問題を行なう。
履修上の留意点	ほぼ毎回練習問題を宿題として出すので、専用のノートを用意する。毎回辞書を持って来る
成績評価の方法	・前・後期の試験と平常点 (出席・宿題) を総合して評価する。追試験はなし。
教科書	安田悦子『ヴィット・メ・ピヤン』白水社 1600円+税

履修コード	270301
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	たにかわ 谷川 かおる

講義のねらい	フランス語の音やフランス文化に親しみながら、フランス語の基礎を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	(1) フランス語の歴史 (2-3) 発音 (4-8) 冠詞・名詞・形容詞・動詞の基礎 (9-15) 疑問文・否定文など (16-20) 疑問代名詞・命令文など (21-26) 補語人称代名詞・比較級など (27-30) 複合過去など。
履修上の留意点	毎回小テストを行う。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	前期・後期試験を基本とし、小テストの点を加算し、60点以上を合格点とする。
教科書	藤田裕二著『新・彼女は食いしん坊 1』朝日出版社、2500円 ISBN978-4-255-35181-0 C1085
参考書等その他	授業中に指示する。 出席重視。

履修コード	271101
科目名	フランス語ⅠC (会話) フランス語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	こだま なりお 小玉 齊夫

講義のねらい	ビデオ教材を用いて、話し、聞き、言ってみる授業を目指します。文法事項はつとめて省略します。
講義の内容・授業スケジュール	1年30授業時間とすれば、だいたい以下のような進度で行います。 (1-4) フランス文化の概要、綴りと発音、アルファベ、(5-8) 紹介、自己紹介、近況説明、(9-13) 質問文、人の描写 (外観、性格)、好みについて、(14-18) 日常生活、一日の生活、電話で話す、(19-23) 時制 (現在、過去、未来)、資料を読む、(24-26) 付近の環境、住まい、情報交換、(27-30) 推薦、依頼、会話のまとめ
履修上の留意点	基本となるフランス語の語彙、表現を自分のものとする。あやふやに覚えていると、いつまで経っても自信がつきません。どうせ覚えるなら、自信がつくように、確実に、徹底的に、覚えること。
成績評価の方法	通常授業での状況、前期および後期の試験によって、成績評価とします。
教科書	ジャケ他著『カンピュス J』(朝日出版社、2500円)、ISBN978-4-255-35183-4
参考書等	辞書等については初めの授業で指示します。

履修コード	271201
科目名	フランス語IIA
担当者名	^{あづま たつゆけ} 東 辰之介

講義のねらい 短い対話文や説明的文章の読解等によって、フランス語能力のレベルアップを図ります。発音も重視します。

講義の内容・授業スケジュール (1)～(10)初級文法の復習と未習事項の説明(複合過去、半過去、単純未来、条件法、接続法など) (11)～(20)対話文の読解(自己紹介、意見を言う、昨日したことを話す、予定、理由、意見を尋ねるなど) (21)～(30)説明的文章の読解(パリ、カフェ、学生生活、プロヴァンス、政治など)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 澤田直之他著『アミカルマン』(駿河台出版社)2,500円+税 ISBN978-4-411-01093-3

履修コード	271211
科目名	フランス語IIA
担当者名	^{すがや さとる} 菅谷 暁

講義のねらい フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化についての理解を深めること、言葉に対する感覚を磨くことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課あるので、1課を1回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験によります。

教科書 ボームルー著『セレクション・時事フランス語III』(朝日出版社)1,890円

履修コード	271701
科目名	フランス語IIC(会話) フランス語IIC(会話)[再クラス]
担当者名	^{おおの ひでし} 大野 英士

講義のねらい 少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、日常的な会話を中心に、文法・表現やコミュニケーション能力を養成するクラスです。

講義の内容・授業スケジュール (1)～(2)受講上の諸注意/綴り字と発音の復習 (3)～(4)こんにちは! (5)～(6)私の名前は (7)～(8)私の名前は (9)～(10)音楽は好きですか? (11)～(12)喉が渴きましたか? (13)～(14)ロワールへの旅 (15)中間テスト (16)～(17)真っ直ぐ行ってください (18)～(19)彼女はイタリアに行きました (20)～(21)一週間後にニースに行きます (22)～(23)私は7時に起きます (24)～(25)もし時間があれば (26)～(27)少しだけ文化も (28)～(29)条件法・接続法について (30)総復習

履修上の留意点 語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。

成績評価の方法 出席点、前・後期末試験で総合的に評価します。

教科書 中村加津ほか著『ボンヌ・チャンス!ー楽しく上達フランス語一』(駿河台出版社)を使用します。

参考書 授業開始時に教室で指示します。

その他 最近、携帯のオンライン辞書を教室内で使用する学生を見かけますが、厳に禁止します。

履修コード	271901
科目名	フランス語ⅢA フランス語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	大野 英士 <small>おおの ひでし</small>

講義のねらい	ある程度フランス語文法の基礎を学んだ学生を対象に、さまざまなジャンル・話題のフランス語のテキストを通して、文法力、読解力、表現力を磨いてもらうクラスです。到達目標は実用フランス語技能検定試験（仏検）3級レベルに対応しています。
講義の内容・授業スケジュール	(1)綴り字と発音の復習 (2)～(14)新フランスペット事情・路面電車の復権・名前とグローバリゼーション・60回目を迎えたカンヌ映画祭・夢の職業・複葉機が舞う町・ナポレオンの剣・いとこ同士・時速300キロの芋虫・ワイン大国は今 (15)中間テスト (16)～(29)パンテオン入りした「義人」たち・眠らない夜・日仏交流150周年・あるデザイナーの肖像・ルネサンスのゆりかご・パリの村・ロゼット嬢・画家たちのコートダジュール・異端の聖者・ジプシーと3人のマリア (30)文法のまとめと総復習 (31)定期試験
履修上の留意点	なるべく丁寧に解説し、予習・復習の負担は極力軽くするつもりですが、全く予習・復習をしないで語学の上達はありえません。学生の積極的な参加を期待します。
成績評価の方法	出席点、前・後期の試験で総合的に評価します。特に出席点を重視します。
教科書	クリスチャン・ボームルーほか著『ヴァリエテ・フランセーズ 2008』
参考書	初めに教室で紹介しします。
その他	最近、携帯のウェブ辞書を教室で参照する学生を見かけますが、厳に禁止します。

履修コード	272201・274601
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	根岸 政子・下出 宣子 <small>ねがし まさこ しらいで のかこ</small>

講義のねらい	中国語の発音と基本文法を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	「声調」および「ピンイン」を学んで発音を習得したのち、基本文法を学習しながら、日常会話の表現を身につけていきます。 最初の1ヶ月は発音の習得をめざします。 そして第1課から教科書にそって学習し、前期は第7課まで進む予定です。 後期は第8課から最後の16課まで学習し、基本文法をマスターする予定です。
履修上の留意点	同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。 発音ができれば中国語がおもしろくなりますから、大きな声で読む習慣をつけましょう。
成績評価の方法	各学期で中間・期末試験を行います。出席状況、テスト成績、授業への積極性を総合して評価します。
教科書	本間史・孟広学『中国語ポイント55』（白水社）2,300円＋税

履修コード	272301・274701
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	小栗山 恵・徳間 佳信 <small>おぐりやま けい とくま よしのぶ</small>

講義のねらい	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容・授業スケジュール	内容 IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に、IBではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音（1、2）、第一課から第八課“是”構文、助動詞（3から12）、第九課から第十八課副詞、存現文（13～26）
履修上の留意点	休まず出席し、大きな声で発音して下さい。
成績評価の方法	試験の成績、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等により総合的に評価する。
教科書	余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス2500円

外国語

履修コード	272401・274801
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	工藤 早恵・張 渭涛

講義のねらい	中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを旨とする。
講義の内容・授業スケジュール	IAとIBで同じ1冊の教科書を用い、主に文法説明と作文と発音とドリルに担当を分けて、二人の教員が担当する。ガイダンス(1)発音の基礎(2～5)人称代詞、指示代詞、動詞述語文、形容詞述語文等(6～10)比較、有構文等(11～15)、完了、結果補語、可能補語等(16～20)存現文、是～的構文、方向補語等(21～26)途中で4回の定期試験を行う。
履修上の留意点	必ず中国語IA・IB(火曜第4時限 工藤、土曜第1時限 張)とセットで履修すること。初めて学ぶ言語なので、積極的に音声練習や作文練習に取り組むことが大切である。また毎回の出席を心がけてほしい。
成績評価の方法	出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。
教科書	相原・陳・飯田『一年生のころ(改訂版)』(朝日出版社)2,625円

履修コード	272501・274901
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	本間 由香利・曹 泰和

講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。
履修上の留意点	練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
成績評価の方法	出席を重視し、平常点(授業態度)、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。
教科書	本間史・孟広学『中国語ポイント55』(白水社)2,415円
参考書等	授業の中で紹介する。

履修コード	272601・275001
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	塩旗 伸一郎

講義のねらい	中国語の音声的魅力を体感するとともに、その特徴や、表現の背景にある文化、ものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がる。
講義の内容・授業スケジュール	発音(1～10)、1課～5課(11～27)、前期末試験(28)、6課～12課(29～55)、後期末試験(56)。原則として2課ごとに聴き取りを含む小テストを行なう。 漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験のほとんどは音声またはピンイン(ローマ字)により出題され、発音テストも実施する。
履修上の留意点	IAとIBが連動するので、必ずセットで履修すること。 なお、携帯電話・メールは禁止。操作者には退席を命じ、欠席扱いとする。
成績評価の方法	定期試験(30×2)+小テスト(25)+平常点(15)-欠席点。 「平常点」≠「出席点」。坐っているだけで評価されることはない。 前・後期とも、火曜と土曜を合わせた欠席が3回を超えると10点ずつ原点。 IAとIBは連続した通年授業だが、前期の成績をIAに、後期の成績をIBに反映させる。
教科書	相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』(朝日出版社)2500円+税

履修コード	272701・275101
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	吉田 建一郎・布施 直子

講義のねらい	中国語の基礎力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	(1～6週)四声とピンイン(7～14週)人称代名詞、動詞述語文、指示詞、疑問詞疑問文、「在」と「有」、形容詞述語文、反復疑問文など(15～28週)前置詞、「了」の使い方、経験の表現、比較の表現、助動詞、補語、存現文、兼語文、受身文など
履修上の留意点	欠席せず、大きな声を出して積極的に練習に参加すること。
成績評価の方法	出席状況、小テスト、期末試験の結果をもとに総合的に評価する。
教科書	楊凱榮・張麗群『中国語へのアプローチ』朝日出版社、2300円(税別)、ISBN4-255-45126-5

履修コード	272711・275111
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	小川 隆

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
火曜と土曜で内容を分けず、1冊の教科書を頭から通して学んでゆく。
火・土あわせて年間10回の小テスト(2課に1回)、出席点(最低、4分の3以上の出席が必要)、平常点(発音の習熟度、会話の積極度など)を総合して成績評価を行う。授業進行のためのルールとマナーを守れない人、欠席が授業回数の4分の1を超えた人などは、その時点でただちに受講をやめてもらう。

教科書
牧田・楊『新編・例文中心初級中国語』(同学社)2300円+税 ISBN 4-8102-0161-9

外国語

履修コード	277201・277301・277401・277501・277511
科目名	中国語IIA
担当者名	橋本 幸枝・岩崎 皇・児島 弘一郎・弘兼 加奈子・江林英基

講義のねらい
一年次で行った会話的練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むこととなります。
授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法
教科書
4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。
石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

履修コード	278601
科目名	中国語IIC(会話) 中国語IIC(会話)[再クラス]
担当者名	宮本 厚子

講義のねらい
これまでに学んだ中国語を口に出せるよう定着させるとともに、新たな構文を学び、表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
教科書に沿って、実際に役に立つフレーズ、単語を増やしていく。
書き取りか暗誦のどちらかを毎回課すので、必ず準備してから授業に臨むこと。また、予習も必要である。

成績評価の方法
教科書
年4回のテストと平常点で行う。テストは期末は筆記試験とし、中間に口頭での試験を行う。
楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチII』初級～中級編 朝日出版社 2200円(税抜き)

履修コード	278611
科目名	中国語IIC(会話) 中国語IIC(会話)[再クラス]
担当者名	本間 由香利

講義のねらい
比較的簡単なテキストを用い、平易な中国語で自分の希望・趣味など身の回りのことを、自分なりに表現できるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
1年次に学んだ文法事項の復習をしながら様々な口頭練習を行ないます。未消化のまま次の課に進むのではなく、既習のものがすぐに口に出るように、しっかり・ゆっくり、繰り返して学習します。出席を重視します。授業中は大きな声で発音し、積極的に発言してください。

成績評価の方法
授業中の小テスト・前後期の中間・期末テストの平均点に、出席・授業態度を加算して総合的に判断します。

教科書
参考書等
胡金定・吐山明月『新・はじめての中国語会話ツール24』同学社2500円
授業中に指示します。

履修コード	279101
科目名	中国語ⅢA 中国語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	王 聡

講義のねらい	中国事情を学びながら、中国語の読解力の向上を目的とする
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回 ガイダンス・復習</p> <p>第2回～第13回 文章：「ファッションの話」・「インターネットの話」・「交通の話」・「食の話」・「レジャーの話」・「収入の話」</p> <p>文法：「想」・「可以」・「了」・「過」・「着」・「就」・「才」・方向補語・結果補語・可能補語・様態補語・比較文</p> <p>第14回～第15回 復習と前期テスト</p> <p>後期</p> <p>第1回 復習・練習問題</p> <p>第2回～第13回 文章：「株の話」・「住宅の話」・「結婚の話」・「教育の話」・「スポーツの話」・「環境の話」</p> <p>文法：起点と終点・使役文・受身文・前置詞いろいろ・副詞いろいろ・修飾語いろいろ・複文</p>
履修上の留意点	辞書を用意し、予習・復習をちゃんとする。
成績評価の方法	前期テスト40%、後期テスト40%、平常点（出欠席状況・授業態度など）20%。
教科書	三瀧正道・楊光俊著『現代中国走馬看花』、朝日出版社、2,000円＋税、

履修コード	279401
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	佐藤 佐知

講義のねらい	スペイン語の初級文法を学ぶ。テキストに沿って文法を習得し、口頭練習や作文練習を通してスペイン語の運用能力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	(1～2)表記法・発音・アクセント(3～8)SER/ESTAR、一般規則動詞の現在形の活用と用法(4～15)一般不規則動詞の活用と用法、表現練習(16～23)目的格代名詞、比較表現、点過去形の活用と用法(24～30)線過去形の活用と用法、過去時制の使い分け
履修上の留意点	授業中に文意の解釈や作文など作業をするので、必ず辞書を持ってくること(初回の授業で辞書の紹介をします)。語学の習得を目標とするため、授業には積極的に参加すること。
成績評価の方法	期末試験と平常点(出席状況・提出物・小テスト)を総合的に判断して評価する。
教科書	福嶋教隆「動く!スペイン語」(“Español Dinámico”)2008(朝日出版)2600円

履修コード	279501
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	ルイスティノコ、C.

講義のねらい	この授業では基本的な文法を学び、練習をしながらスペイン語の構造や表現になれ、会話能力を高めることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期は発音、簡単なあいさつ、規則動詞などから不規則動詞まで学ぶ予定である。</p> <p>後期は不規則動詞、間接目的格、直接目的格、再帰動詞、現在完了、点過去、線過去、未来形などを学ぶ予定である。ビデオを見ることもある。</p>
履修上の留意点	毎回の練習は重要なので出席を重視する。
成績評価の方法	前期と後期の成績、出席と授業参加の状態で評価する。
教科書	未定

履修コード	279601
科目名	スペイン語IA
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一

講義のねらい 初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 発音、アクセント、音節 (1~3)
- II. 名詞の性と数、冠詞、主格人称代名詞 (4~6)
—前期中間テスト(7)—
- III. 規則動詞、疑問文、否定文 (8~10)
- IV. 形容詞の性と数、動詞 ser と estar (11~13)
- V. hay と estar、指示形容詞、指示代名詞、所有形容詞 (14~15)
—前期期末テスト(16)—
- VI. 時刻の表現、基数 (0~29)、直接目的格人称代名詞 (17~18)
- VII. 1人称単数が不規則活用する動詞、天候の表現、疑問詞 (19~20)
—後期中間テスト(21)—
- VIII. 語根母音変化動詞、不定詞の用法、序数 (22~24)
- IX. gustar 型動詞、基数 (30~100) (25~26)
- X. 曜日、月、季節 不規則活用する動詞 (27~29)
—後期期末テスト(30)—

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
開講時、指示します。

履修コード	279611
科目名	スペイン語IA
担当者名	うえの かつひろ 上野 勝広

講義のねらい スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課~5課まで、後期は6課~10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行います。

前期(1)導入、アルファベット(2~5)文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など(6~10)動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など(11~15)疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など
後期(16~20)語根母音も変化する動詞、querer、poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など(21~25)比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など(26~30)100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法
教科書
参考書等

年間4回のテスト結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。
上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社)2,500円
初回の授業で紹介します。

履修コード	280701
科目名	スペイン語IB
担当者名	佐藤 麻里乃

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくること。

成績評価の方法 主として前期・後期各1回の試験による。

教科書 藤野・古家共著『スペイン語のエッセンス』弘学社
辞書については初回授業で指示する。

履修コード	280801
科目名	スペイン語IB
担当者名	米田 博美

講義のねらい スペイン語は、スペイン及び約20カ国のスペイン語圏諸国で4億以上の人々が話す言葉です。日本はアジア・太平洋地域の中で中心的役割を果たし、同諸国と昔から深い絆を有しています。自由貿易協定による二国間関係、APECなどの他国間関係を通じて、相互依存関係は益々深まっています。グローバル化の中で、スペイン語の果たす重要性は大きい。グラナダのアルハンブラ宮殿、空都市マチュピチュ、全長3キロ弱、高さ約100メートル、世界最大のイグアスの滝、ユカタン半島のマヤ遺跡など魅力的な世界遺産をもつラテンアメリカに諸君は旅することもあるでしょう。人生を楽しむ術を心得た陽気な人々と直接コミュニケーションできるように、これらの国々の政治、経済、文化、芸術を知ることが、各自の専門にも役立ち、視野を広めることが出来ると信じます。

講義の内容・授業スケジュール 年間スケジュールとして、下記テキストの1～4課までを前期に、5～7課の範囲を後期に学習します。（その他の課を授業中に説明することもあります）

履修上の留意点 スペイン語は、発音しやすく聞き取りやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、出席を重視します。

成績評価の方法 成績は、一般の授業態度、出席、小テスト、期末テストなどにより総合的に判断します。

教科書等 「英語からスペイン語へ」（細川幸男他著、弘学社）
辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、「現代スペイン語辞典」（白水社）、「和西中辞典」（小学館）、「新スペイン語辞典」（研究社）「クラウン西和辞典」などを推薦しておきます。

その他 文法的事項の説明は一方的なものとならないよう、双方向的な授業形態をとり、発音も重視します。また、スペイン語圏の文化や歴史、又は音楽に関するCDまたはDVDを鑑賞する機会もつくる予定です。

履修コード	280901
科目名	スペイン語IB
担当者名	栗林 ゆき絵

講義のねらい 基本的な単語や挨拶のほか、基本的な文法事項を整理してスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期(1-15回)は名詞句と現在形(下記教科書6課まで)の文法、後期は現在形不規則(7-9課)(1-6回)および過去形(14課まで)(7-15回)の文法を中心に学習する。学期の中間に小テスト（活用・単語）を実施。

履修上の留意点 前後期各1回程度小テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけてほしい。

成績評価の方法 小テスト20%（日程は授業中に指示）、前後期の期末試験80%。半期で5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書等 西川喬『さあ、始めようスペイン語』（同学社）2,500円
〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』（小学館）

履修コード	280911
科目名	スペイン語IB
担当者名	荻野 恵 <small>おぎの めぐみ</small>

講義のねらい ス페인語の基礎文法、初級講読、リスニングをバランスよく身につけていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期
1. 文字と発音
2～4 主語人称代名詞・定冠詞・動詞活用
5～7 不定冠詞・複数形の作り方
8～10 目的格人称代名詞・形容詞
11～13 gustar 型動詞・所有詞
14～15 まとめと試験

- 後期
1～2 点過去形・過去を表わす副詞
3～4 再帰動詞・時間表現・比較表現
5～6 線過去形・現在完了形
7～8 未来形・現在分詞・天候の表現
9～10 命令形・感嘆文
11～12 命令形・知覚動詞
13～14 接続法現在形・過去未来形
15 試験

履修上の留意点 辞書については授業中に紹介します。辞書と親しみながら予復習を心がけ、積極的な姿勢で授業に臨んでください。

成績評価の方法 各学期最終授業日に実施する試験と授業中の課題、出席状況を総合して評価します。
教科書 小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語—マドリッド編』(朝日出版社)

履修コード	282001
科目名	スペイン語IC (会話) スペイン語IC (会話)〔再クラス〕
担当者名	ルイズティノコ, C.

講義のねらい この授業では文法を学びながら様々な表現や言い方を練習して覚えられるようにしたいと思う。表現力や会話能力を高めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール 前期は、様々なあいさつ、描写の表現、物の位置の言い方、道の説明、などを学ぶ予定である。後期は、日付、時間の表現、好みを表す表現、買物の表現などを学ぶ予定である。ビデオを見ることもある。

履修上の留意点 毎回の練習は重要なので出席を重視する。
成績評価の方法 前期と後期の成績、出席と授業参加の状態で評価する。
教科書 未定

履修コード	282101
科目名	スペイン語IIA
担当者名	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>

講義のねらい 一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・
授業スケジュール (1～3) 一年次の復習 (4～9) 線過去、点過去 (10～12) 完了形、関係詞 (13・14) 前期の復習 (15) 前期試験 (16～19) 未来形、分詞、比較、再帰動詞 (20～22) 過去未来形 (23・24) 接続法現在 (25・26) 命令 (27～29) 接続法過去 (30) 後期試験

履修上の留意点 予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書 東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』(朝日出版社)

履修コード	282111
科目名	スペイン語IIA
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>
講義のねらい	スペイン語Iで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課〜7課まで、後期は8課〜14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。 またテキスト後半の対話文を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。
履修上の留意点	前期（1）オリエンテーション（2〜5）動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など（6〜10）重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など（11〜15）再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など 後期（16〜20）線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など（21〜25）接続法の用法、使役および受動構文、など（26〜30）直説法未来完了の用法、条件文、など 休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。
成績評価の方法	年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。
教科書	西川 喬 / Ceferino Puebla 『バモス』（同学社） 2,600円

履修コード	282701
科目名	スペイン語IIC（会話） スペイン語IIC（会話）〔再クラス〕
担当者名	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>
講義のねらい	旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口をついて出てくるくらいスペイン語に親しんでください。
講義の内容・授業スケジュール	(1)復習 (2〜4)存在文、位置の表現 (5〜7)SERとESTAR、時間 (8〜10)許可を求める、依頼する、GUSTAR (11〜13)不定詞をとる動詞表現、命令 (14)復習 (15)前期試験 (16〜18)再帰動詞、自己紹介 (19〜22)完了、接続法現在 (23〜25)点過去、線過去 (26〜28)比較、関係詞、未来 (29)復習 (30)後期試験
履修上の留意点	予習・復習を忘れずに。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りなどの小テストの結果で評価します。
教科書	坂東省次ほか『改訂版』コミュニケーションのためのスペイン語』（第三書房）

履修コード	283001
科目名	スペイン語IIIA スペイン語IIIA〔再クラス〕
担当者名	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>
講義のねらい	三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基礎を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくために必要な土台の完成に努めます。
講義の内容・授業スケジュール	(1)復習 (2〜4)点過去、線過去、完了 (5〜7)未来、過去未来 (8〜10)再帰動詞、関係詞 (11〜13)受身、無人称文 (14)復習 (15)前期試験 (16〜18)接続法現在① (19〜21)接続法現在② (22から24)接続法現在③ (25〜27)接続法過去 (28・29)条件文 (30)後期試験
履修上の留意点	新聞記事などスペイン語の短い読み物も随時配布する予定です。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は二回の期末試験と小テストの結果で評価します。
教科書	パロマ・トレナド他 『ブラサ・マヨール II ソフト版』 朝日出版社

履修コード	283301
科目名	ロシア語IA
担当者名	杉山 秀子

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。
 4、5、6、7月はイントネーションや発音に力点をおき、9、10、11、12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
講義の内容・授業スケジュール 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
成績評価の方法 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円
 『露和辞典』
教科書
参考書等

履修コード	283701
科目名	ロシア語IB
担当者名	廣田 英靖

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。
 4-7月は発音、イントネーションに重点をおき、9-12月はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。
講義の内容・授業スケジュール 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
成績評価の方法 杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円
 『露和辞典』
教科書
参考書等

履修コード	284101
科目名	ロシア語IC(会話) ロシア語IC(会話)[再クラス]
担当者名	佐野 朝子

講義のねらい このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。
 会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。
 4月-7月は発音、イントネーション、基礎文法。9月-12月はやさしいよみもの中心。
講義の内容・授業スケジュール 予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
履修上の留意点 平常点を重視します。
成績評価の方法 絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。
教科書

履修コード	284201
科目名	ロシア語IIA
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。
ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール
○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
○中等文法のエッセンスを勉強をします。
○4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 出席と平常点を重視します。

教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。

その他 プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284601
科目名	ロシア語IIC (会話) ロシア語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール
4-7月 発音、イントネーション
9-12月 文法と会話に力を入れる

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円、その他。
プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	284801
科目名	ロシア語IIIA ロシア語IIIA [再クラス]
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール
以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。
4-7月 会話とイントネーションに力を入れる。
9-12月 応用会話を展開する。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書 学生の学力に応じて教科書を選びます。
プリント配布。

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	291501
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	ひわたり じゅんこう 樋渡 俊光

講義のねらい これからの学生は社会人になった時に、外国人と英語を通して意志疎通をはかるための十分な英語運用能力をもっておくことが不可欠である。この講座を通して、徹底的に英語の四技能の向上をはかりたい。

講義の内容・授業スケジュール 教材を中心に授業が進められるが、3回に1回は、Japan Times, Business English, 等学生の興味ある話題の英文抜粋教材を利用する。(E:副教材)

第1期 五文型の習得・音声指導

Lesson 1-2

第2期 Lesson 3-5,E

第3期 Lesson 6-8,E

第4期 Lesson 9-10,E

第5期 Lesson 11-13,E

第6期 Lesson 14-16,E

履修上の留意点 毎回予習を必要とし、予習が行われているかの確認調査有り。辞書必携。

成績評価の方法 前後期2回の試験、夏休みレポートの提出により評価する。又欠席5回以上は認めない。

教科書

- 1) Richard Best
- 2) *The World at a Glance*
- 3) 南雲堂
- 4) ¥1,500
- 5) ISBN4-523-17525-X C0082

履修コード	291601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	まつどう ひろこ 松堂 啓子

講義のねらい 基本的な文法を確認しながら、語彙・表現力を固め、短い英文を書けるようにする。また、リスニング力の強化も併せて行う。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイドダンス 2 手紙、ファックス 3 電子メール、電話 4 面会の申し入れ、ホテルの予約 5 オフィスの移転通知、支店の開設案内 6 レセプションへの招待

7 アンケートの回答依頼、資料の送付依頼 8 慶弔、会議の通知 9 議事録 10 物品の購入、社内研修の案内 11 社内研修の報告 12 日程の中間報告 13 前期試験 14 引き合い(1) 15 引き合い(2) 16 注文 17 代金の回収 18 クレームと調整 19 履歴書 20 応募の手紙 21 推薦状 22 面接 23 面接の結果の通知、退職願 24 後期試験

履修上の留意点 単位取得には三分の二以上の出席が必要である。

成績評価の方法 試験の結果(7割)、課題等(3割)。

教科書

豊田暁、*Essentials of Global Business English*、南雲堂、¥2100、ISBN978-4-523-17605-3

履修コード	291701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	いづみ ひろみ 岩井 洋美

講義のねらい 会話表現をもとに、文法、発音を確認していきます。また語彙を増やし、表現の幅を広げ基本的なことを言えるようにします。

講義の内容・授業スケジュール 毎回テキストを1課ずつ進めながら文法事項、発音のポイント、テーマに沿った単語や表現を学びます。また授業内でスピーキングや復習テストを随時行う予定です。

履修上の留意点 欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。出席とやる気のある授業態度を最も重視します。8回以上の欠席、3回以上連続の無断欠席をした者は単位は取れません。

成績評価の方法 出席、授業態度の平常点25%、前・後期試験50%、スピーキングテスト復習テスト25%で評価。追再試験は実施しません。

教科書

大谷麻美、村田和代、*CORNERSTONE*、マクミランランゲージハウス、1890円

履修コード	291801
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	樋渡 俊光 <small>ひわた しのこう</small>

講義のねらい 英語を通して学生が将来国際人となるように、英語の四技能の向上をはかることを目的とするものである。

講義の内容・授業スケジュール 教材を通して、日米の大学生のことにに関して、その違いを学ぶことになるが、時々、Japan Times からの抜粋記事、基礎的 Business English を交えながら行こなされる授業である。

第1期 英語の五文型の完全なる習得
発話に関する音声指導
Lesson 1-2

第2期 Lesson 3-5 副教材

第3期 Lesson 6-8 副教材

第4期 Lesson 9-10 副・レポート課題

第5期 Lesson 11-12 副教材

第6期 Lesson 13-15 副教材
(副教材は自主教材)

履修上の留意点 毎回予習を必要とし、予習が確実にに行われてるかの確認調査有り。辞書必携

成績評価の方法 前後期2回の試験結果、夏休みレポート提出の内容により評価する。又欠席5回以上は認めない。

教科書

- 1) Clayton Naff
- 2) *A Short course in Reading*
(5分間リーディング)
- 3) 南雲堂
- 4) ¥900-
- 5) 044540 B-161

履修コード	291901
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	岩原 康夫 <small>いわたら やすお</small>

講義のねらい ライティングによる日常的なコミュニケーション能力を高め、少しでも纏まった意思伝達ができるようになることを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール クラスは一定の基本的な動詞の構文と用法を学習し、まずセンテンス・レベルでの表現力を向上させる練習を行う。前期は、“be” “go” “come” “take” “put” “make” などを中心に学び、後期は“have” “get” “give” “stay” “keep” “lose” “find” “do” の順で練習する。

履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。なおこのクラスは再履修であるので、必要な場合には個々の学生に対応した個別指導を行う。

成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価する。

教科書 *Cultivating Writing Skills* (朝日出版) 2000円 ISBN4-255-15280-2

履修コード	292001
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	埴 美智子 <small>はなわ みちこ</small>

講義のねらい 英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点 辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法 日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書 『Appreciating European Culture 一生まれ変わるヨーロッパ』
(成美堂) 1,800円

参考書等 その都度黒板に板書し案内する。

その他 大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

履修コード	292301・292601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	大淵 利春 <small>おおふち ともはる</small>

講義のねらい 英作文の演習を通して、英語表現力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 授業のはじめに15分程度リスニング練習を行い、その後テキストに取り組む。テキストは2時間で一課のスピードで進める。具体的には、Unit 1 Unusual Weather(2,3), Unit 2 Terrorism(4,5), Unit 3 Vacation Abroad (6,7), Unit 4 Fame and Fortune (8,9), Unit 5 Hosting the Olympics (10,11), Unit 6 Convenient Gadgets and Sustainable Lifestyles (12,13), Unit 7 The Perfect Export (16,17), Unit 8 Still Addicted to Junk Food (18,19), Unit 9 A Graying Society (20,21), Unit 10 Waiting for “Mr. Right” (22,23), Unit 11 Manners Make Us Brighter (24,25), Unit 12 Seeing What Isn’t There (26,27), Unit 13 Cybercrime (28,29), Review (30)

履修上の留意点 予習をしてもらうこと。辞書をもってもらうこと。

成績評価の方法 前、後期2回の試験の結果をベースとしながら、平常点(出席状況、授業態度など)も考慮に入れて、総合的に評価する。

教科書 *Writing Updates* 金星堂 1800円 ISBN 978-4-7647-3859-1

履修コード	292701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>

講義のねらい Writing and Speaking を主眼とするが、読解力も平行して見直していきたい。

講義の内容・授業スケジュール 下記に示したテキストを用意すること。テキストは日米両国の懸け橋になった以下のような人物をとりあげている。これらの人物の業績を読み、まず知識を深めてほしい。内容を確認したところで、設問に答えることになる。設問はリスニングの形式もある。また、作文、つまり英語での表現力をも試すようになっている。

1. Douglas MacArthur
2. Edwin O. Reischauer
3. William Smith Clark
4. Matthew Calbraith Perry
5. Elvis Presley
6. Yukichi Fukuzawa
7. Donald Keene
8. Hayao Miyazaki
9. Momofuku Ando
10. Umeko Tsuda
11. Steve Jobs
12. Haruki Murakami
13. Soichiro Honda
14. Clarence Saunders
15. The McDonald Brothers and Ray Kroc
16. Shigeru Yoshida
17. John Manjiro
18. Hideo Nomo
19. Kyu Sakamoto
20. William Adams (Miura Anjin)

履修上の留意点 予習していただくことは必須。その前提で進める。語学力の養成はこれにつぎる。

成績評価の方法 前期・後期の試験。発表あるいはプレゼンテーションの力。出席・遅刻状況。その他の受講態度。

教科書 *Across the Pacific Ocean 『日米の懸け橋になった人々』*, 成美堂出版 ¥1,800

履修コード	297002
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	熊沢 和明

講義のねらい 英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。
 講義の内容・授業スケジュール 平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
 履修上の留意点 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
 成績評価の方法 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
 教科書 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
 Why Is That? (金星堂)

履修コード	293201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	狩野 晃一

講義のねらい 基礎的な英語の力を取り戻す。英語を読むことに慣れてゆく。
 講義の内容・授業スケジュール はじめは必要と思われる単語・フレーズの習得に努める。同時に簡単な文章からレベルを上げてゆき、簡単な物語や論評などを通読する。
 履修上の留意点 必ず辞書を携帯すること。予習はもちろんであるが、復習に力を入れてほしい。とにかく出席をすることが必要。
 成績評価の方法 全授業の3分の2以上が成績評価の対象となる。年2回の試験と授業態度で判断する。試験は60点以上が合格基準。
 教科書 教場にて指示する。

履修コード	293401
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	行廣 泰三

講義のねらい 英語がさまざまな場面で求められ、その必要性が増していることは言うまでもありません。そこで、この授業では、英語を苦手としている学生に短い英文を通して読解力を伸ばすことを目指します。
 講義の内容・授業スケジュール 1. オリエンテーション
 1. Food (How is our food produced and transported today?)(GM Crops)
 2. Population (A crowded world)(Debates about population)
 3. Poverty (what is poverty?)(poverty in the past)
 4. Health and Disease (Impacts of world health patterns 1)(Impacts of world health patterns 2)
 5. Pollution (Water pollution)(Land pollution)
 6. Animals under Threat (Animals under threat 1)(Animals under threat 2)
 履修上の留意点 復習と予習をする習慣をつけて下さい。
 成績評価の方法 出席点30% 小テスト40% 期末30%
 教科書 竹内・池田・佐々木共編『Talk with Our Planet: Intensive Reading 地球の今』2008年
 (株)松柏社 2000円+税

履修コード	293601
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、基礎からTOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
 講義の内容・授業スケジュール (1)小テスト、(2~3)Unit1、(4~5)Unit2、(6~7)Unit3、(8~9)Unit4、(10~11)Unit5、(12~13)Unit6、(14~15)Unit7、(16~17)Unit8、(18~19)Unit9、(20~21)Unit10、(22~23)Unit11、(24~25)Unit12、(26~27)Unit13、(28~29)Unit14、(30)Unit15
 履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。
 成績評価の方法 定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。
 教科書 『A Complete College English Program ー大学英語総合ナビゲーター リメディアル・グラマー編(BOOK3)ー』、(金星堂) ¥1900+税

履修コード	293901
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『大学』(UNIT 1)
- 第三回 『日常』(UNIT 1)
- 第四回 『大学』(UNIT 2)
- 第五回 『日常』(UNIT 2)
- 第六回 『大学』(UNIT 3)
- 第七回 『日常』(UNIT 3)
- 第八回 『大学』(UNIT 4)
- 第九回 『日常』(UNIT 4)
- 第十回 『大学』(UNIT 5)
- 第十一回 『日常』(UNIT 5)
- 第十二回 『大学』(UNIT 6)
- 第十三回 『日常』(UNIT 6)
- 第十四回 『大学』(UNIT 7)
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『日常』(UNIT 7)
- 第十七回 『大学』(UNIT 8)
- 第十八回 『日常』(UNIT 8)
- 第十九回 『大学』(UNIT 9)
- 第二十回 『日常』(UNIT 9)
- 第二十一回 『大学』(UNIT 10)
- 第二十二回 『日常』(UNIT 10)
- 第二十三回 『大学』(UNIT 11)
- 第二十四回 『日常』(UNIT 11)
- 第二十五回 『大学』(UNIT 12)
- 第二十六回 『日常』(UNIT 12)
- 第二十七回 『大学』(UNIT 13)
- 第二十八回 『日常』(UNIT 14)
- 第二十九回 『大学』(UNIT 14)
- 第三十回 後期試験

※『大学英語デイクテーションのエッセンス』（上記では、『大学』）
『日常必須語彙のリスニング練習』（上記では、『日常』）

なお、ヒヤリング及び発音練習は毎日行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は、一回の量は少ないが、ほぼ毎回提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『大学英語デイクテーションのエッセンス』 朝日出版社 900円
ISBN4-255-15282-9 C1082
- 2) 『日常必須語彙のリスニング練習』 金星堂 950円
ISBN4-7647-3653-5 C1082
- 3) プリント

履修コード	294001
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	塚本 利男

講義のねらい 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な語彙1500語レベルの記事を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題を解きます。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。
1部として健康に関して1章精神(2~4)、2章身体(5~7)、3章治療法(8~10)、新しい解決法(11~14)、2部として環境に関して5章自然現象(16~19)、6章自然の恵み(20~24)、7章新しい科学技術(25~29)を読む。前期・後期のテストを実施する(15と30)。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、テキストの練習問題の成績、前・後期の試験に基づく。

教科書 『かけがえのない健康と環境』
Shawn M. Clankie・小林敏彦 (株)成美堂
1,900円+税 ISBN978-4-7919-4624-2

履修コード	294101
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	山岸 二郎

講義のねらい 英文の構造を理解し、精読に心掛ける。

講義の内容・授業スケジュール 英文法を整理しつつ、その独特の発想法に慣れる。テキストの練習問題をやり、応用問題は選択して行なう。また巻末の Reading Passages を適時取り入れて、One Lesson を2回の授業ですゝめる。

履修上の留意点 予習を必ずやる。出席を重視する。3分の2以上の出席必要。

成績評価の方法 平常の学習、レポート、小テスト、テスト等総合して評価する。

教科書 Discover English Grammar 『日英対照：楽しく覚える英文法一ショート・リーディングと英作文一』(朝日出版)

履修コード	294201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	太田 由紀子

講義のねらい 聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋(英文)も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝 My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。

履修上の留意点 毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法 授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書 随時、プリントを配布する。

参考書 安井稔 『英文法総覧』(開拓社)、江川泰一郎 『英文法解説』(金子書房)
Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction)
チャールズ・チャップリン 『チャップリン自伝』 中野好夫訳(新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版)

履修コード	294211
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	吉沢 栄治郎

講義のねらい 小説をよんでゆきます。原文を板書したものをノートし、作品をじっくりよみながら、心理描写の展開を味わってほしいとおもいます。原文の翻訳も同時に板書しますので参考にしてください。

講義の内容・授業スケジュール 第一週から第二十七週にかけて作品の第1頁から筆写(原文)とその和訳板書を行ないます。

履修上の留意点 辞典を必ず携帯することが望ましい。

成績評価の方法 ペーパーテスト、課題提出物、出席状況を見て、評価します。

教科書 未定

履修コード	247101
科目名	英語ⅠC(会話) 英語ⅠC(会話)[再クラス]
担当者名	ハバード, W. D.

講義の内容・授業スケジュール This is an introductory course for students who are not used to conversing in English. They are expected to get used to hearing English from native speakers and to acquire a basic ability to express themselves in day to day conversations. To achieve this goal, students will be given role-playing, short conversations between each other, and question and answer practice with the teacher and other students. Various tasks and assignments, both written and oral, will be given to test students' improvement. During class, students will be motivated to start conversations on their own.

成績評価の方法 Final grade will be based on attendance, class work, quizzes, and mid-term and final tests.
教科書 Class textbook will be made available during the first class period of the school year.

履修コード	247701
科目名	英語ⅠC(会話) 英語ⅠC(会話)[再クラス]
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I
Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to have you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・授業スケジュール First Semester: Pair work practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner(s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving(not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and will be performed in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点 Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

成績評価の方法 Attendance: 50%
Tests: 25%(one test each semester)
Quizzes: 25%(usually part of assignments or announced quiz)

教科書 There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他 I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

履修コード	294601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	安齊 薫 <small>あんざい かおる</small>

講義のねらい Writing を中心に、総合的な英語運用能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

第1回	Introduction
2.3	Takeshi Kitano
4.5	Tadahiro Iguchi
6.7	Tadao Ando
8.9	kaguya
10.11	Two Museums
12.13	Agriculture
14.15	まとめ
16.17	Lactic Acid
18.19	Millet
20.21	Yacon
22.23	Black Vinegar
24.25	MOS
26.27	Kitakami
28.29.30	まとめ

履修上の留意点 予習をしてくること。

成績評価の方法 出席状況（2/3以上の出席が原則）、前後期試験、レポートで評価する。

教科書 *Sustainable Life and Economics*, 南雲堂 ¥1995

履修コード	294801
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>

講義のねらい 英IAで身につけた英語の力を土台にして、発音、英語の表現力をさらに高める。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、プリントを配布する。それをテキストとして練習を行なう。ただしこのプリントは断片的なものではなく、一年間であるまとまった流れが理解できるようになっているので、ぜひその全体像を把握してほしい。

履修上の留意点 英語の辞書は毎回もってくる。

成績評価の方法 教室での思考、表現を非常に重視するので、欠席・遅刻のないように。

教科書 授業で表現された思考、発表、出欠席・遅刻、レポートによって総合的に評価する。

参考書等 プリント。
授業の中で随時紹介する。

履修コード	295001
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	三幣 友行 <small>みねいともゆき</small>

講義のねらい 英語IAで学んだことを基礎にして、英語による意思伝達能力の向上をはかることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって英語の口語表現を学んでいく。

履修上の留意点 予習を前提として授業をすすめる。

成績評価の方法 欠席数が授業全体の3分の1をこえたら単位は認めない。

教科書 前期試験、後期試験、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。

その他 未定
詳しいことは初回の授業で説明する。

履修コード	295101
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	芝田 興太郎 <small>しばた こうたろう</small>

講義のねらい	様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら 基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく
講義の内容・授業スケジュール	a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに一課。 b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表。
履修上の留意点	予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること。
成績評価の方法	エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価。
教科書	Simply Grammar 南雲一範著 南雲堂 1890円

履修コード	295301
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	前田 脩 <small>まえだ おさむ</small>

講義のねらい	英語表現を学び、言語の基本的違いを知り、英語表現により日本語とは別の思考方法を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 授業の進め方を説明します。 英文による自己紹介をします。 (2～7) 2頁～17頁の読解、文法、英作文 (8) テーマによる英文表現 (9～12) 18頁～29頁 (13) テスト (14) テーマによる英文表現 (15～20) 30頁～49頁 (21) テーマによる英文表現 (22～27) 50頁～65頁 (28、29) テーマによる英文表現 (30) テスト 随時小テストを行います。
履修上の留意点	語学なので予習は必須事項です。 日常より英字新聞等に接し、授業に積極的に参加してください。
成績評価の方法	小テスト10% 前期テスト20% 日常評価30% 後期テスト40%の配分で評価します。日常点には出席状況も入ります。
教科書	English for You (英語総合教本) 朝日出版 1,300円 ISBN4-255-15284-5 C1082

履修コード	295401
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	外池 一子 <small>とけいけ かずこ</small>

講義のねらい	アメリカ文化を幅広く紹介するテキストを使って、アメリカ文化に対する理解を深めます。再履修コースですから、テキストは比較的やさしいものを使って、英語で読んだり書いたりすることに抵抗をなくし、最終的には英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は基礎的な英語の力(読む・書く)があることを確認します。(e-learning 教材を使用する場合があります。)後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。
履修上の留意点	コンピューター教室を使用する場合があるのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましい。
成績評価の方法	平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書	開講時に指示します。(e-learning 教材使用の場合、教材費4,000円)
その他	日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の周り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

履修コード	295501
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	古富 猛 <small>こじみ たけし</small>

講義のねらい	アメリカ社会の原点を考え、世界に影響力を有するアメリカ人性を推察する手がかりをつかむ。
講義の内容・授業スケジュール	語学は常に基礎的理解が必要なのだが、このところ学生間の格差は広がるばかりである。まず(1)～(4)で高校の文法事項(今後の理解に不可欠のもの)を復習する。その後日本人の苦手な会話力への足がかりとして、ストーリー性のあるものを読み、応用できるセンテンスを選び、パターンプラクティスをするのがベストと考えている。そのため(5)～(30)は各時間ごとに3人程の学生に予習発表をしてもらいトレーニングのひとつとする。
履修上の留意点	語学は繰り返しのなので、中・高校で習った事項の復習に努める事。
成績評価の方法	前・後期筆記試験を実施し、予習発表におけるトレーニングの程度によって、平常点をつけます。よってペーパーテストのみが評価の基準ではないので、毎時間質問に答える準備をしておく事。
教科書	前期はプリント使用。 後期『日本人と欧米人』マクミラン・ランゲージハウス社

履修コード	295601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	<small>いらいのき よしなが</small> 飯沼 好永

講義のねらい 英語の基本的な文法事項を確認しながら、自分の考えを表現できる英語力を身に付けること目指します。
1つの単元を2週単位で進んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール 予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。
履修上の留意点 出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。
成績評価の方法 開講時に指示します
教科書

履修コード	259301
科目名	英語IIC（会話） 英語IIC（会話）〔再クラス〕
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい WELCOME TO ENGLISH CONERSATION II
Learning to use English in an environment that will allow you to speak freely is an important step to improve your English language skills. I will offer you a chance to speak freely in arranged groups each class period.
You will discuss a variety of topics that I provide and share your ideas with each other. You will never be sitting alone in this class and spoken English IS expected in all classes.

講義の内容・授業スケジュール First and Second end-of-the term exams will be given with emphasis on group discussion. Each group will meet with me and you will be evaluated on your group participation and ability to express yourself in English.

履修上の留意点 Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

成績評価の方法 Attendance: 50%
Tests: 25%(one test each semester)
Quizzes: 25%(usually part of assignments or announced quiz)

教科書 There is be NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders will NOT be allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他 See you the first day of class and hope you will be interested in taking my class. I have been teaching Komazawa students for many years and it is always a joy to teach English conversation classes and see students improve their English ability.

* I assume you have taken English Conversation I before this class. This is English Conversation II not English Conversation I.

履修コード	259401・259701・260201
科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]
担当者名	セイジ, K

講義のねらい	A second year course to improve your English skills, we will use the textbook plus other materials such as DVDs, internet articles, etcetera, in class. Your aim should be to try to improve your English through the class activities.
講義の内容・授業スケジュール	We will look at a variety of topics through the textbook, DVDs, internet articles, and other materials in class. So, you will be encouraged to draw upon these to participate actively in the lesson. Plus, you will be required to do some of your own research for the final presentation.
履修上の留意点	You should try to participate to the best of your ability in the various in class activities to improve.
成績評価の方法	QUIZZES: 1.Review of in class activities PERFORMANCE ASSESSMENT: 2.Interview 3.Role play 4.Presentation ATTENDANCE: 5.Attendance, attitude and participation.
教科書 参考書等	Headway 3 - Intermediate - 3rd Ed. (blue), 019438750X Bring notepaper and some kind of electronic English dictionary to class.

履修コード	259501・259901・260101
科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]
担当者名	ミックエリゴット, J. P.

講義のねらい	This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation, and write in English at some length.
講義の内容・授業スケジュール	Students will submit a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, who are able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks. This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs and will ask each other questions and offer appropriate responses according to the theme in each chapter of the text. In addition, for each chapter there will be a dictation practice with hand-outs.
履修上の留意点	Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation. Students should bring a bilingual dictionary and folder.
成績評価の方法	GPA方式 再試験無し
教科書	Dale Fuller/Corey Fuller 著 “Face to Face” Macmillan Language House
参考書等	¥1.890 ISBN:4-89585-223-7 bilingual dictionary

履修コード	259801・260001
科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい	The students will work on improving their communicative and listening skills.
履修上の留意点	4 absences in one semester is poor attendance. Come to every class and your English will improve!
成績評価の方法	Regular attendance and participation is expected of each student.
教科書	The textbook will be assigned at the first class meeting.

履修コード	259811
科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]
担当者名	ソルタ, P. N. F.

外国語

講義のねらい	English Conversation IC was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice communicating in natural spoken English about topics of interest to them. This enables students to build up their speaking and listening skills, and to improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using natural spoken English.
講義の内容・授業スケジュール	The instructor will provide the students with their classroom materials. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.
履修上の留意点	The structures / functions to be covered are:, Introductions / Classroom Language, Likes and Dislikes / Adjectives, Locations / Telephone Language, There is ... There are ... / Quantities, Have ... , Want ... , Would like ... / Shopping, Uncountable nouns / At a Restaurant, Present Continuous for arrangements, Fashion/Clothing, Present Simple / Occupations, Adverbs of frequency/Routines, Transportation / Work & School, The Present Tenses / Frequency, It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation IC.
成績評価の方法	A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60 %), and a mark based on a student's attitude in class and class performance throughout the year (40 %). The end-of-year exam will contain listening and written exercises. In making a final evaluation, bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10 %) or two absences (+5%) throughout the year.
教科書	Non textbook will be used in this course.

履修コード	262301
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	小布施 圭三 <small>おほせ けいぞう</small>

講義のねらい

この授業の目的は、英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めることにあります。

講義の内容・授業スケジュール

- 1.◇ガイダンス（授業を展開する上での）
- 2.TV no substitute for parenting
- 3.Keep the e-home fires burning
- 4.Technology amplifying established role
- 5.More fathers taking active role
- 6.Wives stuck caring for both sets of parents
7. ◇ Pretest
- 8.Teach English at the expense of Japanese?
- 9.Authorities must reverse decline in 3Rs
- 10.Steps needed to control violent schoolchildren
- 11.Ethics Classes teach preciousness of life
12. "
- 13.Encourage healthy eating habits
- 14.Companies struggling to train workers
15. ◇ Test
- 16.Job-hoppers making moves
17. "
- 18.Employees get 2nd chance
19. "
- 20.NEETs coaxed back into society
- 21.What follows "equal right?"
22. "
- 22.High time to act on high tides
23. ◇ Pretest
- 24.Families cope with Net addicts
25. "
- 26.Urgent measures needed to stem falling birthrate
27. "
- 28.Economy hits marriage hard
29. "
- 29.Japan must fight giant jellyfish invasion
30. ◇ Test

履修上の留意点
成績評価の方法

授業形態は演習形式で行います。予習をしてきてください。
出席点/授業の貢献度/レポート/小テスト/定期試験（前・後期）などを加味して総合評価します。

教科書

玉井久之/田代直也/P.M.ケリー：『日本の今を考える』（Contemporary Issues in Japanese Society）（英宝社）1,800円 ISBN978-4-269-19032-0 C1082

履修コード	262401
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	佐藤 孝一 <small>さとう こういち</small>

講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んできて下さい。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計りTOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人に発表をしてもらいますが、事前に割り振ります。

成績評価の方法
教科書

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。授業で指示。

履修コード	262501
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	伊藤 美代子

講義のねらい	IA、IIAからさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。英語を学ぶことから一步進んで、英語で学ぶことも体験する。実際の経済ニュース記事を学ぶことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする
講義の内容・授業スケジュール	原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明や経済活動等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についての及びリスニングの訓練も行う。
履修上の留意点	予習が絶対条件である。半期に4回以上欠席したものは、単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。
教科書	1. Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies 『経済ニュースを読む(国内編)』(南雲堂) ¥1,600 2. 同上: 『経済ニュースを読む(国際編)』(南雲堂) ¥1,500

履修コード	262601
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	渡口 真木

講義のねらい	英語の文法、構文の知識を強化し、読解力や表現力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	Douglas Mac Arthur, William Smith Clark, Matthew Calbraith Perry (1-6) Elvis Presley, Yukichi Fukuzawa, Hayao Miyazaki, (7-12) Momofuku Ando, Steve Jobs, Haruki Murakami (13-18) Soichiro Honda, The McDonald Brothers and Ray Kroc, Shigeru Yoshida (19-24) Hideo Nomo, Kyu Sakamoto, William Adams (25-30)
履修上の留意点	平常点重視。予習をしてくること。
成績評価の方法	出席、発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価とする。
教科書	<i>Across the Pacific Ocean</i> (成美堂) 1800円、ISBN978-4-7919-4626-6

履修コード	262701
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	岩井 洋美

講義のねらい	実践的なビジネス英語(手紙、メール、依頼、報告、面接など)を題材に語彙、表現を学び、ライティング、スピーキングで活用できるようにします。
講義の内容・授業スケジュール	①～②ビジネス通信の基本③～⑥社交関係の英語⑦～⑨社内の英語⑩～⑪取引関係の英語⑫～⑭雇用関係の英語 毎回テキストを2課ずつ進みます。各単元の間に復習、スピーキングテストを行います。
履修上の留意点	出席と授業態度を最も重視します。遅刻欠席は合わせて8回までとし、それ以上は試験やテストを受けていても単位は取得できません。テキストがない場合は欠席扱いとします。
成績評価の方法	出席・授業態度25% 復習・スピーキングテスト25% 前・後期試験50%、60%以上で単位取得
教科書	豊田暁 ビジネス英語エッセンシャルズ 南雲堂 2100円

履修コード	262801
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	吉江 ^{よしえ まさお} 正雄

講義のねらい	英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	H.G.Wells の “A Short History of the World “” というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。
	前期
	1、2、3、4回 1章 The Beginning Cultivation
	5、6、7、8回 2章 The First American
	9、10、11、12回 3章 Sumeria, Early Egypt, and Writing
	13、14回 4章 Primitive Nomadic peoples
	15回 試験日
	後期
	16、17、18、19回 5章 The First Seagoing peoples
	20、21、22、23回 6章 Egypt, Babylon, and Assyria
	24、25、26回 7章 The Primitive Aryans
	27、28、29回 8章 The Last Babylonian Empire
	30回 試験日
履修上の留意点	予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。
成績評価の方法	前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。追試験は行わない。
教科書	H.G.Wells 著 “A Short History of the World “(ウェールズの簡約世界史)
参考書等	(こびあん書房) 教室で販売する。 授業中に推薦する。

履修コード	262901
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	井伊 ^{いゐ のぶひこ} 順彦

講義のねらい	現代の社会や経済の問題を扱ったテキストを使い、思考力や教養を高めるとともに、英語を「聞く」力および「書く」力をのばす。
講義の内容・授業スケジュール	毎回かなりの時間が英文を聞くことに費やされる。また、英作文の機会を作ることと、ビデオを観て現代の諸状況について学ぶことにも配慮する。
履修上の留意点	毎回おそらく半数ほどの学生がなんらかのかたちで指名されて解答することになる。積極的な姿勢が求められる。
成績評価の方法	数回の小テストの成績、質疑応答の出来、出席数などを柱とするが、詳細は教室で。
教科書	石井隆之ほか著『Global Transformation (グローバル時代のビジネス 現代の経済の課題と展望)』(成美堂)
参考書等	おりにふれて教室で指示する。

履修コード	263001
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	小泉 <small>こいずみ</small> 和弘 <small>かずひろ</small>

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス
 (2～3) イギリス
 (4～5) ドイツ (1)
 (6～7) ドイツ (2)
 (8～9) フランス (1)
 (10～11) フランス (2)
 (12～13) イタリア
 (14) まとめ
 (15) 試験
 (16) ガイダンス
 (17～18) アメリカ (1)
 (19～20) アメリカ (2)
 (21～22) カナダ
 (23～24) ロシア
 (25～26) 中国
 (27～28) 日本
 (29) まとめ
 (30) 試験

成績評価の方法
 教科書 試験50%、授業への取り組み方及び態度・出席率50%
 教科書 小泉和弘著, Major Countries In The World, (世界の主要国), 鳳書房, 1,800円 ISBN4-902455-03-X C1082

履修コード	263101
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	岡本 <small>おかもと</small> 誠 <small>まこと</small>

講義のねらい 現代的な明快な文に親んでもらう。かつ、学生諸君の専攻分野の関係から時事的な、また社会科学的な経済・経営方面のものを読んでいくことにする。この分野は時々刻々目まぐるしく変動するわけだが、なるべく時局的な問題をフォローしていく。読む材料は決して難解ではないので、この程度のもは読みこなせるようにしてほしい。その上で、内容について質問していくので、答えてほしい。単なる読解には終わらせない。

講義の内容・授業スケジュール 次のような話題を取り上げていくが、世界の経済の動きに常に密着していくので、適宜タイムリーなテーマも取り上げる予定である。

1. 最近円高が話題になっている。つまり、それはドル安が話題になっているということである。
Making Sense of a Weak Dollar
2. 原油高が問題になっている。
Petroleum: A Short History of Black Gold
3. 2007年度ノーベル経済学賞受賞者。
2007 Nobel in Economics: Designing Better Markets
4. サブプライムローンの問題点。
Helping Subprime Borrowers: Too Little? Too Much?
5. 目覚ましい中国の経済、しかしそれは本物か。
World Bank Finds China's Economy 40 Percent Smaller Than Thought
6. マクドナルドがスターバックスを狙う。
McDonald's Targets Starbucks
7. そのマクドナルドが急成長した背景。
The Man Who Made McDonald's Popular Around the World
8. 2008年の世界経済は鈍化するか。
World Economic Growth Expected to Slow in '08
9. 東芝とソニーの戦い再び。
For High Definition TVs, Blu-ray Gets a Big Supporter

履修上の留意点 必ず予習しておくこと。その前提でこちらは進めていく。辞書の携帯は必須。ケータイは必須に非ず。授業中は外へ出ない。被り物は取ってから教場へ入る。実力がつくように厳しくやるので、それがいやだったら最初から履修しないこと。

成績評価の方法
 教科書 前期・後期の試験。出席・欠席・遅刻状況。授業への参加状況・発表状況。
 参考書等 特定のものは使用しない。担当者が用意する。
 教材をダウンロードしているURLを自分でも検索して、吟味してみることが望ましい。

履修コード	263111
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	<small>たなか たもつ</small> 田中 保

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	<p>基礎的な英語4技能を的確に身につけると共に、さらにより高度な英語運用能力をめざす。</p> <p>[1] Orientation(1), Corporations: Economies larger than Countries ~ The Internet and Surfing for Dollars (2 ~ 6), Presentation (7), Organic Food vs. Non-organic Food ~ The Japanese Automobile Industry (8 ~ 14), Examination (15), [2] Orientation (1), Presentation (2), Deficit Spending in the U.S. ~ The Next Oil-Water Privatization (3 ~ 7), Banking-Money at a Discount ~ Cellphones in Africa: a Low-Cost Solution to Communication Challengers (8 ~ 14), Examination (15)</p>
履修上の留意点	<p>授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行います。必ず予習をして授業に臨むこと。年に4回程自由英作文の課題提出があります。</p>
成績評価の方法	<p>授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、出席状況等を総合的に検討して評価します。</p>
教科書	<p>Global Transformation 『グローバル時代のビジネス—現代の経済の課題と展望』成美堂、1890円 ISBN978-4-7919-4622-8</p>

外国語

履修コード	297101
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京

講義のねらい 伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・授業スケジュール 文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものとしします。

履修上の留意点 予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書 諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2004年刊 2300円+税 ISBN8102-0839-7

履修コード	297201
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	志真 斗美恵

講義のねらい さまざまな理由でもう一度ドイツ語IAを履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール ABCからはじめて、ドイツ語の初級文法を学習します。文法だけでなく、CDを使い、聞き取りや簡単な会話の練習もしながら、初級ドイツ語を習得していきます。

履修上の留意点 欠席をするとわからなくなるのは当然ですが、とりわけドイツ語の文法は、積み重ねが大事です。必ず出席してください。

成績評価の方法 前期・後期試験および平常点で総合的に評価します。

教科書 1) 中村浩平・塚田真幸
2) ハロー！ ドイツ語を話してみようか[新訂版]
3) 三修社
4) 2400円+税
5) ISBN978-4-12250-3C1084

履修コード	297401
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	岡本 時子

講義のねらい 平易なドイツ語を理解するのに必要な初歩的なドイツ文法事項を概観しながら、英語や日本語と比較しドイツ語のことばの仕組を考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール 前期はまずドイツ語の簡単な歴史と文法の特徴・全体像を把握した後、名詞・代名詞の理解を中心とした文法項目の理解に努め、次に簡単な文を作る練習をします。後期は動詞に関連する諸項目をしっかりと理解することを主眼点にしなが、単文だけでなく複文の構造が理解できるようになることも目指します。

履修上の留意点 前にやったことの上に知識を積み重ねていくことになりますから、途中休まず続けて出席することが大切です。

成績評価の方法 成績は年間を通しての出席と前期・後期2回の試験の結果を総合して評価しますが、授業中の意欲・態度も併せて考慮します。

教科書 未定

履修コード	298602
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	野島 利彰

講義のねらい ドイツ語はどのようにして意味を伝えるのか、文法を手掛かりにその組み立て方を学びます。発音、動詞の変化、格変化など基本的な文法事項を練習問題を中心に学んでゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

履修上の留意点 出席回数、七月と一月の試験の成績および、授業中、質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。

成績評価の方法

教科書 未定

履修コード	297501
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	飯塚 公夫

講義のねらい 正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。日独交流に関わる知られた、あるいは知られざれエピソードに興味を持ってもらえればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきます。

履修上の留意点 語学の勉強は大変日常的な事柄と密着していますが、未知の外国語である以上、自己の日常べったりでは、理解に至りません。辞書の引き方からして、ただ持っていればことばがわかると思っている人が多いようですが、引き方を知らなければ目的の単語に到達しませんし、また到達しても、考えなければ、意味のわかることばにはなりません。大変な作業です。「暗記物」ではありませんので、心してください。

成績評価の方法 前期後期各一回の筆記試験と平常点(=発表点)。

教科書 杉谷恭一他著「日独交流400年」(白水社)2,200円

履修コード	297601
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	堀内 美江

講義のねらい ドイツ語の基礎を養いながら、さらにドイツという国そのものを知ってもらうことがこの授業の目標です。適宜ビデオや資料などを用いながら、新しい知識を得て、新しいことを学ぶ醍醐味を味わってほしいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 発音や挨拶、基本語いの学習からゆっくりとはじめましょう。次に文法の復習をし、それを踏まえて簡単な会話や短い文章を読んでいきます。皆さんの様子をみながら、授業を進めていきます。

履修上の留意点 とにかく授業に来ましょう。また、授業中は答えが間違ってもいっこうにかまいません。積極的な姿勢が何より大切です。

成績評価の方法 出席と前後期のテストおよび平常点の総合評価となります。また、少しでも小さな課題を出してもらおう予定です。

教科書 小野寿美子他著『ドイチュ プファァーヴォ! プラスアルファ』(朝日出版社)2400円

参考書等 辞書や参考書などは初回の授業時にご案内します。

履修コード	297801
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京

講義のねらい 初級文法の配列に則って、簡単な会話表現を学びます。その中で、ドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本的な語彙や基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書 在間進 『話すぞドイツ語! V2 新版』(朝日出版社)2008年刊 2800円+税

ISBN978-4-255-25317-6

外国語

履修コード	297901
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	南 ^{みなみ} はるつ

講義のねらい 比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール 前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞
後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 高橋泰雄・城間宏明著「おしゃれなドイツ語」朝日出版社

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	268001
科目名	ドイツ語IC（会話） ドイツ語IC（会話）〔再クラス〕
担当者名	清水 ^{しみず} おさむ

講義のねらい 初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べるできるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール 授業はDVD付きの教科書を用いて行います。(DVDの再生装置は必須ではありません。)映像と音声で、実際の場面に則してドイツ語でのコミュニケーションの練習をしていきます。

履修上の留意点 会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に参加するようにしてください！

成績評価の方法 成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点（定期的に参加して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々）によって行います。

教科書 荻野蔵平、Andrea Raab 著『ドイツってすてき！〔DVD付き改訂版〕』（朝日出版社）2,600円

履修コード	298001
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕
担当者名	森 公成

講義のねらい 文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール 一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法 定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書 小塩節著 『ドイツ ころの旅』（朝日出版社）2,200円

履修コード	298101
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京

講義のねらい ドイツの首都ベルリンをテーマとする読章を読みながら、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書 P.Buchholz ・他『ベルリンは今』（郁文堂）2008年刊 2500円＋税、ISBN978-4-261-01228-6

履修コード	298201
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕
担当者名	岡本 時子

講義のねらい ドイツ語Iでやったことを復習しながらドイツ語力を伸ばし、併せてドイツ語圏の文化・歴史についても学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール 前期はドイツ語の各文法項目の復習をしながら、ドイツ語圏の歴史・文化・地理等に関する資料を読んでいきます。後期は簡単な物語を読みながら、特にクリスマスを中心としたドイツの慣習や行事等について学ぶ予定です。一年間を通して語彙力の拡充にも力を入れます。

履修上の留意点 ことばを学ぶことは、単語や文法事項を暗記するだけではないことを忘れずに授業に臨んで下さい。辞書を持参することも忘れないで下さい。

成績評価の方法 成績は前期・後期2回の試験の結果と年間出席や授業中の意欲等を総合して評価します。出席は最重要視します。

教科書 未定

外国語

履修コード	268601
科目名	ドイツ語II C (会話) ドイツ語II C (会話) [再クラス]
担当者名	<small>いむら ゆきこ</small> 井村 行子

講義のねらい 1年生で習得したドイツ語をもとに会話力をつける
 講義の内容・授業スケジュール 1～15回 下記教科書の第1課から第7課までを各課2回程度で進める。文法的には格変化や現在人称変化の練習などが中心になる。16～30回 第8課から第14課まで。文法的には時制、態、法などの練習が中心になる
 履修上の留意点 会話の練習は一人ではできない。必ず出席して、クラスメイトを利用し、利用されよう
 成績評価の方法 学期末の試験および平常点を総合して評価する
 教科書 在間進『話すぞドイツ語 V 2』(朝日出版社、2007)、定価2,800円

履修コード	268801
科目名	ドイツ語III A ドイツ語III A [再クラス]
担当者名	<small>いむら ゆきこ</small> 井村 行子

講義のねらい 新聞が読める程度のドイツ語の習得をめざす
 講義の内容・授業スケジュール 2007年の新聞を題材にした10課からなる教科書を各分野ごとに順に読んでいく。首尾よく終われば、実際の2008年の新聞記事に挑戦してみよう。一応、予定としては、1～15回 1～5課、16～30回 6～10課
 履修上の留意点 まずは出席、次には予習
 成績評価の方法 学期末の試験および平常点を総合して評価する
 教科書 時事ドイツ語<'07年トピックス>(朝日出版社、2008)、定価1900円

履修コード	298801
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	芦原 巻

講義のねらい 1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点 教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法 毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書 中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

履修コード	298901
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	小玉 齊夫

講義のねらい フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 30回の授業として、教科書の指定にしたがいながら、大略、以下のような進度によって、進めていく。細部の変更はあり得る。(1-3)発音と綴り、(4-6)冠詞と名詞、(7-9)形容詞、主語人称代名詞、基礎的な動詞とその表現 (avoir, être)、(10-13) -er 動詞、-ir 動詞の基礎とその表現、(14-16)疑問代名詞、命令法、(17-19)動詞 (aller, venir, faire 等)とその表現、(20-23)動詞 (connaître, voir 等)とその表現、(24-26)複合過去の形態とその表現、(27-30)半過去形、未来、代名動詞、関係代名詞等の形態とその表現

履修上の留意点 特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。

成績評価の方法 上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。

教科書 甲斐基文『メビウス』（第三書房、2200円）、ISBN978-4-8086-2160-5

履修コード	299001
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	菅原 猛

講義の内容・授業スケジュール かつて習ったフランス語の初歩をもう一度基礎から学習しなおすクラス。かぎられた授業時間内で毎時間先へ先へと進んでゆきます。

履修上の留意点 再履修クラスですから出席状況が重視されます。

成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、毎時間行なう練習問題の結果も評価の対象にします。

教科書 石上亜紀子他『アトリエ・フランセー見開きフランス語文法』2007年刊（朝日出版社）2100円＋税

履修コード	300202
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	谷川 かおる

講義のねらい フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。

講義の内容・授業スケジュール (1-2)発音とあいさつ(3-8)フランス語で自己紹介する(9-30)基礎的な会話。

履修上の留意点 毎回、暗唱テストを行う。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験の点数を基本にし、小テストの点数を加算し、60点以上を合格点とする。

教科書 伊勢晃、谷口千賀子『Çava? サヴァ?』早美出版社、2400円

参考書等 授業中に指示する。

その他 出席重視。

外国語

履修コード	299101
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	あづま たつゆき 東 辰之介

講義のねらい 講義の内容・授業スケジュール フランス語初級文法の習得と、基礎的な読解力の養成を目的とします。発音も重視します。
 (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2) ~ (3) 発音の基礎 (4) ~ (15) 基本的表現 (挨拶 / 自己紹介 / 趣味を語る / 尋ねる / 住んでいる所を言うなど) (16) ~ (29) 発展的表現 (時刻を言う / 紹介する / 天候を言う / 過去のことを語る / 未来のことを語るなど) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 2,000円+税, ISBN978-4-560-06083-4

参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	299201
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	いまばき 今関 アン

講義のねらい 一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス旅行で困らない最低限のコミュニケーション能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 履修上の留意点 CDの聞き取り、単語調べ、その場での会話練習、練習問題など。
 2/3の出席は最低条件である。なお教科書も携行せず、漫然と椅子に座って出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出をもって初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法 2/3以上の出席 (25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』(白水社) の実力テスト (25%) + 前・後期定期試験 (50%)

教科書 内村瑠美子著『フランス語でサバイバル!』(白水社) 2,000円

参考書等 仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社) (7月中に大学内紀伊國屋書店で購入) 清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

履修コード	299301
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	いさな 伊藤 なお

講義のねらい 講義の内容・授業スケジュール フランス語の基礎を学習しなおし、実用に適した知識を身につけます。
 1) ~3) 受講上の諸注意 / Alphabet と発音の基礎 4) ~15) 文法の基礎 (名詞/冠詞/形容詞/前置詞と定冠詞の縮約/人称代名詞強勢形/動詞現在形/近接未来・近接過去/命令形など) と会話練習 (自分と家族の紹介、何をやる? など) および読解 16) ~29) 文法の発展 (補語人称代名詞/比較級/疑問代名詞/動詞過去形・未来形など) と会話練習および読解の発展 30) 復習と今後のフランス語学習について (中級に向けて)

履修上の留意点 積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。辞書は必ず持参して下さい。

成績評価の方法 平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書 フランソワ・ルーセル、丸川誠司著 『トーム・アン』(第三書房) 本体2,000円

履修コード	299501
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	たにがわ 谷川 かおる

講義のねらい 講義の内容・授業スケジュール フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。
 (1) フランス語の歴史 (2-3) 発音 (4-8) あいさつ、自己紹介 (9-30) 旅行に便利な表現など。

履修上の留意点 毎回暗記小テストを行う。

成績評価の方法 前期・後期の期末テストを基本とし、小テストを加算し、60点以上を合格点とする。

教科書 田辺保子他著、『サリュ』駿河台出版社、2500円

参考書等 参考書は授業中に指示する

その他 出席重視。

履修コード	271101
科目名	フランス語IC（会話） フランス語IC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>こだま なりお</small> 小玉 齊夫

講義のねらい	ビデオ教材を用いて、話し、聞き、言ってみる授業を目指します。文法事項はつとめて省略します。
講義の内容・授業スケジュール	1年30授業時間とすれば、だいたい以下のような進度で行います。 (1-4)フランス文化の概要、綴りと発音、アルファベ、(5-8)紹介、自己紹介、近況説明、(9-13)質問文、人の描写（外観、性格）、好みについて、(14-18)日常生活、一日の生活、電話で話す、(19-23)時制（現在、過去、未来）、資料を読む、(24-26)付近の環境、住まい、情報交換、(27-30)推薦、依頼、会話のまとめ
履修上の留意点	基本となるフランス語の語彙、表現を自分のものとする。あやふやに覚えていると、いつまで経っても自信が付きません。どうせ覚えるなら、自信がつくように、確実に、徹底的に、覚えること。
成績評価の方法	通常授業での状況、前期および後期の試験によって、成績評価とします。
教科書	ジャケ他著『キャンピュス J』（朝日出版社、2500円）、ISBN978-4-255-35183-4
参考書等	辞書等については初めの授業で指示します。

履修コード	299601
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕
担当者名	<small>はたなか ちあき</small> 畑中 千晶
講義のねらい	やさしいフランス語で書かれたお話を読みます。日本語に訳す必要はありません。フランス語の問いにフランス語で答えることで、語彙・文法・コミュニケーション力などを総合的に伸ばしていきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス/L1 (2)～(6) L2-4 (7) 復習 (8)～(13) L5-7 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出/L8 (17)～(21) L9-11 (22) 復習 (23)～(27) L12-14 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験
履修上の留意点	①毎回、辞書を持参してください。②基本的に予習は不要。その代わり宿題を出します(平常点としてカウント)。
成績評価の方法	前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%
教科書	リアンス・ラタンジオ/村松定史『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへー(CD付)』2004年刊(駿河台出版社)2,500円+税

履修コード	299701
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕
担当者名	<small>ぬまくら ひろこ</small> 沼倉 広子
講義のねらい	文法、読解、文化、コミュニケーションの4つの要素を採り入れフランス語と文化に触れる
講義の内容・授業スケジュール	(1) 名詞・冠詞 (2) 基本動詞・形容詞 (3) 規則動詞 (4) 不規則動詞・非人称動詞 (5) 人称代名詞・比較級・最上級 (6) 代名動詞・疑問形容詞 (7) 複合過去 (8) 半過去・関係代名詞 (9) 単純未来・中性代名詞 (10) 条件法・接続法 各章にフランス、パリ、学生生活、ブルターニュ、プロヴァンス、アルザスなどについての文章を読む
履修上の留意点	毎回練習問題、あるいは読解などを提出させる
成績評価の方法	前後期定期試験を行うが、平常点も重視する
教科書	野村二郎『フランス、言葉と文化の旅』(第三書房)2,500円 ISBN4-8086-2099-5 C1085

履修コード	299801
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕
担当者名	<small>くわた のりあき</small> 桑田 禮彰
講義のねらい	フランス語中級
講義の内容・授業スケジュール	まず発音の基本をしっかり復習した上で、初級文法を再確認しながら簡単なフランス語の短編小説をゆっくり読んでいきます。できるかぎり分かりやすい解説を心がけます。 (1) 受講上の諸注意 (2) 発音の基本の復習 (3)～(15) 初級文法復習を中心としたテキスト読解 (16)～(29) 中級文法解説を中心としたテキスト読解 (30) 復習と今後のフランス語学習について
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	ピエール・グリパリ著『ランゲンドルフの城』(朝日出版社)951円+税 ISBN4-255-35024-8
参考書等	そのつど授業で指示します。

履修コード	271701
科目名	フランス語II C (会話) フランス語II C (会話) [再クラス]
担当者名	大野 英士 <small>おのの ひでし</small>

講義のねらい 少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、日常的な会話を中心に、文法・表現やコミュニケーション能力を養成するクラスです。

講義の内容・授業スケジュール (1)～(2)受講上の諸注意/綴り字と発音の復習 (3)～(4)こんにちは! (5)～(6)私の名前は (7)～(8)私の名前は (9)～(10)音楽は好きですか? (11)～(12)喉が渴きましたか? (13)～(14)ロワールへの旅 (15)中間テスト (16)～(17)真っ直ぐ行ってください (18)～(19)彼女はイタリアに行きました (20)～(21)一週間後にニュースに行きます (22)～(23)私は7時に起きます (24)～(25)もし時間があれば (26)～(27)少しだけ文化も (28)～(29)条件法・接続法について (30)総復習

履修上の留意点 語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。

成績評価の方法 出席点、前・後期末試験で総合的に評価します。

教科書 中村加津ほか著『ボンス・チャンス!ー楽しく上達フランス語一』(駿河台出版社)を使用します。

参考書等 授業開始時に教室で指示します。

その他 最近、携帯のオンライン辞書を教室内で使用する学生を見かけますが、厳に禁止します。

外国語

履修コード	271901
科目名	フランス語III A フランス語III A [再クラス]
担当者名	大野 英士 <small>おのの ひでし</small>

講義のねらい ある程度フランス語文法の基礎を学んだ学生を対象に、さまざまなジャンル・話題のフランス語のテキストを通して、文法力、読解力、表現力を磨いてもらうクラスです。到達目標は実用フランス語技能検定試験(仏検)3級レベルに対応しています。

講義の内容・授業スケジュール (1)綴り字と発音の復習 (2)～(14)新フランスペット事情・路面電車の復権・名前とグローバリゼーション・60回目を迎えたカンヌ映画祭・夢の職業・複葉機が舞う町・ナポレオンの剣・いとこ同士・時速300キロの芋虫・ワイン大国は今 (15)中間テスト (16)～(29)パンテオン入りした「義人」たち・眠らない夜・日仏交流150周年・あるデザイナーの肖像・ルネサンスのゆりかご・パリの村・ロゼット嬢・画家たちのコートダジュール・異端の聖者・ジブシーと3人のマリア (30)文法のまとめと総復習 (31)定期試験

履修上の留意点 なるべく丁寧に解説し、予習・復習の負担は極力軽くするつもりですが、全く予習・復習をしないで語学の上達はありえません。学生の積極的な参加を期待します。

成績評価の方法 出席点、前・後期の試験で総合的に評価します。特に出席点を重視します。

教科書 クリスチャン・ボームルーほか著『ヴァリエテ・フランセーズ 2008』

参考書等 初回に教室で紹介します。

その他 最近、携帯のウェブ辞書を教室で参照する学生を見かけますが、厳に禁止します。

履修コード	300601・300602・300603
科目名	中国語IA [再クラス] 中国語IB [再クラス] 中国語IC (会話) [再クラス]
担当者名	秋元 翼 <small>あきもと たく</small>

講義のねらい 中国語に対する苦手意識を取り除き、途中挫折せず初級をマスターするようにします。

講義の内容・授業スケジュール 前期は発音4回のあと7課まで進みます。後期は8課から15課まで3回で2課の割合で進みます。4課に1回テストをする予定です。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要します。

成績評価の方法 平常授業での学習態度・理解度及びテストの成績で評価します。

教科書 榎本英雄『おもしろスキット初級中国語』(同学社)2500円+税

履修コード	301201・301202・301203
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>あまの せつ</small> 天野 節

講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書

ピンインに基づく発音の基本（1～4）主な品詞と使い方（5～14）動作と時間（15～16）完了と変化（17～18）助動詞（19～20）その他の動態（21～22）補語（23～26）疑問詞（27～28）
 遅刻早退欠席をしない。授業の予習復習を必ず行う。
 授業内テスト+出席+課題及び授業態度の総合評価
 荒川清秀『簡明中文システム15』2007年刊（同学社）2200円

履修コード	301301・301302・301303
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>おがわ たかし</small> 小川 隆

講義の内容・授業スケジュール
 成績評価の方法
 教科書

発音と文法をゼロからいねいに勉強してゆく。
 年間4～5回のテスト、出席点、その他の平常点を総合して成績評価を行う。授業進行のためのルールとマナーを守れない人、欠席が全授業回数の4分の1を超えた人などは、その時点で受講をやめてもらう。卒業年次生も特別扱いはないので要注意！必ず初回から出席すること。
 楊凱栄・張麗群『新・中国語への船出』（朝日出版社）
 2200円+税
 ISBN 978-4-255-45155-8

履修コード	301401・301402・301403
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>ふせ なおこ</small> 布施 直子

講義のねらい
 講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書

入門初級段階をいねいにゆっくり学習。
 授業開始から4週は発音。5週から前期終了まで、人称代詞、「是、不是」と基本的動詞。後期に入り、経験、完了、助動詞を用いる表現、前置詞、受身、比較の表現を学習。
 欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。
 出席状況、テスト、授業への積極性を評価。
 鄧秀・湯海鵬著『ゆうゆう中国語』都文堂。価格2500円+税。ISBN978-4-261-01821-9

履修コード	301501・301502・301503
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>ひらね かなこ</small> 弘兼 加奈子

講義の内容・授業スケジュール
 成績評価の方法
 教科書

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは会話を中心とした本文、文法、練習問題から成っており、バランスの取れた学力向上を目指す。
 （1～2）発音、声調確認 他
 （3～14）本文、練習問題等
 （15）期末テスト
 （16～29）本文、練習問題等
 （30）学年末テスト
 なお、5月連休明けに授業進行予定表を配布予定。
 成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。出席状況も考慮する。
 武信彰・李鴻谷『中国語カレッジ』（都文堂）2500円

履修コード	302302・302303・302304
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>らん けい</small> 蘭 明

講義の内容・授業スケジュール
 成績評価の方法
 教科書

前期は最初の一月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
 出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
 董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2835円

履修コード	301601
科目名	中国語IIA〔再クラス〕
担当者名	梅田 雅子 <small>うめだ まさこ</small>

講義のねらい	一年次の学習を基礎に、簡単な文章を読む練習をする。それを通じて、更なる語彙・基礎文法・読解力の向上を図る。
講義の内容・授業スケジュール	1：本文の発音と、意味の確認。 2：本文中の文法項目の確認。 3：練習問題の答え合わせ。 4：短文朗読 ★文法項目は本文にあわせて、適宜復習する。 ★2回で1課進む予定
履修上の留意点	■ 3/4 以上の出席が必要 ■ 予習復習必須 ■ 辞書持参
成績評価の方法	平常点（出席・授業態度・小テスト）30%、前期試験・後期試験：70%
教科書 参考書等	石慧敏・金子眞也『上海びより』好文出版、2000円（税別） 中日辞典を教室に持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。
その他	講義の授業ですが、一年次の学習を踏まえて、聞き取りや発音の練習もあります。CDを活用してください。

履修コード	301801
科目名	中国語IIA〔再クラス〕
担当者名	宮本 厚子 <small>みやもと あつこ</small>

講義のねらい	一年生で学んだ基礎を踏まえ、中国語の文を読む力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って、辞書などを用い、文を読みこなす練習を行う。
履修上の留意点	毎回、辞書を引き、意味を考えた上で、授業に出ること。 また、辞書を毎回携帯すること。
成績評価の方法	テスト四回と平常点で総合的に評価する。 授業は四分の三以上出席すること。
教科書	石慧敏・金子眞也『上海びより』好文出版、2000円（税別）

履修コード	301901
科目名	中国語IIA〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男 <small>おおくぼ あきお</small>

講義のねらい	中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
履修上の留意点	積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。
成績評価の方法	出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
教科書	石慧敏・金子眞也『上海びより』（好文出版）2000円

履修コード	278601
科目名	中国語II C (会話) 中国語II C (会話) [再クラス]
担当者名	<small>みやもと あつこ</small> 宮本 厚子

講義のねらい これまでに学んだ中国語を口に出せるよう定着させるとともに、新たな構文を学び、表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って、実際に役に立つフレーズ、単語を増やしていく。

履修上の留意点 書き取りか暗誦のどちらかを毎回課すので、必ず準備してから授業に臨むこと。また、予習も必要である。

成績評価の方法 年4回のテストと平常点で行う。テストは期末は筆記試験とし、中間に口頭での試験を行う。

教科書 楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチII』初級～中級編 朝日出版社 2200円(税抜き)

履修コード	278611
科目名	中国語II C (会話) 中国語II C (会話) [再クラス]
担当者名	<small>ほんま ゆかり</small> 本間 由香利

講義のねらい 比較的簡単なテキストを用い、平易な中国語で自分の希望・趣味など身の回りのことを、自分なりに表現できるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 1年次に学んだ文法事項の復習をしながら様々な口頭練習を行ないます。未消化のまま次の課に進むのではなく、既習のものがすぐに口に出るように、しっかり・ゆっくり、繰り返し学習します。

履修上の留意点 出席を重視します。授業中は大きな声で発音し、積極的に発言してください。

成績評価の方法 授業中の小テスト・前後期の中間・期末テストの平均点に、出席・授業態度を加算して総合的に判断します。

教科書 胡金定・吐山明月『新・はじめての中国語会話ツール24』同学社2500円

参考書等 授業中に指示します。

履修コード	279101
科目名	中国語III A 中国語III A [再クラス]
担当者名	<small>おう そう</small> 王 聡

講義のねらい 中国事情を学びながら、中国語の読解力の向上を目的とする

講義の内容・授業スケジュール

前期

第1回 ガイダンス・復習

第2回～第13回 文章：「ファッションの話」・「インターネットの話」・「交通の話」・「食の話」・「レジャーの話」・「収入の話」

文法：「想」・「可以」・「了」・「過」・「着」・「就」・「才」・方向補語・結果補語・可能補語・様態補語・比較文

第14回～第15回 復習と前期テスト

後期

第1回 復習・練習問題

第2回～第13回 文章：「株の話」・「住宅の話」・「結婚の話」・「教育の話」・「スポーツの話」・「環境の話」

文法：起点と終点・使役文・受身文・前置詞いろいろ・副詞いろいろ・修飾語いろいろ・複文

履修上の留意点 辞書を用意し、予習・復習をちゃんとする。

成績評価の方法 前期テスト40%、後期テスト40%、平常点(出欠席状況・授業態度など)20%。

教科書 三瀨正道・楊光俊著『現代中国走馬看花』、朝日出版社、2,000円+税、

履修コード	302601・302602
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期14回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。
後期14回で目的語代名詞、不規則活用の動詞、再帰動詞等を学習。
前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『Plaza Mayor I』青砥清一他著 朝日出版社
参考書 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』(三修社)

履修コード	302701・302702
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美

講義のねらい 直接法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション(文字、数字、簡単な挨拶など) (1)
(2) 1課: こんにちは、私はマリアです(名詞の性・数、冠詞、ser 動詞)、2課: 私の母です(es-tar 動詞の用法)、3課: このあたりに銀行ありますか(存在文、前置詞)(2-8)
(3) 4課: 君は学生ですか(直説法現在、疑問文、否定文)(9-11)
(4) 5課: 私のめがねを探しています(所有形容詞、指示形容詞、6課: 一緒に出かける?(直説法現在2、天候の表現)(12-15)
(5) 7課: 何にしますか(語根母音変化動詞、関係詞)、8課: ああ残念!(直説法現在3)(16-20)
(6) 9課: 病院で(目的格人称代名詞、gustar 型動詞)、10課: 映画スターへのインタビュー(再帰動詞、時間の表現)、11課: パックツアーを探しています(不定語、否定語、疑問詞)(21-26)
(7) 12課: トルティージャを食べたことある?(過去分詞、現在完了、現在分詞、現在進行形)(27-30)

履修上の留意点 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法 出席状況、授業参加、各期末の定期試験によります。

教科書 内田/尾尻/稲森『Mucho gusto 初めてのスペイン語』同友社 2500円
参考書 講義時に推薦する辞書の中から一番使いやすいと思うものを選び、活用しましょう。
その他 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	302801・302802
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一

講義のねらい	基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。
講義の内容・授業スケジュール	I. Alfabeto, Letras y pronunciación (1~3 H) II. Saludos/En la cafetería 名詞の性と数、冠詞、存在文 hay (4~6 H) 前期中間テスト (7 H) III. En la parada de autobús 主語人称代名詞、スペイン語の動詞、直接・間接目的語 (8~10) IV. En la universidad 直説法現在形-規則・不規則活用動詞 ser, estar, hay (11~13) V. ¿De donde eres? 形容詞の性と数そして用法、lo +形容詞、指示形容詞 (14~15) 前期期末テスト (16) VI. En el bar 語根母音変化動詞、不定詞の用法、日付・曜日の表現 (17~18) VII. Planes para las vacaciones de verano (19~20) 従属節の作り方、指示代名詞、数詞 (0~199) 後期中間テスト (21) VIII. En el aeropuerto 時間の表現、その他の不規則動詞、前置詞格人称代名詞 (22~24) IX. Fiesta de "bienvenida" gustar 型動詞、自動詞と他動詞 (25~26) X. En Teotihuacán 間接、直接目的格人称代名詞、疑問詞 (27~29) 後期期末テスト (30)
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

履修コード	303001・303002
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	おきの めぐみ 荻野 恵

講義のねらい	スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。
講義の内容・授業スケジュール	テキストにそって、文法の説明と練習を進める。 前期：名詞形容詞の性数変化、規則動詞の活用など。 後期：不規則動詞、再帰動詞など。
成績評価の方法	成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。
教科書	荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』(大学書林)

履修コード	303402・303403
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	さとう まりの 佐藤 麻里乃

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	テキストにそって教員が解説を行い、その後受講者は関連する練習問題を解いて提出する。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。
履修上の留意点	テキストと辞書を毎回必ず持参すること。授業時の提出物の出来具合により評価するので、欠席をしないこと。
成績評価の方法	試験は行わず、毎回の授業内で提出する課題の点数により評価する。やむをえない事情で欠席した場合は、後日課題を提出すればその点数の80%をもって評価する。
教科書	未定(プリント配布の場合もあり)

履修コード	282001
科目名	スペイン語IC (会話) スペイン語IC (会話) [再クラス]
担当者名	ルイズティノコ, C.

講義のねらい	この授業では文法を学びながら様々な表現や言い方を練習して覚えられるようにしたいと思う。表現力や会話能力を高めることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、様々なあいさつ、描写の表現、物の位置の言い方、道の説明、などを学ぶ予定である。後期は、日付、時間の表現、好みを表す表現、買物の表現などを学ぶ予定である。ビデオを見ることもある。
履修上の留意点	毎回の練習は重要なので出席を重視する。
成績評価の方法	前期と後期の成績、出席と授業参加の状態で評価する。
教科書	未定

履修コード	303101
科目名	スペイン語IIA [再クラス]
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい	直説法現在など基礎文法を復習しながら、過去形や過去完了および日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 1課 スペイン語に親しむ、2課 スペイン語の音とつづりに慣れる (1-2) (2) 3課 動詞の人称変化を理解する、4課 名詞と冠詞の性数一致を理解する (3-5) (3) 5課 疑問詞を使って質問する、6課 前置詞を使って文章を作る、7課 総合練習 (5-9) (4) 8課 ser 動詞と形容詞の性数一致を理解する、9課 ser 動詞を使って表現を広げる、10課 状態・感情・所在・存在の表現を学ぶ、11課 総合練習 2 (10-16) (5) 12課 頻度が高い不規則動詞を覚える、13課 gustar 動詞の仕組みを理解する (16-21) (6) 14課 再帰動詞に親しむ、15課、総合練習 (22-24) (7) 16課 経験を伝える、17課 過去の出来事を説明する (25-30)
履修上の留意点	遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。
成績評価の方法	毎回の出席、授業参加と各期末の定期試験 (年二回) を総合的に判断します。
教科書	立岩、ゴンザレス・ムニョス 『Aventura アベントゥーラ』 同学社、2500円
参考書等	授業時に推薦する辞書の中から自分に合うものを探し、活用しましょう。 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	303201
科目名	スペイン語IIA [再クラス]
担当者名	大岩 功

講義のねらい	スペイン語Iで学習した内容を発展させ、文法知識と読解力とを深化させることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	前期14回 不規則動詞と目的語代名詞の形と用法を復習した後、点過去時制の規則活用、不規則活用を学習。 後期14回 点過去時制の復習の後、線過去時制、完了時制、未来時制、過去未来時制等を学習。 前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 (上記スケジュールは場合により変動することがある)
履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験 (計2回) の得点 = 70%、小テスト (5~6回程度) の得点 = 20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点 = 10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書	『Plaza Mayor I』青砥清一他著 朝日出版社
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社)

履修コード	303301
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕
担当者名	亀山 <small>かめやま</small> 晃一 <small>こういち</small>

外国語

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

講義の内容・授業スケジュール

I. Alfabeto, Letras y pronunciación (1~3 H)

II. Saludos/En la cafetería

名詞の性と数、冠詞、存在文 hay (4~6 H)

前期中間テスト (7 H)

III. En la parada de autobús

主語人称代名詞、スペイン語の動詞、直接・間接目的語 (8~10)

IV. En la universidad

直説法現在形—規則・不規則活用動詞 ser, estar, hay (11~13)

V. ¿De donde eres?

形容詞の性と数そして用法、lo + 形容詞、指示形容詞 (14~15)

前期末テスト (16)

VI. En el bar

語根母音変化動詞、不定詞の用法、日付・曜日の表現 (17~18)

VII. Planes para las vacaciones de verano (19~20)

従属節の作り方、指示代名詞、数詞 (0~199)

後期中間テスト (21)

VIII. En el aeropuerto 時間の表現、その他の不規則動詞、前置詞格人称代名詞 (22~24)

IX. Fiesta de "bienvenida"

gustar 型動詞、自動詞と他動詞 (25~26)

X. En Teotihuacán

間接、直接目的格人称代名詞、疑問詞 (27~29)

後期末テスト (30)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

開講時、指示します。

履修コード	282701
科目名	スペイン語II C (会話) スペイン語II C (会話) [再クラス]
担当者名	眞下 祐一

講義のねらい 旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口をついて出てくるくらいスペイン語に親しんでください。

講義の内容・授業スケジュール (1)復習 (2~4)存在文、位置の表現 (5~7)SERとESTAR、時間 (8~10)許可を求める、依頼する、GUSTAR (11~13)不定詞をとる動詞表現、命令 (14)復習 (15)前期試験 (16~18)再帰動詞、自己紹介 (19~22)完了、接続法現在 (23~25)点過去、線過去 (26~28)比較、関係詞、未来 (29)復習 (30)後期試験

履修上の留意点 予習・復習を忘れずに。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りなどの小テストの結果で評価します。

教科書 坂東省次ほか『改訂版』コミュニケーションのためのスペイン語(第三書房)

履修コード	283001
科目名	スペイン語III A スペイン語III A [再クラス]
担当者名	眞下 祐一

講義のねらい 三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基礎を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくために必要な土台の完成に努めます。

講義の内容・授業スケジュール (1)復習 (2~4)点過去、線過去、完了 (5~7)未来、過去未来 (8~10)再帰動詞、関係詞 (11~13)受身、無人称文 (14)復習 (15)前期試験 (16~18)接続法現在① (19~21)接続法現在② (22から24)接続法現在③ (25~27)接続法過去 (28・29)条件文 (30)後期試験

履修上の留意点 新聞記事などスペイン語の短い読み物も随時配布する予定です。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は二回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書 バロマ・トレナド他 『プラサ・マヨール II ソフト版』 朝日出版社

履修コード	303501・303502
科目名	ロシア語I A [再クラス] ロシア語I B [再クラス]
担当者名	廣田 英靖

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

4-7月はイントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書 杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円

参考書等 『露和辞典』

履修コード	303601・303602
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	佐野 朝子

講義のねらい	発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。 会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月は、イントネーション、発音に力を入れる。 9-12月は、やさしい短文のききとり、初級文法を学ぶ
履修上の留意点	予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
成績評価の方法	平常点を重視します。
教科書	絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

履修コード	303701・303702
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	木村 英明

講義のねらい	1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。 2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月-7月は、イントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
成績評価の方法	
教科書	『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
参考書等	『露和辞典』

履修コード	303801・303802
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	安德 ニーナ

講義のねらい	基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。 4-7月 発音、イントネーション。 9-12月 読み書きを学ぶ。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

履修コード	284101
科目名	ロシア語IC (会話) ロシア語IC (会話) [再クラス]
担当者名	佐野 <small>さの みさこ</small> 朝子

講義のねらい このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。
 会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

講義の内容・授業スケジュール 4月-7月は発音、イントネーション、基礎文法。9月-12月はやさしいよみもの中心。

履修上の留意点 予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法 平常点を重視します。

教科書 絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

履修コード	303901
科目名	ロシア語IIA [再クラス]
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 発音、会話を学ぶ。
 9-12月 会話力を一層高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304001
科目名	ロシア語IIA [再クラス]
担当者名	大須賀 <small>おおすけか ふみか</small> 史和

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 基礎文法の復習。
 9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304101
科目名	ロシア語IIA [再クラス]
担当者名	安徳 <small>あんどく</small> ニーナ

講義のねらい 一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。
 4-7月 基礎文法の復習。
 9-12月 会話と読解に重点をおく。

履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書 必要に応じてその都度資料を配布する。

履修コード	284601
科目名	ロシア語II C (会話) ロシア語II C (会話) [再クラス]
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 発音、イントネーション
9-12月 文法と会話に力を入れる

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円、その他。
プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	284801
科目名	ロシア語III A ロシア語III A [再クラス]
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。
4-7月 会話とイントネーションに力を入れる。
9-12月 応用会話を展開する。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書 学生の学力に応じて教科書を選びます。
プリント配布。

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	284901
科目名	英文講読
担当者名	林 明人

講義の内容・授業スケジュール 現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

1	pp.1-2	プリント(1)配布	16	pp.1-2	プリント(2)配布
2	pp.3-4	(試訳提出)	17	pp.3-4	(試訳提出)
3	pp.5-6		18	pp.5-6	
4	pp.7-8		19	pp.7-8	
5	pp.9-10		20	pp.9-10	
6	pp.11-12	(試訳提出)	21	pp.11-12	(試訳提出)
7	pp.13-14		22	pp.13-14	
8	pp.15-16		23	pp.15-16	
9	pp.17-18		24	pp.17-18	
10	pp.19-20		25	pp.19-20	
11	pp.21-22	(試訳提出)	26	pp.21-22	(試訳提出)
12	pp.23-24		27	pp.23-24	
13	pp.25-26		28	pp.25-26	
14	pp.27-28		29	pp.27-28	
15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①試訳(40%)②試験(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①~②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書

教員が作成したものを用います。

履修コード	285001
科目名	英文講読
担当者名	矢島 直子

講義のねらい 辞書を駆使して、現在イギリスで日常使われている英語を学びます。2004年エディンバラ国際演劇祭で初演された戯曲 *The Wonderful World of Dissocia* を読みます。芝居は見えていません。

講義の内容・授業スケジュール

本を読み、意味を取っていきます。その際、どういう事を伝えようとしているのか、想像力を働かせて読み取ること。現代のチャキチャキの言葉で書かれているため、見た目は易しくても、内容を理解するのは難しいです。(1回目)ガイダンス(2-10)2ページずつ(11-14)3ページずつ(15)前期試験(16)試験解説(17-20)2ページずつ(21-29)3ページずつ(残りは翻訳します)

履修上の留意点

ほとんど毎回当てて、読んで意味を言ってもらいますから、必ず1回の授業の全範囲を予習してこること。辞書の文例まで読まないで、意味が分からないことがあります。1回目の授業から必ず出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に評価します。

教科書

Anthony Neilson, *The Wonderful World of Dissocia / Realism*, Methuen/drama, £ 9.99, ISBN978-0-7136-8715-6 (初回の授業の時に説明します)。

履修コード	285101
科目名	英文講読
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい

英語の総合的な読解力向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

やさしい英文で書かれたイギリスの歴史の、正史には無い赤裸々な真実にスポットをあてます。内容把握、速読といった読解力のアップが目標です。

履修上の留意点

教材にDVDが付いていて、副読本、補助教材になっているので、コンピューターがあると便利です。

成績評価の方法

前・後期末試験のほか、レポート、出席を重視します。

教科書

Horrible Histories: England、南雲堂、2,000円、ISBN978-4-523-17578-0

履修コード	285701
科目名	時事英語研究
担当者名	高野 秀夫

講義のねらい 今や、日常生活のなかに real time で入って来る世界のニュースを捉える学修は欠かせない。この時事英語の授業では、できるだけ新しい英語ニュースの教材で、時々刻々と変わる国内外の動向を異文化の視点で捉え、国際社会の理解に努め、英語力増強を目指す。平易な英文の作成にも努める。

講義の内容・授業スケジュール 教科書（毎回1章の2/3ぐらい進む予定）では、時事英語（Current English）の特徴“最初の部分で全文の内容が捉えられるように書かれている”を読み込んで生きた英語の理解に努める。また毎回時事英語のプリントで読解力と英語表現能力の増強を図る。

履修上の留意点 毎時間、英語での質疑応答があるので予習は欠かせないこと。
英語で世界の動きを捉える習慣を身に付けること。

成績評価の方法 前、後期末テスト、平常点（出席点、レポート等）

教科書 ・ *An Introduction to Media English*（北星堂）
・ プリント

履修コード	285801
科目名	時事英語研究
担当者名	林 明人

講義の内容・授業スケジュール web 上の CNN, Herald Tribune, ASAHI などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。
遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

1	プリント	1	16	プリント	7
2	プリント	1	17	プリント	8
3	プリント	2	18	プリント	8
4	プリント	2	19	小テスト	
5	プリント	3	20	プリント	9
6	プリント	3	21	プリント	9
7	プリント	4	22	プリント	10
8	プリント	4	23	プリント	10
9	小テスト		24	プリント	11
10	プリント	5	25	プリント	11
11	プリント	5	26	プリント	12
12	プリント	6	27	プリント	12
13	プリント	6	28	小テスト	
14	プリント	7	29	社説を読む	
15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点 遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法 ①試験（40%）②小テスト（30%）③出席（30%）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書 教員が作成したものを用います。

参考書等 *Sanseido's Dictionary of News English*（三省堂）

履修コード	285811
科目名	時事英語研究
担当者名	岸本 ^{きしもと} 茂和 ^{しげかず}

講義のねらい	Back-to-Basics!—基本に帰る—ことをこのクラスの標語とする。困難な現代的課題—地球温暖化—をやさしい英語で読んでみたい。副読本として A Clean Sea: The Rachel Carson Story (Cascade Pass) を並行して読んでゆく。
講義の内容・授業スケジュール	(1) Orientation (2~7) p.1~p.8 (8)《遊び時間》英語固有名詞について〈プリント配布〉(9~14) p.9~p.15 (15) 中間試験 (16~21) p.16~p.23 (22~23)《遊び時間》英語慣用句について〈プリント配布〉(24~29) p.24~p.44 (30) 最終試験
履修上の留意点	予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可とする。授業には英語辞書をかならず携行のこと。電子辞書も可。
成績評価の方法	中間試験、最終試験、出席状況を基本に評価する。
教科書	1. Robin C. Friend and Judith Love Cohen.-A Clean Sky: The Global Warming Story. (Cascade Pass). \$ 7.00 (Amazon. com jp で購入できる。約850円)

履修コード	285901
科目名	時事英語研究
担当者名	おちふい かずあき 落合 和昭

外国語

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級から上級（英検二級、準一級、一級）程度とし、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ、テレビ等で使用されている英語を読み、聞き取ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングで聞いたニュースの意味を、文字を通して、確認する。第四段階は、その英文を、ヒヤリングで聞いたように、できるだけ忠実に再生する。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『新版』(UNIT 1)
- 第三回 『新版』(UNIT 2-4)
- 第四回 『新版』(UNIT 5-10)
- 第五回 『新版』(UNIT 11-13)
- 第六回 『新版』(UNIT 14-16)
- 第七回 『新版』(UNIT 17,18)
- 第八回 『新版』(UNIT 19,20)
- 第九回 『英語ニュース』(UNIT 1)
- 第十回 『英語ニュース』(UNIT 2)
- 第十一回 『英語ニュース』(UNIT 3)
- 第十二回 『英語ニュース』(UNIT 4)
- 第十三回 『英語ニュース』(UNIT 5)
- 第十四回 『英語ニュース』(UNIT 6)
- 第十五回 後期試験
『英語ニュース』(UNIT 7-9)
- 第十六回 『英語ニュース』(UNIT 10)
- 第十七回 『英語ニュース』(UNIT 11)
- 第十八回 『英語ニュース』(UNIT 12)
- 第十九回 『英語ニュース』(UNIT 13)
- 第二十回 『英語ニュース』(UNIT 14)
- 第二十一回 『英語ニュース』(UNIT 15)
- 第二十二回 『CNN』(UNIT 1)
- 第二十三回 『CNN』(UNIT 2)
- 第二十四回 『CNN』(UNIT 3)
- 第二十五回 『CNN』(UNIT 4)
- 第二十六回 『CNN』(UNIT 5)
- 第二十七回 『CNN』(UNIT 6)
- 第二十八回 『CNN』(UNIT 7)
- 第二十九回 『CNN』(UNIT 8)
- 第三十回 後期試験：
『CNN』(UNIT 9-12)

※ 『「新版」カプセル・ニュース英語を聞く』(上記では、『新版』)
『英語ニュースで読む現代社会 2008』(上記では、『英語ニュース』)
『CNN:ビデオで見る世界のニュース』(上記では、『CNN』)
なお、ヒヤリングは毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を求める。前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『「新版」カプセル・ニュース英語を聞く』 三修社 1,300円
ISBN 4-384-33368-4 C1082
- 2) 『英語ニュースで読む現代社会 2008』 金星堂 1,800円
ISBN978-4-7647-3868-3 C1082
- 3) 『CNN:ビデオで見る世界のニュース』 朝日出版社
ISBN978-4-255-15450-3 C1082
- 4) プリント

履修コード	285911
科目名	時事英語研究
担当者名	やじま なおこ 矢島 直子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

イギリスの新聞を読めるようになってもらいたいです。
イギリスの大衆紙、高級紙の記事を集めた教科書を読んで、意味を取ってもらいます。
(1回目) ガイダンス (2) 1課 (3-14) 2-9課 (15) 前期末試験 (16) 試験解説 (17-29)
10-16課 (30) 後期末試験

履修上の留意点

毎回どんどん当てて読んでいってもらいますから、辞書を引いて意味が分るまで予習してくること。必ず1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法
教科書

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に評価します。
越 朋彦『イギリスの新聞を読む』 研究社、1、900円+税、ISBN978-4-327-42171-7

外国語

履修コード	286501
科目名	マルチ・メディア
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭

外国語

講義のねらい

このクラスに副タイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級から上級（二級、準一級、一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『5分間』(UNIT 1～4)、『口語』1-1、UK、BT
- 第三回 『5分間』(UNIT 5～8)、『口語』1-1 WP、SP
- 第四回 『5分間』(UNIT 9～12) 『口語』1-2 UE、BT
- 第五回 『5分間』(UNIT 13～16)、『口語』1-2 WP、SP
- 第六回 『5分間』(UNIT 17～20)、『口語』1-3 UE、BT
- 第七回 『5分間』(UNIT 21～24)、『口語』1-3 WP、SP
- 第八回 『5分間』(UNIT 25～28)、『口語』1-4 UE、BT
- 第九回 『5分間』(UNIT 29～32)、『口語』1-4 WP、SP
- 第十回 『5分間』(UNIT 33～36)、『口語』1-5 UE、BT
- 第十一回 『5分間』(UNIT 37～40)、『口語』1-5 WP、SP
- 第十二回 『口語』1-6 UE、BT 映画台本の読み方
- 第十三回 『口語』1-6 WP、SP 映画台本の読み方
- 第十四回 『口語』1-7 UE、BT 映画台本の読み方
- 第十五回 前期試験：『5分間』(UNIT 37～40)
- 第十六回 『口語』1-7 WP、SP 映画台本の読み方
- 第十七回 『口語』2-8 UE、BT、WP、SP
- 第十八回 『口語』1-9 UE、BT、WP、SP
- 第十九回 『口語』1-10 UE、BT、WP、SP、
- 第二十回 『口語』2-1 UE、BT、WP、SP
- 第二十一回 『口語』2-2 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 1)
- 第二十二回 『口語』2-3 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 2)
- 第二十三回 『口語』2-4 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 3)
- 第二十四回 『口語』2-5 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 4)
- 第二十五回 『口語』2-6 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 5)
- 第二十六回 『口語』2-7 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 6)
- 第二十七回 『口語』2-8 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 7)
- 第二十八回 『口語』2-9 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 8)
- 第二十九回 『口語』2-10 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 9)
- 第三十回 後期試験：『恋人』(UNIT 10、11、12)

※ 『5分間口語英語表現』(上記では、『5分間』)

『コミュニケーションのための口語英作文』(上記では、『口語』)

Useful Expression →UE、Basic Training →BT、Writing Practice →WP、Speaking practice →SP

『恋人たちの予感』(上記では、『恋人』)

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40数名しか入れないLL教場を使用するので、それ以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験は20%、その他（課題、小テスト、授業中の発表等）は60%とする。出席率は前・後期試験を除いた、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」となる。

教科書

- 1) 『恋人たちの予感』 松柏社 1850円
ISBN4-88198-411-X C3083
- 2) 『5分間口語英語表現』 南雲堂 700円
ISBN4-523-17216-1
- 3) 『コミュニケーションのための口語英作文』 成美堂 1600円
ISBN4-7919-5026-7 C1082
- 4) プリント

履修コード	286601
科目名	マルチ・メディア
担当者名	大庭 <small>なほ</small> 直樹

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。

第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。

第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。

第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。

第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

履修コード	286701
科目名	マルチ・メディア
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

外国語

講義のねらい 前期は米国シアトル市のワシントン大学とテレビ会議でつなぎ、ネイティブアメリカンのNPO代表を中心に、世界のマイノリティ・被差別文化について英語文献を読み、話し合う。後期はインターネットなどを利用して各地のマイノリティ文化、被差別文化についての英語情報を得、それを英語でまとめる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 小テスト、授業についての説明
2. 北米のマイノリティ：ネイティブアメリカンについて
3. ワシントン大学とのテレビ会議（1）
4. ワシントン大学とのテレビ会議（2）
5. 日本のマイノリティ：被差別部落の文化
6. 日本のマイノリティ：アイヌの文化
7. 日本のマイノリティ：沖縄の文化
8. ワシントン大学とのテレビ会議（3）
9. ワシントン大学とのテレビ会議（4）
10. 日本のマイノリティ：在日社会
11. 日本のマイノリティ：日系社会
12. 前期内容の英語でのまとめ（1）
13. 前期内容の英語でのまとめ、レポート作成（2）

後期

1. ネイティブアメリカンの思想研究
2. アジアのマイノリティ研究（1）
3. アジアのマイノリティ研究（2）
4. アジアのマイノリティ研究（3）
5. まとめと英語レポート作成（インターネットによる調査）
6. ヨーロッパのマイノリティ研究（1）
7. ヨーロッパのマイノリティ研究（2）
8. まとめと英語レポート作成
9. ワシントン大学とのテレビ会議（5）
10. ワシントン大学とのテレビ会議（6）
11. ワシントン大学とのテレビ会議（7）
12. まとめと英語レポート作成
13. 英語による研究プレゼンテーション（各自）

履修上の留意点

受講者は知識を英語で習得しそれをテレビ会議で発信するためのプレゼンテーション能力が必要となる。会議に参加できるだけの英語力がもとめられる。英語で内容を理解するための知識をインターネットなどを利用して渉猟するので読む力が必要。英語レポート作成もあるので書く力も磨かれる。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

平常点（出席点、発表、レポート、会議での発表力など）で評価。定期試験は行わない。
教場にて指定。

授業で指定。
本クラスは英語上級者用のクラスなので、少人数クラスとする。基礎的な英語力を査定するために第一回目にスクリーニングを行う(小テスト)。

履修コード	286801
科目名	マルチ・メディア
担当者名	大庭 ^{なおき} 直樹

- 講義のねらい** このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。
 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。
 後期からは、パワーポイントを使って、テーマを決めてプレゼンテーションをしてもらう。
- 講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点** 受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。
- 成績評価の方法** 試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。
- そ の 他** 受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

履修コード	264201・264301
科目名	英会話I
担当者名	ロビン, G. F.

- 講義のねらい** This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.
- 講義の内容・授業スケジュール** It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.
- 成績評価の方法** According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.
- 教 科 書** *FIFTY FIFTY STUDENT BOOK 1*, WARREN WILSON, ROGER BARNARD
 ISBN-10 9620056655 10 digit

履修コード	264401
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.

外国語

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN!

There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please do not take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.

履修上の留意点

Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times.

There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他の

The first class is very important, so please do not be absent!

I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

履修コード	264501
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ、J. K.

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

The first class is very important, so please do not be absent!

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

外国語

履修コード	264601・264701
科目名	英会話I
担当者名	ソルタ, P. N. F.

外国語

講義のねらい English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice communicating in natural spoken English about topics of interest to them. This enables students to build up their speaking and listening skills, and to improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using natural spoken English.

講義の内容・授業スケジュール The instructor will provide the students with the classroom materials. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点 The structures / functions to be covered are:, Introductions / Classroom Language, Likes and Dislikes / Adjectives, Locations / Telephone Language, There is ... There are ... / Quantities, Have ... , Want ... , Would like ... / Shopping, Uncountable nouns / At a Restaurant, Present Continuous for arrangements, Fashion/Clothing, Present Simple / Occupations, Adverbs of frequency/Routines, Transportation / Work & School, The Present Tenses / Frequency,

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法 A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60 %), and a mark based on a student's attitude in class and class performance throughout the year (40 %). The end-of-year exam will contain listening and written exercises. In making a final evaluation, bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10 %) or two absences (+5 %) throughout the year.

教科書 No textbook will be used in this course.

履修コード	264801・264901
科目名	英会話I
担当者名	レーン, C. M.

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy then they might find this class difficult.

成績評価の方法

- (ア) Attendance 20 %
- (イ) Participation during class 50 %
- (ウ) Individual presentation 10 %
- (エ) Group presentation 20%

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

- A good dictionary
- A file to keep work sheets together-A4 size

履修コード	265001
科目名	英会話I
担当者名	ピアス, D. M.

外国語

講義のねらい	Each class session will concentrate on diversified practice of speaking and listening. Improved English fluency should raise scores in standard English tests and lead to better employment.
講義の内容・ 授業スケジュール	During most of the class period you will be talking to each other in groups. If it embarrasses you to speak English loudly, you should not take this class. The textbook will be used intensively, guiding you through every detail of English conversation. Practice in aural comprehension, grammar, reading and composition will advance through simultaneous self-testing. Each class meeting will comprise a contrastive sociological analysis of a typical social interaction.
	FIRST SEMESTER
	1 Self-introductions
	2 Addressing People
	3 Social Hierarchy
	4 Professional Titles
	5 Self assertion and Conformity
	6 Identity in a Group
	7 Motives of Gift Giving
	8 Social Cohesion
	9 Informal Communication
	10 The Sense of Modesty
	11 Styles of News Presentation
	12 Coverage of Scandal
	13 Personal Freedom
	14 Group Harmony
	15 The Consumer Society
	16 Corporate Philanthropy
	SECOND SEMESTER
	1 Social Classes
	2 The Idea of Success
	3 Candor
	4 Favoritism
	5 Authority
	6 Arrogance and Compassion
	7 The Employment System
	8 Company Loyalty
	9 Political Prestige
	10 Business Wealth
	11 Family Loyalty
	12 Democracy in Family Attitudes
	13 Courtship
	14 The Marriage Partner
	15 Teenage Employment
	16 Adolescent Development
成績評価の方法	Exams are didactic, not disciplinary. Tests will be frequent, brief, and unannounced. There are no make-up tests. All of the test questions will be taken from the textbook, as practiced in class. Anything covered in class may appear in a quiz. Attendance: The student may miss three classes in the semester, but if absences are excessive the final evaluation will be one letter-grade-less. Weddings, funerals, sickness, seminars, etc. do not form exemptions from the allowed number of absences. Grading: Instead of final exams, final grades will be calculated from ordinary class performance.
教科書	Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group. In the first class meeting a diagnostic test will determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. EXAMINATIONS: There will be frequent unannounced, small exams. Such exams are didactic, not disciplinary. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

履修コード	265101
科目名	英会話I
担当者名	ピアス、D. M.

講義のねらい

Each class session will concentrate on diversified practice of speaking and listening. Concentration will be upon communication rather than simple expressions; rather than to learn English, emphasis is on learning to use what you already know. Improved English fluency should raise scores in standard international English tests and lead to better employment.

講義の内容・授業スケジュール

During most of the class period you will be talking to each other in groups. If it embarrasses you to speak English loudly, you should not take this class. The textbook will be used intensively, guiding you through every detail of English conversation. Practice in aural comprehension, grammar, reading and composition will advance through simultaneous self-testing. Each class meeting will comprise a contrastive sociological analysis of a typical social interaction.

FIRST SEMESTER

- 1 Self-introductions
- 2 Addressing People
- 3 Social Hierarchy
- 4 Professional Titles
- 5 Self assertion and Conformity
- 6 Identity in a Group
- 7 Motives of Gift Giving
- 8 Social Cohesion
- 9 Informal Communication
- 10 The Sense of Modesty
- 11 Styles of News Presentation
- 12 Coverage of Scandal
- 13 Personal Freedom
- 14 Group Harmony
- 15 The Consumer Society
- 16 Corporate Philanthropy

SECOND SEMESTER

- 1 Social Classes
- 2 The Idea of Success
- 3 Candor
- 4 Favoritism
- 5 Authority
- 6 Arrogance and Compassion
- 7 The Employment System
- 8 Company Loyalty
- 9 Political Prestige
- 10 Business Wealth
- 11 Family Loyalty
- 12 Democracy in Family Attitudes
- 13 Courtship
- 14 The Marriage Partner
- 15 Teenage Employment
- 16 Adolescent Development

成績評価の方法

Exams are didactic, not disciplinary. Tests will be frequent, brief, and unannounced. There are no make-up tests. All of the test questions will be taken from the textbook, as practiced in class. Anything covered in class may appear in a quiz. Attendance: The student may miss three classes in the semester, but if absences are excessive the final evaluation will be one letter-grade-less. Weddings, funerals, sickness, seminars, etc. do not form exemptions from the allowed number of absences. Grading: Instead of final exams, final grades will be calculated from ordinary class performance.

教科書

Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group. In the first class meeting a diagnostic test will determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. EXAMINATIONS: There will be frequent unannounced, small exams. Such exams are didactic, not disciplinary. All exam questions will be questions that have been practiced in class, and are printed in the textbook.

履修コード	265201
科目名	英会話I
担当者名	レイン, R. V.

外国語

講義のねらい	This course enables students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.
講義の内容・授業スケジュール	[1] Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams on selected textbook activities.
履修上の留意点	Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence of 1/3 of classes will result in a failing grade.
成績評価の方法	Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.
教科書	author: Steven Molinsky and Bill Bliss title: <i>Side by Side</i> , 3rd Edition, BOOK 4 publisher: Longman date: 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	265301
科目名	英会話I
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about skills and abilities.
- 3) Exchanging personal information politely.
- 4) Time and date.
- 5) Daily routines.
- 6) How often? Adverbs of frequency.
- 7) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 8) MOVIE #1 viewing and discussion of a movie's content.
- 9) Talking about likes and dislikes.
- 10) Where does it go? Prepositions of location.
- 11) Giving directions.
- 12) Favorite holidays and places.
- 13) Comparative adjectives and superlatives.
- 14) Review and practice exercises
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of the previous term's class topics and test questions.
- 17) Describing people.
- 18) Best friends.
- 19) Talking about family.
- 20) Favorite movies and actors/actresses.
- 21) MOVIE #2 viewing and discussion of a movie's content.
- 22) About tomorrow. Questions and answers about the future.
- 23) About yesterday. Talking about the past.
- 24) Do you remember when ... ? Conversation game.
- 25) In a restaurant. Food ordering role-plays.
- 26) What do you think of ... ? How to give and listen to opinions.
- 27) Looking ahead. Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点 Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法 Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書 *Fifty-fifty* Book 1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5
Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287401
科目名	英会話II
担当者名	セイジ, K

外国語

講義のねらい	This is an elective course which aims to improve your English conversation skills. So, rather than use one textbook, study materials will draw from a variety of resources, which will include textbooks, DVDs, internet articles and etcetera. The teacher's role will be a facilitator in this class and students will be expected to take on responsibility for leveling up their English spoken skills. This course is for the students who are really interested in advancing their all round English conversation skills.
講義の内容・ 授業スケジュール	Due to the conversation focus of this class, you must be prepared to come to every class ready to speak English. Although the teacher will provide stimulus and models, students are expected to spend some of their own time following up on in class topics. This will help you be prepared to participate in class activities. Plus your individual contribution will be a high part of your grade.
履修上の留意点	Although this course may be difficult at the start, you will improve your speaking if you participate regularly and actively in class.
成績評価の方法	1. PERFORMANCE ASESMENT: You will be assessed on multiple individual, pair and small group performances. These will include formats such as: interviews, role plays, small dramas, individual presentations, conducting small group discussions and etcetera. 2. ATTENDANCE: Attendance, participation and attitude essential!
教科書	Given in class
参考書等	Bring notepaper and some kind of English electronic dictionary to class.

履修コード	287501
科目名	英会話II
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

外国語

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about likes/dislikes and preferences.
- 3) Family relationships.
- 4) The place where you live.
- 5) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 6) Daily routines and habits.
- 7) Feelings and emotions.
- 8) Going places: Holiday destinations and travel tips.
- 9) Favorite holidays and places.
- 10) Comparative adjectives and superlatives.
- 11) Talking about the best and the worst.
- 12) Explaining problems and making excuses.
- 13) Borrowing and lending.
- 14) Talking about culture and festivals.
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of last term's class topics and test questions.
- 17) Do you remember when ... ?
- 18) Best friends.
- 19) Favorite movies and actors/actresses.
- 20) MOVIE viewing and discussion of movie's content.
- 21) A special time and a special person.
- 22) Making plans: Offers and requests.
- 23) What should I do? How to give advice.
- 24) Dilemmas discussion game: I need your advice because ...
- 25) Tell me a story. Retelling stories and interesting past events.
- 26) In my opinion.
- 27) Looking ahead: Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic Japanese-English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a conversation test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8
Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287601
科目名	英会話II
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい	This course will enable students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class..
講義の内容・授業スケジュール	[1]Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams on selected textbook activities.
履修上の留意点	Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence of 1/3 of the scheduled classes will result in a falling grade.
成績評価の方法	Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.
教科書	author: Steven Molinsky and Bill Bliss title: <i>Side by Side</i> , 3rd Edition, BOOK 4 publisher: Longman date: 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	287701
科目名	英会話III
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい	English Conversation III Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak freely.
講義の内容・授業スケジュール	First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Current events ARE important! Your grade will be determined by your participation in class as well as your attendance.
履修上の留意点	ATTENDANCE is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for JOB HUNTING. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also. * It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time. The first class is very important, so please do not be absent! Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.
成績評価の方法	Attendance : 50% Grading: Class participation evaluation and attendance
教科書	There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 (A4 size) should be used. Notebooks will be checked in the second class.
その他	I am an older American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

履修コード	287801
科目名	英会話III
担当者名	ピアス, D. M.

講義のねらい

Dedicated to raising English proficiency for the examinations in the *shushoku katsudo* process. This is the highest level of English conversation practice offered by the university; intense practice will be in more difficult levels of English.

講義の内容・
授業スケジュール

Practice dialogues will introduce topics concerning commerce, economics, and politics; you will practice in dialogue or group. There will be oral exchange of opinions about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, such as you are already capable of conducting. 2) Exchange of opinion on a semi-abstract level, through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation.

履修上の留意点

Three absences per semester permitted. Classes proceed closely according to the textbook; coming to class without the textbook counts as an absence. Tests are didactic, not disciplinary; they are not announced beforehand.

成績評価の方法

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others; you will be speaking English all the time. Final grade depends 70% on your class performance; examinations have minor effect on the final grade.

履修コード	265401・265701
科目名	英語 L L I
担当者名	にしむら 祐子

講義のねらい 基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
1. 小テスト(1)実施(受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う)
 2. 聞き取り、書き取り訓練(1)
 3. 聞き取り、書き取り訓練(2)
 4. 聞き取り、書き取り訓練(3)
 5. 聞き取り、書き取り訓練(4)
 6. 小テスト(2)
 7. 英語での自己紹介(1)
 8. 英語での自己紹介(2)
 9. 英語での自己紹介(3)
 10. 聞き取り、書き取り訓練(5)
 11. 聞き取り、書き取り訓練(6)
 12. 聞き取り、書き取り訓練(7)
 13. 小テスト(3)
- 後期
1. 小テスト(4)
 2. 聞き取り、書き取り訓練(8)
 3. 聞き取り、書き取り訓練(9)
 4. 聞き取り、書き取り訓練(10)
 5. 聞き取り、書き取り訓練(11)
 6. 小テスト(5)
 7. 英語でおこなうペアワークと書く英語(1)
 8. 英語でおこなうペアワークと書く英語(2)
 9. 英語でおこなうペアワークと書く英語(3)
 10. 英語でおこなうペアワークと書く英語(4)
 11. 小テスト(6)
 12. 復習とまとめ(1)
 13. 復習とまとめ(2)

**履修上の留意点
成績評価の方法**

全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。
出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

**教科書
参考書等**

配布資料。小テストはTOEIC形式のものを使う(3000円程度)。
授業中に提示する。

履修コード	265501・265601
科目名	英語 L L I
担当者名	はなわ 美智子

講義のねらい PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりを見つめ、自分なりに探す習慣をつける。
日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

成績評価の方法

教科書

“Discover Great Britain and Ireland”, (金星堂) ¥2,200

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

履修コード	265801・265901
科目名	英語L L I
担当者名	外池 ^{トノイセ} ^{かずこ} 一子

講義のねらい	リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後英語のニュースを中心に、比較的短いモノログやダイアログなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1. 前期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。</p> <p>(a) 個音(母音、子音)の識別</p> <p>(b) 連結</p> <p>(c) リダクション(機能語の弱形・縮約形)</p> <p>(d) 脱落・同化</p> <p>(e) リズム、イントネーション</p> <p>2. 後期は実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。</p> <p>(a) ニュース</p> <p>(b) ドキュメンタリー</p> <p>(c) 映画、ドラマ</p> <p>(d) インターネット</p>
履修上の留意点	授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。
成績評価の方法	平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書その他	開講時に指示します。 毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

履修コード	266001
科目名	英語L L I
担当者名	甲斐 ^{かい} ^{かつこ} 捷子

講義のねらい	外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から始めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、スピーキング力が身につきます。中、高等学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。
講義の内容・授業スケジュール	テキスト各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期後半にはビデオ2本を終了し、American Accent Training へ進み、アメリカ英語の特色であるリエゾンの訓練を通して、リスニング力、スピーキング力の飛躍的なレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。
履修上の留意点	発音の訓練は早いほど良いので、1、2年次での履修が望ましいと思います。
成績評価の方法	一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。
教科書 参考書等	<i>Sounds Right! Sounds Good!</i> , マクミランランゲージハウス 2,000円 <i>American Accent Training</i> 2nd ed., Barrons. \$39.95

履修コード	266101
科目名	英語 L L I
担当者名	久保 ^{くほ} ひさ子

講義のねらい 海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。
 講義の内容・授業スケジュール 旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。
 履修上の留意点 クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
 成績評価の方法 前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点
 教科書 マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂

履修コード	288501
科目名	英語 L L II
担当者名	セイジ, K

講義のねらい This is an elective course which will be conducted in the LL classroom. So, we will not use a textbook; instead, use the resources of the LL classroom. The teacher and students will both be expected to contribute to this class. This course is for the students who are really interested in English and advancing their English skills considerably.
 講義の内容・授業スケジュール Due to the access of abundant resources, expect this class to be more intensive in terms of how much English and the variety of formats that you will be exposed to. Plus your individual contribution will be a high part of your grade.
 履修上の留意点 Although this course will be heavy, it is going to be interesting and will advance your English skills.
 成績評価の方法 1. INTERACTIVE PRESENTATIONS:
 Multiple individual and pair INTERACTIVE presentations
 2. SMALL GROUP or CLASS DISCUSSIONS:
 Opportunity to conduct small group or class discussions
 3. ATTENDANCE:
 Attendance, participation and attitude essential!
 教科書 LL classroom resources
 参考書等 LL classroom resources

履修コード	288601
科目名	英語 L L II
担当者名	高橋 ^{たかはし} 明子 ^{あきこ}

講義のねらい ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるよう練習を重ねていきます。
 講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じて映画などの教材やTOEICのリスニング・セクションの問題も取り入れます。テキストの各 Unit を二回の授業を目安にして進め、前期に Unit6 まで、後期に Unit12 までを学びます。
 履修上の留意点 毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。
 成績評価の方法 平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。
 教科書 『CNN：ビデオをで見る世界のニュース（9）』（朝日出版社）2,000円＋税
 ISBN978-4-255-15450-3

履修コード	288701
科目名	英語 L L II
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい ABC放送のアメリカ国内向けニュース番組、“World News Tonight”をビデオで学び、英語の運用能力をさらに高めることがこの授業の目的です。ストーリー性の高いニュースを、臨場感を楽しみながら、正確に聞き取り、読み、内容についても話せるように訓練します。

講義の内容・授業スケジュール 授業のはじめに、教員がビデオを一時停止させながら、報道内容をそのまま日本語で話します。この段階でニュースの大意を把握し、さらに語句の解説を英語で行いながら内容を読み進み、同時に内容についても話せるように訓練します。単元の復習の後、小テストを行い、終了とします。テキスト全15章のうち、前期7章、後期8章を終了できる予定です。

履修上の留意点 遅刻に気をつけて下さい。授業の冒頭の部分が欠けると、その後の理解に支障が出ます。

成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、前期試験30%、後期試験30%とします。

教科書 ABC World News 10 山根繁 /Kathleen Yamane 著 金星堂 2,000円

履修コード	289301
科目名	英語 L L III
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい TVニュース英語のインテンシブ・コースです。ABC放送とケーブル・テレビのニュースを同時に並行して学び、学習量を倍にすることで英語力をさらに高め、定着させることがこの授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 授業のはじめに、教員がビデオを一時停止させながら、報道内容をそのまま日本語で話します。この段階でニュースの大意を把握し、さらに語句の解説を英語で行いながら内容を読み進み、同時に内容についても話せるように訓練します。語句の解説はハンドアウトで配布し、簡単な復習も含めて、1回の授業で1単元を終了します。

履修上の留意点 インテンシブ・コースですから、遅刻・欠席があると単位取得に支障が出ます。

成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、前期試験30%、後期試験30%とします。

教科書 ABC World News 10 山根繁 /Kathleen Yamane 著 金星堂 2,000円
English for the Global Age with CNN 9 Kansai University ELT Research Group 著 朝日出版社 2,000円

履修コード	289401
科目名	英語 L L III
担当者名	白鳥 義博

講義のねらい 2006年から新しく始められた TOEFL iBT テストのリスニングおよびスピーキング・セクション対策のための問題集を使い、たとえば大学での英語の講義を正しく理解したり、講義への質問や意見を適切な英語で述べる練習を行います。北米への留学のためにTOEFL受験を目指す学生だけではなく、たとえば英語による面接試験を受ける準備をしたい学生など、ハイレベルな英語の聞き取りと応答の力を身につけたい学生の受講を広く歓迎します。

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス (2~14) リスニング・セクション対策演習 (15) 前期末試験、後期：(15~28) スピーキング・セクション対策演習 (29) 総復習 (30) 後期末試験

成績評価の方法 平常点と出席状況、および定期試験の結果などから総合的に評価する。

教科書 前期：喜田慶文、『TOEFLテストリスニング問題350』改訂新版(旺文社、2006年) ¥2,600+税 ISBN978-4-01-093498-2
後期：追って指示する。

履修コード	289501
科目名	英語 L L III
担当者名	久保 ひさ子

講義のねらい 英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール テキストを再生、聞きとり、書きとり、解答し、再生し反復練習する。授業後半は、ABCORBBC ニュースのビデオ orDVD、あるいは、TOEFLの試験問題を使用します。

履修上の留意点 実習授業のため、欠席しないようにお願い致します。

成績評価の方法 前期試験と授業実習の合計点

教科書 World Times of Japan, Michigan Action English Step 6

履修コード	286001
科目名	現代を読むドイツ語
担当者名	野島 利彰 <small>のじま としあき</small>

講義のねらい 新聞を通し、ドイツで現在何が問題になっているかを知ります。
 講義の内容・授業スケジュール 環境、麻薬、多数の外国人居住者などの問題を取り上げます。予習をしやすいよう、文法事項や単語について前もって解説します。
 履修上の留意点 予習をしておいてください。
 成績評価の方法 授業に対する貢献度、例えばどれだけ予習し、どれだけ訳を発表したかが評価の重要な基準です。
 教科書 プリントを配布します。
 その他 日本の新聞や雑誌を読んでいることがドイツ語の内容理解を楽にします。普段から新聞や雑誌に目を通す癖をつけてください。

履修コード	286901
科目名	ドイツ語スキルアップ
担当者名	松岡 晋 <small>まつおか すすむ</small>

講義のねらい 文法知識を完全なものにするために、また正しいドイツ語表現を学ぶために、ドイツ語の作文練習を行います。一年間、誠実に練習問題に取り組みば、きっとドイツ語に自信を持つことが出来るようになると思います。
 講義の内容・授業スケジュール (1) 授業方針の説明と受講者の文法知識のチェック (2~3) 第1課(規則動詞と sein, haben) (4~5) 第2課(冠詞・複数・人称代名詞・不規則動詞) (6~7) 第3課(冠詞類・前置詞・前置詞を伴う動詞・形容詞) (8~9) 第4課(助動詞・再帰動詞) (10~11) 第5課(分離動詞・命令形・非人称動詞) (12~13) 第6課(過去形・完了形・zu 不定詞) (14~17) 第7課(付加語的形容詞・形容詞の名詞化・比較・分詞・従属節) (18~19) 第8課(受動態・指示代名詞) (20~22) 第9課(関係代名詞・関係副詞) (23~25) 第10課(接続法) (26~30) 配布プリントでの補助練習
 履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、独和辞典を持参して、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。
 成績評価の方法 受講者数が少ないと予測されますので、筆記試験は行いません。出席と練習問題への取り組みの度合いによって、平常点評価を行います。
 教科書 小林俊明『はじめての独作文 ―Version 2―』、同学社、1500円 ISBN 978-4-8102-0690-6
 その他 初回の授業の際に、受講者の文法理解度を確認するためのチェック・テストを行うつもりです。

履修コード	288001
科目名	ドイツ語コミュニケーションI
担当者名	小林 ゲアリンデ

講義のねらい ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。
 日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。
 講義の内容・授業スケジュール (1~4) LektionI 今日は私の名前は (5~8) LektionII 家族と友だち (9~12) LektionIII 食物と飲食 (13~16) LektionIV 私の家 (17~20) LektionV 私の一日 (21~24) LektionVI くつろぎの時 (25~29) LektionVII 生涯学習 (30) テスト
 成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。
 教科書 Kursbuch + Arbeitsbuer "Schritte international I" (Huber)
 その他 ビデオ、カセットを使用する。

履修コード	288801
科目名	ドイツ語コミュニケーションII
担当者名	小林 ゲアリンデ

講義のねらい ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目標とする。
 話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール (1~3) LektionI お互いに知り合う (4~6) LektionII 電話での会話 (7~9) LektionIII コーヒーショップで (10~12) LektionIV ヨーロッパ旅行 (16~19) LektionV 買い物 (16~19) LektionVI 自由時間 (20~23) LektionVII 家族と親戚 (24~28) LektionVIII 衣服・百貨店 (29) 復習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書 Neue Ausgabe Teilland 1 "Eurolingua Dutsch 1" (Cornelsen)

その他 ビデオを使用する。

履修コード	289601
科目名	ドイツ語IA (選)
担当者名	まつおか すずも 松岡 晋

講義のねらい ドイツ語の勉強のスタートとして初級文法を一年間で学ぶことが、この授業の目的です。ドイツ語の基礎としてどうしても覚えておかなければならない事項のみが記載されたコンパクトな教科書を用いますので、まずそこに記された事柄を徹底的に覚えてください。

講義の内容・授業スケジュール (1~3) 独和辞典の紹介、文字と発音の基礎の説明 (4~5) 第1課[人称代名詞と動詞の現在人称変化] (6~8) 第2~3課[名詞の性と格] (9~10) 第4課[定冠詞類・不定冠詞類] (11~12) 第5課[語幹の変わる動詞] (13~14) 第6課[前置詞の格支配] (15~17) 第7課[分離動詞・非分離動詞・再帰動詞] (18~20) 第8課[話法の助動詞・未来時制] (21~22) 第9課[動詞の三基本形、過去時制] (23~24) 第10課[完了時制] (25~26) 第11課[形容詞について] (27~28) 第12課[関係文] (29~30) 付録1~2[受動態、接続法]

履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

成績評価の方法 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

教科書 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

その他 実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

履修コード	290201
科目名	ドイツ語IB (選)
担当者名	いむら ゆきこ 井村 行子

講義のねらい ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って進めます。少なくとも4課までは終わらせる予定です。

成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書 『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	290801
科目名	ドイツ語II (選)
担当者名	いむら ゆきこ 井村 行子

講義のねらい ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。

講義の内容・授業スケジュール 第5課から第8課まで教科書後半をやる予定です。

成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書 『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	286101
科目名	現代を読むフランス語
担当者名	^{くわた のりあき} 桑田 禮彰

講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。できれば最後に、実際のフランスの新聞記事を読んで見ましょう。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点 (1) 受講上の諸注意 (2)(3) 新フランスペット事情 (4)(5) 路面電車の復権 (6) (7) 名前とグローバリゼーション (8)(9) 60回目を迎えたカンヌ映画祭 (10)～(24) 夢の職業、他 (25)～(29) Le Monde 記事 (30) 復習と今後のフランス語学習について

成績評価の方法 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

教科書 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

参考書等 クリスチャン・ボームルー、荒木善太著『ヴァリエテ・フランセーズ2008』(朝日出版社) 1,995円 ISBN978-4-255-35192-6

そのつど授業で指示します。

履修コード	287001
科目名	フランス語スキルアップ
担当者名	^{こがま なりお} 小玉 齊夫

講義のねらい フランス文化の実際について述べている教科書にしたがい、文法事項を再確認しながら、聞きとり、作文、ならびに会話について、可能なかぎり総合的なフランス語能力を身につけていきたいと思えます。「仏検」3級以上のちからを持つようになることが目標です。来年3月に行われる「短期セミナー」に参加を希望される方は、現在の自分のフランス語能力など気にせずに、積極的に、この授業をとるようにして下さい。「短期セミナー」に参加した人たちも歓迎です。放っておくと「実力」はすぐ落ちてしまいますよ。

講義の内容・授業スケジュール 1年間30授業時間として、以下のように進めていく予定です。(1-3)疑問表現、数字、いくつかの動詞の直説法現在、(4-6)情報を得るときの表現 近接未来と近接過去、(7-9)意見、感想の表現、中性代名詞、(10-12)提案、未来、比較級等、(13-15)庭作業について、半過去、関係代名詞、(16-18)賛成、反対等の議論、複合過去、大過去、(19-21)文化財尊重について、(22-24)条件法の例文、(25-27)性格、人柄、(28-30)直接話法と間接話法

履修上の留意点 出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思えますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめがけて、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法 随時提出する宿題や学年末の試験で評価します。

教科書 阿南・モラン 共著『パシヨネマン2』(第三書房、2400円) ISBN978-4-8086-2185-8

参考書等 『現代和仏小辞典』(白水社)。フランス語集を増やすためにも、必要です。

履修コード	288101
科目名	フランス語コミュニケーションI
担当者名	^{みくら} ラリア・三倉, M.

講義のねらい 教科書の内容に沿ってフランス語コミュニケーションの聴く、話す、読む実力が自然とついてくる授業にします。

講義の内容・授業スケジュール あくまで全くの初心者フランス語のコミュニケーション力の基礎を習得させる内容になっています。

履修上の留意点 (1) Alphabet /興味を持たせるための簡単な会話と表現/フランス語発音練習 (2)～(4) Leçon 1 (5)～(7) L2 (8)～(10) L3 (11)～(13) L4 (14)～(16) L5 (17)～(19) L6 (20)～(22) L7 (23)～(25) L8 (26)～(28) L9 (29)～(30) L10

成績評価の方法 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。

教科書 成績評価は講義で学生の各々の能力を見極める通常点で評価します。試験はいたしません。

参考書等 高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』第三書房 ISBN 4-8086-2136-3

履修コード	288901
科目名	フランス語コミュニケーションII
担当者名	ラリア ^{みくら} ・三倉, M.

講義のねらい フランス語の基礎力が備わった学生向けのフランス人講師による授業です。
 講義の内容・授業スケジュール ビデオを使って視聴覚中心の授業をいたします。
 (1) 受講上の諸注意 / à l' Aéroport の1回目 (2) ~ (4) à l' Aéroport (5) ~ (7) à l' hôtel (8) ~ (10) Paris, la nuit (11) ~ (13) Au café (14) ~ (16) Le train (17) ~ (19) Le téléphone (20) ~ (22) invitations (23) ~ (25) les courses (26) ~ (28) Au Restaurant (29) ~ (30) まとめと復習
 履修上の留意点 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。
 成績評価の方法 試験はいたしません。通常評価で採点します。
 教科書 教材は“BIENVENUE EN FRANCE”よりプリントして学生に渡します。

履修コード	289701
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	出口 雅敏

講義のねらい フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。
 講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2) ~ (4) 発音の基礎 (5) ~ (15) 文法の基礎 (名詞の性・数 / 主語人称代名詞 / 冠詞 / 疑問文・否定文・命令文 / 形容詞 / 縮約 / 動詞の現在時制など) (16) ~ (29) 文法の発展 (目的語人称代名詞 / 中性代名詞 / 比較 / 代名動詞 / 関係代名詞 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について
 履修上の留意点 「仏和辞典」を毎回持参して下さい。*但し、電子辞書やポケット版辞典は不可です。
 成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点(出席状況・小テストなど)によって評価します。
 教科書 金子・猪口・松浦・白石・佐久間『プチポワソン』2008年刊(白水社) 2, 300円+税

履修コード	289711
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	東 辰之介

講義のねらい フランス語初級文法の習得を目的とします。
 講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2) ~ (3) 発音の基礎 (4) ~ (15) 文法の基礎 (主語人称代名詞 / 動詞の直説法現在 / 形容詞の性・数 / 名詞 / 冠詞など) (16) ~ (29) 文法の発展 (疑問代名詞 / 縮約 / 補語人称代名詞 / 比較 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)
 履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。
 成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。
 教科書 藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 2,000円+税, ISBN978-4-560-06083-4
 参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	290301
科目名	フランス語IB (選)
担当者名	菅原 猛

講義の内容・授業スケジュール 既得の英語力を応用してフランス語の初歩を学びながら外国語で書かれた文章の構造を分析して読解力を高めてゆく。その作業は日本語の文章作法を見直すことにも通じてゆくと思われる。
 履修上の留意点 履修した以上、できるだけ最後まで学習する意欲をもちつづけて欲しい。
 成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、各課ごとに行なう練習問題の結果も平常試験として評価の対象にします。
 教科書 鈴木隆芳・中野茂『フランス語文法の単位』2007年刊(駿河台出版社) 2,625円(税込)

外国語

履修コード	290901
科目名	フランス語II (選)
担当者名	桑田 禮彰 <small>くわたのりあき</small>

講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
 講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単に興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
 履修上の留意点 (1) 受講上の諸注意 (2)(3) 新フランスペット事情 (4)(5) 路面電車の復権 (6) (7) 名前とグローバリゼーション (8)(9) 60回目を迎えたカンヌ映画祭 (10)～(29) 夢の職業、他 (30) 復習と今後のフランス語学習について
 成績評価の方法 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
 教科書 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
 参考書等 クリスチャン・ボームルー、荒木善太著『ヴァリエテ・フランセーズ2008』(朝日出版社) 1,995円 ISBN978-4-255-35192-6
 そのつど授業で指示します。

履修コード	286201
科目名	現代を読む中国語
担当者名	塩旗 伸一郎 <small>しおはた しんいちろう</small>

講義のねらい 新聞記事の見出し&リードの速読と、教科書精読の二種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。
 講義の内容・授業スケジュール 「速読」篇はその場で大意を掴む練習、「精読」篇は、「字」から「詞」(=単語)を連想し、文を構造的にとらえる訓練を積む。
 履修上の留意点 精読教材は予習が不可欠。
 成績評価の方法 参考記事や授業に関する情報は下記URLに掲示するので常時チェックすること。
 教科書 <http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>
 参考書等 平常点
 三浦正道・陳祖蓀『セレクト10：時事中国語2008』(朝日出版社) 1600円+税
 その他、参考記事を随時ネット上で採取し、上記URLに掲示。
 辞書は『現代漢語詞典』(中国商務印書館)、『中日大辞典』(大修館書店)、『中日辞典』(小学館)、『講談社中日辞典』を、電子辞書はキヤノン wordtank G90 を推奨する。
 その他 PC教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

履修コード	287101
科目名	中国語スキルアップ
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま ひろいちろう</small>

講義のねらい 実用的な中国語表現の習得を目指すと同時に、各種検定試験への対策を行ないます。頻出する基本構文・語彙を反復学習しつつ、聴き取り・翻訳・作文などの訓練をします。
 講義の内容・授業スケジュール 中国でのインタビューを中心に編集された音声教材を使用し、自然なスピードで話された中国語に毎回触れてもらいます。前期は全12課のテキストを毎回1～1.5課ずつ進め、前期の終わりから後期には、教員が用意した教材により、検定試験の具体的な対策を行ないます。
 履修上の留意点 4分の3以上の出席、失敗を懼れない果敢さを求めます。
 成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。
 教科書 楊達・南勇『リスニング中国I』(朝日出版社、2200円、CD付)。
 参考書等 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。
 その他 検定試験の受験を予定していない学生も、もちろん歓迎します。

履修コード	288201
科目名	中国語コミュニケーションI
担当者名	陳 洲拳 <small>ちん しゅうきよ</small>

講義のねらい 中国語を用いて意思疎通を円滑に進める能力を養う。日常会話の初歩的な表現を口でスムーズに
 応答できるように習得する。

講義の内容・
 授業スケジュール 割とやさしい教科書を使い、学んだ内容を理解し、暗誦できる程度まで繰り返して音読し、そして
 今まで憶えた単語や文型など活用して、日常的な会話を練習する。5課ごとに1回自由会話をを行う。

履修上の留意点 学んだ課の本文の録音をよく聞き、まねをして読み、正確に言えるように練習すること。

成績評価の方法 後期のテストの成績によって評価する。

教科書 陳洲拳他著『中国語耳留学』(隆美出版)2600円(CD2枚付き)

履修コード	289001
科目名	中国語コミュニケーションII
担当者名	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>

講義の内容・
 授業スケジュール 「II」とあるが、レベルは「I」と同じ。大量の口頭練習を行いながら、発音と文法を基礎から
 復習し、徹底的に身につける。予習は必要ないが、毎回の学習内容を必ず次の週に暗誦してもらう。
 かつて中国語IA・IBを履修した、でも内容が身につけているわけではない、という現状の受講生
 を標準とする。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。

成績評価の方法 成績は平常点評価。

教科書 楊凱榮『もったのぼせる中国語』(金星堂)1900円+税 ISBN 978-4-7647-0671-2

履修コード	289801
科目名	中国語IA(選)
担当者名	吉田 建一郎 <small>よしだ たけいちろう</small>

講義のねらい 中国語の基礎力を身につける

講義の内容・
 授業スケジュール (1~6)四声とピンイン(7~14)代名詞、「是」と「不是」、名前・月日・曜日の言い方、疑
 問詞疑問文など(15~19)形容詞述語文、比較文、「在」と「有」、「了」など(20~28)助動詞、補
 語、存現文、使役文、受身文など

履修上の留意点 積極的に練習に参加し、自主的に努力する意志のある方のみ歓迎。

成績評価の方法 平常点(出席状況、積極性)と定期試験をもとに総合的に評価。

教科書 内田慶市等『中国語への道一近きより遠きへー』金星堂、2380円(税別)、978-4-7647-0659-0

履修コード	289811
科目名	中国語IA(選)
担当者名	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>

講義のねらい 中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、
 繰り返し練習します。

講義の内容・
 授業スケジュール テキスト(全12課)に沿って日常会話を練習していきます。5月の連休までに発音の練習をし、その
 後はほぼ授業2回で1課進む予定です。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、6回を越えた
 場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5として合計し、6点以
 内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 上記の出席を前提とした上で、年間4回行う試験で判断します。

教科書 劉穎『1年生のコミュニケーション中国語』(白水社)2,200円(本体)

履修コード	290401
科目名	中国語IB(選)
担当者名	蘭 明 <small>らん めい</small>

講義のねらい 発音と聴力の基本訓練を中心とする。

講義の内容・
 授業スケジュール 前期は最初の一か月(4回に分け)において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その
 後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

履修上の留意点 暗誦と実演などがあり、積極性が求められる。

成績評価の方法 出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書 董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』(朝日出版社)2,835円

履修コード	291001
科目名	中国語II (選)
担当者名	三田村 圭子

講義のねらい 基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。

講義の内容・授業スケジュール ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。
②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点 欠席は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法 前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。本文の暗記も点数に加算する。

教科書 董燕・遠藤光暁著『話す中国語北京篇2』(朝日出版社) 2500円

参考書等 授業開始時に説明する。

履修コード	286301
科目名	現代を読むスペイン語
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい 初級文法および基本語彙を復習しながら、現代のスペイン語圏の政治・社会、文化、芸術、スポーツ、文化についての簡単なテキストを呼んでいきます。またスペイン語を使った情報収集能力を高めます。

講義の内容・授業スケジュール (1) スペイン語圏の衣食住 (1-6)
(2) スペイン語圏の社会(若者像、職業、大学、冠婚葬祭など) (7-13)
(3)文化・余暇(旅行、音楽、映画、スポーツなど) (14-19)
(4)今年の重大ニュース (20-26)
(5) スペイン語の日本に関するニュース (27-30)

履修上の留意点 初級文法修了者対象。
興味関心ももてるテーマを一つでも見つけ、辞書をたよりに貪欲に語彙や慣用表現を増やす努力をしていきましょう。またインターネット等を積極的に活用して日ごろからスペイン語に慣れましょう。

成績評価の方法 毎回の授業参加や演習課題(夏休み1回)そして後期定期試験によります。

教科書 GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社 1200円
テキストは毎回配布します。

参考書等 推薦辞書:『西和中辞典』(小学館)
『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)

その他 講義内容の順序が前後する場合があります。

履修コード	287201
科目名	スペイン語スキルアップ
担当者名	上野 勝広

講義のねらい このクラスでは、スペイン語検定試験(3級・4級)に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール 作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点 前期(1)オリエンテーション(2~5)自動詞・再帰動詞・他動詞の構文、など(6~10)連結動詞の構文、など(11~15)関係節、など後期(16~20)副詞節、など(21~25)受動構文、など(26~30)比較構文、など「継続こそ力なり」です。休まずさばらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法 前期末・学年末試験の結果(60%)と平常点(40%)を総合して評価します。

教科書 小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』(第三書房) 2,500円

履修コード	288301
科目名	スペイン語コミュニケーションI
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

講義のねらい スペイン語を用いて平易な日常会話が可能となるよう、必須の語彙を蓄えさせ、基礎文法の習得を促す。同時にスペイン語圏についての知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール (1) 世界の中のスペイン語・発音とアルファベット (2) 自己紹介をする・動詞SERとESTAR (3) 自己紹介における形容詞の使い方・所有形容詞 (4) 場所と位置関係の表現 (5) 直説法現在規則活用の動詞 (6~7) 曜日と月・数詞 (8~9) 再帰動詞 (10) 直説法現在不規則活用動詞 (11) HABERとESTAR (12) 動詞GUSTAR (13) 食事について (14) 天候の表現 (15) 前期試験 (16) 命令法 (規則活用) (17) 依頼の表現 (18) 現在進行形 (19) 約束をするときの表現 (20) 点過去規則活用 (21) 買い物をする (22) 目的語代名詞 (23~24) 身体各部の名称・病院で・動詞DO LER (25~26) 点過去不規則活用 (27) 線過去 (28~29) 現在および過去の習慣について (30) 後期試験

履修上の留意点 積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。
 成績評価の方法 出席 (20%)、短い作文、発話 (30%)、2回の口頭試験 (50%)。
 教科書 Francisca Castro Viúdez, et al. 『Español en marcha 1,A1. (Libro del alumno)』 (S.G.E.L.)

履修コード	289101
科目名	スペイン語コミュニケーションII
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

講義のねらい スペイン語のやさしい言い回しで心情などが表現できるようにする。過去の出来事の語り方や、未来の計画の立て方を学ぶ。現代のテーマについてスペイン語で意見を述べられるようにする。

講義の内容・授業スケジュール (1~3) 自分について話す (4から6) 評伝を読む (7から9) 習慣と行事 (10~12) 未来の事柄 (13~14) 過去と現在 (15) 前期試験 (16~18) 比較 (19~21) 広告文・求人・買い物 (22~24) 助言をする (25~27) 自由時間・世界のお祭り (28~29) 未来の計画 (30) 後期試験

履修上の留意点 以前に学んだ文法の復習をしっかりとやること。積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法 出席 (20%)、短い作文、発話 (30%)、2回の口頭試験 (50%)。
 教科書 Francisca Castro Viúdez 『Español en marcha 2,A2. (Libro del alumno)』 (S.G.E.L.)

履修コード	289901
科目名	スペイン語IA (選)
担当者名	亀山 晃一

講義のねらい 初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

講義の内容・授業スケジュール
 I. 発音、アクセント、音節 (1~3)
 II. 名詞の性と数、冠詞、主格人称代名詞 (4~6)
 - 前期中間テスト (7) -
 III. 規則動詞、疑問文、否定文 (8~10)
 IV. 形容詞の性と数、動詞 ser と estar (11~13)
 V. hay と estar、指示形容詞、指示代名詞、所有形容詞 (14~15)
 - 前期期末テスト (16) -
 VI. 時刻の表現、基数 (0~29)、直接目的格人称代名詞 (17~18)
 VII. 1人称単数が不規則活用する動詞、天候の表現、疑問詞 (19~20)
 - 後期中間テスト (21) -
 VIII. 語根母音変化動詞、不定詞の用法、序数 (22~24)
 IX. gustar 型動詞、基数 (30~100) (25~26)
 X. 曜日、月、季節 不規則活用の動詞 (27~29)
 - 後期期末テスト (30) -

履修上の留意点 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
 成績評価の方法 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
 教科書 開講時、指示します。

外国語

履修コード	290501
科目名	スペイン語IB (選)
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい 基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏を安心して旅行できるコミュニケーション能力習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1) コースの説明、アルファベット、簡単な挨拶(1)
 (2) 1課：あいさつ、カフェで(発音、アクセント、挨拶、数、名詞の性・数、冠詞など)、 3課：大学で (ser 動詞と estar 動詞(不規則動詞1) (2-5)
 (3) 2課：バス停にて(直説法現在,規則動詞) 4課：どこ出身？(形容詞の性質と用法)(6-9)
 (4) 5-7課：バルにて、夏休みの計画、空港にて(直説法現在,不規則動詞)(10-15)
 (5) 8、9課：歓迎会にて、メキシコにて(gustar 型動詞,目的格を使った構文)(16-19)
 (6) 10課：海にて、太陽の下で(再帰動詞) (20-21)
 (7) 11、12課： エレーナをを思いながら、マラガの散歩 (現在分詞、進行形、過去分詞、完了形)(22-25)
 (8) 13課：ロベルトへのメール(比較級、最上級、命令形)(26-30)

履修上の留意点 文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

成績評価の方法 毎回の出席、授業参加や各期末の達成度チェック(年二回)によります。

教科書 菊田/丹波『Entre dos mundos 二つの世界で』同学社 2700円

参考書等その他 授業で推薦する辞典の中から各自使いやすいものを選び活用しましょう。学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	291101
科目名	スペイン語II (選)
担当者名	佐藤 麻里乃

講義のねらい スペイン語Iで修得した事項の定着をはかり、また新出事項を習得することによりスペイン語力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 前期(教科書前半)は主にスペイン語Iの復習として、直説法現在形を用いた聞き取りや作文の練習を行う。後期(教科書後半)は同様の練習を通して過去形、未来形などを習得する。

履修上の留意点 受講者自身の参加度が重要になるので、できるかぎり欠席をせず、課題には積極的に取り組むこと。

成績評価の方法 授業への取り組み姿勢、課題の出来具合、および前期末・後期末の試験(もしくはレポート)を総合して評価する。

教科書 大森洋子他『Punto y seguido』朝日出版社
辞書も持参のこと。

履修コード	286401
科目名	現代を読むロシア語
担当者名	木村 英明

講義のねらい 1991年のソ連邦崩壊から15年以上が過ぎたロシアは、2000年代に入ってから、豊かな天然資源を基盤に著しい経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源にも恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘める潜在力は看過できないものがある。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

4-7月 様々なスタイルのロシア語を読む。
 9-12月 現代のプーチン体制を読み解く。

履修上の留意点 各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価する。

教科書 プリントを配布する。

参考書等 辞書：研究社露和辞典、岩波ロシア語辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	287301
科目名	ロシア語スキルアップ
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 会話練習。
 簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
 講読した内容について自由会話を行う。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール
 4-7月 初歩の会話を学ぶ。
 9-12月 会話力を高めながら同時にロシア語の文章の理解力を深める。

履修上の留意点
 出席を重視します。

成績評価の方法
 平常点で評価します。

教科書
 教場にて指示します。プリント配布。
 学生の要望も考慮してテキストを選びます。
 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	288401
科目名	ロシア語コミュニケーションI
担当者名	安德 ニーナ

講義のねらい ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
 日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。
 教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール
 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

履修上の留意点
 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法
 安德ニーナ他著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)、「21世紀のロシア語」(大学書林)

教科書等
 必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	289201
科目名	ロシア語コミュニケーションII
担当者名	安德 ニーナ

講義のねらい 日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
 資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール
 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

履修上の留意点
 新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。) 学生のレベルにあわせて、その他の資料を用います。

成績評価の方法
 講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

教科書
 その他

履修コード	290001
科目名	ロシア語IA (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディークラジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれまますので恥ずかしがらないことが大切です。
 4-7月は発音やアクセントに重点をおき、9-12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

テストは行わず、平常点で評価。
 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
 ビデオ、オーディオ等を使用します。
 『露和辞典』

履修コード	290601
科目名	ロシア語IB (選)
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義のねらい アジアからヨーロッパにかけて広がるロシアは、100に及ぶ民族を抱え、歴史的、文化的に多様な、世界の縮図のような国家です。ソ連崩壊後の1990年代は社会的に大変混乱しましたが、今世紀に入ってからは再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とともにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも確実に高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール
 この授業では、4-7月では簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。9-12月ではビデオ等の映像資料も利用する予定です。

履修上の留意点
 外国語の学習は、その外国語を使う国や人々、文化への関心が継続の意欲につながります。受講者各自が、授業を通じて、それぞれの関心と出会えるような能動的な参加を望みます。

成績評価の方法
 試験は行わず、平常点で評価します。

教科書
 桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

参考書等
 学生の関心に応じて、適宜紹介するようにします。
 辞書：白水社パスポート露和辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	291201
科目名	ロシア語II (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

4-7月 発音・会話を学ぶ。
 9-12月 会話力を一層高める。
 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	290101
科目名	朝鮮語IA (選)
担当者名	宋 美玲

講義のねらい 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法 出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 IA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）1,800円＋税

参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

履修コード	290701
科目名	朝鮮語IB (選)
担当者名	宋 美玲

講義のねらい 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法 出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（読んで書こう1）』（白帝社）2,400円＋税

参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

履修コード	291211
科目名	朝鮮語II (選)
担当者名	宋 美玲

講義のねらい 基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。プリント資料による読解・作文の練習とドラマなどの聞き取り練習を通して実践的な習得を目指す。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に基本的な文法や語彙を学習し、表現力を強化していく。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点 韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Iのほうを受講すること。

成績評価の方法 受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

教科書 授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

参考書等 放送大学教材 生越直樹・根本理恵著『韓国語II(02)』（放送大学教育振興会）2,200円＋税
野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円
金美仙著『韓国語用言 活用と用言』（三修社）2,500円＋税

4. 保 健 体 育 科 目

履修コード	195401・195501・195511
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	<small>しまやち かつとし</small> 下谷内 勝利

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の楽しさを知ってもらいたい。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤を築くことを目的としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：スキルテスト
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法
その他の

評価は出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。実技点は実技テストにて判定する。グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

保健
体育

履修コード	195401・195511
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	<small>みつなが たくま</small> 光永 吉輝

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムIIという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムII最大筋力測定
- 3時限目：〃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は 2kg up、女子は 1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は 2kg up、女子は 1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。
出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらぬトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	195401・195511
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	<small>たかねし</small> 高橋 <small>しゆんすけ</small> 俊介

講義のねらい 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点 服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。
成績評価の方法 授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	195401・195501・195511
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	<small>やまぐち</small> 山口 <small>よしひろ</small> 良博

講義のねらい バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム
- 4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム
- 5時限目：ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：ゲーム（リーグ戦）
(バレーボール)
- 7時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム
- 8時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム
- 9時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム
- 10時限目：ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：ゲーム（リーグ戦）
(バドミントン)
- 12時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルスゲーム
- 13時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルスゲーム
- 14時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点 スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。
成績評価の方法 授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195401・195501
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	<small>あきた こういち</small> 秋田 浩一

保健体育

講義のねらい	サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明 2 時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング（グランダー） 3 時限目：インサイドキック、練習ゲーム 4 時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1 5 時限目：インステップキック、リーグ戦2 6 時限目：インフロントキック、リーグ戦3 7 時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4 8 時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5 9～12時限目：基礎技術の応用練習 リーグ戦6～9 13時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦 14時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手のものがよい。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。
そ の 他	雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦注）運動服装は雨天でも持参すること。

履修コード	195401・195501・195511
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	<small>たけだ ゆきお</small> 竹田 幸夫

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるので、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見い出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他の

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

履修コード	195501・195511
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 淳一 <small>えぐち じゅんいち</small>

講義のねらい テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法その他

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。
雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

履修コード	195501・195511
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゅんぺい</small>

講義のねらい ソフトボールを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を習得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：キャッチボール、トスバッティング、ゲーム
- 3時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム
- 4時限目～：総合練習、リーグ戦

履修上の留意点

遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと、シューズで受講してください。

成績評価の方法

出席を重視し、評点の80%とします。
出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。
その他、実技やルール等の小テストの得点、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	195901・196001・196101・196201
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	<small>あゆみ はるみ</small> 三幣 晴三

講義のねらい

室内で行なう球技(バドミントン、ミニサッカー、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2時限目：バドミントン(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3時限目：〃(サービスとリターン、ルールの解説、ダブルス)
- 4時限目：〃(ダブルス)
- 5時限目：〃(〃)
- 6時限目：〃(〃)
- 7時限目：〃(〃)
- 8時限目：〃(〃)
- 9時限目：〃(シングルスの基本)
- 10時限目：〃(シングルスゲーム)
- 11時限目：〃(ルール解説、シングルスゲーム)
- 12時限目：〃(シングルス)
- 13時限目：ミニサッカー
- 14時限目：ミニサッカー
- 15時限目：〃(まとめと評価)

【後期】

- 1時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2時限目：バドミントンゲーム
- 3時限目：〃(リーグ戦)
- 4時限目：〃(〃)
- 5時限目：〃(〃)
- 6時限目：〃(トーナメント)
- 7時限目：〃(〃)
- 8時限目：〃(〃)
- 9時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12時限目：〃(ゲーム)
- 13時限目：ミニサッカー
- 14時限目：〃(ゲーム)
- 15時限目：〃(まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

履修コード	196301
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	村松 誠 <small>むらまつ まこと</small>

講義のねらい 多様な実技種目の中から、体力・技術レベルにあった種目を選び実施することによって、運動の楽しみを感じ取ったり、好ましい運動習慣を身に着けることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 1時限目 オリエンテーション

2時限目 ゲーム

3時限目 ゲーム

4時限目 球技・ゲーム

5時限目 球技・ゲーム

6時限目 球技・ゲーム

7時限目 球技・ゲーム

8時限目 球技・ゲーム

9時限目 球技・ゲーム

10時限目 球技・ゲーム

11時限目 球技・ゲーム

12時限目 球技・ゲーム

13時限目 球技・ゲーム

14時限目 球技・ゲーム

15時限目 まとめ

履修上の留意点

一般的な体育用の服装を用意すること。体育館用シューズを用意すること。

多様な種目の中から、希望により実施をするが、受講条件によっては実施できないものあることを承知すること。

**成績評価の方法
その他**

出席点を最重視する。これに、受講態度・協力実行などを加味して評価する。

曜日・時限によって定員がちがうので注意『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履習すること。

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール） 健康・スポーツ実習（集中授業）（ソフトボール）
担当者名	たかほし しゅんすけ 高橋 俊介

講義のねらい 補強運動、練習及びゲームなどを積極的にを行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

第1日目
午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
第2日目
午前：ゲーム
午後："
第3日目
午前："
午後：審判法・ゲーム
第4日目
午前："
午後："
第5日目
午前："
午後："

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法その他

出席を重視し、総合的に評価する。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）
（後期）1月5日（月）～1月9日（金）
7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

保健体育

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（トレーニング&太極拳） 健康・スポーツ実習（集中授業）（トレーニング&太極拳）
担当者名	光永 吉輝

講義のねらい この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組（24式）あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2～4式となっているが、ここでは、第一組から第四組（11式）までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1日目

午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組（3式）

2日目

午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組（3式）

3日目

午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組（2式）

4日目

午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組（3式）、総合

5日目

午前：体力測定
午後：総合（1～11式）、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

(1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～17日（木）、（後期）1月5日（月）～9日（金）
7月13日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。

(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川校舎

(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。

(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技） 健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）
担当者名	<small>やまぐち よしひろ</small> 山口 良博

講義のねらい

室内で行われるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バスケットボール、バレーボール、フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は、主にゲームを通じて技術の習得、体力の向上を図る。

履修上の留意点
成績評価の方法

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。

授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他の

再クラス 集中授業コース実施について

（1）実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）

（後期）1月5日（月）～1月9日（金）

7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。

（2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

（3）実施場所：玉川校舎

（4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。

（5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球） 健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11～14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

30分以上の遅刻は認めない。

再クラス 集中授業コース実施について

（1）実施期間：（前期）7月13日（日）～17日（木）、（後期）1月5日（月）～9日（金）7月13日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。

（2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

（3）実施場所：玉川校舎

（4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

（5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

該当する担当者・種目が前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

「健康・スポーツ実習（集中授業）開設科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技） 健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠

講義のねらい バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

：オリエンテーション、授業内容の説明

（バスケットボール）

：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け

：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）

：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）

：ハーフコート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）

：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）

：ゲーム（2次リーグ）

（バレーボール）

：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）

：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）

：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）

：ゲーム（トーナメント）

（バドミントン）

：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット

：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール

：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム

：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

成績評価の方法その他

出席を70%で評価する。残りは30%は、受講態度、ゲーム成果、貢献度を加味して評価する。

再クラス 集中授業コース実施について

（1）実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）

（後期）1月5日（月）～1月9日（金）

7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。

（2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

（3）実施場所：玉川校舎

（4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。

（5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳） 健康・スポーツ実習（集中授業）（太極拳）
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスをとり、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点
成績評価の方法
その他

- 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
出席率70%、総合評価30%で行う。
- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）
（後期）1月5日（月）～1月9日（金）
7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川校舎
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

保健
体育

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン） 健康・スポーツ実習（集中授業）（バドミントン）
担当者名	^{まさの しげる} 牧野 茂

講義のねらい	ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基礎的能力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本（回内・回外）</p> <p>1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク（1）（スマッシュ、ドロップ） コート半面のシングルス・ゲーム</p> <p>2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ） サービス、コート半面のシングルス・ゲーム</p> <p>2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク（1）（クリアー、ヘアピン・ショット） サービス、シングルス・ゲーム</p> <p>3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク（2）（ロブ、クロス・ネットショット） シングルス・ゲーム</p> <p>3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー） サービス、シングルス・ゲーム</p> <p>4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（3）（カット、プッシュ） 総合練習、ダブルス・ゲーム</p> <p>4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム</p> <p>5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム</p> <p>5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム</p>
履修上の留意点	ラケットは貸与する。 服装は、一般的な運動服装とする。 体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	成績は、出席（70点）と服装・授業態度等（30点）で評価し、60点以上を合格とする。出欠は、午前・午後の二回確認する。
その他	<p>再クラス 集中授業コース実施について</p> <p>（1）実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木） （後期）1月5日（月）～1月9日（金） 7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。</p> <p>（2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30</p> <p>（3）実施場所：玉川校舎 体育館およびグラウンド</p> <p>（4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。</p> <p>（5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。 該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照</p>

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習〔集中授業〕〔再クラス〕(卓球) 健康・スポーツ実習(集中授業)(卓球)
担当者名	<small>すずき じゅんぺい</small> 鈴木 淳平

保健体育

講義のねらい	1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。 技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技術を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム 2日目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム 3日目：ドライブ(フォアハンド・バックハンド)、スマッシュ、ゲーム 4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦 5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
履修上の留意点	スポーツウェア(上下)、室内用のシューズ着用で受講する。
成績評価の方法	出席を重視し、評点の80%とします。 出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。 その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。
その他	再クラス 集中授業コース実施について (1) 実施期間：(前期)7月13日(日)～7月17日(木) (後期)1月5日(月)～1月9日(金) 7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。 (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30 (3) 実施場所：玉川校舎 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。 (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。 該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。 「健康・スポーツ実習(集中授業)開講科目一覧」参照

履修コード	196501・196502・196503・196504
科目名	生涯スポーツ実習I(前期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習II(前期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習III(前期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習IV(前期・基礎)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等) 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス) 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等) 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウェア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196601・196602・196603・196604
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196701・196702・196703・196704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196801・196802・196803・196804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196901・196902・196903・196904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197001・197002・197003・197004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等)
- 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス)
- 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等)
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウェア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197101・197102・197103・197104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ること数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 - 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 - 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 - 10時限目～14時限目：ゲーム
 - 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- (1) 定員：35名
- (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
- (3) 教場：体育館

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197201・197202・197203・197204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	おおいし たくし 大石 武士

講義のねらい	ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	講義の内容・授業スケジュール 1時限目:オリエンテーション 2時限目:ゲームの進め方、練習ゲーム 3時限目:ゲームの攻め方、守り方、ゲーム 4時限目～9時限目:基礎技術の応用練習、ゲーム 10時限目～14時限目:ゲーム 15時限目:まとめ
履修上の留意点	(1)定員:35名 (2)服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。 (3)教場:体育館
成績評価の方法	評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197301・197302・197303・197304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(簡化太極拳)
担当者名	おおいし たくし 大石 武士

講義のねらい	太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目:オリエンテーション 2時限目:重心の移動・腹式呼吸運動 3時限目:第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅 4時限目:第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱 5時限目:第三組 左攢雀尾・右攢雀尾 6時限目:第四組 単鞭・雲手・単鞭 7時限目:第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚 8時限目:第六組 左下勢独立・右下勢独立 9時限目:第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂 10時限目:第八組 転身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢 11時限目:総合 12時限目:総合 13時限目:総合 14時限目:総合 15時限目:テスト
履修上の留意点	1)定員:45名 2)服装:一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。 3)教場:体育館
成績評価の方法	出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197401・197402・197403・197404		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（簡化太極拳）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（簡化太極拳）	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（簡化太極拳）
担当者名	おおいし たけし 大石 武士		

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet ・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒巻肘
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197501・197502・197503・197504		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（フットサル）
担当者名	たなか よしたか 田中 佳孝		

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
- 7 時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他の

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197601・197602・197603・197604		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（フットサル）
担当者名	田中 佳孝		

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション、ルール説明
 2時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
 3時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
 4時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
 5時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
 6時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
 7時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
 8時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法 基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他 定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197701・197702・197703・197704		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（フットサル）
担当者名	田中 佳孝		

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション、ルール説明
 2時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
 3時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
 4時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
 5時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
 6時限目：ゲーム
 7時限目：ゲーム
 8時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受ける為には2/3の出席日数が必要。

その他 定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197801・197802・197803・197804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（フットサル）
担当者名	田中 佳孝 <small>たなか よしたか</small>

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション、ルール説明
 - 2時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
 - 3時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
 - 4時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
 - 5時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
 - 6時限目：ゲーム
 - 7時限目：ゲーム
 - 8時限目～14時限目：ゲーム
 - 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受けるためには2/3の出席日数が必要。

その他 定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197901・197902・197903・197904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（ダブルダッチ） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（ダブルダッチ） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（ダブルダッチ） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（ダブルダッチ）
担当者名	末次 美樹 <small>すえつぐ みき</small>

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動ある。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
 - 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
 - 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
 - 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
 - 6時限目：5回跳び・10回跳び
 - 7時限目：ターナーの回転・スピード
 - 8時限目：ビデオ学習
 - 9時限目：連続跳び
 - 10時限目：応用
 - 11時限目：応用
 - 13時限目：応用
 - 14時限目：応用
 - 15時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	198001・198002・198003・198004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(ダブルダッチ)
担当者名	末次 美樹

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動ある。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
 - 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
 - 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
 - 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
 - 6時限目：5回跳び・10回跳び
 - 7時限目：ターナーの回転・スピード
 - 8時限目：ビデオ学習
 - 9時限目：連続跳び
 - 10時限目：応用
 - 11時限目：応用
 - 13時限目：応用
 - 14時限目：応用
 - 15時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。
成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	198101・198102・198103・198104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(卓球)
担当者名	村松 誠

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単と言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
 - 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
 - 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
 - 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
 - 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
 - 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
 - 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
 - 8時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
 - 9時限目：シングルスゲーム
 - 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
 - 11時限目：ダブルスゲーム
 - 12時限目：ダブルスゲーム
 - 13時限目：ダブルスゲーム
 - 14時限目：ダブルスゲーム
 - 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198201・198202・198203・198204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（卓球）
担当者名	村松 誠

講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11時限目：ダブルスゲーム 12時限目：ダブルスゲーム 13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：ダブルスゲーム 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の实技テストは行なわない。

履修コード	198301・198302・198303・198304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）
担当者名	末次 美樹

講義のねらい	室内で行う球技（バスケットボール・ドッジボール）を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時間目：オリエンテーション 2時間目：＜バスケットボール＞パス、ドリブル等の基本技術 3時間目：ハーフコート3対3、ゲーム 4時間目：ゲーム（リーグ戦） 5時間目：ゲーム（リーグ戦） 6時間目：ゲーム（リーグ戦） 7時間目：ゲーム（リーグ戦） 8時間目＜ドッジボール＞ルールの説明、キャッチボール等の基本技術 9時間目：ボールコントロール、ゲーム 10時間目：ゲーム（リーグ戦） 11時間目：ゲーム（リーグ戦） 12時間目：ゲーム（リーグ戦） 13時間目：ゲーム（リーグ戦） 14時間目：ゲーム（リーグ戦） 15時間目：まとめと評価
履修上の留意点	実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。
成績評価の方法	出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%とする。個人の实技テストは行なわない。

履修コード	198401・198402・198403・198404
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	末次 美樹

講義のねらい	室内で行う球技(バスケットボール・ドッジボール)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時間目: オリエンテーション 2時間目: <バスケットボール>パス、ドリブル等の基本技術 3時間目: ハーフコート3対3、ゲーム 4時間目: ゲーム(リーグ戦) 5時間目: ゲーム(リーグ戦) 6時間目: ゲーム(リーグ戦) 7時間目: ゲーム(リーグ戦) 8時間目<ドッジボール>ルールの説明、キャッチボール等の基本技術 9時間目: ボールコントロール、ゲーム 10時間目: ゲーム(リーグ戦) 11時間目: ゲーム(リーグ戦) 12時間目: ゲーム(リーグ戦) 13時間目: ゲーム(リーグ戦) 14時間目: ゲーム(リーグ戦) 15時間目: まとめと評価
履修上の留意点	実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。
成績評価の方法	出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	198701・198702・198703・198704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(バスケットボール)
担当者名	牧野 茂

講義のねらい	バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目: オリエンテーション 2時限目: ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1 3時限目: 2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム 4時限目: 2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム 5時限目: 3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦) 6時限目: 4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦) 7時限目: マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 8時限目: マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 9時限目: マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 10時限目: モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 11時限目: モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 12時限目: モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦) 13時限目: 総合練習、ゲーム 14時限目: 総合練習、ゲーム 15時限目: 実技テスト、ゲーム
履修上の留意点	(1) 定員は50名とする。 (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198801・198802・198803・198804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（バスケットボール）
担当者名	牧野 茂

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7時限目：マンツーマン・オフense（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8時限目：マンツーマン・オフense（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9時限目：マンツーマン・オフense（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：モーション・オフense（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：モーション・オフense（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：モーション・オフense（3）ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム
- 14時限目：総合練習、ゲーム
- 15時限目：実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198901・198902・198903・198904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（バスケットボール）
担当者名	牧野 茂

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7時限目：マンツーマン・オフense（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8時限目：マンツーマン・オフense（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9時限目：マンツーマン・オフense（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：モーション・オフense（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：モーション・オフense（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：モーション・オフense（3）ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム
- 14時限目：総合練習、ゲーム
- 15時限目：実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	199001・199002・199003・199004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(バスケットボール)
担当者名	牧野 茂

保健体育

講義のねらい	バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション</p> <p>2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1</p> <p>3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム</p> <p>4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム</p> <p>5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)</p> <p>6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)</p> <p>7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)</p> <p>8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)</p> <p>9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)</p> <p>10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)</p> <p>11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)</p> <p>12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)</p> <p>13時限目：総合練習、ゲーム</p> <p>14時限目：総合練習、ゲーム</p> <p>15時限目：実技テスト、ゲーム</p>
履修上の留意点	<p>(1) 定員は50名とする。</p> <p>(2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。</p> <p>(3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。</p>
成績評価の方法	出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	199301・199302
科目名	生涯スポーツ演習I（シーズン応用）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ）
担当者名	<small>みつたが よして</small> 光永 吉輝 他

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。
 ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
 生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月5日（土）12：20～12：40 2研-209教場
 - 2回目 4月12日（土）12：20～12：40 2研-209教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
 1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月14日（月）13：00～16：10 2研-209教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義

履修上の留意点

- 1日目 9月8日（月）

講義：9：00～12：10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
 実技：13：00～17：30 打撃練習
 ※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月9日（火） 実技・講義：11：00～18：00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他
 - 3日目 9月10日（水） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II
 - 4日目 9月11日（木） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月12日（金） 実技・講義：8：30～13：30 打撃練習・ラウンド・閉校式
- 生涯スポーツ演習I（シーズン基礎・シーズン応用）を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
1. 実習日程：平成20年9月8日（玉川校舎）・9月9日～12日（現地：3泊4日）
 2. 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
 286-0121 千葉県成田駒井野763-1
 電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
 289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
 電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
 3. 定員：40名
 4. 集合解散：
 - (1) 集合 9月8日（月）午前9時 玉川校舎 305教場
 9月9日（火）午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月12日（金）午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
 5. 受講料：35,700円（左記金額には、交通費は含まれない。）
 6. 納入期間：平成20年5月19日（月）～5月31日（土）
 証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書を保健体育部（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
 7. 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
 - (2) ゴルフシューズ（ソフトスパイクに限る）は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- 出席状況、ゴルフの技術的向上、受講態度を総合的に判断して評価する。
 都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階資料室）に連絡すること。
 なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

成績評価の方法
その他

履修コード	199401・199402
科目名	生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（スキー・スノーボード） 生涯スポーツ演習II（シーズン基礎）（スキー・スノーボード）
担当者名	下谷内 勝利 他

保健体育

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。
○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション1回目 4月5日（土）12：20～12：40 2研-209教場
2回目 4月12日（土）12：20～12：40 2研-209教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月9日（金）13：00～16：00 2研-209教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 1月29日（木）
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 1月30日（金）
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 1月31日（土）
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月1日（日）
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月2日（月）
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎／応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成20年1月29日（木）～2月2日（月）の4泊5日（現地集合解散）
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話（0195）73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名（但し、初心者に限る）
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書を保健体育部（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成20年5月19日（月）～5月31日（土）
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能（有料）。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階保健体育部資料室）に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

履修コード	199501・199502
科目名	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）
担当者名	<small>えぐち じゆんいち</small> 江口 淳一

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。
（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）

3日目午後： " " （戦術と応用）

4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5日目午前：トーナメント形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

（1）履修者の技術レベルは問わない。

（2）服装は一般的な運動服装とする。

（3）テニスシューズを必ず用意すること。

（4）ラケットは貸与する。

成績評価の方法その他

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

（1）実施期間：7月13日（日）～17日（木）

7月13日更衣の上、午前10時にテニスコート集合

（2）実施時間：午前10：00～12：00

午後13：00～15：30

（3）実施場所：玉川グラウンドのテニスコート

（4）定 員：40名とする。

（5）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』

は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

特・4時限（前期）

履修コード	199701・199702
科目名	生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）
担当者名	<small>みなと はるみ</small> 三幣 晴三

保健
体育

講義のねらい	ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。 本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。 生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。
講義の内容・ 授業スケジュール	1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習） 講義：スイングの基本 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習） 講義：マナーとエチケット 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習） 講義：ゴルフルール 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習） 講義：ゴルフコースとラウンドについて 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）
履修上の留意点	（1）服装：一般的な運動服装（セーター・ウィンドブレーカーも天候によっては必要） （2）グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。
成績評価の方法 その他	出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。 （1）実施期間：1月5日（月）～9日（金） 1月7日午前10時に玉川校舎集合 （2）実施時間：10：00～12：00 13：00～15：30 （3）実施場所：玉川校舎グラウンド （4）費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。 （5）定員：40名 （6）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

履修コード	200801
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	<small>たかはし しゆんすけ</small> 高橋 俊介

講義の内容・ 授業スケジュール	健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、また現在のスポーツがどのような変革の道を進んで今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立てるものである。 I 1時限目：運動はなぜ必要か 2時限目：人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動 3時限目：一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動 4時限目：体育によってどのような教育が考えられるか 5時限目：学校体育による教育 6時限目：社会体育による教育 7時限目：生涯体育による教育 8時限目：現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか 9時限目：実用の面から生まれてきた運動 10時限目：健康の面から生まれてきた運動 11時限目：ホモルーデンスの面から生まれてきた運動 II “レポート提出” 授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。 12時限目：（例）スポーツの文化性、芸術性について 13時限目：（例）スポーツマン精神について 14時限目：（例）大衆スポーツ論 15時限目：（例）スポーツと政治
成績評価の方法	出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

履修コード	200901
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	<small>みつなが よしてる</small> 光永 吉輝

講義のねらい

健康と長寿を願う心は、太古の昔より人類普遍の願望であるが、日常生活においては自分が現在健康である事を意識して行動している人は少ないのではないだろうか、病気やけがをしてはじめて健康の重要性を知るのではなく、常日頃から健康を意識し健康に関心の目を向けることが必要である。

文明先進国における疾病や運動不足に起因するさまざまな健康阻害を、スポーツ医学の面から人体を運動器としてとらえ、骨格、筋肉、靭帯を中心に、頭部、体幹、手、足と各部の身体的特長や、その欠点とスポーツ障害について講義する。

自己や他人の生命そして健康は何物にもまして大切なものである事の理解を深める事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：講義の概要説明
- 2時限目：骨格と障害 1) 頭蓋
- 3時限目： " 2) 体幹
- 4時限目： " 3) 体幹
- 5時限目： " 4) 下肢
- 6時限目： " 5) 下肢
- 7時限目： " 6) 上肢
- 8時限目：身体運動と健康
- 9時限目：運動不足の害
- 10時限目：運動の効果・骨と健康
- 11時限目：トレーニング論 1)
- 12時限目：トレーニング論 2)
- 13時限目：運動と栄養
- 14時限目：健康管理
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席および筆記試験によって行なう。またレポートなど提出物によって試験に変える場合もある。
毎時限資料は配布する。
医学面の人体解剖図などその他必要な資料は、こちらで配布する。

履修コード	201201
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

保健体育

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：講義内容の説明
- 2時限目：体育の概念
- 3時限目：身体運動と体育運動
- 4時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7時限目：一次救命処置
- 8時限目：一次救命処置実習
- 9時限目：出血多量、ショック
- 10時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14時限目：体力について
- 15時限目：テスト

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等

日頃から新聞・雑誌等の応急手当に関連する記事に目を通しておくこと。
出席・実習および学期末試験で評価する。

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カツサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急一応急手当の手引き一』（小学館）700円

その他の

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

履修コード	201401
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的な前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何かI
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何かI
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論I
- 10時限目：同 II
- 11時限目：同 III
- 12時限目：同 IV
- 13時限目：同 V
- 14時限目：健康のまとめ
- 15時限目：スポーツ論のまとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

毎時限配布するプリントを重視して進める。
出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。
特に指定するものはない。

その他

『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）
講義形式を基本とし、必要に応じてビデオや実技も加える。

履修コード	201601
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	村松 誠

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10時限目：飲酒と健康
- 11時限目：ストレスと健康
- 12時限目：食べ物と健康
- 13時限目：運動と健康
- 14時限目：環境と健康
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法
教科書

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	201801
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	モトノ シげる 牧野 茂

講義のねらい	現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：目的と課題の把握 アンケートとその解説 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格 3 時限目：健康とは何か（2） 身体的健康、精神的健康 4 時限目：健康とは何か（3） 社会的健康 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説 6 時限目：健康の成立条件 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得 9 時限目：WHOの総合健康指標 10時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養 11時限目：日常生活と健康（2） 休養・睡眠 12時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康 13時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核 14時限目：感染症について（2） 性行為感染症 15時限目：筆記試験
成績評価の方法	数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。60点以上を合格とする。
教科書	教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。
参考書等	「健康科学-知っておきたい予防医学-」（丸善） 「ライフスタイルと健康の科学」（不昧堂出版） 他は、講義のなかで紹介する。

履修コード	202001
科目名	余暇学
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一

講義のねらい	世界のサッカーをリードするヨーロッパ。特にオランダ、イタリア、ドイツ、イングランドの現状と将来について考える。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション 2 時限目：ヨーロッパサッカーの歴史 3 時限目：オランダサッカーの現状 4 時限目： " の考え方 5 時限目：イタリアサッカーの現状 6 時限目： " の将来 7 時限目：ドイツサッカーの現状 8 時限目： " の将来 9 時限目：イングランドサッカーについて 10時限目：フランスサッカーについて 11時限目：ヨーロッパのクラブの運営と組織について 12時限目：東ヨーロッパ・トルコのサッカーについて 13時限目：オランダサッカーの実習 14時限目：イタリア " 15時限目：まとめ レポート提出
履修上の留意点	講義は教室で、実習は主として第1体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。
成績評価の方法	出席点30%、平素の学習態度と授業内の小レポート、小テストの評価30%、課題のレポート提出が40%で成績評価する。

履修コード	202201
科目名	余暇学
担当者名	<small>みねさ いろは</small> 三幣 晴三

講義のねらい

人間にとっての余暇の意義を特にスポーツと健康の両面から説き明かす。特にスポーツについては世界と日本の現状を説明しながらそのときどきの話題に触れて考える。健康については、実技を交えて説明し、どうしたら健康な生き方ができるかを考える。教科書はないが授業で配布するプリントを中心にして授業を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1時限：オリエンテーション<授業の進め方>
- 第2時限：スポーツの歴史と現在
- 第3時限：人間とスポーツ<ホモ・ルーデンス>
- 第4時限：〃
- 第5時限：ワールドスポーツの現状<ワールドカップ・オリンピック>
- 第6時限：〃
- 第7時限：日本のスポーツの現状
- 第8時限：〃
- 第9時限：My Exercise のすすめ
- 第10時限：My Exercise の実践<実技>
- 第11時限：体操競技の歴史と現状
- 第12時限：〃
- 第13時限：駒澤大学スポーツの歴史と現状
- 第14時限：人生と健康
- 第15時限：総合テスト

履修上の留意点

毎時限出席は取るが、それだけでは単位認定はできない。ときどき実施する小テストと最後に行う総合テストの成績も重要である。

成績評価の方法
教科書等
参考書等

出席は毎時限とるが、出席と小テスト・総合テストを総合的に評価して単位認定を行う。
特になし
特になし

Ⅱ. 専門教育科目

経営学科フレックスA

履修コード	135901・136001
科目名	経営学
担当者名	藤原 篤志

講義のねらい 中学・高校の授業において「公民」、「現代社会」、「政治経済」、「商業」等を学習したことがあると思われるが、一つの学問・授業として「経営学」を学ぶ機会はほとんどなかったであろう。経営学部においては2年次以降専門的な科目を履修していくことになる。そこでそういった専門科目の学習に入る前に、本講義では経営学の各分野における基本的用語・内容、概念および理論について解説を行いたい。もちろん受講者は経営学の初心者であるから、上記の内容の解説の際には、極力黒板に書き、実例・具体例を用いてなるべく平易な講義にしたいと考えている。講義を担当する者としては、経営学の基礎の勉強を通じて、企業や経営に少しでも関心を持ち、今後の専門科目の履修・学習につなげてもらえれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール 以下のテーマ・スケジュールで講義を行なう。①経営学とは(第2回) ②企業形態(第3～6回) ③経営財務(第7～8回) ④経営組織(第9～14回) ⑤経営戦略(第15～16回) ⑥経営労務(第17～19回) ⑦生産管理(第20～22回) ⑧マーケティング(第23～26回) ⑨企業経営の国際化(第27～28回) ⑩コーポレートガバナンス(第29回) ⑪企業の社会的責任(第30回)

履修上の留意点 本講義では板書を頻繁に行なうが、板書される内容以外にも各自重要な事は積極的にノートをとること。また授業中の私語、携帯電話の音、その他受講態度が不良な者は即座に教場から退室してもらう。このように授業環境の維持には特に厳しいので注意すること。

成績評価の方法 主として期末試験による。その他、レポートや小テストを行なうこともある。
教科書 教科書は指定しないが、講義において最新の参考書を紹介する。

専門教育

履修コード	136011
科目名	経営学
担当者名	石名坂 邦昭

講義のねらい 経営学の専門用語を理解し、他の専門科目との関連を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 経営学の発達を学び、対象とする企業の機能に沿い、それぞれの機能を理解してもらう。
 第1回～第3回 経営とは何か、経営学の発達。
 第4回～第5回 経営と管理
 第6回～第8回 組織と経営
 第9回～第11回 生産と経営
 第12回～第15回 人と経営
 第16回～第19回 財務と経営
 第20回～第24回 マーケティングとは何か
 第25回～第27回 国際経営とは何か
 第28回～第30回 経営戦略とは何か

成績評価の方法 前期、後期の定期試験に出席を加味する。
教科書 授業時に指示する。
参考書 授業時に指示する。

履修コード	134901・135011
科目名	経済学概説
担当者名	羽鳥 茂

講義のねらい 経済現象を理解するための基礎的な考え方を身につけることを目標として、多様な具体例に即して講義を進めます。情報・契約・組織のミクロ経済学の研究領域を主に取り上げます。2年次以降の講義やゼミでの有用な概念や分析ツールの理解に役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール (1)現代経済学の新動向と課題(2～5) 経済取引と隠された行動(6～7) 期待効用定理と最適リスク・シェアリング(8～12) 経済取引と隠された情報(13～15) インセンティブを考慮した契約・ルール(16～19) 隠された情報への対応(20～24) コーポレート・ガバナンス入門(25～30) マクロ経済とデフレ、日銀の金融政策、バブル

成績評価の方法 後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教科書 清水克俊・堀内昭義『インセンティブの経済学』2003年刊(有斐閣)3200円
参考書 ジョン・マクミラン『市場を創るーバザールからネット取引までー』瀧澤弘和・木村友二訳、2007年刊(NTT出版)3400円

履修コード	135001
科目名	経済学概説
担当者名	新井 泰弘 <small>あらい やすひろ</small>

講義のねらい	本講義では、経済学の基礎的な概念や考え方を学び、それらを使って現実の経済問題を理解する力を養う事を目的としています。前期はミクロ的な視点から、後期はマクロ的な視点から経済の動きについて学びます。
講義の内容・授業スケジュール	前期のミクロ経済学では、各消費者や生産者の経済行動を分析し、それをもとにして市場の機能を説明するものです。 (前期) 1. 経済学とは何か?, 2~4. 市場機能の働き (1) 需要曲線と供給曲線, (2) 市場の均衡, (3) 価格の変化, 5~7. 消費者の行動理論 (1) 予算制約式と無差別曲線, (2) 効用最大化問題, (3) 需要曲線の導出, 8. 中間試験, 9~11. 生産者の行動理論 (1) 生産関数と費用関数, (2) 利潤最大化問題, (3) 供給曲線の導出, 12~13. 一般均衡と資源配分, 14. 独占の理論, 15. 期末試験 後期のマクロ経済では個々人の行動ではなく、特に市場全体の動きに注目して経済の動向を分析します。 (後期) 1. マクロ経済学とは?, 2~4. GDPの概念, 5~6. GDPの決定: 財市場分析, 7. 中間試験, 8~9. 金融市場分析 (1) 貨幣需要, (2) マネーサプライ, 10~11. GDPの決定: IS-LM分析, 12. 財政・金融政策の効果, 13. 総需用と総供給, 14. インフレーション・デフレーション, 15. 期末試験
履修上の留意点	授業に出席するだけでなく、教科書や参考文献を読んで自分の頭で考える事が重要になります。わからない事柄をそのままにして進まないように気をつけてください。
成績評価の方法	成績は中間試験と期末試験によって評価します。
教科書	スティグリッツ著、藪下史郎他訳『ミクロ経済学』(東洋経済新聞社) 伊藤元重著『マクロ経済学』(日本評論社)
参考書等	授業内で適宜指示します。

履修コード	135811
科目名	簿記学
担当者名	猿山 義広 <small>さるやま よしひろ</small>

講義のねらい	この講義の目的は、簿記の基本原則と企業簿記の一巡について理解することにある。簿記の知識は、すべての人にとって有用だが、とりわけ経営者にとっては必須の知識と言ってよい。この講義を通じて、企業の財政状態や経営成績をより正確に記録し把握できるようになるだろう。
講義の内容・授業スケジュール	第1回 簿記の基本原則, 第2回 簿記一巡の手続, 第3回 試算表と精算表, 第4回 現金と預金1, 第5回 現金と預金2, 第6回 商品売買1, 第7回 商品売買2, 第8回 商品売買3, 第9回 債権・債務1, 第10回 債権・債務2, 第11回 手形1, 第12回 手形2, 第13回 第1回から第12回までのまとめ, 第14回 有価証券, 第15回 貸倒損失と貸倒引当金, 第16回 固定資産, 第17回 費用・収益の見越しと繰延べ, 第18回 決算1, 第19回 決算2, 第20回 純資産と税金, 第21回 帳簿と伝票1, 第22回 帳簿と伝票2, 第23回 株式会社会計1, 第24回 株式会社会計2, 第25回 本支店会計, 第26回 第14回から第25回までのまとめ, 第27回 復習テスト1, 第28回 復習テスト2, 第29回 復習テスト3, 第30回 本試験
履修上の留意点	簿記では、会計処理や記帳法の技術を習得することが重要なので、授業においては可能なかぎり計算問題を解くようにしたい。講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。
成績評価の方法	年間で6回行う授業中の小テストを20%、本試験を80%のウエイトで評価を行う。本試験は電卓以外の参照は一切不可なので、注意してほしい。
教科書	毎回プリントを配布するので、とくに指定する教科書はないが、計算問題については日商簿記3級商業簿記および2級商業簿記の過去の検定試験において出題された問題を参考にしてほしい。プリントは毎回配布するので、きちんと保存するようにしてほしい。
参考書等	個々の項目の内容については、中央経済社や税務経理協会が発行している日商簿記3級商業簿記および2級商業簿記のテキストが参考になる。また、問題の解法については、専門学校が編集・発行しているテキストに詳しく説明されているので、そちらを参照すること。
その他	少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。プリントは大切に保存してほしいが、もし紛失してしまったときは遠慮なく申し出ること。最後まであきらめることなく、粘り強く勉強してほしい。

履修コード	135201
科目名	簿記学
担当者名	高田 光明 <small>たかだ みつあき</small>

講義のねらい 企業が元手となる資本を調達したり、調達資本で商品を仕入れて販売するといった営業活動を実施すると、企業資本が増減変化する。こうした資本の動きを把握するために必要とされるのが、複式簿記である。

講義の内容・授業スケジュール 複式簿記を学ぶ簿記学は、大学に於ける会計関係の科目を履修する基礎・出発点としての位置にある。簿記学のような性格に配慮し、この授業では、受講者が、会計関係の諸科目をこれから学んでいける発展性のある学力を身に付けられることを目指す。そのためには、複式簿記を理論的に理解できるようにする必要があるため、会計学との関連に留意しながら授業を行う。

この授業では、複式簿記について、その基本構造と、帳簿の開始記入時から決算手続きを経て帳簿の締切り手続きに至る一巡の主要手続きを系統的に理解できるようになることをまず主眼とする。そこで、次の順番で授業を進めていく。

(1) 簿記の学び方、(2) 資本と資産、(3～5) 勘定の記入、(6～8) 取引の分解、(9～10) 収益と費用、(11～12) 仕訳と転記、(13) 試算表、(14～15) 精算票と財務諸表、(16～17) 決算と決算手続、(18～20) 商品売買、(21) 現金・預金、(22～23) 売掛金・買掛金、(24～25) 手形、(26～28) その他の取引、(29～30) 決算整理

履修上の留意点 簿記の学習には、記帳練習が不可欠である。授業中にあるいは宿題の形で課す記帳練習のノルマを果たし、簿記の仕組みを言わば体得するという姿勢も大事である。

成績評価の方法 中間と期末に実施する試験（それぞれ50%ずつ）により評価する。
教科書 沼田嘉穂著『簿記教科書』、同著『簿記教科書・記帳練習帳』（同文館）

専門教育

履修コード	135101・135701
科目名	簿記学
担当者名	小田 幹雄 <small>おだ みきお</small>

講義のねらい 簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

履修上の留意点 簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法 講義時のテストおよび、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意をすること。

教科書 羽瀧信宏監修『簿記テキスト—商業簿記—初級編』（共栄出版）2,000円程度
中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウェーブ）1,524円＋税

履修コード	135401・135601・135801
科目名	簿記学
担当者名	水野 恵子 <small>みずの けいこ</small>

講義のねらい 初めに簿記を学ぶ学生を対象に、簿記の基本原則を解説する「簿記入門」の授業です。この講義では、簿記検定3級程度の知識の習得を目的とします。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 簿記を学ぶにあたって | 1. 現金・預金 |
| 2. 簿記上の取引と勘定 | 2. 仕入・売上 |
| 3. 取引の仕訳 | 3. 手形 |
| 4. 勘定への転記 | 4. 債権・債務 |
| 5. 試算表の作成 | 5. 有価証券 |
| 6. 精算表の作成 | 6. 固定資産 |
| 7. 決算手続 | 7. 資本金 |
| | 8. 貸倒償却費の計算 |
| | 9. 減価償却費の計算 |
| | 10. 収益と費用の見越・繰延 |
| | 11. 8けた精算表の作成 |

履修上の留意点 簿記は、練習問題を多く解くことで力がつきます。そのため、授業の復習は不可欠です。検定合格には、一步一步の努力が重要です。授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法 前期と後期の定期試験、講義の際の小テストの点数を基本に評価します。出席状況も考慮します。
教科書 『日商簿記検定テキスト基本問題集三訂版3級』、実教出版 650円 ISBN4-407-04623-6
参考書等 『簿記テキスト』羽淵信宏 岩谷伸一監修 共栄出版 1,845円
その他 必要に応じてレジュメを配布します。

履修コード	135301
科目名	簿記学
担当者名	大野 満奈 <small>おのの まんな</small>

講義のねらい 簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 前期
1. 簿記・会計の意義と目的, 2. 企業の財政状態－貸借対照表, 3. 企業の経営成績－損益計算書, 4. 取引と仕訳, 5. 勘定記入と元帳の締め切り, 6. 帳簿・伝票・証ひょう, 7. 試算表の作成(1), 8. 精算表の作成(2), 9. 現金・預金, 10. 小口現金, 11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳, 12. 総合復習, 13. 総合復習
- 後期
1. 商品有高長, 2. 売掛金・買掛金と人名勘定, 3. 有形固定資産の取得と売却, 4. 資本金と引出金, 5. 試算表の作成(2), 6. 売上原価の計算と決算仕訳, 7. 貸し倒れの見積りと減価償却, 8. 精算表の作成(2), 9. 有価証券, 10. 手形取引, 11. 費用・収益の見越しと繰り延べ, 12. 精算表の作成(3), 13. 総合復習

履修上の留意点 簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法 試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。
教科書 『要点整理 日商簿記検定練習問題』3級(一橋出版)

履修コード	135501
科目名	簿記学
担当者名	やじま ただし 矢島 正

講義のねらい この講義は簿記をはじめて学習する学生を対象とし、通年で日商簿記検定3級程度の知識を身につけることを目的としています。

簿記とは日常の経営活動を帳簿に記録、計算、整理して企業の財政状態及び経営成績を的確に把握する技術です。この技術によって、企業の経営管理及び経営計画が可能となります。よって、経営者及び利害関係者にとって、簿記は必要不可欠な技術であると考えられます。問題意識をもって積極的な姿勢で受講することを強く望みます。

1. 簿記の基礎概念, 2. 簿記一巡, 3. 現金預金取引, 4. 小口現金, 5. 商品売買取引, 6. その他の債権債務, 7. 手形取引, 8. 有価証券, 9. 固定資産, 10. 資本, 11. 決算

必ず電卓を用意してください。

出席、小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

成川正晃、中村壽男著『解いて合格！日商簿記検定3級』早稲田教育出版
 染谷恭次郎、新井清光、岡本清監修『新検定簿記講義3級 商業簿記』中央経済社

是非、日商簿記検定3級を目指してみてください。教科書は問題中心のものを使用しますが、各項目ごとに出来るだけ丁寧に説明していきます。ただ、テキストも購入して勉強していただければ、より効率があがると思われます。市販されているテキストで自分にあうものをご購入してください。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

履修コード	136101・136211
科目名	会計学
担当者名	きしだ なるよ 岸田 隆行

講義のねらい 経済活動において、会計は必須の技術である。本講義では、会計の必要性および機能を理解するために、会計の各専門領域について広く浅く講義を行っていく。2年次以降に履修する各会計科目の基礎となる科目であるので、会計の考え方について、本講義でしっかりと理解をしてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

<p>前期</p> <p>① 会計とはなにか</p> <p>② 会計の基礎</p> <p>③ 複式簿記</p> <p>④ 会計基準(1)</p> <p>⑤ 会計基準(2)</p> <p>⑥ 財務会計(1)費用・収益</p> <p>⑦ 財務会計(2)資産</p> <p>⑧ 財務会計(3)負債</p> <p>⑨ 財務会計(4)資本</p> <p>⑩ 連結会計</p> <p>⑪ 国際会計</p> <p>⑫ 中間試験</p>	<p>後期</p> <p>① 原価計算(1)</p> <p>② 原価計算(2)</p> <p>③ 原価計算(3)</p> <p>④ 管理会計(1)</p> <p>⑤ 管理会計(2)</p> <p>⑥ 管理会計(3)</p> <p>⑦ 経営分析(1)</p> <p>⑧ 経営分析(2)</p> <p>⑨ 税務会計(1)</p> <p>⑩ 税務会計(2)</p> <p>⑪ 監査(1)</p> <p>⑫ 監査(2)</p>
--	---

履修上の留意点 会計を習得するためには理論を理解した上で、実際に自分の手を動かして、計算をしてみることが必要である。講義では理論を説明した後に、計算問題を解くことによって、理解を深めていく。したがって、本講義を受講するにあたっては、必ず電卓を持参すること。

成績評価の方法 中間試験30点、定期試験70点によって評価する。また、講義中に課すレポートや小テストの結果を加味する。

教科書 教科書は指定しない。毎回プリントを配布する。

参考書等 適宜紹介する。

履修コード	136201
科目名	会計学
担当者名	岩瀬 昭子

講義のねらい 会計の目的は、一般的に複式簿記の手法等によって、組織（主に企業）の経営成績および財政状態を明らかにして、企業を取り巻く利害関係者に会計情報を提供することにあります。簿記学は主に帳簿記入のルールを学習するのに対し、会計学は主に理論的なフレームワークや会計制度を学習します。会計学は、組織（主に企業）の経営活動を貨幣金額で表したデータの意味を理解することに役立ちます。本講義では、会計学を経済社会の動きとも関連して学習します。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. ガイダンス、総論
 2. 会計の仕組み
 3. 企業会計の理論的特徴（会計公準・会計原則）
 4. 企業会計制度
 5. 資産会計
 6. 負債会計
 7. 資本金会計
 8. 損益会計
 9. 財務諸表の作成
 10. 連結財務諸表

履修上の留意点 簿記学と平行して受講すると、会計学を理解することが容易になります。
成績評価の方法 中間試験、期末試験、出席、小テスト、受講態度などを総合的に評価します。
教科書 『現代会計学〔第9版〕』、新井清光著・川村義則補訂、中央経済社、2,600円＋税

履修コード	136251
科目名	市場戦略概説
担当者名	兼村 栄哲

講義のねらい 企業は市場に対して戦略的に対応することが必要不可欠である。たとえ、いかに有能な人材、すぐれた生産設備、豊富な資金力、高い技術力等を有していたとしても、その商品を通じて市場のニーズを充足し、競争相手よりも高い価値を提供することによって、市場から高い支持を獲得することができなければ、存続していくことは不可能である。

本講義は、市場に対する企業の戦略的な対応のあり方について、マーケティング・マネジメント論を中心に説明していく。そのねらいは、各履修者が、マーケティング・マネジメント論における基本的な概念ないし理論などを正確に理解し、市場に対する企業の戦略的な対応のあり方について、自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- (1) マーケティングの意義 (2～5) 基本的な用語の整理（市場、競争、戦略・戦術、ニーズ・欲求、商品、生産者・商業者・消費者、生産財・消費財など） (6～7) マーケティング・コンセプト (8) 企業におけるマーケティングの役割 (9～11) マーケティング・マネジメント (12) マーケティング・リサーチ (13～16) 製品政策 (17～18) 価格政策 (19～22) プロモーション政策 (23～26) チャネル政策 (27) 国際マーケティング (28) サービス・マーケティング (29) 産業財マーケティング (30) 非営利組織のマーケティング

履修上の留意点

- 1 授業環境の維持に注力する。授業中の私語や携帯電話の音など、受講態度が不良の学生は、即座に教場から退出させる。
- 2 講義中に印刷物を配布することがあるが、この印刷物は当該講義時間内にしか配布しない。やむを得ない事情により、印刷物配布時に欠席した場合には、次回講義までに知人に印刷物をコピーさせてもらうこと。

成績評価の方法 テスト 90点
 出席状況 10点

教科書 なし

参考書等 宮澤永光・亀井昭宏（監修）『マーケティング辞典』〔改訂版〕（同文館）2003年、2,940円、ISBN：4-495-63492-5。
 その他については、適宜紹介する。

履修コード	140201
科目名	経営組織論
担当者名	日野 健太

講義のねらい	組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのための基本概念と思考方法を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。この講義は、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、配慮する。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるようにする。 講義の対象と回数は以下の通り 1. 組織論における組織観と人間観(4) 2. モチベーション(4) 3. リーダーシップ(4) 4. 組織文化(3) 5. 組織の環境適応(5) 知識創造理論(1) その他まとめや中間テスト(3)
履修上の留意点	どうすればうまく学べるか、を意識して講義に参加すること。試験前に困っている友達にノートを貸して、講義の内容を教えてあげられるようになれば完璧。
成績評価の方法	後期の授業開始日に中間試験を行う。このテストのウエイトが40%程度、学年末の定期試験のウエイトが60%程度。大まかには、この二つが成績を決める。中間試験を欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。
教科書等 参考書等	金井壽宏『経営組織』(日経文庫) 桑田・田尾『組織論』(有斐閣) 大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』(創成社) 田尾『モチベーション入門』(日経文庫) 経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』(中央経済社)などもなにかと重宝である。
その他	大学の e-learning サイト YeStudy で出席をとったり教場で配布した配布物を入手できるようにする予定。教場には、想像力を持参すること。

履修コード	136301
科目名	経済原論
担当者名	あかし ひろゆき 明石 博行

講義のねらい

本講義では、資本制の経済社会（資本制経済）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。資本制社会は、近代から現代にかけて生まれ、発展し、変化してきた、現代世界における支配的な経済社会です。この講義では、この資本制社会について、そこにはどのような経済的な仕組みと法則があるのか、資本制社会の思想・法律・政策などは経済の仕組みや法則によってどのように影響され制度化されるのか、社会的に埋め込まれた諸制度によって資本制経済はどのような変容を受けるのか、について説明します。資本制経済の仕組みや法則に関する基礎認識および資本制社会に関する概括的な認識を得られるよう援助することが、この講義の基本的な課題です。

講義の内容・授業スケジュール

序論的な解説を行う序章ののち、(1) 市場 (2) 貨幣の資本への発展 (3) 資本と労働 (4) 資本の蓄積と再生産 (5) 資本の流通 (6) 資本と利潤 (7) 資本の諸姿態 (8) 資本制社会における市民・階級・階層、という8つの章からなる本論について、その第1章から4章までに重点をおいて授業をします。講義予定のおおまかなスケジュールは以下のとおりです。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 第1回 講義紹介 | 第2章 貨幣の資本への発展 |
| 序章 経済社会学と経済原論 | 第17回 資本の一般的定式とその矛盾 |
| 第2回 経済社会学と経済学 | 第18回 商品の購買と消費 |
| 第3回 科学的社会主義の学説 | 第3章 資本と労働 |
| 第4回 科学的社会主義の知的遺産 | 第19回 資本による生産と労資型生産様式 |
| 第5回 経済社会把握の基本 | 第20回 剰余価値を増大させる諸方法 |
| 第6回 伝統的な経済観と経済学 | 第21回 賃金制度 |
| 第7回 経済学の拡張と展開 | 第4章 資本の蓄積と再生産 |
| 第8回 資本制の社会と経済 | 第22回 資本の蓄積と再生産 |
| 第1章 市場 | 第23回 雇用と失業 |
| 第9回 商品の二面的性格 | 第24回 身分階層型生産様式と階層分化 |
| 第10回 商品価値 | 補章 資本の流通と資本の諸姿態 |
| 第11回 商品の価値形態と物神的性格 | 第25回 資本の流通 |
| 第12回 交換過程 | 第26回 資本と利潤 |
| 第13回 貨幣の諸機能 | 第27回 商業・信用・地代 |
| 第14回 貨幣制度 | 第28回 資本制社会における市民・階級・階層 |
| 第15回 インフレとデフレの基礎理論 | |
| 第16回 市場型生産様式と市民社会 | |

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

講義に出席し、ノートをとる必要があります。
出席点、レポート、年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。
教科書は使用しません。講義時に毎回プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。
なお参考書として、大谷禎之介『図解・社会経済学』（桜井書店）3,000円＋税も使用します。

履修コード	136402
科目名	近代経済学
担当者名	たぎた こういち 滝田 公一

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業や産業についての経済学的分析を取り扱います。

講義の内容・授業スケジュール

第1回 産業組織論とは？、第2回 企業の理論、第3回 産業の分類と集中度、第3回 完全競争と厚生経済学、第5回 独占、第6回 ゲームの理論I、第7回 寡占理論、第8回 ゲームの理論II、第9回 寡占の動学理論、第10回 製品差別化、第11回 垂直的統合と垂直的制約、第12回 水平合併、第13回 産業規制の経済理論、第14回 自然独占

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

経済学概説の知識、特に、ミクロ経済学の知識があると役に立ちます。
学年度末の筆記試験で評価します。

特に、指定しません。

Church and Ware, Industrial Organization, McGraw-Hill, 2000.

Carlton and Perloff, Modern Industrial Organization, HarperCollins, 1994.

ロジャー・クラーク『現代産業組織論』（多賀出版）1989年

新庄浩二ほか『産業組織論』（有斐閣ブックス）1995年

履修コード	142201
科目名	財務会計論
担当者名	山田 純平 <small>やまだ じゆんぺい</small>

講義のねらい	この講義では、企業活動がどのようなルールに従って、外部利害関係者に報告されているかについて主に解説します。詳細な会計ルールをおぼえることよりも、会計ルールがどのような考え方に基づいているか、なぜそのような考え方をとるのかといった点について重点的に説明するつもりです。この講義を受講することにより、財務会計に関する新聞記事の内容を検討できるとともに、各企業が公表している有価証券報告書が分析できることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	第1～2回：会計の目的と役割 第3～5回：複式簿記のシステムと資産評価の考え方 第6～7回：企業の設立と資金調達の会計 第8～12回：仕入・生産・販売活動の会計 第13～15回：設備投資と研究開発の会計 第16～18回：資金運用の会計 第19～20回：国際活動に関する会計 第21～22回：税金と配当に関する会計 第23～25回：財務諸表の作成と公開 第26～30回：企業集団の財務報告、財務諸表による経営分析
履修上の留意点	簿記学と会計学を履修していることが望ましいです。
成績評価の方法	期末試験65%、小テスト25%、出席10%。
教科書	桜井久勝・須田一幸『財務会計・入門』有斐閣。
参考書等	授業中に適宜指示します。
その他	私語がひどい学生は退席してもら場合があります。

履修コード	144101
科目名	外書講読（英書I）
担当者名	中村 公一 <small>なかむら こういち</small>

講義のねらい	海外の基本的なテキストを使用し、近年の企業の活動や経営戦略、企業を取り巻く環境変化をテーマとした英文の講読を行う。外書講読の授業ではあるが、経営学関連の基本知識や事例などの説明も随時行っていく。英文を通して、経営学を勉強するということを重視して進める。
講義の内容・授業スケジュール	毎回の授業は、事前にプリントを配布し、和訳して報告してもらい、その発表も取り入れる。該当箇所に関連した専門用語や専門概念、事例などを調べてもらい、その発表も取り入れる。 （1回～7回）経営学の基礎内容について （8回～14回）現代企業の経営活動について （15回）前期復習テスト （16回～22回）経営戦略論について （23回～29回）現代企業の経営戦略について （30回）後期復習テスト
履修上の留意点	毎回事前に課題を出題するので、その予習を行うための勉強時間が必要となる。受講生からの発表やディスカッションも採り入れるために、積極的な学習姿勢が要求される。
成績評価の方法	次の点を考慮して多面的に成績評価する。授業への積極的な取り組み姿勢が重要である。①出席、②課題についてのレポート、③小テスト、④学期末の復習テスト
教科書	特定のテキストは決めずに、毎回プリントを配布する。

履修コード	144201
科目名	外書講読（英書I）
担当者名	中野 香織

講義のねらい	本講義では、英語で書かれた教科書を読むことを通じて、統合マーケティング・コミュニケーション（IMC）の視点から広告やセールス・プロモーションを学ぶことを目的とする。単に英語を和訳するのではなく、教科書の内容理解に重点をおく。講義の進め方は一回の授業ごとに、発表者数名を事前に割り当て、内容を報告してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書のうち、マーケティング・コミュニケーションの基礎的な理解につながる章を対象とする。 1章 An Introduction to Integrated Marketing Communications 5章 The Communication Process 10章 Media Planning and Strategy 16章 Sales Promotion
成績評価の方法 教科書	平常点（課題への取り組み、授業への参加など）50%、学期末試験50%で評価する。 George E. Belch and Michael A. Belch, Advertising and Promotion : An Integrated Marketing Communications Perspective(7th edition), McGraw-Hill, 2007.
参考書等	なお、講義で利用する部分は印刷して配布するので、購入する必要はない。 必要に応じて、以下の文献を参照してほしい。

亀井昭宏・疋田聰編『新広告論』2005年刊（日本経済新聞社）1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊（電通）2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊（有斐閣）2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊（電通）2,200円

履修コード	139411・139421
科目名	現代企業論
担当者名	中川 功一

講義のねらい	現代に生きる我々にとって、企業とはあまりに当たり前のものである。多くの人間は、企業に所属して働き、企業から給料をもらって人生を歩む。また、我々が日常的に消費する様々な財やサービスは、企業に対価を支払って入手している。このように、我々はごく当たり前のように企業という仕組みを利用しているが、ひとたび考えてみると、企業とは具体的にどのようなものであり、そしてまた、なぜ社会に企業が存在しているのかは、必ずしも明らかではない。そこで、本講義では、「企業」とは何なのかを、多面的に分析し、その現代社会における役割や実態を理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	第1章：企業活動の実態（第2回～第6回） 第2章：株式会社論（第7回～第12回） 第3章：社会・経済・個人にとっての企業の役割（第13回～第18回） 第4章：日本における企業のあり方（第19回～第23回） 第5章：現代企業に関わる諸トピック（第24回～第30回）
成績評価の方法 参考書等	講義中に実施する小テストやレポート課題を30点分、期末試験70点分として評価を行う。 三戸浩・池内秀己・勝部伸夫『企業論』2006年〔新版補訂版〕、有斐閣アルマ、2000円。 必ずしも購入しなくてもよいが、講義の内容をより正確に、かつ深く理解するためには、購入を奨励する。

履修コード	139501
科目名	経営学史
担当者名	なかがわ じゆんぺい 中川 淳平

講義のねらい	この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説を、その問題意識に着目し、現代企業経営の諸問題を解決するための技法として解説を加えていく。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. コーポレートガバナンスのための問題解決技法（制度学派など、1-7） 2. リストラクチャリングへの問題解決技法（経営戦略論など、8-15） 3. イノベーションへの問題解決技法（生産管理論など、16-21） 4. コミュニケーションへの問題解決技法（人間関係論など、21-23） 5. セクショナリズムへの問題解決技法（経営組織論など、24-30）
履修上の留意点 成績評価の方法	<p>講義中の私語は慎んで下さい。</p> <p>定期試験100%。但し講義中などで必要に応じレポートの提出を求めることがあり、内容いかんによってこれを評定に加えることがある。</p>
教科書 参考書等	<p>中川淳平『問題解決のための経営学』泉文堂、2007年。</p> <p>授業毎に配布するプリントに適宜指示する。</p>

専門教育

履修コード	141201
科目名	アメリカ経営学
担当者名	宮城 徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・
授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数(ただし、期末試験日を入れて)から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数(合計29回)で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

(2008年度『アメリカ経営学』授業計画)

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー:マハト) (8)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー) (4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論注する。詳細は試験前の授業で説明する。

参 考 書 等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)1983:1997年
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂)1998年
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』(学文社)1993年
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
- 7 宮城徹「企業統治の研究の総合の一試論」『駒大経営研究』第31巻 第1・2号,2000
- 8 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書-組織の経済理論の応用-』(税務経理協会)2005年(A.Picot u.a.,*Die grenzenlose Unternehmung*, Gabler, 1998)
- 9 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)2007年(A.Picot u.a.,*Organisation. Eine ökonomische Perspektive*, Schaffer-Poeschel, 1997)

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

履修コード	142701
科目名	ドイツ経営学
担当者名	高橋 成夫

講義のねらい 現代のドイツの企業システムの特徴を解明するとともに、ドイツ経営学の性格や内容を、ドイツ経営学の歴史(史的展開)の中で明らかにすることにある。

講義の内容・授業スケジュール (1~6) I. ドイツの企業システム ドイツの企業形態/所有構造と支配類型/トップ・マネジメント構造/共同決定法/企業統治
(7~11) II. ドイツ経営学の前史
(12~16) III. ドイツ経営学の生成, 科学的私経済学と技術的私経済学
(17~24) IV. ドイツ経営学の展開, <1> 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学, <2> 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
(25~30) V. ドイツ経営学の現状(多様な構想), 意思決定志向的/システム志向的/行動理論的/新規規範的経営経済学/労働志向的個別経済学/新制度派経済学に基づく経営経済学

履修上の留意点 講義では主要な内容について出来る限り板書して説明するので、積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法 定期試験と出席状況等を総合して評価する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 北野利信編『経営学説入門』(有斐閣新書)

専門教育

履修コード	140001
科目名	経営労務論
担当者名	鹿嶋 秀晃

講義のねらい 現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義は1コマ1テーマの原則。各回毎に「日本は終身雇用なのか?」といったテーマを掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。スケジュールは大まかに次の予定。(1) ガイダンス、(2)~(4) 経営労務論と日本の経営論、(5)~(10) 正規、非正規の雇用管理、出向・転籍・早期退職など、(11)~(16) 賃金論入門、年功賃金の歴史、職能資格制度、人事考課、昇進・昇格など、(17)~(22) 労使関係の歴史、構造、労働組合など、(23)~(29) 各論(労働時間、福利厚生、賃金格差問題、教育訓練など)とまとめ、質問受付、(30) 試験。

履修上の留意点 詳細は最初の講義で説明。(1) 出席点は無し。(2) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるので厳禁。(3) 携帯電話は消音。ひどいときには退室させ、単位認定をしない。

成績評価の方法 評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数によって変更の場合もあり。

教科書等 特になし。

参考書等 津田真澄『人事労務管理』(ミネルヴァ書房)1993(定価3,000円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』(東洋経済新報社)1992(定価3,500円程度)をあげておく。他にも適宜講義中に紹介していく。

その他 図表やグラフを多用し、ただノートを取るだけでなく「頭をつかう」ようにする。WEBページでも授業に関する情報を提供。URL参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/

履修コード	143201
科目名	マーケティング論
担当者名	かわむら 兼村 栄哲

講義のねらい 社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情動的懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。

マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が生産者が生産する商品を消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（「流通」とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。

マーケティング論は、以上の2つのマーケティングのメカニズムを研究する学問である。

本講義のねらいは、各履修者が、マーケティング論における基本的な概念ないし理論などを正確に理解することにある。

講義の内容・授業スケジュール

(1~4) マーケティングの二義性 (5) 流通機能の意義 (6) 流通フロー（マーケティング・フロー） (7~15) 流通機能の領域 (16) 流通機構の意義 (17~18) 流通機関の意義と分類 (19~22) 小売業者の分類 (23) マーケティング・コンセプト (24) 企業におけるマーケティングの役割 (25~26) マーケティング管理 (27) 製品政策 (28) 価格政策 (29) プロモーション政策 (30) チャネル政策

履修上の留意点

講義中に印刷物を配布することがあるが、この印刷物は当該講義時間内にしか配布しない。やむを得ない事情により、印刷物配布時に欠席した場合には、次回講義までに知人に印刷物をコピーさせてもらうこと。

成績評価の方法

テスト 90点
出席状況 10点

**教科書
参考書等**

なし
兼村栄哲他4名(著)『現代流通論』(八千代出版)1999年、3,045円、ISBN:4-8429-1093-3。
宮澤永光(監修)『基本流通用語辞典』[改訂版](白桃書房)2007年、2,625円、ISBN:978-4-561-75169-4。
宮澤永光・亀井昭宏(監修)『マーケティング辞典』[改訂版](同文館)2003年、2,940円、ISBN:4-495-63492-5。

履修コード	143211
科目名	流通システム論
担当者名	あおき しげき 青木 茂樹

講義のねらい 私達の生活はあらゆる商品によって支えられており、これは流通システムがあるから成り立っている。講義では、身近な事例により興味を喚起し、その仕組みの理解を促す。今日、情報化、国際化によって、流通システムは新たな変化のうねりを迎えている。変化の時代に重要なことは現象面を追うだけではなく、どのような分析枠組みで理解・予測できるかである。また複眼的・多角的に捉えることにより、個々人の受講生が今後の流通のあり方についてのおのおのの意見をもつことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1) 流通の基礎概念と機能的アプローチ, 2) 流通の機関別アプローチ(小売業・卸売業), 3) 流通システムとしての発展Ⅰ, ・第一次・第二次流通再編成の諸特徴, ・チェーン・オペレーションの登場と進化, 4) 流通を巡る法規制とまちづくりの諸問題, 5) 流通システムとしての発展Ⅱ, ・工業化社会の流通システムから情報化社会の流通システムへ, ・コンビニエンス・ストアのイノベーション, 6) 流通の情報化の進展, ・サプライ・チェーンからダイヤモンド・チェーンへの転換, ・インターネットによる流通の革新, 7) 流通における関係の取引の理論的認識

履修上の留意点

講義形式ではあるが、一方向とならぬよう、机上に名札を置くなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促し、積極的に楽しんで参加してもらえるような方向を目指したい。

成績評価の方法

毎回の小テストと、個人レポートの評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。

教科書

兼村栄哲編著(1999)『現代流通論』八千代出版。
日経MJ編(2007)『流通経済の手引<2008年度版>』日本経済新聞社

履修コード	139901
科目名	経営財務論
担当者名	高田 光明 <small>たかだ みつあき</small>

講義のねらい 経営財務論は、企業という組織体の財務活動を研究対象とする学問分野である。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用をいっている。企業は、その活動を営むに際し、原材料・機械などの財貨や労働力といった生産要素を確保しなければならない。そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手となる資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。

資本の源泉は、それぞれ異なる特徴を持っている。したがって、生産要素の取得を賄うために必要とする資本を、どの源泉からどのくらいずつ調達するかは、企業が営業活動を実施して、調達資本をいかに効率的に運用できるかに大きな影響を与える。この授業では、以上の問題意識のもとに、次のスケジュールにしたがって講義を進め、経営財務に関する基礎的知識・基本的考え方を身に付けることを主要目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 経済財務の領域、(2) 資本と資産、(3～4) 資本の分類、(5～6) 資本の運用形態、(7～8) 資金調達方法の特徴、(9～10) 資金調達の基本原則、(11～12) 流動・固定分類法の重要性、(13～14) 資金概念、(15～16) 企業利益の概念、(17～18) 減価償却費の性格、(19～20) キャッシュ・フロー、(21～22) リスクとリターン、(23～24) レバレッジ、(25～26) 資本のコスト、(27～28) 続・資金調達の基本原則、(29～30) 資金調達の手順

履修上の留意点

企業による財務活動に関する情報は、企業の会計システムから得られる。したがって履修にあたっては、企業会計の初歩的知識があることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験による評価を原則とし、出席点を5点を限度に加味する。

履修コード	142401
科目名	国際経営論
担当者名	臼井 哲也 <small>うすい てつや</small>

講義のねらい 本講義の目的は、企業の国際化、多国籍化の動因および国際経営上の諸問題を理解するために理論と事柄について学習することにある。多国籍企業における経営戦略上の課題、解決策について検討する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 国際経営と多国籍企業 (2～4) 企業の多国籍化 (5～7) 国際戦略経営論の枠組み (8～11) グローバル経営における組織モデル (12～15) (後期) グローバル研究開発戦略 (16～17) グローバル生産戦略 (18～19) グローバル・ソーシング戦略 (20) グローバル・マーケティング戦略とマス・カスタマイゼーション (21) 本社－子会社のマネジメント (22～23) 子会社のイニシアティブ (24～25) 国際提携の理論と実践 (26～27) グローバルSCM (28～29) 地球環境と国際経営 (30)

履修上の留意点

遅刻、私語厳禁、配布資料なし。自著ノート作成。グローバル・マーケティング論と併せて推奨することを奨励する。

成績評価の方法

学期末試験と課題を基本に評価する。

教科書

臼井哲也『戦略的マス・カスタマイゼーション研究－国際市場戦略の新視角』2006年刊(文真堂) 2,800円

履修コード	143301
科目名	経営戦略論
担当者名	なかむら こういち 中村 公一

講義のねらい 経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上でも有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の1つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。そこで、新聞やビジネス誌などをもとに、実際の経営戦略をケースとしてできるだけ取り上げるようにする。

そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール 1, 経営戦略論を学ぶ 2, 経営戦略とは何か 3, 経営戦略論の研究手法 4, 経営戦略論の展開 5, 戦略の策定と実行 6, 現代企業の経営戦略 7~9, 企業の成長(事業領域、アンゾフモデル、多角化戦略) 10~14, 企業の競争(ポーターモデル、イノベーターの戦略、コア・コンピタンス、ビジネスモデル、コーポレート・ブランド) 15, 前期のまとめ 16~18, M&A (M&A概論、技術獲得型M&A、市場拡大型M&A) 19, M&Aの組織統合 20, グローバル戦略 21, グループ経営戦略 22, 経営戦略と専門組織 23~24, ナレッジマネジメント(概論、展開) 25, 研究開発戦略(R&D) 26, デファクトスタンダード 27, ライセンス戦略 28, ベンチャー企業の戦略 29, 企業集積の戦略 30, 年間講義のまとめ

履修上の留意点 経営戦略論は、実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。

注意点としては、講義に対する妨害行為(私語、携帯電話など)には厳しく対処する。1人(数名)の愚かな行為により、他の真面目な学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。

成績評価の方法 年度末の定期試験を中心に、レポート課題や、授業中に実施する小レポートなども成績評価に含める。

教科書 授業中にレジュメを配布して、それに基づいて講義を進める。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。基本図書や参考文献などは授業中にその都度指摘する。

履修コード	143401
科目名	ベンチャー企業論
担当者名	まきのぶえ ちゅう ぎんぜん 許 伸江・崔 銀順

講義のねらい 経済の停滞が長引く中、活力あるベンチャー企業への関心が高まっている。本講義は、ベンチャー企業の意義、歴史、特徴等について理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール (1~3)ベンチャー企業、企業家とは何か (4~5)起業活動のフレームワーク(6~8) ベンチャー企業のマネジメント(9~13)ベンチャー企業のビジネスモデル、マーケティング(14~15)ケース・スタディ(学生起業、女性企業、シニア企業、IT企業など) (16~17)ベンチャー企業の戦略(18~20)独立形態、会社法の改正(21~24)ベンチャー・ファイナンス、IPO、株式公開市場(25~27)ベンチャー支援策、クラスター政策 (28~29)ベンチャー企業のリスクと対応(30)ケース・スタディ(失敗例、挫折と復活など)

履修上の留意点 日頃から、新聞、TV、インターネットなどでベンチャー企業関連の情報に触れておくことが望ましい。

成績評価の方法 出席状況、授業内レポート、夏休みのレポート、学期末試験等を総合的に評価する。

教科書 教科書は使用せず、ノート講義形式とする。

その他 授業方法は、リレー形式とする。

履修コード	139601
科目名	経営史
担当者名	前田 ^{まえだ かずとし} 和利

講義のねらい 経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 経営史の学び方（1回）
- II. 経営史研究の課題と方法（4回）
伝統的経営史、企業者史、組織総合理論
- III. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成（4回）
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立（3回）
産業革命、工場制度
 3. 確立期企業経営の諸様相（5回）
企業経営者と行動原理、企業形態と企業金融、労務管理、流通・販売組織
 4. 企業経営の発展（7回）
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 5. 企業経営の変容（4回）
大企業体制の動揺と新動向（経営戦略と経営組織の変遷）

履修上の留意点

教科書は使用しないので、授業開始時に配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に4～5回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

成績評価の方法
教科書
参考書等

学年末試験による評価を90%、出席時に提出した回答を10%とする。

使用しない。

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』新版（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）。
その他随時紹介する。

履修コード	143501
科目名	環境経営論
担当者名	川村 ^{かわむら まさひこ} 雅彦

講義のねらい 企業の経営戦略として、環境対策と環境経営の違いを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①前期の講義内容：環境経営（理論編）
 - ・日本における環境経営の変遷、・環境経営の必要十分条件、・市場のグリーン化、・環境リスク、・環境経営指標（環境効率）、・環境経営のバウンダリー問題
- ②後期の講義内容：環境経営（実践論）
 - ・環境先進企業（日本企業）、・環境先進企業（欧米企業）、・環境マネジメントシステム、・温暖化ガスの排出権取引、・環境格付とSRI（社会的責任投資）、・環境経営からCSR経営へのシフト

履修上の留意点

受講に先立ち、学生各位が考える「環境優良企業」を異なる業種から3社選び、その理由をごく簡単にまとめておくことを希望する。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席（20点）、中間レポート（30点）、試験（50点）の合計100点とする。

授業でレジュメを配布するので、特に既存の図書は指定しない。

必要に応じ、授業で指示する。

講義形式とゼミ形式を併用し、授業単位でレジュメを配布する。

履修コード	142101
科目名	日本経営史
担当者名	おおしま ひさゆき 大島 久幸

講義のねらい 株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な起源や日本の経済発展を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 【前期】 1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの整備 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 11. 専門経営者の登場(1) 12. 専門経営者の登場(2) 13. 前期のまとめ

【後期】 1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

前期試験と定期試験で総合的に評価する。
武田晴人『財閥の時代』(新曜社)1996年
宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』(有斐閣)1999年。
老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』(税務経理協会)2002年。

履修コード	142301
科目名	商業史
担当者名	やまだ まさる 山田 勝

講義のねらい 大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- <A> 生産主導の商業
- (1) 商業史の意義と講義の目的
 - (2) パラダイムの発展
 - (3) 利益と継続性
 - (4) 商品と市場
 - (5) 大衆消費社会の特徴
- 需要主導の商業
- (1) 消費スタイルの変化
 - (2) 充足から満足度重視へ
 - (3) 多様化の要因
 - (4) 「サービス」商品の特徴
 - (5) IT革命と商業経営
 - (6) 生活(文化)の変革と商業

履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法
教科書

定期試験による。
山田勝『商業史概論』(創成社)3,000円(消費税別)

履修コード	142351
科目名	リスクマネジメント論
担当者名	<small>いしなまが くにたけ</small> 石名坂 邦昭

講義のねらい 近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。

講義の内容・授業スケジュール リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。
①リスクマネジメントの生成と発達、1～3、②リスクマネジメントの理論、4～10、③企業経営とリスクマネジメント、11～20、④PLとリスクマネジメント、21～25、⑤環境リスクとリスクマネジメント、26～30

履修上の留意点 ノートをしっかりととること
成績評価の方法 定期試験の成績と平常点
教科書 特になし
参考書等 リスクマネジメントの理論 石名坂邦昭著 白桃書房
その他 授業にまじめに出席すること

履修コード	140401
科目名	保険経営論
担当者名	<small>おんざう みは</small> 恩蔵 三穂

講義のねらい 私達の生活は、交通事故、火災、地震、疾病、高齢化など様々なリスクにさらされています。これらのリスクから私達を守るために、リスクマネジメントおよび保険の知識は必要不可欠なものといえるでしょう。本講義では、リスクマネジメントおよび保険に関する基礎知識を学んだ上で、保険経営に関する時事的な問題を理解することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) リスクマネジメントとは (3) リスクマネジメントと保険 (4) 保険の分類 (5～6) 保険料の構成 (7～8) 保険料の算定方法 (9～11) 保険の基礎用語 (12～15) 保険業法の改正 (16～17) 火災保険の意義と役割 (18) 地震保険の意義と役割 (19～21) 自動車保険の意義と役割 (自賠責保険および任意保険) (22～23) 生命保険の意義と役割 (24～25) 第三分野の保険 (傷害保険・疾病保険・介護保険) の意義と役割 (26～30) 保険経営と最近の動向 (保険の自由化と保険会社間の再編成、保険会社の経営戦略、保険会社の破綻問題、少子高齢化と保険経営、保険会社の国際化戦略など)

履修上の留意点 新聞や雑誌などで興味のあるリスクマネジメントや保険の記事があれば、積極的に目を通しておいてください。また、授業準備に際し、自分の疑問点を明確にしておくことが望まれます。
成績評価の方法 学期末試験と平常点も加味して、総合的に評価します。
教科書 鈴木辰紀編著『新保険論』(第2版)2005年刊(成文堂)2,700円。
参考書等 必要に応じて授業中に指示します。

履修コード	141501
科目名	銀行経営論
担当者名	はしどり よしかず 服部 昌久

講義のねらい 金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。
 (1) オリエンテーション「銀行経営論をはじめるとあって」(2) 日本経済をめぐる環境(3) 戦後経済の変遷(4) わが国の金融制度の沿革と特徴(5) 銀行とは何か(6～8) 銀行の基本的機能—金融仲介機能、決済機能、信用創造機能(9～11) 銀行の業務範囲、銀行の貸出業務、銀行の預金業務(12) 銀行持株会社制度(13～14) わが国の銀行の収益状況、米銀の収益状況(15) 中間整理(16～17) 金利と利鞘、マネーサプライの変化と銀行(18～19) 銀行の国際業務、為替相場と銀行(20) 銀行のマネーローダリング対策(21～24) バブル経済の発生・崩壊と銀行の責任、不良債権問題と銀行破綻、銀行の再編、預金保険制度(25～27) 銀行経営とリスク管理—リスクとは何か、リスクとリターン、自己資本比率規制(28) リレーションシップバンキングの本質(29) 新しい銀行像(30) 期末試験

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(参照物の持込不可)(50%)、レポート(45%)、授業への出席(5%)を総合して評価する。

**教科書
参考書等**

レポートの課題は開講時に指示する。

指定しない。

- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』(東洋経済新報社) 2,900円 ISBN4-492-68103-5
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度(第2版)』(東洋経済新報社) 3,800円 ISBN4-492-65379-1
- ・全国銀行協会金融調査部『図説わが国の銀行(2003年版)』(財経詳報社) 2,200円 ISBN4-8817-388-7
- ・星岳雄・A.カシャップ『日本金融システム進化論』日本経済新聞社 2,800円 ISBN4-532-13317-3
- ・小野有人『新時代の中小企業金融』(東洋経済新報社) 2,200円 ISBN978-4-492-65400-2

履修コード	140301
科目名	商業経営論
担当者名	いしかわ かずお 石川 和男

講義のねらい

人は日々モノやサービスを購入し生活している。またこれらの活動なしには人々の生活が成立しなくなっている。本講義では主に人々（消費者）にモノやサービス（特にモノ）を販売する主体（商業者）の行動を取り上げる。分野として大きく分けると4つの分野から構成されている。1）商業・流通の概念とその機能、2）商業者（流通業者）の現状とその行動、3）販売に関する技術と方法、4）商業者を取り巻く外部環境と内部環境についてである。これら4つの面から多面的に商業者の組織的行動である「商業経営」をとらえてもらえればと考えている。また受講生には受け身の姿勢ではなく、積極的に疑問に思い、解決を探る姿勢が身につけられるように期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

1 開講にあたって（受講上の諸注意）、2 商業とは、流通とは（商業概念、流通概念）、3 流通機能と流通機構、4 流通機能I（商的流通と物的流通）、5 流通機能II（流通情報と流通情報システム）、6 流通補助機関の役割、7 小売とその営業形態、8 小売業の構造と変化、9 小売マーケティング、10 卸売とその営業形態、11 卸売業の構造と変化、12 卸売マーケティング、13 卸売マーケティングの事例、14 予算管理と販売管理、15 商品回転率と価格政策、16 仕入管理と売買契約、17 在庫管理、18 消費者行動の変化、19 商業立地と商業集積、20 商業・流通を取り巻く法的環境、21 流通政策I（競争政策と振興政策）、22 流通政策II（調整政策）、23 中小零細商業者問題、24 中小零細商業者の将来、25 日本の商業環境と商慣行I、26 日本の商業環境と商慣行II、27 これまでの講義のまとめ

履修上の留意点

- 1 遅刻、早退、中抜けをしない
- 2 授業中は携帯電話の電源を切る（発見した場合はその場で受講中止）
- 3 他人との会話などを授業中はしない
- 4 帽子の着用、飲食しないなど最低限のマナーは守る
- 5 公欠の取り扱い（運動部の人は必ず公式試合などの場合は提出のこと）
- 6 その他

成績評価の方法

・第1回目の授業時に詳細な注意事項を書いたプリントを配付する
 授業への参加意欲（出席点） 約30％
 中間レポートまたは中間試験 約30％
 期末試験 約40％
 授業中のボーナス加点
 年度内に販売士試験2級に合格した者は加点

教科書

（前期）青木・石川・尾碕・斎藤(2007)『流通論』創成社
 （後期）尾碕・野本・石川(2007)『流通業のマーケティング』五紘舎
 石川和男(2007)『基礎からの商業と流通(第2版)』中央経済社
 鈴木安昭(2004)『新・流通と商業(第3版)』有斐閣
 小宮路雅博編著(1997)『現代の小売流通』同文館

その他

第1回目の授業時に詳細な説明を行うので、必ず第1回目の授業から出席のこと。
 連絡方法は、授業時に指示する。

履修コード	140851
科目名	e-ビジネス
担当者名	安岡 寛道

講義のねらい 日々進化するe-ビジネスを概観し、経営学の一つとして体系立てて理解することを目的とする。また、社会人になる、さらにはいつの日か起業する際の基礎知識として準備することも目的とした。

講義の内容・授業スケジュール (1) e-ビジネスの講義紹介と定義(プロセス/媒体/商品)、(2~3) e-ビジネスの状況、(4~6) BtoC ビジネス、(7~9) e-マーケティング(広告等)、(10~12) BtoB ビジネス、(13~15) 電子商取引(EC)のプロセス(物流・決済); (16~18) BtoBtoC ビジネス、(19~21) 媒体等のビジネス事例(EC、ポータルサイト、ネット広告; オンラインゲーム等)、(22~24) 電子マネーと周辺ビジネス、(25~26) 技術、(27) ビジネスモデル特許、(28~ Last) 革新的なビジネスの創生(Web2.0、セカンドライフ等)

履修上の留意点 e-ビジネスであるために、日ごろからインターネットを中心に、雑誌・新聞・TVのニュースなどを見て、自分のなりの考えを持ち、電子マネーなどにも馴染んでおいて頂きたい。

成績評価の方法 学期末レポートと授業内の提出課題で基本的に評価します。出席状況も場合によっては考慮します。

教科書参考書等

- ・幡鎌博『e-ビジネスの教科書』創成社、1900円、ISBN4-7944-2249-0 C3034
- ・梅田望夫『ウェブ進化論-本当の大変化はこれから始まる』筑摩書房、740円、ISBN4-480-06285-8 C0200
- ・小川浩、後藤康成『Web2.0 BOOK』インプレスジャパン、1800円、ISBN4-8443-2226-5 C3055
- ・アーサーアンダーセン『図解e-ビジネス』東洋経済新報社、1600円、ISBN4-492-08989-6 C3034
- ・アンダーセン『図解e-ビジネス 実践編』東洋経済新報社、1600円、ISBN4-492-09156-4 C3034
- ・野村総合研究所『2010年の企業通貨』東洋経済新報社、1600円、ISBN4-492-55562-5 C3034

履修コード	143221
科目名	製品開発論
担当者名	宮下 雄治

講義のねらい マーケティングの重要な機能である需要創造において、製品開発の果たす役割は大きく、理論的にも実践的にも、製品戦略はマーケティング・マネジメントの中核に位置づけられる。本講義ではマーケティングと技術経営(Management of Technology)研究における諸成果をふまえ、製品開発に関する諸項目の基礎的理論を解説するとともに活動の実態を紹介する。講義を通して、製品開発の基礎的な知識の習得と、現代の産業界の要請に対する製品開発のアプローチと課題について、体系的な理解と関心を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・製品戦略の基本フレーム(2~4): 現代マーケティングにおける製品開発の役割と基本構造、
- ・日本企業の製品開発の歴史と特徴(5~7): 日本の技術力と製品開発、
- ・製品計画(8~10): 市場と競争の構造分析、
- ・イノベーション(11~14): 技術革新から生活価値の革新、
- ・技術経営(16~18): 技術経営における製品開発の視座、
- ・研究開発[R&D](19~20): 研究組織と技術戦略、
- ・技術マーケティング(21~23): 技術と需要を結合させるマネジメント、
- ・製品開発に成功する組織的条件(24~26): 製品開発力に優れた企業の特徴、
- ・これからの製品開発(27~29): CSRへの対応と協働型マーケティング等、新たな取組みを展望。

成績評価の方法 定期試験(70%)、授業中の課題・小テスト(30%)を基準に評価を行う。

教科書 教科書は使わず、教師が提供する資料に基づいて授業を行う。

参考書等 上原征彦『マーケティング戦略論 -実践パラダイムの再構築-』有斐閣、1999年、その他は講義内容に沿って紹介していく。

履修コード	143231
科目名	消費者行動論
担当者名	菅野 佐織

講義のねらい

この授業では、人の消費場面における心理的作用と、それらと企業のマーケティング活動の相互作用について考え、理解することを目的としています。今日の企業のマーケティング活動においては、消費者のインサイトを掴むことが欠かせません。この授業では、身近な事例や企業ケースを用いて、消費者の心理を学ぶだけでなく、企業のマーケティング活動と消費者行動分析のリンクについて考えていきたいと思ひます。また、企業の方をお招きしての講義も予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 授業計画の説明とイントロダクション
2. 消費者行動とは
- 3～5. 消費者行動研究の歴史
- 6～10. 消費者の購買意思決定過程
- 11～12. 消費者行動の影響要因
- 13～14. 消費者行動のケース分析
15. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
16. 前期授業の復習
- 17～20. 消費者行動分析の手法
- 21～28. 企業のマーケティング戦略と消費者行動のリンク（価格、ブランド、広告プロモーション、インターネット、デザインと消費者心理）
29. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
30. 講義のまとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

授業中に学生の皆さんに意見を求めるので積極的に参加してください。
出席点（数回）、レポート（数回）、定期試験によって評価します。
授業時に資料を配布します。理解を深めるために下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。

参考書等

杉本徹雄編『消費者理解のための心理学』1997年（福村出版）2730円
清水聡『新しい消費者行動』1999年（千倉書房）3360円

専門教育

履修コード	143241
科目名	マーケティング・コミュニケーション論
担当者名	中野 香織

講義のねらい

近年は、マーケティングそのものがマーケティング・コミュニケーション（MC）だと認識され始めてきた。その背景には、マス広告が効かなくなってきたことに加え、様々な手段によって消費者との関係性を構築する必要がうまれてきたことなどがある。このような背景のもと、日常生活で接するもの全てをコミュニケーションのためのメディアと捉える統合マーケティング・コミュニケーション（IMC）が、今後重要になってくるだろう。そこで本講義ではIMCを包括的に理解してもらうことを目的とし、理論的な説明に加えて事例紹介やゲスト（実務担当者）による講義等、実践的な説明も行う。

講義の内容・授業スケジュール

講義は3段階に分けて行う。初めにマーケティング・コミュニケーション（MC）の全体構造を説明する。次にMCを構成する具体的な戦略を説明し、最後に各MC戦略がどのように統合されるのかを説明する。（1～5）マーケティング・コミュニケーション（MC）の全体構造、（6～9）広告戦略、（10～12）販売促進戦略、（13）ゲストスピーカー、（14）商品コミュニケーション戦略、（15～17）店頭MC戦略、（18～19）PR戦略、（20～21）パーソナル・コミュニケーション戦略、（22～23）ダイレクトマーケティング戦略、（24～25）インタラクティブマーケティング戦略、（26～27）IMC戦略、（28～30）ケース研究とまとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

平常点10%、中間試験40%、学期末試験50%で評価する。

教科書は使わず、レジュメを配布する。

亀井昭宏・疋田聡編『新広告論』2005年刊（日本経済新聞社）1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊（電通）2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊（有斐閣）2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊（電通）2,200円

履修コード	143251
科目名	マーケティング・チャネル論
担当者名	青木 茂樹 <small>あおき しげき</small>

講義のねらい

我々が手にしている商品、とくにブランドとして認知されている商品は、ある一企業の戦略目的に基づき、他の流通パートナーをコントロールしながら成果を挙げていくために形成されたマーケティング・チャネルを経由してきている。

従来はメーカーがチャネル・リーダーとなって、これらが形成され、卸売業、小売業がこれによりコントロールされてきた。近年は従来、被支配的な立場とされてきた卸売業や小売業が、主体的にチャネル・リーダーとなって、自社のブランドを強めていく例も増えてきた。また新しいツールとしてインターネットにおいて、チャネル構築を試みる中小企業や農林水産業者も出てきている。

本稿では、これまでの中心であったメーカーの国内マーケティング・チャネル戦略から、情報化・国際化の中で形成されていく新たなマーケティング・チャネルまでを考察していく。将来、マーケティングや営業を志向する学生にとっては必須の科目となろう。

講義の内容・授業スケジュール

1) メーカーによる垂直的マーケティング・チャネル, 2) マーケティング・チャネル構築・管理の諸理論, 3) プライベート・ブランドに見られるマーケティング・チャネル戦略, 4) 国際マーケティングにおけるマーケティング・チャネル戦略, 5) 農林水産物におけるマーケティング戦略とチャネル管理, 6) インターネットにおけるマーケティング・チャネル管理, 7) 生産財マーケティングにおけるマーケティング・チャネル管理

履修上の留意点

流通システム論を既習していることが望ましい。講義形式ではあるが、机上に名札を置くなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促す。

成績評価の方法

毎回の小テストと、個人レポートの評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。

教科書
参考書等

和田充夫、日本マーケティング協会編(2005)『マーケティング用語辞典』日本経済新聞社。
日経MJ編(2007)『流通経済の手引<2008年版>』日本経済新聞社。
Erin Anderson, Louis W. Stern, Adel I. El-Ansary, Anne T. Coughlan(2001) *Marketing Channels*, The Prentice Hall, 978-0130127723。

専門教育

履修コード	143271
科目名	グローバル・マーケティング論
担当者名	白井 哲也 <small>うすい てつや</small>

講義のねらい

本講義の目的は、企業のマーケティング活動が国境を越えて展開される際の固有の問題について理解し、その解決策として期待される諸理論について学習することにある。とく多国籍企業のマーケティング活動に焦点をあてる。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 企業を取り巻くグローバル市場環境 (2~3) グローバル・マーケティングマネジメントの基礎 (4~6) 国際市場参入行動 (7~9) 国際マーケティング調査と市場細分化 (10~11) 現地市場拡張行動チャネル管理 (12~13) 原産国イメージ (14~15)

(後期) グローバル合理化と戦略的グローバル・マーケティング論 (16~19) 標準化と適応化 (20~22) グローバル・マス・カスタマイゼーション (23~25) グローバル・ブランド管理 (26~27) サービス業の国際化 (28~29) グローバル・マーケティング論と地球環境 (30)

履修上の留意点

遅刻、私語厳禁、配布資料なし。自著ノート作成。国際経営論と併せて受講することを推奨する。学期末試験と課題を基本に評価する。

成績評価の方法
教科書

白井哲也『戦略的マス・カスタマイゼーション研究－国際市場戦略の新視覚』2006年刊(文真堂) 2, 800円

履修コード	143281
科目名	マーケティング史
担当者名	<small>いしかわ かずゆ</small> 石川 和男

講義のねらい

マーケティングという学問？が誕生してからはや1世紀以上が経過した。経済学や法学など、他の社会科学分野の学問に比較すると、その歴史の長さは比べようもなくもなく短いといわなければならない。しかし、マーケティングという「市場対応」に関する方法や技術が、20世紀の社会を変化させてきたこと、そして21世紀の社会を変化させる1つの基軸となることは間違いないであろう。そこで、本講義では、いかにマーケティングが市場対応をしてきたかという歴史を振り返ることで、これから将来にわたり、いかに市場対応することが必要か、またそれを実践できる元となるものを本講義では身につけてもらいたい。講義ではさまざまな分野の産業におけるマーケティングの展開について触れる。それは経営史でも商業史でもなく、メーカーや流通業者などの主体がいかに市場に対応してきたかという足跡を辿ることになる。受講生には、ただ講義を聴くという姿勢ではなく、積極的に企業などの市場対応をしてきた歴史について関心を持つことを期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

1.開講にあたって、2.マーケティング史と経営史、商業史、経済史との違い、3.戦前期の先駆的マーケティング(1)-戦前期のマーケティングの形成、4.戦前期の先駆的マーケティング(2)-森永製菓、5.戦前期の先駆的マーケティング(3)-化粧品産業の発展と市場構造、6.戦前期の先駆的マーケティング(4)-資生堂、7.戦前期の先駆的マーケティング(5)-花王、8.戦後の経済発展とマーケティング-大衆消費社会の形成とマーケティング、9.問屋制度とマーケティング(1)-伝統的問屋制度と医薬品流通、10.問屋制度とマーケティング(2)-大正製菓、11.マーケティング企業の普遍化(1)-松下電器産業、12.マーケティング企業の普遍化(2)-トヨタ自動車、13.マーケティング企業の普遍化(3)-トヨタ自動車、14.小売業のマーケティング展開(1)-小売業態変化、15.小売業のマーケティング展開(2)-百貨店、16.小売業のマーケティング展開(3)-スーパーマーケット、17.小売業のマーケティング展開(4)-その他の業態、18.卸売業のマーケティング展開(1)、19.卸売業のマーケティング展開(2)-総合商社の発展、20.卸売業のマーケティング展開(3)-食品専門卸売の発展、21.グローバル化の進展とマーケティング(1)-日本企業のグローバル化、22.グローバル化の進展とマーケティング(2)-ホンダ、23.グローバル化の進展とマーケティング(3)-ソニー、24.展開期のマーケティング-マーケティングの刷新、25.マーケティング・コミュニケーションの進展、26.サービス・マーケティングの進展(1)、27.サービス・マーケティングの進展(2)-外食産業の発展、28.サービス・マーケティングの進展(3)-東京ディズニーリゾート、29.非営利組織のマーケティング展開、30.これまでの講義のまとめ

履修上の留意点

1. 携帯電話の使用厳禁（使用を発見した場合は即刻受講中止。単位不認定）
2. 遅刻・早退・中抜け厳禁
3. 私語厳禁
4. 帽子着用、食厳禁
5. 公欠の取り扱い（運動部の公式試合、教育実習などの場合は証明書を提出のこと）
その他、開講時の1時間目に細かく指示。したがって、第1回目の授業時から出席の必要あり。

成績評価の方法

1. 出席点30%
2. ミニレポート30%
3. 期末試験または期末レポート40%

教科書等

特に指定しない
小原博(1994)『日本マーケティング史』中央経済社
日本経済新聞社編(1993)『流通現代史』日本経済新聞社
尾崎・神保編(2000)『マーケティングへの歴史的視角』同文館

その他

第1回目の授業時に、重要なことをお話するつもりですので、必ず第1回目から出席すること

履修コード	119111
科目名	経済政策
担当者名	三好 向洋

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

経済問題・経済政策を取り扱った新聞記事を理解できるようになることを目的とする

前期

費用(コスト)と効用(2)・価格差別(3)・ライブドア事件・金融商品取引法(4-6)・公正取引委員会・独占禁止法(7-9)・解雇規制と失業(10)・農業と貿易(11)・住宅・借地借家法(12)・まとめ(13)・試験(14)・試験返却と解説(15)

後期

GNPとGDP(2)・長期の生産と成長(3)・物価と金融(4)・中央銀行(5)・失業と短期の経済変動(6-7)・総需要と総供給(8-9)・財政政策と金融政策(10-12)・まとめ(13)・試験(14)・試験返却と解説(15)

成績評価の方法
教科書
参考書等

授業内試験の成績と数回のレポート・授業内試験では授業で支持した問題を出题する

使いません

前期

(著者)ポール・クルーグマン・ロビン・ウェルス (書名)クルーグマンミクロ経済学 東洋経済新報社 5, 040円 ISBN:978-4492313831

後期

(著者)グレゴリー・マンキュー (書名)マンキュー経済学<2> マクロ編 東洋経済新報社 4 200円 ISBN:978-4492313534

専門教育

履修コード	141601
科目名	財政学
担当者名	速水 昇

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成18年度末で国債の発行残高が約547兆円、地方公共団体の赤字が約205兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約774兆円になる。この数字は19年度わが国のGDP見込みの144.2%に相当する。EU(ヨーロッパ連合)の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法
教科書

試験、授業中の小テスト、レポート(小テスト、レポートで成績の半分を評価する)
速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』(学文社)

履修コード	140601
科目名	金融論
担当者名	わたなべ ことし 渡部 訓

講義のねらい

本講義は、担当教員の日本銀行、Bank for International Settlements、預金保険機構における金融実務経験も踏まえて、金融に関心のある学生、将来金融界での勤務を希望する学生を対象にしています。

本講義の狙いは、①金融の基礎から出発して、金融システム、金融機関行動と金融政策、市場メカニズムと金利形成、国際金融取引まで幅広く応用分野をカバーして、金融を理解する前提となる理論的なフレームワークを提供するとともに、②現代の金融問題の中で、金融システム安定に向けたブルーデンス政策（金融庁検査および日本銀行考査、自己資本比率に関するBIS規制、預金保険制度）、金融システムにおけるイノベーション（セキュリティゼーション、デリバティブス、リスク・マネジメント）について、実践的な検討を行うことを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、以下のスケジュールで行いますが、毎回、教科書に加え、日本銀行公表資料や日本経済新聞掲載記事等を紹介して、理論と実践のインターフェースを図ることを目標としています。

前期

1. 「金融論」のオリエンテーション、2. 金融の基本的な機能、3. 金融循環と金融取引（1）、4. 資金循環と金融取引（2）、5. 家計の貯蓄と資金余剰、6. 家計の金融資産選択、7. 企業の投資と資金調達（1）、8. 企業の投資と資金調達（2）、9. 金融機関の役割、10. 金融市場の機能、11. 金融システムの機能、12. ブルーデンス政策、13. 中央銀行の機能、14. 金融政策の目的、15. 金融政策の手段

後期

1. 預金・貸出市場の概要、2. 金融機関の貸出行動メカニズム、3. マネー・サプライの概要、4. 債権市場の概要、5. 債権利回りの決定メカニズム、6. 株式市場の概要、7. 株価の決定メカニズム、8. 国際収支と外国為替市場、9. 為替レートの決定メカニズム、10. 国際通貨制度の変遷、11. 金融派生商品市場（先物）、12. 金融派生商品市場（スワップ）、13. 金融派生商品市場（オプション）、14. 金融論のポイント・レビューと質疑応答（1）、15. 金融論のポイント・レビューと質疑応答（2）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

履修者は、マクロ経済学の基礎知識があることが望まれます。

後期末に筆記試験を行います。

黒田晃生『入門金融（第4版）』、東洋経済新報社、¥2,300、2006年

日本銀行金融研究所編『新しい日本銀行 その機能と業務（増補版）』、有斐閣、¥2,520、2004年
毎回、授業の中で、講義の後、質疑応答の時間を設けます。

履修コード	141701
科目名	国際経済論
担当者名	ながた ともひろ 永田 智則

講義のねらい

本講義の目的は、現実が生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

分析道具が習得できれば、それを利用することによって現実の国際経済現象を自ら解明できるようになるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

（1）国際経済学の異議、（2～7）国際分業論、（8～12）貿易政策、（13～15）経済成長と貿易、（16～22）国際マクロ経済学、（23～25）外国為替と国際収支、（26～30）資本の国際移動

履修上の留意点

現実の世界経済の動きを題材にしますので、新聞等で報道される関連ニュースに接しておいてください。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。定期試験だけを受けて、要領よく単位をとりたいと考えている人は、受講を遠慮して下さい。

教科書

下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。

参考書等

仙頭佳樹著「最もやさしい国際経済学」多賀出版、2800円+税、ISBN4-8115-6491-X

随時必要に応じて紹介します。

履修コード	142001
科目名	証券市場論
担当者名	勝田 佳裕

講義のねらい わが国の金融システムは、銀行等を仲介とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年では、企業が自ら有価証券を発行し投資家から資金を調達する直接金融へと、金融システムが移行してきている。本講義は、有価証券市場の機能や構成といった基礎的な事柄に関する解説から始め、最終的に、ニュースや新聞での経済動向に関する報道等を正しく理解し、自ら判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 最初に、証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。その上で、伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察する。また、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わりなど、経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるため、債券利回りの意味と計算の仕方、株式の投資尺度やその利用方法、企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、実務的側面についても解説する。

近年における金融・証券市場のグローバル化に伴って、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度、背景や影響などを解説する。

履修上の留意点 証券や金融市場に関連するニュースや新聞での報道に関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては、出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法 レポート及び学年末の定期試験によって評価する。
教科書 代田純著「図説 やさしい金融財政」(丸善株式会社) 1890円
参考書等 授業中に指定する。

専門教育

履修コード	143701
科目名	計量経済学
担当者名	呉 逸良

講義のねらい 現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール (前期) Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。

- (1・2) 統計学の基礎知識 (I)
- (3) 統計学の基礎知識 (II)
- (4～8) 単純回帰モデル
- (9～11) 重回帰モデル
- (12・13) 回帰モデルの仮説検定 (I) TSPを利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。
- (14) 回帰モデルの仮説検定 (II)
- (15・16) TSPの基礎および練習
- (17・18) Chow Test と予測
- (19・20) ダミー変数
- (21～23) 系列相関
- (24～) 復習・授業中試験

履修上の留意点 経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。
成績評価の方法 日頃の宿題、レポート、学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。

教科書 白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 1999 2,800円(税別)
参考書等 山本拓『計量経済学』(新世社)
 蓑谷千鳳彦『計量経済学』(東洋経済新報社)
 G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエーピー出版)
 唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)
 縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店)
 蓑谷千鳳彦等『パソコンによる数量分析・Excel とTSP入門』(多賀出版)
 縄田和満『TSPによる計量経済分析入門』(朝倉書店)
 和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』(東京大学出版会)

履修コード	143601
科目名	イノベーション論
担当者名	羽田 尚子

講義のねらい	本講義では、イノベーションとはどのような特性をもつ現象なのか、どのようにして生まれるか、どのような主体が関わっているのか、経済社会に及ぼす影響を与えるのかといった、イノベーションを理解する上で重要かつ基礎的なトピックについて学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	イノベーションは「新しいものを変える、既存のものを変える」といった幅広い概念で用いられるが、本講義では、新製品、新サービス開発および改良といった経済システムにおけるイノベーションを扱う。 講義で扱うトピックは次のようになる。なお、順番は入れ替わることがある。 ・イノベーションとは何か、その特質について、 ・経済システムにおけるイノベーションの役割、 ・イノベーションにおける政府の役割、技術政策、 ・イノベーションにおける大学の役割、TL O事業、大学初ベンチャー、 ・日本のナショナルイノベーションシステムの課題と展望、 ・企業戦略におけるイノベーションの役割、 ・組織のイノベーション、生産効率の改善実験、 ・研究開発プロジェクトの評価
履修上の留意点	初歩的数学を使う回がある（その都度解説は入れる）。 経済学の基本的な知識があると望ましい。
成績評価の方法	年度末の定期試験（1回）と講義の終わりに小レポート（計算問題含む：不定期複数回）を実施する。小レポートの合計点（30%）と定期試験（70%）により総合評価する。講義への参加状況は、成績評価に加味することがある。
教科書	一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』（日本経済新聞社）2800円
参考書等	延岡健太郎『MOT技術経営入門』（日本経済新聞社）3000円 小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社） 後藤晃『イノベーションと日本経済』（岩波新書）

履修コード	143711
科目名	ファイナンス理論
担当者名	江頭 隆治

講義のねらい	受講者がファイナンシャル・リテラシーを身に付け、ファイナンシャル・インテリジェンスを高めることを目的とする。すなわち、ファイナンスに関する日常的な問題を通じて基礎知識を学び、その背後にある基本的な考え方を理解する。そして資産の効率的な運用能力を高めることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	入門知識篇（1-15）ファイナンシャル・リテラシーとファイナンシャル・インテリジェンス、投資とはどういうゲームか、株価とは何か、投資は運か実力か、現代ポートフォリオ理論のシュールな結論、投資に対するアドバイス 基礎理論篇（16-30）金融工学で何を学ぶか、リスクとリターン、分散投資の原理、「ベータ」投資理論、先物取引、オプション、現代ファイナンス論
履修上の留意点	日ごろから、メディアに掲載される銀行・証券会社などの金融機関の広告などを見て、どんな金融商品があるか、その金融商品の内容を理解できるか、考えてください。
成績評価の方法	試験と課題による評価
教科書	藤沢数希「なぜ投資のプロはサルに負けるのか?」、ダイヤモンド社、1600円、ISBN4-478-60053-8 野口悠紀「金融工学、こんなに面白い」、文藝春秋、690円、ISBN4-16-660123-7

履修コード	143721
科目名	ゲーム理論A
担当者名	<small>あらい やすひろ</small> 新井 泰弘

講義のねらい	<p>本講義ではゲーム理論の基礎を解説します。ゲーム理論は、利害対立関係にある複数の人々がお互いの意思決定を考慮に入れて行動をした際に起こる結果について分析するための理論です。</p> <p>経済学や経営学、心理学、生物学などの様々な分野において、ゲーム理論は有用な分析手法として用いられており、学際的な総合的理論の1つと見なされています。ゲーム理論を学ぶことは、他者がどのように考え、それが自分にどのような影響をもたらすかについて考える訓練にもなります。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1. ゲーム理論とはどのような学問か？, 2. ゲームの記述, 3～6. 標準型ゲーム (1) 支配概念, (2) ナッシュ均衡, (3) 混合戦略, (4) 応用, 7. 中間試験, 8～10. 展開型ゲーム (1) 動学ゲームと静学ゲーム, (2) 均衡概念の精緻化: サブゲーム完全ナッシュ均衡, (3) 動学ゲームの応用, 11～14. 不完備情報ゲーム (1) 不完備情報とは?, (2) 不完備情報下の静学ゲーム, (3) ベイジアン・ナッシュ均衡, (4) 様々な応用, 15. 期末試験</p>
履修上の留意点	<p>授業に出席するだけでなく、教科書や参考文献を読んで自分の頭で考える事が重要になります。わからない事柄をそのままにして進まないように気をつけてください。</p>
成績評価の方法 教科書 参考書等	<p>成績は中間試験と期末試験によって評価します。 講義で指定する教科書はありません。授業では適宜プリントを配布します。 ギボンズ著『経済学のためのゲーム理論入門』創文社</p>

履修コード	143731
科目名	ゲーム理論B
担当者名	<small>あらい やすひろ</small> 新井 泰弘

講義のねらい	<p>本講義では「ゲーム理論A」を既に受講したものとして、より発展的なトピックについての解説を行います。ゲーム理論Aよりも理論の応用方面にスポットを当てていく予定です。</p> <p>経済学や経営学、心理学、生物学などの様々な分野において、ゲーム理論は有用な分析手法として用いられており、学際的な総合的理論の1つと見なされています。ゲーム理論の応用を通じて戦略的思考方法を身につける事を目標としています。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1. ゲーム理論の応用と社会的役割, 2～4. 標準型ゲーム (1) 再論: ナッシュ均衡, (2) ナッシュ均衡の存在証明, (3) 様々な応用例, 5～7. 展開型ゲーム (1) 再論: サブゲーム完全ナッシュ均衡, (2) 展開型ゲームの応用: シュタッケルベルグ均衡, 7. 中間試験, 8～9. 展開型ゲーム (3) 繰り返しゲーム, (4) 繰り返しゲーム: トリガー戦略, 10～14. 不完備情報ゲーム (1) 再論: ベイジアン・ナッシュ均衡, (2) オークションの理論, (3) オークションの理論2, (4) 完全ベイジアン均衡, (5) シグナリングゲーム, 15. 期末試験</p>
履修上の留意点	<p>授業に出席するだけでなく、教科書や参考文献を読んで自分の頭で考える事が重要になります。わからない事柄をそのままにして進まないように気をつけてください。</p>
成績評価の方法 教科書 参考書等	<p>成績は中間試験と期末試験によって評価します。 講義で指定する教科書はありません。授業では適宜プリントを配布します。 ギボンズ著『経済学のためのゲーム理論入門』創文社</p>

履修コード	139301
科目名	日本経済史
担当者名	わたなべ あらた 渡辺 新

講義のねらい

経済学は理論・歴史・政策の3つの柱から成り立つが、この講義はその内の歴史（経済史）についてのものである。今年度は、日本において資本主義経済が成立して以来の経済の歴史、つまり日本資本主義発達史を学んでいくこととする。現在、私たちが住んでいる日本の資本主義経済はたかだか百数十年の歴史しかもっていない。しかし、その百数十年は人類が経験したことのない速いテンポで進み、大きく変貌している。この講義のねらいは日本の資本主義経済の歴史分析にあることはいうまでもないが、そのことによって現代日本の歴史的な位置を考えていくことにもう一つのねらいがある。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じてそれぞれの歴史段階に沿った形で日本経済の特質を解説していくが、今年度はとりわけ財閥の歴史を重視していく。財閥は近代日本資本主義において経済発展を担う主体であり、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な位置を占めてきた。その財閥が、政商として誕生してから時代とともにどのように変容していったかをみていくこととする。

1. 前近代の社会経済構造, 2. 明治維新の社会経済構造, 3. 日本の産業革命, 4. 政商から財閥へ, 5. 大正デモクラシーの社会経済構造, 6. 商社ブームと破綻, 7. 昭和恐慌と高橋財政, 8. 財閥の転向, 9. 十五年戦争下の日本経済, 10. 戦時体制と財閥, 11. 敗戦と戦後改革, 12. 財閥の解体, 13. 高度経済成長の歴史構造, 14. 企業集団と財閥, 15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

歴史は暗記するものではなく理解するものであることを絶えず念頭におくこと。
試験ないしはレポートによって評価する。
特に指定しない。
そのつど指示する。

履修コード	140901
科目名	上級簿記
担当者名	やじま ただし 矢島 正

講義のねらい

この講義は「簿記学」を習得した学生を対象とし、通年で日商簿記検定2級から1級程度の商業簿記の知識を身につけることを目的としています。

投資家、債権者、取引先、課税当局などの外部利害関係者に対して、企業は経済活動及び経済事象を財務諸表等によって報告する役割があります。しかし、企業では経営の多角化及び国際化の傾向が急速に強まり、これにともなって取引も複雑化してきました。したがって、企業は高度な会計知識をもった会計技術者を必要としています。問題意識をもって積極的な姿勢でこの講義を受講することを強く望みます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現金預金取引 2. 銀行勘定調整表 3. 有価証券 4. 手形取引 5. 引当金, 6. 特殊商品売買取引 7. 固定資産 8. リース 9. 社債 10. 本支店会計 11. 合併
12. 連結会計

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

必ず電卓を用意してきてください。
出席、小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。
加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記講義2級商業簿記』（中央経済社）
加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記ワークブック2級商業簿記』中央経済社（教科書と併せて購入すれば検定試験対策になります。）

その他

是非、日商簿記検定2級を目指してみてください。教科書は『簿記講義』を使用しますが、各項目ごとに出来るだけ丁寧に説明していきます。ただ、『ワークブック』も購入して勉強していただければ、より効率があがると思われます。

履修コード	140101
科目名	管理会計論
担当者名	さるやま 義広 猿山 義広

講義のねらい

この講義の目的は、日商簿記検定試験や公認会計士試験に出題された計算問題を解きながら、管理会計の考え方や技法を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学系列の演習を受講する学生はできるだけ履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学系の演習を受講する学生も積極的に履修してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

第1回 管理会計の基本概念, 第2回 管理会計と原価計算1 —— 原価の意義と分類, 第3回 管理会計と原価計算2 —— 原価計算の手続, 第4回 管理会計と原価計算3 —— 直接原価計算, 第5回 第1回小テスト, 第6回 短期利益計画におけるCVP分析1 —— 損益分岐点分析, 第7回 短期利益計画におけるCVP分析2 —— 目標利益の達成計画, 第8回 短期利益計画におけるCVP分析3 —— プロモーション効果, 第9回 第2回小テスト, 第10回 原価予測, 第11回 最適セールス・ミックスの決定, 第12回 経済的発注量 (EOQ) の決定, 第13回 第3回小テスト, 第14回 標準原価計算による原価管理1 —— 原価統制の基礎, 第15回 標準原価計算による原価管理2 —— 製造間接費の原価差異分析, 第16回 標準原価計算による原価管理3 —— 標準直接原価計算, 第17回 予算実績差異分析, 第18回 第4回小テスト, 第19回 活動基準原価計算 (ABC), 第20回 原価企画, 第21回 バランス・スコアカード (BSC), 第22回 事業部制の管理会計, 第23回 第5回小テスト, 第24回 意思決定会計1 —— 業務的意思決定, 第25回 意思決定会計2 —— 不確実性下の意思決定, 第26回 意思決定会計3 —— 設備投資の意思決定, 第27回 第6回小テスト, 第28回 マーケティング会計1 —— 営業費管理会計, 第29回 マーケティング会計2 —— ブランド管理会計, 第30回 本試験

履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算や公認会計士試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっているので、学習効果を高めるためにも、できるだけ「原価計算論」と併せて履修してほしい。

成績評価の方法

年間で6回行う授業中の小テストを20%、本試験を80%のウエートで評価を行う。本試験は電卓以外の参照は一切不可なので、注意してほしい。

教科書

とくに指定する教科書はないが、計算問題については日商簿記2級工業簿記や日商簿記1級原価計算の過去問題を参考にしてほしい。また、例題や解法のポイントについてのプリントを毎回配布するので、それを保存するようにしてほしい。

参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。

その他の

櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。プリントは大切に保存してほしいが、もし紛失してしまったときは遠慮なく申し出ること。最後まであきらめることなく、粘り強く勉強してほしい。

履修コード	141801
科目名	会計監査論
担当者名	阿部 一人

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
 もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかであることであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）、（1）監査の必要、（2）監査の意義、（3）監査の対象、2. 会計監査の意義と目的（2）、（1）監査の目的、（2）監査思想の変遷、（3）監査の効用、3. 監査の機能、4. 会計上の誤謬と不正、5. 監査の種類、6. 会計監査と財務諸表監査、7. 我国の監査制度、（1）証券取引法監査、（2）商法監査、（3）その他の監査制度、8. 監査基準（1）、（1）必要性、（2）生成と展開、9. 監査基準（2）、（1）意義、（2）体系、（3）一般基準、（4）実施基準、（5）報告基準、10. 監査人、11. 監査証拠、12. 監査計画、13. 内部統制、14. 試査、15. 監査技術と監査手続、16. 監査調書と経営者による確認書、17. 監査報告書、18. 連結財務諸表の監査、19. 中間財務諸表の監査、20. システム監査、21. 国際監査基準、22. 現代監査論の動向、（1）監査概念の拡大化、（2）監査保証に程度の差を認める監査概念

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

評価の方法は、後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

履修上の留意点
成績評価の方法

教科書
参考書等

開講後指示する。

- 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山本忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

履修コード	141901
科目名	税務会計論
担当者名	高木 克己

講義のねらい 今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

(1~2) 税務会計の制度的基礎、(3~5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6~8) 事業年度、同族会社、(9~12) 課税所得計算の基礎、(13~16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17~21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22~24) 税額の計算、申告、納付等、(25~28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29~30) 国際課税、不服申立・訴訟等

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

原則として学年末の試験によって評価する。前期末に小テストを行う。

開講時に指示する。

開講時に指示する。

履修コード	141301
科目名	経営分析論
担当者名	片桐 伸夫

講義のねらい 経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 経営分析について、(2-6) 経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、(7-12) 収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、(13-15) 貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16-20) 生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21-26) キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27-30) 税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、さきやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

評価基準 前期レポート40%、前期小テスト10%、

後期レポート40%、後期小テスト10%、

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

**教科書
参考書等**

開講時、指示します。

随時、紹介します。

履修コード	142801
科目名	国際会計論
担当者名	山田 純平

講義のねらい 生産や販売、資金調達などの企業活動は、国内のみならず、海外でも活発に行われる流れにあります。その結果、会計の分野においても急速な国際化が進みつつあり、近年は会計基準の統合化がひとつの大きなテーマとなっています。

そこで、この講義では、会計の国際的な側面を以下の点から説明します。

- (1) 会計基準の統合化が進んでいる現状と問題点
- (2) 具体的な会計基準の動向とその背景となる考え方（特に国際基準と日本基準が異なる分野を重点的に）
- (3) 多国籍企業の財務諸表分析

この講義を受講することで、さしあたり以下の点が理解できるようになることが望めます。

- ① 国際基準をそのまま受けることにもいくつか問題があること
- ② 各国の考え方の相違から差異が残されてしまうこと
- ③ 国際基準で提案される考え方自体がこれまでの実務に根ざした考え方とは異なること
- ④ 現実の財務諸表における会計基準の適用と財務諸表の分析の仕方

講義の内容・
授業スケジュール

第1～3回：会計の基礎に関する復習
第4～6回：会計基準の統合化に関する様々な議論
第7～13回：金融商品、減損、退職給付・リース・税効果の会計
第14～20回：企業結合・連結会計、新株予約権の会計、業績報告、概念フレームワーク
第21～27回：アメリカ・日本・ヨーロッパの企業の分析
第28～30回：総まとめ

履修上の留意点

簿記学や会計学の履修を前提とします。ただし、授業の内容を理解するのに必要な基礎的知識については、そのつど解説します。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

試験65%、小テスト25%、出席10%。
富塚嘉一編著『どうなってる!?国際会計』中央経済社。
授業中に適宜指示します
私語がひどい学生は退席をしてもらう場合があります。

専門教育

履修コード	136611
科目名	経営数学A
担当者名	飯田 哲夫

講義のねらい 企業経営上の問題を扱う際に用いられる、定量的な分析や合理的な意思決定のための数理的方法論を理解する上で、ある程度の数学的知識を持っていることが望まれる。経営数学Aでは、定量的な分析や合理的な意思決定の方法論を扱う経営科学関連の専門科目に関係する数学的知識について、高校で習った数学の復習を含めて、基本的な内容を主に学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

授業内容は、基本的な関数、数列、極限、級数、ベクトル、行列などである。授業は講義形式で行う。授業では、数学がどのように用いられるのかを理解するために、適宜、応用例を紹介する。授業スケジュールは、以下のとおりである。(1)イントロダクション、(2-5)数と関数、(6-7)数列、(8-9)極限、(10)級数、(11-13)ベクトルと行列、(14-15)逆行列とその応用。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法
教科書

中間試験と期末試験を行い、それらの成績で評価する。
適宜、プリントを配布する。

履修コード	136621
科目名	経営数学B
担当者名	飯田 哲夫

講義のねらい 経営数学Bでは、経営数学Aに引き続き、定量的な分析や合理的な意思決定の方法論を扱う経営科学関連の専門科目に関係する数学的知識を、高校で習った数学の復習を含めて、さらに学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 授業内容は、利益の最大化や費用の最小化を行う際に用いられる微分法とその応用（微分係数、導関数、微分の方法、高次導関数、極値など）を中心とする。授業は講義形式で行う。授業では、数学がどのように用いられるのかを理解するために、適宜、応用例を紹介する。授業スケジュールは、以下のとおりである。(1)イントロダクション、(2-6)微分法、(7-9)微分法の応用、(10)多変数関数、(11-12)多変数関数の微分、(13-15)多変数関数の微分の応用。

履修上の留意点 講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法 中間試験と期末試験を行い、それらの成績で評価する。

教科書 適宜、プリントを配布する。

履修コード	136631
科目名	確率・統計入門A
担当者名	小沢 利久

講義のねらい この講義では、2年次以降に配当された専門教育科目を受講する上で最低限必要となる確率・統計の基礎知識、特に、代表的な確率分布と基本的な母数の推定方法の理解を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1~2)記述統計と推論統計、データの処理、(3)事象と確率、(4)条件付き確率とベイズの定理、(5)確率変数と分布関数、(6)平均と分散、(7)離散型確率分布(二項分布、幾何分布、ポアソン分布)、(8~9)連続型確率分布(指数分布、一様分布、正規分布)、(10)確率変数間の相関、(11~12)大数の法則と中心極限定理、(13~14)標本抽出と母集団の平均・分散・相関係数の推定、(15)全体のまとめ

履修上の留意点 前提とする内容は特にありませんが、数学的な理解を助けるために経営数学Aを同時に履修して下さい。また、授業で習ったことを何度も反復してやってみるという復習を心がけて下さい。

成績評価の方法 中間テスト(5月下旬)と定期試験(7月下旬)により評価します。出席については参考とします。

教科書 稲垣宣生・吉田光雄・山根芳知・地道正行『統計学講義』2007年刊(裳華房)本体2,100円

参考書等 必要に応じて示します。

履修コード	136641
科目名	確率・統計入門B
担当者名	小沢 利久

講義のねらい この講義では、より厳密な統計分析に必要な確率・統計の基礎、特に推定と検定及び回帰分析についての理解を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1)確率変数と分布関数についての復習、(2)標本分布(カイ2乗分布、t分布、F分布)、(3~4)不変推定量と最尤推定量、(5~6)区間推定、(7)仮説検定の考え方、(8)平均・分散の検定、(9)平均値の差の検定、(10)等分散の検定、(11)適合度と分割表の検定、(12~14)回帰分析(回帰直線、最小2乗法、回帰係数の検定)、(15)全体のまとめ

履修上の留意点 確率・統計A及び経営数学Aの内容を前提とします。また、数学的な理解を助けるために経営数学Bを同時に履修して下さい。授業で習ったことを何度も反復してやってみるという復習を心がけて下さい。

成績評価の方法 中間テスト(10月下旬)と定期試験(1月上旬)により評価します。出席については参考とします。

教科書 稲垣宣生・吉田光雄・山根芳知・地道正行『統計学講義』2007年刊(裳華房)本体2,100円

参考書等 必要に応じて示します。

履修コード	137301
科目名	情報処理基礎A
担当者名	依田 聖 ^{よだ さとし}

講義のねらい	コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生生活に活用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	大学あるいは企業でPCを道具（情報収集、情報伝達、レポートの作成等）として使う基本的な力（コンピュータ・リテラシー）を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は（1）PCの操作（Windowsの基本操作）（2）WWW（ブラウザの使用法、情報検索・収集）（3）電子メール（送受信、添付ファイル、アドレス帳）（4）ワープロ（操作法、文書作成、印刷）
履修上の留意点	講義にはメールを活用（講義録の送付と課題の提出）する。 本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとります）。
成績評価の方法	出席（毎回の課題を提出）・レポート40%、試験60%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。
教科書	太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』（サイエンス社）2004年 1,995円、ISBN4-7819-1085-8
その他	※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

専門教育

履修コード	137631
科目名	情報処理基礎A
担当者名	宇谷 明秀 ^{うたに あきひで}

講義のねらい	この講義では、コンピュータとネットワークの仕組みについて説明した後、インターネットを介して情報を収集し、それを資料としてまとめ、プレゼンテーションするために必要なコンピュータの知識について、実際にコンピュータを使いながら学んでいく。具体的には、情報検索、文書作成、表計算、プレゼンテーション資料作成などを、専用アプリケーションを用いて行う。
講義の内容・授業スケジュール	第1回：コンピュータとネットワークの仕組み（1） 第2回：コンピュータとネットワークの仕組み（2） 第3回：コンピュータの基本操作 第4回：文書作成（文書の入力） 第5回：文書作成（書式の設定） 第6回：文書作成（図と表の作成） 第7回：情報検索の方法（1） 第8回：情報検索の方法（2） 第9回：表計算（表の作成） 第10回：表計算（グラフの作成） 第11回：表計算（関数の使い方） 第12回：表計算（いろいろな関数） 第13回：プレゼンテーション資料の作成（1） 第14回：プレゼンテーション資料の作成（2） 第15回：全体のまとめ
成績評価の方法	試験の点数に出席状況を加味して評価する。
教科書	授業の中で必要に応じて紹介する。
参考書等	授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	137001
科目名	情報処理基礎A
担当者名	加藤 武信

講義のねらい 情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使用して、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・授業スケジュール A. コンピュータの仕組みと Windows の基本操作
(1~2) アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
B. ワープロソフト Word による文書作成
(3~4) 日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
C. インターネットと電子メールの活用
(5~6) Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など
D. 表計算ソフト Excel による作表・作図(基本レベル)
(7~10) 売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成
(11~15) 基本関数、論理関数、データベースの活用

履修上の留意点 パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法 平常点(出席とレポートへの点数付け)およびテストにより総合評価する。

教科書 加藤武信他『コンピュータ活用』(サンウェイ出版)2,300円、ISBN4-88389-012-0 C0004

参考書等 授業の中で示す

その他 授業の方法:パソコン実習
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	136701・137101
科目名	情報処理基礎A
担当者名	河内谷 幸子

講義のねらい この講義のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。初心者前提として、タイプ練習、日本語入力、ワープロソフト、ホームページ検索、ホームページ作成入門、ブログ、情報倫理などを実習していきます。

履修上の留意点 コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法 コンピュータを使って解くレポート課題を2~3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

教科書 毎回プリントを配布しますので、教科書は使用しません。

参考書等 その都度授業で指示します。

その他 1人1台コンピュータを使った実習形式です。
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	137501
科目名	情報処理基礎A
担当者名	岩淵 護

講義のねらい 学内の情報環境に即したコンピュータ操作やワープロ文書処理、表計算処理に加え、インターネットを利用した情報収集等情報技術の活用に関わる基礎的技能の習得を図っていきます。

講義の内容・授業スケジュール 予定している講義内容は次のとおりです。(1) コンピュータの基本的な使い方、(2) Windows の基本操作、(3~4) ワープロソフトの基本操作、(5~7) ワープロソフトによる文書作成、(8~9) 表計算ソフトの基本操作、(10~12) 表計算ソフトを用いたデータの基礎的な加工や分析、(13) インターネットの基礎、(14~15) インターネットの活用による情報収集・処理

履修上の留意点 授業は、コンピュータを使用した演習形式で行います。毎回、演習課題を配布いたしますので遅刻・欠席をしないよう努めてください。

成績評価の方法 出席点、演習課題(毎回実施)50%、レポート50%

教科書 長谷川雄亮『報告書を書くための Word の使い方』三恵社、2007年。1680円 (ISBN: 4-88361-437-9)。その他必要に応じてレジュメ等も配布します。

その他 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	137621
科目名	情報処理基礎 A
担当者名	若山 大樹

講義の内容・授業スケジュール この講義では、コンピュータとネットワークの仕組みについて説明した後、インターネットを介して情報を収集し、それを資料としてまとめ、プレゼンテーションするために必要なコンピュータの知識について、実際にコンピュータを使いながら学んでいく。具体的には、情報検索、文書作成、表計算、プレゼンテーション資料作成などを、専用アプリケーションを用いて行なう。

- 1～2. コンピュータとネットワークの仕組み
3. コンピュータの基本操作
- 4～6. 文書作成
- 7～8. 情報検索の方法
- 9～12. 表計算
- 13～14. プレゼンテーション資料の作成
15. まとめ

履修上の留意点 必修科目であり出席を重要視するので、欠席するときは事前に申し出ること。
 成績評価の方法 数回の小課題提出状況と出席、期末課題により総合的に評価する。
 教科書 必要に応じて配布あるいは、指示する。
 参考書等 必要に応じて配布あるいは、指示する。

専門教育

履修コード	137601
科目名	情報処理基礎 A
担当者名	小沢 利久

講義のねらい 現代のビジネスにおいてコンピューターの利用は不可欠です。この講義では、コンピューターとネットワークの仕組みについて理解するとともに、インターネットを介して情報を収集し、それを資料としてまとめ、プレゼンテーションするために必要なコンピューターの知識を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) コンピューターとネットワークの仕組み、(3) コンピューターの基本操作、(4～7) 文書作成：文書の入力、書式の設定、図と表の作成、(8) 情報検索の方法、(9～12) 表計算：表の作成、グラフの作成、関数の使い方、いろいろな関数、(13～14) プレゼンテーション資料の作成、(15) 全体のまとめ

履修上の留意点 前提とする内容は特にありません。授業で習ったことを何度も反復してやってみるといふ復習を心がけて下さい。

成績評価の方法 項目毎の課題提出（複数回）を合計90点満点、出席を10点満点として評価します。
 教科書 プリントを配布し、テキストに代えます。
 参考書等 必要に応じて示します。

履修コード	137201
科目名	情報処理基礎A
担当者名	<small>むらかみ ゆかこ</small> 村上 友佳子

講義のねらい

本講義は、経営学・経済学での基礎的なコンピューターによる数的処理・統計処理を修得することを目的とする。経済現象は、売上高の変化、利益率の変化、失業率や公定歩合などの割合の変化等々数字として表現されることがほとんどである。こうした数字からいかに情報を引き出すか、基本的な経営・経済指標について講義とエクセルを使った実習を行う。

官公庁などのホームページをデータの収集に利用していくこともおこなう予定である。関心のある事柄を調べる（図書館での文献・データベースの検索、パソコンでのインターネットの活用などによる）、表計算ソフトを使って表・グラフを作成する、プレゼンテーションを行う、レポートを書く、などの方法を習得する。

大学生として、成果をレポートや論文として残したい学生に相応しい講義です。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 インターネットによる官公庁統計の利用
- 3 データのダウンロード
- 4 企業の経営データに親しむ（図書館データベースの利用）
- 5 数的処理の方法（構成比、成長率、寄与度）
- 6 EXCELによる統計処理の方法（記述統計 グラフを描く）
- 7 WORDによるレポート執筆（グラフの貼り付け）
- 8 POWER POINT によるプレゼンテーション（報告）行い方
- 9 分析事例を見てみよう（論文やレポートを読んで、数的処理を知る）
- 10 図書館における文献、資料、統計、データベースの検索の行い方

（「5. 数的処理の方法」「6. EXCELによる統計処理」は、複数回、講義する予定。少しずつ無理なく、情報処理を学びましょう。）

経済統計のバックグラウンドとなる経済・経営知識の講義を多少行い、実作業を行っていく予定です。

参考文献 浅子和美・加納・倉沢「マクロ経済学」（新世社）

小田切宏之「企業経済学」（東洋経済）

刈屋武昭「計量経済学の基礎と応用」（東洋経済新報社）

成績評価の方法

第一に、レポート提出を課題とする。興味のある企業の経営戦略について、WORD・EXCEL（数表、グラフ添付）を用いて、執筆すること。

第二に、講義に遅刻しないで出席し、講義を聴き、指示に従い作業を行う。分からなければ質問し、講義で進められる実際の演習を習得する。その結果として、講義内の練習問題を提出する。

そ の 他

講義受講者は、次回までに、ユーザーコード パスワードを総合情報センターの事務室で申請してください。

※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	136801・136901
科目名	情報処理基礎A
担当者名	<small>じびき まさひろ</small> 地引 昌弘

講義のねらい	本講義では、経営の様々な場面で出会う意思決定やその問題解決の手段として、コンピュータを自分自身で活用できるための基礎の習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	・イントロダクション(1) 講義内容概説/情報教育センターに関するオリエンテーション/コンピュータ科学と経営学とについて(プロローグ) ・コンピュータの構成と基本操作(2~8) 初めてコンピュータに触れる人が戸惑わないために、コンピュータを使う上での最初の一步から説明を始める。続いて、基本的な入力装置であるキーボードおよびマウスの操作に慣れることを目標に、ワープロソフトを用いた文書の作成を行なう。 ・ホームページによる情報発信(9~15) 電子メールを用いたコミュニケーションやWWWブラウザを用いた情報収集、最後に自らのホームページを作成して情報を発信できることを目指す。
履修上の留意点	本講義は、コンピュータの初心者、コンピュータを補助として利用できるようになることを、そして何か問題が起きた場合でも自分自身で対処を行なえるようになることを最終的な目標としています。従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問/疑問でも大いに歓迎致します。
成績評価の方法	まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい(出席免除などは基本的に認めない)。実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。各実習毎に、解決すべき課題(あるいはその実習の目標)を示すので、これらを解決(あるいは実現)できた場合に、実習毎の内容に応じた部分点を与える。また、実習の状況に応じて追加課題を提出させる場合がある。期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。成績は、出席および課題/レポートの各部分点を総合して評価する。
その他	教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとして E-mail(電子メール)を利用する予定。 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

専門教育

履修コード	137611
科目名	情報処理基礎A
担当者名	<small>なが こきよう</small> 長 国強

講義のねらい	この講義では、コンピュータとネットワークの仕組みについて説明した後、インターネットを介して情報を収集し、それを資料としてまとめ、プレゼンテーションするために必要なコンピュータの知識について、実際にコンピュータを使いながら学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	コンピュータ基礎(1-2); 文書作成(3-6); 情報検索(7); 小テスト(8); 表計算(9-11); プレゼンテーション資料の作成(12-13); 全体のまとめ(14-15)。
成績評価の方法	総合評価(100)=出席(30)+提出課題(50)+期末試験(20)。
教科書	特に使用しませんが、プリントは毎回配布する予定。
参考書等	特に使用しません。

履修コード	137401
科目名	情報処理基礎A
担当者名	桃塚 薫

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法</p> <p>教科書</p> <p>その他</p>	<p>この講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの基礎的リテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(1)Windows の基本操作 (電源の入れ方、ファイル・フォルダの概念、ハードディスクなど各種記憶装置の名称・構造と使い方、ホームディレクトリの使用方法) ●(2)電子メール (Active! Mail) の使い方 (電子メールの送受信、転送、保存、削除、ファイルの添付、あて先とCC、BCC、ネチケット (成りすまし、デマメールなど) の説明) ●(3)Web の基礎知識 (情報検索の方法) ●(4~7)ワープロソフトの基本操作 (日本語入力、全角文字と半角文字、ドキュメンテーションの保存、装飾、図・表などの作成と挿入、文字列の検索と置換、箇条書き、印刷方法、実際に複数ページにまたがるドキュメンテーションを作成) ●(8~15)表計算ソフトの基本操作 (表計算ソフトの概念、基本用語の説明、データ入力方法の説明、データの保存、四則演算、データの修正、数式のコピー (相対参照と絶対参照)、レイアウトの変更、印刷、平易な統計・論理関数の使い方(合計、平均、条件)、各種グラフの作成、データベースの概念、フィールドとレコード、データの並べ替え、列と行の表示と非表示、その他の関数、表計算ソフトを利用した総合作成演習) <p>実習授業のため、遅刻・欠席をしないでください。毎回出席を取ります。授業中に数回、課題を提出してもらいます。</p> <p>出席点(50%)、課題提出状況 (25%)、期末レポート (25%) による相対評価。 毎回プリントを配布。(同じ内容のPDFファイルをウェブ上で閲覧できる) ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。</p>
---	---

履修コード	138501
科目名	情報処理基礎B
担当者名	依田 聖

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法</p> <p>教科書</p> <p>その他</p>	<p>コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。</p> <p>前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は(1)表計算(エクセル)(操作法、表計算、グラフ)(2)www -ワープロ・エクセルの連携(アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析)(3)スライドの作成(パワーポイントでスライドを作成する)</p> <p>講義にはメールを活用(講義録の送付と課題の提出)する。 本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしながら聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと(出欠は必ずとります)。</p> <p>出席(毎回の課題を提出)・レポート40%、試験60%。毎回の課題はメールで提出する。 太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』(サイエンス社)2004年1,995円、ISBN4-7819-1085-8</p> <p>※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への事前登録申請のみでは履修できません。</p>
---	---

履修コード	138631
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	宇谷 明秀 <small>うたに あきひで</small>

講義のねらい	この講義では、代表的な表計算アプリケーションである Excel のワークシート関数と付属ツールを用いたデータ分析の方法について学んでいく。具体的には、財務関数、統計関数、ゴールシーク、回帰分析、ソルバーを用いて例題を解きながらデータ分析についての理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1回：ワークシート関数の基本についての復習</p> <p>第2回：財務関数（いろいろな財務関数）</p> <p>第3回：財務関数（応用例）</p> <p>第4回：統計関数（いろいろな統計関数）</p> <p>第5回：統計関数（応用例）</p> <p>第6回：ゴールシーク（ゴールシークの使い方）</p> <p>第7回：ゴールシーク（応用例）</p> <p>第8回：ソルバー（ソルバーの使い方）</p> <p>第9回：ソルバー（応用例1）</p> <p>第10回：ソルバー（応用例2）</p> <p>第11回：回帰分析（回帰分析ツールの使い方）</p> <p>第12回：回帰分析（決定係数と残差を用いた分析）</p> <p>第13回：回帰分析（応用例1）</p> <p>第14回：回帰分析（応用例2）</p> <p>第15回：全体のまとめ</p>
成績評価の方法	試験の点数に出席状況を加味して評価する。
教科書	授業の中で必要に応じて紹介する。
参考書等	授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	138301
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	加藤 武信 <small>かとう たけのぶ</small>

講義のねらい	「情報処理基礎 A」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。
講義の内容・授業スケジュール	<p>A. 表計算ソフト Excel による応用処理</p> <p>（1～4）データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成</p> <p>B. プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化</p> <p>（5～6）表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成</p> <p>（7～8）プレゼンテーション課題に沿った発表順序の企画とスライドの作成</p> <p>C. データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理</p> <p>（9～15）テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQLの基礎</p>
履修上の留意点	パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。
成績評価の方法	平常点（出席とレポートへの点数付け）およびテストにより総合評価する。
教科書	加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円、ISBN4-88389-012-0 C0004
参考書等	授業の中で示す。
その他	<p>授業の方法：パソコン実習</p> <p>※この科目を履修するためには、「情報処理基礎 A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎 A」への事前登録申請のみでは履修できません。</p>

履修コード	137901・138001
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	河内谷 幸子 <small>かわちや さちこ</small>

講義のねらい この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に全く新種のソフトが世間的に普及するような場合が生じても適応できるように、積極的に新しいものに取り組み姿勢を身につけることも目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。「情報処理基礎」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの使い方、ソフト比較演習、などを実習します。

履修上の留意点 「情報処理基礎」をあらかじめ履修しておくことをおすすめします。また、コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法 コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

教科書 毎回プリントを配布しますので、教科書は使用しません。

参考書等 その都度授業で指示します。

その他 1人1台コンピュータを使った実習形式です。
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への事前登録申請のみでは履修できません。

履修コード	137801
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	岩淵 護 <small>いわた ますむら</small>

講義のねらい 前期情報処理基礎Aに引き続き、基礎的技能を更に発展させ、プレゼンテーション、問題解決等の場面で活用できる能力を身につけ、情報を正しく取り扱う姿勢や態度を確実なものにします。

講義の内容・授業スケジュール 予定している講義内容は次のとおりです。(1～2) プレゼンテーションソフトの基本操作、(3～5) プレゼンテーションソフトによる資料作成、(6～8) 表計算ソフトによるデータ加工・分析の応用、(9～10) 表計算ソフトによるデータベース処理、(11～12) 企業に関する情報の収集・処理、(13) 情報発信に向けた基本的言語の理解、(14～15) 情報発信のためのホームページ作成

履修上の留意点 授業は、コンピュータを使用した演習形式で行います。毎回、演習課題を配布いたしますので遅刻・欠席をしないよう努めてください。

成績評価の方法 出席点、演習課題(毎回実施)50%、レポート50%

教科書 長谷川雄亮『報告書を書くための Word の使い方』三恵社、2007年。1680円 (ISBN: 4-88361-437-9)。その他必要に応じてレジュメ等も配布します。

その他 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への事前登録申請のみでは履修できません。

履修コード	138621
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	若山 大樹 <small>わかやま たいき</small>

講義の内容・授業スケジュール この講義では、代表的な表計算アプリケーションである Excel のワークシート関数と付属ツールを用いたデータ分析の方法について学んでいく。具体的には、財務関数、統計関数、ゴールシーク、回帰分析、ソルバーを用いて例題を解きながらデータ分析についての理解を深める。

- 1～2. ワークシート関数の基本
- 3～4. 財務関数
- 5～6. 統計関数
- 7～8. ゴールシーク
- 9～11. ソルバー
- 12～14. 回帰分析の基礎
15. まとめ

履修上の留意点 情報処理基礎Aを履修していること。

成績評価の方法 数回の小課題提出状況と出席、期末課題により総合的に評価する。

教科書 必要に応じて授業時間内に配布あるいは指示する。

参考書等 必要に応じて授業時間内に配布あるいは指示する。

履修コード	138601
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	小沢 利久 <small>おざわ としひさ</small>

講義のねらい 適切な経営判断、有効な計画立案を行うためには、日々蓄積されるデータを、コンピューターを用いてさまざまな観点から分析し、そこから意味のある情報を引き出すことが重要となります。この講義では、代表的な表計算アプリケーションである Excel のワークシート関数と付属ツールを用いたデータ分析の方法を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール (1) ワークシート関数の基本についての復習、(2~3)財務関数とその応用例、(4~5)統計関数とその応用例、(6~7)ゴールシークの使い方とその応用例、(8~11)回帰分析ツールの使い方、決定係数と残差を用いた分析および応用例、(12~14) ソルバーの使い方と応用例、(15) 全体のまとめ

履修上の留意点 情報処理基礎Aの内容を前提とします。授業で習ったことを何度も反復してやってみるという復習を心がけて下さい。

成績評価の方法 項目毎の課題提出（複数回）を合計90点満点、出席を10点満点として評価します。

教科書 プリントを配布し、テキストに代えます。

参考書等 必要に応じて示します。

履修コード	138401
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	村上 友佳子 <small>むらかみ ゆかこ</small>

講義のねらい 本講義の狙いは、大学生がレポートや卒業論文を執筆する際に、必要とされるスキルを学ぶことです。また、それらは、社会人になってからも、利用可能です。
 数的処理やデータベース処理、回帰分析などの高度な統計処理も、EXCEL使うと簡単に習得でき、これまでと一味違う論文を書くことができます。
 また、POWER POINTを使って、効果的なプレゼンテーションの練習をしましょう。今まで書いたことのあるレポートをPOWER POINTに移して、きれいな背景や分かりやすい見出しをつけ、発表すると自信がつかます。
 出席する方は、まず、少人数クラスのなかで自分の意見や疑問点をしっかり述べる習慣、授業にきちんと出席して、話を聞き、課題をこなす習慣をつけてください。
 大学生として、勉強や学問で実りある成果をレポートや卒業論文として残したいと考えている学生に相応しい講義です。また、社会人になってからも有効に使えるスキルを身につけたいと考えている学生にも相応しい講義です。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 POWER POINTによるプレゼンテーション（報告の行い方）
- 2 図書館における文献、資料、統計、データベースの検索の行い方
- 3 パソコン端末利用による、データのダウンロードの行い方
- 4 EXCEL 表計算ソフトを使ってみましょう
- 5 EXCEL 統計関数、財務関数の使い方
- 6 EXCEL 論理関数の使い方（企業を評価し、ランクづけする）
- 7 EXCEL データベース処理Ⅰ（並び替え、フィルタ、自動集計機能を使う）
- 8 EXCEL データベース処理Ⅱ（顧客データの集計をピボットテーブルで行う）
- 9 EXCEL グラフの描き方（企業評価をグラフで図示しましょう）
- 10 EXCEL 回帰分析

成績評価の方法 第一に、POWER POINTを使って、講義時間内に少なくとも一度は報告を行うことがもめられる。報告する内容は、以前に書いた企業の経営に関するレポートに基づき、EXCELの数表、グラフを示すこと。学生個人のオリジナルな考え方に従った報告に対して高い評価をする。
 第二に、講義内で示す2回の課題（EXCELによる数的処理）を提出することが求められる。
 第三に、講義に遅刻しないで出席し、講義を聴き、指示に従い作業を行う。分からなければ質問し、講義で進められる実際の演習を習得する。その結果として、講義内の練習を適宜、提出する。

その他 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への事前登録申請のみでは履修できません。

履修コード	138101・138201
科目名	情報処理基礎B
担当者名	地引 昌弘

講義のねらい

本講義では、コンピュータの操作方法を単に習得するだけに偏らず、コンピュータ自体の知識や経営における実際の問題などに対応させながら、意思決定／問題解決の手段として活用できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

・表計算の基本(1～6)
経営の場における情報分析に際して、ワープロ以上に重要なツールである表計算ソフトに慣れることを目標に、代表的な表計算ソフトである MS-EXCEL を利用した表計算やグラフの作成、基礎的な統計分析などの各機能について学ぶ。

・オフィス統合ツールの基本(7～12)
表計算ソフトの基礎的な利用方法をベースに、より実践的な経営の問題への応用を目指す。まずは、ワープロソフトやデータベースソフトとの連携を目標に、作成したグラフを文書に組み込んだり、データベースからデータを取り出して解析を行なう技術を習得する。

最後に、表計算ソフト上の簡易プログラミング機能であるマクロを利用して、各オフィスツールを統合した環境における応用方法について学ぶ。

・コンピュータの応用(12～15)

コンピュータを自分自身で使いこなせることを目標に、プログラミングやアーキテクチャ、トラブル時の処理などコンピュータへの理解を深めるための実習／解説を行なう。まずは、簡単なプログラムを自分で開発できることを目指して、オフィス統合ツール上で利用される Visual Basic を対象にプログラミングの基礎を習得する。続いて、複雑なプログラムを作成するための作法や実際のデバッグ手法を学ぶ。最後に、OSやネットワークの仕組みについて解説を行ない、今後コンピュータを独力で使いこなしていける能力の習得を目指す。

履修上の留意点

本講義は、情報処理基礎の履修者が日常の活動にコンピュータを自在に活用できることを最終的な目標にしています。従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい(出席免除などは基本的に認めない)。実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。各実習毎に、解決すべき課題(あるいはその実習の目標)を示すので、これらを解決(あるいは実現)できた場合に、実習毎の内容に応じた部分点を与える。また、実習の状況に応じて追加課題を提出させる場合がある。期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。成績は、出席および課題／レポートの各部分点を総合して評価する。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとして E-mail (電子メール) を利用する予定。
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への事前登録申請のみでは履修できません。

履修コード	138611
科目名	情報処理基礎B
担当者名	長 国強

講義のねらい

この講義では、代表的な表計算アプリケーションであるEXCELのワークシート関数と付属ツールを用いたデータ分析の方法について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

EXCEL関数の基本について(1-2)；財務関数(3-4)；統計関数(5-8)；小テスト(9)；ソルバー(10-11)；回帰分析(12-13)；全体のまとめ(14-15)。

成績評価の方法

総合評価(100)＝出席(30)＋提出課題(50)＋期末試験(20)。

教科書

特に使用しませんが、プリントは毎回配布する予定。

参考書等

特に使用しません。

履修コード	137701
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	桃塚 薫

講義のねらい この講義の目的は、大学生として、そして卒業後も必要となるコンピュータの比較的高度なリテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- (1~4)プレゼンテーションソフトの基本操作(スライドの作成、スライドのレイアウト、アウトライン、箇条書き、ファイルの保存、スライドのデザイン、デザインテンプレート、スライドの削除・移動、テキストボックス、ヘッダーとフッター、画像の挿入、スライドマスタ、アニメーション、表の作成、グラフの挿入、配布資料の印刷、課題作成)
- (5~11)グループによるプレゼンテーション実践(グループ分け、良いトピックとは、ブレインストーミング、テーマの絞り方、資料収集、スライドの構成、スライドの作成、内容の見直し、発表練習、発表、発表後の自己評価)
- (12~15)HTMLの基礎(テキストエディタの使い方、各種タグの説明、スタイルシート、基本的なタグを使ったhtmlファイルの作成実習)

履修上の留意点 実習授業のため、遅刻・欠席をしないでください。毎回出席を取ります。授業中に数回、課題を提出してもらいます。なお、グループによるプレゼンテーションを実際に行います。

成績評価の方法 出席点(50%)、課題提出状況(25%)、期末レポート(25%)による相対評価。

教科書その他 毎回プリントを配布。(同じ内容のPDFファイルをウェブ上で閲覧できる)

この授業では、プレゼンテーションソフトの操作方法だけでなく、自分の考えを他人に如何に分かりやすく効果的に伝えるかに焦点を当てます。
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への事前登録申請のみでは履修できません。

専門教育

履修コード	138801
科目名	情報処理応用 A
担当者名	長 国強

講義のねらい 実際のデータから経済・経営など社会的動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるように、本講義は、表計算ソフトEXCELの統計関数を中心に、データ解析の基本技法(図表、特性値、相関・回帰、市場予測、品質管理など)を実習する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回: WORDによる案内書の作成; 第2回: 四則計算; 第3回: 整数計算; 第4回: 乱数発生; 第5回: 統計関数I; 第6回: 統計関数II; 第7回: 小テストI; 第8回: 日付/時刻関数; 第9回: 財務関数; 第10回: 論理関数; 第11回: 小テストII; 第12回: 文字列操作関数; 第13回: グラフ作成I; 第14回: グラフ作成II; 第15回: 最終テスト。

成績評価の方法 総合評価(100)=出席(40)+提出課題(40)+期末試験(20)。
特に使用しませんが、プリントは毎回配布する予定。

教科書等その他 『超図解EXCEL関数ハンドブック』(エクスメディア)、2003。
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	138901
科目名	情報処理応用 A
担当者名	宇谷 明秀

講義のねらい 本講義では、簡単なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、“自らプログラムを作成してデータ処理できるようになる”ことを目標に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理プログラムを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

1. プログラミング講義(10回)
C言語について、そのすべてを説明する。
2. プログラミング演習(5回)
C++Builderを使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。

履修上の留意点

- ・情報処理の基礎科目を履修しておくこと。
- ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法 中間試験と期末試験に出席状況を加味して、評価する。
特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。
授業の中で必要に応じて紹介する。
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	139001
科目名	情報処理応用 B
担当者名	なが 国強

講義のねらい 本講義は、もっともメジャーなコンピュータ言語の1つであるCプログラムを用いて、ソフトウェア開発の基礎的な基礎を学習する予定である。Cプログラムの入門知識であるデータの表示と演算、プログラムの制御、ポインタ、関数など、実例を通して習得していく。

講義の内容・授業スケジュール 第1回：C言語とは；第2回：データの表示と計算；第3回：配列とは；第4回：プログラムの制御とは；第5回：小テストI；第6回：ポインタって何？第7回：関数とは；第8回：引数と配列；第9回：ライブラリ関数；第10回：小テストII；第11回：構造体の利用；第12回：構造体を指すポインタ；第13回：データ構造；第14回：最終課題への研究I；第15回：最終課題への研究II。

成績評価の方法 総合評価(100)=出席(40)+提出課題(40)+期末試験(20)。

教科書 特に使用しません、プリントは毎回配布する予定。

参考書等その他 高田美樹 『C言語スタートブック』(技術評論社)、2000。
※この科目を履修するためには、「情報処理応用A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

履修コード	139101
科目名	情報処理応用 B
担当者名	うたに 明秀

講義のねらい インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、情報の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講義では、

- ・基本的なデータ分析手法の習得
- ・プログラミング技術の習得

を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

講義の内容・授業スケジュール 1. データ分析手法の講義 (5回)
幾つかの基本的なデータ分析手法を紹介する (様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る)。
2. プログラミング技術の講義 (5回)
演習を中心に進める。
3. データ分析ソフトの開発 (5回)
C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

履修上の留意点 ・情報処理関連の科目を履修しておくが良い。
・C言語の基礎的知識を前提として講義を進める。
・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。
中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。
教科書 特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。
参考書等その他 授業の中で必要に応じて紹介する。
※この科目を履修するためには、「情報処理応用A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

履修コード	141131
科目名	マーケティング・リサーチ A
担当者名	菅野 佐織

講義のねらい この授業では、マーケティング・リサーチの役割とリサーチ設計、データ分析の基礎について学びます。マーケティング・リサーチは、専門家を目指さない人にとっても企業戦略やブランド戦略を立案するための必要な知識や能となります。また、マーケティング・リサーチは、経験や実践から学ぶことも多いことから、授業の後半ではグループで調査計画を策定、データを収集、分析することで、マーケティング・リサーチ・スキルの習得も目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 授業計画の説明とイントロダクション
- 2～3. マーケティング・リサーチ概要
- 4～5. リサーチ設計
- 6～7. 調査票設計
- 8～9. データ分析の基礎
10. サンプルング
- 11～14. マーケティング・リサーチ実習
15. リサーチ結果の発表

履修上の留意点

この授業ではパソコンによる実習（エクセル・SPSSを使用）を行うため、履修希望者が一定の数を越えた場合には、人数を制限することがあります。履修希望者は必ず第1回目の授業に参加してください。

成績評価の方法教科書

出席点、最終発表、定期試験によって評価します。

授業時に配布する資料をもとに講義を行います。授業の内容をより理解するためには、下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。特に『データはウソをつく』を受講前に読んでいただくと、より授業に興味を持てると思います。

参考書等

- 谷岡一郎『データはウソをつくー科学的な社会調査の方法』2007年（筑摩新書）798円
ナレシュ・K・マルホトラ『マーケティング・リサーチの理論と実践～理論編～』2006年（同友館）9450円
D.A.アーカー&G.S.デイ『マーケティング・リサーチ』1981年（白桃書房）5208円

履修コード	141141
科目名	マーケティング・リサーチ B
担当者名	菅野 佐織

講義のねらい この授業では、高度なマーケティング・リサーチの分析手法と企業戦略への応用について学びます。具体的には、マーケティング・リサーチでよく用いられる因子分析、相関分析、回帰分析、クラスター分析、コンジョイント分析を中心に学びます。また、新しい分析手法も紹介しながら、よりマネジリアルな視点から、マーケティング戦略とマーケティング・リサーチの理解を深めます。授業の後半では、グループで調査計画を策定、データを収集、分析し、マーケティング・リサーチ・スキルの習得も目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- 1～3. マーケティング・リサーチの概要と復習
- 4～5. 因子分析
- 6～7. 相関分析と回帰分析
- 8～9. クラスタ分析とコンジョイント分析
10. その他の分析手法
- 11～14. マーケティング・リサーチ実習
15. リサーチ結果の発表

履修上の留意点

この授業ではパソコンによる実習（エクセル・SPSSを使用）を行うため、履修希望者が一定の数を越えた場合には、人数を制限することがあります。履修希望者は必ず第1回目の授業に参加してください。また、この授業ではマーケティング・リサーチの基礎の講義はしません。「マーケティング・リサーチA」の後に履修されることをお勧めします。

成績評価の方法教科書

出席点、最終発表、定期試験によって評価します。

授業時に配布する資料をもとに講義を行います。授業の内容をより理解するためには、下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。

参考書等

- 朝野熙彦『入門 多変量解析の実際 第2版』2000年（講談社）2800円
ナレシュ・K・マルホトラ『マーケティング・リサーチの理論と実践～理論編～』2006年（同友館）9450円
D.A.アーカー&G.S.デイ『マーケティング・リサーチ』1981年（白桃書房）5208円

履修コード	141151
科目名	マーケティング・サイエンスA
担当者名	<small>わかやま たいすけ</small> 若山 大樹

講義のねらい	本講義の目的は、マーケティング活動諸問題への科学的アプローチについて、その考え方と方法論を学ぶことにある。そのため、マーケティングサイエンスAでは、マーケティング活動に関する様々なデータや統計解析手法について学び、市場と消費者に関する理論、モデル及びマーケティングの戦略的側面に関する科学的アプローチについて学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科学的アプローチによるマーケティング 2. 理論・モデルを通じた市場理解の方法 3～4. マーケティングデータと測定法、分析法 5～6. 市場の構造分析 7～8. 市場細分化 9～11. 消費者行動モデル 12. ブランド評価のモデル 13～14. マーケティング戦略に関する科学的アプローチ 15. まとめ
成績評価の方法	数回の小テストと出席状況、期末レポートにより総合的に評価する。
教科書	必要に応じて配布あるいは、指示する。
参考書等	必要に応じて配布あるいは、指示する。

履修コード	141161
科目名	マーケティング・サイエンスB
担当者名	<small>わかやま たいすけ</small> 若山 大樹

講義のねらい	本講義の目的は、マーケティング活動諸問題への科学的アプローチについて、その考え方と方法論を習得することにある。そのため、マーケティング・サイエンスBでは、製品、サービスのデザインや価格、流通、プロモーションといったマーケティングの戦略的側面に有効な多変量解析手法を学び、マネジリアルな観点から議論するための素養を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科学的アプローチによるマーケティング戦略について 2～4. 製品・サービスのデザイン 5～6. 価格政策と反応 7～9. プロモーションと広告に関するモデル 10. 流通 11～12. マーケティング戦略の事例研究 13～14. マーケティングに関する実験的方法と反応・効果の測定 15. まとめ
履修上の留意点	情報処理基礎や統計学（関連科目）の基礎を学んでいること。SPSS（統計ソフト）を利用する。
成績評価の方法	数回の小テストと出席状況、期末レポートにより総合的に評価する。
教科書	必要に応じて配布あるいは、授業中に指示する。
参考書等	必要に応じて配布あるいは、授業中に指示する。

履修コード	136501
科目名	経営科学概論
担当者名	<small>いいた かつお</small> 飯田 哲夫

講義のねらい	高品質の製品やサービスを提供する効率的で生産性の高い企業経営を行うために、種々の管理技術が発達してきている。この講義では、経営科学および経営工学の管理技術の基本的な理論と応用を概説し、経営科学系科目の基礎を習得することを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	<p>経営科学および経営工学の管理技術の基本的な理論と応用の中で、OR（オペレーションズ・リサーチ）、IE（インダストリアル・エンジニアリング）、QC（品質管理）の中から主要なものを取り上げる。本講義では、理論や方法論の詳細に入り過ぎることなく、幅広く講義する。授業スケジュールは、以下のとおりである。</p> <p>(1)イントロダクション、(2)経営科学・経営工学の概略と歴史、(3)問題発見と解決のプロセス、(4-7)生産管理と計画、(8-11)日程計画、(12-15)在庫管理、(16-19)品質管理、(20-23)経済性分析、(24-27)販売管理、(28-30)階層化意思決定法。</p>
履修上の留意点	経営数学を履修済みまたは同時に履修することが望ましい。
成績評価の方法	前期・後期それぞれに小テストを数回行う。それらの成績を学期末の筆記試験の成績に加味して評価する。
教科書	指定しない。適宜、プリントを配布する。

履修コード	141111
科目名	マネジメント・サイエンスA
担当者名	小沢 利久 <small>おざわ としひさ</small>

講義のねらい	この講義では、経営活動において生じる様々な問題を、数理モデルを用いて定量的に分析し、合理的な意思決定へとつなげるための問題の捉え方と代表的な手法について学びます。マネジメント・サイエンスの考え方や手法は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へその応用の範囲を広げつつあります。マネジメント・サイエンスAでは、最適化の手法を中心に、線形計画法、ネットワーク計画法、動的計画法、データ包絡分析法、階層化意思決定法について、例を用いながら解説します。
講義の内容・授業スケジュール	(1~4) LP：線形計画法（定式化、図による解法、感度分析、Excel ソルバーを用いた解法）、(5~7) ネットワーク計画法（グラフについて、最短経路問題、最小木問題、最大流問題）、(8~10) DP：動的計画法（最適性の原理、多段階決定問題）、(11~12) DEA：データ包絡分析法（CCRモデル、効率的フロンティア）、(13~14) AHP：階層化意思決定法（階層モデル、一対比較、ウエイトの計算）、(15) 全体のまとめ
履修上の留意点	経営数学A、経営数学B、確率・統計入門A、確率・統計入門Bを先または同時に履修しておくことを勧めます。
成績評価の方法	定期試験（7月下旬）と項目毎の演習課題により評価します。評価における割合は定期試験80%、演習課題20%とします。出席については参考とします。
教科書 参考書等	プリントを配布し、テキストに代えます。 必要に応じて示します。

履修コード	141121
科目名	マネジメント・サイエンスB
担当者名	小沢 利久 <small>おざわ としひさ</small>

講義のねらい	この講義では、経営活動において生じる様々な問題を、数理モデルを用いて定量的に分析し、合理的な意思決定へとつなげるための問題の捉え方と代表的な手法について学びます。マネジメント・サイエンスの考え方や手法は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へその応用の範囲を広げつつあります。マネジメント・サイエンスBでは、確率モデルを用いた分析手法を中心に、在庫管理、情報の期待価値、キャッシュフローと現在価値、ポートフォリオ選択、待ち行列理論について、例を用いながら解説します。
講義の内容・授業スケジュール	(1~2) 在庫管理（経済的発注量、発注点方式、定期発注方式）、(3~5) 情報の期待価値（情報の貨幣的価値、完全情報の期待価値、サンプル情報の期待価値）、(6~7) キャッシュフローと現在価値（現在価値、DCF：割引キャッシュフロー、IRR：内部収益率、利付債の実効金利）、(8~11) ポートフォリオ選択（リターンとリスク、平均・分散モデル、効用関数とリスク）、(12~14) 待ち行列理論（待ち行列モデル、リトルの式、M/M/Sモデルの解法と応用）、(15) 全体のまとめ
履修上の留意点	経営数学A、経営数学B、確率・統計入門A、確率・統計入門Bを先または同時に履修しておくことを勧めます。
成績評価の方法	定期試験（1月上旬）と項目毎の演習課題により評価します。評価における割合は定期試験80%、演習課題20%とします。出席については参考とします。
教科書 参考書等	プリントを配布し、テキストに代えます。 必要に応じて示します。

履修コード	141011
科目名	経営情報システムA
担当者名	高井 徹雄

講義のねらい	経営スタッフの役割は意思決定の支援、すなわち、意思決定者が適切な決定を行えるよう判断の指針となる情報を提供することです。本講義では、企業や官庁における経営スタッフを目指す皆さんのために、情報処理に関する体系的な観点と、IT（情報技術）の基礎について解説します。
講義の内容・授業スケジュール	第1週：イントロダクション…本講義の趣旨説明 第2～6週：情報科学とシステムの観点 情報科学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法と体系的なものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。 第6～9週：ITとインターネット IT（情報技術）に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いと、インターネットなど情報ネットワーク技術に関する基礎的事項について整理する。 第10～14週：情報環境の発展と経営における利用 経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観し、インターネットによる情報インフラが十二分に整った今日的な環境下において、市場戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。 第15週：前期筆記試験
履修上の留意点	後期の経営情報システムBとあわせて履修してください。
成績評価の方法	毎回出席を取ります。その上で、最終授業時に筆記試験を実施して成績評価を行います。
参考書等	特にありません。適宜プリントを配布します。 個別テーマによって、必要なものがあれば適宜紹介します。

履修コード	140121
科目名	経営情報システムB
担当者名	高井 徹雄

講義のねらい	経営計画・市場戦略立案などに際して適用が期待されるIT（情報技術）の活用方法について学びます。
講義の内容・授業スケジュール	第1週：イントロダクション 本講義の趣旨説明 第2～3週：データとは何か データには測る尺度によって定量的なものと定性的なものが存在する。意思決定の手掛かりとなる情報へ加工するためには、データの種類に応じた取扱いが必要である。 第4～8週：データの解析…データの意味を読む 調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、主として定量的データを分析するための解析手法とコンピュータ上での取扱いについて学ぶ。 第9～12週：シミュレーション技法とその応用 複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法にシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法や離散系シミュレーションなど基礎的な方法に触れた後、様々な分野で用いられる多様なシミュレーション技法について概観する。 第13～15週：人工知能の経営への応用 人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）などの概要について学ぶ。
履修上の留意点	前期の経営情報システムBとあわせて履修してください。受講生数によりませんが、必要に応じて数回程度、情報教育センターの計算機実習室を利用した体験的な実習形式の授業を行う予定です。
成績評価の方法	毎回出席を取ります。不定期に授業時小テストを行います。期末試験時に筆記試験を実施して成績評価を行います。
教科書	高井徹雄他著「基礎から学ぶ経営科学」税務経理協会 2300円
参考書等	適宜プリントを配布します。

履修コード	142511
科目名	情報セキュリティA
担当者名	<small>にしむら かずお</small> 西村 和夫

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

情報のセキュリティについての企業の取組みについて理解する。
まず、情報は社会基盤にもかかわる重要な経営上の資産であることを認識する。情報セキュリティの定義と歴史を概観したうえで、現代の脅威、社会問題と対策を知る。そのうえで、企業の社会的責任、最高セキュリティ責任者（CSO）と情報セキュリティポリシーの必要性、事業継続計画（BCP）からの要請、実際の企業の取組み、従業員教育の必要性について学ぶ。社会全体では、倫理も含むセキュリティ文化を醸成する必要性があることを理解する。

履修上の留意点
成績評価の方法

履修に際して予備的な知識は必要としない。毎回出席してきちんとノートをとること。
演習課題と定期試験を総合評価する。

履修コード	142521
科目名	情報セキュリティB
担当者名	<small>にしむら かずお</small> 西村 和夫

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

情報セキュリティに関する法制度及び技術について理解する。
まず、セキュリティと利便性はトレードオフの関係にあることを認識する。守るべき情報の価値には、秘匿性、完全性、可用性があることを理解する。不正アクセス防止法、個人情報保護法などの法律を学び、アクセス制御を理解する。また、暗号によって達成可能な目標及び暗号技術を理論的に理解する。そのうえで、ネットワーク上で情報セキュリティを実現する方法及び認証局の必要性について、各種プロトコルを取り上げて理解する。

履修上の留意点
成績評価の方法

情報セキュリティAの履修を前提とする。
演習課題と定期試験を総合評価する。

履修コード	143001
科目名	システム論
担当者名	<small>うたに あきひで</small> 宇谷 明秀

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

この科目では、複雑で大規模なシステムを理解し、構築し、運用するための方法論を学ぶ。なるべく具体的な事例をとりあげ、システム思考、システム論への理解を深める。

[前期]

1. システム論（その歴史） 3回、2. システム論（分類と展望） 3回、3. モデル化の方法論（分類と特徴） 3回、4. 数理モデリング 3回、5. コンピュータショナルモデリング 3回

[後期]

1. システムの評価 3回、2. システムの故障と信頼性 3回、3. 危機管理と対策 3回、4. 不確実な事象とシステム設計 3回、5. システム導入における経済性 3回

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

特定分野の事前の知識は要求しないが、基礎的な数学の学力が必要である。
中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。
授業の中で指示する。
授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	139201
科目名	統計原論
担当者名	山内 慎二

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。

本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

- 序説 生活のなかの統計学、量的データと質的データ 1回
- 基礎的概念 階乗と総和、順列と組合せ 2回
- 記述統計 度数分布表、平均と分散、相関係数 3回
- 確率論の基礎 集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 6回
- 前期復習と中間試験（7月中旬） 2回
- 標本分布 カイ2乗分布、t分布、F分布 2回
- 統計的推定 点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法） 4回
- 仮説検定 片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 4回
- 回帰と相関 線形回帰モデル、相関係数の標本分布 2回
- 後期復習と定期試験（翌年1月中旬） 2回

履修上の留意点

年間回数程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

成績評価の方法
教科書

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。
佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）2006年 1,500円（税別）
ISBN4-7885-0224-0

参考書等

数値表としての参考書：
森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996年 510円（税別）
ISBN4-8171-0262-4
P.G. ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996年 1,650円（税別）
ISBN4-563-00839-7

その他

授業の方法－講義（OHPを使用する場合があります。）

履修コード	140711
科目名	経営統計A
担当者名	長 国強

講義のねらい

経営統計は分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は重要な役割を果たされるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

第1回：経営統計について；第2回：統計的基礎概念I；第3回：統計的基礎概念II；第4回：データの収集と整理I；第5回：データの収集と整理II；第6回：データの収集と整理III；第7回：統計特性値I；第8回：統計特性値II；第9回：統計特性値III；第10回：相関分析I；第11回：相関分析II；第12回：正規分布とその応用I；第13回：正規分布とその応用II；第14回：正規分布とその応用III；第15回：総合復習。

履修上の留意点

後期の『経営統計B』も履修してください。

成績評価の方法
教科書

総合評価(100)＝出席(30)＋提出課題(20)＋期末試験(50)。

参考書等

特に使用しませんが、プリントは随時に配布する予定。
西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』（培風館）、1992；
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』（日本理工出版社）、1992。

履修コード	140721
科目名	経営統計B
担当者名	<small>なが こさよう</small> 長 国強

講義のねらい

経営統計は分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は重要な役割を果たされるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

第1回：推定予測モデル(単回帰モデル)I；第2回：推定予測モデル(単回帰モデル)II；第3回：推定予測モデル(重回帰モデル)I；第4回：推定予測モデル(重回帰モデル)II；第5回：時系列予測(平滑化技法、季節指数の測定)I；第6回：時系列予測(平滑化技法、季節指数の測定)II；第7回：時系列予測(自己回帰モデル)；第8回：分散分析(一元配置分散分析)I；第9回：分散分析(一元配置分散分析)II；第10回：分散分析(二元配置分散分析)I；第11回：分散分析(二元配置分散分析)II；第12回：統計的意思決定理論I；第13回：統計的意思決定理論II；第14回：経営指数(物価指数、数量指数)；第15回：総合復習。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

『経営統計A』を受講してから履修されたほうが望ましい。

総合評価(100)＝出席(30)＋提出課題(20)＋期末試験(50)。

特に使用しませんが、プリントは随時に配布する予定。

西田俊夫・田畑玉雄共著『経済・経営の統計学』(培風館)、1992；

守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』(日本理工出版社)、1992。

専門教育

履修コード	127802
科目名	民法I(総則・物権法)
担当者名	<small>すが あきのり</small> 須賀 昭徳

講義のねらい

われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひとつおりの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面(これを規律する法が財産法)と種族保存を目的とする保族生活の面(これを規律する法が家族法)とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持てるようにしたい。なお、時間の関係で総則を中心として詳しく講義をし、物権についてはひとつおりの知識を持てるようにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期(民法総則)

①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体(自然人) ④未成年者 ⑤成事被後見人・被保佐人・被補助人 ⑥法人(1) ⑦法人(2) ⑧権利の客体(物とは) ⑨法律行為(1)(意思の欠缺) ⑩法律行為(2)(瑕疵ある意思表示) ⑪代理(1) ⑫代理(2) ⑬無効と取消 ⑭条件 ⑮期限・期間

後期(物権法)

①時効(1) ②時効(2) ③時効(3) ④物権の意義、種類 ⑤物権の効力 ⑥物権の変動 ⑦占有権 ⑧所有権(1) ⑨所有権(2) ⑩用益物権(1) ⑪用益物権(2) ⑫担保物権(法定担保物権) ⑬約定担保物権 ⑭非典型担保(譲渡担保、仮登記担保) ⑮まとめ

講義にはかならず六法を持参すること。

期末試験の成績により評価する。

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説(1)総則・物権』(第4版)(有斐閣)

2,000円

講義の中で指示する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	138701
科目名	商法I(総則・会社法)
担当者名	重田 <small>しげた まきこ</small> 麻紀子

講義のねらい

現代の市場経済社会を支えるキープソンは会社である。この会社に関する法的ルールを定める会社法について全般的に学習し、株式会社法を貫く法原理を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

現在、会社企業を取り巻く環境は多様化・国際化するなど急速な勢いで変化している。これを受けて、2006年5月から新たに「会社法」が施行され、わが国の会社法は大きくその姿・内容を変えた。この新しい「会社法」の施行が会社の法務・会計・税務といった会社経営全般に与える影響は計り知れず、企業実務からの関心も集めている法分野である。

会社法は範囲が広いので、組織法に関する説明に重点を置きながら、できるだけ会社法上の論点を広くカバーして講義することとしたい。会社とりわけ株式会社における利害関係者間の利害調整の基本的なルールを学び、株式会社法を貫く基礎理論を修得してほしい。

なお、具体的な授業スケジュールは、以下の通りである。

第1週 ガイダンス、第2週 会社とは何か、第3週 会社の種類と比較、第4、5週 株式会社の設立、第7、8週 株式の意義・種類、第9週 株主名簿制度、第10週 株主譲渡自由の原則とその例外、第11週 自己株主、第12、13週 募集株主の発行、第14週 新株予約権、社債、第15週 小テスト、第16、17週 株式会社の機関設計、経営機構、第18週 株式総会の権限、運営、第19、20週 株主の議決権行使、第21週 取締役会の権限、運営、第22週 取締役の義務、第23、24週 取締役の責任、第25週 株主による監督は正権、第26週 監査機関、第27、28週 組織再編、第29週 敵対的買収と企業防衛、第30週 期末試験

履修上の留意点
成績評価の方法

なるべく平易な解説をするよう努めるが、各自復習を心がけてもらいたい。

期末試験の成績に小テスト(1~2回)の成績を加味して評価する。

教科書

近藤光男・志谷匡史・石田真得・釜田薫子『基礎から学べる会社法』弘文堂、2,500円 ISBN 978-4-335-35391-8「最新の六法(小型のものでよい)を用意すること。

履修コード	119701
科目名	経済法
担当者名	若林 <small>わかばやし ありさ</small> 亜理紗

講義のねらい

経済法を中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書等
参考書
その他

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門(第2版)』(法律文化社)

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選(第六版)』(有斐閣)

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする(基本的には教科書に沿ったものとなる予定である)。

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化は無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。特に、労働時間法、労働契約法、雇用平等法などです。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。

以下に、アウトラインを示します。

(1) 労働法の基礎的考え方, (2) 日本の雇用システムの変容と労働法, (3) 労働関係の主人公-労働者、使用者、労働組合, (4) 労働条件の最低基準の法定-労働基準法の特徴, (5) 雇用における男女平等, (6) 労働条件の決定-労働契約、就業規則、労働協約, (7) 労働条件の変更, (8) 雇用の入り口-採用、採用内定、試用期間, (9) 人事異動-配転、出向、転籍, (10) 賃金、賞与、退職金, (11) 労働時間、時間外労働, (12) 休憩、休日、休暇, (13) 雇用の終了-退職、解雇、整理解雇, (14) 労働災害など

講義の内容・
授業スケジュール

履修上の留意点

出席は当然のことと考えています。そして、授業のマナーは守ること。途中での退席は認めません。非常の場合は申し出ること。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること（あるいは履修済みであること）が望ましいと考えています。

成績評価の方法

学年末試験（論述式）がメインで、受験をしていないと評価は出しません。気をつけてください。また、確認テストやレポート、中間試験や出席も評価対象です。これらを総合的に評価して、成績を決めます。

追試験は実施します。

教科書

教科書は、ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）、入門労働法（金子征史ほか著・有斐閣双書）が手ごろでしょう。物足りなさを感じる受講生は、労働法（菅野和夫著・弘文堂）がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。

なお、ただいま教科書(共著・エイデル研究所)を作成中です(準備中)。

参考書等

労働判例百選第7版（別冊ジュリスト）、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものが必要です。第1回目の授業で紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

履修コード	143101
科目名	税法
担当者名	<small>おくむら まさひろ</small> 奥村 正郎

講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。講義の内容は以下になります。I～V前期、VI～X後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。出席状況、期末試験により評価する。

速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

授業を進める中で適宜紹介する。

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

履修コード	143801
科目名	民法Ⅱ（債権法）
担当者名	<small>うえい たけひさ</small> 上井 長久

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

講義の内容・授業スケジュール

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

- (1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系（前期）（第1回）、
- (2) 債権の目的・内容（第2回）、(3) 債権の効力——債務と責任、履行強制（第3回）、(4) 債務不履行責任（第4、5回）、(5) 債権の対外的効力——債権者代位権（第6回）、(6) 詐害行為取消権（債権者取消権）（第7回）、(7) 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権（第8回）、(8) 連帯債務、保証債務（第9、10回）、(9) 債権の譲渡、債務の引受（第11、12回）、(10) 債権の消滅（第13、14回）、(11) 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類（後期）（第15回）、(12) 契約の成立（第16回）、(13) 契約の効力——同時履行の抗弁権（第17回）、(14) 危険負担、(第18回)、(15) 第三者のためにする契約（第19回）、(16) 契約の解除（第20回）、(17) 贈与、売買、交換（第21、22回）、(18) 消費貸借、使用貸借、質貸借（第23回）、(19) 雇傭、請負、委任等の契約（第24回）、(20) 事務管理、不当利得（第25回）、(21) 不法行為（第26、27、28回）

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法I」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

学年末の定期試験で行う。
我妻栄・有泉亨・川井健著『民法2 債権法』（勁草書房）
遠藤浩・川井健他編『民法（4）～（7）』（有斐閣双書）および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5 契約』（有斐閣大学双書）

履修コード	145001
科目名	商法Ⅱ（商行為、手形・小切手法）
担当者名	<small>なかにま じしあき</small> 中濱 義章

講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質、2 手形法・小切手法の意義および役割、3 手形行為の意義・特色、4 手形行為の成立時期、5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則、6 代理人・代表者による手形行為、7 無償代理と偽造、8 手形関係と手形の実質関係、9 手形の振出、10 白地手形、11 手形の裏書、12 為替手形の引受、手形保証、13 手形上の権利の取得と善意取得制度、14 手形上の権利と手形抗弁、15 手形上の権利の消滅、16 支払・不渡・遡及、17 小切手特有の法制度、18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『ディリー六法』（三省堂）など。

成績評価の方法
教科書
参考書等

民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。
期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。
濱田惟道『手形法小切手法』（文眞堂）
開講時に指示します。
『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）
山下友信＝神田秀樹編『商法判例集（第2版）』（有斐閣）

履修コード	144211
科目名	外書講読（英書II）
担当者名	<small>まえだ かずとし</small> 前田 和利

講義のねらい 英文読解力を養成するとともに、日本の自動車産業がなぜ国際競争力をもちえたのかについて理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 英文により、1955年以降のトヨタ自動車における企業経営活動をマーケティングや生産システムなどの展開をとおして学ぶ。進度は受講者の意欲による。

履修上の留意点 輪読形式をとるので、事前に割り当てられた各担当者は必ず発表することが義務づけられます。

成績評価の方法 平常点（出席・発表）と学年末試験をそれぞれ50点として評価する。

教科書 TOYOTA：A History of the First 50 Years, 1988.（プリント使用）

参考書等 適宜紹介する。

履修コード	144301
科目名	外書講読（独書）
担当者名	<small>まつおか すずこ</small> 松岡 晋

講義のねらい 日本の政治、経済、社会に関連するドイツの雑誌記事などを読むことによって、ドイツ語の現代文の読解力を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1)講義方針の説明、教材、辞書および補助文献の紹介 (2～6) 雑誌『シュピーゲル』の記事”Die Verelendung der Provinz”（「地方の貧困化」）の分担講読 (7)これまでのまとめ(目についたドイツ語文読解上の問題点の指摘など) (8～18) 雑誌『シュピーゲル』の記事”Verlieren die Liberaldemokraten nach einem halben Jahrhundert die Macht?”（「半世紀ののち自民党は権力を失うのか？」）の分担講読 (19)これまでのまとめ(目についたドイツ語文読解上の問題点の指摘など) (20～29)インターネットを通じて収集されたドイツ語圏の日本に関する新聞記事の分担講読 (30)まとめ

履修上の留意点 ドイツ語の原テキストを読むためには、文章構造の理解のための十分な文法的知識とともに、一般的社会・経済的知識が必要とされます。ですから、既習の文法事項の復習と普段から日本語の新聞・雑誌等の意識的講読が要求されます。そのうえで、毎回の予習をきちんと行ってください。受講者は少数と予測されますので、ほぼ毎回、分担箇所を和訳してもらおうことになるでしょう。なお、講義担当者が作成した語句の語学的小および内容的説明のための注解を配布いたします。

成績評価の方法 試験はおこなわず、出席率と分担箇所の和訳の出来具合に基づいて成績を評価いたします。

教科書 教科書は用いず、教材はそのつどコピーで配布いたします。

参考書等 参考書、辞書などは授業の初回に紹介いたします。

履修コード	144401
科目名	外書講読（仏書）
担当者名	<small>くわた くりあき</small> 桑田 禮彰

講義のねらい フランス語の基礎を習得した学生を対象に、フランス語で書かれた経済・経営に関する文献をテキストとして講読することによって、フランス語の読解力を養うとともに、経済・経営に関する知識を深めることを目標とします。テキストは、日本に関するもの、ヨーロッパに関するもの、グローバルゼーションに関するものなど多様な選択肢がありますが、授業開始時に履修者の関心に沿った形で決定することとします。フランス語の読解力養成のために、できるかぎり平易な文法説明・内容解説を心がけるつもりです。

講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと復習した上で、はじめは初級文法を再確認しながらテキストをゆっくり読んでいきます。受講者に読解力がついてきたら多少ペースを上げ、中級文法説明や内容解説に時間をかける予定です。

(1) 受講上の諸注意 (2) 発音の基本の復習 (3)～(15) 初級文法復習を中心としたテキスト読解 (16)～(29) 中級文法説明・内容解説を中心としたテキスト読解 (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書 授業開始時に受講者と相談の上決定。

参考書等 そのつど授業で指示します。

履修コード	144501
科目名	外書講読（中国書）
担当者名	佐藤 普美子

講義のねらい 前年の各分野の流行語を通して、激変する同時代中国の社会・文化事情を読み解くと同時に、新聞雑誌記事の文体に慣れる。

講義の内容・授業スケジュール 前年の各分野における流行語を解説した文章（主として新聞記事から抜粋したもの）を毎回1篇（600～800字程度）読む。比較的長い文章は2回に分けて読む。分野は①政治②経済③科学技術④教育⑤健康⑥出版⑦旅行⑧インターネット⑨文化芸術⑩ファッション。各分野より一語（＝1篇）を選び、順次読み進める予定。

履修上の留意点 予習は不可欠。4分の3以上の出席が前提となる。

成績評価の方法 出席の有無、学期末テストにより、総合的に評価する。

教科書 開講時、教材プリントを配布する。

参考書等 辞書は必ず携帯すること。

その他 少人数であれば、研究室で授業を行う予定。

履修コード	144601
科目名	外書講読（スペイン書）
担当者名	上野 勝広

講義のねらい 専門書をひとりで読みこなすことができるよう、1年次、2年次で学んだスペイン語の基礎の上に、読解力を養う訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール スペイン語圏および日本の社会と文化に関するテキストを読みます。同時に必要な文法事項を以下の予定で確認します。

履修上の留意点 前期（1）オリエンテーション（2～5）自動詞・再帰動詞・他動詞の構文、など（6～10）連結動詞の構文、など（11～15）関係節、など
後期（16～20）副詞節、など（21～25）受動構文、など（26～30）比較構文、など

スペイン語の基礎文法をしっかりと復習しておくこと。現代のスペイン語文に親んでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関するコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法 毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。試験やレポートは課さず、平常点で評価します。

教科書 プリント使用。

履修コード	144701
科目名	外書講読（ロシア書）
担当者名	杉山 秀子

講義のねらい ビデオ、DVD を毎回見てロシア事情を楽しく学びたい。

履修上の留意点 パソコンルームでパソコンを動かすので、できるだけ早くパソコン操作になれて貰いたい。

講義の年間プラン 4～9月 ロシアを紹介したビデオ、DVD をみる。真似てみたい表現をパソコンでうってみる。10月～12月 インターネットでもリアルタイムのニュースをみて、カッコいい殺し文句を覚えてみよう。

成績評価の方法 筆記試験は一切しない。自分が気に入ったロシア語の文句をできるだけおおきな声で発音してもらおう。

教科書 教室で配布

履修コード	144901
科目名	ビジネス英語
担当者名	杉山 泰彦

講義のねらい	貿易の具体的な活動を教え、それに沿った典型的な商業英語の基本から各国の企業に通用する英文が書けるように指導する。
講義の内容・授業スケジュール	小職の大手総合商社で40年間の輸出入、及びプラント建設輸出の経験を説明し、何故、商業英語が輸出入業務に必須であるかを十分理解せしめ、商内の成立するフロー (inquiry) - (offer) - (counter offer) - (nego) - (contract) - (shipment) - (payment method) 等の流れを具体的に説明、理解せしめ、且つその後のクレーム処理、仲裁の実例を交え総合商社、メーカー等がどのような仕事を日夜やっているのかを理解し、商業英語勉学に興味を引く様に指導したい。
履修上の留意点	貿易関連会社の具体的な仕事内容また海外駐在時での仕事等を説明しつつビジネス英語を織り交ぜて行き英語に興味を湧かせながら授業を進めていきたい。尚4月第一回目授業で簡単な英作文テストを行い、授業資格を決定しますので、必ず受験のこと。
成績評価の方法	年2回 前期、後期にテストを行う。年後半には適度に欠けをとる。
教科書	初めて学ぶビジネス英語 田中武雄著 成美堂 ￥2,000
参考書等	小職が勤務していた日商岩井「現双日」が作成した社員の為の参考書よりプリントを刷り必要に応じて配布したい。

専門教育

履修コード	144801
科目名	特殊講義I〔現代のビジネスモデル〕
担当者名	杉山 義広

講義のねらい	本講座は、「現代のビジネスモデル」をテーマに、起業家の育成を目的として、約3分の2は実務者によって講義される。実社会の動向がわかるようになるだけでなく、自らが考えた企画がそのまま評価の対象となるので、プレゼンテーション能力や企画力を養うこともできる。
講義の内容・授業スケジュール	以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認していくこと。 第1回 ガイダンス、第2回 事業計画書作成の方法、第3回 プレゼンテーションの方法、第4回 ビジネスモデルの事例研究(1)、第5回 ビジネスモデルの事例研究(2)、第6回 ビジネスモデルの事例研究(3)、第7回 事業計画書とビジネスモデル、第8回 ビジネスモデルの事例研究(4)、第9回 ビジネスモデルの事例研究(5)、第10回 ビジネスモデルの事例研究(6)、第11回 プレゼンテーション(1)、第12回 プレゼンテーション(2)、第13回 プレゼンテーションの講評、第14回 これからのビジネスモデル、第15回 まとめ
履修上の留意点	定期試験および追試験は実施しない。
成績評価の方法	指定されたテーマで作成してもらう事業計画案を主たる評価対象(80%)とする。このほか、出席点とレポート点を評価対象(20%)とする。
教科書	毎回資料を配布する。プレゼンテーションではパワーポイントを用いる。
参考書等	適宜、授業中に紹介する。
その他	外部の特別講師による講義では、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

履修コード	101203
科目名	特殊講義II〔現代の資本主義と証券市場〕
担当者名	さるやま よしひろ 猿山 義広

講義のねらい 野村ホールディングスの提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・授業スケジュール 以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認していくこと。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 経済情報の捉え方
- 第3回 証券投資のリスク・リターン
- 第4回 ポートフォリオ・マネジメント
- 第5回 企業とCSR
- 第6回 債券市場の役割と投資の基礎知識
- 第7回 株式市場の役割と投資の基礎知識(1)
- 第8回 株式市場の役割と投資の基礎知識(2)
- 第9回 投資信託の役割とその仕組み
- 第10回 日本の株式市場の歴史
- 第11回 経済成長と金融資本市場
- 第12回 資本市場における投資家心理
- 第13回 資産運用とライフ・プランニング
- 第14回 レポートの講評
- 第15回 まとめ

履修上の留意点 定期試験および追試験は実施しない。
成績評価の方法 出席点とレポート点で評価する。

教科書 毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。

参考書等 野村証券投資情報部編『証券投資の基礎』丸善。

その他 氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社。

企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

履修コード	146811
科目名	演習I
担当者名	青木 ^{あおき} 茂樹 ^{しげき}

講義のねらい	この演習の目的は、マーケティングや流通に関するフィールドワークやケーススタディをグループで行いながら、現場での課題を発見し、実際の社会に対して新たな切り口で企画・提案していくことである。今日、様々な情報が渦巻く社会では、本質的課題を発見し仮説を創造する力や、これを検証する様々な情報収集の仕方、これを論理的に説明していく力が必要である。こうした姿勢や作法を学生時代に体得しているか否かは、社会の舞台にたったときのスタート時から大きな差となるであろう。
講義の内容・授業スケジュール	こうしたゼミ活動を通じて、今日、社会人基礎力といわれる12の力、① Action（主体性、働きかけ力、実行力）、② Thinking（課題発見力、計画力、創造力）、③ Teamwork（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）を養う。事前・中間・事後で、個々人のこれらの到達度を測り、将来の職業適性などに応じた指導も合わせて行う。 1. 前期 プロジェクト・マネジメントの手法、フィールドワークの手法、企画書の書き方をまずは学ぶ。課題となるテーマや対象を設定し、グループにて議論を進める。 2. 夏休み 夏合宿（9月）&OB・OG会 合宿では、前期のグループ研究の発表を行う。そのために自主的な研究会を開く場合もあろう。 3. 後期 グループ研究を深める者と、個人研究を深める者に分かれる。ゼミ時間外に研究活動を進めながら、ゼミでは経過報告とアドバイスを貰う機会とする。基本は自分達が一番やりたい研究を行うことであろう。 4. 冬休み 完全休み 5. 春休み OB・OG会。
履修上の留意点	学生の主体的な研究意欲や向上心によってゼミは牽引されるものであり、教員はアドバイザーやサポーターに徹する。もちろん無断欠席はありえない。
成績評価の方法	ゼミ活動全般を通じて、総合的に評価する。すべてにパーフェクトな人間はいない。むしろ個々の関心や持ち味を生かしてゼミ運営に参加・貢献していることを高く評価する。
教科書	皆さんの研究や将来の職種の興味を伺いながら、演習時にテキストを決めていく。

履修コード	146901
科目名	演習I
担当者名	阿部 ^{あべ} 一人 ^{かずひと}

講義のねらい	本演習では、財務会計を中心に、企業会計の基礎研究をおこなう。
講義の内容・授業スケジュール	この財務会計の基礎知識を習得するために、簿記の学習を初歩程度からはじめて日本商工会議所簿記検定試験の合格を目標に（すでに3級に合格している者は2級にむけて）これから簿記会計を学習・研究しようとする人達を対象に学習する。後期では、報告形式により報告者のレジюме（報告要旨）にそって、演習を進める。
成績評価の方法	成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。
教科書	開講後、指示する。
参考書等	授業中において適宜指示する。

履修コード	146201
科目名	演習I
担当者名	<small>いいた 哲夫</small> 飯田 哲夫

講義のねらい

この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。問題に応じて、様々なモデルがありますが、この演習では、それらの中の基礎的なものから学習していきます。また、数理モデルを用いた分析には、コンピュータの利用を前提としているものが多くあり、それらの分析を行うためのコンピュータの利用技術についても基礎的なところから学習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

基礎的な数理モデルの知識および、コンピュータの利用に関する知識の習得のために、ゼミのメンバーによる輪読およびコンピュータ演習を行います。

このゼミは学生の主体的・積極的な参加を前提としています。また、数理モデル分析やコンピュータの高度な利用方法を学ぶため、ある程度は数学的知識やコンピュータに慣れていることが望まれます。具体的には、「経営数学」「情報処理基礎」を履修していることが望ましい。

成績評価の方法
教科書

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。用いる教科書や参考書については最初のゼミのときに紹介します。

専門教育

履修コード	146821
科目名	演習I
担当者名	<small>いしなざか くにあき</small> 石名坂 邦昭

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

経営学部の学生として必要な基本的知識を身につけてもらう。
前期において、経営学の基本的知識を習得するための授業を行う。後期は、それぞれのテーマについてレポートを書いてもらい、それをもとに発表し討議を行う。
授業には毎回出席のこと。
平常の授業への取り組みと、レポートにて採点する。
必要なときに指示する。

履修コード	147001
科目名	演習I
担当者名	<small>かしま ひであき</small> 鹿嶋 秀晃

講義のねらい

研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいきます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本の経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法
教科書

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。
適宜指示。過去のテキスト例。熊沢誠『若者が働くとき』、朝日新聞特別報道チーム『偽装請負』、中野麻美『労働ダンピング』、風早正宏『ここがおかしい日本の人事制度』など。

参考書等
その他

演習時に適宜紹介。
履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html

履修コード	146301
科目名	演習I
担当者名	片桐 伸夫

講義のねらい このゼミは3・4年次(演習Ⅱ・Ⅲ)で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。(経営分析の内容については、演習Ⅱの講義のねらいをごらんください。)

講義の内容・授業スケジュール 2年次(演習Ⅰ)では、その準備として、日商簿記検定2級にチャレンジしてもらいます。2級商業簿記：春休み3月にプレゼミ4回(8コマ)と(1-10)、2級工業簿記(11-20)、受験対策、(21-30)。以上は大まかなスケジュールですが、日商簿記検定は6月、11月、2月にあるため、個人に合わせ、再受験対策もします。

履修上の留意点 このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表(貸借対照表や損益計算書など)の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向けのゼミです。(なお、日商簿記検定2級取得者で1級にチャレンジする人は、独学 or 経理研究所 or 専門学校1級コースで一通りを学習していることを前提に受験対策のみ指導します。1級は2級の4倍程度の学習範囲があり、演習Ⅰでは対応できないためです。)

成績評価の方法 成績評価の方法は平常点100%です。

教科書 私が作成したものを差し上げます。

参考書等 問題集等、随時、紹介します。

その他 プレゼミや合宿も行います。ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書(500字程度)事前提出〕とテスト(演習Ⅰは1年次学習中の簿記)によります。なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

履修コード	146701
科目名	演習I
担当者名	兼村 栄哲

講義のねらい 社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情報の懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。

マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換(の連鎖)を実現し、ひいては、消費者が、生産者が生産した商品を消費することを可能にする活動をいい、社会的な観点に立ったマクロ・マーケティング(「流通」とほぼ同義)と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング(いわゆる「マーケティング」)に大別される。

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

以下の5つが、履修者が最低限すべき内容である。

- 1 通常の演習においては、テキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学ぶ。
- 2 年に1・2回、4～5人のグループでマーケティング(論)にかかわるいくつかのテーマについて調べ、その内容を発表する。
- 3 4～5人のグループで業界研究をし、A4版で100枚以上のレポートにまとめる。また、その概略を冬(春)合宿にて発表する。
- 4 夏休みの工場見学に参加する。その前提として、各工場について、それぞれのグループで20以上の質問を考える。
- 5 電通主催の学生懸賞論文に応募する。

履修上の留意点 1 通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも参加すること。同時に、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すなど、積極的に参加すること。

2 お互いの親睦を図ること。

3 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合には、必ず事前にその旨を申し出ること。

成績評価の方法 授業態度、発表内容、レポート内容等による総合的な評価

教科書 グローバルタスクフォース株式会社(著)『コトラー教授『マーケティング・マネジメント』入門Ⅰ』(総合法令)2005年、1,680円、ISBN：4-89346-882-0。

グローバルタスクフォース株式会社(著)『コトラー教授『マーケティング・マネジメント』入門Ⅱ』(総合法令)2005年、1,680円、ISBN：4-89346-883-9。

参考書等 適宜紹介する。

履修コード	146831
科目名	演習I
担当者名	菅野 ^{かんの さおり} 佐織

講義のねらい 研究Iの目的は、マーケティングに関連する研究を通じて「ものを見る力」と「ものを伝える力」を養うことです。「ものを見る力」を養うために、まず、テキストを用いてマーケティングの基礎知識を養います。また、実際にデータを収集、分析することによって、客観的且つ分析的にもものを見る力を養います。さらに「ものを伝える力」を養うために、テキストの要点をまとめて発表してもらうこと他、毎回の授業で、各々が興味のあるマーケティングのテーマについて情報を収集してまとめたものを発表する機会を設けます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
 - ・テキストの輪読
 - ・マーケティングに関連する様々なテーマについて、グループ毎に情報を収集し、議論を行い、最終的 戦略立案を発表する。
 - ・興味のあるテーマについて5分間プレゼンテーション

履修上の留意点

- 後期
 - ・データの分析手法を学ぶ(単純集計、クロス集計、相関分析、因子分析、回帰分析など)
 - ・実際に調査計画を立て、データを収集・分析を行い、発表する。
- このゼミは、次のような人に向いています。
- ・マーケティングの問題や、消費者調査などのマーケティング・リサーチに興味がある。
 - ・他大学の学生と勉強したい。(3年生のゼミでは、他大学との討論会を予定しているため、積極的にゼミの活動に時間をかけられる人が向いています。)

成績評価の方法

出席の状況と毎回の課題への取り組み度合い、授業への貢献を総合的に判断して評価します。
グロービス・マネジメント・インスティテュート編著『新版 MBA マーケティング』(ダイヤモンド社) 2800円

参考書等

授業で適宜お知らせします。
継続力と強い精神、礼儀を持つ人を歓迎します。また、何かを楽しむためには、ある一定以上の知識が必要となります。そのため、ゼミ以外の時間にも進んで勉強してほしいと思います。ゼミの勉強で苦楽を共にしながら、且つ勉強以外にも楽しい思い出を作り、卒業後も付き合いのいい仲間を作って行って欲しいと思います。

専門教育

履修コード	145801
科目名	演習I
担当者名	岸田 ^{きしだ たかゆき} 隆行

講義のねらい 本演習では、原価計算について計算の理論的背景を探り、原価計算で行われているような計算方法がなぜ必要なのかを探求していく。また、原価計算が経営管理において、どのような機能を持ちうるのかを管理会計的な側面から追求していく。

講義の内容・授業スケジュール

原価計算に関する知識の習得を目的として、原価計算に関するテキストを読み進めていく。受講者の報告および報告内容についての討論を中心として、原価計算の理論に対する理解を深めていく。また、練習問題を解いていくことによって、計算力も高めていく。

履修上の留意点

積極的にゼミ活動に参加してもらいたい。
担当箇所の報告では、指定されたテキストだけでなく、様々な文献を読んだ上で報告を行ってほしい。また、報告者以外の受講生も事前にテキストを熟読し、質問を考えた上で参加してほしい。

成績評価の方法

報告の内容、ゼミへの参加程度により総合的に評価する。
開講時に指示する。
適宜紹介する。

参考書等

履修コード	146501
科目名	演習I
担当者名	高井 徹雄

講義のねらい

ブロードバンドで繋がったインターネットを基盤とするIT（情報技術）は、今日の企業経営また社会・経済システムを捉えるうえでも最も重要なキーワードとなっています。皆さんは、真の意味で、情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す時代に生きています。このような時代、企業や官庁のスタッフとして、また将来はエグゼクティブとして、「情報エリート」を目指すならば、少なくとも以下の能力が要求されると考えます。

- (1) 発見力：与えられるのを待つのではなく、自分で問題を見つける能力。
- (2) 洞察力：問題に関係する必要な情報を選別する能力。情報を分析し問題の本質を洞察する能力。
- (3) 表現力：分析結果を集約し、解り易くプレゼンテーションする能力。
- (4) 解決力：他者と協力しあって、具体的な問題解決を図る能力。

皆さんに、こうした素地を養って頂くことを狙いとして、各週の演習、および年2回の合宿（1回は勉強、もう1回は親睦を主目的とする）における題材と環境を用意します。主体的にゼミに参加されることを願っています。およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方向を見極めながら進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 4-7月：情報リテラシ・・・文書作成、HTML作成、スプレッドシート基礎・応用
- 6月：ソフトシステム方法論・・・演習IIと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う
- 9-12月：計算機言語・・・スプレッドシートマクロ、Delphi プログラミング

履修上の留意点

毎回、コンピュータルームにおいて実習形式で授業を行います。実習形式の授業は、全体が同じペースで学習を進めていく必要がありますので、極力欠席しないようお願いいたします。

成績評価の方法

毎回出席をとります。また、前期・後期各1件程度、学習内容に応じてHTML作成やプログラミングなどの課題を出します。これら平常点により評価を行いますので、筆記試験は行いません。

履修コード	145101
科目名	演習I
担当者名	高木 克己

講義のねらい

本ゼミナールでは、3年間を通じて、法人税の対象となる企業の課税所得の算定過程を明らかにすることを中心に研究を行います。

なお、毎回報告者の発表に対し討論を行うという形式で進めていくので、その中で十分に自分の意見が主張できるようになって欲しいと考えています。

2年次では、企業の税金の問題を扱う前提として、簿記、会計理論の基礎的な知識を習得します。本年度は会計学の基礎を中心に勉強をします。ただし、最低限、6月の日商検定試験3、2級に向けて3カ月間だけ簿記検定の勉強をします。（すでに3級を取得している者は2級に向けて、初めての人は3級の合格を目的にします。）

なお、合宿は11月全学年合同で行っています。その内容は、ディバートが中心になります。その他、年2回程度、全学年で集まる機会を持っています。

明るくて、好奇心が強く、夢をたくさん持っている人が志望してくれたらいいなと思っています。ゼミ運営の基本的な考え方として、目標を持って頑張っている人や一生懸命勉強をしている人が居心地が悪くなるような雰囲気は絶対つくりたくありません。

講義の内容・授業スケジュール

4月から、6月までは、日商簿記検定受験に向けて、個別問題や模擬試験問題等を使用して各自の実力に合わせて勉強していきます。

その後は、12月まで、会計の基礎を学びます。ローテーションを決めて報告してもらい、解説していきます。

成績評価の方法
参考書等

出席及び報告により評価します。
最初の授業で紹介します。

履修コード	145401
科目名	演習I
担当者名	滝田 公一

講義のねらい	<p>本年度は次の文献を利用して演習を行う予定です。</p> <p>[1] 東北大学経営学グループ著、『ケースに学ぶ経営学』(有斐閣ブックス) 1998 (2,500円)</p> <p>文献[1]は、「企業とは何か?それはどのように経営されているのか?」と言う問題を幾つかの現実の事例(例えば、スカイマークエアライン社の設立、マクドナルドとモスバーガーの競争戦略など)をどうして考察したものです。此の教科書を題材として、学生諸君には、課題報告(例えば、1970年代から80年代に架けて、日本の自動車企業は、アメリカの自動車企業に追いつき追い越していきますが、なぜそのようなことが起こったのか、環境と戦略について調べましょう、など)をしてもらう予定です。このような課題報告を通じて、レポートの書き方と文献・資料の探し方に習熟していただくことも演習Iの狙いの一つです。</p> <p>また、文献[1]とあわせて、代表的な表計算ソフトである Excel を使った経済データの情報処理をも勉強する予定です。簡単な計算によるデータの変換、グラフの作成、最小二乗推定、確率分布、線形計画法、簡単な経済理論のシミュレーション、などが取り扱われる予定です。特別な予備知識は必要ありませんが、「情報処理基礎」を前もって、または、同時に履修されると理解が一層深まるのではないかと思います。</p> <p>前期は、エクセルを用いて、表やグラフの作成法を学び、つぎにその知識を生かして、初歩の確率・統計を学びます。これらの知識を基にして、単回帰の考え方を学びます。後期は、重回帰と仮説の検定を学びます。また、前期の初めに、レポートの書き方を勉強し、それを基にして、プレゼンテーション用の原稿を作り、3週に1度程度、学生諸君に企業のケーススタディに基づく課題の報告をしてもらいます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	
成績評価の方法	成績評価は、課題報告(30%)と、学年末のレポート(通常、computer assignment、70%)によって行います。

専門教育

履修コード	146841
科目名	演習I
担当者名	中川 功一

講義の内容・授業スケジュール	<p>経営戦略論の基礎を、年間を通じて習得し、企業競争力の本質を捉える視点を養う。パーニー著『企業戦略論』を基本教材としながら、英語または日本語の論文を適宜配布し、これらを毎回輪読していく。</p>
成績評価の方法	出席と報告による。
教科書	ジェイ・B・パーニー『企業戦略論(上・中・下)』2003年刊、ダイヤモンド社、各2400円。日本語版でよい。

履修コード	147151
科目名	演習I
担当者名	中川 淳平

講義のねらい	この演習では、企業、そして企業をめぐる社会・経済現象について参加者が多角的な理解が得られるようにしたいと考える。併せて、報告の仕方、文章のまとめ方について習得する。
講義の内容・授業スケジュール	経営学・経済学の基本的な文献を読み、討論してゆく。文献は開講時にこちらで指定する文献のなかから参加者に選択してもらい、その概要を発表してもらう。さらに、一年間の学習のまとめとして、レポート(小論文)を作成する。
履修上の留意点	多量の文献を読む予定なので、積極的に勉強する、意欲ある学生の参加を望みます。
成績評価の方法	平常点100%(発表や討論の内容、レポート、学習態度による)
教科書	開講時に指示します。

履修コード	145901
科目名	演習I
担当者名	永田 <small>ながた</small> 智則 <small>とものり</small>

講義のねらい	<p>当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。</p> <p>近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。</p> <p>当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>「演習I」では国際経済学の初歩的な分析道具の習得を目的とし、テキストを中心に授業を行う。ここで学ぶ分析道具を使って、現実の世界経済の出来事を学生諸君が自分なりに分析できるよう心がける。</p>
履修上の留意点	<p>無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。</p>
成績評価の方法	<p>授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。</p>
教科書	<p>教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。</p>

履修コード	146851
科目名	演習I
担当者名	中野 <small>なかの</small> 香織 <small>かおり</small>

講義のねらい	<p>本演習では、マーケティング・コミュニケーションおよび広告について、実務と理論の両方の面から考察することを目的とする。理論を学ぶことに加え、それを実際の戦略に応用できるような思考も身につけることが必要である。また、さまざまな課題に取り組むことを通じて、テーマに関連した資料収集の方法、問題を発見する視点、それを解決するための方法、考えたことを人に伝えるためのプレゼンテーション方法などを学んでほしい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>前半はマーケティング・コミュニケーションおよび広告に関する基礎的な知識をメンバー全員で共有するため、教科書を輪読し、内容について議論する。後半はグループ研究を基本とし、グループでの論文執筆（学生広告論文電通賞への応募）、企業のマーケティング事例を取り上げて考察するケース研究などを行う。</p>
履修上の留意点	<p>ゼミの時間には積極的な発言が、ゼミの時間外には自主的な課題への取り組みが求められる。特にグループ研究ではメンバーと共同で多くの課題をこなし、活発な議論を行う。そのため、マーケティング・コミュニケーションに関心が高く、ゼミ中心の学生生活を過ごしたいと思うような意欲的かつ協調性のある人に参加してほしい。</p>
成績評価の方法	<p>授業態度（出席状況、積極的な参加）、発表内容、レポートなどにより総合的に評価する。</p>
教科書等	<p>参考書のなかから、数冊を教科書として利用する。詳しくは開講時に指示する。</p> <p>亀井昭宏・疋田聰編『新広告論』2005年刊（日本経済新聞社）1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊（電通）2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊（有斐閣）2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊（電通）2,200円</p>

履修コード	147101
科目名	演習I
担当者名	<small>なかむら こういち</small> 中村 公一

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

(1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。

(2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。

(3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。

(4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習I (2年生)

前期；経営戦略論に関する入門書の購読+資料などの調査方法、企業研究・分析

後期；現在の経営環境の解読作業、競争企業分析の実践（グループ調査）

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、不十分な内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は、出席数、提出課題の内容、議論への貢献度などの平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

教科書

授業時に発表する

履修コード	146801
科目名	演習I
担当者名	<small>にしむら かずお</small> 西村 和夫

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）：面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。原則として“情報処理基礎”をすでに履修していること。

演習I

- ・タッチタイプ
- ・書誌情報の検索のしかたと検索練習⇒ レポートや論文の作成に役立つ。
- ・問題の発見と解決
- ・コンピュータの基礎知識
- ・論文の読み方と発表のしかた[1]

その他

◆情報処理技術者試験の受験のための学習。

◆研究発表会（年1度） ・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。

成績評価の方法

出席のほかに、タッチタイプ、検索課題、レポート

その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/>

履修コード	145501
科目名	演習I
担当者名	羽鳥 茂

講義のねらい 日本企業のコーポレート・ガバナンスや情報効率性、システム特性などを研究するための基礎を確かなものにするのが目的です。

講義の内容・授業スケジュール 上記の目標を達成するために1年を3期に分けて、1期（4月～6月）においては、何が問題であり、これまでにどのようにアプローチされ、どのような結果が得られたかを理解します。2期（7月、9月～10月）では、必要な分析ツールとしてナッシュ交渉解、提携形ゲームのさまざまな解その他を学習します。3期（11月～12月）になって、前2期の研究成果を踏まえて当初の目的に立ち返り、各人が自分の答えを出せるように指導したいと考えています。

履修上の留意点 1人1人がゼミのリーダーとなるよう積極的に報告、発言してください。

成績評価の方法 出席状況、課題の提出内容、理解度、意欲を総合的に判断し評価します。

教科書 私のノートを含めプリントを配布します。

参考書等 ゼミの進み具合に応じて適宜紹介します。

履修コード	147121
科目名	演習I
担当者名	羽田 尚子

講義のねらい 演習I、II、IIIを通じ、自分の興味あるテーマをデータを使って解析し、その結果から新たな発見を導けるようになることが目的です。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iでは、データの扱い方とソフトウェアの使い方を覚えます。ソフトウェアを使った実習が中心。必要に応じて、教科書の輪読も行います。課題を出すので（不定期）、各自実習し、結果と考察をレポートにまとめ、発表してもらいます。

履修上の留意点 前期：データの見つけ方、Excel やテキストエディタの基本的な操作方法、Excel による回帰分析とその応用
後期：AHPによる意思決定分析

成績評価の方法 演習I、II、IIIと継続して受講することを前提としています。

教科書 無断欠席は厳禁です。

参考書等 出席状況、課題の提出状況、発表態度および理解度により総合的に評価。
柏木吉基『Excel で学ぶ意思決定論』オーム社

履修コード	147111
科目名	演習I
担当者名	日野 健太

講義のねらい このゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取り上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iでは、まず、経営組織論の基本的な文献を輪読し、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。理論にとどまらず、同時に具体的な問題を取り上げ、理解を深めたい。また、自分の関心のあるテーマを見つけてもらう。

履修上の留意点 文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学を行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。

成績評価の方法 必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。

教科書 学年末には、1万字程度のゼミ論文を提出してもらう。

参考書等 ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

その他 出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習Iで読破した本は、以下の2冊である。
野中郁次郎・勝見明『イノベーションの作法』
宇田川勝ほか『失敗と再生の経営史』
有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。日経産業新聞の『日経MJトレンド情報源』は、経営学部の2年生の暇つぶし向き。

わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。

無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ（コンパニーの略。学生などが費用を出し合って催す懇親会（広辞苑より）のことである。）等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

履修コード	146601
科目名	演習I
担当者名	藤原 篤志

講義のねらい

本演習ではテーマを「モノづくりの経営学」としており、主として製造企業の生産戦略、生産管理、技術管理、作業管理などを対象としている。またモノづくりには労働力が不可欠かつ重要な要素であるので、労働者による労働も考察の対象としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上の論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見をもち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

2年生（演習I）では、まずは基礎固めとして経営学全般の基本的な内容を学習することを目的としている。ゼミ生各人にはこちらから勉強テーマが与えられるので、それについてゼミの中でプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答、議論・討論を行う。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。また上記のように授業自体はプレゼンテーション、質疑応答、議論・討論が中心となるので、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業時間以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

履修コード	146101
科目名	演習I
担当者名	山田 純平

講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれます。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえません。そこで、本演習では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察します。

また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、現実の財務諸表を分析することを通じて、会計基準の実態面についても合わせて検討します。

講義の内容・授業スケジュール

企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストを輪読する予定です。

履修上の留意点

原則として毎回出席してください。また、ゼミの行事にはできるだけ参加してください。

成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価します。

教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定します。

履修コード	147131
科目名	演習I
担当者名	山田 勝

講義のねらい

ポードレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・授業スケジュール

- (イ) 各自が『日本経済新聞（朝夕刊）』を毎日読む。
- (ロ) およそ2週間に1度、日経新聞の中から指定した記事に関して、日本語400字とその英訳文のレポートをメールによって提出。
- (ハ) 月1度のわりで各自のレポート内容を英語で発表し、それに関してディスカッションする。共通語は英語。

成績評価の方法

平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わるのが評価の対象となる。

履修コード	146861
科目名	演習I
担当者名	わかやま だいき 若山 大樹

講義の内容・授業スケジュール 演習Iでは、市場（消費者行動）を理解するための方法論や理論について学ぶ。具体的にはマーケティングデータの理解を深めるために消費者行動の観察、調査、実験手法を学び、この分野で最も利用されている統計処理ソフトSPSSの使い方を学び、マーケティングデータ解析と市場理解において重要な社会心理学の理論についても学ぶ。
講義のスケジュールは以下のとおり。
(1)～(6)テキストの輪読、(7)～(14)論文の輪読、(15)前半まとめ、(16)～(22)統計処理ソフトSPSSを用いた演習、(23)～(30)データ分析課題

成績評価の方法 出席状況と輪読、ディスカッションへの参加、データ解析課題提出状況を総合的に評価する。

教科書 必要に応じて配布あるいは指示する。

参考書等 必要に応じて配布あるいは指示する。

履修コード	149911
科目名	演習II
担当者名	あおき しげき 青木 茂樹

講義のねらい この演習の目的は、マーケティングや流通に関する知識を主体的に獲得していく姿勢や作法を身につけることである。今日、様々な情報が渦巻く社会では、本質的課題を発見し仮説を創造する力や、これを検証する様々な情報収集の仕方、これを論理的に説明していく力が必要である。こうした姿勢や作法を学生時代に体得しているか否かは、社会の舞台にたったときのスタート時から大きな差となるであろう。
こうしたゼミ活動を通じて、今日、社会人基礎力といわれる12の力、① Action（主体性、働きかけ力、実行力）、② Thinking（課題発見力、計画力、創造力）、③ Teamwork（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）を養う。事前・中間・事後で、個々人のこれらの到達度を測り、将来の職業適性などに応じた指導も合わせて行う。

講義の内容・授業スケジュール 1. 前期 マーケティング・流通に関する重要な論文を輪読しながら、それらのアイデアが生まれてきた背景や今後の発展的展開を考える。フィールドワークや企業訪問、ゲスト・スピーカーの招聘なども適宜行う。
2. 夏休み 夏合宿（9月）&OB・OG会 合宿では、前期のグループ研究の中間発表を行う。そのために自主的な研究会を開く場合もある。
3. 後期 前期同様に論文の輪読と批判的検討を行う。これに加え、グループ発表へ向けて、グループ論文の作成に取り掛かってもらう。これは、外部機関の学生懸賞論文などとテーマを兼ねることも考えられる。基本は自分達が一番やりたい研究を行うことであろう。
4. 冬休み 完全休み
5. 春休み OB・OG会。

履修上の留意点 学生の主体的な研究意欲や向上心によってゼミは牽引されるものであり、教員はアドバイザーやサポーターに徹する。もちろん無断欠席はありえない。

成績評価の方法 ゼミ活動全般を通じて、総合的に評価する。すべてにパーフェクトな人間はいない。むしろ個々人の関心や持ち味を生かしてゼミ運営に参加・貢献していることを高く評価する。

教科書 皆さんの研究や将来の職種の興味を伺いながら、演習時にテキストを決めていく。

履修コード	149201
科目名	演習II
担当者名	明石 博行 <small>あかし ひろゆき</small>

講義のねらい 本演習では、現代の経済社会に関する3年次・4年次の共通研究テーマと課題図書を相談のうえ決定し、経済社会学の応用分野の学習に取り組みます。また、決算書とマクロ経済データの分析におけるエクセルの利用法について学習しつつ、英語の読解力のさらなる向上を図ります。さらに、卒業論文の作成にむけた各自の研究領域をしばってゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 演習は前期と後期にわけて行います。前期には、エクセルおよびパワーポイントの操作能力を育成しつつ、決算書の分析・マクロ経済データ分析のための基礎資料を作成します。後期には、課題図書とのノートと基礎資料を利用した学習に取り組み、決定したテーマにそくして現代の経済社会に関する学習と研究を深めます。夏には2年生との合同合宿を行います。3年次にはなお、テーマ別の個人研究が演習における一つの課題となります。

履修上の留意点 チームごとの補習を行いながら、テーマ別の学習・研究と演習参加者全員による学習・研究とを組み合わせることでゆきます。補習では、Financial Times の最新記事を読み続けるとともに、インターネットを利用した情報の収集能力のさらなる向上を図ります。補習を含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法 成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加え、評価をします。

教科書 多国籍企業にかんする課題図書とともに、エクセルの学習のために『超図解EXCEL2003（総合編）』（エクスメディア、1,480円）を使用します。また、3、4年次の学習用テキストとして、『NIKKINET・景気ウオッチの活用法』と『決算分析の基礎』を配布し、使用します。

履修コード	147201
科目名	演習II
担当者名	阿部 一人 <small>あべ かずひと</small>

講義のねらい 演習Iに引きつづきテキストにそって財務会計の基礎を体系的に学習する。後期は、企業会計の領域の中から各自がテーマを選び、それにもとづいて研究発表を行う。また、卒業論文としてまとめたいテーマを選定し、研究計画書（テーマ、理由、枚数など）を提出してもらう。

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書 開講後指示する。

参考書等 授業中において適宜指示する。

履修コード	148901
科目名	演習II
担当者名	飯田 哲夫 <small>いいた てつお</small>

講義のねらい この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。問題に応じて、様々なモデルがありますが、この演習では、演習Iでの学習を進展させ、いくつかのモデルについてより発展的・応用的な知識の習得を目指します。また、コンピュータの利用技術についても同様です。

講義の内容・授業スケジュール モデルによる意思決定・分析の習得のために、関連文献の輪読を行います。また、コンピュータの利用に関する応用的知識も習得します。

履修上の留意点 このゼミでは、学生の主体的・積極的な参加を前提としています。「経営数学」を受講した程度の数学的知識を持っていることが望ましい。その数学的知識を応用してみたいと思っている意欲のある学生の参加を希望します。

成績評価の方法 平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教科書 最初の授業のときに紹介します。

履修コード	147901
科目名	演習II
担当者名	<small>いしなざか くにまさ</small> 石名坂 邦昭

講義のねらい	企業の安定経営をはかる上でリスク・マネジメントは欠かすことのできない理論となっている。今日の複雑多岐にわたるビジネス・リスクにどのように対処すべきかは企業経営者の一番の関心事と言える。本演習においては、ビジネス・リスクへの対処を理論的・技術的に考察していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	リスク・マネジメントを学ぶ上で、必要不可欠となる保険について、各課題ごとに毎週レポートを提出してもらい、数名の受講生に報告をしてもらい、そのことにつき討論を行う。また、リスク・マネジメントの基本的なことにつき講義も行う。
履修上の留意点	毎週、定められたテーマについて全員が参加してディスカッションを行うため無断欠席はしないでほしい。
成績評価の方法	出席およびレポートによる総合評価を行う。
教科書	講義に必要な資料等はコピーして配布する。
参考書等	授業中に適宜紹介する。

履修コード	147301
科目名	演習II
担当者名	<small>おざわ としのぶ</small> 小沢 利久

講義のねらい	個人・企業は様々な場面で次に取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、マネジメント・サイエンスの各種手法とコンピューターリテラシについて学んでいきます。マネジメント・サイエンスとは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、マネジメント・サイエンスの応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりがつつあります。
講義の内容・授業スケジュール	マネジメント・サイエンスの応用として、マーケティング・サイエンスまたは数理ファイナンスで用いられている様々な分析手法について学んでいきます（どちらにするかはゼミ生との相談で決める予定です）。また、プレゼンテーション能力を高めるための訓練として、商品企画書の作成とPowerPointを用いた発表練習を行います。
履修上の留意点	演習IIについては、演習III（4年生）を継続して受講することを前提としています。
成績評価の方法	課題提出物、発表内容、出席状況により評価します。
教科書	必要に応じて指定します。
参考書等	必要に応じて示します。

履修コード	147401
科目名	演習Ⅱ
担当者名	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃

講義のねらい 研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・授業スケジュール 現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいきます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本の経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。

履修上の留意点 出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法 出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。
教科書 適宜指示。過去のテキスト例。熊沢誠『若者が働くとき』、朝日新聞特別報道チーム『偽装請負』、中野麻美『労働ダンピング』、風早正宏『ここがおかしい日本の人事制度』など。

参考書等その他 演習時に適宜紹介。
履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html

専門教育

履修コード	148601
科目名	演習Ⅱ
担当者名	かたまり のぶお 片桐 伸夫

講義のねらい このゼミは3・4年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、
1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、
といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール （1）経営分析について、（2-6）経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、（7-12）収益性・安定性分析、製造業—製造原価報告書、（13-15）貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、（16-20）生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、（21-26）キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、（27-30）税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点 このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法 3年次（演習Ⅱ）では、各自が決めたテーマに取り組み、4年次のゼミ論作成に向け少しずつ仕上げていきます。各自、月に1回程度のレポートであり、確実に提出すること、成績評価の方法は、毎月のレポート提出による平常点100%です。

教科書 開講時、指示します。
参考書等その他 随時、紹介します。
ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度）によります。

なお、いうまでもなく無断欠勤と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

履修コード	149901
科目名	演習II
担当者名	兼村 栄哲 <small>かねむら えいてつ</small>

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情報的懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。

マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が、生産者が生産した商品を消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（「流通」とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

以下の4つが、履修者が最低限すべき内容である。

- 1 通常の演習においては、テキストを全員で輪読し、専門的な概念や理論を学ぶ。
- 2 年に2回、各自で業界研究をし、それぞれについてA4版で100枚以上のレポートにまとめる。また、その概略を冬合宿で発表する。
- 3 夏休みの工場見学に参加する。その前提として、各工場について、各自が30以上の質問を考える。
- 4 電通主催の学生懸賞論文に応募する。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

- 1 通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも参加すること。同時に、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すなど、積極的に参加すること。
- 2 お互いの親睦を図ること。
- 3 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合には、必ず事前にその旨を申し出ること。

成績評価の方法
教科書

授業態度、発表内容、レポート内容等による総合的な評価
 グローバルタスクフォース株式会社（著）『コトラー教授『マーケティング・マネジメント』入門Ⅰ』（総合法令）2005年、1,680円、ISBN：4-89346-882-0。
 グローバルタスクフォース株式会社（著）『コトラー教授『マーケティング・マネジメント』入門Ⅱ』（総合法令）2005年、1,680円、ISBN：4-89346-883-9。

参考書等

適宜紹介する。

履修コード	149931
科目名	演習II
担当者名	菅野 佐織 <small>かんの さおり</small>

講義のねらい

研究Ⅱの目的は、マーケティングに関連する研究を通じて「論理的思考力」を養うことです。このゼミでは、グループ毎にテーマ課題を設定し、問題の発見から仮説の導出、データ分析による仮説の検証といった一連のプロセスを通して、論理的思考を養います。そのために、マーケティング・リサーチの考え方、手法を学び、最終的には論文にまとめていきます。このような一連の作業は、他大学の学生との勉強会、討論会を進めながら行っていく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期の授業内容
 - ・データの分析手法を学ぶ（単純集計、クロス集計、相関分析、因子分析、回帰分析、コンジョイント分析など）
 - ・グループ毎でのテーマ研究
- 後期の授業内容
 - ・グループ毎でのテーマ研究
 - ・討論会への参加（12月）

履修上の留意点

- このゼミは、次のような人に向いています。
- ・マーケティング、消費者心理の問題や、消費者調査などのマーケティング・リサーチに興味がある。
 - ・他大学の学生と勉強したい。（3年生のゼミでは、他大学との討論会を予定しているため、積極的にゼミの活動に時間をかけられる人が向いています。詳しくはネットで「関東10ゼミ討論会」を検索してみてください）

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席の状況と毎回の課題への取り組み度合い、授業への貢献を総合的に判断して評価します。

授業で適宜お知らせします。

授業で適宜お知らせします。

継続力と強い精神力、礼儀を持つ人を歓迎します。また、何かを楽しむためには、ある一定以上の知識が必要となります。そのため、ゼミ以外の時間にも進んで勉強してほしいと思います。ゼミの勉強で苦楽を共にしながら、且つ勉強以外にも楽しい思い出を作り、卒業後も付き合えるいい仲間を作って欲しいと思います。

履修コード	150011
科目名	演習II
担当者名	岸田 隆行 <small>きしだ たかゆき</small>

講義のねらい

原価を知ることはマネジメント・コントロールの基礎であり、原価を知ることなくして、経営を理解することは困難である。近年は経営環境の変化が著しく、原価計算・管理会計も経営環境の変化に対応すべく、様々な技法が編み出されている。しかし、それらの新技法が実際に有効であるのか、またあらゆる企業に適合するのかは明らかではない。本演習では原価計算が現代的な経営環境の中で、マネジメント・コントロールにおいてどのような役割を果たすかについて理解を深めていく。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

それぞれのテーマについて担当者を割り当て、担当箇所についてレジュメを作成し、報告してもらい、報告内容について受講者全員でディベートを行う。

積極的にゼミ活動に参加してもらいたい。

担当箇所の報告では、指定されたテキストだけでなく、様々な文献を読んだ上で報告を行ってほしい。また、報告者以外の受講生も事前にテキストを熟読した上で、議論に参加することが望ましい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

報告の内容、ゼミへの参加程度により総合的に評価する。

開講時に指示する。

適宜紹介する。

履修コード	149601
科目名	演習II
担当者名	猿山 義広 <small>さるやま よしひろ</small>

講義のねらい

この講義では、主として会計学的な視点からブランド・マネジメントについて詳細に学ぶことを目的としている。ブランド・マネジメントは、リスク・マネジメントとともに、現代の企業経営を考えるうえで重要な課題になっている。企業が実際に行っているブランド戦略を参考にして、自分なりのブランド論が構築できるように勉強を進めてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回 現代の企業経営とブランド、第2回 ブランドの基礎概念、第3回 ブランド構造とブランディング、第4回 戦略的ブランドマネジメント、第5回 ブランド・マネジメントにおけるリスクコミュニケーション、第6回 ブランド・マネジメントにおけるステークホルダーモニタリング、第7回 ブランド・マネジメントにおける統合型コミュニケーション、第8回 ブランディングと危機管理、第9回 ブランドリスクマネジメント、第10回 平常時のブランドエイド、第11回 リスク発現時のブランドエイド、第12回 BtoB ブランディング、第13回 第1回から第12回のみまとめ、第14回 ブランド価値の基礎概念、第15回 ブランド・エクイティ、第16回 ブランド評価の方法、第17回 ブランド・ランキング、第18回 ブランド価値を高める広告戦略、第19回 ブランド価値を高めるデザイン、第20回 ブランド価値を高める顧客対応、第21回 ブランド価値とビジネスモデル、第22回 ブランド・マネジメントのための会計的手法(1)、第23回 ブランド・マネジメントのための会計的手法(2)、第24回 ブランド・マネジメントのための会計的手法(3)、第25回 ブランド・マネジメントのための会計的手法(4)、第26回 第14回から第25回のみまとめ、第27回 ブランド・マネジメントの事例研究(1)、第28回 ブランド・マネジメントの事例研究(2)、第29回 ブランド・マネジメントの事例研究(3)、第30回 現代におけるブランド・マネジメントの課題

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

演習では学生による発言が一番重要な教材になる。積極的に発言すること。

出席状況、授業中の発言や報告、年2回課すレポートの内容に基づいて総合的に評価する。

参考資料を授業中に配布する。

博報堂ブランドエイドチーム『ブランドリスクマネジメント』きんざい。

1回の授業につきかならず、何か1つは新しい知識や疑問点を見つけられるよう集中して授業に臨んでもらいたい。

履修コード	149921
科目名	演習II
担当者名	高井 徹雄 <small>たかい てつお</small>

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法</p>	<p>ブロードバンドで繋がったインターネットを基盤とするIT（情報技術）は、今日の企業経営また社会・経済システムを捉えるうえでも最も重要なキーワードとなっています。皆さんは、真の意味で、情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す時代に生きています。このような時代、企業や官庁のスタッフとして、また将来はエグゼクティブとして、「情報エリート」を目指すならば、少なくとも以下の能力が要求されると考えます。</p> <p>(1) 発見力：与えられるのを待つのではなく、自分で問題を見つける能力。</p> <p>(2) 洞察力：問題に関係する必要な情報を選別する能力。情報を分析し問題の本質を洞察する能力。</p> <p>(3) 表現力：分析結果を集約し、解り易くプレゼンテーションする能力。</p> <p>(4) 解決力：他者と協力しあって、具体的な問題解決を図る能力。</p> <p>皆さんに、こうした素地を養って頂くことを狙いとして、各週の演習、および年2回の合宿（1回は勉強、もう1回は親睦を主目的とする）における題材と環境を用意します。主体的にゼミに参加されることを願っています。およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方向を見極めながら進めていきます。</p> <p>4-10月：輪読・・・ゼミメンバーの希望に沿って適切な文献を決め、全員参加の輪読会を実施 6月：ソフトシステム方法論・・・演習Iと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う 11-12月：ゼミ論テーマの作成</p> <p>毎回、コンピュータルームにおいて実習形式で授業を行います。 実習形式の授業は、全体が同じペースで学習を進めていく必要がありますので、極力欠席しないようお願いいたします。</p> <p>毎回出席をとります。また、前期・後期各1件程度、学習内容に応じてHTML作成やプログラミングなどの課題を出します。これら平常点により評価を行いますので、筆記試験は行いません。</p>
---	---

履修コード	148801
科目名	演習II
担当者名	高木 克己 <small>たかき かつみ</small>

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>成績評価の方法</p> <p>参考書等</p>	<p>3年次では、前期において卒業論文作成に向けてのテーマ決定するために、法人税関連のテキストを読みます。なお、「税務会計論」も必ず並行して、受講してください。</p> <p>3年次後期から4年次終了時までの予定としては、各自選定したテーマを数回に分けて報告することになります。例えば、制度の意義、概要、沿革、ケース・スタディ、問題点の整理、その解決策あるいは方向性、などです。</p> <p>3年次終了時には、各自選定したテーマで進級論文（10枚以上、400字）の作成を行います。特に3年次では、各自のテーマの沿革、制度導入の背景等、現行の制度の内容、諸外国の制度との比較等に重点を置いて、作成することになります。</p> <p>なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。</p> <p>前期は、卒業論文のテーマを決めるために、法人税法に関する文献を1冊採り上げ、報告してもらいます。</p> <p>後期は、各自選定したテーマにそって、沿革、現行制度の内容等を検討していきます。出席及び報告により評価します。</p> <p>最初の授業で紹介します。</p>
--	---

履修コード	148301
科目名	演習II
担当者名	高田 光明 <small>たかだ みつあき</small>

講義のねらい この演習は、企業が行う財務活動に関して、資本調達面から重点的に研究する。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用を指す。企業は、その活動を営むに際し、原材料、機械といった財貨を取得しなければならないし、労働力も確保しなければならない。そのために元手となる資本を企業は必要とする。資本の調達とは、この元手としての資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、上で述べた原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという営業活動を遂行する。これが資本の運用である。

講義の内容・授業スケジュール 企業が必要とする資本を調達するには、株式や社債の発行とか、銀行からの借入など様々な方法がある。これらの資本調達方法は、特徴がそれぞれ異なる。したがってこうした資本調達方法を使い分けて、生産要素の取得を賄うための資本をどのように調達するかは、企業が営業活動を実施して、調達資本をいかに効率的に運用できるかに大きな影響を与える。当演習では、資本の運用面に配慮しつつ、企業は、資本の調達活動をどのように行うべきかについて考察する。

基礎的知識の体系的理論を図ることをまず目的として授業を進める。

(1) 演習という形式の授業のオリエンテーション
 (2～15) 高田光明稿、「経営財務論序説」(駒大経営研究26巻3号, 1995年2月)を中心に研究
 (16～30) ウェストン・ブリッグム共著, 諸井勝之助訳, 経営財務I (東京大学出版会, 1968年)を中心に研究

履修上の留意点 企業が実施する財務活動に伴う資本の増減・変化は、企業の会計システムによって記録・測定される。したがって企業の財務活動に関する情報を理解し、企業の財務を研究するために、企業会計に関する初歩的知識は必要である。

成績評価の方法 適宜提出を求める課題レポートにより評価する。

履修コード	148501
科目名	演習II
担当者名	滝田 公一 <small>たきた こういち</small>

講義のねらい 本年度は、文献[1]のほかに、代表的なデータ処理ソフトであるSPSS (the Statistical Package for the Social Sciences) を利用して演習を行う予定です。もう一つの代表的な処理ソフトであるSASがどちらかと言えば、理科系のためのデータ処理ソフトであるのに対して、SPSSは、文字通り社会科学のために開発されたデータ処理ソフトであります。この演習では、米国の National Opinion Research Center によってなされた、アメリカの成人2090人を対象とした世論調査 General Social Surver を分析することによって、アメリカ人の宗教観、政治に対する姿勢、墮胎に対する考え方、などを調べます。

また、RATS、TSPといった計量経済学用のソフトを用いて、capital asset pricing model や、生産費用の測定、製品の品質の変化の測定、賃金差別の問題などについても学習する予定です。

講義の内容・授業スケジュール 回帰分析のより進んだ分析を学ぶ予定です。それらは、ダミー変数を伴う回帰分析や、非線形モデルの回帰分析、不均一分散の問題、自己相関、連立方程式体系の推計、分布ラグのモデル、時系列分析、パネルデータの分析、などです。また、3週に1度程度、学生諸君に企業のケーススタディに基づく課題の報告をしてもらいます。

成績評価の方法 成績評価は、課題報告(30%)と学年末のレポート(通常、computer assignment、70%)によって行います。

履修コード	149941
科目名	演習II
担当者名	中川 功一 <small>なかがわ こういち</small>

講義の内容・授業スケジュール 前期では、経営戦略論の基礎を学び、企業競争力の本質を捉える視点を養う。青島矢一・加藤俊彦著『競争戦略論』を、毎週決まった範囲ずつ輪読していく。

後期には、前期で習得した知識を活かし、グループワークによって、実際の企業活動を調査していく。

成績評価の方法 出席と報告による。

教科書 青島矢一・加藤俊彦『競争戦略論』2003年刊、東洋経済新報社、2400円。

履修コード	149501
科目名	演習II
担当者名	中川 ^{なかがわ} 淳平 ^{じゆんぺい}

講義のねらい	この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。
講義の内容・授業スケジュール	経営学説の基本文献についての輪読。応用的な文献についての報告と討論。毎回担当者を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらう。
履修上の留意点	予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるため、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。
成績評価の方法	平常点100%（発表や討論の内容、論文、学習態度など）
教科書	開講時に指示する。
参考書等	参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

履修コード	149401
科目名	演習II
担当者名	なが ^{なが} 国強 ^{こさやう}

講義のねらい	現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	演習II（3年生）：HTML言語とEXCEL…コンピュータ上の情報発信とデータ解析 WORDとEXCELの入門が既に果たされ、これからコンピュータのことを、情報通信やデータ解析などの実践を通じてもっと知りたいという学生のための演習です。インターネットの斬新さは、誰もが簡単にホームページなどで情報を発信できることにあると思う。演習IIの前期は、ホームページのレイアウトや仕掛けを記述するHTMLと呼ばれる言語を中心に展開する。後期は、近い将来学生諸君に直面されるであろう市場調査・予測、品質・生産管理などの課題をコンピュータ上、データ解析手法を使い、企業現場の具体例を交えて細かく実習していく。
成績評価の方法	平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。
その他	演習IIは毎回の実習アイテンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。

履修コード	148001
科目名	演習II
担当者名	ながた ^{ながた} 智則 ^{とものり}

講義のねらい	当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。 近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。 当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。
講義の内容・授業スケジュール	「演習II」では視野を広げ、貿易が経済発展に果たしている役割を検討し、東アジア地域の経済発展と日本経済との関係を中心に研究する。
履修上の留意点	無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。
成績評価の方法	授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。
教科書	教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

履修コード	149951
科目名	演習II
担当者名	<small>なかの かおり</small> 中野 香織

講義のねらい 本演習では、マーケティング・コミュニケーションおよび広告について、実務と理論の両方の面から考察することを目的とする。理論を学ぶことに加え、それを実際の戦略に応用できるような思考も身につけることが必要である。また、さまざまな課題に取り組むことを通じて、テーマに関連した資料収集の方法、問題を発見する視点、それを解決するための方法、考えたことを人に伝えるためのプレゼンテーション方法などを学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール 前半はマーケティング・コミュニケーションおよび広告に関する基礎的な知識をメンバー全員で共有するため、教科書を輪読し、内容について議論する。後半はグループ研究を基本とし、グループでの論文執筆（学生広告論文電通賞への応募）、企業のマーケティング事例を取り上げて考察するケース研究などを行う。

履修上の留意点 ゼミの時間には積極的な発言が、ゼミの時間外には自主的な課題への取り組みが求められる。特にグループ研究ではメンバーと共同で多くの課題をこなし、活発な議論を行う。そのため、マーケティング・コミュニケーションに関心が高く、ゼミ中心の学生生活を過ごしたいと思うような意欲のかつ協調性のある人に参加してほしい。

成績評価の方法 授業態度（出席状況、積極的な参加）、発表内容、レポートなどにより総合的に評価する。

教科書 参考書のなかから、数冊を教科書として利用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書等 亀井昭宏・疋田聡編『新広告論』2005年刊（日本経済新聞社）1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊（電通）2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊（有斐閣）2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊（電通）2,200円

履修コード	150001
科目名	演習II
担当者名	<small>なかむら こういち</small> 中村 公一

講義のねらい 本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

(1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。

(2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。

(3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。

(4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール 演習II（3年生）

前期；経営戦略論に関するテキスト購読（事例調査）

後期；ケーススタディの学習（ケース分析レポート）

履修上の留意点 ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

成績評価の方法 遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、不十分な内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は、出席数、提出課題の内容、議論への貢献度などの平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

教科書 授業時に発表する。

履修コード	149101
科目名	演習II
担当者名	西村 和夫

講義のねらい	【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英語論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	入ゼミ手続き（2年次）：面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修していること。
演習II	・論文の読み方と発表のしかた（2）スタンフォード大学でも使っている“Concrete Mathematics”[1]の第1章を輪講する（レジュメと書画カメラを使う）。“再帰的な考え方”を理解する。 ・“再帰的なプログラム”の作成。ゼミ論文のテーマの決定。 ・仕様書の書きかた ・ゼミ論文中間報告書の提出。
履修上の留意点	その他 ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。 ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。 ◆ゼミ論文テーマの発表。（年1度）・イベント（年1～2度）。
成績評価の方法	テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。
参考書等	出席のほかに、輪講のレジュメと発表、小テスト、ゼミ論文中間報告書 [1] R.Graham, D.Knuth and O.Patashnik, Concrete Mathematics, Addison-Wesley, 1989. [2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992年
その他	西村ゼミのページ： http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/

履修コード	148701
科目名	演習II
担当者名	羽鳥 茂

講義のねらい	演習IIでは、日本企業のコーポレート・ガバナンス、情報効率性、システム特性などのより進んだ研究を目指して、上級レベルのテキストと専門的な基本文献を理解し、知識の拡充とゼミ生各自のレベル・アップを目標にします。
講義の内容・授業スケジュール	前期では、下記の参考書、教科書を中心に学習し、研究テーマの方向が決まるようにゼミを進めていきます。後期では、ゼミ生の研究テーマを報告してもらい、ディスカッションとプレゼンテーションを繰り返すことによって研究を確かなものにしていきたいと考えています。なお、研究の中間報告を年末に提出してください。
成績評価の方法	ゼミでの報告とその内容によって評価します。
教科書	青木昌彦『比較制度分析に向けて』NTT出版、瀧澤弘和・谷口和弘訳3900円（新装版）
参考書等	岡田章『ゲーム理論』有斐閣、4600円 青木昌彦・奥野正寛・岡崎哲二編著『市場の役割・国家の役割』東洋経済新報社、2500円

履修コード	149301
科目名	演習II
担当者名	羽田 尚子

講義のねらい	自分の興味あるテーマを、データを使って分析し、得られた結果から新たな発見を得ることが目的です。パソコンを使った実習が中心になります。
講義の内容・授業スケジュール	前期はソフトウェアを使った実習が中心。使い方を講義するので、配布したサンプルデータと自分で探したデータを使って各自実習してもらいます。結果と考察は、定期的に報告およびレポート提出してもらいます。後期は各自興味ある分析テーマを見つけ、そのテーマを分析するためにはどのようなデータを選べばよいか検討し、報告してもらいます。
履修上の留意点	分析テーマは、産業や企業に関するものとします（企業の研究開発活動や技術マネジメント、技術政策やベンチャーキャピタルなどイノベーションに関するものなら尚望ましい）。
成績評価の方法	出席状況、課題の提出、発表態度、理解度により総合的に評価します。無断欠席は厳禁です。
教科書	『Excelで学ぶAHP入門』オーム社

履修コード	147701
科目名	演習II
担当者名	日野 健太

講義のねらい このゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取り上げ、組織論のものの見方を身につけることを目的とするが、経営学全般についての理解が深まるように、配慮する。

演習IIでは、自分の関心のあるテーマを明確にし、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。文献の輪読によって、分析のための概念を得るとともに、関心の所在について報告してもらおう。

演習IIに同じ。

講義の内容・授業スケジュール 演習IIに同じ。

履修上の留意点 演習IIに同じ。

成績評価の方法 開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習IIで読破したのは、以下の3冊である。

教科書 C.K.プラハラード『ネクスト・マーケット』
加藤一郎『語りとしてのキャリア』
W.ペニス&R.トーマス『こうしてリーダーはつくられる』

参考書等 有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。田尾雅夫・若林直樹『組織調査ガイドブック』はゼミ論のテーマを明確にするのに役立つ。

その他 演習Iに同じ。中だるみしないでやろうと思う。

履修コード	149801
科目名	演習II
担当者名	藤原 篤志

講義のねらい 本演習ではテーマを「モノづくりの経営学」としており、主として製造企業の生産戦略、生産管理、技術管理、作業管理などを対象としている。またモノづくりには労働力が不可欠かつ重要な要素であるので、労働者による労働も考察の対象としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上の論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見をもち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール 3年次・4年次では、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。また授業自体は、ゼミ生各人による自分の論文についてのプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

履修上の留意点 以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。2年という時間の中で、一定水準以上の論文を完成させるのは、継続的な努力と意欲が必要になるからである。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。

成績評価の方法 特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

履修コード	148101
科目名	演習II
担当者名	前田 和利

講義のねらい 戦後における日本の経済・産業のダイナミズムと関連させながら日本型企業システムの変遷・特徴を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 日本型企業システムを特徴づけるメインバンク・システム、株式相互持合、雇用システム、コーポレート・ガバナンス、系列組織、流通システムなどに焦点を当てる。またトピックとしてリーディング・インダストリーや戦後の代表的企業経営者についても検討する。

履修上の留意点 演習を優先できる人の参加を希望する。

成績評価の方法 平常点（出席と授業態度）とレポート提出（1回）によって評価する（各50点）。

教科書 橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭『現代日本経済』新版（有斐閣）。

参考書等 適宜紹介する。

その他 担当者による要旨報告と問題提起、質疑応答という形式で進めるが、事前に要旨・資料の配布が求められる。

履修コード	148401
科目名	演習II
担当者名	宮城 徹

講義のねらい 演習II (3年)
3年次ゼミ生は、英語圏とドイツ語圏(邦訳書)と日本の代表的な「新しい制度学派」の文献を素材として、企業について一層突っ込んだ研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール こうして、ゼミ生は、「組織理論」(特に意思決定理論とコンティンジェンシー理論=状況的アプローチ)と「新しい制度学派」の双方の組織(=企業)についての理解の共通性や相違点などを少しでも見分けることができるようになれば、それに越したことはない。それはともあれ、3年次ゼミ生は各自、同ゼミの最後の段までに、「ゼミ論文」のテーマを設定し、私に提出しなければならない。

成績評価の方法 ※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生はそれを中心にして活発にディベートするように進める。
※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。
※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』(日本エディタースクール出版部)平成9年、を入手のこと。
平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

履修コード	147501
科目名	演習II
担当者名	山田 純平

講義のねらい 日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれます。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえません。そこで、本演習では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察します。

講義の内容・授業スケジュール また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、現実の財務諸表を分析することを通じて、会計基準の実態面についても合わせて検討します。
前期は、企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストの輪読を継続します。その後、財務諸表の読み方に関するテキストを読むとともに、卒業論文に向けて中間報告をしてもらう予定です。

履修上の留意点 原則として毎回出席してください。また、ゼミの行事にはできるだけ参加するようにしてください。

成績評価の方法 議論への参加度、報告の出来、出席率で評価します。
教科書 授業中に参加者と相談のうえ、決定します。

履修コード	148201
科目名	演習II
担当者名	山田 勝

講義のねらい ボーダレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・授業スケジュール 英文経営雑誌 Business Week の Cover Story を素材に(コピーを配布)、その内容についてディスカッションする。共通語は英語。英語を学ぶのではなく、英語が含まれている国際的経営センスを得ることが目的。

成績評価の方法 平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わるのが評価の対象となる。

履修コード	149961
科目名	演習II
担当者名	わかやま たいき 若山 大樹

講義のねらい 演習IIの目的は、市場（消費者行動）を理解するための理論や方法論、および統計処理ソフトウェアSPSSの使い方について学ぶことにある。

講義の内容・授業スケジュール マーケティングデータの理解を深めるために消費者行動の観察法・調査法・実験法を学び、この分野で最も利用されている統計処理ソフトウェアSPSSの使い方を学び、マーケティングデータ解析の理解を深める。さらに市場理解に重要な社会心理学の諸理論について学ぶ。
（1）～（6）テキストの輪読、（7）～（14）論文の輪読、（15）前半まとめ、（16）～（22）統計処理ソフトウェアSPSSを用いた演習、（23）～（30）マーケティングデータ分析課題とプレゼンテーション

成績評価の方法 成績は、出席状況と輪読・ディスカッションへの参加状況、データ解析課題と発表により総合的に判断する。

教科書 テキストや論文は必要に応じて配布する。

履修コード	150801
科目名	演習III
担当者名	あかし ひろゆき 明石 博行

講義のねらい 本演習では、今年度の研究テーマである平成不況の研究を深めるとともに、卒業論文を執筆します。

講義の内容・授業スケジュール 演習は前期と後期にわけて行います。前期には、パワーポイントを使って、プレゼンテーションに関する学習に取り組み、企業分析と景気動向分析のプレゼンテーション用資料を作成します。また、卒業論文の執筆準備を進めます。後期には、パワーポイントを使って研究成果のプレゼンテーションを行うとともに、卒業論文についての報告と討論をしつつ、卒業論文を完成させます。こうした卒論への取り組みと関連させて、インターネットを通じた情報収集能力と情報の整理能力のさらなる向上を図り、秋にはパワーポイントを用いたプレゼンテーションと卒業論文の中間報告・検討のための合宿を行います。

履修上の留意点 4年次には、卒業論文のテーマに即して班を再編します。卒論の作成にさいしては、班ごとあるいは個人ごとに、演習時間外に補足的な相談会を行います。

成績評価の方法 成績は、通常の演習および相談会などへの参加状況を基本としつつ、卒業論文の取り組みにかんする判断を加えて評価をします。

教科書 卒業論文の作成に必要なすべての文献が、教科書・参考書となります。また、4年次の学習用テキストとして、『NIKKEINET・景気ウォッチの活用法』と『決算分析の基礎』に加え、『卒論作成の手引き』を配布し、使用します。

履修コード	152501
科目名	演習III
担当者名	あべ かずひと 阿部 一人

講義のねらい 各自の選択したテーマにそって、卒業論文の作成とその検討を行う。

成績評価の方法 成績評価は、報告発表、レポート、出席状況により総合的に判定する。

教科書 授業中において適宜指示する。

履修コード	151201
科目名	演習III
担当者名	いづだ てつお 飯田 哲夫

講義のねらい この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。この演習では、ゼミ論文の作成を通して、問題を定量的に自ら分析できるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 各自が、モデルによる意思決定・分析に関するテーマを決め、そのテーマに沿ってゼミ論文を作成します。

履修上の留意点 自ら問題意識を持ち、積極的にテーマに沿った調査・研究を行うことが求められます。

成績評価の方法 ゼミ論文の内容とそのプレゼンテーション、および出席・受講態度を考慮して総合的に評価します。

履修コード	151801
科目名	演習III
担当者名	<small>いしなざか くにあき</small> 石名坂 邦昭

講義の内容・授業スケジュール
 各自のテーマについて論文を作成し、全体の論文集を作成する。
 成績評価の方法
 論文をもって評価する。
 参考書等
 論題に必要な資料を紹介する。

履修コード	150901
科目名	演習III
担当者名	<small>おさわ としひさ</small> 小沢 利久

講義のねらい
 個人・企業は様々な場面で次に取るべき行動の選択(意思決定)を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、マネジメント・サイエンスの各種手法とコンピューターリテラシについて学んでいきます。マネジメント・サイエンスとは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、マネジメント・サイエンスの応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がっています。

講義の内容・授業スケジュール
 マネジメント・サイエンスの関連分野から各自テーマを決め、それについて調査・分析を行い、論文にまとめてもらいます。そのために、前期は興味のある対象を選び、順番にその調査結果を発表してもらいます。後期は、前期の調査結果をもとに論文にまとめるべき問題を設定し、自分なりの答えを論文としてまとめてもらいます。最後に、論文発表会を行います。

履修上の留意点
 論文作成ではオリジナリティを重視します。単なる調査ではなく、自分自身の見解を持つことが求められます。

成績評価の方法
 提出論文、発表内容、出席状況により評価します。

教科書
 使用しません。

参考書等
 必要に応じて示します。

履修コード	152301
科目名	演習III
担当者名	<small>かしま ひであき</small> 鹿嶋 秀晃

講義のねらい
 研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・授業スケジュール
 現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいきます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本の経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者(レジュメを作成)、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。

履修上の留意点
 出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法
 出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書
 適宜指示。過去のテキスト例。熊沢誠『若者が働くとき』、朝日新聞特別報道チーム『偽装請負』、中野麻美『労働ダンピング』、風早正宏『ここがおかしい日本の人事制度』など。

参考書等
 演習時に適宜紹介。

その他
 履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html

履修コード	151001
科目名	演習Ⅲ
担当者名	かたざり のぶお 片桐 伸夫

- 講義のねらい** このゼミは3・4年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。（経営分析の内容については、演習Ⅱの講義のねらいをごらんください。）
- 講義の内容・授業スケジュール** （1）経営分析について、（2-6）経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、（7-12）収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、（13-15）貸借対照表、損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、（16-20）生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、（21-26）キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、（27-30）税効果会計、正味現在価値法と設備投資
- 履修上の留意点** このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。
- 成績評価の方法** 成績評価の方法は平常点100%です。
4年次（演習Ⅲ）では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。
- 教科書等** 開講時、指示します。
参考書等 随時、紹介します。

履修コード	150301
科目名	演習Ⅲ
担当者名	あねむら えいであ 兼村 栄哲

- 講義のねらい** 社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情報的懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。
- 講義の内容・授業スケジュール** マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が、生産者が生産した商品を消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（『流通』とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。
本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。
- 履修上の留意点** 以下の2つが、履修者が最低限すべき内容である。
- 1 学業面における大学生活の集大成として、各自の問題意識にしたがい卒業論文を作成する。当論文は、A4版用紙1頁あたり1,200字（40字×30行）で25枚以上とする（ワープロ原稿）。
 - 2 夏休みの工場見学に参加する。その前提として、各工場について、各自が50以上の質問を考える。
- 成績評価の方法** 1 通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも参加すること。同時に、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すなど、積極的に参加すること。
2 お互いの親睦を図ること。
3 無断で欠席や遅刻を繰り返したり、病気・就職活動などを理由に欠席や遅刻をしたにもかかわらず、その証明書を持参しない履修者については、卒業論文の最低枚数が増加することもあるので注意すること。
4 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合には、必ず事前にその旨を申し出ること。
- 教科書等** 授業態度、卒業論文の内容等を総合的に評価する。
なし
参考書等 適宜紹介する。

履修コード	150601
科目名	演習Ⅲ
担当者名	きしだ たかゆき 岸田 隆行

- 講義のねらい** これまでに習得した原価計算・管理会計の知識をもとに、卒業論文を作成する。論文作成の各段階ごとに報告を行い、内容についてゼミ員同士で討論することによってよりよい論文を作成できるようにする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 一年を通して論文を完成させる。
前期は各自で設定したテーマについての論文を渉猟し、いくつかの論文を報告していく。
後期は各自の論文の進捗状況を報告し、最終的に完成した論文を提出してもらう。
- 履修上の留意点** ゼミには積極的に参加してもらいたい。
また、他人の卒業論文の報告であっても、自分は関係ないという態度ではなく、積極的に批判や質問をすることによって、切磋琢磨し、それぞれがよりよい論文が書けるよう努力してもらいたい。
- 成績評価の方法** 出席、報告の内容、論文によって総合的に評価する。
参考書等 それぞれのテーマに沿った文献を適宜紹介する。

履修コード	152601
科目名	演習Ⅲ
担当者名	猿山 義広

講義のねらい

この講義では、現代の管理会計理論について詳細に学ぶことを目的としている。現代の管理会計は経営戦略と密接に結びついており、コスト・リーダーシップの確立や差別化を図るためのマネジメント・ツールとして展開されている点に特徴がある。たんなる事実についての計算ではなく、戦略目標を達成するための計算であることを念頭に置いて勉強を進めていってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

第1回 企業経営と管理会計、第2回 経営者と管理会計、第3回 企業価値創造のための管理会計、第4回 事業部制の管理会計、第5回 キャッシュ・フロー経営、第6回 経営戦略の管理会計への役立ち、第7回 中長期経営計画と予算管理、第8回 バランス・スコアカード、第9回 損益分岐点分析と直接原価計算、第10回 標準原価計算とコスト・コントロール、第11回 コスト・マネジメント、第12回 原価企画と戦略的コストマネジメント、第13回 第1回から第12回のおまとめ、第14回 ABCによる経営効率の向上、第15回 製品原価算定のための技術と概念、第16回 物流費、販売促進費、本社費の管理、第17回 広告宣伝費の管理、第18回 ブランド・マネジメントと管理会計、第19回 経営意思決定のための会計、第20回 戦略的・戦術的価格決定、第21回 戦略的意思決定と設備投資意思決定、第22回 企業再編と分権化の管理会計、第23回 ITのための管理会計、第24回 研究開発費の管理会計、第25回 海外事業のための管理会計、第26回 第14回から第25回のおまとめ、第27回 管理会計の事例研究(1)、第28回 管理会計の事例研究(2)、第29回 管理会計の事例研究(3)、第30回 現代管理会計の課題

履修上の留意点

演習は学生による報告が中心となる。報告にあたっては、聴講者がより深く理解できるように資料を作成してもらうことになるが、文章だけでなく図表を盛り込んだ資料をつくること。

成績評価の方法

割り当てられた報告の内容、授業中の発言、出席状況、年2回課すレポートの内容に基づいて総合的に評価する。

教科書

櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。
参考資料や計算問題については授業中に配布する。

参考書等その他

必要に応じて指示する。
卒業後、胸を張って「私は学生時代、管理会計論の演習を受講しました」といえるだけの成果が上げられるよう、限られた時間の中で一生懸命に勉強してもらいたい。

履修コード	152611
科目名	演習Ⅲ
担当者名	高井 徹雄

講義のねらい

ブロードバンドで繋がったインターネットを基盤とするIT（情報技術）は、今日の企業経営また社会・経済システムを捉えるうえでも最も重要なキーワードとなっています。皆さんは、真の意味で、情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す時代に生きています。このような時代、企業や官庁のスタッフとして、また将来はエグゼクティブとして、「情報エリート」を目指すならば、少なくとも以下の能力が要求されると考えます。

- (1) 発見力：与えられるのを待つのではなく、自分で問題を見つける能力。
- (2) 洞察力：問題に関係する必要な情報を選別する能力。情報を分析し問題の本質を洞察する能力。
- (3) 表現力：分析結果を集約し、解り易くプレゼンテーションする能力。
- (4) 解決力：他者と協力しあって、具体的な問題解決を図る能力。

皆さんに、こうした素地を養って頂くことを狙いとして、各週の演習、および年2回の合宿（1回は勉強、もう1回は親睦を主目的とする）における題材と環境を用意します。主体的にゼミに参加されることを願っています。およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

4-12月：ゼミ論各テーマ別個人指導
1月：ゼミ論最終発表と提出

履修上の留意点

毎回、コンピュータールームにおいて実習形式で授業を行います。実習形式の授業は、全体が同じペースで学習を進めていく必要がありますので、極力欠席しないようお願いいたします。

成績評価の方法

毎回出席をとります。また、前期・後期各1件程度、学習内容に応じてHTML作成やプログラミングなどの課題を出します。これら平常点により評価を行いますので、筆記試験は行いません。

履修コード	152101
科目名	演習Ⅲ
担当者名	高木 克己 <small>たかき かつ己</small>

講義のねらい	4年次では、5月半ばから7月にかけて、3年次に作成した進級論文を教材にして論文の書き方、文章の構成、専門用語の使い方等、2、3人の少人数で個別指導を行います。そして後期には、各自選択したテーマの問題点の整理、今後の方向性（解決策等）を中心に報告を行い、4年次終了時には、卒業論文（30枚以上、400字）の作成します。 なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、進級論文として、3年次末に提出された課題を題材にして、個別指導を中心に勉強していきます。 後期は、最後の仕上げとして、問題点、今後の課題等について勉強していき、卒業論文を完成させます。
成績評価の方法	出席及び報告により評価します。
参考書等	各自選択したテーマにより紹介します。

履修コード	150101
科目名	演習Ⅲ
担当者名	高田 光明 <small>たかだ みつあき</small>

講義のねらい	3年次からの演習に参加している間に、自分なりに持った問題意識のもとで、どのようなゼミ論文のテーマを選ぶかという作業は、自発的な姿勢で取り組むことを要求される。テーマ探しの過程でいろいろと文献を探して読むという経験を積むことは、大学卒業後に、仕事の必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学べる能力である自己学習能力を身に付けるために有効である。そして論文の執筆過程で、考えながら書き、書きながら考えを深めてまとめていくことは、論理的に思考する能力を培うのに役立つ最も主体的な行為である。したがって、自己学習能力と論理的思考能力の養成という大学教育の中心目的の達成を図る上で、ゼミ論文作成は、きわめて重要な位置を占めている。
講義の内容・授業スケジュール	演習Ⅲでは、リスク・リターン関係や資本のコストといった概念をキーワードにして、企業の資本調達問題についてさらに議論を深める。そしてこのようなテーマで演習を進めていく間に、各自が持った問題意識のもとで選んだ個別テーマにより、ゼミ論文を作成する。 (1～15) 砂川伸幸著、コーポレート・ファイナンス入門（日経文庫、2004年）を中心に研究 (16～30) ゼミ論文の作成指導
履修上の留意点	ゼミ論文の出来・不出来は、テーマをいかに絞り込むかにかかっている。扱うテーマが広いとどうしても掘り下げ不足となり、論文が、概説書の抄録のようなものになってしまいがちである。テーマについては、できるだけ絞る必要がある。したがって、自分が関心を持って扱おうとする領域に関して理解を深め、テーマを絞り込める眼を育てることが肝要である。
成績評価の方法	ゼミ論文の評価を基本とし、適宜提出を求める課題レポートも加味する。

履修コード	152001
科目名	演習III
担当者名	たきた こういち 滝田 公一

- 講義のねらい** 演習I,IIで習得した、資料の分析的読み、批判的読み、データの情報処理技術などを活用して、ゼミ卒業論文を作成していただきます。ゼミ卒業論文の作成を義務づける理由は、次のようでありま
す。すなわち、
(ア)どのようなトピックをゼミ卒業論文のテーマとしたらよいか、すなわち、論題の切り出し方
を学ぶ、
(イ)自分の考えを論理的に明確にし、読者に理解しやすいように、幹線のわかる構造を持った論
文の書き方を学ぶ、
と言った、知的作業については、その重要性にもかかわらず、これまで、日本の学校教育では、そ
の教育が十分になされてこなかったように思われるからであります。最後に比較的入手が容易であ
らうと思われる参考文献をあげておきます。
演習I、IIで学んだことを利用して、卒業論文を書いてもらいます。前期の授業で、論文の書き
方、すなわち、問題の切り出し方、論文のアウトラインの作り方、研究資料の探し方、その分析、
などを学びます。その後は、個々の論文の作成の指導を致します。
成績評価の方法 成績評価は、提出していただいたゼミ論文によって行います。
参考書等 澤田昭夫『論文の書き方』（講談社学術文庫）昭和52年
澤田昭夫『論文のレトリック』（講談社学術文庫）昭和58年
梅棹忠夫『知的生産の技術』（岩波新書）昭和50年
川喜田二郎『発想法』（中公新書）昭和51年
中野不二男『メモの技術—パソコンで知的生産—』（新潮選書）平成9年

履修コード	150201
科目名	演習III
担当者名	なかがわ じゅんぺい 中川 淳平

- 講義のねらい** この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学
説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、
報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。
講義の内容・ 演習論文の指導。
授業スケジュール
履修上の留意点 論文作成のために多くの時間を割く必要があるので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を
望みます。
成績評価の方法 提出論文100%。

履修コード	152401
科目名	演習III
担当者名	なが こさぶろう 長 国強

- 講義のねらい** 現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営デ
ータが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、
大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的
な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習
はコンピュータを使ってのデータ解析の基本技術を学習する。
講義の内容・ 演習III（4年生）：総決算…卒業論文作成に挑戦
授業スケジュール 研究テーマを自主的に選び、演習Iと演習IIの2年間で学んだコンピュータとデータ解析の基本知
識や手法を自ら実践し、卒業論文作成に取り込む。卒業論文については、11月の中間報告、1月の
卒論発表会を経て、最終的に提出してもらう。
成績評価の方法 平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。
その他 継続性ということから、演習IIIの新規募集はいたしません。

履修コード	151301
科目名	演習III
担当者名	<small>ながた ともり</small> 永田 智則

講義のねらい 世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール 「演習III」では研究活動の集大成としてゼミ論と取り組み、経済開発と貿易の関係を整理しながら、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深める。

履修上の留意点 無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法 提出されたゼミ論を評価対象にする。

教科書 教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

履修コード	151401
科目名	演習III
担当者名	<small>なかむら こういち</small> 中村 公一

講義のねらい 本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

(1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。

(2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。

(3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。

(4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール 演習III(4年生)
前期：過去のゼミ論文優秀作の輪読(論文執筆方法の学習)
後期：ゼミ論文の作成(各自の論文テーマの報告)

履修上の留意点 ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

成績評価の方法 遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、不十分な内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は、出席数、提出課題の内容、議論への貢献度などの平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

履修コード	152201
科目名	演習III
担当者名	<small>にしむら かずお</small> 西村 和夫

講義のねらい 【テーマ：コンピュータ科学】 文書(英論文など)の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 論文の書きかたを習得する。
・資料の調査
・中間発表とレポート提出
・論文の作成と発表
・論文提出
・発表会
その他
◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
◆ゼミ論文発表会(年2度)・イベント(年1~2度)。

履修上の留意点 テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。

成績評価の方法 出席のほかに、ゼミ論文

その他 西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/>

履修コード	151901
科目名	演習III
担当者名	はとり しげる 羽鳥 茂

講義のねらい 最終学年の演習Ⅲでは、これまでの学習成果をまとめることが目標です。3年次で提出した研究テーマの中間報告に基づいて完成品に仕上げられるように指導したいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール 1年を通して、ゼミ生の報告に基づく研究会のような形式で進めます。ゼミ生には研究報告のための十分な時間が与えられるので、活用してください。

成績評価の方法 研究報告とその内容によって評価します。

教科書 特にありませんが、ゼミの中で必要に応じて適宜に紹介とアドバイスはもちろん行います。

参考書等 特にありませんが、ゼミの中で必要に応じて適宜に紹介とアドバイスはもちろん行います。

履修コード	150501
科目名	演習III
担当者名	はわだ しよこ 羽田 尚子

講義のねらい 演習Ⅱで決めた各自の分析テーマを、演習Ⅰで習得した解析手法により分析し、卒業論文を作成します。

講義の内容・授業スケジュール 前期は各自分析を進めてもらいます。後期は分析結果の報告をしてもらい、問題点や改善点の修正をし、よりよい分析を進めてもらいます。論文の書き方については、適宜指導します。

成績評価の方法 出席状況、報告状況および論文の内容により総合的に評価します。

履修コード	151601
科目名	演習III
担当者名	ひの けんた 日野 健太

講義のねらい このゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取り上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

演習Ⅲでは、演習Ⅱでの学習を発展させ、2万字程度のゼミ論文を完成させる。テーマは演習Ⅱと同じであることが望ましいが、就職活動等を通じて、問題意識が変わることもあり得るので変更も認める。

講義の内容・授業スケジュール ゼミも各自の研究テーマの発表を中心に進める。
必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。
普段のゼミで経過発表をした上で、ゼミ論文を提出する。

履修上の留意点 ゼミ論文の提出には合計3回の中間報告が必須。
良い論文を書くゼミ生は、他のゼミ生の論文の長所・短所をよく見ている。兄が怒られている(ほめられている)のを見る次男坊の気持ちでディスカッションに参加すること。

成績評価の方法 提出された論文による。発表に参加しなかった場合は提出を認めない。

履修コード	150401
科目名	演習III
担当者名	藤原 <small>よこむら</small> 篤志 <small>あつし</small>

講義のねらい 本演習ではテーマを「モノづくりの経営学」としており、主として製造企業の生産戦略、生産管理、技術管理、作業管理などを対象としている。またモノづくりには労働力が不可欠かつ重要な要素であるので、労働者による労働も考察の対象としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上の論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見をもち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール 4年次でも3年次に引き続き、先述のように各人が論文作成のための研究を進めていく。ただ場合によっては必ずしも論文という形にはこだわらず、一つのテーマ（指定もしくは任意のテーマ）についてのレポート作成を目標にすることもある。授業自体はゼミ生各人によるプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。その他、一層の学習および親睦を深めるためのサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点 中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法 特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

履修コード	150701
科目名	演習III
担当者名	前田 <small>まえだ</small> 和利 <small>かずとし</small>

講義のねらい 演習IIのテーマを継続して検討するが、論文作成の指導に力点をおく。

講義の内容・授業スケジュール ①事例研究をとりあげる。
②個人ないしグループによる研究成果の報告を行ない、論文（ワープロ、12000字以上）を作成する。

成績評価の方法 平常点（20%）および論文評価（80%）による。

参考書等 論文の進行速度に応じて適宜指示する。

その他 報告者は事前に要旨・資料を配付すること。

履修コード	151701
科目名	演習III
担当者名	宮城 <small>みやぎ</small> 徹 <small>てつ</small>

講義のねらい 演習III（4年）

4年次ゼミ生は、400字詰原稿用紙30～50枚程度のゼミ論文の作成にとりかかる。

講義の内容・授業スケジュール そのさい、テーマに密接に関連のある邦訳書・邦語の文献を適宜指示するが、英語圏あるいはドイツ語圏の論文をゼミ論文の素材にしたいというゼミ生に対しては、然るべき論文を1本割り当てるので、それを翻訳してゼミ論文に加味してもよい。また、論文を仕上げるまでの日程等についてもアドバイスする。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生はそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 齊藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法 平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

履修コード	151101
科目名	演習Ⅲ
担当者名	やまだ じゆんぺい 山田 純平

講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれます。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえません。そこで、本演習では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察します。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、現実の財務諸表を分析することを通じて、会計基準の実態面についても合わせて検討します。

卒業論文の構想やその周辺分野について報告をしてもらう予定です。

卒業論文を必ず提出してください。また、ゼミの行事にはできるだけ参加してください。

卒業論文の出来、議論への参加度、報告の出来、出席率で評価します。

授業中に参加者と相談のうえ、決定します。

履修コード	151501
科目名	演習Ⅲ
担当者名	やまだ かつら 山田 勝

講義のねらい

ボーダレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・
授業スケジュール

月1度の割で、各自が毎日読む『日本経済新聞』の記事の中から、テーマを定めて日本語（1000字程度）と英文のレポートをメールで提出。更にそれを演習時間に発表し、その内容をめぐってディスカッションする。共通語は英語。

成績評価の方法

平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わることが評価の対象となる。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

履修コード	004101
科目名	外国語禅書講読
担当者名	マクレー, J. P.

講義のねらい 英語で書かれた禅についての文献を楽々と読む。二三週ごとに違った断片を吟味して、アメリカにおける禅の展開を追求する。提唱（たとえばジョン・ダイドー・ローリ）、散文（アラン・ワットス）、詩（ゲリー・スナイダー）、歴史書（リック・フィルズ）など、英語を母国語とする人の著作に重心をおく。言葉の暗記より、禅とアメリカ文化との総合的影響を考えよう。

講義の内容・授業スケジュール 講義ごとに資料を配布する。資料は英語ですが、討論は日本語にしましょう。

履修上の留意点 禅・仏教用語は一般の英和辞典では検索できないので、参考書に示した仏教専門用語の辞書を用意していただきたい。ネットで使えるオンライン辞書と参考資料を案内する。

成績評価の方法 学期中に随時課題を科す。主に他の学生のために、貢献的に単語、表現、内容などを説明してもらおう。宿題はいくらか重いほうだが、できれば長文のレポートとか試験をさげたい。

教科書 (講義時に該当部分をプリントにて配布)

参考書等 Japanese-English Buddhist Dictionary (大東出版社)
日英禅語辞典 (The Japanese-English Buddhist Dictionary) (山喜房)

履修コード	003801
科目名	インド仏教文化史
担当者名	みなざわ あつし 金沢 篤

講義のねらい インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰類にまつわる文化的トピックを論究する。

◎インド仏教文化史とは？(1～3) 日本人、日本文化と仏教
◎文化的側面より見たインド仏教とその展開(4～8) 他宗教と仏教の比較の視点から
◎仏教の起源と仏教出現の背景(8～15) 仏教哲学の成立 ヒンドゥー教と仏教 仏教の独自性

◎仏教の変容と展開(16～22) 哲学から宗教へ 仏教哲学の革新と宗教理論の確立
◎インド仏教文化史・むすび(23～)

履修上の留意点 仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法 年度末試験などで総合的に判断する。

教科書 渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円

参考書等 教場で適宜紹介する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	003901
科目名	中国仏教文化史
担当者名	永井 政之

講義のねらい

中国における仏教の展開を論ずることは決してやさしいことではありません。今に残る膨大な資料によって語られる綿密な思想構築の世界がある一方、資料に残らない、つまり資料を残し得ないような人々によって受容され支持された仏教の世界もあったからです。その双方がともに「中国仏教」であることは言うをまちません。むしろその双方を複眼的に見てはじめて中国仏教の実像が理解できると、私は考えています。中国仏教に関わるさまざまな材料、時には取るに足らないように見えるものでも対象にし、それらを積み上げてみましょう。私達が考える以上に「立体的」な中国仏教の世界が見えてくるように思います。

そこで今年は中国の歳時記に表れた仏教を考えてみたいと思います。言うまでもなく歳時記には人々の1年間の行事が記されますが、それらの多くは背景に仏教や道教といった宗教的なものを固有しています。人々はそれらの行事を通して、宗教—ここでは仏教や禅の立場のある部分—に触れていったように思います。結局、年間の行事と宗教とは、私達がおぼろげに想像する以上の力で、相互に影響し合いつつ補完する関係にあることとなります。

受講した諸君は、一方では歳時記をとおして中国文化を、仏教や禅の文献をとおしてその教えを理解してくれることになるのではないかと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

(1~3) 本授業の目指すところを基本的なガイダンスとして講じます。(4~30) 中国的な考え方からすれば四季の基本は冬至にあるのですが、一応、正月から始めて一年間の主たる行事について月を追いつつ紹介し、さらにそれらの行事に対する禅僧の発言を見ていきたいと思ひます。

履修上の留意点

毎回、必要なプリントを配布し、積み上げるように授業を進めますから、まじめに出席してください。

成績評価の方法

レポート、出席、期末試験等を総合的に評価します。

教科書
参考書等

特に教科書として使用するものはありません。必要な資料は授業中にコピーを配布します。
『荊楚歳時記』東洋文庫324

中村喬『中国の年中行事』『続中国の年中行事』平凡社選書115・134

履修コード	004001
科目名	日本仏教文化史
担当者名	袴谷 憲昭

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 仏教伝来以前の文化、(2) 文化構造の解釈、(3) 日本古来の文化、(4) 中国朝鮮の影響下の仏教文化、(5) 呉音漢音と文化、(6) 美術中の仏教観、(7) 自利利他の問題、(8) 太子信仰の背景、(9) 南部の学問仏教と民衆の文化、(10) 大仏建立の理念、(11) 学問仏教の実際、(12) 勧進聖と修験道、(13) 仏教と神祇信仰、(14) 日本独自の文化形成と仏教観、(15) 大乘戒壇の設立、(16) 一乗三乗の論争、(17) 密教と祈禱仏教、(18) 本覚思想の定着、(19) 中世の仏教信仰の確立と変容、(20) 浄土信仰の諸相、(21) 法華信仰の諸相、(22) 禅宗と五山文学、(23) 神仏習合の諸相、(24) 近世と近代の社会文化と仏教、(25) 鉄砲と吉利支丹、(26) 幕府の宗教政策、(27) 江戸文化と仏教、(28) 維新と廢仏毀釈、(29) 近代より現代へ、(30) 戦後と民主主義 以上を講義のかたわら、『妙貞問答』を講談する。

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教科書
参考書等
その他

袴谷憲昭著『日本仏教文化史』(大蔵出版) 2005年
袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版) 2004年

必要購読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

履修コード	007401
科目名	中国哲学史
担当者名	前川 亨

講義のねらい 中国の社会・文化を理解するうえで重要であり、東アジア世界にも強い影響を及ぼしている中国思想を歴史的に辿っていく。

講義の内容・授業スケジュール 本年度は、唐代の思想・文化の概括、唐宋変革の意義についての解説から始め、宋代以降の思想史を取り扱う。宋初の文化的状況、道学運動の発生、宋代禅宗の抬頭、(特に大慧宗杲の登場)、朱熹の登場、元代の思想史、明代の陽明学、民衆の宗教(宝巻)、明末の思想、清初の三大儒、清朝の思想、近代への胎動などをとりあげることになろう。どのような方面を主にとりあげるかは、受講者の関心などを考慮して決める。

履修上の留意点 継続して出席し、積極的に授業に参加すること。私語厳禁。

成績評価の方法 出席と前期・後期のレポートで評価する。追試験は実施しない。

教科書 特に必要としない。

参考書等 授業内で適宜紹介する。

その他の できるだけ多くの知識を提供するため、講義の形式をとるが、受講者の意見を微しながら進めていくので、質問には積極的に応答してもらいたい。中国(東アジア)の社会・文化・宗教など様々な方面に関心をもつ諸君の受講を期待する。

履修コード	004401
科目名	インド哲学史
担当者名	金沢 篤

講義のねらい 仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。

講義の内容・授業スケジュール 定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。

◎インド哲学史・序論(1~3) インド哲学史とは? インド哲学研究の方法論
◎ヒンドゥー教と仏教(4~15) ヒンドゥー教(ヴェーダ体制)の成立 ヒンドゥー教(ダルマと業理論)の概要 仏教の成立: 仏教出現の意義

◎ヒンドゥー教(ヴェーダ体制)の変容と展開(16~20) 仏教哲学とバラモン哲学
◎インド哲学各論(21~) 正統バラモン哲学諸派

◎インド哲学・結び
日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常になにがしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法 数回のレポートと年度末の筆記試験など。

教科書 早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

履修コード	007411
科目名	日本哲学史
担当者名	久保 陽一

講義のねらい 「哲学」は明治初めに西洋から導入されたが、その際当初から日本の伝統的思想との関連が認められた。儒教が近代化の障害として批判されたり、仏教が近代化の限界の克服の拠所と考えられもした。最近「グローバル化」と「文明の多元化」が語られる状況の中で、日本の哲学があらためて問い直されている。そこで近代日本の代表的な哲学の思想を紹介し、その流れを捉えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール 西周、福澤諭吉、内村鑑三、西田幾太郎、鈴木大拙、九鬼周造、和辻哲郎、三木清、戸坂潤、丸山真男を取り上げ、彼らが日本の近代化にどのように関わり、西洋哲学との関連でどのように独自の思索を展開したか、またそれは今日どのような意味を持つかを考えることにする。

履修上の留意点 講義を手掛かりに、自分でさらにテキストなどを読むことが望ましい。

成績評価の方法 レポートと出席によって評価する。

教科書 個々の哲学者の文章を資料として配布する。

参考書等 開講時に指示する。

履他
修学
科目

履修コード	005301
科目名	原始仏教
担当者名	かたやま いちろう 片山 一良

講義のねらい 原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教も、あるいは上座部仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何かをパーリ仏典（原始仏典）の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 前半は仏伝を紹介しつつ、教えの基本となる縁起・四聖諦について、後半は仏典を読みつつ、仏法について講じる。前半は仏の伝統、波羅蜜行、誕生、成道、説法、入滅を、後半は信、戒、定、慧、慈悲、如是を主な内容とする。

履修上の留意点 従来の「仏教」に対する先入見を離れ、パーリ仏典（原始仏典）を直接読むことを勧めたい。

成績評価の方法 レポート（夏期）および年度末テストによる。

参考書等 片山一良『ダンマパダをよむ』（上巻「仏伝」、下巻「仏法」）NHK出版・平成十九年

履修コード	008901
科目名	仏教文献学
担当者名	のぞわ よしみ 野沢 佳美

講義のねらい 本講義では、中国で編纂された仏教経典の一大叢書である大蔵経（一切経）の歴史とそれを取り巻く諸問題を取り上げます。

仏教が中国に伝えられて以降、様々な仏典が翻訳・書写され、その集成されたものが大蔵経です。当初大蔵経は書写されましたが、やがて印刷されるようになると、その巻数も膨大なものになり、また大蔵経の種類も次第に増えていきます。本講義では、そうした大蔵経の成立とその編纂経緯などを眺めながら、必用に応じてビデオやスライドを併用しながら、今日までアジア各国に伝えられた各種大蔵経の意義などを考えてみます。また、大蔵経入蔵仏典の相互比較を通じて、初歩的文献学研究の重要性と必要性を指摘したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 前期（1～5）写経時代から印経時代へ、（6～9）宋元大蔵経、（10～12）元代大蔵経、（13～15）高麗版大蔵経および周辺諸国の大蔵経。

後期（1～4）明代大蔵経、（5）大蔵経の現在と未来、（6～9）江戸時代の大蔵経、（10～14）大蔵経所収仏典の文献学的研究、（15）まとめ。

履修上の留意点 本講義では大蔵経編纂の流れを基軸とし、これに個々の大蔵経を取り巻く諸問題を取り上げますので、継続した出席が必要となります。中途半端な気持ちで履修しないことを望みます。

成績評価の方法 出席回数と前期末・後期末の2度のレポートにて評価します。

教科書 とくには定めません。随時プリントを配付します。

参考書等 『大蔵経－成立と変遷－』（百華苑）1989年再刊
竺沙雅章『宋元仏教文化史研究』（汲古書院）2000年
竺沙雅章『大蔵経編纂』（『大谷大学通信』50号）2000年
椎名宏雄『宋元版禅籍の研究』（大東出版社）1993年
野沢佳美『明代大蔵経史の研究』（汲古書院）1998年

その他 授業は講義が中心となりますが、その都度意見を求めることがあります。また、必要に応じてビデオの鑑賞、博物館・図書館見学も考えています。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	014101
科目名	上代文学研究I
担当者名	なかた ましな 中嶋 真也

講義のねらい	現存、日本最古の歌集『万葉集』を精読し、古代日本の一端を理解することをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	季節ごとの代表的な「花」が詠まれた歌を取り上げ、どのような表現がなされているのか、譬喩など読み取れるのかなどを考察していきます。『万葉集』の中で表現の推移が見られるのかどうか、公的な場における詠歌を基本とする「雑歌」と、恋歌を中心とする「相聞」とでは、詠まれ方に違いは見られるのかどうかなどを見ていきたいと思ひます。また『古今和歌集』など平安時代以降の和歌表現との連続と断絶にも留意しつつ、一首一首丹念に読んでいこうと思ひます。 『万葉集』を読むのが初めてという方も少なくないでしょうから、『万葉集』に関する概説を最初は極力丁寧に行ないます。そして読解に入ってから、具体的に取り上げる「花」は、春は「桜」、夏は「藤」、秋は「萩」、冬は「梅」にする予定です。ただし、授業は生き物ですから、移ろいゆく場合もあることはご承知おきください。前期と後期の最後に試験を行ないます。以下、大まかな予定を記しておきます。 (1～2) ガイダンス、『万葉集』概説、(3～8) 春の歌を読む、(9～14) 夏の歌を読む、(15) 前期試験、(16～22) 秋の歌を読む、(23～29) 冬の歌を読む、(30) 後期試験
履修上の留意点	講義というスタイルですが、主体的な受講を切に希望します。 テキストは毎回必ず忘れないように。
成績評価の方法	学期末の試験を中心に評価しますが、授業の出席状況ならびに授業態度も重視します。
教科書	鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)
参考書等	必要に応じて、授業中に指示します。
その他の	テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布します。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	014301
科目名	中古文学研究I
担当者名	さくらい ひろのり 桜井 宏徳

講義のねらい	『更級日記』を本文に即して丁寧に読み進めてゆく。『更級日記』を読むことは王朝女性文学の総体に直面することにも等しい、とも言われる本作品の精読を通じて、平安後期の文学と文化をめぐるさまざなな問題について理解を深めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス及び『更級日記』概説 (2)～(30)『更級日記』購読(前期・後期各2回のテーマ講義を含む)
履修上の留意点	教科書はもとより、授業時に紹介する参考文献にも積極的に目を通して欲しい。
成績評価の方法	年度末のレポートと出席状況によって評価する。
教科書	秋山虔校注『更級日記』〈新潮日本古典集成〉(新潮社、1980年) ¥2, 145(税込) ISBN4-10-620339-1
参考書等	授業時に適宜紹介する。
その他の	授業は講義形式とする。また、適宜プリントを配布する。

履修コード	014501
科目名	中世文学研究I
担当者名	さくらい ようこ 桜井 陽子

講義のねらい	軍記物語、そして『平家物語』について、文学史上における意味・意義・問題点について講義し、次に作品の内容を紹介する。
講義の内容・授業スケジュール	その上で、『平家物語』の多くの登場人物の中から、平清盛の子息の平重衡を中心に諸章段を読む。死に立ち向かう人間の苦悩・覚悟・悲しみなどを読み解きながら、『平家物語』は何を描写し得たのか、何を切り落としたのかを考える。諸本による相違に目を配ることによって、『平家物語』の多面的な問題に触れる。 1～5 軍記物語にはどのような特徴があるか。 6～10 『平家物語』にはどのような特徴があるか。 11 平重衡の説明(歴史的に。文学的に)。 12～ 『平家物語』諸章段を読む。
履修上の留意点	講義ノートを作成しておくこと。
成績評価の方法	出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。
教科書	授業時に指示する。
参考書等	授業時に指示する。

履修コード	O14701
科目名	近世文学研究I
担当者名	<small>たかぎ げん</small> 高木 元

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

『南総里見八犬伝』を読む
1. 読本史における『南総里見八犬伝』について, 2. 作者・曲亭馬琴について, 3. 出板流通をめぐらる問題, 4. 享受史から見た『八犬伝』について, 5. 『水滸伝』と『八犬伝』, 6. 発端部<伏姫物語>を読む(1)~(6), 14. 発端部と全体構想について, 15. 総論的なまとめ, 16. 名場面を読む(1)~(29), 30. 試験

履修上の留意点

原本(江戸時代に出板された版本)のコピーを示して読み進めたいので、崩し字が読めるか、その修得に意欲があること。

成績評価の方法
教科書

岩波文庫で全10冊に及ぶ一大長編釋史小説を、原文で読破する意気込みを持っていること。

出席点は加味しない。レポートもしくは試験に拠る。

参考書等

プリントを用意する予定。ただし、手元に岩波文庫『南総里見八犬伝』1~10を用意できれば便宜。

石川博編、ビギナーズ・クラシックス『南総里見八犬伝』、角川文庫、781円、ISBN978-4-0-04-357422-3 このほかは教室で指示する

他
履修
科目
部

履修コード	O14901
科目名	近代文学研究I
担当者名	<small>榎本 まさき</small> 榎本 正樹

講義のねらい

90年代以降にデビューした新しい作家の作品を網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマや表現、モチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探ります。

講義の内容・
授業スケジュール

現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの技法、周辺メディアとの連関などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学(純文学)に限定せず、あらゆるジャンルの小説ジャンルを対象とします。

今年度の授業では、昨年(2007年)映画公開された現代日本文学を原作とする映画を鑑賞し、原作と比較しながら解説する小特集的なテーマを設定します。桐野夏生『魂萌え!』、三崎亜記『となり町戦争』、佐藤多佳子『しゃべれどもしゃべれども』、長嶋有『サイドカーに犬』、本谷有希子『臍抜けども、悲しみの愛を見せろ』、奥田英朗『サウスパウンド』などを取りあげる予定です。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報、文学界、出版界のトピックスなども盛りこんでいきます。

現代日本文学、映画、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

学期末提出のレポートの内容をメインに、出席点と授業の参加度を加味し評価します。

使用しません。取りあげる作品を事前に読んでいなくても理解できる形で、授業は進めます。

参考文献等は教室で指示します。

講義形式をとります。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト(<http://enmt.jp>)も参考にしてください。

履修コード	016601
科目名	演劇概論
担当者名	森井 直子

講義のねらい	今日私たちが触れることの出来る演劇は、人々の問題意識やさまざまな時代の要請が、積み重なって生まれてきたものです。演劇が、どのような道を進んで今日の姿となったのか。また、それはなぜなのかを考えていきます。今日の演劇の背景を知ること、演劇の新たな魅力に触れることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	前期に小劇場運動を取り上げ、後期に明治から昭和までの近代演劇の歴史を辿ります。 前期 演劇史総論(1)、小劇場演劇1960年代、状況劇場、早稲田小劇場、現代人劇場(2~5)、小劇場演劇1970年代、つかこうへい(6、7)、小劇場第演劇1980年代、野田秀樹、鴻上尚史ほか(8~11)、小劇場演劇1990年代以降、平田オリザほか(12~15) 後期 日本近代演劇の黎明、文芸協会、自由劇場(16~19)、大正時代の演劇、芸術座ほか(20~22)、プロレタリア演劇と築地小劇場(23~26)、戦後の新劇(27~29)、まとめ(30)
履修上の留意点	基本的には講師による講義形式です。ただし、4、5回ほど、授業で取り上げる戯曲を事前に読み簡単な感想を提出してもらいます。 また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、了承の上、履修してください。
成績評価の方法 教科書 参考書等	前期末、後期末の観劇レポート、出席点、平常点から評価します。 特に定めません。 授業時に指示します。

他
履
修
学
部
目

履修コード	016701
科目名	西洋思想史
担当者名	河谷 淳

講義のねらい	本年度のこの授業では「物語と哲学」という視点から西洋思想史を概観する。 「物語」を意味するギリシア語「ミュートス」は、「神話」や「悲劇」として、ギリシア哲学においては哲学を補完するものとみなされる場面がある一方で、「語る」ということが「騙る(騙す)」という側面をも持つことから、「物語」は時として哲学の敵ともみなされてきた。こうしたギリシア哲学以来の「物語る」として「哲学する」としての間の緊張関係をいくつかの場面を選んで見ていくことにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	(1、2)序論、(3~7)「物語」としての神話(物語としてのギリシア神話、キリスト教における神話的物語)、(8~16)「物語の哲学」の二つの方向性(ギリシア哲学入門、プラトンの「詩人追放論」、アリストテレスの悲劇論)、(17~22)「物語」としての科学(「科学の哲学」入門、物語としての科学的説明)、(23~)「物語」と人間(物語制作者としての人間、物語としての過去・現在・未来)
成績評価の方法	前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験(40点満点×2)ならびに出席状況との総合点によって評価する。

履修コード	017001
科目名	比較文学
担当者名	木村 朗子

講義のねらい	はじめに比較文学がなにをどのように研究することなのか、また比較文学は、どのような歴史的背景のなかではじまった学問なのかについて確認し、その上で比較文学の方法を実際に用いながらさまざまな文学を実際に検討する。 比較の方法は、異なる国の文学を比較するだけでなく、翻訳の問題、文学を絵画化した場合、映像にした場合などさまざまな可能性がある。授業ではとくに小説を映画化したケースを中心に課題として分析を進めながら、比較文学の方法を学ぶ。
成績評価の方法 教科書 参考書等	出席と授業内レポートあるいは学期末のテストによる。 コピーを配布する。 授業中に指示する。

履修コード	017101
科目名	日本民俗学
担当者名	たにくち みつぢ 谷口 貢

講義のねらい 日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) 民俗学とは (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～10) 食をめぐる民俗 (11～12) 村と町の成立 (13～15) 若者と一人前 (16～18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19～21) 女性・子ども・老人の民俗 (22～24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25～27) 里と海・山のなりわい (28～29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相

履修上の留意点 夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
成績評価の方法 学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書 谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊(八千代出版)2, 100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	025601
科目名	イギリス文学特講I
担当者名	いしはら こうせい 石原 孝哉

講義のねらい イギリスのルネッサンス期の文学について講義します。主な作家とその作品を通じて、イギリス文学の大きな流れを読み取るのがこの講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 前期には、「ヨーロッパにおけるルネッサンス運動の流れをその実態」、「イギリスのルネッサンス」について、Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, William Shakespeareなどを例に講じます。後期は、Shakespeareの作品を中心に Ben Jonson, John Bunyan, John Milton などを取り上げます。

成績評価の方法 期末試験、レポートにより評価します。
教科書 ノースロップ・フライ、『シェイクスピアを読む』、三修社、2, 800円、ISBN4-384-01177-6

履修コード	025701
科目名	イギリス文学特講II
担当者名	たかの まさお 高野 正夫

講義のねらい 18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope などに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていく。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

講義の内容・授業スケジュール (1～8) Love Poetry (9～15) Nature Poetry (16～24) Religious Poetry (25～30) Poetry of Meditation など多様な作品を読んていきます。

成績評価の方法 前期のレポートと期末試験によって評価する。
教科書 教場にて指示します。

履修コード	025801
科目名	イギリス文学特講III
担当者名	<small>おかざき としいちろう</small> 岡崎 寿一郎

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」 modernity という言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

(1)(2)英詩と日本の詩の背景（定型詩）(3) ワーズワス (4) コールリッジ (5) バイロン (6) シェリー (7) キーツ (8) ロバート・バーンズ (9) チャールズ・ラム (10) ヴィクトリア時代 (1837-1901) の思想・文学・芸術 (11) ウィリアム・ブレイク (12) アルフレッド・テニスン (13) ロバート・ブラウニング (14) フランスのローマン主義・象徴主義の詩人・詩 (15) ロセッティ兄・妹 (16) スウィンバーン (17) ジェラード・マンリ・ホプキンス (18) マシュー・アーノルド (19) イエーツ (20) オスカー・ワイルド (21) (22) D.H.ロレンス (23) エズラ・パウンド (24) T.S. エリオット (25) 20世紀の現代詩人 (ロバート・グレイヴズ・ディラン・トマス、セシル・ディルイス、W.Hオーデン、テッド・ヒューズ)

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

履修コード	025901
科目名	イギリス文学特講IV
担当者名	川崎 明子

講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説を中心に、19世紀のイギリスの文化と社会を紹介します。小説の黄金時代といわれるヴィクトリア朝の著名作家、具体的には、ディケンズ、ブロンテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカレー、ハーディ等の代表作品を解説します。並行して、カーライル、アーノルド、ニューマン等、当時の思想についても解説します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期・後期末に試験とレポート。レポートは合格点に達しない場合再提出を命じる場合がある。優秀レポートの口頭発表あり。レポートと口頭発表は日本語・英語いずれでも可。

前期 1 オリエンテーション 2 ヴィクトリア朝のイギリス概観 3 チャールズ・ディケンズ 4 『オリヴァ・ツイスト』と救貧法 5 『ハード・タイムズ』と功利主義 6 『ディヴィッド・コパフィールド』と自伝小説 7 ジョン・スチュアート・ミルと自伝 8 スマイルズの『自助論』と立身出世 9 ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』、レポート作成法 10 『大いなる遺産』と教養小説 11 サッカレーの『虚栄の市』 12 ニューマンとオックスフォード運動 13 試験、レポート提出 14 試験・レポート全体コメント、試験・レポート個別返却、プレゼンテーション 15 まとめ

後期 1 エミリ・ブロンテの『嵐が丘』と語りの構造 2 シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』と女性版教養小説 3 アン・ブロンテの『アグネス・グレイ』とキャリアウーマン 4 カーライルとアーノルドのイギリス批判 5 ギャスケルの『メアリ・バートン』と『北と南』と社会小説 6 エリオットの『アダム・ビード』、『フロス河の水車場』 7 エリオットの『ミドルマーチ』と『ダニエル・デロンド』 8 ハーディの『テス』とダーウィンの進化論 9 ハーディの『日陰者ジュード』と女性 10 ハーディの『日陰者ジュード』と教育制度と労働者階級 11 ワイルドと世紀末 12 ラスキンの『モリス』 13 試験、レポート提出 14 試験・レポート全体コメント、試験・レポート個別返却、プレゼンテーション 15 まとめ

履修上の留意点

- 1 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること
 - 2 レポート作成においては書式を指定するので最低限のパソコンの知識を持つこと
- 出席を含めた授業への貢献度、レポート、試験の結果により総合的に評価します。特になし。

成績評価の方法
教科書
参考書等

- ・イギリスの歴史を概観したい→指昭博『図説イギリスの歴史』河出書房新社
- ・19世紀のイギリスの歴史を概観したい→谷川稔他『世界の歴史22 近代ヨーロッパの情熱と苦悩』中央公論新社
- ・イギリスも含めた19世紀の欧州の歴史を知りたい→J.M.ロバーツ『図説 世界の歴史(7) 革命の時代』創元社
- ・19世紀のイギリスの文化を知りたい→佐久間康夫他『概説 イギリス文化史』ミネルヴァ書房
- ・19世紀のイギリス文化を詳しく知りたい→松村昌家他『英国文化の世紀1～5』研究社
- ・ヴィクトリア朝の思想について知りたい→荻野昌利『歴史を<読む>ヴィクトリア朝の思想と文化』英宝社
- ・イギリス小説とその読み方について知りたい→川口喬一『イギリス小説入門』研究社
- ・小説の研究方法について知りたい→川口喬一『「嵐が丘」を読む ポストコロニアル批評から「鬼丸物語」まで』

履修コード	026001
科目名	イギリス文学特講V
担当者名	富士川 義之 <small>ふじがわ よしゆき</small>

講義のねらい	ノルマン征服(1066年)から中世、ルネサンス時代を経て近現代にいたるイギリスの歴史と文化を概観しながら、「イギリス性」(Englishness)とは何かを探ることを目的とする講義。
講義の内容・授業スケジュール	歴史的・文化的に中心となったイングランドとイングランドに從属せざるをえなかったスコットランド、ウェールズ、アイルランドとの関係(1～3) 中世から近代にいたる王室の歴史(4～8) エリザベス一世治下の文芸復興(シェイクスピアなど)(9～11) ピューリタン革命(12～15) 王政復古から名誉革命へ(16～17) カントリー・ハウスと風景庭園(18～19) ジャーナリズムの誕生(20～21) 劇場の繁栄(22) パブリック・スクールを中心とする教育制度について(23～24) 大英帝国と植民地問題(25～26) 世紀転換期のイギリス文化(27～28) 第一次大戦と第二次大戦の影響とイギリス社会(29～30)
履修上の留意点	講義を通じて自分にとって興味深く思えるテーマを見つけて調べてほしい。レポートを提出してもらう。
成績評価の方法 教科書 参考書等	レポートと学年末試験を最も重視した上で総合的に判断して評価する。出席状況も考慮する。 『概説イギリス文化史』(ミネルヴァ書房2003) 適宜提示する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	026101
科目名	イギリス文学特講VI
担当者名	富士川 義之 <small>ふじがわ よしゆき</small>

講義のねらい	近年注目されている「環境批評」(Eco-criticism)の諸問題をめぐって、とくに19世紀イギリスにおける自然環境や風景への関心の増大と関連づけながら、その歴史的・文化的な意義について学ぶことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	自然環境への関心がいかにしてロマン主義詩人(とくにワーズワス)の風景観、風景感覚を生み出したか(1～3)、記憶の発見と風景意識との関わり(4～8)、社会の風景意識と個人の風景意識(9～12)、『近代画家論』において示されるラスキンの風景観(13～15)、ロマン主義最大の画家ターナーの風景画との関連(16～20)、風景と大気現象、公害問題においてラスキンが果たした先駆的役割(21～25)、動物愛護(26～28)、ナショナル・トラスト(29～30)等の諸問題をめぐって、19世紀文学と絵画に主として拠りながら「環境批評」とは何かを解明したい。とくに19世紀後半には、ラスキンとバイターを代表例とするように、ギリシア神話への関心と「環境批評」が結びつくが、そのあたりの考察を行う。
履修上の留意点	講義を通じて自分にとって興味深く見えるテーマを見つけて調べてほしい。レポートを提出してもらう。
成績評価の方法 教科書 参考書等	レポートと学年末試験を最も重視した上で総合的に判断して評価する。出席状況も考慮する。 適宜コピーを使用する 富士川義之『風景の詩学』(白水社2004年新装復刊) アラン・コルバン『風景と人間』(藤原書店2002) サイモン・シャーマ『風景と記憶』(河出書房新社2005)

履修コード	026201
科目名	演劇特講 (イギリス・アメリカ)
担当者名	落合 <small>おちあい</small> 和昭 <small>かずあき</small>

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。後期には、数回を費やして、イギリス中世演劇やギリシャ演劇にも目を向け、現代演劇との共通点や相違点を探る。また、講義の中で、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取りあげる劇作家は、多くは、アメリカの劇作家であるが、それ以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

第一回 オリエンテーション(授業の進め方・内容等についての説明)

第二回 ピューリタン(1)

第三回 ピューリタン(2)

第四回 Arthur Miller (1915-2005) (1)

第五回 Arthur Miller (1915-2005) (2)

第六回 Susan Glaspell (1882-1948)

第七回 リアリズムと表現主義(1)

第八回 リアリズムと表現主義(2)

第九回 Eugene O'Neill (1888-1953) (1)

第十回 Eugene O'Neill (1888-1953) (2)

第十一回 劇のプロットの要素

第十二回 Shirley Jackson (1919-65)

第十三回 Alice Gerstenberg (1885-1972)

第十四回 Tennessee Williams (1911-83) (1)

第十五回 Tennessee Williams (1911-83) (2)

第十六回 Thornton Wilder (1897-1975)

第十七回 John Boynton Priestley (1894-1984)

第十八回 「登場人物」

第十九回 Samuel Beckett (1906-89) (1)

第二十回 Samuel Beckett (1906-89) (2)

第二十一回 Harold Pinter (1930-)

第二十二回 Sam Shepard (1943-)

第二十三回 Bernard Pomerance (1940-)

第二十四回 Peter Shaffer (1926-)

第二十五回 Arthur Kopit (1937-)

第二十六回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの「詩論」(1)

第二十七回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの「詩論」(2)

第二十八回 中世演劇(1)

第二十九回 中世演劇(2)

第三十回 期末試験

履修上の留意点
成績評価の方法

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め7枚から15枚(ワープロの場合は、2800字から6000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房
- 2) プリント

履修コード	026401
科目名	アメリカ文学特講I
担当者名	あづま せいしろう 東 雄一郎

講義のねらい アメリカ詩を通時的、共時的に考察し、アメリカとは何かを考えるのが、この講義の主眼である。グローバル・ヴィレッジ化や越境化が進行する21世紀において、ダイナミックなアメリカ文学の動向は、アングロ・アメリカン（白人）文学を視座にした従来の閉塞的な把握方法では、捉えきれない。アメリカ文学、広義にはアメリカの芸術一般の根源的な特徴は、その多様性であり、また、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調・主張である。How do I find America? What is America? Who is an American? How can I become an American? これらの自意識や自問のうちに、様々なアメリカ詩人たちが、独自の詩を創作している。巨大なサラダボール化したエスニックのアメリカが、今後どのような方向に進もうとしているのか。その未来のヴィジョンを受講者各自に考えて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、数名の詩人・芸術家を取り上げ、その作品を精読します。歴史、文化、社会、時代精神、その時代の思潮も考察します。また音楽や映画も取り上げます。①アメリカ文学の発生と実用文学、並びに白人移民による先住民への迫害・ジェームスタウンとプリマスが意味するもの（1～4）②アメリカの荒野と自然・牧歌の夢並びに独立革命（5～7）③「明白な運命」の嘘・分離戦争としての南北戦争・西部開拓時代・ホイットマンを読む（8～10）④アマーストの隠遁者の魔女・エミリー・ディキンソンを読む・彼女は如何にして厳格な神を飼い馴らしたのか ⑤アメリカの世紀末からモダニズム・農本主義の完全崩壊と産業資本主義の形成・第1次世界大戦と迷える若者たち・国を捨てた若者たち・パウンドとエリオットを中心に読む ⑥アフリカン・アメリカン文学の台頭・ハーレム、そしてジャズとは何か・ラングストン・ヒューズたちのルネッサンス・地霊を守るモダニスト（11～15）⑦大恐慌から第2次世界大戦・ピンクのリボンに飾られた小箱（または精巧に作られた壺）のような詩・形式主義者たちの詩を読む（16～18）⑧沈静した社会への反逆と対抗文化・ビート詩人とギンズバーグを読む・大胆な告白をする病んだ詩人たち ⑨ロバート・ブライ、ジェームズ・ライトの牧歌的瞑想とアウトサイダー指向 ⑩ポストモダニズム考察・ソローに帰るエコロジー・ディキンソンの妹リッチのフェミニズム詩を読む（19～20）⑪祖国を奪われた人々・チャーノ／チャーナの詩人・ネィティヴ・アメリカンの詩人を読む（21～24）⑫アメリカの子どもの詩・マザーグースはボストンに永眠する（26～）

成績評価の方法 ①年間5回ほどの授業内小レポート（25%）②2400字以上の前期レポート（25%）③2400字以上の後期レポート（25%）④出席点（25%）

教科書 新倉俊一著『アメリカ詩入門』研究社 2000円程度

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	027901
科目名	時事英語
担当者名	すぎやま やすのこ 杉山 泰彦

講義のねらい 昨今、世界経済は益々目まぐるしく動いており、各国の情報を生の言語で遅滞なく吸収、理解する事はこれより社会に巣立つ学生諸君にとって極めて肝要である。各国より伝送されて日本で発行されて居る月間経済誌等が楽に解読できるようにこの一年で習熟させたい。

講義の内容・授業スケジュール 世界の一流新聞、経済誌等と交えつつ生きた経済、政治の動きを直接英文で読み取り授業で議論し、且つ、並行的に時事英語の教科書のポイントを学んでゆく予定。

履修上の留意点 英字新聞、英字雑誌に慣れるべく、日経新聞などに同じ記事が出た場合などは日本語一英語を並行的に読み比べ事業中に議論検討し合う。

成績評価の方法 前期／後期1回づつの試験で評価決定する。

教科書 授業の中で指示します。

履修コード	033101
科目名	文化地理学
担当者名	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>

講義のねらい 文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール
 1. オリエンテーション
 2. 文化地理学の概要
 3～4. 宗教地理学の概要
 5～11. 宗教分布
 12～14. 信仰圏
 15～16. 宗教集落・宗教都市
 17～20. 巡礼・社寺参詣
 21～23. 墓地・火葬場
 24. 村落の宗教組織

成績評価の方法 成績評価は、試験（前期・後期の2回、持込不可）の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書 使用しない。
 参考書等 授業中に指示する。

他
修
学
科
目
部

履修コード	035101
科目名	人口地理学
担当者名	山内 昌和 <small>やまうち まさかず</small>

講義のねらい 人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 おおむね以下のような項目を扱う。
 [人口分析の基礎:3] 人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造）
 [少子化問題と出生の分析:5] 出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因
 [人口高齢化と死亡の分析:5] 死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因
 [世帯の分析:2] 人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握
 [人口分布・移動の概念とデータ:2] 人口分布・移動の概念、人口移動データとその特徴、人口分布と人口移動
 [日本国内の人口移動:2] 戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
 [日本の地域の人口変化と:6] 人口の都心回帰、人口からみた郊外の変化、Uターン移動とその要因、過疎地域の現況
 [将来人口の推計:3] 将来人口推計の理論、コーホート法による人口推計の実際
 [世界の人口:2] 人口転換、世界人口の将来

履修上の留意点 あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法 授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。
 教科書 とくに指定しない。
 参考書等 授業時間内に適宜指摘する。

履修コード	041001
科目名	現代地理学特論
担当者名	平井 幸弘 <small>ひらい ゆきひろ</small>

講義のねらい

人為的な開発行為によって傷ついた自然の再生を目指す「自然再生推進法」が2003年1月に施行され、2007年11月には「第三次生物多様性国家戦略」が策定されるなど、近年身近な自然・生態系に関する行政や一般市民の関心が高まっている。また、IPCCによる「第4次統合報告書」も2007年11月にまとまり、地球温暖化に対する様々な対応が強く求められるようになった。このような国内外における現代の環境問題を踏まえ、本講義では、とくに水辺の環境問題の事例として、それぞれの地域における人間と環境の関係について、主として自然地理学の視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主として日本国内の水辺（河川、海岸、湖沼）を対象として、(1)日本のラムサール条約登録湿地をめぐる課題と意義（2回～6回）、(2)日本の湖沼（霞ヶ浦、宍道湖・中海など）における自然再生への取り組み（7回～10回）、(3)日本の海岸（オホーツク海沿岸、東京湾、有明海など）における近年の環境問題（11回～15回）。後期は主としてアジアの水辺を対象として、(1)タイのチャオプラヤ川、ソンクラ湖、アンダマン海での環境問題（16回～20回）、(2)ベトナムの江河デルタ、メコンデルタ、フエのラグーン地域での海面上昇問題（21回～25回）、(3)韓国の始華湖、セマングム干拓地、ほか（26回～30回）。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。
出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。
とくに指定しない。
高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	046601
科目名	日本仏教史
担当者名	松本 信道 <small>まつもと のぶみち</small>

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本の受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス、(2)～(5) インド・中国・朝鮮仏教の成立、(6)～(10) 日本への仏教伝来と受容、(11)～(15) 飛鳥仏教の成立、(16)～(25) 奈良仏教の成立、(26)～(30) 平安仏教の成立

成績評価の方法
教科書
参考書等

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。
随時、プリントにて配布します。
速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

履修コード	046911
科目名	西洋文化史
担当者名	西浦 麻美子 <small>にしうら まみこ</small>

講義のねらい

前期は、古代から20世紀までの西洋服飾の歴史を、図像資料を中心に概説する。後期は、18世紀後半のフランスにおける服飾流行をとりあげ、とくに「アングロマニー（イギリス崇拜）」との関わりから解説する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：(1～2) 古代ギリシャ、ローマの服飾 (3～4) 中世ヨーロッパの服飾 (5～6) ルネサンス期の服飾 (7～8) 17世紀の服飾 (9～10) 18世紀の服飾 (11～12) 19世紀の服飾 (13～14) 20世紀の服飾 (15) まとめ
後期：(1～2) ファッション・プレートの歴史 (3～4) アングロマニーの起源 (5～7) イギリスモード (8～10) シャルトル公のアングロマニー (11～12) 懐古趣味の舞踏会 (13～14) アメリカ独立戦争とフランスモード (15) まとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

学期末試験（60％）と出席状況（40％）により評価する。
特に指定しない。
授業内で随時紹介していく。

履修コード	048401
科目名	日本史特講VII〔近代〕
担当者名	熊本 史雄 <small>くまもと ふゆお</small>

講義のねらい

本講義では、日清・日露戦争期から第一次大戦、第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約締結に至るまでの日本外交につき、史料を交えて講述する。

前期では、朝鮮・満洲地域進出の足がかりとなった日清・日露戦争期の日本外交政策を起点に、第一次大戦後の「転換期」に「新外交」を模索したはずの日本が、満州事変を経て日中戦争、アジア・太平洋戦争へと突入していく過程を検証しつつ、その根底に潜む「外交思想」の解明を試みる。

後期には、終戦工作を経て、敗戦後の日本が独立に向けて再生していく過程を、占領期GHQとの折衝交渉をつうじて検証する。

こうした検証と解明をもとに、近代日本の歴史像の一面の提示を併せ行いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 前期の授業計画、参考文献などの説明
- 第2回 アジア進出の端緒①
- 第3回 アジア進出の端緒②
- 第4回 第一次大戦と東アジア社会
- 第5回 「転換期」としての戦間期
- 第6回 「新外交」としての「対支文化事業」
- 第7回 「幣原外交」と「田中外交」
- 第8回 若槻礼次郎と海軍軍縮会議
- 第9回 満州事変とその拡大過程 ①
- 第10回 満州事変とその拡大過程 ②
- 第11回 松岡洋右と国際連盟脱退をめぐる動向
- 第12回 「広田外交」と「佐藤外交」
- 第13回 日中戦争への道
- 第14回 日中戦争とその拡大
- 第15回 中間試験
《以上前期》
- 第16回 前期の総括（中間試験返却）／後期の授業計画
- 第17回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ①
- 第18回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ②
- 第19回 南進政策と日米関係
- 第20回 日米交渉から日米開戦へ
- 第21回 総力戦体制と銃後の世界
- 第22回 終戦工作と戦後構想
- 第23回 敗戦と占領の開始 ①
- 第24回 敗戦と占領の開始 ②
- 第25回 「自衛外交」の模索
- 第26回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ①
- 第27回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ②
- 第28回 吉田茂の安全保障構想
- 第29回 サンフランシスコ講和条約の締結
- 第30回 日米安全保障条約と行政協定の締結

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の試験の成績（70%）、および出席状況と授業態度（30%）で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

履修コード	049711
科目名	東洋史特講III〔近世史〕
担当者名	杉山 清彦

講義のねらい ユーラシア東方における最大最後の帝国であった大清帝国（清朝）は、一般には「最後の中華王朝」「漢化した異民族王朝」として理解されている。しかし、これは漢人（漢民族）中心の歴史観に引きつけられた見方であり、非漢人のマンジュ（満洲）人が広大な非漢地を統治した帝国であるという事実を正面から捉えたものではない。本講義では、大清帝国の形成過程と支配構造を、支配層たるマンジュ人に焦点を当て、ユーラシア史の観点から再構成することをめざす。

講義の内容・授業スケジュール
 〔前期〕大清帝国の形成と発展 1. 近世のユーラシア東方（1～5） 2. マンジュ国から大清国へ（6～10） 3. 大清帝国の発展（11～15）
 〔後期〕大清帝国の統治構造 4. 八旗制度（16～20） 5. 八旗制下の支配構造（21～25） 6. 帝国統合の構造（26～30）

履修上の留意点 講義形式で進め、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史B程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

成績評価の方法 前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

参考書等 講義中適宜紹介する。全般にわたるものとして、岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』（講談社学術文庫、2006）を薦める。

履修コード	052911
科目名	考古学特講III
担当者名	設楽 博己

講義のねらい 顔の考古学 現代日本人の祖先はどこに求められるのか。それを解く手がかりは、縄文・弥生・古墳時代の人々にある。彼らはどのような顔立ちをしていたのか。そうした形質の起源はどこに求められるのか。その答えがヒントになる。また、彼らはたくさんの顔にかかわる造形を残した。土偶や埴輪などは、その代表的な遺物である。本講義では、古代人の顔にまつわるさまざまな問題を取り上げ、日本古代文化とそれを担った人々を掘り下げる。あわせて、縄文・弥生・古墳時代の概略も把握できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、弥生・古墳時代・律令期の線刻人面絵画や埴輪、人面墨書土器を取り上げ、その特徴や意味を探る。後期は、縄文時代の土偶や仮面など顔にまつわる造形品に対して、その特徴や性格について考える。また、縄文・弥生・古墳時代の人骨を取り上げ、その形質的な特徴、DNA分析の結果などに関する研究の現状を解説し、現代日本人とのかかわりを考える。

履修上の留意点 講義中の私語は慎むようにしてください。

成績評価の方法 年度末の試験と中間レポートやミニ試験、出席によって総合評価する。

参考書等 その都度指示するが、当面原始絵画にかかわる参考書として、（佐原真・春成秀爾1997『原始絵画歴史発掘5』講談社）に目を通しておくこと。

履修コード	053201
科目名	哲学史
担当者名	山口 祐弘

講義のねらい ヨーロッパ中世における哲学的概念と諸問題を学ぶことによって、古代以来の哲学の発展を見るときにも近代思想の誕生の背景を探る。

講義の内容・授業スケジュール
 前期 ①中世哲学の前提。ユダヤ教・キリスト教・古代哲学、②教父哲学、③アウグスティヌス、④ボエティウス、⑤ディオニュシオス・偽アレオパギタ、⑥初期スコラ哲学、エリウゲナ、⑦カンタベリーのアンセルムス、⑧ペトルス・アベラルドゥス、⑨シャトル学派、⑩神秘主義
 後期 ①盛期スコラ哲学。アリストテレス哲学の受容、②パリのウニベルシタス、③オクスフォード学派、④アルベルトゥス・マグヌス、⑤フランシスコ会学派。ボナヴェントゥラ、スコトゥス、⑥トマス・アクィナス、⑦人文学部とアヴェロエス学派、⑧マイスター・エックハルト、⑨後期スコラ学派。ウィリアム・オッカム、ニコラウス・クザヌス、⑩中世哲学の意義と近代

履修上の留意点 講義に集中し、疑問点は質問し理解に努めること。

成績評価の方法 平常の授業態度および小論文による。

教科書 ヒルシュベルガー「西洋哲学史Ⅱ中世」、理想社、3310-124002-8905

履修コード	059701
科目名	産業・職業社会学
担当者名	山田 信行 <small>やまだ のぶき</small>

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。
講義は2部から構成される。
第1部（前期）では、産業（・職業）社会学の主要分野について、主として日本の事例について紹介しながら概説する。
第2部（後記）では、「グローバル化」をポイントにして労使関係の比較歴史社会的な分析を行う。具体的な講義プランは、以下のとおり（それぞれの項目について、1～3回程度の講義回数を予定している）。

第1部 現代日本の産業・労働・職業

1. 産業（・職業）社会学の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのかー労使関係論としての産業社会学
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係
8. 変容する産業・労働・職業の世界

第2部 労使関係の比較歴史社会的分析

1. グローバル化と労使関係
2. 労使関係と社会変動ーインダストリアルイズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合州国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会マレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会変動・再論

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

必修科目ではないので、自覚的な学生の参加を希望する。
主として、中間レポート（前期）および学年末試験（後期）による。
山田信行『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房。
本書を逐一なぞるかたちで講義を進めるわけではないものの、とりわけ第2部については本書に依拠した講義内容となるため、授業に際して携帯することが望ましい。
適宜指示する。

参考書等

履修コード	063901
科目名	社会福祉発達史
担当者名	堀 千鶴子 <small>ほり ちづこ</small>

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

1	社会福祉の歴史と人物史 1	13	人物史 4
2	” 2	14	” 4
3	慈善・救済の時代	15	” 4
4	人物史 1	16	社会事業・社会福祉の時代
5	” 1	17	人物史 5
6	” 1	18	” 5
7	” 2	19	” 5
8	” 2	20	” 6
9	” 2	21	” 6
10	” 3	22	” 6
11	” 3	23	社会事業に生きた女性
12	” 3	24	地域の歴史

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

出席を重視する。テキスト必ず持参。
出席（40%）、レポート（60%）
室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円ISBN4-623-04519-6

履他
修学
科目部

履修コード	093501
科目名	農業政策
担当者名	みぞて ましかず 溝手 芳計

講義のねらい “工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本と世界の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農業の特質と現代農業（4回程度）
4. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策（6回程度）
6. グローバリゼーション下における世界の農業（8回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考になります。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本としますが、授業中に行う小テストを20点の範囲で加点して採点します。追試有り。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6

中野一新・岡田知弘編『グローバリゼーションと世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

参考書等

※ どちらも、授業中には使いませんが、予復習してください。

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0

F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章、大月書店、2940円、ISBN978-4-272-15035-9

橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

他
履
修
学
科
目
部

履修コード	094701
科目名	中国経済論
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

第1-3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。
 第4週-10週：ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11週-15週：毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期にも6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期（1978年-）の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16週-25週：新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第26-30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

私語、飲食、携帯電話禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

前期レポート、後期試験（30%、70%）。

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』（龍溪書舎 1997年）4000円

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ、2002年 周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年

履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書等
 参考書等

他学部
 履修科目

履修コード	094801
科目名	アメリカ経済論
担当者名	瀬戸岡 紘

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

履修上の留意点

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向、◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはありません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話することによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。

アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、

瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社、2005年）

グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』（青木書店、1994年）

瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店、2003年）

をおすすめします。

他
修
学
部
履
修
科
目

履修コード	095001
科目名	EU統合論
担当者名	工藤 芽衣

講義のねらい

欧州連合（European Union）は、欧州統合という国民国家を超えた超国家的組織の下で、欧州の平和と繁栄の実現を目指す、第二次大戦後の歴史的・政治経済的試みの、一つの成果です。しかしながら現実を見ると、EUは域外地域の動きと無関係に展開しているのではなく、またEU内部では各国の利害が錯綜しているというのが現状です。本講義ではEUの生成と発展を、各加盟国の政治経済社会における諸政策、EU域外の動きとの関連から考察し、欧州統合の理念と現実について考えたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 欧州統合の軌跡
 1. 欧州の戦後復興と統合
 2. EEC、ECからEUへ
- II. 欧州統合と国民国家
 1. 主要国の欧州統合への姿勢
 2. EUの諸政策
- III. EU域外との関係
 1. 旧植民地諸国
 2. アメリカ
 3. 日本

成績評価の方法

出席、授業中に行う小テストで評価します。

履修コード	095101
科目名	現代西欧経済論
担当者名	工藤 芽衣 <small>くどう めい</small>

- 講義のねらい** 本講義は、欧州通貨統合の経緯を、国際通貨体制およびドルの動き、加盟国とりわけ独仏の政策との関連で考察します。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- I. プレトンウッズ固定相場制とその崩壊
 - II. スネークの発足と挫折
 - III. 欧州通貨制度 (EMS) の展開
 - IV. ユーロをめぐる諸問題
- 成績評価の方法** 出席、授業中に行う小テストで評価します。

履修コード	097601
科目名	貿易論
担当者名	古沢 紘造 <small>ふるさわ こうぞう</small>

- 講義のねらい** オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまでできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。
- 生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易（4～5回）
 2. 水産物と貿易（1～2回）
 3. 林産物と貿易（1～2回）
 4. 鉱物資源と貿易（1～2回）
 5. エネルギーと貿易（1～2回）
 6. 工業製品と貿易（4～5回）
- 社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 自由貿易とその問題点（3～4回）
 2. 開発援助と貿易（1～2回）
 3. 軍事と貿易（1～2回）
 4. 環境と貿易（1～2回）
 5. WTOと貿易（2～3回）
 6. グローバリゼーションと貿易（3～4回）
 7. 永続可能な発展と貿易（1～2回）
- 成績評価の方法** 本試験を基本とするが、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期のまとめ）などを総合して評価を行う。答案やまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。
- 教科書** 特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。
- 参考書等** 講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本などを教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

履修コード	119701
科目名	経済法
担当者名	わかばやし ありさ 若林 亜理砂

講義のねらい 経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール 以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法 期末試験により評価を行う。

教科書 丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等 別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他 授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	126601
科目名	国際政治学
担当者名	こぼり のりお 小堀 訓男

講義のねらい 国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解し、同時に、国家が国際社会のステージで行動するとき、その国家の内部の意思決定のシステムが、どのように作用し合うかを理解することが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール 前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに基礎的知識の整理をおこなう。

後期では、国際政治と国内政治との関係を理解し、国際政治の本質を、利益、権力政治、国際組織、政治は矛盾であり対立である、というテーマでアプローチして考案する。最後に、国家が国際社会の中で行動するとき、原理、原則があるのだろうか、というテーマで、国家の行動基準、冷戦中、冷戦後の国際政治を検証する。

授業スケジュールは、（1～5）政治学の基礎的知識の整理、（6～8）国家、権力、民族、階級、（9～11）近代国家の特質、（12～15）国際社会の特質、（16～17）国際政治と国内政治、（18～22）国際政治の本質、（23～26）国家の行動基準、（27～30）冷戦中、冷戦後の国際政治の予定である。

履修上の留意点 授業中に読むべき本を紹介いたしますので本を読むことと、TV・新聞・雑誌の報道に日頃から留意すること。

成績評価の方法 1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書 使用しません

参考書等 必要に応じて講義のなかで紹介いたします。

履修コード	126701
科目名	ヨーロッパ政治史
担当者名	^{とひ、よしのり} 土井 美徳

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール 成績評価の方法	近・現代ヨーロッパの政治史・国際関係史を概説する。今日の欧州統合という展開をふまえながら、ヨーロッパが近代において提示したものの、さらに20世紀末以降に、ヨーロッパが提起しているものとは何かを考察する。 I 近代ヨーロッパの成立と展開 ①西欧国家体系の誕生と展開 ②絶対主義国家の台頭と覇権闘争 ③国民国家の誕生 ④18世紀のヨーロッパの国際社会 ⑤19世紀ヨーロッパ協調とナショナリズム ⑥自由主義社会の変容 ⑦両大戦間期のヨーロッパ II 現代ヨーロッパの形成と変容 ①戦後ヨーロッパの形成 ②冷戦体制とヨーロッパ分断 ③ヨーロッパ統合の理想と現実 ④米欧関係の新展開 ⑤世界経済の多極化とヨーロッパ統合 ⑥米ソのデタントとヨーロッパのデタント ⑦米ソ「新冷戦」とレーガンの対ソ政策 ⑧ソ連・東欧ブロック崩壊の始まり ⑨冷戦の終焉とヨーロッパ新秩序の胎動 ⑩統一ドイツと欧州統合 ⑪ポスト冷戦期のヨーロッパの安全保障 ⑫EU条約とヨーロッパ統合の新展開 ⑬ヨーロッパ統合の東方拡大 ・定期試験の結果を中心に、出席状況を加味して総合的に判断する。
---	---

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	127501
科目名	地方自治法
担当者名	^{とみい、ゆきあき} 富井 幸雄

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール 成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。 講義は主旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。 前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。 富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定（内外出版） 『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。 講義では頻りに法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。
---	---

履修コード	128201
科目名	比較政治学
担当者名	三竹 ^{みなけ} 直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

この文章は2007年12月の時点で書いています。この授業には世界や日本で今現在起きている出来事を反映させる必要があります。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。参加する学生さんの関心や熱意、人数によって、授業内容も変えていきます。したがって、2007年12月の時点で詳細な授業スケジュールを確定させることはできません。基本的には2008年度も2007年度同様、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後比較研究の方法論の勉強をします。下記に2007年度のスケジュールを掲載してありますので、参考にしてください。授業のやり方は、参加人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのようにやることもあります。

前期

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 民主化を考える：ビルマ1
- 第3回 民主化を考える：ビルマ2
- 第4回 民主化を考える：ウクライナ1
- 第5回 民主化を考える：ウクライナ2と民主化支援
- 第6回 民主化を考える：サウジアラビア
- 第7回 民族対立を考える：ルワンダ
- 第8回 民族対立を考える：クルディスタン
- 第9回 移民政策を考える：アメリカとヨーロッパ
- 第10回 移民政策を考える：日本(1)
- 第11回 移民政策を考える：日本(2)
- 第12回 移民政策を考える：日本(3)
- 第13回 前期のまとめ

後期

- 第14回 先住民族政策を考える(1)：ハワイ
- 第15回 先住民族政策を考える(2)：アイヌ民族
- 第16回 先住民族政策を考える(3)：オーストラリアのアボリジニー
- 第17回 先住民族政策を考える(4)：グループ作業討論と全体討論
- 第18回 日本の難民政策を考える
- 第19・20回 『創造の方法学』
- 第21回 「比較政治学の方法論」：事例選択のバイアス
- 第22回 質的比較分析：ブール代数の練習
- 第23回 質的比較分析：西欧の民族言語運動
- 第24回 ブール代数による仮説の検証の練習
- 第25回 ブール代数による仮説の検証の練習(続き)
- 第26回 質的比較分析の実際

履修上の留意点

YeStudy の利用を前提とします。

ほぼ毎週文献を読む課題が出ます。教室には必ず課題を読んでくることが条件です。毎週こつこつやると興味深く感じるが増えていきます。

また、中学校の社会科レベルの内容が身につけていること、新聞(特に国際面)をふだんから読んでいること、高校の社会科レベルの内容で授業に関連することは自分で学習することが条件です。

欠席したときの授業内容は各自の責任で補ってください。就職活動であろうが部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。(病気による長期欠席の場合は早めに相談してください。)

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

平常点と定期試験によります。参加人数が少なくなった場合、出席を取る可能性があります。

指定する可能性はありますが、現時点で未定です。

その都度紹介します。

この文章は2007年12月時点に書いています。変更もあり得ます。

履修コード	133801
科目名	現代国家論
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂

講義のねらい 本講義は近代における日本国家の解明を主たる目的に定めます。具体的には下記の諸課題を検討していきます。第一に近代日本国家の形成過程＝明治国家の構造（前期）であり、第二に日本人の政治的行動様式・観念形態を規定するもの＝政治文化の問題（後期）をとりあげます。

講義の内容・授業スケジュール
 I 前期 (1) 幕末維新の政治過程 (2) 内閣官制 (3) 大日本帝国憲法 (4) 統帥権 (5) 帝国議会 (6) 自由民権運動 (7) 地方官官制 (8) 財政 (9) 国家神道 (10) 教育勅語 (11) 社会主義 (12) 大正デモクラシー (13) 天皇制ファシズム (14) 統制経済 (15) 中間試験
 II 後期 (16) 日本の宗教①～⑤ (17) 日本人の死生観 (18) タテ社会の原理 (19) 和の精神 (20) ムラ・イエの原理 (21) ホンネとタテマエ (22) 集団指導体制 (23) 意志決定 (24) 被害者意識 (25) 期末試験

成績評価の方法 授業内における中間試験（50％）と期末試験（50％）により評価します。

教科書 大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3200円
大塚桂『政治文化論入門（仮題）』（勁草書房）未定 ※2008年夏に刊行予定

参考書等その他 上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。
私の研究室は、第二研究館八階（2835）です。電話は、3418-9377（直）です。

履修科目
他学部

履修コード	164601
科目名	医療宗教学
担当者名	よしづ よしひで 吉津 宜英

講義のねらい この科目のねらいを明らかにするためには皆さんが受講する他の科目との比較を行うのが有効かと思えます。まず「仏教と人間」という科目ですが、これは建学の理念とも関連し、広く宗教への認識を持ってもらった上で、仏教や禅の思想の特色を把握してもらうことを目的にしています。また、「臨床医療人間学」I・IIもこの科目と関連すると思えます。特にIは生命倫理に焦点を合わせており、IIは医療人の社会性を問題にしています。この医療宗教学はこのIIを宗教的人間観から補完することを目的としています。それは医療人と患者との関係を考えて見ることを意味します。治療する人も治療を受ける人も共に同じ人間であるということは自明なことですが、対等な人間関係を維持することは難しいことでしょう。ただ「人間は必ず死ぬものである」という事実から、仏教などの宗教を援用して、死は医療人にとっても、また患者にとっても決して敗北ではないという観点を示します。様々な人間観のあることを学び、自らもある信念を持って、余裕のある医療人になってもらうためにこの講義が一助となればよいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール まず様々な宗教や哲学、さらには現代の科学思想の人間観を広く取り上げてみたいと思えます。皆さんもそれぞれ人間に対する考え方を持っていると思えますが、皆さんがいずれ治療を行う患者さんはそれぞれ個人的に多様な人間観を持っています。その人間観を理解した上で、治療の内容を十分に説明し、相互の人間関係を築きながら治療を進めてゆくことは大切だと思えます。この講義は人間観、人間を見る眼を鍛えるために古典的な宗教の知識や現代の心理学や哲学の知見を提供できると思えます。昨年行ったのですが、3分間の椅子坐禅を取り入れたいと思えます。作法は丁寧に説明します。

履修上の留意点 この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法 毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に1月に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書 特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書等 講義の中で随時紹介します。

その他 私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請します。授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

履修コード	164701
科目名	医療経済学
担当者名	おくむら やすのり 奥村 保規

講義のねらい 近年、日本では医療制度の改革が叫ばれています。その背景には、少子高齢化、財政赤字の拡大、経済化拡大に対する懸念などがあります。本講義は、経済学を通し、日本経済の現状と今後を踏まえながら、医療制度のあるべき姿を議論することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール
 (1) 経済学とはどのような学問か？ (2～3)
 (2) 医療経済学の目的 (4)
 (3) 日本の医療制度とその問題点 (5)
 (4) 少子高齢化の現状とその要因 (6～7)
 (5) 財政赤字の問題 (8)
 (6) 格差の問題 (9～10)
 (7) 医療制度のあり方 (11～15)

成績評価の方法 講義内で数回の提出課題を求め、それに基づいて評価します。

教科書 指定しません。
 参考書等 講義の中で知らせます。

履修コード	427501
科目名	メディア・コミュニケーション概論
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子

講義のねらい 本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

講義の内容・授業スケジュール
 1. イントロダクション
 コミュニケーション・モデル
 2. パーソナル・コミュニケーション
 人と人とのコミュニケーション
 電話コミュニケーション
 3. グループ・コミュニケーション
 集団・組織のコミュニケーション（企業の例を中心に）
 地域コミュニティのコミュニケーション
 集団行動のコミュニケーション（噂とクチコミ）
 4. マス・コミュニケーション
 マス・メディアの変貌
 マス・コミュニケーション研究
 マーケティング・コミュニケーション（広告、PR）
 5. グローバル・コミュニケーション
 6. まとめ

履修上の留意点 社会における様々なコミュニケーション行為とメディア、その使い分けについて意識を持つように心がけて欲しい。

成績評価の方法 テスト、レポート、平常点などで総合的に評価する。
 教科書 講義中に指示する。
 参考書等 講義中に指示する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	432001
科目名	情報メディア産業論I
担当者名	福家 ^{ふけ} 秀紀 ^{ひでのり}

講義のねらい	インターネットをはじめとした様々なネットワークの特性を理解するとともに、ブロードバンド・インターネットの急速な普及により大きく変化している、日本の情報メディア産業の現状と課題を理解することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 情報メディア産業とは、(2)～(3) 情報メディア産業を理解するためのキーワード、(4) 電気通信、(5) 放送、(6) 携帯電話、(7)～(8) インターネット、(9) 新聞、(10) 出版、(11) 広告、(12) 映像コンテンツ、(13) 音楽、(14)～(15) まとめ
履修上の留意点	情報メディア産業の変化のスピードは極めて速いので、日頃から新聞、雑誌などの情報メディア関連の記事を読む習慣を身につけておいて下さい。また、レジュメは事前に授業支援システムに掲載しますので、予習をしてから受講してください。
成績評価の方法	授業中に実施する小テスト、レポート、定期試験、および出席状況を総合的に評価します。
教科書等	特に指定しません。
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4 ・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7 ・梅田望夫、『ウェブ進化論 本当の進化はこれから始まる』、筑摩書房、740円、4-480-06285-8 ・その他講義の中で適宜紹介します。
その他	レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用します。

他
履
修
学
科
目
部

履修コード	432201
科目名	ネットワークコミュニケーション論
担当者名	菅谷 実

講義のねらい

社会のコミュニケーション活動を支える情報ネットワークの基礎的知識の修得とネットワークの進化が社会のコミュニケーション活動にどのような影響を及ぼしてきたかを明らかにすることを目的としている。具体的には、人的組織、物理的ネットワーク、情報ネットワークの歴史、仕組み、機能、運営等を明らかにする。

前半は、「ネットワークとコミュニケーション」というテーマで、社会的コミュニケーション活動とネットワークの関係を明らかにする。具体的には、組織とネットワーク、組織コミュニケーション、ネットワーク産業の特質などを論じる。

後半は、「情報ネットワーク発展の歴史」を、各ネットワーク産業ごとに明らかにする。具体的には、郵便、交通、通信、放送、インターネットなどのネットワークの発展過程を論じる。まとめの部分においては、今後、ますます進歩が期待されている「ネットワークの融合と社会的コミュニケーション」を取り上げる。具体的には、融合化が進むネットワーク環境のなかで社会的コミュニケーション活動がどのような影響を受け、変容していくかを展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1部 ネットワークとコミュニケーション

1. ネットワークと経営
 - 企業経営とは
 - 企業活動にとっての情報基盤の重要性
 - クローズネットワークとオープンネットワーク
2. 企業組織とネットワーク
 - 企業組織
 - 組織コミュニケーション
3. ネットワーク産業の特質
 - ネットワーク産業の構造
 - ネットワーク産業の変容

第2部 情報ネットワーク発展の歴史

4. 郵便制度
 - 物流と情報流を支える流通ネットワーク
 - 郵便サービス
 - 郵便局
 - 民営化
 - 情報ネットワークとしての郵便ネットワーク
5. 交通ネットワーク
 - 貨物輸送
 - 国内旅客輸送
 - 国際輸送
6. 放送ネットワーク
 - 放送ネットワーク種別
 - 放送規制
 - テレビ放送ネットワークの発展
7. 通信ネットワーク
 - 通信事業者の種別
 - 通信ネットワークの構造
 - 制度の変容
8. インターネット
 - 発展の歴史
 - ブロードバンドネットワーク
 - ネットワーク機能

第3部 ネットワークの融合

9. ネットワークの融合
10. ネットワークの高度化と経営環境の変化
 - 講義には毎回出席してください
 - 平常点と期末テスト
 - 特に指定しません
 - 公益事業学会編『日本の公益事業』白桃書房。
 - その他 初回講義時に紹介します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	432401
科目名	比較メディア制度論
担当者名	西岡 洋子

講義のねらい 放送の世界的な競争の歴史を理解するとともに、日本、米国、EU主要国、韓国などの放送制度とその変化の方向性について、特徴および制度形成の背景を理解する。また、適宜、日本との比較を行うことで、各国の制度が互いに影響し合っていることを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 本講義のアプローチ
- (2) 世界の放送の歴史
- (3) 日本の放送制度
放送制度の概要と意義
通信と放送の融合に対応した制度改革
- (4) 米国の放送制度
- (5) EU主要国の放送制度
- (6) 韓国の放送制度
- (7) まとめ

履修上の留意点 メディア政策論または同様の講義を受講していることが望ましい。

成績評価の方法 テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。

教科書 講義中に指示する。

参考書等 講義中に指示する。

他
履修
科目
部

履修コード	432501
科目名	都市とメディア
担当者名	高 媛

講義のねらい 都市は、種々のメディアが実践する場であると同時に、メディアによって紡ぎ出されたイメージ群から構成される空間でもある。本講義は、都市とメディアに関する基本的な理論を提示した上で、映画、CM、ドラマ、流行歌などに登場する多様な都市像を具体的に検討しながら、都市とメディアとの関係性を読み解いていく。

講義の内容・授業スケジュール 東京タワー、ディズニーランド、チャイナタウン、ファッションビルなどの事例を手がかりに、都市とメディアの関係を国家、権力、ジェンダーのさまざまな角度から読み解いていく。

履修上の留意点 講義中に取り上げたトピックについて、討論やグループ発表を行うことがあるので、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法 出席状況、授業への参加度、毎回講義の最後に提出してもらうコメントの内容、レポートによって総合的に評価する。出席重視（7割以上の出席率がC評価のための前提条件とする）

教科書 特に指定しない

参考書等 ・吉見俊哉『都市のドラマトゥルギー——東京・盛り場の社会史』（弘文堂、1987年）、2,300円、ISBN：4335550294

・町村敬志・西澤晃彦『都市の社会学』（有斐閣、2000年）、2,300円、ISBN：4641121036

その他 講義形式

履修コード	432601
科目名	グローバルアート政策論
担当者名	かわさき けんいち 川崎 賢一

講義のねらい

現代文化システムの特徴・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

〈スケジュール〉

1. イントロダクション
2. 文化政策とは何か？その期限と展開の概略
3. ファインアートカルチャーとポピュラーカルチャー
4. 文化階層と文化政策
5. 文化政策の3タイプ：アメリカ型
6. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その1))
7. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その2))
8. 文化政策の3タイプ：中間型 (イギリス)
9. 文化政策の3タイプ:(中間型(フランスとイタリア))
- 10.文化政策の3タイプ:中間型(他のヨーロッパ諸国)
- 11.文化政策の3タイプ：中間型(日本)
- 12.文化政策と国際文化交流
- 13.文化政策と文化産業のシナジー
- 14.文化政策の限界と可能性
- 15.まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。
学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。
授業の中で指示する。
川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
佐々木・川崎・河島 (共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2007年

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	434301
科目名	情報保護と社会
担当者名	苗村 憲司

講義のねらい 社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- ②知的財産権の保護に関する政策と技術（1. 知的財産戦略）
- ③知的財産権の保護に関する政策と技術（2. 著作権制度）
- ④知的財産権の保護に関する政策と技術（3. 著作権保護技術）
- ⑤知的財産権の保護に関する政策と技術（4. 産業財産権の保護と課題）
- ⑥知的財産権の保護に関する政策と技術（5. 営業秘密の保護と課題）
- ⑦情報セキュリティに関する政策と技術（1. 個人情報保護政策）
- ⑧情報セキュリティに関する政策と技術（2. 情報セキュリティ政策）
- ⑨情報セキュリティに関する政策と技術（3. 情報セキュリティ・マネジメント）
- ⑩情報セキュリティに関する政策と技術（4. 暗号技術）
- ⑪情報セキュリティに関する政策と技術（5. 情報セキュリティ技術の高度化と応用）
- ⑫グローバル環境における情報保護の課題（1. 国際機関の果たす役割）
- ⑬グローバル環境における情報保護の課題（2. 有害情報からの児童の保護）
- ⑭グローバル環境における情報保護の課題（3. 情報保護の新たな展望）
- ⑮まとめ

成績評価の方法

- 次の2項目を総合して評価する。
1. 授業時間に行うミニテストの成績（合計30点）
 2. 期末試験の成績（70点）

ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。

教科書
参考書等

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/> 上に電子教材を提供する。
電子教材の中で参考書を紹介する。

履修コード	435001
科目名	映像コンテンツ論
担当者名	手塚 義治

講義のねらい 資本による文化の疎外を批判する進歩的言説— Culture Industry（文化産業、アドルノ／ホーケイマー、2007）—が、いかに経済の情報化／グローバル化にともない、市場メカニズムそのものを“創造的”とみなし文化の資本化を奨励する“Creative Industry（創造産業）”的言説へと変節していったかを、日本の映画産業史を例にとり説明します。現在の文化産業の状況を批判的に検証する教養を身につけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

アドルノ／ホーケイマーの文化産業論、ウォルター・ベンヤミンの複製芸術論等、メディア&カルチュラル・スタディーズにおける基本文献を紹介し、戦後から前世紀末までの日本映画産業史を情報化／グローバル化の文脈から分析します。

履修上の留意点

現代思想に興味があり、社会科学の基礎を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

授業中の発言、レポート、口頭試問によって総合的に評価する。

教科書

教科書としての指定はしないが、この講義は Du Gay, Paul (ed.) (1997) Production of Culture/Culture of Production, London: Sage Publications. を下敷きにしている。

参考書等

アドルノ／ホルクハイマー著、啓蒙の弁証法—哲学的断想（2007）、岩波文庫 青 692-1
グレアム・ターナー著、金智子他訳、カルチュラル・スタディーズ入門—理論と英国での発展（1999）、作品社
ポール ドゥ・ゲイ他著、暮沢剛己翻訳、実践カルチュラル・スタディーズ—ソニー・ウォークマンの戦略（2000）、大修館書店

履修コード	437101
科目名	メディアと知識論
担当者名	<small>さいとう のぶお</small> 齋藤 信男

講義のねらい

メディアは人間の知識の表現と言えるが、その作成、操作、管理などをより効率的、効果的に行う事を支援する知的な処理の基本的な考え方をまず理解する。知識処理の具体例としてセマンティックWEBを取り上げ、メタデータを利用したインテリジェントなWEBの操作を体験する。更に、メタデータの作成、その操作、基本的な辞書構築、自然言語処理機能の利用など知識表現やその処理に関連する課題について理解し考えていく。メタデータが、高度なコミュニケーション環境や社会システムの実現に寄与し、今後のWEB利用における種々のイノベーションに発展していく可能性を探る。

講義の内容・授業スケジュール

以下の具体的な項目を学んでいく。

- 第一回～第四回 知識表現、知識獲得、知識管理など従来の手法の概括とその課題を考える。
- 第五回～第九回 セマンティックWEBについて、その基本的機能、構造を学ぶ。メタデータ記述言語RDF (Resource Description Framework)、オントロジーとその記述言語OWL、RDFに対する検索言語SPARQLについて、その概要を学び、具体的な演習を行う。
- 第十回～第十二回 セマンティックWEBの応用例をいくつか取り上げ、その効果、メタデータによる種々のWEBの統合化、RSSへの適用などを学ぶ。
- 第十三回～第十五回 メタデータと自然言語処理の関係、知識管理の諸問題、将来に実現すると思われる知識社会への展望などを学び、講義全体のまとめとする。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
その他の

実際のシステムをなるべく体験できるような演習を行う。
いくつかの課題レポート、総合課題、および出席の総合評価により判定する。
特に指定しない。
講義の内容に応じて、その都度紹介する。
WEBシステムについて、その基礎的理解をしておくことが望ましい。

他
学
科
目
部

IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

履修コード	230511
科目名	日本語入門I a
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい	日本語入門I aは、初めて日本語を学習する人から、日本語学習歴が150時間未満までの学習者を対象とし、日本語の基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	自己紹介(第1週)、学校生活について(第2週)、日常生活について(第3、4週)、友人を誘う(第5週)、自分の国と日本について(第6週)、過去の経験について話す(第7週)、買い物(第8週)、パーティー(第9、10週)、将来について話す(第11週)、旅行(第12週)、比較(第13週)、病院(第14週)、期末試験(第15週) *これは、現時点での予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。
履修上の留意点	日本語入門I aは、非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、もしくはほとんどない学生を対象としているため、日本語の学習経験を持っている学生、および漢字圏の学生は受講できない。 また、日本語入門II aと連続して講義を行うため、日本語入門I aと日本語入門II aは同時に受講するのが望ましい。
成績評価の方法	学期末試験(40%)と平常点(30%)、および出席状況(30%)から評価する。
教科書	「はじめよう日本語初級① メインテキスト」スリーエーネットワーク(予定) 「はじめよう日本語初級① ドリルと文法」スリーエーネットワーク(予定)
参考書等	各自辞書を持参してください。

履修コード	230521
科目名	日本語入門I b
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい	日本語入門I bは、日本語入門I aの続きとして講義を行う。日本語学習歴が150時間程度の学習者を対象とし、日本語の基本的な文法、語彙、および漢字の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	目上の人と話す(第1、2週)、面接を受ける(第3週)、食事について(第4週)、休日(第5週)、自分の国と日本の習慣(第6週)、引越し(第7、8週)、約束をする(第9週)、日本での生活(第10週)、困った出来事(第11、12週)、教育(第13、14週)、期末試験(第15週) *これは、現時点での予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。
履修上の留意点	日本語入門I bは、日本語入門I aとII aを受講した学生を前提とするが、日本語入門I a、II aを受講しなかった学生でも、日本語のレベルが適当であれば(日本語学習歴150時間程度)、受講を認める。なお、非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。 また、日本語入門II bと連続して講義を行うため、日本語入門I bと日本語入門II bは同時に受講することが望ましい。
成績評価の方法	学期末試験(40%)と平常点(30%)、および出席状況(30%)から評価する。
教科書	「はじめよう日本語初級② メインテキスト」スリーエーネットワーク(予定) 「はじめよう日本語初級② ドリルと文法」スリーエーネットワーク(予定)
参考書等	「BASIC KANJI BOOK Vol.1」凡人社(予定) 各自辞書を持参してください。

履修コード	230531
科目名	日本語入門II a
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい 日本語入門II aは、初めて日本語を学習する人から、日本語学習歴が150時間未満までの学習者を対象とし、日本語入門I aで学んだことをもとに、「話す、聞く、書く、読む」の4技能の修得を目指す。特に「話す、聞く」に重点を置くが、会話では学生が日常生活の中で遭遇する場面を想定し、そこで日本語での会話が可能なることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 自己紹介(第1週)、学校生活について(第2週)、日常生活について(第3、4週)、友人を誘う(第5週)、自分の国と日本について(第6週)、過去の経験について話す(第7週)、買い物(第8週)、パーティー(第9、10週)、将来について話す(第11週)、旅行(第12週)、比較(第13週)、病院(第14週)、期末試験(第15週)

*これは、現時点での予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。

履修上の留意点 日本語入門II aは、非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、もしくはほとんどない学生を対象としているため、日本語の学習経験を持っている学生、および漢字圏の学生は受講できない。

また、日本語入門I aと連続して講義を行うため、日本語入門I aと日本語入門II aは同時に受講するのが望ましい。

成績評価の方法 学期末試験(40%)と平常点(30%)、および出席状況(30%)から評価する。

教科書 「はじめよう日本語初級① メインテキスト」スリーエーネットワーク(予定)

参考書等 「はじめよう日本語初級① ドリルと文法」スリーエーネットワーク(予定)

各自辞書を持参してください。

履修コード	230541
科目名	日本語入門II b
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい 日本語入門II bは、日本語入門II aの続きとして講義を行う。日本語学習歴が150時間程度の学習者を対象とし、日本語の基本的な「話す、聞く、書く、読む」の4技能の習得を目指す。日本語入門II bでは「読む、書く」にも力を入れて講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール 目上の人と話す(第1、2週)、面接を受ける(第3週)、食事について(第4週)、休日(第5週)、自分の国と日本の習慣(第6週)、引越(第7、8週)、約束をする(第9週)、日本での生活(第10週)、困った出来事(第11、12週)、教育(第13、14週)、期末試験(第15週)

*これは、現時点での予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。

履修上の留意点 日本語入門II bは、日本語入門I aとII aを受講した学生を前提とするが、日本語入門I a、II aを受講しなかった学生でも、日本語のレベルが適当であれば(日本語学習歴150時間程度)、受講を認める。なお、非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。

また、日本語入門I bと連続して講義を行うため、日本語入門I bと日本語入門II bは同時に受講することが望ましい。

成績評価の方法 学期末試験(40%)と平常点(30%)、および出席状況(30%)から評価する。

教科書 「はじめよう日本語初級② メインテキスト」スリーエーネットワーク(予定)

参考書等 「はじめよう日本語初級② ドリルと文法」スリーエーネットワーク(予定)

「BASIC KANJI BOOK Vol.1」凡人社(予定)

各自辞書を持参してください。

履修コード	230611
科目名	日本語I a
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230621
科目名	日本語Ⅰb
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を学ぶ。
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230631
科目名	日本語Ⅰa
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。
 講義の内容・授業スケジュール 衣③・食①・住②・学生生活④⑤など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。
 成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。
 教科書 プリントを配布する。
 辞書を持ってこよう。

履修コード	230641
科目名	日本語Ⅰb
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。
 講義の内容・授業スケジュール 日本語Ⅰaに続き政治⑥・法律⑦・経済⑧・文化⑩・社会問題⑨などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め、より深く理解できるようにする。
 成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。
 教科書 プリントを配布する。
 辞書を持ってこよう。

履修コード	230711
科目名	日本語Ⅱa
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230811
科目名	日本語Ⅱb
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230721
科目名	日本語II a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・授業スケジュール 紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
 テープで自分が話した日本語を聞く。必要に応じて発音・アクセント・読み方等の練習をする。

履修上の留意点 授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230821
科目名	日本語II b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 話し言葉と書き言葉の違いを知る。

講義の内容・授業スケジュール 意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。
 テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点 授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

「日本語
 日本事情」

履修コード	230911
科目名	日本語III a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
 まず内容を聞き取って把握すると共に、相手や立場、場面にふさわしい言葉の使い方を知る。
 次に話し言葉と書き言葉の違いを知り、レポートを書く練習の第一歩とする。

講義の内容・授業スケジュール ビデオでドラマ・映画などを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。敬語の使い方、くだけた言い方、改まった言い方、この場合どういえば自然かなど、場面や相手や立場などによって適切に使い分けられるようにする。聞き取った内容を文章にまとめる。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
 辞書を持ってくること。

履修コード	231011
科目名	日本語III b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
 ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
 聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠などを文章にまとめながら、レポートの書き方の練習をする。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
 辞書を持ってくること。

履修コード	230921
科目名	日本語III a
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。
成績評価の方法	小レポート、小テスト、授業活動50% 期末試験50%
教科書	最初の授業時に指定する。

履修コード	231021
科目名	日本語III b
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。
成績評価の方法	小レポート、小テスト、授業活動50% 期末試験50%
教科書	最初の授業時に指定する。

履修コード	231111
科目名	日本語IV a
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、特に「話す、書く」に重点を置く。グループワークを基本に講義を進め、専門の研究にも役立つアカデミックな日本語運用能力の養成を目指す。 話し言葉・書き言葉の両方を学び、理論的に分かりやすい説明ができるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	・講義内容 身近な話題から専門的な事柄まで、受講生の興味関心も考慮しながらトピックを設定し、そのトピックに関する意見を文章でまとめ、発表する。意見をまとめる際には、学生同士の活発な意見交換を望む。 ・授業スケジュール（予定） オリエンテーション（第1週）、少子化問題（第2、3週）、教育問題（第4、5週）、若者の感性（第6、7週）、仕事への意識（第8、9週）、日本にいる外国人（第10、11週）、電子メールとトラブル（第12、13週）、経済（第14週）、期末試験（第15週）
履修上の留意点	日本語入門IV aは、日本語能力試験2級程度の日本語能力を持っている学生を対象としているため、ある程度の日本語力を持った学生が受講することが望ましい。 なお、日本語能力試験対策は行わない。
成績評価の方法	学期末試験（40%）と平常点（30%）、および出席状況（30%）から評価する。
教科書	随時プリントを配布。
参考書等	各自辞書を持参してください。

履修コード	231211
科目名	日本語Ⅳb
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい 中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、レポートや論文に必要な論理的な文章の書き方を学ぶことを目指す。「である体」というあらたまった文体を用いて、事柄の説明・論述を論理的な手法で行えるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール オリエンテーション、レポートに使われる文体（第1週）、文の基本（第2週）、句読点の打ち方、各種記号の使い方（第3週）、引用の仕方（第4週）、段落（第5週）、仕組みの説明（第6週）、歴史的な経過の説明（第7週）、分類（第8週）、定義（第9週）、要約（第10週）、因果関係（第12週）、論述（第13週）、レポートの作成（第14週）、期末試験（第15週）

履修上の留意点 日本語入門Ⅳaは、日本語能力試験2級程度の日本語能力を持っている学生を対象としているため、ある程度の日本語力を持った学生が受講することが望ましい。

成績評価の方法 学期末試験（40％）と平常点（30％）、および出席状況（30％）から評価する。

教科書 「留学生のための論理的な文章の書き方」スリーエーネットワーク（予定）
参考書等 各自辞書を持参してください。

履修コード	231121
科目名	日本語Ⅳa
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい 文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

（1～5）文章の基本－文・段落・構成－（6～10）レポートの方法－主題・材料・アウトライン等－（11～15）レポートの形式－表紙・序論・本論・結論・参考文献－

履修上の留意点 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法 提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など）50％
期末テスト 50％

教科書 教科書は授業時に指定する。

履修コード	231221
科目名	日本語Ⅳb
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい 文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール レポート、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。（1～7）レポートを書く

（8～15）意見文の書き方、実践

履修上の留意点 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法 作文（3～4回） 50％
提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など） 50％

教科書 教科書は授業時に指定する。

「日本語
事情」

履修コード	231311
科目名	日本語Va
担当者名	いしかわ まちる 石川 守

講義のねらい しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっています。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などを深くやっていきます。もう一度しっかりとした日本語の基本を復習したい人にお勧めします。

講義の内容・授業スケジュール 日本語Vは、日本語VIと連携しています。日本語の基礎文法が復習ができるように構成されています。

履修上の留意点 この日本語V→日本語VIの順に進みます。取り扱う内容は、日本語の基礎的な部分です。したがって、中上級的な表現や語彙をたくさん勉強したい人は他の授業を取ることをお勧めします。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書等その他 特になし。授業中にプリントを配ります。
辞書を持ってきてください。
受講態度を重視しています。

履修コード	231411
科目名	日本語Vb
担当者名	いしかわ まちる 石川 守

講義のねらい 日本語 Va に続けて、日本語のしっかりとした基礎を深く追究していきます。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点 日本語 Va と同じです。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書等その他 特になし。授業中にプリントなどを配ります。
辞書を持ってきて下さい。
受講態度を重視しています。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	231321
科目名	日本語Va
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子

講義のねらい 読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。

講義の内容・授業スケジュール レポートを書くための基礎を学ぶ。
各種の新聞記事など時事問題を中心に読む。見出しから内容を推測したりわかる言葉から概要をつかむ練習をし、さらに自分で調べながら細部まで読み、内容について説明したり、意見発表を行う。

成績評価の方法 それらを文章にまとめる。
平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書 プリント配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231421
科目名	日本語Vb
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子

講義のねらい 読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 各自関心のある新聞記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法 平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231511
科目名	日本語VI a
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっています。

講義の内容・授業スケジュール 日本語V a、bで行った日本語の後の部分をやっています。講義内容は日本語V→日本語VIの順番で構成されています。

履修上の留意点 日本語VIは、日本語Vと日本語VIで構成されています。したがって、両方を続けて取ることをお勧めします。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等 辞書を持ってきてください。

その他 授業態度を重視しています。

履修コード	231611
科目名	日本語VI b
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語の VIa の続きを行い、日本語文法の基礎をもう一度深く追究します。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 VIa の残りの部分を行っていきます。

履修上の留意点 この授業は、日本語 VIa の次の部分をやっています。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等 辞書を持ってきてください。

その他 受講態度を重視しています。

「日本語
日本事情」

履修コード	231521
科目名	日本語VI a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。

辞書を持ってくること。

履修コード	231621
科目名	日本語VI b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。

辞書を持ってくること。

履修コード	231701
科目名	日本事情I〔地理〕
担当者名	須山 聡 <small>すやま さとし</small>

講義のねらい 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約 3,000km の細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて解説する。

講義の内容・授業スケジュール 自然・文化・歴史・都市・農村などのトピックにしたがって講義を進める。

成績評価の方法 出席状況とレポートで評価する。

参考書等 日本の地図を用意することをおすすめする。

履修コード	231801
科目名	日本事情II〔自然〕
担当者名	清水 善和 <small>しみず よしかず</small>

講義のねらい 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約 3,000km の細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて解説する。

講義の内容・授業スケジュール 1章：位置（国土の範囲、行政区分、位置の特徴；1,2回）、2章：気候（気候帯、海流、気候の特徴、気団と季節、気象観測、気候と文化；3-7回）、3章：地質・地形（弧状列島、変動の歴史、多様な地形、火山、地震；8-11回）、4章：生物（植生帯、生物多様性、生物地理区、里山、帰化生物；12-14回）、5章：自然保護（レッドデータ、国内の法律、国際条約；15回）

成績評価の方法 2回のレポートと出席回数に基づいて評価する。

教科書 講義内容を文章化した「web 版テキスト（日本語版）」を紹介する。受講者は指定のHPから自由にダウンロードして利用できるようにする。

参考書等 講義と web 版テキストの中で適宜紹介する。

その他 講義に必要な図表をまとめたプリントを毎回配布する。講義は日本語で行うが、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著した「web 版テキスト（English version）」を用意する。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	231901
科目名	日本事情III〔歴史〕
担当者名	井上 桂子 <small>いのうえ けいこ</small>

講義のねらい 本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 19世紀-鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点 第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法 出席回数と課題レポートで評価します。

教科書 必要に応じてプリントを配布します。

参考書等 授業のなかで適宜紹介します。

その他 希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

履修コード	232001
科目名	日本事情Ⅳ〔思想〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義のねらい 明治維新によって江戸幕府は倒れ、日本は新しく近代国家としての道を歩み始めました。この大きな転換期を、当時の思想家達はどのように受け止めたのでしょうか。本授業では、幕末から明治末期にかけて活躍した代表的思想家について学びます。彼らは、自分が生きた時代の中で何を問題だと考えていたのか。その問題をどのように解決しようとしていたのか。こういった問いを明らかにしていくことが本授業の目的です。この作業を行うことにより、学生の皆さんは近代日本（ひいては現代日本）がどのように成立したかを知る手がかりを得ることができるでしょう。なお、授業を理解する上では、常識レベルでの日本史の知識が必須です。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。

講義の内容・授業スケジュール オリエンテーション（1）、儒教思想（2～3）、福沢諭吉（4～5）、明六社（6～7）、自由民権（8～9）、中江兆民（10～11）、徳富蘇峰（12～13）、社会主義（14～15）。

履修上の留意点 毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法 出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書 特に指定しません。

参考書等 授業時に適宜、紹介します。

その他 講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

日本語
日本語
日本語

履修コード	232101
科目名	日本事情Ⅴ〔社会〕
担当者名	李 妍炎

講義のねらい この講義は、日本人の価値観や意識、国民性を中心に取り上げていく。

講義の内容・授業スケジュール 前半は、「数字や映像で見る日本と日本人」と題して、各種統計データやテレビの特集番組などを題材に、現代日本人の生き方や意識について探っていく。後半は、日本人の国民性について書かれた文献を題材に、日本人の国民性に関するさまざまな議論について学び、考えていく。具体的には、以下のスケジュールを予定している。ガイダンス(1)、日本人の平均値 (2-5)、日本人の価値観の変化 (6-7)、日本人が関心を持つ社会問題 (8-11)、日本人の国民性 (12-15)。

履修上の留意点 私語をしない。携帯電話を出さない。

成績評価の方法 期末レポートで評価するが、出席に対する要求を満たさなければならない。

教科書 特に指定しないが、毎回必要な資料をコピーして渡す。

参考書等 鳥羽賢, 2005, 『日本人の平均値』生活情報センター。
(株)電通総研, 2005, 『日本人の価値観変化』。
大越明彦, 2005, 『日本および日本人』鳥陰社。

その他 講義は日本語で行うが、個別の質問は中国語と英語でも受け付ける。

履修コード	232201
科目名	日本事情VI〔政治・法律〕
担当者名	<small>みたけ なおや</small> 三竹 直哉

講義のねらい 日本政治について知り、みんなで意見交換します。
 講義の内容・ 下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。
 授業スケジュール

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎日本のマイノリティ
- ◎日本の移民政策

履修上の留意点 日本政治について考える授業ですから、日本の政治に関心がなかったり、政治について学ぼうがない学生は履修すべきではありません。
 授業参加を重視します。参加人数によって授業のやり方は変わります。人数が少なければ討論中心になりますので、発言することが重要になります。

成績評価の方法 平常点と期末テストによります。2007年度までは期末テストを行っていませんでしたが、2008年度は行いますので注意すること。

教科書 指定する予定はありません。
 その他 I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

履修コード	232301
科目名	日本事情VII〔文学〕
担当者名	<small>さかぐち ひろこ</small> 坂口 博規

講義のねらい 本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・ 日本の古典文学の作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識（1）
- 6、古代後期の文学とその美意識（2）
- 7、中世の文学とその美意識（1）
- 8、中世の文学とその美意識（2）
- 9、中世の文学とその美意識（3）
- 10、近世の文学とその美意識（1）
- 11、近世の文学とその美意識（2）
- 12、近世の文学とその美意識（3）
- 13、日本文学の特質（1）
- 14、日本文学の特質（2）
- 15、日本文学の特質（3）

履修上の留意点 第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を総括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

成績評価の方法 レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。

教科書 必要に応じて適宜プリントを配布する。
 参考書 授業内で紹介する。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	232401
科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義のねらい	「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって本授業では、特定の「日本文化」に注目し、明らかにするという方法を取りません。かわりに、食文化など我々の身近にあるものを例としてとりあげます。そして、その変容の過程を学びながら、「日本文化」が時代ごとにどのような特徴を持つのか、それがどのように人々の日常に影響を及ぼすのか、を明らかにしていこうと思います。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。
講義の内容・授業スケジュール	オリエンテーション(1)、古代日本の文化(2~4)、中世日本の文化(5~8)、近代日本の文化(9~14)、まとめ(15)。
履修上の留意点	毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。
成績評価の方法	出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。
教科書	特に指定しません。
参考書等	授業時に適宜、紹介します。
その他	講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	232501
科目名	日本事情IX〔経済〕
担当者名	渡邊 恵一

講義のねらい	外国人留学生を対象に、日本の経済・社会への理解をいっそう深めてもらうことが到達目標である。本講義では日本における資本主義経済システムの定着期である明治期に始まり、二つの世界大戦、戦後の高度経済成長、そして「経済大国」と称されるようになるまでの日本経済の歴史をダイジェスト版でたどることで、この課題に接近していきたい。授業ではVTR、DVDなどの映像資料を積極的に活用し、受講生の理解を助けるつもりでいる。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 課題と方法、(2) 日本経済の長期的概観、(3)~(5) 明治期の日本経済、(6)~(9) 大正期の日本経済、(10)~(14) 昭和期以降の日本経済、(15) 総括と展望
成績評価の方法	出席状況(遅刻は出席と見なさない)、「リアクション・ペーパー」提出を通じた授業への理解度、積極的姿勢を平常点として重要視する。期末試験・レポートの実施については、受講者数などをみてから、後日決定したい。
教科書	使用しない。
参考書等	老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—大開検地から戦後復興まで—』(税務経理協会、2002年)、三和良一『概説日本経済史 近現代(第2版)』(東京大学出版会、2002年)
その他	授業は日本語で行うが、留学生向けの授業であることを考慮し、無理のないペースでの進行を心がけたい。

履修コード	232601
科目名	日本事情X〔経営〕
担当者名	^{たかい} 高井 ^{てつお} 徹雄

講義のねらい

本講義は留学生の方々を対象とした講義です。第一の趣旨は、皆さんの日本語コミュニケーション能力を本学で学ぶに十分なレベルに高めていただくことにあります。そのために、教員と受講生間のコミュニケーションを密に相互に協力しながら、今日の日本事情に関する理解を深めて行きます。この国を正しく理解するには、ここに至る歴史を知ることや政治・経済など専門家の意見を聞く必要があります。しかし、それ以前にまず「日本人の心」に触れていただきたいと思います。この国で生まれ・学び・働き・暮らしてきた、ごく普通の日本人の人々と本音のコミュニケーションがとれるようになっていただくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

留学生の方々が、本学における学修を円滑に進めていただくためには、一定の日本語能力のうえに、日本社会と日本人に関するよりベーシックな理解が不可欠です。そこで、講義の前半から中盤部分では、Q&A方式によって皆さんと十分なコミュニケーションをとりながら、皆さんの興味に沿った個別テーマを選んで解説して行くことにします。およそのスケジュールは以下のようになります。

- 第1週：イントロダクション…本講義の趣旨説明
- 第2週：教員・受講者自己紹介。日本に関する興味についてアンケート調査
- 第3～10週：Q&A方式による日本事情個別テーマの解説
- 第11～12週：今日の日本的経営システムについて
- 第13～14週：情報ネットワーク社会の日本的事情
- 第15週：日本語コミュニケーション能力確認テスト

履修上の留意点

留学生の皆さんが、今日まで受け継がれてきた日本の文化とその背景にある日本人の心、現代日本の社会・政治・経済など本当のところを知りたいとお望みであれば何なりと質問してください。是非、興味をもって能動的に授業に参加されることを期待いたします。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。その上で、最終授業時に日本語コミュニケーション能力に関する筆記試験を実施して成績評価を行います。

教科書

特にありません。

参考書等

個別テーマによって、必要なものがあれば適宜紹介します。

「日本語」
「日本事情」

V 随 意 科 目

随意科目

履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法
その他の

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法
その他の

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法
その他の

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

経営学科フレックスB

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目

履修コード	341601
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	池田 <small>いけだ みちひろ</small> 道浩

講義のねらい 人間と動物の違いの一つに宗教的思考の有無がある。動物は本能的に死を恐れるが、「死後」を恐れることはなく、自分自身を超越した神を求めることもない。宗教は日常から離れたどこか遠い場所にあるのではなく、我々の日々の生活に密接に関わるものなのである。

本講義は、仏教とその他の諸宗教の歴史と思想を概説しつつ、現代社会における宗教のあり方を提示するものである。民俗学的な視点や人類学の知識も使用し、今日の社会や文化における宗教的意識の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

(1～2) 死後の世界：死んだらどうなるのか (3～4) 旧約聖書の世界 (5～7) キリスト教 (8～11) 現代のユダヤ教とキリスト教 (12～13) 死と葬送の宗教民俗 (14) シャーマニズム：脱魂と憑依 (15) お盆とは何か／五山送り火の密教的意味／靖国 (16) 古代エジプトの宗教 (17) イスラム教 (18～19) 中国の宗教 (20～22) インド仏教 (23) チベット仏教 (24～25) 日本の宗教 (26～28) 中国と日本の仏教 (29～30) 現代社会の宗教風景

なお、随時、宗教に関する社会的文化的事例を取り上げ、問題点を提示していく。

履修上の留意点

特定の教科書を使用しないため、欠席が重なると授業の流れが理解できないことになるので注意されたい。なお、欠席の多い者には評価を与えない。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

出席と簡単な課題の提出、定期試験によって評価を行う。

特に使用しない。適宜プリントを配布する。

講義中に随時紹介する。

履修コード	341801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>まつもと しろう</small> 松本 史朗

講義のねらい 本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、内容は、次の通り。(1～2) 仏教以前のインド思想、(3～10) 釈尊と原始仏教、(11～20) 大乘經典の思想、(21～28) チベット・中国・日本の仏教

**成績評価の方法
教科書**

年度末の試験によって、成績を評価する。

松本史朗『仏教への道』(東京書籍) 1,400円

履修コード	341901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	四津谷 孝道 <small>よつや こうどう</small>

講義のねらい 受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：仏教が誕生するまで
- 第3回：開祖・仏陀の生涯
- 第4回：仏教の歴史概観
- 第5回：仏教とナショナリズム（1）
- 第6回：仏教とナショナリズム（2）
- 第7回：仏教と神道 / 神仏習合（1）
- 第8回：仏教と神道 / 神仏習合（2）
- 第9回：奈良仏教 / 国家仏教（1）
- 第10回：奈良仏教 / 国家仏教（2）
- 第11回：平安仏教 / 密教
- 第12回：平安仏教 / 最澄
- 第13回：平安仏教 / 空海
- 第14回：平安・鎌倉仏教 / 末法思想とは
- 第15回：鎌倉仏教 / 法然
- 第16回：鎌倉仏教 / 親鸞（1）
- 第17回：鎌倉仏教 / 親鸞（2）
- 第18回：鎌倉仏教 / 禅とは
- 第19回：鎌倉仏教 / 道元（1）
- 第20回：鎌倉仏教 / 道元（2）
- 第21回：鎌倉仏教 / 日蓮（1）
- 第22回：鎌倉仏教 / 日蓮（2）
- 第23回：仏教と科学
- 第24回：仏教と経済
- 第25回：仏教と自然（1）
- 第26回：仏教と自然（2）
- 第27回：仏教と自然（3）
- 第28回：仏教と生命問題
- 第29回：仏教と暴力
- 第30回：仏教と人間

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

特になし。
出席点と年度末の試験に基づいて評価する。
授業において配布する。
授業において適宜に言及する。
特になし。

2. 教 養 教 育 科 目

履修コード	342401
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	田中 <small>たなか</small> かのこ

講義のねらい 人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限りない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しう特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール 講義担当者の生活体験をともなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。前期（1～15）は諸宗教に共通する人間文化の特徴、後期（16～30）は各宗教の個性と他宗教との関係を念頭に置きながら、その時々の世界情勢を踏まえたトピックを臨機応変に選んでいく。

履修上の留意点 板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

成績評価の方法 出席状況、創意工夫や日本語の表現力を評価する課題レポート、学年末試験（追試なし）。

教科書 拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2007年、改版（第3刷発行）

参考書等 「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

履修コード	342501
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	池田 <small>いけだ</small> たいすけ

講義のねらい 土佐日記、蜻蛉日記といった平安時代に輩出した日記文学作品を扱います。それらの作品を通して作者たちの心情を感じ取ることを目的とすると同時に、作品の時代背景などを確認しながらそれぞれの日記の世界観、作者たちの置かれていた立場などについても学んでもらいたい。また、作品に見られる風土や儀式・年中行事などに興味をもってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ガイダンス
- 2) 平安時代の日記
- 3) 蜻蛉日記
- 4) 和泉式部日記
- 5) 紫式部日記
- 6) 更級日記
- 7) 成尋阿闍梨母集
- 8) 讃岐典侍日記

履修上の留意点 現代語訳のものでよいので、事前に作品を読んでおくと、より理解が深まります。学期末には試験（披見可）を行いますので、ノートはきちんと取り、配布プリントも整理しておいて下さい。出席重視なので、可能な限り休まないで下さい。

成績評価の方法 出席状況（60％）と試験（40％）などにより評価します。

教科書 毎時間、プリントを配布します。

参考書等 宮崎莊平『王朝女流日記文学案内』（朝文社）

石原昭平、津本信博、西沢正史編『女流日記文学講座』第1巻～第4巻（勉誠社）

履修コード	342601
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	中西 亮太

講義のねらい	この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の短歌作品を読み、論じていきます。日ごろ短歌を読み慣れていない人にとって、短歌の内容を読み解くのは、なかなか難しいことです。しかも、短歌は内容を読み解くだけでなく、言葉の音楽性まで味わうべきものです。そこでまず、受講生が短歌の読み解き方の基本を身に付けられるよう、訓練します。次いで、短歌の響きとリズムの味わい方について話を進めます。そして、その上で、受講生が近代歌人の表現世界に対する関心と理解を深めることを目指します。講義で取り上げる作品を一首紹介しておきます。「白い手紙がとどいて明日は春となるうすいがらすも磨いて待たう」（斎藤史『魚歌』）
講義の内容・授業スケジュール	原則として、毎回一人の歌人の作品を読んでいます。取り上げる歌人は、与謝野晶子、石川啄木、北原白秋、斎藤茂吉、會津八一、前川佐美雄、土屋文明、斎藤史、塚本邦雄、中城ふみ子などです。前期が明治期と大正前半の歌人たち、後期が大正後半と昭和期の歌人たちです。なお、講義をより効果的なものにするために、前後期に一度ずつ、実習として歌会をします。また、ときに現代の専門歌人を教室に招くことも予定しています。
履修上の留意点	当然のことですが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。
成績評価の方法	学年末に試験を実施します。
教科書	なし。授業中、必要に応じて参考プリントを配布します。
参考書等	(a) 高野公彦編『現代の短歌』講談社学術文庫、1、450円、ISBN4-06-158974-1。明治から昭和までの代表的な歌人の作品を収録しています。

履修コード	342701
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	伊藤 達氏

講義のねらい	本講義では、芭蕉の紀行文『奥の細道』を読む。『奥の細道』を読むことによって、芭蕉の表現の様相、その俳諧観に迫り、この作品への理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	1) 本講義のガイダンス 2～3) 近世期までの俳諧と近代以降の俳句との違いについて 4～5) 芭蕉以前の俳諧の様相 6～7) 『奥の細道』出立以前の芭蕉の動向 8) 『奥の細道』を読む。(『奥の細道』には最古の注釈書である『おくのほそ道鈔』、それに続く『奥の細道菅菰抄』以来、現在に至るまで多くの注釈があるが、それらを適宜参照しながら読み進めていく。なお蕉風俳論や同時代の歌論・詩論・思想についても言及する。)
履修上の留意点	指定したテキストを購入し、授業の前には該当箇所を読んでおくこと。欠席が三分の一に達した者は単位を認定しない。疑問点があれば積極的に授業中、時間後に質問して下さい。
成績評価の方法	年度末の定期試験を主とする。出席状況・聴講態度も加味する。
教科書	萩原恭男校注『芭蕉おくのほそみち―付會良旅日記 奥細道菅菰抄』(岩波文庫)、735円 (ISBN4-00-302062-6)
参考書等	授業中に適宜紹介する。プリントで配布する場合もある。

履修コード	342801
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当者名	はやし あきら 林 彰

講義のねらい

幕末のペリー来航後の通商条約により、世界資本主義体制の一環に組み込まれていく我が国は、明治維新期を経て確立する明治憲法体制・教育勅語体制により、ほぼ近代国民国家の成り立ちが整備される。この体制は、アジア太平洋戦争の敗戦により幕を閉じることになるが、講義では近代を通じて支配する体制側の動向と民衆側の歩みを中心にとどめてみていきたい。そのさい、体制側の思想動向や体制側に抵抗ないしは同調しようとする民衆側の思想動向の把握、国内における衛生や病気などにより「隔離」される民衆の問題、アジア民衆への蔑視・差別の問題にも言及していくつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、現在の日本に残存する過去の歴史の問題を取り上げ、その要因が日本の近代にあることを検討する。次に、近代史の概説を体制側と民衆の動向をふまえて、敗戦までたどる。次に時間に余裕があれば、個人の人物を取り上げて、近代史のなかで果たした役割をみていきたい。

成績評価の方法

前期はレポート提出。後期は定期試験。レポートを提出しない学生には単位はなし。定期試験は、追試験も実施する。

教科書

大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史(上)』、大月書店、2002年。1800円+税
ISBN4-272-52068-7C0021

履修コード	342901
科目名	歴史学〔中国史概観〕
担当者名	こばやし ぞうはち 小林 惣八

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書
その他の

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。
出席を重視する。

履修コード	343001
科目名	歴史学〔アジア史概観〕
担当者名	やまぐち ひろし 山口 洋

講義のねらい

アジア史の事例を通して、歴史学的なものの見方を知る。また日本とアジアとの関係を歴史上に考えることができるようになる。

講義の内容・授業スケジュール

アジア史の中でも、古くから記録の残された中国史を基軸に、アジアと日本の歴史を考える。具体的には以下のスケジュールで講述する。

- 第1回：ガイダンス
- 【歴史学の基礎】第2回：アジアの風土、第3回：紀年法、第4回-第5回：歴史記録とは何か、第6回-第7回：紙と印刷の歴史
- 【中国史の基礎】第8回：伝説の古代、第9回-第11回：皇帝の登場、第12回-第13回：官僚制と科挙
- 【交通の歴史】第14回：中国人の世界観、第15回-第17回：中国と西域、第18回-第19回：駅伝制、第20回-第22回：遣隋使遣唐使、第23回-第24回：鄭和の遠征

履修上の留意点
成績評価の方法

出席不良者の単位修得は認めない
数回のレポートと平常点(出席など)、筆記試験の結果を総合して判定する

教科書
参考書等

史料をプリントで配布する
寺田隆信著『中国の歴史』(中公新書)
他は、授業内で適宜紹介する

履修コード	343101
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝沢 正之

講義のねらい	西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。 ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないので、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。 本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目標とする。それと同時に、はるか昔の頭のよい？人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。
講義の内容・授業スケジュール	下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。適宜プリントで補足を行う。 最初から順に読んでいく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。おおまかな目安としては、前期にタレスからプラトンまで、後期にアリストテレスからペーコンまでを検討することになると思われる。
履修上の留意点 成績評価の方法	教科書を必ず入手しておくこと。 中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
教科書	久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社） 授業中に適宜プリントを配布する予定。
参考書等	講義中に適宜指示する。

履修コード	343201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	伊古田 理

講義のねらい	現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「文科系と理科系」について検討する。現代のわれわれにとって、文科系と理科系との区分、およびそれと関連した「科学的思考」とそうでないものとの区別は、すっかり日常的になったが、しかしこれは近代以降の文化的産物なのである。この発想の特性と問題点を探ることが、本年度の課題である。
講義の内容・授業スケジュール	(1)～(3)プラトンと数学の問題 (4)～(6)アリストテレスと「実践知」 (7)～(9)ヨーロッパ中世におけるアリストテレス受容 (10)(11)F. ペーコンと「新しい知」 (12)～(14)デカルトの問題(1) (15)夏期中間試験 (16)～(18)パスカル・ヴィーコ・ヘルダー (19)～(23)カントにおける「知」の問題 (24)ドイツ・ロマン派における「知」 (25)～(27)ニーチェの思想 (28)～(30)歴史学をめぐって
履修上の留意点	本学で開講される「哲学」には内容の異なるいくつかの講義がある。履修に当たっては、講義内容をよく確認すること。
成績評価の方法	夏期中間試験と冬期定期試験の成績の平均点を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。
教科書	久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

履修コード	343301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	鈴木 聡

講義のねらい	本講義では、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題をとことん考え抜くという態度を受講者が身につけるための機会を提供したい。
講義の内容・授業スケジュール	(1) プロローグ・(2・3) 現実と幻・(4) 確率の解釈・(5・6) 記憶と知覚・(7・8) 真実の多面性・(9・10) 日常的描写と科学的描写・(11・12) 論理の本質・(13・14) 音と科学的描写と日常的描写・(15・16) 知覚と思考・(17・18) 他我問題・(19・20) 同一性・(21・22) 言語と行為・(23・24) 本物と像・(25・26) 感覚についての諸説・(27・28) 時間論・(29・30) 「心の中」はないということ。
履修上の留意点 成績評価の方法	欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習をして講義に出席すること。 成績は、出席状況・講義中の質問によって評価する。
教科書	開講時に指定する。

履修コード	343401
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>

講義のねらい	現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。 具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	(1)論理とはなにか (2)～(6)三段論法 (7)～(12)命題論理(1)－命題論理の意味論 (13)夏期中間試験 (14)～(19)命題論理の「証明」 (20)～(25)述語論理(1)－述語論理の記号表記 (26)～(30)述語論理(2)－述語論理の「推論」
成績評価の方法	年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題(年間通して計3回)を出す。これらによって総合的に評価する。
教科書	野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

履修コード	343501
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	麻生 享志 <small>あさお たかし</small>

講義のねらい	西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものかと考えるか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで（1）論理とは何かを考え、（2）変化する論理学の各内容についての知識を持ち、（3）日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などを主な話題とします。 (1-7) 概説・文献・古代・ゼノン・歴史・推理小説・日常性 (8-13) 逆接・クイズ・数理・パズル・記号・真理函数 (14-22) 原理・充足理由・矛盾・排中・演繹・背理・推理・偽・逆 (23-30) 後件肯定・科学・帰納・実験・方法・諸学・真理・まとめ
履修上の留意点	大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。
成績評価の方法	平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料（60％）にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。追試験は本年度は行わない予定。
参考書等その他	多数。講義内にて詳細に説明します。 講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

履修コード	343601
科目名	倫理学〔現代と倫理〕
担当者名	ふるた ともあき 古田 知章

講義のねらい 今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上立って、現代における倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義を行う。また、Iを前期、II、IIIを後期に扱う）。

- I. 倫理的原理についての検討
 1. 倫理学における問題の所在 一倫理的であること一
 2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
 3. 中世における宗教的倫理観
 4. ルネサンスと宗教改革 一個としての人間一
- II. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
近・現代における倫理思想 一主体性と自由の問題一
- III. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳と人生の質
 2. 人間と環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法 二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）
参考書等 講義の際にその都度紹介する。

教養教育

履修コード	343701
科目名	倫理学〔人生と倫理〕
担当者名	すえき かずひこ 末木 恭彦

講義のねらい 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学の基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール 今年度は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎を取り上げ、その倫理学を紹介する。彼が「倫理学の意義と方法」を述べたとする『人間の学としての倫理学』をテキストとして、和辻の描く倫理学の見取図を描き出そうと考えている。日本の倫理学の可能性を考えてみたい。

履修上の留意点 (1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答
ノートをしっかり取る。

成績評価の方法 各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。
教科書 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）（岩波全書版でも可）
参考書等 和辻哲郎『倫理学』（一）～（四）（岩波文庫）
湯浅泰雄『和辻哲郎―近代日本哲学の運命』（ちくま学芸文庫）
坂部恵『和辻哲郎―異文化共生の形』（岩波現代文庫）
苅部直『光の領国 和辻哲郎』（創文社）

履修コード	344201
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	阿部 真大

講義のねらい

人の「心」を研究する学問を「心理学」と言う。しかし、人はひとりで生きているわけではない。人の隣には別の人がいる。人と人が合わさってできるものを「社会」と呼ぶ。その「社会」を研究する学問を「社会学」と言う。生活するなかで何か問題にぶちあたったとき、その原因を「心」に求める（「自分が悪いんだ」）のもいいけれど、たまには「社会」に求めてみる（「社会が悪いんだ」）のもいいかもしれない。それで気が楽になったり問題解決の道筋が見えたりすることがあるかもしれない。この講義のねらいは「社会学」を通じてみなさんの「生きる力」を養うことです。

講義の内容・授業スケジュール

(1) イントロダクション 社会学とは何か？ (2-6) 「バイク便ライダー」を手がかりに興味と仕事について考える (7-11) 「ユニットケア」を手がかりに高齢者福祉について考える (12-16) 「合コン」を手がかりに恋愛と結婚について考える (16-19) 自分の身の回りの問題について考える (20) まとめ 再び社会学とは何か？

履修上の留意点

日頃から社会のなかにおける自分の位置を把握するよう心がけてください。新聞や雑誌、インターネットなどを見る習慣をつけておいてください。

成績評価の方法
教科書

学期末試験と授業内に提出を求めた課題を基本に評価します。出席状況も考慮します。
阿部真大『搾取される若者たち バイク便ライダーは見た！』2006年刊（集英社）672円
阿部真大『働きすぎる若者たち 「自分探し」の果てに』2007年刊（NHK 出版）735円
北村文・阿部真大『合コンの社会学』2007年刊（光文社）735円

履修コード	344301
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	橋爪 敏

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。前期1)～8) 社会学とは何か、社会学の対象と方法、社会科学としての社会学9)～15) 歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書的 sociology、マルクス主義の影響。後期は16)～20) フランスにおける現代社会学への歩み21)～25) ドイツにおける現代社会学への歩み26)～30) 現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書
参考書等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）
高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

教養教育

履修コード	344401
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	川上 新二

講義のねらい

世界のさまざまな民族や社会を理解するために文化人類学が提出してきた基礎的な事項について紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容について紹介する予定です。
(前期) 文化人類学が提出してきた「文化」への接近方法を紹介します。(1) 文化人類学とは、(2) 文化とは、(3～4) 進化主義、(5～6) 伝播論、文化圏説、(7) 歴史主義、(8～9) 機能主義、(10～11) 文化とパーソナリティ、(12～13) 構造主義、(14～15) 象徴主義
(後期) 個別のテーマに焦点をあてて、文化人類学による「文化」の見方を紹介します。(1～3) 婚姻、(4～6) 家族、親族、(7～8) 祖先とのつながり、(9) 呪術、(10～11) 妖術、(12) 邪術、(13～14) 憑依、(15) 脱魂

成績評価の方法
教科書
参考書等

学期末試験、年3回(前期1回、夏休み、後期1回)のレポート課題、出席状況で評価します。使用しません。
講義のなかで適宜紹介します。

履修コード	344501
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	すがい、じゆんいち 杉井 純一

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものと共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か、2. 文化人類学の歩み(1)、3. 文化人類学の歩み(2)、4. 文化とコミュニケーション、5. 環境と人間(1) 狩猟採集民、6. 環境と人間(2) 牧畜民、7. 環境と人間(3) 農耕民、8. ジェンダー、9. セクシュアリティ、10. 婚姻の形態、11. 家族の多様性、12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教、2. アニミズム、3. シャーマニズム、4. シンクレティズム、5. 儀礼の構造、6. コスモロジー、7. 神話、8. 政治組織、9. 民族とエスニシティ、10. 民族紛争と戦争、11. 開発と文化、12. 移動の民族誌

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

ビデオを見た感想を問うことがあります。

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円

山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円

佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社)2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

履修コード	344601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	けいとく、ひろとく 鷗徳 啓登

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール(規範)が必要である。「社会あるところ法あり。」(法諺)といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。

(1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用

2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。

(1) 民法上の権利-権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容(財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利)、権利の発生・消滅。

(2) 憲法上の権利-自由権(経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権)、平等権、社会権(生存権、教育権、勤労権、労働者の権利)、参政権(選挙権、被選挙権)、受益権(請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権)。

(3) 国家・地方公共団体の権利-国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況と試験。

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版)3,500円

『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種類)、その他参考書等については教場にて説明。

履修コード	344701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	長谷川 日出世 ^{はせがわ ひでよ}

講義のねらい 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール ①講義に関する全段的説明、②社会秩序と法、③～⑥法概念の本質、⑦～⑩法の成り立ちとその分類、⑪～⑬法の解釈、⑭～⑯日本の裁判制度、⑰憲法とは何か、⑱近代憲法の構成原理、⑲日本の憲法史、⑳～㉑日本国憲法の基本原理、(21～26)基本的人権の保障、(27)国会、(28)内閣、(29)司法権、(30)一年間のまとめ

履修上の留意点 日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に教科書を必ず読んでおくこと。

成績評価の方法 学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。

教科書 長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN 4-7923-0399-0

履修コード	344801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	真下 英二 ^{ました えいじ}

講義のねらい そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール 春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。
秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

履修上の留意点 この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。
また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法 成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

教科書等 特に指定しない。
加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年
加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年
他は追って指示する。

履修コード	344901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山村 恒雄

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点 成績評価の方法</p> <p>教科書 参考書等</p>	<p>「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。</p> <p>時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ウェストファリア体制の形成 2 近代の国際政治 3 地球的問題群 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容 5 冷戦と核兵器 6 食糧問題 7 環境破壊と持続可能な開発 8 日本が直面する諸問題 <p>受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。</p> <p>夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。</p> <p>特定の教科書は使用しない。</p> <p>授業中、随時指定。</p>
--	--

履修コード	345101
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	枝松 正行

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等 その他</p>	<p>社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。すなわち、社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手として、つねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように、人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、不連続な飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。その意味で、社会科学論は、政治学や経済学、法律学、社会学、宗教学、倫理学など個別社会科学全体を貫く普遍的で総体的な発展法則の解明を課題とするメタ社会科学であるといつてよい。</p> <p>グローバルリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期にあるが、歴史科学であると同時に未来科学でもある社会科学論こそは、現代社会の変化・生成・発展法則の解明とリスクの回避に究極的な使命を担っている。それゆえ、現代人の歴史的課題とその根本的な解決としての未来社会論を必然的に内包する普遍的な発展法則の理解こそが講義の最終目標となる。</p> <p>講義では、(1～3) アリストテレスの形而上学、(4～6) ヘーゲル論理学、(7～11) マルクス経済学、(12～16) ヴェーバー社会学、(17～19) ドラッカー経営学などの方法に学びつつ、社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブで持続可能なアソシエーション社会への移行を展望する。</p> <p>このような社会科学的視座の習得を基礎として、さらに、(20～24) これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。</p> <p>日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材を取り入れておくこと。</p> <p>前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。</p> <p>とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。</p> <p>大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書、渡辺憲正『イデオロギー論の再構築』青木書店、など。</p> <p>毎回、授業の冒頭で前回授業のカードによる学生諸君の質問・意見・要望に応え、授業に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。</p>
---	---

履修コード	345201
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	^{しんぎょうち} 新行内 ^{こうじ} 康慈

講義のねらい	統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の基本的な考え方を理解し、諸手法を修得することをねらいとしています。
講義の内容・授業スケジュール	前期 1 統計学の概要 2-4 度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7 確率 8 演習 I 9-10 確率変数と確率分布 11 平均・分散と期待値 12 標準化 13 正規分布表 14 演習 II 15 まとめ・補足 後期 16 母集団と標本 17 統計量と標本分布 18-19 点推定と区間推定 20-21 仮説検定 22-24 その他の推定・検定 25 演習 III 26 散布図と相関係数 27-28 回帰分析 29 期末試験 30 まとめ・補足
履修上の留意点	統計学は積み重ねの学習が要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。
成績評価の方法	以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。 ①演習 I～III：45%(各15%) + 期末試験55% ②期末試験：100%
教科書 参考書等	テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。 石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN 4-489-00407-9 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN 4-534-03036-3 永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN 4-8171-0266-7 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN 4-13-042065-8
その他	配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。

履修コード	345301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	鈴木 ^{すずき} 順一 ^{じゆんいち}

講義のねらい 講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

履修上の留意点

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等その他

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）
すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

履修コード	345401
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	鈴木 順一

講義のねらい 講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺伝子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協同学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等その他

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）
すべての「心理学」の授業で、心理学卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

教養教育

履修コード	345501
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和

講義のねらい 地球上には170万種以上の生物種が存在する（生物多様性）。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である（進化）。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される（遺伝子）。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1章：遺伝子と進化(1-3回)、2章：40億年の生物進化(4-6回)、3章：系統と分類(7,8回)、4章：行動と進化(9,10回)、5章：動物の人口論(11,12回)、6章：共生と競争(13,14回)、7章：人類の進化(15-17回)、8章：進化論(18,19回)、9章：生態系(20,21回)、10章：物質の循環(22-24回)、11章：植生遷移(25,26回)、12章：生物多様性(27,28回)、13章：人為と生物(29,30回)

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を文章化した「web版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。

参考書等その他

上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。
講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	345601
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	<small>なかむら よしは</small> 中村 敏枝

講義のねらい 地球上の生物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然の掟に逆らい、自らの歴史をつくろうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 生物の生活
(1-5) 地球の歴史と生命の起源
(6-13) 生態系のしくみ
(後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
(14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
(22-23) 水銀汚染と水俣病
(24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点 義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法 学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書参考書その他 赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
授業時間内に随時紹介します。
授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	346101・346201
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	<small>かとう きよし</small> 加藤 潔

講義のねらい 最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール 前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題(地球温暖化など)について触れます。

成績評価の方法 主に期末試験で評価されます。また前・後期に3回ぐらいつつビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます(各5点程度)。

教科書参考書その他 特に定めない。適宜プリントを配布。
『ニューステージ地学図表 新訂』(浜島書店)
プロジェクター、ビデオ等を使用します。

履修コード	346301
科目名	自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕
担当者名	<small>しのはら まさお</small> 篠原 正雄

講義のねらい 現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義する。個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1~10) 宇宙と地球環境：(自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成) (11~15) 地球環境の変動：(宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動) (16~25) 地球環境問題：(オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題) (26~30) 宇宙と地球の未来：(文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI：地球外文明探査)

成績評価の方法 学年末に行う筆記試験の結果により評価する。S, Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、試験の点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書参考書その他 木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』(東京教学社) 2,300円+税
講義の中で適宜紹介する。
「宇宙」に関する映像を使うことがある。教科書外の事項については適宜プリント等を配布する。

履修コード	346401
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔地球表層の環境〕
 1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)、2. 気候の決定要因 (3~7回)、3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)
 〔人間活動による環境変化〕
 1. 公害問題の変遷 (9回)、2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)、3. 大気汚染 (17回)、4. 酸性雨 (18回)、5. 光化学スモッグ (19回)、6. オゾン層の破壊 (20回)、7. 海洋汚染 (21, 22回)、8. 廃棄物問題 (23, 24回)、9. 資源とエネルギー (25~27回)
 〔自然災害〕：
 1. 気候変動 (28回)、2. 地震とその災害 (29回)、3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法
参考書等
その他の

成績は、定期試験とレポートにて評価します。
 講義中に紹介します。
 講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	346501
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠

講義のねらい

コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に着けることを目標とする。
 教科書に従って以下の項目を解説する。各節を2~3回かけて授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 集合と論理
 §1 集合
 §2 論理
 第2章 関係と写像
 §1 関係
 §2 写像
 第3章 代数系
 §1 代数系
 §2 半群と群
 §3 環と体
 第4章 順序集合と束
 §1 順序
 §2 束とブール代数
 第5章 グラフ
 §1 グラフ
 §2 平面グラフ
 §3 有限オートマトン

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法
教科書

前期と後期の期末試験の結果で評価する。
 石村園子著『やさしく学べる離散数学』共立出版
 2,100円(税込) ISBN978-4-320-01846-4

参考書等
その他の

適宜紹介する。
 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外 国 語 科 目

履修コード	354601・354602
科目名	英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕
担当者名	^{かのつ} 狩野 ^{こういち} 晃一

講義のねらい 最低限の英語を読み・書きが出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール 前後期を通して、基礎的な文法知識を応用しての文章理解に努める。また簡単なメールなどが書ける程度の作文力をつけたい。

履修上の留意点 理由は様々あると思うが、諸君がなぜこのクラスを履修しなければならぬのかということは今一度考えていただきたい。授業には辞書を必ず持参すること。分からない箇所はその都度、必ず質問をすること。分からないことは恥ずかしいことではないのだから。最後まであきらめない姿勢が大切。

成績評価の方法 全授業の3分の2以上の出席と各学期末に行う予定の試験で6割以上をとることが成績評価の最低条件。その他、提出物などにより評価を行う。追試・再試はなし。

教科書 プリントを配布する。

履修コード	354701・354702
科目名	英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕
担当者名	^{こんどう} 近藤 ^{まほり} 真彫

講義のねらい 英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それについての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習

履修上の留意点 必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法 前期と後期の定期試験の成績（50％）と通常の授業での課題（50％）を総合して評価します。

教科書 第1回目の授業で指示します。

履修コード	354901・354902
科目名	英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>まちだ しげお</small> 町田 成男

講義のねらい 英文の読解を中心にして、表現能力も養成することが目的。そのために文法、語法、ニュアンスの違いなどを授業で説明する。また、カセットテープやビデオ教材も随時、使用する。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1 テキストと授業のガイダンスを中心に
 - 2 Conclusions/Reasons
 - 3 Analysis
 - 4 Theory / Proof
 - 5 Controversy
 - 6 Comparison / Contrast
 - 7 Classification
 - 8 Instruction
 - 9 Chronological order
 - 10 Cause & Effect
 - 11 Process
 - 12 Explanation
 - 13 Definition
 - 14 Statistics
 - 15 試験日
 - 16 Going to a University
 - 17 Rain
 - 18 Making Plans
 - 19 What Are You Doing
 - 20 Using a Credit Card
 - 21 Museums
 - 22 The News
 - 23 In the Park
 - 24 Walking
 - 25 At a Hairdresser's
 - 26 Restaurants
 - 27 Hotels
 - 28 Telephones
 - 29 Haddon Hall
 - 30 試験日

成績評価の方法 出席＋発表＋期末試験の総合評価とする。
教科書 後日発表

外国語

履修コード	349601
科目名	英語IIA
担当者名	<small>まえだ おさむ</small> 前田 脩

講義のねらい 英語の文法を学び言語の基本的違いを知り、英語表現により日本語とは別の思考方法を学びます。
講義の内容・授業スケジュール (1) 授業の進め方の説明をします。 英文による自己紹介をします。 (2～7) 23頁～17頁の読解、文法、英作文 (8) テーマによる英文表現 (9～12) 18頁～29頁 (13) テスト (14) テーマによる英文表現 (15～20) 30頁～49頁 (21) テーマによる英文表現 (22～27) 50頁～65頁 (28、29) テーマによる英文表現 (30) テスト 随時小テストを行います。

履修上の留意点 語学なので予習は必須事項です。 日常より英字新聞等に接し、授業に積極的に参加してください。

成績評価の方法 小テスト10% 前期テスト20% 日常授業評価30% 後期テスト40%の配分で評価します。
教科書 English for You (英語総合教本) 朝日出版 1,300, ISBN4-255-15284-5 C1082

履修コード	349701
科目名	英語IIA
担当者名	狩野 晃一

講義のねらい I A で培った英語力を補強し、さらに発展を目指す。特にリスニング力（同時に発音も）を伸ばすことに力を入れる。毎回様々な音源、映像などを用いて授業を行いたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は英語の音を徹底して染み込ませる。いろいろな状況・地域で話される英語を素材にしたい。後期では聞き取りと同時に発音の練習に取り組む。各学期の最後に試験を行う予定。

履修上の留意点 必ず辞書を携帯すること。予習は言うまでもないが、授業後の復習を特に入念にされたい。

成績評価の方法 全授業の3分の2以上の出席と各学期末に行う予定の試験で6割以上をとることが成績評価の最低条件。その他、提出物などにより評価を行う。追試・再試はなし。

教科書 教科書は追って指示する。

履修コード	349801
科目名	英語IIA
担当者名	西田 義和

講義のねらい 英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文をある程度の速度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。

講義の内容・授業スケジュール 前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。

第1回と2回は文の攻略法(文の構造、文の種類その他練習問題等)
 第3回と4回は動詞の攻略法(動詞の活用、自動詞と他動詞その他練習問題等)
 第5回と6回は時制の攻略法(現在時制、過去時制、未来時制その他練習問題等)
 第7回と8回は仮定法の構文攻略法(過程法過去、過程法過去完了その他練習問題等)
 第9回と10回は態の構文攻略法(能動態と受動態、受動態の時制その他練習問題等)
 第11回と12回は不定詞の構文攻略法(各用法とその他練習問題等)
 第13回と14回は動名詞の構文攻略法(動名詞の基本用法その他練習問題等)
 第15回は前期テスト(前期最終回の授業)
 第16回と17回は分詞、分詞構文の攻略法および練習問題等。
 第18回と19回は助動詞の構文攻略法(助動詞の用法と練習問題等)
 第20回と21回は名詞の構文攻略法(様々な名詞の用法練習問題等)
 第22回と23回は冠詞の構文攻略法(定冠詞、不定冠詞とその他練習問題等)
 第24回と25回は代名詞の構文攻略法(様々な代名詞とその他練習問題等)
 第26回と27回は形容詞の構文攻略法(様々な形容詞とその他練習問題等)
 第28回と29回は副詞の構文攻略法(様々な副詞とその他練習問題等)
 第30回前期 後期テスト、(後期最終回の授業)

履修上の留意点 予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法 出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

教科書 現在ではまだ未定です。四月の開講時に指示する。

外国語

履修コード	349901
科目名	英語IIA
担当者名	近藤 真彰

講義のねらい 時事問題を扱いながら、読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で自分の意見を述べるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 【前期】第1週：ガイダンス 第2～13週：Unit 1～7 第14,15週：復習
 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：Unit 8～15 第14,15週：復習
 必ず辞書を持参してください。

履修上の留意点 前期と後期の定期試験の成績(50%)と通常の授業での課題(50%)を総合して評価します。

成績評価の方法 Gillian Flaherty, *For and Against-Expressing opinions and exchanging ideas* (2008, 成美堂) 2200円 ISBN978-4-7919-4621-1

教科書

履修コード	350701
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>おちあい かずあき</small> 落合 和昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『TOEIC』(UNIT 1)
- 第三回 『機能』(UNIT 1)
- 第四回 『TOEIC』(UNIT 2)
- 第五回 『機能』(UNIT 2)
- 第六回 『TOEIC』(UNIT 3)
- 第七回 『機能』(UNIT 3)
- 第八回 『TOEIC』(UNIT 4)
- 第九回 『機能』(UNIT 4)
- 第十回 『TOEIC』(UNIT 5)
- 第十一回 『機能』(UNIT 5)
- 第十二回 『TOEIC』(UNIT 6)
- 第十三回 『機能』(UNIT 6)
- 第十四回 『TOEIC』(UNIT 7)
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『機能』(UNIT 7)
- 第十七回 『TOEIC』(UNIT 8)
- 第十八回 『機能』(UNIT 8)
- 第十九回 『TOEIC』(UNIT 9)
- 第二十回 『機能』(UNIT 9)
- 第二十一回 『TOEIC』(UNIT 10)
- 第二十二回 『機能』(UNIT 10)
- 第二十三回 『TOEIC』(UNIT 11)
- 第二十四回 『機能』(UNIT 11)
- 第二十五回 『TOEIC』(UNIT 12)
- 第二十六回 『機能』(UNIT 12)
- 第二十七回 『TOEIC』(UNIT 13)
- 第二十八回 『機能』(UNIT 13)
- 第二十九回 『TOEIC』(UNIT 14)
- 第三十回 後期試験

※ 『TOEIC TEST 必修単熟語650点レベル』(上記では、『TOEIC』)

『機能別英語表現演習』(上記では、『機能』)

なお、ヒヤリング及び発音練習は毎回行う。

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は、1回の量は少ないが、ほぼ毎回提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

履修上の留意点
成績評価の方法

教科書

- 1) 『TOEIC TEST 必修単熟語650点レベル』 鶴見書店 950円、ISBN4-7553-0341-9
- 2) 『機能別英語表現演習』 英宝社 1700円
- 3) プリント

外国語

履修コード	350801
科目名	英語ⅡB
担当者名	佐藤 <small>さとう あやこ</small> アヤ子

講義のねらい TOEFLを念頭に入れて、英語のパラグラフの読み方を学び、速読の練習をします。英語力は単語力でもあるので語彙習得にも心がけます。

講義の内容・授業スケジュール 毎回プリントを配布し、そのプリントに沿って授業を進めます。授業前に前回は行った授業の単語テストをします。

履修上の留意点 毎回単語テストがありますので、復習が必然です。よって、欠席すると総合点が減ります。

成績評価の方法 日常の小テスト、及び前後期の試験結果を合わせて総合的に判断します。

教科書 プリントを使用。

その他 辞書を持参のこと。

履修コード	350901
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>かのう こういち</small> 狩野 晃一

講義のねらい IBを基礎としてより高度な文章に触れる。

講義の内容・授業スケジュール 前期は文法等の基礎を固め、後期はそれを土台に文章読解へと進む。

履修上の留意点 辞書を持参すること。紙製のものがよい。当然、予習復習を行う。特に後者に重点を置くこと。

成績評価の方法 全授業の3分の2以上が成績評価の対象となる。年2回の試験と授業態度で判断する。試験は60点以上が合格基準。

教科書 未定。

履修コード	351001
科目名	英語II B
担当者名	^{ささき ひかし} 佐々木 隆

講義のねらい 一年次の英語力をさらに向上させ、英文の大意をつかめるようにすること、速読を目標とする。

- 講義の内容・
授業スケジュール
- 1 リーディングと解釈
 - 2 リーディングと解釈
 - 3 リーディングと解釈
 - 4 リーディングと解釈
 - 5 リーディングと解釈
 - 6 総合理解と解釈
 - 7 総合理解と解釈
 - 8 総合理解と解釈
 - 9 総合理解と解釈
 - 10 総合理解と解釈
 - 11 テクニカル・タームと解釈
 - 12 テクニカル・タームと解釈
 - 13 テクニカル・タームと解釈
 - 14 テクニカル・タームと解釈
 - 15 テクニカル・タームと解釈
 - 16 リーディングと解釈
 - 17 リーディングと解釈
 - 18 リーディングと解釈
 - 19 リーディングと解釈
 - 20 リーディングと解釈
 - 21 リスニングと解釈
 - 22 リスニングと解釈
 - 23 リスニングと解釈
 - 24 リスニングと解釈
 - 25 リスニングと解釈
 - 26 テクニカル・タームと解釈
 - 27 テクニカル・タームと解釈
 - 28 テクニカル・タームと解釈
 - 29 テクニカル・タームと解釈
 - 30 テクニカル・タームと解釈

履修上の留意点 辞書は必携
成績評価の方法 3分の2以上の出席（原則）と試験で平均60点以上を規準とする。出席は重視する
教科書 プリント教材を配布する。授業中に配布する。

履修コード	355201・355202
科目名	英語II A〔再クラス〕・英語II B〔再クラス〕
担当者名	^{かわさき こうたろう} 川崎 浩太郎

講義のねらい IA、IBを基礎として総合的な英語力の向上を目的とします。リーディングに関しては、英語を第二言語とする読者向けの英字新聞を教材として、比較的平易な英文を、大意の把握に努めつつ、より速く読む訓練を行っていきます。ライティングに関しては、記事の内容に関して英語で意見を書いたり、文中で用いられている構文や熟語等を応用し、英作文の練習などを行う予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

(1)オリエンテーション (2～15) Unit1～11 (15～30) Unit12～22

履修上の留意点
成績評価の方法

毎時間必ず辞書を持ってくること。

出席、発表50%、授業中のレポートおよび小テスト50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

大月実『News for You2008/2009 Edition ーやさしいメディア英語』 成美堂 ¥1800 (税別) I
SBN978-4-7919-4631-0

履修コード	355301・355302
科目名	英語IIA〔再クラス〕・英語IIB〔再クラス〕
担当者名	岸本 茂和

講義のねらい Back-to-Basics! ー基本に帰ーことをこのクラスの標語としたい。短い文章をよみながら、英語学習の Basics であるところの「5文型」を徹底してゆく。

講義の内容・授業スケジュール (1) Orientation (2~7) Chapter1~3 (8) 《遊び時間》英語固有名詞について〈プリント配布〉(9~14) Chapter4~6 (15) 中間試験 (16~21) Chapter7~9 (22~23) 《遊び時間》英語慣用句について〈プリント配布〉(24~29) Chapter10~12 (30) 最終試験

履修上の留意点 予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可とする。授業には英和辞書をかみならず携帯のこと。電子辞書も可。

成績評価の方法 中間試験、最終試験、出席状況を基本に評価する。

教科書 『叡智のかがやきー読んでおきたい12編』(朝日出版社) ¥1,700

履修コード	355401・355402
科目名	英語IIA〔再クラス〕・英語IIB〔再クラス〕
担当者名	笹倉 真夫

講義のねらい 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1~5) AMAZING ANIMALS、(6~10) YOUR AMAZING BODY、(11~14) OUR AMAZING UNIVERSE、(15) テスト、(16~20) AMAZING FIRSTS、(21~25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS、(26~29) AMAZING ODDS & ENDS、(30) テスト

履修上の留意点 予習・復習重視、辞書持参。

成績評価の方法 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書 M.Vogel 『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ¥1,400

履修コード	355501・355502
科目名	英語IIA〔再クラス〕・英語IIB〔再クラス〕
担当者名	本間 俊一

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15154-7

履修コード	351401
科目名	ドイツ語IA
担当者名	清水 修

講義のねらい	ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。 また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということ considering、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。 そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。
履修上の留意点	必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。 したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。
成績評価の方法 教科書 参考書等	普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。 早川東三『完全ドイツ文法(改訂版)』(朝日出版社) ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)

履修コード	351601
科目名	ドイツ語IB
担当者名	篠原 敏昭

講義のねらい	簡単なドイツ語を耳で聞き、目で見、口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。
履修上の留意点	欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。
成績評価の方法	毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	『モデル1 問題発見のドイツ語(改訂版)』(三修社) 2,600円 辞書・参考書は授業の中で指示します。 ビデオを活用した授業をおこなう予定です。

履修コード	351801
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	清水 修

講義のねらい	ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。テキストには日本のマンガのドイツ語訳やグリム童話、料理のレシピなどを使用する予定です。
履修上の留意点	ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。 受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。
成績評価の方法 教科書 参考書等	主に平常点で評価します。 プリントを用意します。 授業中に指示します。

外国語

履修コード	351901
科目名	ドイツ語II B
担当者名	<small>しのはら としあき</small> 篠原 敏昭

講義のねらい 1年次で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、聞き取り、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用い、ビデオ教材を使って授業をおこないますが、ドイツ人の行動様式や考え方なども学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験(4級)の受験も勧めています。後期には検定試験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点 課題を必ずこなしてくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってこること。

成績評価の方法 毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書 『CD付き モデル2』(三修社) 2,700円

参考書等 授業の中で指示します。

その他 ビデオを活用する授業をおこなう予定です。

履修コード	355601・355602
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕・ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>みなみ</small> 南 はるつ

講義のねらい 比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール 前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞
後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 南道子他著『ドイツ語の上にも一年』(同学社)

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	355701・355702
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕・ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>もとばし うきさとう</small> 本橋 右京

講義のねらい 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書 山本淳『新々・じゃあ、またあした!』(同学社) 2006年刊 2500円+税
ISBN8102-0723-4

履修コード	352001
科目名	フランス語IA
担当者名	<small>たかはし あけみ</small> 高橋 明美

講義のねらい 初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1)発音と読み方のルール(2)名詞の性・数(3)基本動詞(4)形容詞(5)否定文・疑問文(6)近接未来・近接過去(7)疑問詞
後期：(1)比較級・最上級(2)さまざまな不規則動詞(3)命令法(4)非人称構文(5)複合過去(6)目的語人称代名詞(7)関係代名詞(8)代名動詞

成績評価の方法 期末に行う試験のほか、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書 小野ゆり子ほか著『マ・グラメール』 白水社 2300円

履修コード	352201
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	木下 雄介

講義のねらい フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール おおむね教科書の章立てにそって授業を進めます。
第1回 一般的な説明、辞書の紹介、発音。
第2回以降 2回で1課のペースで授業を進める。

履修上の留意点 初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもありません。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりだから、予習・復習を怠らなければ、修得が難しいわけではない。学生諸君の努力に期待します。

成績評価の方法 期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書 『サン・ファッソン』（クリスチャン・ボームルー、高橋信良、朝日出版、2635円、ISBN978-4-255-35180-3）

参考書等 仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は、初心者には向かないので使用しないこと。

- ・『ジュネス仏和辞典』（大修館）
- ・『新スタンダード仏和辞典』（大修館）
- ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）
- ・『ロワイヤル仏和中辞典』（旺文社）
- ・『クラウン仏和辞典』（三省堂）

履修コード	352401
科目名	フランス語ⅡA
担当者名	高橋 明美

講義のねらい 初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

講義の内容・授業スケジュール 出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。
前期：1年次の文法の復習、代名動詞、不規則動詞の活用、中性代名詞、半過去、受動態、現在分詞とジェロンディフ、条件法
後期：接続法、文章読解

成績評価の方法 出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書 清岡智比古 著『ル・フランセ・クレール』白水社 2300円

履修コード	352501
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	木下 雄介

講義のねらい 1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール 平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。
第1回 テキストの紹介・一般的な説明。
第2回以降 説明をまじえながら、テキストを読み進める。

履修上の留意点 予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。

成績評価の方法 平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。

教科書 最初の授業のときにプリントを配布します。

履修コード	355801・355802
科目名	フランス語ⅠA〔再クラス〕・フランス語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	<small>はせがわ みつあき</small> 長谷川 光明

講義のねらい ビデオ教材を用いて初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を習得することを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／アルファベ (2) つづり字の読み方 (3-30) 人称代名詞・基本動詞の活用・名詞の性・数詞／冠詞・形容詞／第一群規則動詞の活用・所有形容詞・否定文／指示代名詞／疑問代名詞・中性代名詞／部分冠詞・数量の表現／命令形・非人称構文／比較級／代名動詞／複合過去／未来形
*毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期末と後期末計二回行います。

履修上の留意点 基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。
教科書 藤田裕二『新・東京ーパリ、初飛行』(駿河台出版社) 2,310円

履修コード	355901・355902
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕・フランス語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	<small>はせがわ みつあき</small> 長谷川 光明

講義のねらい ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／つづり字の読み方の復習 (2-30) 文法(複合過去・代名動詞／半過去・大過去／関係代名詞・命令形・補語人称代名詞／現在分詞・ジェロンディフ・疑問代名詞／受動態／強調構文・中性代名詞／条件法／接続法／間接話法・時制の一致)
*毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点 基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期、後期試験及び平常点。
教科書 藤田裕二『彼女は食いしん坊! 2』(朝日出版社) 2,625円

履修コード	352601・352801
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	<small>しおけた しんいちろう おう そう</small> 塩旗 伸一郎・王 聡

講義のねらい 1. 中国語の音声的魅力を味わい、簡単な口語を運用できるようになること。
2. 中国語の特徴や、表現の背景にある文化、ものの考え方や世界観を知ること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がる。

講義の内容・授業スケジュール 「中国語ⅠA」と「中国語ⅠB」は連続しており、同一教科書で週2回学ぶ。ⅠAで中国語のルールを理解し、ⅠBで運用の練習を行なう。
発音(1~8)、1課~6課(9~26)、前期末試験(27)、7課~10課(28~39)、後期中間試験(40)、11課~13課(41~49)、補充プリント(50~53) 後期末試験(54)

履修上の留意点 ⅠAとⅠBは必ずセットで履修すること。
音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。
携帯メールは禁止。

成績評価の方法 定期試験(20×3) + 小テスト(20) + 平常点(20) - 欠席点。
「平常点」≠「出席点」。坐っているだけで評価されることはない。
欠席は年間3回を超えると10点ずつ減点。

教科書 尹景春・竹島毅『中国語はじめの一步』(白水社) 2200円 + 税

外国語

履修コード	353001
科目名	中国語IIA
担当者名	秋元 翼

講義のねらい 一年次で行った会話的練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税

履修コード	353111
科目名	中国語IIB
担当者名	王 聡

講義のねらい 1年次に習得した内容を復習しながら、中国語の実用会話・基本文法を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期

第1回 ガイダンス・復習

第2回～第13回 会話：中国人の姓・中国人の呼び方・中国人の金銭感覚・中国人同士の付き合い方・中国の地名・中華料理・中国人の時間感覚・中国人のお土産習慣・春節のいろいろ

文法：形容詞述語文・修飾語いろいろ・連動文・動詞の重ね形・助動詞「想」・所在文・方位詞・時刻と時間量・前置詞・副詞

第14回～第15回 復習と前期テスト

後期

第1回 復習・練習問題

第2回～第13回 会話：中国の一人っ子政策・中国の台所事情・中国の住宅事情・中国の交通事情・中国人の休暇の過ごし方・中国人昼寝の習慣・中国人の寝方・中国の列車事情

文法：アスペクト助詞「了」・助動詞「会」「能」・語気助詞「了」・助動詞「可以」・結果補語・アスペクトの将来相と経験相・動作の進行・動量補語・様態補語・程度補語・方向補語・アスペクト助詞「着」

第14回～第15回 復習と後期テスト

履修上の留意点 辞書を用意し、予習・復習をちゃんとする

成績評価の方法 前期テスト40%、後期テスト40%、平常点（出欠席状況・授業態度など）20%。

教科書 三瀧正道・楊光俊『たのしく話そう中国語』（CD付）（朝日出版社）2205円

外国語

履修コード	356001・356002
科目名	中国語IA〔再クラス〕・中国語IB〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男

講義のねらい 正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点 中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書 本間史・孟広学著『中国語ポイント42』（白水社）

履修コード	356101・356102
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	曹 泰和 <small>そう たいわ</small>

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
 講義の内容・ 基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通
 授業スケジュール じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。
 履修上の留意点 元気よく、積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
 教科書 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2100円＋税
 参考書等 開講時に説明する。
 その他 中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

履修コード	356201・356202
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕・中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>

講義のねらい 一年次で行った会話的練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。
 講義の内容・ 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回
 授業スケジュール で4課ずつ進むことになります。
 履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。
 成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。
 教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税

履修コード	353401
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	大岩 功 <small>おおいわ いさお</small>

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
 講義の内容・ 前期14回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。後期14回で目的語代名詞、不規則
 授業スケジュール 活用の動詞、再帰動詞等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
 （上記スケジュールは場合により変動することがある）
 履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常
 点の減点対象となります。
 成績評価の方法 前期末、後期末の試験（計2回）の得点＝70%、小テスト（5～6回程度）の得点＝20%、出席
 率、授業参加への積極性等の平常点＝10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
 教科書 『Plaza Mayor I』青砥清一他著 朝日出版社
 参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
 『やさしいスペイン語文法』大岩功著、三修社

履修コード	353601
科目名	スペイン語IB
担当者名	<small>なかやま 直次</small> 中山 直次

講義のねらい	初めて学ぶ受講生が対象なので、まずはスペイン語の世界に親しみ、楽しみながらスペイン語の総合力を身につけることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	一通り発音・アクセント・イントネーションなどの練習（1～5）をしたあと、平易なスペイン語で書かれた童話を読みます（6～）。単に通読するのではなく、表現文の音読・暗唱、文法理解の確認作業、語句の置き換えなどによる応用演習などを行います。
履修上の留意点	初習の語学は、途中が抜けると続けにくくなります。なるべく欠席しないようにしてください。また、必ず予習をして授業に臨むように心がけてください。
成績評価の方法	平常授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします（いわゆる学期末定期試験は行いません）。
教科書 参考書等	中山著『スペイン語が面白いほど身につく本』（中経出版） 辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）
その他	特に上記の本でなくても構いませんが、辞書のほかに手頃な自習参考書を一冊併用することをお勧めします。 常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。

履修コード	353701
科目名	スペイン語IIA
担当者名	<small>おおいわ 功</small> 大岩 功

講義のねらい	スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	過去未来時制、命令法等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。（上記スケジュールは場合により変動することがある）
履修上の留意点	必ず予習しておくことを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験（計2回）の得点=70%、小テスト（5～6回程度）の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書 参考書等	『やさしいスペイン語文法』大岩功著（三修社）他に長文読解用のプリント教材を使用します。 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

履修コード	353801
科目名	スペイン語IIB
担当者名	<small>なかやま 直次</small> 中山 直次

講義のねらい	スペイン語文法の体系を、できる限り能率よく修得することをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、場面別にまとめられた口語表現を使って音読や訳読の練習をします。次に、その会話文から取り出した文法を解説します。最後に、関連問題を解いたり、応用演習を行ったりします。文法（特に動詞）学習の項目の配分としては、前期に直説法現在・両過去を、後期に同未来・接続法・命令法を扱う予定です。
履修上の留意点	外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし気長に取り組んでください。
成績評価の方法	平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。（いわゆる学期末定期試験は行いません）。
教科書 参考書等	中山著『トーレス一家の人たちと』（芸林書房） 辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思います。ただ、参考書類を一冊も持っていない人は、何か手頃な自習参考書を一冊購入し、予習・復習の際に常時参照することをお勧めします。
その他	常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。

外国語

履修コード	356401・356402
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>くりばやし ゆき絵</small> 栗林 ゆき絵

講義のねらい	基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に活用できることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は文字と発音(1)、主語・名詞句(2)、現在形(3-15)、後期は過去形(1-12)、現在完了(13)、復習と会話表現(14-15)を中心に学習する予定。毎回時間の初めに小テスト(活用・単語・作文)を実施。
履修上の留意点	少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2～4問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。
成績評価の方法	平常点(毎時間の小テスト含む)30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。
教科書 参考書等	初回の授業の授業で指示(プリント教材配布予定)。初回は必ず出席のこと。 『ポケットプログレッシブ西和・和西語辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

履修コード	356501・356502
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕・スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>くりばやし ゆき絵</small> 栗林 ゆき絵

講義のねらい	現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。 最終的には、活用表と辞書があれば、会話文から新聞記事まで読みこなせることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	活用・文法事項・重要表現の確認のあと、新聞記事など生のスペイン語教材を毎回1記事ずつ読んでいく(前後期1-15)。新聞記事は最初は見出しのみの読解、その後5文程度の記事、最後にはA4ページ程度の記事を読む予定。 最終授業時は和訳提出の課題を実施する。
履修上の留意点	最初は難しく感じると思うが、できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。試験は行わないので、日々の授業で地道に力をつけていってほしい。 辞書(和西単語集つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。
成績評価の方法	平常点90%、課題提出(前後期末各1回)10%。
教科書 参考書等	プリント配布予定(初回授業で指示します)。 〈辞書〉『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

履修コード	353901
科目名	ロシア語IA
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖

講義のねらい	1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
成績評価の方法	4-9月はイントネーションや発音に力点をおき、10-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
教科書 参考書等	試験は行わず、平常点で評価します。 杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円 『露和辞典』

履修コード	354001
科目名	ロシア語I B
担当者名	廣田 英靖 <small>ひろた ひでやす</small>

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

4-7月はイントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

試験は行わず、平常点で評価します。

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円

『露和辞典』

履修コード	354101
科目名	ロシア語II A
担当者名	廣田 英靖 <small>ひろた ひでやす</small>

講義のねらい

ロシア語IAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文(関係代名詞、形動詞、副動詞など)をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

4月、5月、6月、7月-パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、9月、10月、11月、12月-インターネットによるニュースなどから平易で、興味の持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教場にてプリントを配布。

『露和辞典』

成績評価の方法
教科書
参考書等

外国語

履修コード	354201
科目名	ロシア語II B
担当者名	廣田 英靖 <small>ひろた ひでやす</small>

講義のねらい

ロシア語IBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット(小話)や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

4月、5月、6月、7月-パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、9月、10月、11月、12月-インターネットによるニュースなどから平易で、興味の持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教場にてプリントを配布。

『露和辞典』

成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	356601・356602
科目名	ロシア語ⅠA〔再クラス〕・ロシア語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	<small>すぎやま ひでこ</small> 杉山 秀子

- 講義のねらい**
- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
- 4-7月はイントネーションや発音に重点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
- 試験は行わず、平常点で評価します。
- 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
『露和辞書』
- 講義の内容・授業スケジュール**
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	356701・356702
科目名	ロシア語ⅡA〔再クラス〕・ロシア語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	<small>すぎやま ひでこ</small> 杉山 秀子

- 講義のねらい**
- 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
 - 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
 - やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
 - かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
 - 中等文法のエッセンスを勉強をします。
 - 4-7月 基礎文法の復習
 - 9-12月 中等文法を学び多様なロシア語文に馴れるようにする。
- 出席と平常点を重視します。
- 既習の教科書と文法表。
『露和辞書』
プリント配布。教場にて指示します。
- 成績評価の方法**
教科書
参考書等
その他

履修コード	351201
科目名	英会話I
担当者名	ロビン, G. F.

講義のねらい This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法 According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書 *Fifty-Fifty Student Book 1*, Warren Wilson Roger Barnard, ISBN-10 9620056655 10 digit

履修コード	354301
科目名	英会話II
担当者名	ロビン, G. F.

講義のねらい This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, and they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法 According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教科書 INSIDE ENGLISH HIGH BEGINNER MACMILLAN ISBN-4-84585489-2

履修コード	351301
科目名	英語L L I
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい 英語の母音、子音の発音、アクセント、イントネーション等を学習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目標とします。

具体的には、日常の様々な場面を再現したスキットをビデオで見ながらリスニング能力の向上をはかりつつ、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行っていきます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

(1)オリエンテーション (2~ 15) Unit1 ~10 (15~ 30) Unit11 ~20

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法

恥ずかしがらずに大きな声で発音するよう努めて下さい。
出席点、発表点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』(マクミランランゲージハウス) ¥2000 (税別)
ISBN4-89585-304-7

履修コード	354401
科目名	英語 L L II
担当者名	林 明人 <small>（はやし ありと）</small>

講義の内容・
授業スケジュール リスニング用のテキストを使用します。CDがテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。

1	ユニット1	(問題 1, 2)	16	ユニット5	(問題 5, 6)
2	ユニット1	(問題 3, 4)	17	ユニット6	(問題 1, 2)
3	ユニット1	(問題 5, 6)	18	ユニット6	(問題 3, 4)
4	ユニット2	(問題 1, 2)	19	ユニット6	(問題 5, 6)
5	ユニット2	(問題 3, 4)	20	ユニット7	(問題 1, 2)
6	ユニット2	(問題 5, 6)	21	ユニット7	(問題 3, 4)
7	ユニット3	(問題 1, 2)	22	ユニット7	(問題 5, 6)
8	ユニット3	(問題 3, 4)	23	ユニット8	(問題 1, 2)
9	ユニット3	(問題 5, 6)	24	ユニット8	(問題 3, 4)
10	ユニット4	(問題 1, 2)	25	ユニット8	(問題 5, 6)
11	ユニット4	(問題 3, 4)	26	ユニット9	(問題 5, 6)
12	ユニット4	(問題 5, 6)	27	ユニット9	(問題 1, 2)
13	ユニット5	(問題 1, 2)	28	ユニット9	(問題 3, 4)
14	ユニット5	(問題 3, 4)	29	ユニット10	(問題 1, 2)
15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点
成績評価の方法

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。
試験（40％）②発表（30％）③出席（30％）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書

4月に教場で指示します。

4. 保 健 体 育 科 目

履修コード	341201
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠

講義のねらい 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ（テスト）

**成績評価の方法
教科書**

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	341301
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	みづき 晴三 三幣 晴三

講義のねらい 健康の概念はあまりにも固定観念や独善的な考え方に支配されている。この講義ではそうした考え方にメスを入れてどうしたら本当の健康を手に入れることができるかを検証する。また日常生活で行うことができる「マイエクササイズ」を実技をしながら説明する。スポーツは現在話題になっているスポーツについて説明し、スポーツの持つ意義をどうしたら自身自身の人生に生かすことができるかを考える。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1限：講義のオリエンテーション<講義の進め方の説明>
- 2限：健康概念の変遷
- 3限：健康と固定観念1
- 4限：〃 2
- 5限：健康と生き方1
- 6限：〃 2
- 7限：日常生活での留意点1
- 8限：〃 2
- 9限：小テスト<健康>
- 10限：スポーツ概念の変遷
- 11限：オリンピック1
- 12限：〃 2
- 13限：ワールドカップ
- 14限：小テスト<スポーツ>
- 15限：総合テスト

**履修上の留意点
成績評価の方法**

出席は毎時限とる。教科書などはないが、配布するプリントを中心に授業を進める。
出席点と小テスト・総合テストを総合的に評価する。特に総合テストは必ず受けなければならない。

**教科書
参考書等**

指定なし
指定なし

履修コード	340201・340301
科目名	健康・スポーツ実習（バドミントン）〔再クラス〕
担当者名	秋田 浩一

講義のねらい	1.補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。 2.バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。 また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。 (1)フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。 (2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット 4時限目：反面での簡易ゲーム 5時限目：＃ 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ 8時限目：総合練習・ゲーム（シングルス） 10時限目：＃ 11時限目：総合練習・ゲーム（ダブルス） 15時限目：＃
履修上の留意点	1.定員は約30名とする。 2.実技は本校第1体育館で行なう。 3.服装は身軽に動作できるものがよい。 4.シューズは体育館専用のものを用意する。 5.その他のものは用意しなくてもよい。
成績評価の方法	出席率70%、総合評価30%で行なう。

履修コード	340201・340301
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕
担当者名	大石 武士

講義のねらい	ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	講義の内容・授業スケジュール 1時限目：オリエンテーション 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム 10時限目～14時限目：ゲーム 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
成績評価の方法	評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	340501
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）〔再クラス〕
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他の 他時限・他種目を含め、施設・用具の都合、授業効率のため、受講人数を30名程度に制限する。受講希望が多数の場合は、抽選にて受講者を決定する。したがって、1時限目に出席しないものは、受講できない可能性があるので注意すること。

履修コード	340501
科目名	健康・スポーツ実習（バドミントン）〔再クラス〕
担当者名	<small>みづき はるみ</small> 三幣 晴三

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校教育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。＜BR＞本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 3 時限目：スマッシュの基本技術／ネット際のプレー技術
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明 正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装＜BR＞ シューズ：運動靴（体育館用として中履きのシューズを使用すること）

**成績評価の方法
教科書**

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。
出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

Ⅱ. 専 門 教 育 科 目

経営学科フレックスB

履修コード	328001
科目名	経営学
担当者名	みやぎ 徹

講義のねらい

経営学、経営経済学という用語は英語圏の Business Administration、ドイツ語圏の Betriebswirtschaftslehre の訳語であり、企業を認識対象として選択することによって立場を明らかにしている。今日の新しい経営学、とりわけ、経営経済学は組織の経済理論（プロパティ・ライツ理論、取引コスト理論、プリンシパル・エージェント理論）を基礎としてもものすごい勢いで展開されている。

テキストのタイトルは「新制度派経済学による組織入門」と題されているが、上述の立場に立って作られている最新の経営学の教科書である。

この講義では、主として、下記の授業計画の要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

<2008年度『経営学』授業計画>

- 1 経営学とは何か
- 2 アメリカ経営学とドイツ経営経済学の小史
- 3 企業制度
- 4 プロパティ・ライツ理論
- 5 取引コスト理論
- 6 プリンシパル・エージェント理論
- 7 契約の理論
- 8 企業間関係、カルテル、ライセンス供与、ジョイント・ベンチャー、コンソーシアム、資本参加、フランチャイズ、系列
- 9 個人企業、株式会社、公企業
- 10 機能別組織、事業部制組織
- 11 リーン生産
- 12 モジュール
- 13 リオーガニゼーション・コスト

履修上の留意点
成績評価の方法

テキストにそって講義し、要点を板書するが、受講生は口述を書き留める能力を磨く必要がある。期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

教科書

宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）2007（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer - Poeschel, 1997）

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1983:1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編著『経営学総論』（第2版）（成分堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編著『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹「企業統治の研究の統合の一試論」『駒大経営研究』第31巻第1・2号、2000
- 8 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書－組織の経済理論の応用－』（税務経理協会）2005（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 9 宮城徹「企業文化と組織の経済理論」遠山正朗編著『ケースに学ぶ企業の文化』（敬愛大学学術叢書）（白桃書房）2003

履修コード	328101
科目名	簿記学
担当者名	小田 ^{おだ みさお} 幹雄

講義のねらい 簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた、基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は、日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習のいろいろな基礎である資産・負債・資本の概念や、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義の際のテストの点数および、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意すること。

教科書

羽瀧信宏監修『簿記テキスト―商業簿記―初級編』(共栄出版) 2,000円程度
中村義彦編著『基本簿記演習』(プレスウェーブ) 1,524円+税

履修コード	328301
科目名	簿記学
担当者名	大野 ^{おのの きんた} 満奈

講義のねらい 簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 簿記・会計の意義と目的, 2. 企業の財政状態―貸借対照表, 3. 企業の経営成績―損益計算書, 4. 取引と仕訳, 5. 勘定記入と元帳の締め切り, 6. 帳簿・伝票・証ひょう, 7. 試算表の作成(1), 8. 精算表の作成(1), 9. 現金・預金, 10. 小口預金, 11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳, 12. 総合復習, 13. 総合復習

後期

1. 商品有高帳, 2. 売掛金・買掛金と人名勘定, 3. 有形固定資産の取得と売却, 4. 資本金と引出金, 5. 試算表の作成(2), 6. 売上原価の計算と決算仕訳, 7. 貸し倒れの見積りと減価償却, 8. 精算表の作成(2), 9. 有価証券, 10. 手形取引, 11. 費用・収益の見越しと繰り延べ, 12. 精算表の作成(3), 13. 総合復習

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級(一橋出版)

履修コード	328501
科目名	経済学概説
担当者名	三好 向洋

講義のねらい 経済問題・経済政策を取り扱った新聞記事を理解できるようになることを目的とする

講義の内容・授業スケジュール 前期
費用(コスト)と効用(2)・価格差別(3)・ライブドア事件・金融商品取引法(4-6)・公正取引委員会・独占禁止法(7-9)・解雇規制と失業(10)・農業と貿易(11)・住宅・借地借家法(12)・まとめ(13)・試験(14)・試験返却と解説(15)

後期
GNPとGDP(2)・長期の生産と成長(3)・物価と金融(4)・中央銀行(5)・失業と短期の経済変動(6-7)・総需要と総供給(8-9)・財政政策と金融政策(10-12)・まとめ(13)・試験(14)・試験返却と解説(15)

成績評価の方法 授業内試験の成績と数回のレポート・授業内試験では授業で支持した問題を出题する
教科書 使いません
参考書等 前期
(著者)ポール・クルーグマン・ロビン・ウェルス (書名)クルーグマンミクロ経済学 東洋経済新報社 5, 040円 ISBN:978-4492313831
後期
(著者)グレゴリー・マンキュー (書名)マンキュー経済学〈2〉マクロ編 東洋経済新報社 4 200円 ISBN:978-4492313534

履修コード	328601
科目名	会計学
担当者名	岩淵 昭子

講義のねらい 会計の目的は、一般的に複式簿記の手法等によって、組織(主に企業)の経営成績および財政状態を明らかにして、企業を取り巻く利害関係者に会計情報を提供することにあります。簿記学は主に帳簿記入のルールを学習するのに対し、会計学は主に理論的なフレームワークや会計制度を学習します。会計学は、組織(主に企業)の経営活動を貨幣金額で表したデータの意味を理解することに役立ちます。本講義では、会計学を経済社会の動きとも関連して学習します。

講義の内容・授業スケジュール 1. ガイダンス、総論、2. 会計の仕組み、3. 企業会計の理論的特徴(会計公準、会計原則)、4. 企業会計制度、5. 資産会計、6. 負債会計、7. 資本会計、8. 損益会計、9. 財務諸表の作成、10. 連結財務諸表

履修上の留意点 簿記学の知識があると、会計学を理解することが容易になります。

成績評価の方法 中間試験、期末試験、出席、小テスト、受講態度などを総合的に評価します。
教科書 『現代会計学 [第9版]』、新井清光著・川村義則補訂、中央経済社、2,600円+税

履修コード	328711
科目名	経営数学A
担当者名	飯田 哲夫

講義のねらい 企業経営上の問題を扱う際に用いられる、定量的な分析や合理的な意思決定のための数論的方法論を理解する上で、ある程度の数学的知識を持っていることが望まれる。経営数学Aでは、定量的な分析や合理的な意思決定の方法論を扱う経営科学関連の専門科目に関係する数学的知識について、高校で習った数学の復習を含めて、基本的な内容を主に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 授業内容は、基本的な関数、数列、極限、級数、ベクトル、行列などである。授業は講義形式で行う。授業では、数学がどのように用いられるのかを理解するために、適宜、応用例を紹介する。授業スケジュールは、以下のとおりである。(1)イントロダクション、(2-5)数と関数、(6-7)数列、(8-9)極限、(10)級数、(11-13)ベクトルと行列、(14-15)逆行列とその応用。

履修上の留意点 講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法 中間試験と期末試験を行い、それらの成績で評価する。
教科書 適宜、プリントを配布する。

履修コード	328721
科目名	経営数学B
担当者名	<small>いいた てるお</small> 飯田 哲夫

講義のねらい	経営数学Bでは、経営数学Aに引き続き、定量的な分析や合理的な意思決定の方法論を扱う経営科学関連の専門科目に関する数学的知識を、高校で習った数学の復習を含めて、さらに学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	授業内容は、利益の最大化や費用の最小化を行う際に用いられる微分法とその応用（微分係数、導関数、微分の方法、高次導関数、極値など）を中心とする。授業は講義形式で行う。授業では、数学がどのように用いられるのかを理解するために、適宜、応用例を紹介する。授業スケジュールは、以下のとおりである。(1)イントロダクション、(2-6)微分法、(7-9)微分法の応用、(10)多変数関数、(11-12)多変数関数の微分、(13-15)多変数関数の微分の応用。
履修上の留意点	講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。
成績評価の方法 教科書	中間試験と期末試験を行い、それらの成績で評価する。 適宜、プリントを配布する。

履修コード	328801
科目名	情報処理基礎A
担当者名	<small>ももづか かおる</small> 桃塚 薫

講義のねらい	この講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの基礎的リテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ●(1)Windowsの基本操作（電源の入れ方、ファイル・フォルダの概念、ハードディスクなど各種記憶装置の名称・構造と使い方、ホームディレクトリの使用方法） ●(2)電子メール（Active! Mail）の使い方（電子メールの送受信、転送、保存、削除、ファイルの添付、あて先とCC、BCC、ネチケット（成りすまし、デマメールなど）の説明 ●(3)Webの基礎知識（情報検索の方法） ●(4～7)ワープロソフトの基本操作（日本語入力、全角文字と半角文字、ドキュメンテーションの保存、装飾、図・表などの作成と挿入、文字列の検索と置換、箇条書き、印刷方法、実際に複数ページにまたがるドキュメンテーションを作成） ●(8～15)表計算ソフトの基本操作（表計算ソフトの概念、基本用語の説明、データ入力方法の説明、データの保存、四則演算、データの修正、数式のコピー（相対参照と絶対参照）、レイアウトの変更、印刷、平易な統計・論理関数の使い方(合計、平均、条件)、各種グラフの作成、データベースの概念、フィールドとレコード、データの並べ替え、列と行の表示と非表示、その他の関数、表計算ソフトを利用した総合作成演習)
履修上の留意点	実習授業のため、遅刻・欠席をしないでください。毎回出席を取ります。授業中に数回、課題を提出してもらいます。
成績評価の方法 教科書 その他	出席点(50%)、課題提出状況(25%)、期末レポート(25%)による相対評価。 毎回プリントを配布。(同じ内容のPDFファイルをウェブ上で閲覧できる) ※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

履修コード	328901
科目名	情報処理基礎A
担当者名	依田 聖

講義のねらい	コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生生活に活用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	大学あるいは企業でPCを道具（情報収集、情報伝達、レポートの作成等）として使う基本的な力（コンピュータ・リテラシー）を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は（1）PCの操作（Windowsの基本操作）（2）WWW（ブラウザの使用法、情報検索・収集）（3）電子メール（送受信、添付ファイル、アドレス帳）（4）ワープロ（操作法、文書作成、印刷）
履修上の留意点	講義にはメールを活用（講義録の送付と課題の提出）する。 本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとります）。
成績評価の方法	出席（毎回の課題を提出）・レポート40%、試験60%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。
教科書	太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』（サイエンス社）2004年 1,995円、ISBN4-7819-1085-8
その他	授業の方法：1人1台コンピュータを使った実習形式 ※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

履修コード	329001
科目名	情報処理基礎A
担当者名	加藤 武信

講義のねらい	情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使って、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。
講義の内容・授業スケジュール	A. コンピュータの仕組みと Windows の基本操作 （1～2）アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む B. ワードプロソフト Word による文書作成 （3～4）日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用 C. インターネットと電子メールの活用 （5～6）Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など D. 表計算ソフト Excel による作表・作図（基本レベル） （7～10）売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成 （11～15）基本関数、論理関数、データベースの活用
履修上の留意点	パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。
成績評価の方法	平常点（出席とレポートへの点数付け）およびテストにより総合評価する
教科書	加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円 ISBN4-88389-012-0 C0004
参考書等	授業の中で示す
その他	授業の方法：パソコン実習 ※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

履修コード	329101
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	<small>ももづか かおる</small> 桃塚 薫

講義のねらい この講義の目的は、大学生として、そして卒業後も必要となるコンピュータの比較的高度なリテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- (1~4)プレゼンテーションソフトの基本操作（スライドの作成、スライドのレイアウト、アウトライン、箇条書き、ファイルの保存、スライドのデザイン、デザインテンプレート、スライドの削除・移動、テキストボックス、ヘッダーとフッター、画像の挿入、スライドマスタ、アニメーションの作成、グラフの挿入、配布資料の印刷、課題作成）
- (5~11)グループによるプレゼンテーション実践（グループ分け、良いトピックとは、ブレインストーミング、テーマの絞り方、資料収集、スライドの構成、スライドの作成、内容の見直し、発表練習、発表、発表後の自己評価）
- (12~15)HTMLの基礎（テキストエディタの使い方、各種タグの説明、スタイルシート、基本的なタグを使った html ファイルの作成実習）

履修上の留意点 実習授業のため、遅刻・欠席をしないでください。毎回出席を取ります。授業中に数回、課題を提出してもらいます。なお、グループによるプレゼンテーションを実際に行います。

成績評価の方法 出席点(50%)、課題提出状況(25%)、期末レポート(25%)による相対評価。

教科書その他 毎回プリントを配布。(同じ内容のPDFファイルをウェブ上で閲覧できる)
この授業では、プレゼンテーションソフトの操作方法だけではなく、自分の考えを他人に如何に分かりやすく効果的に伝えるかに焦点を当てます。※この科目を履修するためには、「情報処理応用A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

履修コード	329201
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	<small>かとう たけのぶ</small> 加藤 武信

講義のねらい 「情報処理基礎B」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・授業スケジュール

A. 表計算ソフト Excel による応用処理
 (1~4) データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成

B. プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化
 (5~6) 表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
 (7~8) プレゼンテーション課題に沿った発表順序の企画とスライドの作成

C. データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理
 (9~15) テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQLの基礎

履修上の留意点 パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法 平常点(出席とレポートへの点数付け)およびテストにより総合評価する。

教科書 加藤武信他『コンピュータ活用』(サンウェイ出版) 2,300円
ISBN4-88389-012-0 C0004

参考書等 授業の中で示す

その他 授業の方法：パソコン実習
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

履修コード	329301
科目名	情報処理基礎B
担当者名	<small>よだ きよし</small> 依田 聖

- 講義のねらい** コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は(1)表計算(エクセル)(操作法、表計算、グラフ)(2)www-ワープロ・エクセルの連携(アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析)(3)スライドの作成(パワーポイントでスライドを作成する)
- 履修上の留意点** 講義にはメールを活用(講義録の送付と課題の提出)する。
本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと(出欠は必ずとります)。
- 成績評価の方法** 出席(毎回の課題を提出)・レポート40%、試験60%。毎回の課題はメールで提出する。
- 教科書** 太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』(サイエンス社)2004年
1,995円、ISBN4-7819-1085-8
- その他** 授業の方法:パソコン実習
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

履修コード	330301
科目名	経営学史
担当者名	<small>なかがわ じゆんぺい</small> 中川 淳平

- 講義のねらい** この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説を、その問題意識に着目し、現代企業経営の諸問題を解決するための技法として解説を加えていく。
- 講義の内容・授業スケジュール**
1. コーポレートガバナンスのための問題解決技法(制度学派など、1-7)
 2. リストラクチャリングへの問題解決技法(経営戦略論など、8-15)
 3. イノベーションへの問題解決技法(生産管理論など、16-21)
 4. コミュニケーションへの問題解決技法(人間関係論など、21-23)
 5. セクショナルリズムへの問題解決技法(経営組織論など、24-30)
- 履修上の留意点** 講義中の私語は慎んで下さい。
- 成績評価の方法** 定期試験100%。但し講義中などで必要に応じてレポートの提出を求められることがあり、内容いかんによってこれを評定に加えることがある。
- 教科書** 中川淳平『問題解決のための経営学』泉文堂、2007年。
- 参考書等** 授業毎に配布するプリントに適宜指示する。

履修コード	333901
科目名	ドイツ経営学
担当者名	<small>たかはし しげお</small> 高橋 成夫

- 講義のねらい** 現代のドイツの企業システムの特徴を解明するとともに、ドイツ経営学の性格や内容を、ドイツ経営学の歴史(史的展開)の中で明らかにすることにある。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- (1~6) I. ドイツの企業システム ドイツの企業形態/所有構造と支配類型/トップ・マネジメント構造/共同決定法/企業統治
- (7~11) II. ドイツ経営学の前史
- (12~16) III. ドイツ経営学の生成, 科学的私経済学と技術的私経済学
- (17~24) IV. ドイツ経営学の展開, <1> 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学, <2> 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- (25~30) V. ドイツ経営学の現状(多様な構想), 意思決定志向的/システム志向的/行動理論的/新規範論的経営経済学/労働志向的個別経済学/新制度派経済学に基づく経営経済学
- 履修上の留意点** 講義では主要な内容について出来る限り板書して説明するので、積極的に出席することが望ましい。
- 成績評価の方法** 定期試験と出席状況等を総合して評価する。
- 教科書** 特に指定しない。
- 参考書等** 北野利信編『経営学説入門』(有斐閣新書)

履修コード	330101
科目名	経営管理論
担当者名	枝松 正行

講義のねらい 経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・授業スケジュール 下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
(1～2) テイラーの科学的管理論, (3) 管理過程論(職能論), (4) 管理構造論(組織論)
- 2 新古典的理論
(5～6) ホーソン実験と人間関係論的管理論, (7) 行動科学的管理論, (8) 管理開発論
- 3 近代理論
(9) バーナード革命, (10～11) 組織論的管理論, (12～14) 意思決定論的管理論
- 4 現代企業論
(15～16) 環境適応的管理論, (17～18) 戦略的管理論, (19～20) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点 毎回出席をとり、カードにより質問・意見・要望を次回授業に反映させる。

成績評価の方法 成績は前・後期の中間テストと平常点により評価する。

教科書 鈴木幸毅著『企業と管理の理論』(税務経理協会)2001年4月

参考書等 鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』(税務経理協会)1998年
鈴木幸毅著『環境ビジネスの展開』(税務経理協会)2001年5月
鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』(税務経理協会)2001年6月

履修コード	331301
科目名	経営組織論
担当者名	日野 健太

講義のねらい 組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織について「なぜ」を「自分の言葉で」「ひとにわかるように」考えるようになる。そのための基本概念と思考方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。この講義は、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、配慮する。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるようにする。

講義の対象と回数は以下の通り 1. 組織論における組織観と人間観(4) 2. モチベーション(4) 3. リーダーシップ(4) 4. 組織文化(3) 5. 組織の環境適応(5) 知識創造理論(1) その他まとめや中間テスト(3)

履修上の留意点 どうすればうまく学べるか、を意識して講義に参加すること。試験前に困っている友達にノートを貸して、講義の内容を教えてあげられるようになれば完璧。

成績評価の方法 後期の授業開始日に中間試験を行う。このテストのウェイトが40%程度、学年末の定期試験のウェイトが60%程度。大まかには、この二つが成績を決める。中間試験を欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

教科書 金井壽宏『経営組織』(日経文庫)

参考書等 桑田・田尾『組織論』(有斐閣)
大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』(創成社)
田尾『モチベーション入門』(日経文庫)
経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』(中央経済社)などもなにかと重宝である。

その他 大学の e-learning サイト YeStudy で出席をとったり教場で配布した配布物を入手できるようにする予定。教場には、想像力を持参すること。

履修コード	331001
科目名	経営労務論
担当者名	かしま ひでかき 鹿嶋 秀晃

講義のねらい	現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義は1コマ1テーマの原則。各回毎に「日本は終身雇用なのか?」といったテーマを掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。スケジュールは大まかに次の予定。(1)ガイダンス、(2)～(4)経営労務論と日本的経営論、(5)～(10)正規、非正規の雇用管理、出向・転籍・早期退職など、(11)～(16)賃金論入門、年功賃金の歴史、職能資格制度、人事考課、昇進・昇格など、(17)～(22)労使関係の歴史、構造、労働組合など、(23)～(29)各論(労働時間、福利厚生、賃金格差問題、教育訓練など)とまとめ、質問受付、(30)試験。
履修上の留意点	詳細は最初の講義で説明。(1)出席点は無し。(2)私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるので厳禁。(3)携帯電話は消音。ひどいときには退室させ、単位認定をしない。
成績評価の方法	評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数によって変更の場合もあり。
教科書参考書等	特になし。 津田真澄『人事労務管理』(ミネルヴァ書房)1993(定価3,000円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』(東洋経済新報社)1992(定価3,500円程度)をあげておく。他にも適宜講義中に紹介していく。
その他	図表やグラフを多用し、ただノートを取るだけでなく「頭をつかう」ようにする。WEBページでも授業に関する情報を提供。URL参照。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/

履修コード	333801
科目名	生産管理論
担当者名	ふじわら あつし 藤原 篤志

講義のねらい	生産管理は製造企業における生産活動の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素(資材、設備、労働力)を総合的に調整することにより、主としてQ(品質)・C(原価)・D(納期)の側面について企業の生産効率を最大にすることを目的としている。このような生産管理の機能・特徴を体系的に解説したい。 また効率よくモノづくりを行なうシステムである各種生産システム(テイラーシステム、フォードシステム、トヨタ生産システムなど)について、主として自動車産業を中心に解説する。
講義の内容・授業スケジュール	以上のような企業内の管理機能としての生産管理に留まらず、企業内外での生産に関する諸活動、諸現象、諸問題についても幅広く取り上げたい。また本講義では生産や生産管理と密接に関連していることから労働者による労働も考察の対象としている 以下の順序で講義を行なう。前期は生産管理の機能を体系的に解説する。生産に関する基本的な用語・概念(第2～4回)、生産計画と生産統制(第5～8回)、QCDの側面の管理(第9～11回)、生産要素に関する管理(第12～15回)。後期は歴史上代表的な生産システムについて解説する。テイラー・システム(第16～19回)、フォード・システム(第20～22回)、トヨタ生産システム(第23～28回)、セル生産システム(第29～30回)。
履修上の留意点	以上の内容の講義と並行して経済専門紙や専門雑誌の記事を紹介しながら、最近の生産上の問題や生産の効率化に関する企業での取り組みについて解説を行いたい。 講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになり、また場合によって減点や単位取得不可になることもあるので注意すること。
成績評価の方法	主として定期試験で行う。またレポートの課題が出ることもあるが、その場合は事前に通知する。指定しない。
教科書参考書等	山下高之『体系生産管理論』(中央経済社)1990年 その他、講義の中で指示する。

履修コード	331101
科目名	経営財務論
担当者名	高田 光明

講義のねらい

経営財務論は、企業という組織体の財務活動を研究対象とする学問分野である。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用をいっている。企業は、その活動を営むに際し、原材料などの財貨や労働力を確保しなければならない。そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手となる資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。資本の源泉は、それぞれ異なる特徴を持っている。したがって、生産要素の取得を賄うために必要とする資本を、どの源泉からどのくらいずつ調達するかは、企業が営業活動を実施して、調達資本をいかに効率的に運用できるかに大きな影響を与える。この授業では、以上の問題意識のもとに、次のスケジュールにしたがって講義を進め、経営財務に関する基礎的知識・基本的考え方を身に付けることを主要目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 経営財務の領域、(2) 資本と資産、(3～4) 資本の分類、(5～6) 資本の運用形態、(7～8) 資金調達方法の特徴、(9～10) 資金調達の基本原則、(11～12) 流動・固定分類法の重要性、(13～14) 資金概念、(15～16) 企業利益の概念、(17～18) 減価償却費の性格、(19～20) キャッシュ・フロー、(21～22) リスクとリターン、(23～24) レバレッジ、(25～26) 資本のコスト、(27～28) 続・資金調達の基本原則、(29～30) 資金調達の手順

履修上の留意点

企業による財務活動に関する情報は、企業の会計システムから得られる。したがって履修にあたっては、企業会計の初歩的知識があることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験による評価を原則とし、出席点を5点を限度に加味する。

履修コード	330001
科目名	経営戦略論
担当者名	中村 公一

講義のねらい

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上でも有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の1つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の経営戦略をケースとしてできるだけ取り上げるようにする。

そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1, 経営戦略論を学ぶ 2, 経営戦略とは何か 3, 経営戦略論の研究手法 4, 経営戦略論の展開 5, 戦略の策定と実行 6, 現代企業の経営戦略 7～9, 企業の成長(事業領域、アンゾフモデル、多角化戦略) 10～14, 企業の競争(ポーターモデル、イノベーターの戦略、コア・コンピタンス、ビジネスモデル、コーポレート・ブランド) 15, 前期のまとめ 16～18, M&A (M&A概論、技術獲得型M&A、市場拡大型M&A) 19, M&Aの組織統合 20, グローバル戦略 21, グループ経営戦略 22, 経営戦略と専門組織 23～24, ナレッジマネジメント(概論、展開) 25, 研究開発戦略(R&D) 26, デファクトスタンダード 27, ライセンス戦略 28,ベンチャー企業の戦略 29, 企業集積の戦略 30, 年間講義のまとめ

履修上の留意点

経営戦略論は、実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。

注意点としては、講義に対する妨害行為(私語、携帯電話など)には厳しく対処する。1人(数名)の愚かな行為により、他の真面目な学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、レポート課題や、授業中に実施する小レポートなども成績評価に含める。

教科書

授業中にレジュメを配布して、それに基づいて講義を進める。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。基本図書や参考文献などは授業中にその都度指摘する。

専門教育

履修コード	329601
科目名	ベンチャー企業論
担当者名	許 ^{きよ} 伸江 ^{のぶえ} ・崔 ^{ついで} 銀順 ^{うんすん}

講義のねらい 経済の停滞が長引く中、活力あるベンチャー企業への関心が高まっている。本講義は、ベンチャー企業の意義、歴史、特徴等について理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール (1~3)ベンチャー企業、企業家とは何か (4~5)起業活動のフレームワーク(6~8) ベンチャー企業のマネジメント(9~13)ベンチャー企業のビジネスモデル、マーケティング(14~15)ケース・スタディ(学生起業、女性企業、シニア企業、IT企業など) (16~17)ベンチャー企業の戦略(18~20)独立形態、会社法の改正(21~24)ベンチャー・ファイナンス、IPO、株式公開市場(25~27)ベンチャー支援策、クラスター政策 (28~29)ベンチャー企業のリスクと対応(30)ケース・スタディ(失敗例、挫折と復活など)

履修上の留意点 日頃から、新聞、TV、インターネットなどでベンチャー企業関連の情報に触れておくことが望ましい。

成績評価の方法 出席状況、授業内レポート、夏休みのレポート、学期末試験等を総合的に評価する。

教科書その他 教科書は使用せず、ノート講義の形式とする。
授業方法は、リレー形式とする。

履修コード	329701
科目名	環境経営論
担当者名	白鳥 ^{しろとり} 和彦 ^{かずひこ}

講義のねらい 地球環境問題は全人類の課題であると共に、企業経営においても重要な課題である。我が国では公害問題以降、環境問題への対応は進み、企業活動における環境への対応は今や必須であるが、これまでは環境対応は負担と考えられてきた。しかし環境問題を企業の成長の糧、競争優位の条件として捉えた「環境経営」の取り組みが進められている。

持続可能な成長のために企業が行う環境経営とは如何なるものか。企業の社会的責任(CSR)の遂行のためにどう取り組んでいるか。企業経営における環境課題の取り組みについて理解を深めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール 環境経営の考え方と課題、およびその取り組みについて小テーマに分けて講義を行う。また産業界に籍を置く講師の知見を活かし、具体的な事例を多く取り上げていく。
<講義予定>

1. 地球環境問題
今起こっている地球環境問題、地球環境問題への対応とその変遷等(1~3)
2. 企業の環境経営の取り組み
環境に配慮した製品開発、温暖化防止・省エネルギー、省資源・廃棄物削減・資源循環、化学物質管理、環境マネジメントシステム(ISO14001)、環境教育、環境コミュニケーション等(4~13)
3. 環境経営の理論
環境経営の意義、環境経営の指標、環境会計、環境経営に対する市場の評価(SRIファンド、環境格付)等(14~17)
4. 企業の取り組み事例
(17~20)
5. 環境経営の課題・今後
グリーンマーケットの拡大、環境リスク対応、環境経営のバウンダリ
グループ経営、サプライチェーン、グローバル先進企業の取り組み
環境経営からCSR経営へ(21~26)

履修上の留意点 途中数回小レポートを課することがある。

成績評価の方法 講義への出席状況および前期・後期各期末試験により評価する。
(配分：出席点50、前後期レポート50)

教科書 特に指定しない。

参考書 参考書は適宜紹介する。

その他 単に知識を積み上げるのではなく、企業の具体的な事象に触れ、原因、成果及び効果、課題などについて自ら考えられる形とする。

履修コード	330601
科目名	経営史
担当者名	前田 和利

講義のねらい 経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史の学び方（1回）
- II. 経営史研究の課題と方法（4回）
 - 伝統的経営史、企業者史、組織総合理論
- III. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成（4回）
 - 商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立（3回）
 - 産業革命、工場制度
 3. 確立期企業経営の諸様相（5回）
 - 企業経営者と行動原理、企業形態と企業金融、労務管理、流通・販売組織
 4. 企業経営の発展（7回）
 - 市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 5. 企業経営の変容（4回）
 - 大企業体制の動揺と新動向（経営戦略と経営組織の変遷）

履修上の留意点

教科書は使用しないので、授業開始時に配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に4～5回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

成績評価の方法
教科書
参考書等

学年末試験による評価を90%、出席時に提出した回答を10%とする。

使用しない。

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』新版（同文館）、大河内曉男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）。その他随時紹介する。

履修コード	333001
科目名	日本経営史
担当者名	大島 久幸

講義のねらい 株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な起源や日本の経済発展を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの整備 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 11. 専門経営者の登場（1） 12. 専門経営者の登場（2） 13. 前期のまとめ
- 【後期】1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

前期試験と定期試験で総合的に評価する。

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』（有斐閣）1999年。

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』（税務経理協会）2002年。

履修コード	331501
科目名	商業史
担当者名	やまだ まさる 山田 勝

講義のねらい	大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。
講義の内容・授業スケジュール	<p><A> 生産主導の商業</p> <p>(1) 商業史の意義と講義の目的</p> <p>(2) パラダイムの発展</p> <p>(3) 利益と継続性</p> <p>(4) 商品と市場</p> <p>(5) 大衆消費社会の特徴</p> <p> 需要主導の商業</p> <p>(1) 消費スタイルの変化</p> <p>(2) 充足から満足度重視へ</p> <p>(3) 多様化の要因</p> <p>(4) 「サービス」商品の特徴</p> <p>(5) IT革命と商業経営</p> <p>(6) 生活(文化)の変革と商業</p>
履修上の留意点	教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。
成績評価の方法	定期試験による。
教科書	山田勝『商業史概論』(創成社) 3,000円(消費税別)

履修コード	332601
科目名	保険経営論
担当者名	おんぞう みほ 恩蔵 三穂

講義のねらい	私達の生活は、交通事故、火災、地震、疾病、高齢化など様々なリスクにさらされています。これらのリスクから私達を守るために、リスクマネジメントおよび保険の知識は必要不可欠なものといえるでしょう。本講義では、リスクマネジメントおよび保険に関する基礎知識を学んだ上で、保険経営に関する時事的な問題を理解することを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	(1~2) リスクマネジメントとは (3) リスクマネジメントと保険 (4) 保険の分類 (5~6) 保険料の構成 (7~8) 保険料の算定方法 (9~11) 保険の基礎用語 (12~15) 保険業法の改正 (16~17) 火災保険の意義と役割 (18) 地震保険の意義と役割 (19~21) 自動車保険の意義と役割(自賠責保険および任意保険) (22~23) 生命保険の意義と役割 (24~25) 第三分野の保険(傷害保険・疾病保険・介護保険)の意義と役割 (26~30) 保険経営と最近の動向(保険の自由化と保険会社間の再編成、保険会社の経営戦略、保険会社の破綻問題、少子高齢化と保険経営、保険会社の国際化戦略など)
履修上の留意点	新聞や雑誌などで興味のあるリスクマネジメントや保険の記事があれば、積極的に目を通しておいてください。また、授業準備に際し、自分の疑問点を明確にしておくことが望まれます。
成績評価の方法	学期末試験と平常点も加味して、総合的に評価します。
教科書	鈴木辰紀編著『新保険論』(第2版) 2005年刊(成文堂) 2,700円。
参考書等	必要に応じて授業中に指示します。

履修コード	331901
科目名	銀行経営論
担当者名	服部 昌久

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときは、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。
 (1) オリエンテーション「銀行経営論をはじめるとあって」(2) 日本経済をめぐる環境(3) 戦後経済の変遷(4) わが国の金融制度の沿革と特徴(5) 銀行とは何か(6～8) 銀行の基本的機能—金融仲介機能、決済機能、信用創造機能(9～11) 銀行の業務範囲、銀行の貸出業務、銀行の預金業務(12) 銀行持株会社制度(13～14) わが国の銀行の収益状況、米銀の収益状況(15) 中間整理(16～17) 金利と利鞘、マネーサプライの変化と銀行(18～19) 銀行の国際業務、為替相場と銀行(20) 銀行のマネーロンダリング対策(21～24) バブル経済の発生・崩壊と銀行の責任、不良債権問題と銀行破綻、銀行の再編、預金保険制度(25～27) 銀行経営とリスク管理—リスクとは何か、リスクとリターン、自己資本比率規制(28) リレーションシップバンキングの本質(29) 新しい銀行像(30) 期末試験

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(参照物の持込不可)(50%)、レポート(45%)、授業への出席(5%)を総合して評価する。

教科書
参考書等

- レポートの課題は開講時に指示する。
 指定しない。
- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』(東洋経済新報社) 2,900円 ISBN4-492-68103-5
 - ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』(第2版)(東洋経済新報社) 3,800円 ISBN4-492-65379-1
 - ・全国銀行協会金融調査部『図説わが国の銀行(2003年版)』(財経詳報社) 2,200円 ISBN4-8817-7-388-7
 - ・星岳雄・A. カシヤップ『日本金融システム進化論』日本経済新聞社2,800円 ISBN4-532-13317-3
 - ・小野有人『新時代の中小企業金融』(東洋経済新報社) 2,200円 ISBN978-4-492-65400-2

履修コード	331601
科目名	商業経営論
担当者名	石川 <small>いしかわ</small> 和男 <small>かずお</small>

講義のねらい 人は日々にモノやサービスを購入し生活している。またこれらの活動なしには人々の生活が成立しなくなっている。本講義では主に人々（消費者）にモノやサービス（特にモノ）を販売する主体（事業者）の行動を取り上げる。分野として大きく分けると4つの分野から構成されている。1）商業・流通の概念とその機能、2）事業者（流通業者）の現状とその行動、3）販売に関する技術と方法、4）事業者を取り巻く外部環境と内部環境についてである。これら4つの面から多面的に事業者の組織的行動である「商業経営」をとらえてもらえればと考えている。また受講生には受け身の姿勢ではなく、積極的に疑問に思い、解決を探る姿勢が身につけられるように期待したい。

講義の内容・授業スケジュール 1 開講にあたって（受講上の諸注意）、2 商業とは、流通とは（商業概念、流通概念）、3 流通機能と流通機構、4 流通機能I（商的流通と物的流通）、5 流通機能II（流通情報と流通情報システム）、6 流通補助機関の役割、7 小売とその営業形態、8 小売業の構造と変化、9 小売マーケティング、10 卸売とその営業形態、11 卸売業の構造と変化、12 卸売マーケティング、13 卸売マーケティングの事例、14 予算管理と販売管理、15 商品回転率と価格政策、16 仕入管理と売買契約、17 在庫管理、18 消費者行動の変化、19 商業立地と商業集積、20 商業・流通を取り巻く法的環境、21 流通政策I（競争政策と振興政策）、22 流通政策II（調整政策）、23 中小零細事業者問題、24 中小零細事業者の将来、25 日本の商業環境と商慣行I、26 日本の商業環境と商慣行II、27 これまでの講義のまとめ

履修上の留意点 1 遅刻、早退、中抜けをしない
2 授業中は携帯電話の電源を切る（発見した場合はその場で受講中止）
3 他人との会話などを授業中はしない
4 帽子の着用、飲食しないなど最低限のマナーは守る
5 公欠の取り扱い（運動部の人は必ず公式試合などの場合は提出のこと）
6 その他

成績評価の方法 ・第1回目の授業時に詳細な注意事項を書いたプリントを配付する
授業への参加意欲（出席点） 約30%
中間レポート（テーマまたは課題図書を選択制） 約30%
期末試験 約40%
授業中のボーナス加点

教科書 また、年度内に販売士試験2級に合格したものは加点する
（前期）青木・石川・尾崎・斎藤(2007)『流通論』創成社、2500円
（後期）尾崎・野本・石川(2007)『流通業のマーケティング』五紘舎、2000円
参考書等 石川和男(2007)『基礎からの商業と流通(第2版)』中央経済社
鈴木安昭(2004)『新・流通と商業(第3版)』有斐閣
小宮路雅博編著(1997)『現代の小売流通』同文館

その他 第1回目の授業時に詳細な説明を行う。必ず第1回目の授業から出席のこと。
連絡方法は、授業時に指示する。

履修コード	333201
科目名	上級簿記
担当者名	矢島 <small>やじま</small> 正 <small>ただし</small>

講義のねらい この講義は「簿記学」を習得した学生を対象とし、通年で日商簿記検定2級から1級程度の商業簿記の知識を身につけることを目的としています。

投資家、債権者、取引先、課税当局などの外部利害関係者に対して、企業は経済活動及び経済事象を財務諸表等によって報告する役割があります。しかし、企業では経営の多角化及び国際化の傾向が急速に強まり、これにともなって取引も複雑化してきました。したがって、企業は高度な会計知識をもった会計技術者を必要としています。問題意識をもって積極的な姿勢でこの講義を受講することを強く望みます。

講義の内容・授業スケジュール 1. 現金預金取引 2. 銀行勘定調整表 3. 有価証券 4. 手形取引 5. 引当金 6. 特殊商品売買取引 7. 固定資産 8. リース 9. 社債 10. 本支店会計 11. 合併 12. 連結会計
必ず電卓を用意してきてください。

履修上の留意点 出席、小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。
教 科 書 加古宜士、渡部祐巨編著『新検定簿記講義2級商業簿記』中央経済社
参 考 書 等 加古宜士、渡部祐巨編著『新検定簿記ワークブック2級商業簿記』中央経済社（教科書と併せて購入すれば検定試験対策になります。）

そ の 他 是非、日商簿記検定2級を目指してみてください。教科書は『簿記講義』を使用しますが、各項目ごとに出来るだけ丁寧に説明していきます。ただ、『ワークブック』も購入して勉強していただければ、より効率があがると思われます。

履修コード	331801
科目名	会計監査論
担当者名	<small>あべ かずひと</small> 阿部 一人

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的 (総論) (1), (1) 監査の必要 (2) 監査の意義, (3) 監査の対象, 2. 会計監査の意義と目的 (2), (1) 監査の目的 (2) 監査思想の変遷, (3) 監査の効用, 3. 監査の機能, 4. 会計上の誤謬と不正, 5. 監査の種類, 6. 会計監査と財務諸表監査, 7. 我国の監査制度, (1) 証券取引法監査 (2) 商法監査, (3) その他の監査制度, 8. 監査基準 (1), (1) 必要性 (2) 生成と展開, 9. 監査基準 (2), (1) 意義 (2) 体系 (3) 一般基準, (4) 実施基準 (5) 報告基準, 10. 監査人, 11. 監査証拠, 12. 監査計画, 13. 内部統制, 14. 試査, 15. 監査技術と監査手続, 16. 監査調書, 17. 監査報告書, 18. 連結財務諸表の監査, 19. 中間財務諸表の監査, 20. システム監査, 21. 国際監査基準, 22. 現代監査論の動向, (1) 監査概念の拡大化, (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点
成績評価の方法

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

評価の方法は、後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書
参考書等

開講後指示する。

- 田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円
- 高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円
- 鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円
- 三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円
- 山根忠恕・桧田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円
- 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

履修コード	330701
科目名	原価計算論
担当者名	岸田 隆行

講義のねらい 原価計算は特に製造業において必須の技術である。原価計算は一方で財務会計を支え、一方で管理会計を支えており、会計を学ぶものにとっては必ず習得しておかなければならない知識である。

原価計算の計算理論はすべて企業の製造プロセスの実態を数字として表すにはどのようにすべきであるのかを理論化したものである。理論の背景には企業の製造プロセスや環境変化がある。単に公式を覚えて、計算ができるようになるだけでなく、実態を正確に表すためにはどのような計算方法をとるべきなのか、また、計算された数字がどういう意味を持つのか、自ら考えられるようになってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期	後期
① 原価計算とはなにか	① 個別原価計算(1)
② 原価計算の機能と原価概念	② 個別原価計算(2)
③ 工業簿記(1)	③ 総合原価計算(1)
④ 材料費計算(1)	④ 総合原価計算(2)
⑤ 材料費計算(2)	⑤ 工程別総合原価計算
⑥ 労務費計算	⑥ 組別・等級別総合原価計算
⑦ 経費計算	⑦ 工業簿記(2)
⑧ 製造間接費(1)	⑧ 標準原価計算(1)
⑨ 製造間接費(2)	⑨ 標準原価計算(2)
⑩ 部門別原価計算(1)	⑩ 直接原価計算(1)
⑪ 部門別原価計算(2)	⑪ 直接原価計算(2)
⑫ 中間試験	⑫ 原価計算の近年の動向

履修上の留意点

原価計算を習得するためには自ら計算を行うことが必要である。講義では、例題を解いていくが、解答を丸写しするのではなく、自ら電卓をたたき、実際に計算をしてみる。また、随時小テストを行い、知識の定着をはかる。したがって、受講するにあたっては、必ず、電卓を持参すること。前期末に行う中間試験30点、年度末の定期試験70点に、講義中に随時行う小テストの結果を加味して評価する。

成績評価の方法

教科書
参考書等

特に指定しない。毎回プリントを配布する。
講義の進行にしたがって、下記のテキストを自ら進めていくことが望ましい。
木島淑孝・高橋史安・吉川武男『コスト・アカウンティング・セミナー』(税務経理協会)

履修コード	332301
科目名	税務会計論
担当者名	高木 克己

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人(株式会社等)を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定(いわゆる別段の定め)が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。
(1~2) 税務会計の制度的基礎、(3~5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6~8) 事業年度、同族会社、(9~12) 課税所得計算の基礎、(13~16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17~21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22~24) 税額の計算、申告、納付等、(25~28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29~30) 国際課税、不服申立・訴訟等

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。前期末に小テストを行う。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

履修コード	332801
科目名	経営分析論
担当者名	かたぎり のぶた 片桐 伸夫

講義のねらい	経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。 皆さんが将来を託そうとする会社は、 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、 といった内容です。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 経営分析について、(2-6) 経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、(7-12) 収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、(13-15) 貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16-20) 生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21-26) キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27-30) 税効果会計、正味現在価値法と設備投資
履修上の留意点	この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、さきやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。
成績評価の方法	成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。 評価基準 前期レポート40%、前期小テスト10%、 後期レポート40%、後期小テスト10%、 ☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。
教科書 参考書等	開講時、指示します。 随時、紹介します。

履修コード	334001
科目名	国際会計論
担当者名	やまだ じゆんぺい 山田 純平

講義のねらい	生産や販売、資金調達などの企業活動は、国内のみならず、海外でも活発に行われる流れにあります。その結果、会計の分野においても急速な国際化が進みつつあり、近年は会計基準の統合化がひとつの大きなテーマとなっています。 そこで、この講義では、会計の国際的な側面を以下の点から説明します。 (1) 会計基準の統合化が進んでいる現状と問題点 (2) 具体的な会計基準の動向とその背景となる考え方（特に国際基準と日本基準が異なる分野を重点的に） (3) 多国籍企業の財務諸表分析 この講義を受講することで、さしあたり以下の点が理解できるようになることが望めます。 ①国際基準をそのまま受けることにもいくつか問題があること ②各国の考え方の相違から差異が残されてしまうこと ③国際基準で提案される考え方自体がこれまでの実務に根ざした考え方とは異なること ④現実の財務諸表における会計基準の適用と財務諸表の分析の仕方
講義の内容・授業スケジュール	第1～3回：会計の基礎に関する復習 第4～6回：会計基準の統合化に関する様々な議論 第7～13回：金融商品、減損、退職給付・リース・税効果の会計 第14～20回：企業結合・連結会計、新株予約権の会計、業績報告、概念フレームワーク 第21～27回：アメリカ・日本・ヨーロッパの企業の分析 第28～30回：総まとめ
履修上の留意点	簿記学や会計学の履修を前提とします。ただし、授業の内容を理解するのに必要な基礎的知識については、そのつと解説します。
成績評価の方法	試験65%、小テスト25%、出席10%。
教科書 参考書等 その他	富塚嘉一編著『どうなってる!?国際会計』中央経済社。 授業中に適宜指示します。 私語がひどい学生は退席をしてもらう場合があります。

履修コード	330501
科目名	経済原論
担当者名	あかし ひろゆき 明石 博行

講義のねらい 本講義では、資本制の経済社会（資本制経済）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。資本制社会は、近代から現代にかけて生まれ、発展し、変化してきた、現代世界における支配的な経済社会です。この講義では、この資本制社会について、そこにはどのような経済的な仕組みと法則があるのか、資本制社会の思想・法律・政策などは経済の仕組みや法則によってどのように影響され制度化されるのか、社会的に埋め込まれた諸制度によって資本制経済はどのような変容を受けるのか、について説明します。資本制経済の仕組みや法則に関する基礎知識および資本制社会に関する概括的な認識を得られるよう援助することが、この講義の基本的な課題です。

講義の内容・授業スケジュール 序論的な解説を行う序章ののち、(1) 市場、(2) 貨幣の資本への発展、(3) 資本と労働、(4) 資本の蓄積と再生産、(5) 資本の流通、(6) 資本と利潤、(7) 資本の諸形態、(8) 資本制社会における市民・階級・階層、という8つの章からなる本論について、その第1章から4章までに重点をおいて授業をします。講義予定のおおまかなスケジュールは以下のとおりです。

第1回 講義紹介	第2章 貨幣の資本への発展
序章 経済社会学と経済原論	第17回 資本の一般的定式とその矛盾
第2回 経済社会学と経済学	第18回 商品の購買と消費
第3回 科学的社会主義の学説	第3章 資本と労働
第4回 科学的社会主義の知的遺産	第19回 資本による生産と労資型生産様式
第5回 経済社会把握の基本	第20回 剰余価値を増大させる諸方法
第6回 伝統的な経済観と経済学	第21回 賃金制度
第7回 経済学の拡張と展開	第4章 資本の蓄積と再生産
第8回 資本制の社会と経済	第22回 資本の蓄積と再生産
第1章 市場	第23回 雇用と失業
第9回 商品の二面的性格	第24回 身分階層型生産様式と階層分化
第10回 商品価値	補章 資本の流通と資本の諸形態
第11回 商品の価値形態と物神的性格	第25回 資本の流通
第12回 交換過程	第26回 資本と利潤
第13回 貨幣の諸機能	第27回 商業・信用・地代
第14回 貨幣制度	第28回 資本制社会における市民・階級・階層
第15回 インフレとデフレの基礎理論	
第16回 市場型生産様式と市民社会	

履修上の留意点 講義に出席し、ノートをとる必要があります。
成績評価の方法 出席点、レポート、年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。
教科書 教科書は使用しません。講義時に毎回プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。
参考書等 なお、参考書として、大谷禎之介『図解・社会経済学』（桜井書店）3,000円＋税も使用します。

履修コード	330901
科目名	近代経済学
担当者名	ときた こういち 滝田 公一

講義のねらい 産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業及び産業の経済学分析を目的とするものです。

講義の内容・授業スケジュール 第1回 産業組織論とは？、第2回 市場支配力の厚生経済学、第3回 企業の理論、第4回 支配的企業の理論、第5回 非線形価格付けと製品差別化、第6回 ゲームの理論I、第7回 寡占理論、第8回 ゲームの理論II、第9回 寡占の動学理論、第10回 製品差別化、第12回 企業の戦略的行動、第13回 研究開発投資、第14回 垂直的統合と垂直的制約、第15回 水平的合併、第16回 産業規制の経済理論、第17回 自然独占に対する最適価格付け

履修上の留意点 特にありません。
成績評価の方法 年度末の筆記試験で評価します。
教科書 特に指定しません。
参考書等 J. Chruh and R. Ware, Industrial Organization, McGraw-Hill, 2000.
 J.M. Perloff and D.W. Carlton, Modern Industrial Organization, Harper Collins, 1994.
 ロジャー・クラーク『現代産業組織論』（多賀出版）1989年
 新庄浩二ほか『産業組織論』（有斐閣ブックス）1995年

専門教育

履修コード	333301
科目名	財政学
担当者名	速水 昇 <small>はやみ のぼる</small>

講義のねらい 私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成18年度末で国債の発行残高が約547兆円、地方公共団体の赤字が約205兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約774兆円になる。この数字は19年度わが国のGDP見込みの144.2%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

**成績評価の方法
教科書**

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）
速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

履修コード	333101
科目名	金融論
担当者名	渡部 訓 <small>わたべ ひとし</small>

講義のねらい 本講義は、担当教員の日本銀行、Bank for International Settlements、預金保険機構における金融実務経験も踏まえて、金融に関心のある学生、将来金融界での勤務を希望する学生を対象としています。

本講義の狙いは、①金融の基礎から出発して、金融システム、金融機関行動と金融政策、市場メカニズムと金利形成、国際金融取引まで幅広く応用分野をカバーして、金融を理解する前提となる理論的なフレームワークを提供するとともに、②現代の金融問題の中で、金融システム安定に向けたブルーデンス政策（金融庁検査および日本銀行考査、自己資本比率に関するBIS規制、預金保険制度）、金融システムにおけるイノベーション（セキュリティイゼーション、デリバティブス、リスク・マネジメント）等についても、実践的な検討を行うことを目指しています。

**講義の内容・
授業スケジュール**

授業は、以下のスケジュールで行いますが、毎回、教科書に加え、日本銀行・財務省・金融庁等公表資料や日本経済新聞掲載記事等を紹介して、理論と実践のインターフェースを図ることを目標としています。

前期

1. 「金融論」のオリエンテーション、2. 金融の基本的な機能、3. 資金循環と金融取引（1）、4. 資金循環と金融取引（2）、5. 家計の貯蓄と資金余剰、6. 家計の金融資産選択、7. 企業の投資と資金調達（1）、8. 企業の投資と資金調達（2）、9. 金融機関の役割、10. 金融市場の機能、11. 資金システムの機能、12. ブルーデンス政策、13. 中央銀行の機能、14. 金融政策の目的、15. 金融政策の手段

後期

1. 預金・貸出市場の概要、2. 金融機関の貸出行動メカニズム、3. マネー・サプライの概要、4. 債権市場の概要、5. 債権利回りの決定メカニズム、6. 株式市場の概要、7. 株価の決定メカニズム、8. 国際収支と外国為替市場、9. 為替レートの決定メカニズム、10. 国際通貨制度の変遷、11. 金融派生商品市場（先物）、12. 金融派生商品市場（スワップ）、13. 金融派生商品市場（オプション）、14. 金融論のポイント・レビューと質疑応答（1）、15. 金融論のポイント・レビューと質疑応答（2）

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

履修者は、マクロ経済学の基礎知識があることが望まれます。

後期末に筆記試験を行います。

黒田晃生、『入門金融（第4版）』、東洋経済新報社、¥2,300、2006年

日本銀行金融研究所編『新しい日本銀行 その機能と業務（増補版）』、有斐閣、¥2,520、2004年
毎回、授業の中で、講義の後、質疑応答の時間を設けます。

履修コード	332101
科目名	国際経済論
担当者名	永田 <small>ながた</small> 智則 <small>ともりのり</small>

講義のねらい	本講義の目的は、現実生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。 分析道具が習得できれば、それを利用することによって現実の国際経済現象を自ら解明できるようになるはずです。
講義の内容・授業スケジュール 履修上の留意点	(1) 国際経済学の異議、(2～7) 国際分業論、(8～12) 貿易政策、(13～15) 経済成長と貿易、(16～22) 国際マクロ経済学、(23～25) 外国為替と国際収支、(26～30) 資本の国際移動 現実の世界経済の動きを題材にしますので、新聞等で報道される関連ニュースに接しておいてください。
成績評価の方法	原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。定期試験だけを受けて、要領よく単位をとりたいと考えている人は、受講を遠慮して下さい。
教科書	下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。
参考書等	仙頭佳樹著「最もやさしい国際経済学」多賀出版、2800円＋税、ISBN4-8115-6491-X 随時必要に応じて紹介します。

履修コード	332901
科目名	日本経済論
担当者名	羽鳥 <small>はとり</small> 茂 <small>しげる</small>

講義のねらい	現在、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提出するゲーム理論およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。(1～3) 経済システムとは何か(4～6) ゲーム理論と比較制度分析(7～10) 企業内コーディネーションとその類型(11～14) 組織の情報効率性からみた日本企業(15～17) 企業システムの生成と進化ゲーム・アプローチ(18～21) 進化ゲームの均衡としてのJ-企業システムとA-企業システム(22～25) 企業間の垂直的関係-競争と合併(26～30) コーポレート・ガバナンスと日本の企業行動
成績評価の方法	後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。
教科書	青木昌彦・奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』東京大学出版会、3200円
参考書等	講義の進み具合に応じて適宜紹介します。

履修コード	332401
科目名	証券市場論
担当者名	勝田 佳裕 <small>かつた よしひろ</small>

講義のねらい わが国の金融システムは、銀行等を仲介とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年では、企業が自ら有価証券を発行し投資家から資金を調達する直接金融へと、金融システムが移行してきている。本講義は、有価証券市場の機能や構成といった基礎的な事柄に関する解説から始め、最終的に、ニュースや新聞での経済動向に関する報道等を正しく理解し、自ら判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 最初に、証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。その上で、伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察する。また、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わりなど、経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるため、債券利回りの意味と計算の仕方、株式の投資尺度やその利用方法、企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、実務的側面についても解説する。

近年における金融・証券市場のグローバル化に伴って、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度、背景や影響などを解説する。

履修上の留意点 証券や金融市場に関連するニュースや新聞での報道に関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては、出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法 レポート及び学年末の定期試験によって評価する。
教科書 代田純著「図説 やさしい金融財政」(丸善株式会社) 1890円
参考書等 授業中に指定する。

履修コード	329901
科目名	計量経済学
担当者名	呉 逸良 <small>ごいつりょう</small>

講義のねらい 現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール (前期) Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。

- (1・2) 統計学の基礎知識 (I)
- (3) 統計学の基礎知識 (II)
- (4～8) 単純回帰モデル
- (9～11) 重回帰モデル
- (12・13) 回帰モデルの仮説検定 (I) TSPを利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。
- (14) 回帰モデルの仮説検定 (II)
- (15・16) TSPの基礎および練習
- (17・18) Chow Test と予測
- (19・20) ダミー変数
- (21～23) 系列相関
- (24～) 復習・授業中試験

履修上の留意点 経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。
成績評価の方法 日頃の宿題、レポートと学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。

教科書 白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 2003年 2,800円(税別)
参考書等 山本拓『計量経済学』(新世社)
 養谷千鳳彦『計量経済学』(東洋経済新報社)
 G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエービー出版)
 唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)
 縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店)
 養谷千鳳彦等『パソコンによる数量分析・Excel とTSP入門』(多賀出版)
 縄田和満『TSPによる計量経済分析入門』(朝倉書店)
 和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』(東京大学出版会)

履修コード	329801
科目名	イノベーション論
担当者名	羽田 尚子

講義のねらい	本講義では、イノベーションとはどのような特性をもつ現象なのか、どのようにして生まれるか、どのような主体が関わっているのか、経済社会に及ぼす影響を与えるのかといった、イノベーションを理解する上で重要な基礎的なトピックについて学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	イノベーションは「新しいものを変える、既存のものを変える」といった幅広い概念で用いられるが、本講義では、新製品、新サービス開発および改良といった経済システムにおけるイノベーションを扱う。 講義で扱うトピックは次のようになる。なお、順番は入れ替わることがある。 ・イノベーションとは何か、その特質について、・経済システムにおけるイノベーションの役割、・イノベーションにおける政府の役割、技術政策、・イノベーションにおける大学の役割、TL O事業、大学初ベンチャー、・日本のナショナルイノベーションシステムの課題と展望、・企業戦略におけるイノベーションの役割、・組織のイノベーション、生産効率の改善実験、・研究開発プロジェクトの評価
履修上の留意点	初歩的数学を使う回がある（その都度解説は入れる）。 経済学の基本的な知識があると望ましい。
成績評価の方法	年度末の定期試験（1回）と講義の終わりに小レポート（計算問題含む：不定期複数回）を実施する。小レポートの合計点（30%）と定期試験（70%）により総合評価する。講義への参加状況は、成績評価に加味することがある。
教科書	一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』（日本経済新聞社）2800円 延岡健太郎『MOT技術経営入門』（日本経済新聞社）3000円
参考書等	小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社） 後藤晃『イノベーションと日本経済』（岩波新書）

履修コード	331011
科目名	ファイナンス理論
担当者名	江頭 隆治

講義のねらい	受講者がファイナンシャル・リテラシーを身に付け、ファイナンシャル・インテリジェンスを高めることを目的とする。すなわち、ファイナンスに関する日常的な問題を通じて基礎知識を学び、その背後にある基本的な考え方を理解する。そして資産の効率的な運用能力を高めることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	入門知識篇（1-15）ファイナンシャル・リテラシーとファイナンシャル・インテリジェンス、投資とはどういうゲームか、株価とは何か、投資は運か実力か、現代ポートフォリオ理論のシュールな結論、投資に対するアドバイス 基礎理論篇（16-30）金融工学で何を学ぶか、リスクとリターン、分散投資の原理、「ベータ」投資理論、先物取引、オプション、現代ファイナンス論
履修上の留意点	日ごろから、メディアに掲載される銀行・証券会社などの金融機関の広告などを見て、どんな金融商品があるか。その金融商品の内容を理解できるか、考えてください。
成績評価の方法	試験と課題による評価
教科書	藤沢数希「なぜ投資のプロはサルに負けるのか?」、ダイヤモンド社、1600円、ISBN4-478-60053-8 野口悠紀「金融工学、こんなに面白い」、文藝春秋、690円、ISBN4-16-660123-7

履修コード	330801
科目名	日本経済史
担当者名	渡辺 新

講義のねらい

経済学は理論・歴史・政策の3つの柱から成り立つが、この講義はその内の歴史（経済史）についてのものである。今年度は、日本において資本主義経済が成立して以来の経済の歴史、つまり日本資本主義発達史を学んでいくこととする。現在、私たちが住んでいる日本の資本主義経済はただか百数十年の歴史しかもっていない。しかし、その百数十年は人類が経験したことのない速いテンポで進み、大きく変貌している。この講義のねらいは日本の資本主義経済の歴史分析にあることはいままでもないが、そのことによって現代日本の歴史的な位置を考えていくことにもう一つのねらいがある。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じてそれぞれの歴史段階に沿った形で日本経済の特質を解説していくが、今年度はとりわけ財閥の歴史を重視していく。財閥は近代日本資本主義において経済発展を担う主体であり、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な位置を占めてきた。その財閥が、政商として誕生してから時代とともにどのように変容していったかをみていくこととする。

1. 前近代の社会経済構造, 2. 明治維新の社会経済構造, 3. 日本の産業革命, 4. 政商から財閥へ, 5. 大正デモクラシーの社会経済構造, 6. 商社ブームと破綻, 7. 昭和恐慌と高橋財政, 8. 財閥の転向, 9. 十五年戦争下の日本経済, 10. 戦時体制と財閥, 11. 敗戦と戦後改革, 12. 財閥の解体, 13. 高度経済成長の歴史構造, 14. 企業集団と財閥, 15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

歴史は暗記するものではなく理解するものであることを絶えず念頭におくこと。
試験ないしはレポートによって評価する。
特に指定しない。
そのつど指示する。

履修コード	330401
科目名	経営科学概論
担当者名	西村 和夫

講義のねらい

生産活動には、本来の物作りの技術のほかに、高効率、高品質、低コスト、短納期を達成するための効率的な生産システムの設計・改善および維持管理の技術が必要である。わが国の産業界は、いち早くQC（品質管理）、IE（経営工学）・OR（オペレーションズリサーチ）をはじめとする経営管理技術を導入することによって生産、品質、コスト面で飛躍的發展を成しとげた。

この講義ではQC、IE、ORを中心に、経営管理技術の基本的な理論と方法を概説する。また、今後本学部において経営科学系の科目を受講する上での基礎を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

全体を大きく1, 2, 3の部分に分けて講義を行う。1ではこの講義で扱う学問領域（一般に経営工学と呼ばれている）を概観する。2では経営工学が対象とする経営管理の諸分野を取りあげる。3では経営管理のなかで用いられている技術的な各種手法について解説していく。ただし、2と3は相互に関連するものであり、必要に応じて順番を入れ替え、両者が有機的に結びつくよう講義を進めていく。

1. 経営工学の概略と歴史
2. 経営工学が対象とする諸分野
 - * 経営計画： 経営計画の策定、経営情報のシステム化
 - * 販売管理： マーケティング活動、販売計画
 - * 生産管理： 生産方式、設備配置計画、日程計画
 - * 品質管理： 統計的品質管理、総合的品質管理
3. 経営管理技術の各種手法
 - * インダストリアルエンジニアリング： メソッドエンジニアリング、作業測定
 - * バリュエエンジニアリング： 価値のとらえ方、発想法
 - * 経済性工学： 資金の時間的価値、設備投資案の経済計算
 - * データ解析： 需要予測、推定と検定、回帰分析
 - * オペレーションズリサーチ： 線形計画法、PERT/CPM、待ち行列理論、在庫管理モデル、シミュレーション、システムの信頼性解析
 - * システム解析： システムの概念、情報処理システム

履修上の留意点

履修に際して予備的な知識は必要としない。教科書はあくまで参考として用いるものなので、毎回出席してきちんとノートをとること。また、手法についての理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

演習課題と試験（前期末、後期末）により総合評価
秋庭雅夫他著『経営工学概論』（朝倉書店）¥3,800円
西村の Web ページにある資料集：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/intro.html>
関連科目： → 経営科学、経営統計、生産管理論

履修コード	141111
科目名	※ マネジメント・サイエンスA
担当者名	小沢 利久

講義のねらい	この講義では、経営活動において生じる様々な問題を、数理モデルを用いて定量的に分析し、合理的な意思決定へとつなげるための問題の捉え方と代表的な手法について学びます。マネジメント・サイエンスの考え方や手法は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へその応用の範囲を広げつつあります。マネジメント・サイエンスAでは、最適化の手法を中心に、線形計画法、ネットワーク計画法、動的計画法、データ包絡分析法、階層化意思決定法について、例を用いながら解説します。
講義の内容・授業スケジュール	(1~4) LP：線形計画法（定式化、図による解法、感度分析、Excel ソルバーを用いた解法）、(5~7) ネットワーク計画法（グラフについて、最短経路問題、最小木問題、最大流問題）、(8~10) DP：動的計画法（最適性の原理、多段階決定問題）、(11~12) DEA：データ包絡分析法（CCRモデル、効率的フロンティア）、(13~14) AHP：階層化意思決定法（階層モデル、一対比較、ウエイトの計算）、(15) 全体のまとめ
履修上の留意点	経営数学A、経営数学B、確率・統計入門A、確率・統計入門Bを先または同時に履修しておくことを勧めます。
成績評価の方法	定期試験（7月下旬）と項目毎の演習課題により評価します。評価における割合は定期試験80%、演習課題20%とします。出席については参考とします。
教科書 参考書等	プリントを配布し、テキストに代えます。 必要に応じて示します。

履修コード	141121
科目名	※ マネジメント・サイエンスB
担当者名	小沢 利久

講義のねらい	この講義では、経営活動において生じる様々な問題を、数理モデルを用いて定量的に分析し、合理的な意思決定へとつなげるための問題の捉え方と代表的な手法について学びます。マネジメント・サイエンスの考え方や手法は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へその応用の範囲を広げつつあります。マネジメント・サイエンスBでは、確率モデルを用いた分析手法を中心に、在庫管理、情報の期待価値、キャッシュフローと現在価値、ポートフォリオ選択、待ち行列理論について、例を用いながら解説します。
講義の内容・授業スケジュール	(1~2) 在庫管理（経済的発注量、発注点方式、定期発注方式）、(3~5) 情報の期待価値（情報の貨幣的価値、完全情報の期待価値、サンプル情報の期待価値）、(6~7) キャッシュフローと現在価値（現在価値、DCF：割引キャッシュフロー、IRR：内部収益率、利付債の実効金利）、(8~11) ポートフォリオ選択（リターンとリスク、平均・分散モデル、効用関数とリスク）、(12~14) 待ち行列理論（待ち行列モデル、リトルの式、M/M/Sモデルの解法と応用）、(15) 全体のまとめ
履修上の留意点	経営数学A、経営数学B、確率・統計入門A、確率・統計入門Bを先または同時に履修しておくことを勧めます。
成績評価の方法	定期試験（1月上旬）と項目毎の演習課題により評価します。評価における割合は定期試験80%、演習課題20%とします。出席については参考とします。
教科書 参考書等	プリントを配布し、テキストに代えます。 必要に応じて示します。

履修コード	329401
科目名	情報処理応用 A
担当者名	宇谷 明秀

講義のねらい	本講義では、簡単なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、“自らプログラムを作成してデータ処理できるようになる”ことを目標に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理プログラムを作成する。
講義の内容・授業スケジュール	1. プログラミング講義 (10回) C言語について、そのすべてを説明する。 2. プログラミング演習 (5回) C++Builder を使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。
履修上の留意点	・情報処理の基礎科目を履修しておくことと良い。 ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。 ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。
成績評価の方法	中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。
教科書	特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。
参考書等	授業の中で必要に応じて紹介する。
その他	この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

履修コード	329501
科目名	情報処理応用 B
担当者名	宇谷 明秀

講義のねらい	インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、情報の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講義では、 ・基本的なデータ分析手法の習得 ・プログラミング技術の習得 を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。
講義の内容・授業スケジュール	1. データ分析手法の講義 (5回) 幾つかの基本的なデータ分析手法を紹介する (様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る)。 2. プログラミング技術の講義 (5回) 演習を中心に進める。 3. データ分析ソフトの開発 (5回) C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。
履修上の留意点	・情報処理関連の科目を履修しておくことと良い。 ・C言語の基礎的知識を前提として講義を進める。 ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。
成績評価の方法	中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。
教科書	特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。
参考書等	授業の中で必要に応じて紹介する。
その他	※この科目を履修するためには、「情報処理応用 A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

履修コード	333611
科目名	情報セキュリティ A
担当者名	西村 和夫

講義のねらい	情報のセキュリティについての企業の取組みについて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	まず、情報は社会基盤にもかかわる重要な経営上の資産であることを認識する。情報セキュリティの定義と歴史を概観したうえで、現代の脅威、社会問題と対策を知る。そのうえで、企業の社会的責任、最高セキュリティ責任者 (CSO) と情報セキュリティポリシーの必要性、事業継続計画 (BCP) からの要請、実際の企業の取組み、従業員教育の必要性について学ぶ。社会全体では、倫理も含むセキュリティ文化を醸成する必要があることを理解する。
履修上の留意点	履修に際して予備的な知識は必要としない。毎回出席してきちんとノートをとること。演習課題と定期試験を総合評価する。
成績評価の方法	

履修コード	333621
科目名	情報セキュリティB
担当者名	西村 <small>にしむら かずお</small> 和夫

講義のねらい 情報セキュリティに関する法制度及び技術について理解する。

講義の内容・授業スケジュール まず、セキュリティと利便性はトレードオフの関係にあることを認識する。守るべき情報の価値には、秘匿性、完全性、可用性があることを理解する。不正アクセス防止法、個人情報保護法などの法律を学び、アクセス制御を理解する。また、暗号によって達成可能な目標及び暗号技術を理論的に理解する。そのうえで、ネットワーク上で情報セキュリティを実現する方法及び認証局の必要性について、各種プロトコルを取り上げて理解する。

履修上の留意点 情報セキュリティAの履修を前提とする。

成績評価の方法 演習課題と定期試験を総合評価する。

履修コード	332511
科目名	経営情報システムA
担当者名	岩淵 <small>いかわぶら たけみ</small> 匠

講義のねらい 経営スタッフの役割は意思決定の支援、すなわち、意思決定者が適切な決定を行えるよう判断の指針となる情報を提供することです。本講義では、企業や官庁における経営スタッフを目指す皆さんのために、情報処理に関するシステムの観点と、IT（情報技術）の基礎について解説します。

講義の内容・授業スケジュール 第1週：イントロダクション・・・本講義の趣旨説明
第2～6週：情報科学とシステムの観点
情報科学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステム的なものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。
第6～9週：ITとインターネット
IT（情報技術）に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いと、インターネットなど情報ネットワーク技術に関する基礎的事項について整理する。
第10～14週：情報環境の発展と経営における利用
経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観し、インターネットによる情報インフラが十二分に整った今日的な環境下において、市場戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。
第15週：前期筆記試験

履修上の留意点 後期の経営情報システムBとあわせて履修してください。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。その上で、最終授業時に筆記試験を実施して成績評価を行います。

教科書 特にありません。適宜プリントを配布します。

参考書等 個別テーマによって、必要なものがあれば適宜紹介します。

履修コード	332521
科目名	経営情報システム B
担当者名	岩淵 匠 <small>いわぶち たくみ</small>

講義のねらい	経営計画・市場戦略立案などに際して適用が期待されるIT（情報技術）の活用方法について学びます。
講義の内容・授業スケジュール	第1週：イントロダクション 本講義の趣旨説明 第2～3週：データとは何か データには測る尺度によって定量的なものと定性的なものがある。意思決定の手掛かりとなる情報へ加工するためには、データの種類に応じた取扱いが必要である。 第4～8週：データの解析・・・データの意味を読む 調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、主として定量的データを分析するための解析手法とコンピュータ上での取扱いについて学ぶ。 第9～12週：シミュレーション技法とその応用 複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法にシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法や離散系シミュレーションなど基礎的な方法に触れた後、様々な分野で用いられる多様なシミュレーション技法について概観する。 第13～15週：人工知能の経営への応用 人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）などの概要について学ぶ。
履修上の留意点	前期の経営情報システムBとあわせて履修してください。受講生数によりますが、必要に応じて回数程度、情報教育センターの計算機実習室を利用した体験的な実習形式の授業を行う予定です。
成績評価の方法	毎回出席を取ります。不定期に授業時小テストを行います。期末試験時に筆記試験を実施して成績評価を行います。
教科書	高井徹雄他著「基礎から学ぶ経営科学」税務経理協会 2300円
参考書等	適宜プリントを配布します。

履修コード	333701
科目名	統計原論
担当者名	山内 慎二 <small>やまのうちに じんじ</small>

講義のねらい	大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。 本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義内容は以下の通りです。 序説 生活のなかの統計学、量的データと質的データ 1回 基礎的概念 階乗と総和、順列と組合せ 2回 記述統計 度数分布表、平均と分散、相関係数 3回 確率論の基礎 集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 6回 前期復習と中間試験（7月中旬） 2回 標本分布 カイ2乗分布、t分布、F分布 2回 統計的推定 点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法） 4回 仮説検定 片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 4回 回帰と相関 線形回帰モデル、相関係数の標本分布 2回 後期復習と定期試験（翌年1月中旬） 2回
履修上の留意点	年間回数程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。
成績評価の方法	講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。
教科書	佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）2006年 1,500円（税別） ISBN4-7885-0224-0
参考書等	数値表としての参考書： 森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996年 510円（税別） ISBN4-8171-0262-4 P.G. ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996年 1,650円（税別） ISBN4-563-00839-7
その他	授業の方法－講義（OHPを使用する場合もあります。）

専門教育

履修コード	332011
科目名	経営統計A
担当者名	長 <small>なが こきよう</small> 国強

講義のねらい

経営統計は分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は重要な役割を果たされるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

第1回：経営統計について；第2回：統計的基礎概念I；第3回：統計的基礎概念II；第4回：データの収集と整理I；第5回：データの収集と整理II；第6回：データの収集と整理III；第7回：統計特性値I；第8回：統計特性値II；第9回：統計特性値III；第10回：相関分析I；第11回：相関分析II；第12回：正規分布とその応用I；第13回：正規分布とその応用II；第14回：正規分布とその応用III；第15回：総合復習。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

後期の『経営統計B』も履修してください。
総合評価(100)＝出席(30)＋提出課題(20)＋期末試験(50)。
特に使用しませんが、プリントは随時に配布する予定。
西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』(培風館)、1992；
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』(日本理工出版社)、1992。

履修コード	332021
科目名	経営統計B
担当者名	長 <small>なが こきよう</small> 国強

講義のねらい

経営統計は分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は重要な役割を果たされるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

第1回：推定予測モデル(単回帰モデル)I；第2回：推定予測モデル(単回帰モデル)II；第3回：推定予測モデル(重回帰モデル)I；第4回：推定予測モデル(重回帰モデル)II；第5回：時系列予測(平滑化技法、季節指数の測定)I；第6回：時系列予測(平滑化技法、季節指数の測定)II；第7回：時系列予測(自己回帰モデル)；第8回：分散分析(一元配置分散分析)I；第9回：分散分析(一元配置分散分析)II；第10回：分散分析(二元配置分散分析)I；第11回：分散分析(二元配置分散分析)II；第12回：統計的意思決定理論I；第13回：統計的意思決定理論II；第14回：経営指数(物価指数、数量指数)；第15回：総合復習。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

『経営統計A』を受講してから履修されたほうが望ましい。
総合評価(100)＝出席(30)＋提出課題(20)＋期末試験(50)。
特に使用しませんが、プリントは随時に配布する予定。
西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』(培風館)、1992；
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』(日本理工出版社)、1992。

履修コード	143211
科目名	※ 流通システム論
担当者名	青木 ^{あおき} 茂樹 ^{しげき}

講義のねらい	私達の生活はあらゆる商品によって支えられており、これは流通システムがあるから成り立っている。講義では、身近な事例により興味を喚起し、その仕組みの理解を促す。今日、情報化、国際化によって、流通システムは新たな変化のうねりを迎えている。変化の時代に重要なことは現象面を追うだけではなく、どのような分析枠組みで理解・予測できるかである。また複眼的・多角的に捉えることにより、個々人の受講生が今後の流通のあり方についてのおのおのの意見をもつことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1) 流通の基礎概念と機能的アプローチ, 2) 流通の機関別アプローチ (小売業・卸売業), 3) 流通システムとしての発展Ⅰ, ・第一次・第二次流通再編成の諸特徴, ・チェーン・オペレーションの登場と進化, 4) 流通を巡る法規制とまちづくりの諸問題, 5) 流通システムとしての発展Ⅱ, ・工業化社会の流通システムから情報化社会の流通システムへ, ・コンビニエンス・ストアへのイノベーション, 6) 流通の情報化の進展, ・サプライ・チェーンからダイヤモンド・チェーンへの転換, ・インターネットによる流通の革新, 7) 流通における関係的取引の理論的認識
履修上の留意点	講義形式ではあるが、一方向とならぬよう、机上に名札を置くなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促し、積極的に楽しんで参加してもらえよう方向を目指したい。
成績評価の方法	毎回の小テストと、個人レポートの評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。
教科書	兼村栄哲編著 (1999) 『現代流通論』 八千代出版。 日経MJ編 (2007) 『流通経済の手引<2008年度版>』 日本経済新聞社

履修コード	143721
科目名	※ ゲーム理論A
担当者名	新井 ^{あらい} 泰弘 ^{やづひろ}

講義のねらい	本講義ではゲーム理論の基礎を解説します。ゲーム理論は、利害対立関係にある複数の人々がお互いの意思決定を考慮に入れて行動をした際に起こる結果について分析するための理論です。 経済学や経営学、心理学、生物学などの様々な分野において、ゲーム理論は有用な分析手法として用いられており、学際的な総合的理論の1つと見なされています。ゲーム理論を学ぶことは、他者がどのように考え、それが自分にどのような影響をもたらすかについて考える訓練にもなります。
講義の内容・授業スケジュール	1. ゲーム理論とはどのような学問か?, 2. ゲームの記述, 3~6. 標準型ゲーム (1) 支配概念, (2) ナッシュ均衡, (3) 混合戦略, (4) 応用, 7. 中間試験, 8~10. 展開型ゲーム (1) 動学ゲームと静学ゲーム, (2) 均衡概念の精緻化: サブゲーム完全ナッシュ均衡, (3) 動学ゲームの応用, 11~14. 不完備情報ゲーム (1) 不完備情報とは?, (2) 不完備情報下の静学ゲーム, (3) ベイジアン・ナッシュ均衡, (4) 様々な応用, 15. 期末試験
履修上の留意点	授業に出席するだけでなく、教科書や参考文献を読んで自分の頭で考える事が重要になります。わからない事柄をそのままにして進まないように気をつけてください。
成績評価の方法	成績は中間試験と期末試験によって評価します。
教科書	講義で指定する教科書はありません。授業では適宜プリントを配布します。
参考書等	ギボンズ著『経済学のためのゲーム理論入門』 創文社

履修コード	143731
科目名	※ ゲーム理論B
担当者名	新井 泰弘 <small>あらい やすひろ</small>

講義のねらい	本講義では「ゲーム理論A」を既に受講したものととして、より発展的なトピックについての解説を行います。ゲーム理論Aよりも理論の応用方面にスポットを当てていく予定です。 経済学や経営学、心理学、生物学などの様々な分野において、ゲーム理論は有用な分析手法として用いられており、学際的な総合的理論の1つと見なされています。ゲーム理論の応用を通じて戦略的思考方法を身につける事を目標としています。
講義の内容・授業スケジュール	1. ゲーム理論の応用と社会的役割, 2~4. 標準型ゲーム (1) 再論: ナッシュ均衡, (2) ナッシュ均衡の存在証明, (3) 様々な応用例, 5~7. 展開型ゲーム (1) 再論: サブゲーム完全ナッシュ均衡, (2) 展開型ゲームの応用: シュタッケルベルグ均衡, 7. 中間試験, 8~9. 展開型ゲーム (3) 繰り返しゲーム, (4) 繰り返しゲーム: トリガー戦略, 10~14. 不完備情報ゲーム (1) 再論: ベイジアン・ナッシュ均衡, (2) オークションの理論, (3) オークションの理論2, (4) 完全ベイジアン均衡, (5) シグナリングゲーム, 15. 期末試験
履修上の留意点	授業に出席するだけでなく、教科書や参考文献を読んで自分の頭で考える事が重要になります。わからない事柄をそのままにして進まないように気をつけてください。
成績評価の方法	成績は中間試験と期末試験によって評価します。
教科書	講義で指定する教科書はありません。授業では適宜プリントを配布します。
参考書等	ギボンズ著『経済学のためのゲーム理論入門』創文社

履修コード	140851
科目名	※ e-ビジネス
担当者名	安岡 寛道 <small>やすおか ひろみち</small>

講義のねらい	日々進化するe-ビジネスを概観し、経営学の一つとして体系立てて理解することを目的とする。また、社会人になる、さらにはいつの日か起業する際の基礎知識として準備することも目的とした。
講義の内容・授業スケジュール	(1) e-ビジネスの講義紹介と定義(プロセス/媒体/商品)、(2~3) e-ビジネスの状況、(4~6) BtoC ビジネス、(7~9) e-マーケティング(広告等)、(10~12) BtoB ビジネス、(13~15) 電子商取引(EC)のプロセス(物流・決済); (16~18) BtoBtoC ビジネス、(19~21) 媒体等のビジネス事例(EC、ポータルサイト、ネット広告; オンラインゲーム等)、(22~24) 電子マネーと周辺ビジネス、(25~26) 技術、(27) ビジネスモデル特許、(28~ Last) 革新的なビジネスの創生(Web2.0、セカンドライフ等)
履修上の留意点	e-ビジネスであるために、日ごろからインターネットを中心に、雑誌・新聞・TVのニュースなどを見て、自分のなりの考えを持ち、電子マネーなどにも馴染んでおいて頂きたい。
成績評価の方法	学期末レポートと授業内の提出課題で基本的に評価します。出席状況も場合によっては考慮します。
教科書	・幡鎌博『e-ビジネスの教科書』創成社、1900円、ISBN4-7944-2249-0 C3034
参考書等	・梅田望夫『ウェブ進化論-本当の大変化はこれから始まる』筑摩書房、740円、ISBN4-480-06285-8 C0200 ・小川浩、後藤康成『Web2.0 BOOK』インプレスジャパン、1800円、ISBN4-8443-2226-5 C3055 ・アーサーアンダーセン『図解e-ビジネス』東洋経済新報社、1600円、ISBN4-492-08989-6 C3034 ・アンダーセン『図解e-ビジネス 実践編』東洋経済新報社、1600円、ISBN4-492-09156-4 C3034 ・野村総合研究所『2010年の企業通貨』東洋経済新報社、1600円、ISBN4-492-55562-5 C3034

履修コード	143271
科目名	※ グローバル・マーケティング論
担当者名	臼井 哲也

講義のねらい 本講義の目的は、企業のマーケティング活動が国境を越えて展開される際の固有の問題について理解し、その解決策として期待される諸理論について学習することにある。とく多国籍企業のマーケティング活動に焦点をあてる。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 企業を取り巻くグローバル市場環境 (2~3) グローバル・マーケティングマネジメントの基礎 (4~6) 国際市場参入行動 (7~9) 国際マーケティング調査と市場細分化 (10~11) 現地市場拡張行動チャネル管理 (12~13) 原産国イメージ (14~15)
(後期) グローバル合理化と戦略的グローバル・マーケティング論 (16~19) 標準化と適応化 (20~22) グローバル・マス・カスタマイゼーション (23~25) グローバル・ブランド管理 (26~27) サービス業の国際化 (28~29) グローバル・マーケティング論と地球環境 (30)

履修上の留意点 遅刻、私語厳禁、配布資料なし。自著ノート作成。国際経営論と併せて受講することを推奨する。

成績評価の方法 学期末試験と課題を基本に評価する。

教科書 臼井哲也『戦略的マス・カスタマイゼーション研究－国際市場戦略の新視覚』2006年刊(文真堂) 2, 800円

履修コード	143231
科目名	※ 消費者行動論
担当者名	菅野 佐織

講義のねらい この授業では、人の消費場面における心理的作用と、それらと企業のマーケティング活動の相互作用について考え、理解することを目的としています。今日の企業のマーケティング活動においては、消費者のインサイトを掴むことが欠かせません。この授業では、身近な事例や企業ケースを用いて、消費者の心理を学ぶだけでなく、企業のマーケティング活動と消費者行動分析のリンクについて考えていきたいと思ひます。また、企業の方をお招きしての講義も予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 授業計画の説明とイントロダクション
2. 消費者行動とは
- 3~5. 消費者行動研究の歴史
- 6~10. 消費者の購買意思決定過程
- 11~12. 消費者行動の影響要因
- 13~14. 消費者行動のケース分析
15. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
16. 前期授業の復習
- 17~20. 消費者行動分析の手法
- 21~28. 企業のマーケティング戦略と消費者行動のリンク (価格、ブランド、広告プロモーション、インターネット、デザインと消費者心理)
29. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
30. 講義のまとめ

履修上の留意点 授業中に学生の皆さんに意見を求めるので積極的に参加してください。

成績評価の方法 出席点(数回)、レポート(数回)、定期試験によって評価します。

教科書 授業時に資料を配布します。理解を深めるために下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。

参考書等 杉本徹雄編『消費者理解のための心理学』1997年(福村出版) 2730円
清水聡『新しい消費者行動』1999年(千倉書房) 3360円

履修コード	143221
科目名	※ 製品開発論
担当者名	宮下 雄治

講義のねらい マーケティングの重要な機能である需要創造において、製品開発の果たす役割は大きく、理論的にも実践的にも、製品戦略はマーケティング・マネジメントの中核に位置づけられる。本講義ではマーケティングと技術経営（Management of Technology）研究における諸成果をふまえ、製品開発に関する諸項目の基礎的理論を解説するとともに活動の実態を紹介する。講義を通して、製品開発の基礎的な知識の習得と、現代の産業界の要請に対する製品開発のアプローチと課題について、体系的な理解と関心を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

・製品戦略の基本フレーム（2～4）：現代マーケティングにおける製品開発の役割と基本構造、・日本企業の製品開発の歴史と特徴（5～7）：日本の技術力と製品開発、・製品計画（8～10）：市場と競争の構造分析、・イノベーション（11～14）：技術革新から生活価値の革新、・技術経営（16～18）：技術経営における製品開発の視座、・研究開発[R&D]（19～20）：研究組織と技術戦略、・技術マーケティング（21～23）：技術と需要を結合させるマネジメント、・製品開発に成功する組織的条件（24～26）：製品開発力に優れた企業の特徴、・これからの製品開発（27～29）：CSRへの対応と協働型マーケティング等、新たな取組みを展望。

成績評価の方法
教科書
参考書等

定期試験（70%）、授業中の課題・小テスト（30%）を基準に評価を行う。

教科書は使わず、教師が提供する資料に基づいて授業を行う。

上原征彦『マーケティング戦略論 -実践パラダイムの再構築-』有斐閣、1999年、その他は講義内容に沿って紹介していく。

履修コード	143241
科目名	※ マーケティング・コミュニケーション論
担当者名	中野 香織

講義のねらい 近年は、マーケティングそのものがマーケティング・コミュニケーション（MC）だと認識され始めてきた。その背景には、マス広告が効かなくなってきたことに加え、様々な手段によって消費者との関係性を構築する必要がうまれてきたことなどがある。このような背景のもと、日常生活で接するもの全てをコミュニケーションのためのメディアと捉える統合マーケティング・コミュニケーション（IMC）が、今後重要になってくるだろう。そこで本講義ではIMCを包括的に理解してもらうことを目的とし、理論的な説明に加えて事例紹介やゲスト（実務担当者）による講義等、実践的な説明も行う。

講義の内容・授業スケジュール

講義は3段階に分けて行う。初めにマーケティング・コミュニケーション（MC）の全体構造を説明する。次にMCを構成する具体的な戦略を説明し、最後に各MC戦略がどのように統合されるのかを説明する。（1～5）マーケティング・コミュニケーション（MC）の全体構造、（6～9）広告戦略、（10～12）販売促進戦略、（13）ゲストスピーカー、（14）商品コミュニケーション戦略、（15～17）店頭MC戦略、（18～19）PR戦略、（20～21）パーソナル・コミュニケーション戦略、（22～23）ダイレクトマーケティング戦略、（24～25）インタラクティブマーケティング戦略、（26～27）IMC戦略、（28～30）ケース研究とまとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

平常点10%、中間試験40%、学期末試験50%で評価する。

教科書は使わず、レジュメを配布する。

亀井昭宏・疋田聰編『新広告論』2005年刊（日本経済新聞社）1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊（電通）2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊（有斐閣）2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊（電通）2,200円

履修コード	141151
科目名	※ マーケティング・サイエンスA
担当者名	若山 大樹

講義のねらい 本講義の目的は、マーケティング活動諸問題への科学的アプローチについて、その考え方と方法を学ぶことにある。そのため、マーケティングサイエンスAでは、マーケティング活動に関する様々なデータや統計解析手法について学び、市場と消費者に関する理論、モデル及びマーケティングの戦略的側面に関する科学的アプローチについて学ぶ。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. 科学的アプローチによるマーケティング
 2. 理論・モデルを通じた市場理解の方法
 - 3～4. マーケティングデータと測定法、分析法
 - 5～6. 市場の構造分析
 - 7～8. 市場細分化
 - 9～11. 消費者行動モデル
 12. ブランド評価のモデル
 - 13～14. マーケティング戦略に関する科学的アプローチ
 15. まとめ

成績評価の方法 数回の小テストと出席状況、期末レポートにより総合的に評価する。
 教科書 必要に応じて配布あるいは、指示する。
 参考書等 必要に応じて配布あるいは、指示する。

履修コード	141161
科目名	※ マーケティング・サイエンスB
担当者名	若山 大樹

講義のねらい 本講義の目的は、マーケティング活動諸問題への科学的アプローチについて、その考え方と方法を習得することにある。そのため、マーケティング・サイエンスBでは、製品、サービスのデザインや価格、流通、プロモーションといったマーケティングの戦略的側面に有効な多変量解析手法を学び、マネジリアルな観点から議論するための素養を身につける。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. 科学的アプローチによるマーケティング戦略について
 - 2～4. 製品・サービスのデザイン
 - 5～6. 価格政策と反応
 - 7～9. プロモーションと広告に関するモデル
 10. 流通
 - 11～12. マーケティング戦略の事例研究
 - 13～14. マーケティングに関する実験的方法と反応・効果の測定
 15. まとめ

履修上の留意点 情報処理基礎や統計学（関連科目）の基礎を学んでいること。SPSS（統計ソフト）を利用する。
 成績評価の方法 数回の小テストと出席状況、期末レポートにより総合的に評価する。
 教科書 必要に応じて配布あるいは、授業中に指示する。
 参考書等 必要に応じて配布あるいは、授業中に指示する。

履修コード	143251
科目名	※ マーケティング・チャンネル論
担当者名	青木 茂樹

講義のねらい 我々が手にしている商品、とくにブランドとして認知されている商品は、ある一企業の戦略目的に基づき、他の流通パートナーをコントロールしながら成果を挙げていくために形成されたマーケティング・チャンネルを経由してきている。

従来はメーカーがチャンネル・リーダーとなって、これらが形成され、卸売業、小売業がこれによりコントロールされてきた。近年は従来、被支配的な立場とされてきた卸売業や小売業が、主体的にチャンネル・リーダーとなって、自社のブランドを強めていく例も増えてきた。また新しいツールとしてインターネットにおいて、チャンネル構築を試みる中小企業や農林水産業者も出てきている。

本稿では、これまでの中心であったメーカーの国内マーケティング・チャンネル戦略から、情報化・国際化の中で形成されていく新たなマーケティング・チャンネルまでを考察していく。将来、マーケティングや営業を志向する学生にとっては必須の科目となろう。

講義の内容・授業スケジュール

1) メーカーによる垂直的マーケティング・チャンネル, 2) マーケティング・チャンネル構築・管理の諸理論, 3) プライベート・ブランドに見られるマーケティング・チャンネル戦略, 4) 国際マーケティングにおけるマーケティング・チャンネル戦略, 5) 農林水産物におけるマーケティング戦略とチャンネル管理, 6) インターネットにおけるマーケティング・チャンネル管理, 7) 生産財マーケティングにおけるマーケティング・チャンネル管理

履修上の留意点

流通システム論を既習していることが望ましい。講義形式ではあるが、机上に名札を置くなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促す。

成績評価の方法

毎回の小テストと、個人レポートの評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言 1 回に対して 1 点以上のボーナス点が与えられる。

**教科書
参考書等**

和田充夫、日本マーケティング協会編 (2005) 『マーケティング用語辞典』日本経済新聞社。

日経MJ編 (2007) 『流通経済の手引<2008年版>』日本経済新聞社。

Erin Anderson, Louis W. Stern, Adel I. El-Ansary, Anne T. Coughlan(2001) *Marketing Channels*, The Prentice Hall, 978-0130127723.

履修コード	141131
科目名	※ マーケティング・リサーチ A
担当者名	菅野 佐織

講義のねらい この授業では、マーケティング・リサーチの役割とリサーチ設計、データ分析の基礎について学びます。マーケティング・リサーチは、専門家を目指さない人にとっても企業戦略やブランド戦略を立案するための必要な知識や能となります。また、マーケティング・リサーチは、経験や実践から学ぶことも多いことから、授業の後半ではグループで調査計画を策定、データを収集、分析することで、マーケティング・リサーチ・スキルの習得も目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 授業計画の説明とイントロダクション
- 2～3. マーケティング・リサーチ概要
- 4～5. リサーチ設計
- 6～7. 調査票設計
- 8～9. データ分析の基礎
10. サンプリング
- 11～14. マーケティング・リサーチ実習
15. リサーチ結果の発表

履修上の留意点

この授業ではパソコンによる実習 (エクセル・SPSSを使用) を行うため、履修希望者が一定の数を越えた場合には、人数を制限することがあります。履修希望者は必ず第 1 回目の授業に参加してください。

成績評価の方法

出席点、最終発表、定期試験によって評価します。

教科書

授業時に配布する資料をもとに講義を行います。授業の内容をより理解するためには、下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。特に『データはウソをつく』を受講前に読んでいただくと、より授業に興味を持てると思います。

参考書等

谷岡一郎『データはウソをつくー科学的な社会調査の方法』2007年 (筑摩新書) 798円

ナレシュ・K・マルホトラ『マーケティング・リサーチの理論と実践～理論編～』2006年 (同友館) 9450円

D.A.アーカー&G.S.デイ『マーケティング・リサーチ』1981年 (白桃書房) 5208円

履修コード	141141
科目名	※ マーケティング・リサーチ B
担当者名	菅野 ^{かんの} 佐織 ^{さおり}

講義のねらい	この授業では、高度なマーケティング・リサーチの分析手法と企業戦略への応用について学びます。具体的には、マーケティング・リサーチでよく用いられる因子分析、相関分析、回帰分析、クラスター分析、コンジョイント分析を中心に学びます。また、新しい分析手法も紹介しながら、よりマネジリアルな視点から、マーケティング戦略とマーケティング・リサーチの理解を深めます。授業の後半では、グループで調査計画を策定、データを収集、分析し、マーケティング・リサーチ・スキルの習得も目指します。
講義の内容・ 授業スケジュール	1～3. マーケティング・リサーチの概要と復習 4～5. 因子分析 6～7. 相関分析と回帰分析 8～9. クラスター分析とコンジョイント分析 10. その他の分析手法 11～14. マーケティング・リサーチ実習 15. リサーチ結果の発表
履修上の留意点	この授業ではパソコンによる実習（エクセル・SPSSを使用）を行うため、履修希望者が一定の数を越えた場合には、人数を制限することがあります。履修希望者は必ず第1回目の授業に参加してください。また、この授業ではマーケティング・リサーチの基礎の講義はしません。「マーケティング・リサーチA」の後に履修されることをお勧めします。
成績評価の方法	出席点、最終発表、定期試験によって評価します。
教科書	授業時に配布する資料をもとに講義を行います。授業の内容をより理解するためには、下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。
参考書等	朝野照彦『入門 多変量解析の実際 第2版』2000年（講談社）2800円 ナレシュ・K・マルホトラ『マーケティング・リサーチの理論と実践～理論編～』2006年（同友館）9450円 D.A.アーカー&G.S.デイ『マーケティング・リサーチ』1981年（白桃書房）5208円

履修コード	143281
科目名	※ マーケティング史
担当者名	石川 <small>いしかわ</small> 和男 <small>かずお</small>

講義のねらい

マーケティングという学問が誕生してからはや1世紀以上が経過した。経済学や法学など、他の社会科学分野の学問に比較すると、その歴史の長さは比べようもなく短く短いといわなければならない。しかし、マーケティングという「市場対応」に関する方法や技術が、20世紀の社会を変化させてきたこと、そして21世紀の社会を変化させる1つの基軸となることは間違いないであろう。そこで、本講義では、いかにマーケティングが市場対応をしてきたかという歴史を振り返ることで、これから将来にわたり、いかに市場対応することが必要か、またそれを実践できる元となるものを本講義では身につけてもらいたい。講義ではさまざまな分野の産業におけるマーケティングの展開について触れる。それは経営史でも商業史でもなく、メーカーや流通業者などの主体がいかに市場に対応してきたかという足跡を辿ることになる。受講生には、ただ講義を聴くという姿勢ではなく、積極的に企業などの市場対応をしてきた歴史について関心を持つことを期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

1.開講にあたって、2.マーケティング史と経営史、商業史、経済史との違い、3.戦前期の先駆的マーケティング(1)-戦前期のマーケティングの形成、4.戦前期の先駆的マーケティング(2)-森永製菓、5.戦前期の先駆的マーケティング(3)-化粧品産業の発展と市場構造、6.戦前期の先駆的マーケティング(4)-資生堂、7.戦前期の先駆的マーケティング(5)-花王、8.戦後の経済発展とマーケティング-大衆消費社会の形成とマーケティング、9.問屋制度とマーケティング(1)-伝統的問屋制度と医薬品流通、10.問屋制度とマーケティング(2)-大正製菓、11.マーケティング企業の普遍化(1)-松下電器産業、12.マーケティング企業の普遍化(2)-トヨタ自動車、13.マーケティング企業の普遍化(3)-トヨタ自動車、14.小売業のマーケティング展開(1)-小売業態変化、15.小売業のマーケティング展開(2)-百貨店、16.小売業のマーケティング展開(3)-スーパーマーケット、17.小売業のマーケティング展開(4)-その他の業態、18.卸売業のマーケティング展開(1)、19.卸売業のマーケティング展開(2)-総合商社の発展、20.卸売業のマーケティング展開(3)-食品専門卸売の発展、21.グローバル化の進展とマーケティング(1)-日本企業のグローバル化、22.グローバル化の進展とマーケティング(2)-ホンダ、23.グローバル化の進展とマーケティング(3)-ソニー、24.展開期のマーケティング-マーケティングの刷新、25.マーケティング・コミュニケーションの進展、26.サービス・マーケティングの進展(1)、27.サービス・マーケティングの進展(2)-外食産業の発展、28.サービス・マーケティングの進展(3)-東京ディズニーリゾート、29.非営利組織のマーケティング展開、30.これまでの講義のまとめ

履修上の留意点

1. 携帯電話の使用厳禁（使用を発見した場合は即刻受講中止。単位不認定）
2. 遅刻・早退・中抜け厳禁
3. 私語厳禁
4. 帽子着用、食厳禁
5. 公欠の取り扱い（運動部の公式試合、教育実習などの場合は証明書を提出のこと）
その他、開講時の1時間目に細かく指示。したがって、第1回目の授業時から出席の必要あり。

成績評価の方法

1. 出席点30%
2. ミニレポート30%
3. 期末試験または期末レポート40%

教科書等

特に指定しない
 小原博(1994)『日本マーケティング史』中央経済社
 日本経済新聞社編(1993)『流通現代史』日本経済新聞社
 尾崎・神保編(2000)『マーケティングへの歴史的視角』同文館

その他

第1回目の授業時に、重要なこととお話するつもりですので、必ず第1回目から出席すること

専門教育

履修コード	331551
科目名	リスクマネジメント論
担当者名	石名坂 邦昭 <small>いしなざか くにあき</small>

講義のねらい 近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。

講義の内容・授業スケジュール リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。

履修上の留意点 ノートをしっかりととること

成績評価の方法 定期試験の成績と平常点

教科書 特になし

参考書等 リスクマネジメントの理論 石名坂邦昭著 白桃書房

その他 授業にまじめに出席すること

①リスクマネジメントの生成と発達, 1～3, ②リスクマネジメントの理論, 4～10, ③企業経営とリスクマネジメント, 11～20, ④PLとリスクマネジメント, 21～25, ⑤環境リスクとリスクマネジメント, 26～30

履修コード	307802
科目名	民法
担当者名	織田 晃子 <small>おだ てるこ</small>

講義のねらい このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - (1) 権利能力 (2) 意思能力、行為能力 (3) 不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - (1) 法人の意義・本質 (2) 法人格否認の法理 (3) 権利能力なき社団・財団
 - (4) 法人設立とその能力 (5) 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念 (2) 不動産と動産 (3) 主物と従物 (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為 (2) 意思表示 (3) 代理 (4) 無効及び取消 (5) 条件及び期限、期間
 - (6) 時効

履修上の留意点 六法は必ず持参すること。

成績評価の方法 期末試験の成績による。

教科書 勁草書房 民法第二版①総則、物権 2,200円+税

その他 コンパクト六法(岩波) プリント配布

履修コード	308802
科目名	商法
担当者名	井上 健一 <small>いのうえ けんいち</small>

講義のねらい	企業活動の内部的な規整である会社組織に関する法規整（いわゆる形式的な意味での会社法）について講義する。単なる制度の紹介にとどまらず、なぜそのような制度が存在するのかという「制度の存在理由」を、近時の敵対的買取と対抗策の問題などに代表されるような現実の会社実務との関係で理解することを心がける。前期は主としてコーポレートガバナンスに関する規整、後期は企業金融および組織再編に関する規整を中心に講義する。商法総則についても適宜会社法との関連部分について触れていく。
講義の内容・授業スケジュール	前期 1 会社法総論：商法の体系および会社法の存在意義 2 会社の機関と法：コーポレートガバナンスに関する法規整（株主総会、取締役会・代表取締役、監査役等） 後期 3 会社の資金調達と法規整（設立時の資金調達、設立後の資金調達：新株発行、社債等） 4 会社の組織再編（M&A等） 5 企業会計
履修上の留意点	少なくとも民法（総則債権各論）を履修済みか、履修中であることが望ましい。日経などの新聞・雑誌の経済記事についてもアンテナを張っておくこと。
成績評価の方法	原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で質疑応答形式によるケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。
教科書 参考書等	平出・山本・田澤編「会社法概論」（青林書院）3780円 4-417-01404-3 江頭憲治郎「株式会社法」（有斐閣）、神田秀樹「会社法」（弘文堂）。その他、適宜授業内で紹介する。
その他	授業情報は http://homepage3.nifty.com/inoue-k/ も参照のこと。

履修コード	325101
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義のねらい 今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではいられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、労働時間法制、労働契約法や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 賃金、賞与、退職金
- (10) 労働時間、時間外・休日労働
- (11) 休憩、休日、休暇
- (12) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No、そして無断で席を立つことは No。いわゆる授業のマナーは守ってください。

成績評価の方法

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価はつきません。ミニテスト、前期試験、レポートや出席を含めて、総合的に評価します。

教科書

追試験は実施します。

参考までに挙げますと、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）や金子征史ほか著『入門労働法』（有斐閣双書）です。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

なお、今、教科書(共著)を作成しています(準備中)。

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、これも1回目の授業で話します。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

履修コード	334301
科目名	税法
担当者名	おくむら まさちろう 奥村 正郎

講義のねらい 租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。講義の内容は以下のようになります。I～V前期、VI～X後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。出席状況、期末試験により評価する。
速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）
授業を進める中で適宜紹介する。
計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

履修コード	334701
科目名	外書講読（英書）
担当者名	ひの けんた 日野 健太

講義のねらい 易しめの雑誌論文を輪読して、経営学のいくつかのテーマを学ぶと同時に、英語力を向上させる。
講義の内容・授業スケジュール あるテーマについて（e.g. 企業家精神、CSR、リーダーシップなど）取り上げた英語の論文を読む。1本目は私が用意するが、2本目以降は学生の意見を反映させて決定。最先端の（悪くいえば「はやり」の）テーマを選択したい。

履修上の留意点

指定部分について予習してきたうえで、講義では一人一文ずつ訳してもらおう。必ず予習してくること。また講義科目ではないので出席しないことには授業自体が成り立たない。辞書（電子辞書で構わない）持参。

成績評価の方法

受講者全員がきちんと出席し、学習しているようであれば平常点評価。そうでなければ試験を実施。

教科書

コピーを配布。

履修コード	334801
科目名	外書講読（英書）
担当者名	はやみ のぼる 速水 昇

講義のねらい 「外書講読」は1字1句言葉を確認しながら自分の力で訳すため、スピードは遅いが内容を把握する点では最適といえる。そして、経済・経営のテクニカル・タームを把握し、この大学を卒業するころには英字新聞の経済・経営の記事が読めるようにして欲しいというのが私の希望であり、講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

最初は辞書がなくても訳せるような易しい文献を選んで「外書講読」に慣れ親しんでもらう。そして、徐々に専門的な知識が身に付くような文献を講読し、専門的な知識を深めることにする。1年間で4つのテーマ、たとえば貿易摩擦（Trade Friction）、財政赤字（Deficit Finance）などについての講読を予定しているが、「外書講読」は休むと身に付かないので出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

レポート、小テスト、和訳等総合評価による。

教科書

授業時にプリントを配布

履修コード	144301
科目名	※ 外書講読 (独書)
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋

講義のねらい	日本の政治、経済、社会に関連するドイツの雑誌記事などを読むことによって、ドイツ語の現代文の読解力を養うことを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1)講義方針の説明、教材、辞書および補助文献の紹介 (2~6) 雑誌『シュピーゲル』の記事“Die Verelendung der Provinz”(「地方の貧困化」)の分担講読 (7)これまでのまとめ(目についたドイツ語文読解上の問題点の指摘など) (8~18) 雑誌『シュピーゲル』の記事“Verlieren die Liberaldemokraten nach einem halben Jahrhundert die Macht?”(「半世紀ののち自民党は権力を失うのか?」)の分担講読 (19)これまでのまとめ(目についたドイツ語文読解上の問題点の指摘など) (20~29)インターネットを通じて収集されたドイツ語圏の日本に関する新聞記事の分担講読 (30)まとめ
履修上の留意点	ドイツ語の原テキストを読むためには、文章構造の理解のための十分な文法的知識とともに、一般的社会・経済的知識が必要とされます。ですから、既習の文法事項の復習と普段から日本語の新聞・雑誌等の意識的講読が要求されます。そのうえで、毎回の予習をきちんと行ってください。受講者は少数と予測されますので、ほぼ毎回、分担箇所を和訳してもらおうことになるでしょう。なお、講義担当者が作成した語句の語学のおよび内容の説明のための注解を配布いたします。
成績評価の方法	試験はおこなわず、出席率と分担箇所の和訳の出来具合に基づいて成績を評価いたします。
教科書	教科書は用いず、教材はそのつどコピーで配布いたします。
参考書等	参考書、辞書などは授業の初回に紹介いたします。

履修コード	144401
科目名	※ 外書講読 (仏書)
担当者名	くわが のりあき 桑田 禮彰

講義のねらい	フランス語の基礎を習得した学生を対象に、フランス語で書かれた経済・経営に関する文献をテキストとして講読することによって、フランス語の読解力を養うとともに、経済・経営に関する知識を深めることを目標とします。テキストは、日本に関するもの、ヨーロッパに関するもの、グローバル化に関するものなど多様な選択肢がありますが、授業開始時に履修者の関心に沿った形で決定することとします。フランス語の読解力養成のために、できるかぎり平易な文法説明・内容解説を心がけるつもりです。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音の基本をしっかり復習した上で、はじめは初級文法を再確認しながらテキストをゆっくり読んでいきます。受講者に読解力がついてきたら多少ペースを上げ、中級文法説明や内容解説に時間をかける予定です。 (1) 受講上の諸注意 (2) 発音の基本の復習 (3) ~ (15) 初級文法復習を中心としたテキスト読解 (16) ~ (29) 中級文法説明・内容解説を中心としたテキスト読解 (30) 復習と今後のフランス語学習について
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	授業開始時に受講者と相談の上決定。
参考書等	そのつど授業で指示します。

履修コード	144501
科目名	※ 外書講読 (中国書)
担当者名	さとう ともみこ 佐藤 普美子

講義のねらい	前年の各分野の流行語を通して、激変する同時代中国の社会・文化事情を読み解くと同時に、新聞雑誌記事の文体に慣れる。
講義の内容・授業スケジュール	前年の各分野における流行語を解説した文章(主として新聞記事から抜粋したもの)を毎回1篇(600~800字程度)読む。比較的長い文章は2回に分けて読む。分野は①政治②経済③科学技術④教育⑤健康⑥出版⑦旅行⑧インターネット⑨文化芸術⑩ファッション。各分野より一語(=1篇)選び、順次読み進める予定。
履修上の留意点	予習は不可欠。4分の3以上の出席が前提となる。
成績評価の方法	出席、予習の有無、学期末テストにより、総合的に評価する。
教科書	開講時、教材プリントを配布する。
参考書等	辞書は必ず携帯すること。
その他	少人数であれば、研究室で授業を行う予定。

履修コード	144601
科目名	※ 外書講読（スペイン書）
担当者名	上野 勝広

講義のねらい 専門書をひとりで読みこなすことができるよう、1年次、2年次で学んだスペイン語の基礎の上に、読解力を養う訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール スペイン語圏および日本の社会と文化に関するテキストを読みます。同時に必要な文法事項を以下の予定で確認します。
前期（1）オリエンテーション（2～5）自動詞・再帰動詞・他動詞の構文、など（6～10）連結動詞の構文、など（11～15）関係節、など
後期（16～20）副詞節、など（21～25）受動構文、など（26～30）比較構文、など

履修上の留意点 スペイン語の基礎文法をしっかりと復習しておくこと。現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関するコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法 毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。試験やレポートは課さず、平常点で評価します。

教科書 プリント使用。

履修コード	144701
科目名	※ 外書講読（ロシア書）
担当者名	杉山 秀子

講義のねらい ビデオ、DVDを毎回見てロシア事情を楽しく学びたい。

履修上の留意点 パソコンルームでパソコンを動かすので、できるだけ早くパソコン操作になれて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール 4月～9月 ロシアを紹介したビデオ、DVDをみる。真似てみたい表現をパソコンでうってみる。
10月～12月 インターネットでリアルタイムのニュースをみて、カッコいい殺し文句を覚えてみよう。

成績評価の方法 筆記試験は一切しない。自分が気に入ったロシア語の文句をできるだけ大きな声で発音してもらう。

教科書 教室で配付。

履修コード	334501
科目名	ビジネス英語
担当者名	杉山 泰彦

講義のねらい 貿易の具体的な活動を教え、それに沿った典型的な商業英語の基本から各国の企業に通用する英文が書けるように指導する。

講義の内容・授業スケジュール 小職の大手総合商社での40年間の輸出入、及びプラント建設輸出の経験を説明し、何故、職業英語が輸出入業務に必須であるかを十分理解せしめ、商内の成立するフロー（inquiry）-（offer）-（counter offer）-（nego）-（contract）-（shipment）-（payment method）等の流れを具体的に説明、理解せしめ、且つその後のクレーム処理、仲裁の実例を交え総合商社、メーカー等がどのような仕事を日夜やっているのかを理解し、商業英語勉強に興味を引く様に指導したい。

履修上の留意点 貿易関連会社の具体的な仕事内容また海外駐在時での仕事等を説明しつつビジネス英語を織り交せて行き英語に興味を湧かせながら授業を進めて行きたい。尚4月第一回目授業で簡単な英作文テストを行い、授業資格を決定しますので必ず受験のこと。

成績評価の方法 年2回 前期、後期にテストを行う。年後半には適度に出席をとる。

教科書 初めて学ぶビジネス英語 田中武雄著 成美堂 ￥2,000

参考書等 小職が勤務していた日商岩井「現双日」が作成した社員の為の参考書よりプリントを刷り必要に応じて配布したい。

履修コード	144801
科目名	※ 特殊講義I〔現代のビジネスモデル〕
担当者名	さるやま よしひろ 猿山 義広

講義のねらい 本講座は、「現代のビジネスモデル」をテーマに、起業家の育成を目的として、約3分の2は実務者によって講義される。実社会の動向がわかるようになるだけでなく、自らが考えた企画がそのまま評価の対象となるので、プレゼンテーション能力や企画力を養うこともできる。

講義の内容・授業スケジュール 以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認していくこと。
第1回 ガイダンス、第2回 事業計画書作成の方法、第3回 プレゼンテーションの方法、第4回 ビジネスモデルの事例研究(1)、第5回 ビジネスモデルの事例研究(2)、第6回 ビジネスモデルの事例研究(3)、第7回 事業計画書とビジネスモデル、第8回 ビジネスモデルの事例研究(4)、第9回 ビジネスモデルの事例研究(5)、第10回 ビジネスモデルの事例研究(6)、第11回 プレゼンテーション(1)、第12回 プレゼンテーション(2)、第13回 プレゼンテーションの講評、第14回 これからのビジネスモデル、第15回 まとめ

履修上の留意点 定期試験および追試験は実施しない。

成績評価の方法 指定されたテーマで作成してもらった事業計画案を主たる評価対象（80％）とする。このほか、出席点とレポート点を評価対象（20％）とする。

教科書 毎回資料を配布する。プレゼンテーションではパワーポイントを用いる。

参考書等 適宜、授業中に紹介する。

その他 外部の特別講師による講義では、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

履修コード	101203
科目名	※ 特殊講義II〔現代の資本主義と証券市場〕
担当者名	さるやま よしひろ 猿山 義広

講義のねらい 野村ホールディングスの提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・授業スケジュール 以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認していくこと。
第1回 ガイダンス
第2回 経済情報の捉え方
第3回 証券投資のリスク・リターン
第4回 ポートフォリオ・マネジメント
第5回 企業とCSR
第6回 債券市場の役割と投資の基礎知識
第7回 株式市場の役割と投資の基礎知識(1)
第8回 株式市場の役割と投資の基礎知識(2)
第9回 投資信託の役割とその仕組み
第10回 日本の株式市場の歴史
第11回 経済成長と金融資本市場
第12回 資本市場における投資家心理
第13回 資産運用とライフ・プランニング
第14回 レポートの講評
第15回 まとめ

履修上の留意点 定期試験および追試験は実施しない。

成績評価の方法 出席点とレポート点で評価する。

教科書 毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。

参考書等 野村証券投資情報部編『証券投資の基礎』丸善。
氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社。

その他 企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

履修コード	334901
科目名	演習I
担当者名	阿部 一人 <small>あべ かずひと</small>

講義のねらい 本演習では、財務会計を中心に、企業会計の基礎研究をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール この財務会計の基礎知識を習得するためにテキストにそって財務会計の基礎を体系的に学習する。後期は、企業会計の領域の中から各自がテーマを選び、それにもとづいて研究発表を行う。

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判断する。

教科書 開講後、指示する。

参考書等 授業中に置いて適宜指示する。

履修コード	335501
科目名	演習I
担当者名	岩淵 昭子

講義のねらい 会計には共通言語としての機能があるといわれ、企業の価値観や戦略が繁栄されている。企業の社会的責任（CSR）を重視した経営が定着しつつあるなかで、企業の不祥事の多発などによって、コーポレート・レピュテーション（企業の評判）が注目されている。財務業績だけでなく、環境や人にやさしい経営も重要だと考えられるようになってきている。企業が、経済価値・社会価値・組織価値といった総合的な企業価値を高めるために、どのような取り組みを行っているのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス、無形の資産（インタンジブルズ）の重要性
2. レピュテーションのマネジメントの役割と課題
3. 管理会計におけるコーポレート・レピュテーションの課題
4. レピュテーションのマネジメントによる競争優位の確保
5. レピュテーションのマネジメントによる企業価値の増大
6. コーポレート・レピュテーションによる企業価値の測定
7. レピュテーションのマネジメント方法
8. レピュテーションのマネジメントのケーススタディ

履修上の留意点 卒業論文を書くことを前提にして演習に望むこと。

成績評価の方法 レポート、出席などで総合的に評価する。

教科書 『レピュテーション・マネジメント』、櫻井通晴著、中央経済社

参考書等 『企業価値創造の管理会計』、櫻井通晴・伊藤和憲編著、同文館出版、3,000円＋税

履修コード	335601
科目名	演習I
担当者名	大島 久幸 <small>おおしま ひさゆき</small>

講義のねらい 本演習では、具体的な企業の事例研究を通じて、日本の企業の歴史を学びます。歴史を学んでも今すぐ役立つ知識は得られないかもしれませんが、しかし、絶えず変動する今日をじっくり見据える判断力を養うには歴史はとてもよい素材を提供してくれます。対象を相対化できることによる客観性が歴史の妙味だからです。事例研究では個人の実名の入った生き活きた歴史を学びます。そこから未来を生きる助けになる材料を皆さん自身で探してください。

講義の内容・授業スケジュール 学生自らテーマを設定して、オリジナルの結論を年末までに論文としてまとめます。論文作成に際しては、資料収集のために外に出かけたり、夏合宿を行って議論を深めたりします。研究成果は年末に開催される立教大学・明治大学・駒澤大学・高千穂大学の合同ゼミ発表会で発表します。こうした活動を通じて課題発見能力やプレゼン能力・コミュニケーション能力を涵養します。

履修上の留意点 履修者は主体的に学び成長しようという意思が求められます。

成績評価の方法 ゼミナール活動への参画度によって総合的に評価します。

履修コード	335701
科目名	演習I
担当者名	おくむら まさみち 奥村 正郎

講義のねらい 近年、少子・高齢化や経済のグローバル化が急速に進展する中で、今後の税のあり方が、その使い途とともに、国民の高い関心事となっている。本演習では、一度は基礎から租税を勉強してみたいと考えている学生、また将来、会計の専門職を目指している学生を対象に、租税のしくみや意義など、基本的事項についての理解を深めてもらうことを目的とする。演習Iでは、テキストを中心に現在の租税制度について学んでいくことにする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、租税原則、租税の変遷、相続税等を、後期は所得税、法人税、消費税を中心に行う予定。

履修上の留意点 本演習では簿記会計の知識は必須ではないが、専門職を目指す学生は上級簿記等も受講することを勧める。

成績評価の方法 出席状況、課題等により総合的に評価する。

教科書 速水昇編著『政府の役割と租税』（学文社）2,800円

参考書等 授業中に適宜指示する。

その他 少人数で行う演習の成否は、受講生の積極性にかかっている。自発的な参加と発言が望まれる。

履修コード	335001
科目名	演習I
担当者名	おざわ としひさ 小沢 利久

講義のねらい 個人・企業は様々な場面で次取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、マネジメント・サイエンスの各種手法とコンピューターリテラシについて学んでいきます。マネジメント・サイエンスとは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、マネジメント・サイエンスの応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりがつつあります。

講義の内容・授業スケジュール データ分析と予測、在庫管理、生産計画、輸送計画、階層化意思決定法などのマネジメント・サイエンスの基本的な手法について学ぶとともに、それら手法を用いた評価（計算）を Excel 上で行うためのやや高度な Excel の使い方について学んでいきます。また、プレゼンテーション能力を高めるために、企業紹介と商品企画を題材としたレポートの作成及び PowerPoint を用いた発表練習を行います。

履修上の留意点 演習Iについては、演習II（4年生）を継続して受講することを前提としています。

成績評価の方法 課題提出物、発表内容、出席状況により評価します。

教科書 必要に応じて指定します。

参考書等 必要に応じて示します。

履修コード	335201
科目名	演習I
担当者名	兼村 栄哲 <small>かねむら えいてつ</small>

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情報の懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。

マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が、生産者が生産した商品消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（「流通」とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

以下の5つが、履修者が最低限すべき内容である。

- 1 通常の演習においては、テキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学ぶ。
- 2 4～5人のグループで業界研究をし、A4版で100枚以上のレポートにまとめる。また、その概略を冬合宿で発表する。
- 3 年に1回、各自で業界研究をし、A4版で100枚以上のレポートにまとめる。また、その概略を冬合宿で発表する。
- 4 夏休みの工場見学に参加する。その前提として、各工場について、それぞれのグループで20以上の質問を考える。
- 5 電通主宰の学生懸賞論文に応募する。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

- 1 通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも参加すること。同時に、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すなど、積極的に参加すること。
- 2 お互いの親睦を図ること。
- 3 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合には、必ず事前にその旨を申し出ること。

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等による総合的な評価

教科書

グローバルタスクフォース株式会社（著）『コトラー教授『マーケティング・マネジメント』入門Ⅰ』（総合法令）2005年、1,680円、ISBN：4-89346-882-0。

グローバルタスクフォース株式会社（著）『コトラー教授『マーケティング・マネジメント』入門Ⅱ』（総合法令）2005年、1,680円、ISBN：4-89346-883-9。

参考書等

適宜紹介する。

履修コード	335301
科目名	演習I
担当者名	中川 淳平 <small>なかがわ じゆんぺい</small>

講義のねらい

この演習では、企業、そして企業をめぐる社会・経済現象について参加者が多角的な理解が得られるようにしたいと考える。併せて、報告の仕方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

経営学・経済学の基本的な文献を読み、討論してゆく。文献は開講時にこちらで指定する文献のなかから参加者に選択してもらい、その概要を発表してもらう。さらに、一年間の学習のまとめとして、レポート（小論文）を作成する。

履修上の留意点

多量の文献を読む予定なので、積極的に勉強する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

平常点100%（発表や討論の内容、レポート、学習態度による）

教科書

開講時に指示します。

履修コード	335401
科目名	演習I
担当者名	はっとり 服部 昌久

講義のねらい 1998年に世界最大級の在アメリカ金融機関シティグループを誕生させ、2003年に最高経営責任者(CEO)を退くまでその経営を主導してきたサンディ・ワイルの伝記を読む。若い頃に小さな証券会社を設立してビジネスキャリアをスタートして20年後、クレジットカード会社のアメックスの社長になりながら数年後に解任された。しかし、小さなファイナンスカンパニーの社長から再出発して10数年後にシティグループを誕生させた。ドラマチックな彼の生涯を振り返り、企業経営のさまざまな局面での経営者の行動を批判的に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール Monica Langley, "Tearing Down the Walls"を講読し、意見交換を行う。
具体的には、毎週発表者が10ページ程度を簡単に説明し、そこで提起された問題を参加者全員で議論する。

履修上の留意点 取上げる本は英文で400ページあまりあるので、演習Iで終わらない部分は演習IIに引継ぐ予定。ビジネス書であるため英語はさほど難しくないが、この本を熟読することで、英文に慣れることをも期待している。

発表者は事前に十分予習しておくこと。当日に簡単なレジュメを配布し、議論をリードすること。発表者以外の参加者も該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。

成績評価の方法 発表者は時間を厳守するとともに、他の参加者も15分以上の遅刻は原則認めない。
演習での活動状況をもって評価する。

教科書 Monica Langley, "Tearing Down the Walls", Free Press US\$ 15.00
ISBN 0-7432-4726-4

履修コード	335101
科目名	演習I
担当者名	よだ さまし 依田 聖

講義のねらい 現代社会は知識社会と言われ、その場合科学技術がその中心に位置付けられている。従って科学技術の創造やマネジメントについて理解しそれをビジネスに結び付けていくこと。すなわちベンチャービジネスや新規事業を起こす機会がいろいろな局面で増加することであろう。理工科系学部ではMOT (Management of technology) 教育に力を入れ始めている。文科系学部出身者もそのような場面を想定して現代科学技術の役割と科学技術のマネジメントを学ぶ必要性が益々高まるであろう。そして科学技術をコアにした競争戦略の策定や事業計画の立案について訓練する必要に迫られる。

講義の内容・授業スケジュール 本演習では経営戦略や競争戦略の基礎的な事項を整理検討し、自ら世の中の動向を見極めニュービジネスシーズを探索し、それをもとにビジネスプラン(事業計画)を作成することで、演習のまどめを行っていく。

履修上の留意点 a. 最終的には自ら策定したビジネスプランを発表するため、代表的なプレゼンテーションソフトであるパワーポイント(PPT)の使い方を覚える。b. 科学技術や競争戦略の基本的文献を各自分担して読み、PPTを使い発表・報告し、様々な課題をみんなでディスカッションをしていく。

成績評価の方法 科学技術、ニュービジネス、新規事業開発、起業に興味を持つ学生、熱意のある学生の受講を望む。

教科書 出席状況、報告発表、レポート等々により、総合的に評価する。
授業中に指示する。

履修コード	336501
科目名	演習II
担当者名	おおのり まんな 大野 満奈

講義のねらい この演習を通じて参加各人の個性や発想を生かし、意見交換等を通じて相互の交流を深めること、そして、大学での自己の専攻と呼べる領域を築きあげること、この二点をねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール 財務会計の諸概念を理論的に追及する作業を行う。さしあたりは、企業会計原則を中心とする制度会計の理解が得られるよう指導していき、その後は今日における会計上の諸問題を取り扱っていく。

履修上の留意点 日商簿記検定3級取得者、または「簿記学」の単位を修得しその内容をよく理解している者が望ましい。

成績評価の方法 出席率・ゼミ論の内容等により成績を評価する。
その他の 合宿を1回~2回予定しているので参加すること。

履修コード	336601
科目名	演習II
担当者名	小田 ^{おだ みきお} 幹雄

講義のねらい ガソリン価格の高騰は庶民の生活に非常に大きな影響を与え物価の上昇を招いている。このような状態のなか、政府は税収不足を消費税の税率アップを計ろうとしている。少子高齢化が進み景気が低迷している現在、消費税率見直しよりも政府の特殊法人の見直しなど無駄を排除するのが先ではないだろうか。わが国の財政状態はどうなっているのだろうか、わが国の中小企業のうち法人税を納付している会社は全体の35%にすぎず実に65%は赤字や欠損補填のために法人税の支払いはおこなわれていないのだという。このような現実を知った上でわが国の財政について改めて考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 各人が以下の各章を学びつつ卒業テーマをかながえながら勉強していくように指導したい。

- 第一章 政府の役割
- 第二章 歳入論
- 第三章 歳出論
- 第四章 地方財政論
- 第五章 租税論
- 第六章 後期 卒論指導

各人の選択したテーマにしたがって部分的に発表をしながら不足分を指摘していきたい。

履修上の留意点 将来税理士や会計事務所に就職したい学生向きです。

成績評価の方法
教科書

出席を重視する。

教科書：速水昇・小田幹雄編著 『公共部門の経済活動と租税』 学文社 ￥2,900

履修コード	336301
科目名	演習II
担当者名	鹿嶋 ^{かしま ひであき} 秀晃

講義のねらい 研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・授業スケジュール 現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいきます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。

履修上の留意点 出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法 出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

適宜指示。過去のテキスト例。熊沢誠『若者が働くとき』、朝日新聞特別報道チーム『偽装請負』、中野麻美『労働ダンピング』、風早正宏『ここがおかしい日本の人事制度』など。

参考書等その他

演習時に適宜紹介。

履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html

履修コード	336001
科目名	演習II
担当者名	片桐 伸夫

講義のねらい	このゼミは3・4年次(演習Ⅰ・Ⅱ)で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、 といった内容です。
講義の内容・授業スケジュール	(1)経営分析について、(2-6)経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、(7-12)収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、(13-15)貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16-20)生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21-26)キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27-30)税効果会計、正味現在価値法と設備投資
履修上の留意点	このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表(貸借対照表や損益計算書など)の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。
成績評価の方法	成績評価は平常点100%です。
教科書 参考書等	4年次(演習Ⅱ)では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。 開講時、指示します。 随時、紹介します。

履修コード	336701
科目名	演習II
担当者名	加藤 武信

講義のねらい	現代企業における情報システムの役割に関して、理論的・技術的な検討を行う。競争戦略論・情報システム論・管理会計論などに依拠したジネスデータの分析に関して、Excel 課題の解題を含めて考察する。また情報技術の修得訓練では、販売管理を含むデータベース設計・システム設計について、3年次に引続き勉強を深める。
講義の内容・授業スケジュール	A. 競争戦略から業務システムまでの経営プロセスを Excel 計算モデルにより理解 (1~3)経営戦略の策定、市場の分析(4~10)各種管理モデル B. キャッシュフロー経営の理解と Excel による会計計算および経営分析 (11~15)キャッシュフロー経営・会計の理解(16~20)工業簿記レベルの会計計算、経営分析 C. 販売管理や顧客管理データベース設計および活用 (21~25) Access による販売管理や顧客管理の設計事例の検討と活用法の理解 D. 各自の進路にふさわしいテーマでのゼミ論文の作成 (26~30)ゼミ論文の発表と討議
履修上の留意点	パソコン実習を含む授業であるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。
成績評価の方法	平常点(出席とレポート)により総合評価する。
教科書	加藤武信他「コンピュータ活用」(サンウェイ出版)¥2,300

履修コード	336101
科目名	演習II
担当者名	猿山 義広 <small>さるやま よしひろ</small>

講義のねらい この講義では、現代の管理会計理論について詳細に学ぶことを目的としている。現代の管理会計は経営戦略と密接に結びついており、コスト・リーダーシップの確立や差別化を図るためのマネジメント・ツールとして展開されている点に特徴がある。たんなる事実についての計算ではなく、戦略目標を達成するための計算であることを念頭に置いて勉強を進めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール 第1回 企業経営と管理会計、第2回 経営者と管理会計、第3回 企業価値創造のための管理会計、第4回 事業部制の管理会計、第5回 キャッシュ・フロー経営、第6回 経営戦略の管理会計への役立ち、第7回 中長期経営計画と予算管理、第8回 バランスト・スコアカード、第9回 損益分岐点分析と直接原価計算、第10回 標準原価計算とコスト・コントロール、第11回 コスト・マネジメント、第12回 原価企画と戦略的コストマネジメント、第13回 第1回から第12回のみまとめ、第14回 ABCによる経営効率の向上、第15回 製品原価算定のための技術と概念、第16回 物流費、販売促進費、本社費の管理、第17回 広告宣伝費の管理、第18回 ブランド・マネジメントと管理会計、第19回 経営意思決定のための会計、第20回 戦略的・戦術的価格決定、第21回 戦略的意思決定と設備投資意思決定、第22回 企業再編と分権化の管理会計、第23回 ITのための管理会計、第24回 研究開発費の管理会計、第25回 海外事業のための管理会計、第26回 第14回から第25回のみまとめ、第27回 管理会計の事例研究(1)、第28回 管理会計の事例研究(2)、第29回 管理会計の事例研究(3)、第30回 現代管理会計の課題

履修上の留意点 演習は学生による報告が中心となる。報告にあたっては、聴講者がより深く理解できるように資料を作成してもらうことになるが、文章だけでなく図表を盛り込んだ資料をつくること。

成績評価の方法 割り当てられた報告の内容、授業中の発言、出席状況、年2回課外レポートの内容に基づいて総合的に評価する。

教科書 櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

参考資料や計算問題については授業中に配布する。

参考書等 項目ごとに指示する。

その他 1回の授業につきかならず、何か1つは新しい知識や疑問点を見つけられるよう集中して授業に臨んでもらいたい。

履修コード	335901
科目名	演習II
担当者名	園田 哲男 <small>そのだ てつお</small>

講義のねらい 本ゼミは4年生を対象にしたものである。すでに3年次において、台湾をはじめ東アジアの経済発展のメカニズムを分析し、その発展の特徴や課題について考察を行った。これらの研究活動を通して、低開発途上国・地域および低迷している地域を活性化するための戦略について個人研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール 前期・後期を通じて個人研究のテーマにしたがって論文指導を行う。夏季合宿において中間研究発表を行い、学年末に卒論を提出する。

履修上の留意点 本ゼミは個人研究を通して、研究意義や発表能力を身につけ、自己啓発を狙いとする。

成績評価の方法 成績評価は学年末に課せられた論文とによって評価する。

履修コード	336201
科目名	演習II
担当者名	滝田 公一 <small>たきた こういち</small>

講義のねらい 演習Iで修得した、企業のケーススタディの手法や経済情報の分析手法を利用して卒業論文をまとめてもらいます。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iで学んだことを利用して、卒業論文を書いてもらいます。前期の授業で、論文の書き方、すなわち、問題の切り出し方、論文のアウトラインの作り方、研究資料の探し方、その分析、などを学びます。その後は、個々の論文の作成の指導を致します。

成績評価の方法 提出された卒業論文で評価します。

参考書等 論文の書き方等、についての文献は、開講時に指示します。

履修コード	336401
科目名	演習II
担当者名	わたなべ あらた 渡辺 新

講義のねらい

この演習のねらいは、以下の三つである。

①1960年に約80%であった日本の食料自給率は、現在40%に過ぎない。つまり、私たちの食料の60%は輸入に依存していることになるが、これほど食料自給率の低い国は先進国の中で、日本だけである。また、輸入食料も、マクドナルドやコカコーラに代表されるように戦後一貫してアメリカ型であったが、近年アジア型の食料輸入が急増している。こうした日本の食料事情を経済史的に解明していく。

②かつて日本のそば屋や寿司屋は飲食店とよばれていた。しかし、1970年代以降、ファーストフードやファミレスの登場によって外食産業とよばれるようになった。さらに、弁当・総菜屋やコンビニ食とよばれる中食産業も生まれた。こうした「食」をめぐる産業の変化を解明する。

③アメリカ産牛肉の再輸入によって牛丼の販売は再開されたが、BSE問題は解決したわけではない。また、食品表示の偽造事件もいまだに起きているのが現状である。この演習では、BSEの発生以来、私たちの前に突きつけられた「食」の安全の問題も考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の<演習のねらい>にそって、日本の食料事情を歴史と現状の二つの方向から分析していく。とりあえず、この問題に関する文献を輪読していくが、学生諸君が自らデータを処理し、資料を分析していけるように指導していく。また、食料の生産、流通、消費の場を訪れるようなフィールドワークも考えている。

履修上の留意点

ゼミナールは学生が主役である。学生自身が共に学び、近年少なくなった議論のできる場をつくっていくのも演習のねらいの一つである。

成績評価の方法

平常点によって評価するので出席することが大前提となる。また、演習での到達点として「ゼミ論」を発刊する。

教科書

その都度指示する。

Ⅲ 他学部履修科目

履修コード	307501
科目名	商学総論
担当者名	大吹 ^{おおぶき} 勝男 ^{かつお}

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）1,500円

履修コード	309301
科目名	商業政策
担当者名	番場 博之

講義のねらい	「クイズ番組の賞金はなぜ1,000万円までしかないのか?」。それは、そのように規定するルールがあるからである。このような流通や商業に関わるルール(公共政策)のことを流通政策・商業政策という。本講義では、流通および商業に関わるルールが必要とされた流通問題・商業問題に言及しながら、流通・商業政策の必要性や体系およびその運用について講義する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 流通・商業問題と流通・商業政策の考え方 (2~5) 流通・商業の基礎知識 (6~9) 流通・商業政策の枠組み (10~15) 競争政策 (16~21) 振興政策と調整政策 (22~27) まちづくり政策 (28~30) 海外における商業に関わる政策
履修上の留意点	詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。
成績評価の方法	定期試験によって評価する。ただし、履修者数によってはレポート等を課すこともある。
教科書	①加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編 ②『現代流通入門』 ③有斐閣 ④2400円 ⑤978-4-641-18351-3
参考書等	番場博之『零細小売業の存立構造研究』白桃書房 岩下弘『イギリスと日本の流通政策』大月書店 日本流通学会編『現代流通事典』白桃書房 渡辺達朗『流通政策入門』中央経済社
その他	現在注目されている流通に関わる新しいトピックをテーマとした「テーマ講義」を何回かおこなう予定である。「テーマ講義」では、ゲストを講師にお願いすることも検討している。

履修コード	310001
科目名	アジア経済論
担当者名	鄭 章淵

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔前期〕
1. 東アジア経済の全体像（1～2回）
 - （1）アジアの「多様性」
 - （2）「東アジア」の範疇
 2. 東アジア経済と経済理論（3～5回）
 - （1）従来の経済理論
 - （2）今日の経済理論
 3. 東アジアの経済発展（6～10回）
 - （1）工業化の「前史」
 - （2）東アジアの経済発展過程
 - （3）経済発展の特徴
 4. アジアNIEsの経済発展（11～15回）
 - （1）用語説明
 - （2）経済発展の特徴
 - （3）韓国の開発独裁体制
- 〔後期〕
5. 東南アジア諸国の経済（16～19回）
 - （1）主要各国の経済発展過程
 - （2）ASEANの歴史
 6. アジア社会主義諸国の経済（20～22回）
 - （1）中国の開放政策
 - （2）その他社会主義国の現状
 7. アジア通貨危機（23～25回）
 - （1）危機の背景・原因・特徴
 - （2）危機への対応策
 8. アジアの地域経済協力（26～28回）
 - （1）地域経済協力の歴史と現状
 - （2）東アジア経済圏の展望
 9. 東アジア経済と日本（29～30回）
 - （1）東アジアと日本の関係史
 - （2）東アジアと日本の展望

成績評価の方法

前期および夏期休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。なお、定期試験とレポートの成績比重は、前者80%、後者20%とする。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。

参考書等

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）
参考文献については、講義中に随時紹介する。

履修コード	324001
科目名	日本法制史
担当者名	<small>しげの たかひろ</small> 茂野 隆晴

講義のねらい 全ての学問には史学がある。法を学ぶものにとって、もっとも身近な史学が法制史である。われわれは来し方を回想するときのみならず、未来に進もうとするとき、何らかの形で、過去の知識(歴史)を知ろうとしよう。

現代の社会知識を知ろうとするとき、その手がかりを過去の社会生活に求めるのは自然であろう。そうした意味からも、日本法の歴史の本質的なものを身につけてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 日本法制史とその時代区分
2. 上古(氏族法時代)Ⅰ
3. 上古(氏族法時代)Ⅱ
4. 中古(律令法時代)Ⅰ
5. 中古(律令法時代)Ⅱ
6. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代)Ⅰ
7. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代)Ⅱ
8. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅰ
9. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅱ
10. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅲ
11. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)私法・民事編Ⅰ
12. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)私法・民事編Ⅱ
13. 近代(含む幕末)Ⅰ
14. 近代(含む幕末)Ⅱ
15. 婚姻関係(ことわざと川柳等による)

上記は1.と15.を除き、それぞれの項目ごとに2週を割当ててを目安としています。

成績評価の方法
教科書

学期末試験と出席状況を総合して評価す。

大久保治男・茂野隆晴『日本法制史史料60選－史資料へのいざない－』1998年(芦書房)2,300円

履修コード	324201
科目名	法思想史
担当者名	高橋 ^{たかはし} 洋城 ^{ひろき}

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはば限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んで上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）；法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

他
履修学
科目部

履修コード	325201
科目名	経済法
担当者名	荒井 登志夫

講義のねらい	規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。
講義の内容・授業スケジュール	1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不公正な取引方法 15～17 景品表示法・下請法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ
履修上の留意点	講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。
成績評価の方法	成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。
教科書	「経済法」（第5版・岸井大太郎・向田直範）ほか・有斐閣アルマ
参考書等	「独占禁止法（第2版）」（金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂） 根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社） 根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣） 丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社） 「経済法」（鈴木満・深雪・尚学社）
その他	レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

履修コード	325401
科目名	国際関係論
担当者名	三船 恵美

講義のねらい 国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを講義の目的とします。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 国際関係論という学問
 2. 国際関係論の4つの理論的視角
 3. 国際関係のアクター
 4. 国益とパワー
 5. 勢力均衡とバンドワゴン
 6. 同盟の力学
 7. 覇権による安定
 8. リベラリズムの考え方
 9. ネオ・リベラリズムの考え方
 10. ゲーム理論と国際関係
 11. 南北問題と構造的暴力
 12. コンストラクティヴィズム
 13. 平和学の誕生と展開
 14. 前期講義のクイズ (quiz = 小テスト)
 15. クイズの解説
 16. 安全保障の概念と類型
 17. 人道的介入
 18. 大量破壊兵器の拡散
 19. 平和構築と国際機関・国際NGO
 20. 日本の領域と日韓関係
 21. 日本の領域と日中関係
 22. 「人間の安全保障」と人権
 23. 「人間の安全保障」と日本のODA外交
 24. グローバル化と地域統合
 25. 地球環境問題
 26. 後期講義のクイズ
 27. クイズの解説
 28. 総括

履修上の留意点 テストを欠席した場合にレポートは課しません。就活や部活で欠席した人を特別扱いません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法 試験 (100%)。
教科書 山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。
参考書等 授業中に紹介します。

履修コード	326001
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄

講義のねらい 日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

成績評価の方法 前期試験 (40%) と学年末試験 (60%) で総合的に評価する。
教科書 富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定 (内外出版)
参考書等 『地方自治判例百選 (第3版)』(別冊ジュリスト)。

その他 講義では頻繁に法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他学部
履修科目

履修コード	326201
科目名	国際紛争解決法
担当者名	王 志安 <small>おう しあん</small>

講義のねらい 国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール 国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点 参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法 年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書 参考書等 その他 大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円
 市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。
 授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のもまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

履修コード	326801
科目名	倒産処理法
担当者名	鈴木 貴博 <small>すずき たかひろ</small>

講義のねらい 破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくこととする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

履修上の留意点 民法法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法 簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書 参考書等 徳田和幸『ブレップ破産法』第3版（弘文堂）2005年 1,260円
 山本和彦『倒産処理法入門』第2版（有斐閣）2005年 2,100円
 伊藤眞『破産法』第4版（有斐閣）2005年 4,200円
 青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版（有斐閣）2005年 2,730円